

2019.10 - 2020.3

研修サービスガイド



COURSE

日立製品 講座

JP1
uCosminexus Application Server
HiRDB OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK XDM/PDMI
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ Pentaho

デジタルトランスフォーメーション 講座

IT利活用 イノベーション IoT/AI/Lumada
ビッグデータ データ分析 サイバーセキュリティ
RPA

クラウド/サーバ仮想化 講座

ITサービスマネジメント 講座

システム基盤 講座

IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux Microsoft ネットワーク
ハードウェア セキュリティ データベース

IT戦略・IS企画 講座

システム開発 講座
要件定義/設計 モデリング
プログラミング

情報処理技術者試験対策 講座

ITリテラシ 講座

プロジェクトマネジメント 講座

コンプライアンス 講座

ビジネス/ヒューマン 講座

グローバル 講座

Topics 1

現場起点で進める

デジタルトランスフォーメーションを
人財育成で支援します

Topics 2

Society5.0時代のビジネスリテラシー

Topics 3

アジャイル/スクラム研修コースのご案内

Topics 4

制御システムのセキュリティリスク分析を
学ぼう!

Topics 5

業務の生産性を高めるには、
決断のスピードを上げる必要があります!

はじめに

平素は、株式会社日立製作所(以下、「日立」といいます。)および人財育成サービス会社である株式会社日立アカデミー(以下、「日立AC」といいます。)の各種研修サービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。

日立および日立ACは、経済産業省が策定する、社会経済全体におけるIT利用の拡大と価値創造者としての高度人財育成のための各種スキル標準に対応する研修体系に基づき、本ガイドでご案内する研修サービス(以下、「日立講習会」といいます。)にてお客様の人財育成をご支援いたします。

本ガイドは、日立および日立ACが提供する2019年10月から2020年3月までの研修サービスをご紹介します。人財の可能性と価値を最大限に引き出すために、豊富なメニューをご用意しております。

お客様の人財育成に本研修サービスをご活用いただければ幸いです。

2019年7月

株式会社 日立製作所
株式会社 日立アカデミー

研修サービスに関するお問い合わせ先：
株式会社 日立アカデミー

東京地区	TEL 03-5471-8962	FAX 03-5471-2564
大阪地区	TEL 06-4797-7360	FAX 06-4797-7361
名古屋地区	TEL 052-269-8940	FAX 052-261-8276
広島地区	TEL 082-546-6172	FAX 082-546-6173
福岡地区	TEL 092-844-7522	FAX 092-844-7580

日立講習会開催時間のお知らせ

※コースカリキュラムの備考欄に開催時間をご案内しています。
正式には、ご受講前に送付いたします「日立講習会受講ご案内」(受講券)をご確認ください。



(株)日立アカデミーは、東京研修センターで開催する日立講習会の学習サービス全般について、学習サービス事業者向け国際規格ISO29990の認証をJAMOTE(JAMOTE 認証サービス株式会社)より取得しています

本ガイドに記載している内容および金額は、2019年7月時点のものであり、将来変更する場合があります。

CONTENTS

Topics

- Topics 1 現場起点で進めるデジタルトランスフォーメーションを人財育成で支援します
- Topics 2 Society 5.0 時代のビジネスリテラシー
- Topics 3 アジャイル/スクラム研修コースのご案内
- Topics 4 制御システムのセキュリティリスク分析を学ぼう!
- Topics 5 業務の生産性を高めるには、決断のスピードを上げることが必要です!

1	体系的にIT技術修得を進めるための日立講習会コース活用例	14
2	開催コース/スケジュール一覧	20
3	講座別コースフロー/コースカリキュラム	58
4	研修会場	266
5	お申込方法	268
6	受講規約	270

本ガイドで紹介する研修サービスは、お客様のご要望に合わせてカスタマイズできるオーダー研修サービスもございます。研修の実施だけでなく、研修企画、開発実施、アフターフォローまでワンストップでご提供も可能です。詳しくはお問い合わせください。

最新のコース開催情報・お薦めコースのご案内

<https://www.hitachi-ac.co.jp/>

日立アカデミーのホームページでは、最新のコース開催情報・お薦めコースを掲載しております。また、コースのお申し込みはホームページから行うことができますので、ぜひご利用ください。



コース最新情報 お薦めコース 臨時開催コース 話題のコース 人気コースランキング

講座別コース紹介 (PDFファイル) スキル標準対応研修コースマップ iCD対応研修コースマップ

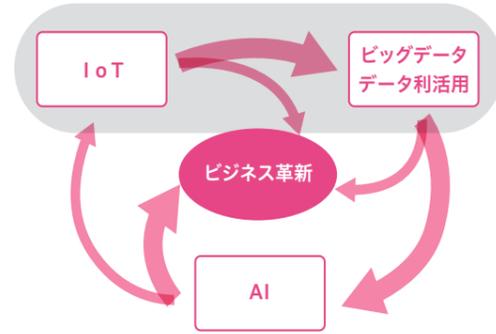
現場起点で進める デジタルトランスフォーメーションを 人財育成で支援します

デジタル技術とデータを活用し、業務やビジネスそのものを変革する「デジタルトランスフォーメーション」。実世界のデータをIoTにより収集し、仮想空間のIoTサービスによるデータ処理や分析をフィードバックして付加価値を高める循環をつくる。データを可視化、予測、意思決定に昇華させ価値の発見をもたらす。まさにデータ駆動型でビジネスを革新することが求められています。

1 IoTにより収集したデータを現場やビジネスシステムへ実装するための推奨コース群

IoTが実社会をビッグデータ化し、AIがビッグデータから価値を創出し、IoTやビジネスシステムを通して実社会にフィードバックする。このサイクルが、AIの高精度化を加速しさらなる価値を創出する。この価値創出サイクルと、コース群との位置付けを右図にて示します。で示した範囲が各頁で紹介するコース分野です。

IoTによるデータ収集の具体化、現場への適用方法を早分かりしたい方、IoTからのデータ処理の定石やコツを理解したい方には、本頁「現場での実装」および「ビジネスシステムへの実装」欄のコースをお勧めします。



ビジネス革新のテーマ

売上・シェア拡大・収益性向上	新事業・新製品・新サービスの開発	生産性/効率向上・改善
品質向上・現場力の強化	顧客満足度/ブランド力の向上	グローバル化・事業基盤の強化
異常検知 故障予知	最適運転 安全管理	遠隔監視 事故回避
決済と セキュリティ連携	移動追跡 在庫管理	見える化で節電 省エネ対策
業務自動化 自動運転	監視による 防犯、追跡	生育状況 収穫量調査
健康診断 ログ収集 体調管理	位置情報と 混雑対策 周辺娯楽	etc...

ビッグデータ解析
●HSJ109：データ分析手法の理論と適用
-ビジネスにおける統計的手法活用の広がり-
●HSJ162：BI・マイニング事例で学ぶデータ分析提案の進め方

AI (機械学習)
●DBJ088：体感!機械学習-ビッグデータ時代のシステムを支える技術-
●DBJ110：NVIDIA Deep Learning Institute (DLI) 認定コース
1日でできるディープラーニング-画像認識入門-

クラウド
●CLJ014：実機で学ぶ!クラウドコンピューティング入門
●CLJ003：クラウドコンピューティング技術解説

データ加工・統合関連機能 (ETL)※1
●DBJ081：ビッグデータ概説
●PTJ002：データ加工・統合入門- Pentaho を用いて-
●CLJ015：Hadoop入門- HBaseとSparkハンズオン-
●DBJ106：ビッグデータにおけるシステム設計実践-多様なデータを統合しビッグデータとして活用する-
●IOJ018：IoTにおけるイベント駆動型システム開発入門- Hitachi Application Framework/Event Driven Computing (HAF/EDC)※2による故障予知診断を例にして-
●IOJ017：IoTにおけるイベント駆動型システム開発実践- Hitachi Application Framework/Event Driven Computing (HAF/EDC)※2によるアプリケーション、システム開発演習を通して-

スマートフォン向けアプリケーション開発
●NWJ142：HTML5プログラミング
●NWJ129：体験! iPhone・iPadアプリケーションの開発
●NWJ131：体験! SwiftではじめるiPhoneアプリケーションの開発
●NWJ135：体験! Androidアプリケーションの開発

ビジネスシステムへの実装



現場での実装



アプリケーション開発
●DBJ107：0から始めるPython入門-データ分析での活用をテーマとして-
●SPJ064：スクラムの基礎と実践
●CLJ012：クラウドアプリケーション開発

アプリケーション開発環境
●SPJ060：体験!最新OSSを使用したDevOps入門- Lumadaにおけるアプリケーション開発の流れ-
●SPJ059：(PDU)実践! DevOpsによるアジャイル開発-お客様に素早く価値を届けるために-
●SPD002：DevOpsテスト入門-継続的デリバリーを実現するテスト自動化の基礎-
●SPD003：テストプロセス改善-評価・改善案策定を一日で習得!-

ワークフロー記述
(IoTデバイス→データストア→ダッシュボードなど)
●CTJ065：エンタープライズITアーキテクチャのセオリー
●IOJ016：体験!Node-REDによるIoTシステム入門- Raspberry Piを使用した風車のリアルタイム監視から予防診断まで-

サイバーセキュリティ管理
●IOE002：<eラーニング>IoT技術解説 セキュリティ編
●SCE703：<eラーニング>【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎-要素技術(暗号、認証)編-
●SCE705：<eラーニング>【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎-ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編-
●SCJ051：ネットワークセキュリティ対策実習-FW/IDS/PKI-
●SCJ049：サイバー攻撃対応コミュニケーション訓練

IoTプラットフォームとの通信
●IOE003：<eラーニング>IoT技術解説 IoTネットワーク編
●IOJ019：IoT技術解説 5G編

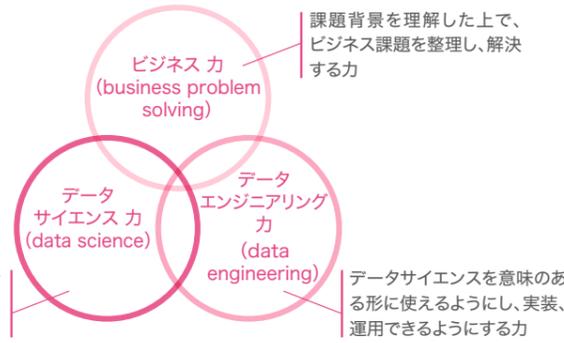
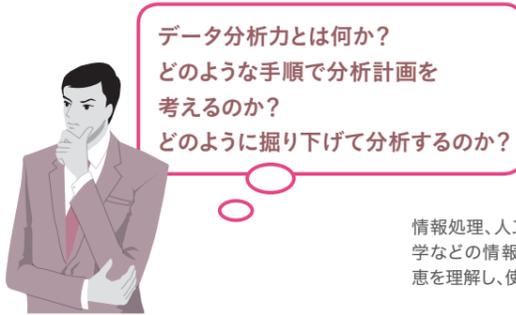
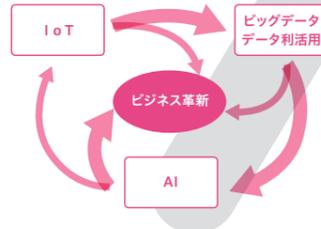
AIスピーカー/ Webカメラ
●IOJ011：スマートスピーカーの最新動向と社会インフラ適用の可能性

※1 ETL: Extract, Transform, Loadの略で、IoTや既存システム等複数個所からデータを抽出し、抽出したデータを変換/加工/統合した上でデータレイク等へ追加する処理、およびそれを支援するソフトウェア
※2 HAF/EDC:日立ミドルソフト。データ「格納」「分析」「参照」において高速に分散処理を行う

2 仮説検証/価値検証の推進者および関連する営業、エンジニアに求められるデータ分析

データ活用するためには、分析手法を理解して分析モデルを設計する能力と、AIやBIなどの分析ツールを活用して、実際に価値を検証する能力、および分析モデルに従って、有効なデータを用意する能力などが必要です。

実際の現場での経験を踏まえ、試行錯誤を行いながら分析や可視化による実務をイメージした、新たな価値を発見するためのデータ分析・利活用を学ぶコースをメニュー化しています。



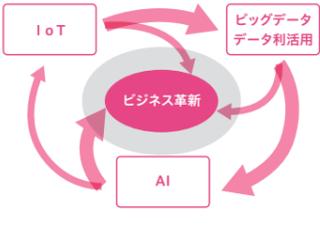
図：データサイエンティストに求められるスキルセット*

対象	分類	コースコード	コース名	日数/標準学習時間
中心のビジネス領域	営業・企画者向け	HSJ175	データ利活用のパターンとビジネス着想	0.5日
		HSJ108	定量分析のスキル-問題解決の精度を高める-	2日
		HSJ112	仮説構築と調査検証-仮説構築の考え方を学び、仮説に沿った調査手法を選択し、調査結果を読み解く-	2日
ビジネス領域	営業・企画者・エンジニア共通	OAJ048	Excelによるデータ可視化-Excelでビジュアルに強くなる-	1日
		OAJ047	Excelによる売上データ分析-Excelではじめるデータ活用の第一歩-	1日
		HSJ162	BI・マイニング事例で学ぶデータ分析提案の進め方	2日
		HSJ109	データ分析手法の理論と適用-ビジネスにおける統計的手法活用の広がり-	2日
		HSE116	<eラーニング>データ分析手法の理論と適用	14時間
		DBE037	<eラーニング>流れを体験! 予測モデル構築のプロセス(基礎知識編) -初めてでもOK! データ分析を身近に-	9時間
		DBJ117	流れを体験! 予測モデルの構築プロセス(ケーススタディ編) -データのバリュアアップから結果説明に至るまで-	2日
		DBJ100	データビジュアライゼーション基礎	1日
		PTJ001	New Pentahoによるデータの可視化・分析	0.5日
		DBJ112	試行錯誤から学ぶ! 統計理論抜きで学ぶRによる統計的手法のハンズオン	1日
サイエンス領域	エンジニア向け	DBD057	Rによる統計解析-分析結果を統計的に正しく理解し、次の意思決定に向けた提案へ-	2.5日
		DBJ111	試行錯誤から学ぶ! Rによるデータ可視化のハンズオン	1日
		DBJ115	データビジュアライゼーション実装 地図上への可視化編	1日
		DBJ116	データビジュアライゼーション実装 ネットワークの可視化編	1日
		DBJ088	体感! 機械学習-ビッグデータ時代のシステムを支える技術-	1日
		DBD059	機械学習による問題解決実践-機械学習で大量データを分析し、データからビジネス価値を創出-	2日
		DBJ090	データ分析に使えるSQL-SQLでビッグデータに立ち向かう-	1日
		DBD058	SQLによる集計・分析-分析の基本的なプロセスを修得し、自社DBデータの活用へ-	1.5日
		DBJ107	0から始めるPython入門-データ分析での活用をテーマとして-	2日
		DBE038	<eラーニング>【スキル定着】Pythonでのデータ可視化-オープン環境を活用した実装力の磨き方	4時間

* 一般社団法人データサイエンティスト協会 資料 <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000005.000007312.html> より引用

3 デジタルトランスフォーメーションを企画・推進・提案するためのスキルセット

ビジネスで新たな価値を創出するには、イノベティブに考えるための思考技法、価値あるビジネスモデルを構想するプロセスとメソッド、サービスとしてn倍化することを実践できるツールを、スキルとして使いこなすことが必要です。新たなデジタルビジネスを企画・設計するためのスキルセット修得にご活用ください。

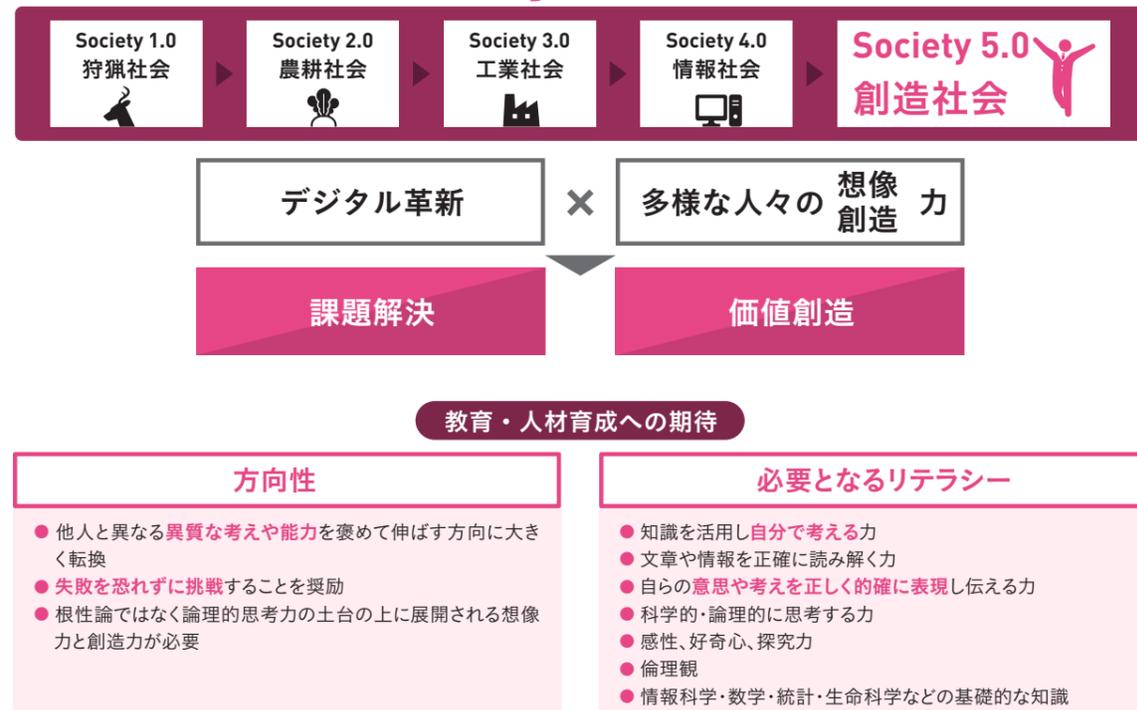


分類	コースコード	コース名	日数	コース概要
イノベティブ思考	HSJ163	クリエイティブシンキング	1日	イノベーションを切り開くために必須となる、クリエイティブなアイデアを閃くためのプロセスを実践演習を通して体感・学習します。
	HSJ157	システムシンキング基礎 -問題を構成する互いに影響しあう要素の「つながり」を可視化する-	2日	システムとは、ITシステムではなく、より広い「系」を指します。社会・企業・人間集団を構成する要素の相互作用を捉え、「系」の全体最適で且つサステナブルな問題解決のアプローチを学びます。
	HSJ170	イノベティブ思考-単なるアイデアで終わらせないためのロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせかた-	2日	イノベティブ思考が従来の思考と違う点を対比させながら、イノベティブな発想に必要な進め方、手法を演習主体で学習します。
ビジネス構想	HSJ158	イノベーションプロセスを強化するシナリオプランニング	1日	顧客ビジネスや要素技術の将来動向と捉え、顧客の真のニーズを引き出すために、シナリオプランニングの具体的な考え方・手法について学習します。
	HSJ182	(PDU) ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向 -イノベーション実現のために-	1日	ポジショニングやリソースベストビュー等の事業・企業戦略論を、自らの事業に適用できるようになるまで理解します。またITビジネスとして戦略上踏まえておくべき最新動向を紹介します。
	CTJ055	IT主導で攻めのビジネスを実現するための構想立案とIT化企画の作り方	1日	DX(デジタルトランスフォーメーション)・AI・IoT...など、ITを全面的に活用することで新しいビジネスモデルを実現する取り組みを進めるうえでの実践的な最重要ポイントを、ビジネス系システムを中心にお伝えします。
サービス企画・設計(ビジネスモデルデザイン)	HSJ159	顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン	2日	ビジネスモデルキャンパスを活用し、ビジネスモデルを可視化することで新たな価値の発見につなげます。お客さまの潜在的価値発見の部分に重点を置き、ビジネスモデルを検討します。
	HSJ178	新規事業における利益の健全性評価と収益性の高いビジネスモデルのデザイン -不確実性の高いビジネスにおける仮説検証、価値ベースのプライシングを身に付ける-	1日	ビジネスモデルが失敗する大きな原因の1つである「財務上の収支が合わない」点に焦点を当てます。「仮説指向型計画法」というアプローチを活用しながら、新規事業における不確実性要素を見つけ、次にプライシング戦略についてケーススタディで学習します。
	HSJ176	顧客との関係を深め続けられる顧客接点のビジネスモデルデザイナー-モバイル時代の消費者行動の変化を捉え、経験価値をデザインする-	1日	新しい消費者行動を描きながら、消費者のニーズに対する仮説を立て、このニーズを逃がさず新たなビジネス機会を獲得するために必要なチャネルやタッチポイント、それらの上で確立すべき顧客との関係や獲得すべきエンゲージメントについて考えます。
	HSJ177	実現可能性を高める! ユーザーの言葉を使って解決する成果志向型のサービスデザイン -事業開発の失敗リスクを最小化するための事業・競争環境、内部プロセスの検討-	1日	サービスを実現するための内部プロセスを、ダブルダイヤモンド、ジョブ理論の考え方をベースにサービス実現上の課題解決をデザインします。

2018年11月に一般社団法人 日本経済団体連合会（以下 経団連）より「Society5.0」についての提言が発表されました。（<http://www.keidanren.or.jp/policy/2018/095.html>）

当社では、この考えにもとづき、Society5.0時代に必要となるビジネスリテラシーを身につけるための人財育成研修を体系立ててご提供します。

This is Society 5.0 (創造社会)



※経団連 Society 5.0 提言資料より抜粋

● こんな方におすすめ!

経団連の提言資料のなかでは Society5.0 時代に必要となるリテラシーが掲げられています。今回はそのなかでも以下6点の要素に対応する主なコースをご紹介します。新時代に合わせて自社の社員の育成を見直したい方や、長期的な視点で部下の育成を考えられている方にご参考にしていただければと存じます。

必要となるリテラシー

知識を活用し 自分で考える 力	2日 問題解決!ロジカルシンキング×クリティカルマインドの実践ワークショップ	問題解決のワークシートを使い、自らが業務で直面する問題の解決を考えます。表面的な解決ではなく、原因を追究し、根本的な解決をめざします。
文章や情報を 正確に読み解く 力	2日 HSJ108 定量分析のスキル -問題解決の精度を高める-	「データの海に溺れない」を標語に、大量のデータをいかに論理的に読み解き問題解決に結びつけるかを学びます。
自らの 意思や考えを正しく的確に表現 し伝える力	2日 HSJ154 ロジカルプレゼンテーション基礎	正しく伝えるには論理、ストーリー性、表現力、熱意が大切です。研修では動画撮影を行い、自らのプレゼンテーションスキルの現状を正しく認識いただいたうえで、スキルアップをめざします。
科学的・ 論理的に思考 する力	2日 HSJ116 ロジカルシンキング基礎 -論理の可視化と論理チェックのポイント-	アウトプットを良くするにはプロセスの改善が必要です。研修では自らの思考プロセスを可視化する技法を学び、ブラッシュアップすることで、論理力向上の第一歩を踏み出します。
感性、好奇心、探究 力	2日 HSJ170 イノベティブ思考 -単なるアイデアで終わらせないためのロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせかた-	Society5.0のコンセプトである、「ありたい社会を創造」し、「ロジカルシンキング」「システムシンキング」「デザインシンキング」といった思考法を組み合わせることでありたい社会の実現に向けた課題解決を考えます。
情報科学・数学・統計・生命科学 などの基礎的な知識	2日 HSJ109 データ分析手法の理論と適用 -ビジネスにおける統計的手法活用の広がり-	統計的分析手法、検定、QC7つ道具など幅広くデータサイエンスを一度に学べます。また分析手法そのものだけでなく、分析手法を適用する際の考え方のポイントもセットで学習でき、実践的な内容となっています。

● コース概要

コースコード	コース名	日数	コース概要
-	問題解決!ロジカルシンキング×クリティカルマインドの実践ワークショップ ※本コースは実務課題を扱うため、オーダー研修として開催しております。詳細は当社営業窓口へご相談ください。	2日	ロジカルシンキングを知識として知っているが、実務へ活かしていない方の問題を解消します。自らが業務で直面している困り事や改善・解消したい現象について、問題解決のプロセスに則って問題・原因を分析し、解決策を決め、実行時計画を立てます。徹底的に分析するためには、どのような論点で情報を分解すれば良いか、複数の選択肢から最良のものを選ぶにはどのような優先順位をつければ良いかなどを学習できます。
HSJ108	定量分析のスキル -問題解決の精度を高める-	2日	ビジネスにおける問題発見と解決の流れに従い、データに基づいてお客様の課題を捉え、具体的に提案・解決する能力を高めます。問題発見と解決とは、課題の構造化と仮説立案、分析結果(グラフ・チャート)をイメージしたデータ収集、多面的な評価軸で比較・分析することです。サプライチェーンの実事例をもとにしたケース演習で問題発見と解決のステップ全体を具体的に学習します。
HSJ154	ロジカルプレゼンテーション基礎	2日	プレゼンテーションに必要な4スキル(ストラクチャリング、ストーリーデザイン、ビジュアルイゼーション、デリバリー)のポイントと、準備のプロセスを学習します。演習では、自らの業務に関するテーマでプレゼンテーションのストーリーを計画します。また、動画撮影しながら発表し、自身のプレゼンテーションを振り返ることで、改善点や改善方法を具体的に学習します。

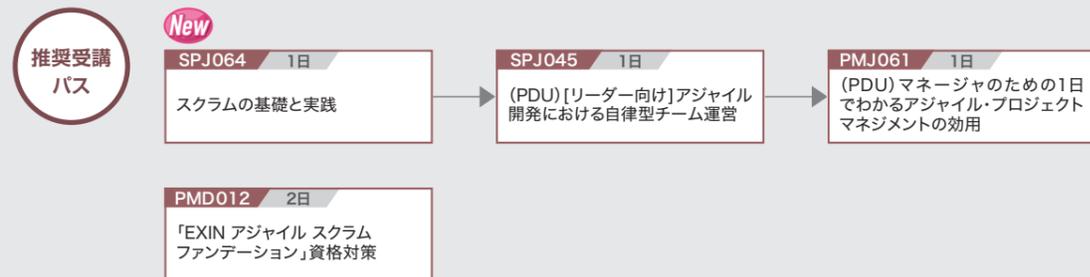
コースコード	コース名	日数	コース概要
HSJ116	ロジカルシンキング基礎 -論理の可視化と論理チェックのポイント-	2日	問題解決に必要なスキルセットは「思考法」「マインド」「手順」です。このコースでは、論理的思考に必要な技法やツールといった「思考法」のみならず、「思考法」を使いこなすうえでの原動力となる、考え抜く「マインド」、「思考法」「マインド」をベースに正しく問題解決を進めるための「手順」を学習し、問題解決力の土台を作ります。
HSJ170	イノベティブ思考 -単なるアイデアで終わらせないためのロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせかた-	2日	社会イノベーションを考えるうえで、問題を定義するには、社会・企業・人間集団といった複雑系の全容を捉える必要があります。全容を捉えるには観察や対話といったアプローチが重要な役割を果たします。この問題解決を進めるのに必要なシステム思考×デザイン思考を学習します。問題の定義から、事業機会の発見、サービスアイデアの創出とその価値の検証、プロトタイプの流れをひととおり体感します。
HSJ109	データ分析手法の理論と適用 -ビジネスにおける統計的手法活用の広がり-	2日	データ分析の理論や作業スキルに加え、各分析手法を適用する際の考え方を学習します。例えば、分析手法適用の際のインプットデータは、目的や仮説に基づいて抽出する必要があります。また、アウトプットの図表からは、「だから何が言えるのか」という、提言につながる考察を抽出する必要があります。このような、データを入手してからレポート作成までの一連の思考過程と作業を、Excelを利用した演習を通して学習します。

アジャイル/スクラム研修コースのご案内

時代の変化に追従し対応していくためには、これまでのソフトウェア開発の方法を見直し変革していく必要があります。現在、ソフトウェア開発の手法として、アジャイル開発が脚光を浴び、中でもスクラム開発が代表的な手法として広く知られています。当社では、アジャイル/スクラム開発の最新技術動向を踏まえ、研修体系を整備しました。ぜひ、ご活用ください。

● こんな方におすすめ!

アジャイル関連コース



1 アジャイル / スクラム開発の基礎とメリットを1日で理解したい方

コースコード	コース名	日数	コース概要
SPJ064	New スクラムの基礎と実践	1日	アジャイル開発手法の中でも主流のスクラムを取り上げます。基礎知識の解説に加え、実際のプロジェクトの進め方や要素技術など、アジャイル開発/スクラムの基礎と実践について学習します。また演習やワークショップによってアジャイル開発のメリットを体験します。

2 アジャイル開発の導入を検討しているマネージャ、リーダーの方

アジャイル開発に適したチームを作りたいと考えている方
アジャイルに限らず、効果的なチームビルディングを行いたいリーダー (マネージャ)の方

コースコード	コース名	日数	コース概要
SPJ045	(PDU) [リーダー向け]アジャイル開発における自律型チーム運営	1日	アジャイル開発を担当するリーダーとして、その力量がもっとも発揮されるべき局面が自立的なチーム運営です。このコースでは、自律的なチームとは何か、どうすれば自律的なチームになるのかを、開発現場の状況を想定した講師とのディスカッション演習や質疑応答を通して考察します。
PMJ061	(PDU) マネージャのための1日でわかるアジャイル・プロジェクトマネジメントの効用	1日	マネジメント視点でのアジャイル開発の利点を理解し、顧客に提案できる従来、行われてきた計画重視型のプロジェクトマネジメントから、アジャイル開発導入への変化をマネジメント視点で学びます。経営管理上のメトリクスを残しながら、プロジェクトガバナンスをどのように確立するかを理解し、顧客に提案できる知識を身につけます。

3 アジャイル・プロジェクトマネジメント、スクラムの基本を体系的に把握したい方

コースコード	コース名	日数	コース概要
PMD012	「EXIN アジャイル スクラム ファンデーション」資格対策	2日	EXIN(www.exin.com)本部が公開する試験要件に沿ったカリキュラムにより基本事項の概念や用例を学習します。なお、研修の最後にアジャイル スクラム ファンデーション認定試験(60分)を用意しています。

なお、新規にご案内するコースについては、予告なく変更となる可能性がありますのでご了承願います。

制御システムのセキュリティリスク分析を学ぼう!

社会の変化や技術の高度化により、サイバー攻撃の対象も大きく拡大・変化しています。これまでは、企業の情報システムにある機密情報や個人情報などを狙ったものが多くありましたが、近年は、工場やプラントなどの制御システムへの攻撃も増加しています。

実際に世界では、イランの核施設が機能停止させられたり、ウクライナで大規模な停電が起こされており、日本でも、このようなサイバー攻撃を受ける可能性が高まっています。

このような状況の中、私たちはどのように対応していく必要があるのでしょうか?サイバー攻撃に対応するために私たちが行う重要なことの1つに、セキュリティリスク分析があります。セキュリティリスク分析は、複数のリスクの中から、組織として「本当に対応が必要なものはどれか?」、「より優先的に対応すべきものはどれか?」を考える行為です。

このセキュリティリスク分析については、独立行政法人情報処理推進機構(以下 IPA)からガイドが公開されています。当社ではそのガイドを、効率的に、早く活用できるよう、事例を用いて学ぶコースをご用意しました。制御システムのセキュリティリスク管理を行う方、重要インフラのセキュリティに関わる方のスキル向上に、ぜひご活用ください。

● こんな方におすすめ!

制御システムのセキュリティリスク管理(現状分析)の関係者
重要インフラのセキュリティに関わる視野を広げたい方

管理系セキュリティコース



● コース概要

コースコード	コース名	日数/ 標準学習時間	コース概要
SCE706	<eラーニング>情報セキュリティマネジメント概説 -セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度-	8時間	情報セキュリティ維持、個人情報保護のための管理システムと情報セキュリティに関連する規格、法律制度など管理的対策に関する概要を学びます。
SCJ048	New セキュリティリスク分析 -IPA「制御システムのセキュリティリスク分析ガイド」解説-	1日	「制御システムのセキュリティリスク分析ガイド」※1 (IPA発行)をベースに、リスク分析の代表的な手法である「資産/攻撃シナリオ(事業被害)ベース」の手順を学習します。また、制御システムの事例を用いて演習を行います。

情報セキュリティに関する基礎知識、セキュリティを考慮したシステム構築・管理に必要な技術に関するコースは下記をご参照ください。

<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/intro/flow/sec/index.html>

※1 出典 独立行政法人情報処理推進機構 <https://www.ipa.go.jp/security/controlsystem/riskanalysis.html>

「制御システムのセキュリティリスク分析ガイド 第2版 ~セキュリティ対策におけるリスクアセスメントの実施と活用~」

業務の生産性を高めるには、

決断のスピードを上げることが必要です！

2019年4月より、働き方改革関連法案が施行されました。しかしそれらの法案は、労働時間短縮を目的としたものが多く、ビジネスパーソン業務負担を直接的に減らすものではありません。

公益財団法人 日本生産性本部の調べによると、昨年の日本の労働生産性は、G7加盟国の中でも最下位です。なぜ懸命に業務に取り組んでも生産性が上がらないと言われているのでしょうか。今までの働き方の習慣や、組織文化にとらわれてしまい、【迅速な意思決定】ができず、時間を無駄にしてしまっていることも一つの要因になっているようです。決断のスピードを上げ、時間ロスを減らし、生産性を向上させてみませんか。

● こんな方におススメ！

以下のお悩みをお持ちの方に最適なコースをご用意しています。

●何も決まらない会議にイライラすることが多い

●上司の鶴の一声で施策が決まってしまう

●会議が脱線し、時間通りに終わらない

HSJ148 2日
(PDU)会議/プロジェクトを円滑に進めるためのファシリテーション・スキル向上

解決できること

- ・会議で建設的な意見が出て、物事の決定がスムーズになる
- ・時間通りに会議が終わる
- ・参加者全員が発言できるようになる
- ・議論の見える化ができる

●苦手な人と会話するのに躊躇し、仕事が前に進まない

●メンバーのモチベーションを上げることができず、成果を出してもらえない

New

HSJ197 2日
自分を知り他者を知るコミュニケーションマネジメント-DISCモデルによる-

解決できること

- ・苦手な人との会話がスムーズになる
- ・タイプの違うメンバーをどう動機づけすればよいかわかる
- ・自分が何をしたいのかが理解できる

●何を言っているかわからないと言われることが多い

●話がうまく伝わらず、手戻りが起きてしまう

HSJ127 2日
情報を整理して伝えるコミュニケーション技法-ロゴス・パトス・エトスを高める-

解決できること

- ・論理と感情のバランスを取りながらスムーズに会話ができる
- ・数多くの情報を整理し、端的に会話ができるようになる

●お客様に仕様書外のことを要求され、仕方なく対応している

●忙しいのにタスクを断れず、残業が増える

●強く言いすぎてしまい後悔したのち、フォローをしている

HSJ125 1日
(PDU)アサーティブコミュニケーション-職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上-

解決できること

- ・自分の言いたいことが言えるようになる
- ・言いたいことを言いながらも、他者と揉めない会話のフレームが手に入る

●相手が何を言っているか理解できず、結局また打ち合わせの時間を取っている

●相手の意図とは違うことを返答してしまい、会話がかみ合わずに終わる

HSJ124 1日
リスニング力を高めてコミュニケーションスキルアップ-職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上-

解決できること

- ・自分の聴き方のクセを修正し、相手の言いたいことが理解できる
- ・傾聴のスキルが身につく、相手が気持ちよく話してくれるようになる

コースコード	コース名	日数	コース概要
HSJ148	(PDU)会議/プロジェクトを円滑に進めるためのファシリテーション・スキル向上	2日	効率的、効果的な会議/プロジェクトを運営するために有効である、ミーティング・コミュニケーションと対応法を学習します。さらに、生産的会議に必要なファシリテーション・スキルを理解し、適切なコミュニケーション技術を修得できます。
HSJ174	(PDU)ストラクチャード・コミュニケーション-会議を空中戦にせず、図で共有する・伝える・理解する・考える-	1日	限られた時間の中で、できるだけ有効な情報を引き出し、整理し、考えを伝えることが求められる方が、相手とのコミュニケーションにおいて、情報を構造化し図で表現するために必要な知識を学びます。基本となる図解パターンを元に、考えを伝える演習や、聞く演習、また考えをまとめる演習を通して、相手の課題を解決するための図解スキルを修得します。
HSJ197	New 自分を知り他者を知るコミュニケーションマネジメント-DISCモデルによる-	2日	さまざまな考え方やキャリアを持つ他者と、どのようにコミュニケーションをとればよいか学習します。自己を知り、他者を推察し「違いは間違いではない」という考えのもと、具体的なアプローチ方法を学習します。
HSJ127	情報を整理して伝えるコミュニケーション技法-ロゴス・パトス・エトスを高める	2日	論理的なコミュニケーションをとるための手法を、演習を通して学習します。
HSJ125	(PDU)アサーティブ・コミュニケーション-職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上-	1日	自己尊重のマインドに基づいて、自分の考えや気持ちを明快に伝えるアサーティブコミュニケーションを学習します。
HSJ124	リスニング力を高めてコミュニケーションスキルアップ-職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上-	1日	対話のスキルとして重要な2つの要素「傾聴」と「アサーション」のうち「傾聴」を中心に学習します。

1 体系的にIT技術修得を進めるための日立講習会コース活用例

日立講習会では、企業や組織で必要となるITの修得に適したコースを各種ご用意しています。階層別研修とともに、IT研修の企画立案の際に日立講習会のコースをぜひご活用ください。

IT修得に必要な一連のコースをご用意しています!!

● 情報システム部門の方向け推奨 IT 研修体系

企業における情報システムの役割は、合理化・効率化を進めるツールから、他社との差別化・競争力強化を図るツールへと変遷しました。ITは、経営戦略や事業戦略を成功に導く重要な要素になりました。

これらの背景から、情報システム部門は、システムの実装技術だけでなく、戦略に結び付くITサービスを企画立案/開発し、継続して提供し続けるスキルが求められます。

日立講習会では、システム化戦略策定から運用管理や実装技術まで一連のIT修得に対応したコースをご用意しています。下記は、日立講習会を活用した情報システム部門の研修体系の一例です。

日立講習会を活用したIT修得コースマップの例

項目	初 級	中 級	上 級
IS 戦略 IS 戦略評価	HSJ181 / 1日間 (PDU)ソリューション提案のための経営と情報戦略 -経営・事業・情報戦略のあるべき関係性-	CTJ016 / 1日間 (PDU) IT投資対効果の考え方 -IT投資マネジメントの基礎-	HSJ017 / 1日間 (PDU) IT戦略の立案 -IT-BSCの活用による- SPJ008 / 2日間 (PDU) IT投資の評価手法 -IT投資の種類、パターンから効果を考える- CTJ062 / 2日間 (PDU)エンタープライズ・ビジネスアナリシス
IS 企画 IS 企画評価		CTJ055 / 1日間 IT主導で攻めるビジネスを実現するための構想立案とIT化企画の作り方	CTJ060 / 2日間 (PDU)要求の引き出しとマネジメント CTJ005 / 2日間 (PDU)トラブルを防止する調達要件の分析 -RFPの作成と提案書の評価を中心に- SPJ036 / 2日間 システム化要求を実現するための業務設計
システム開発	SJE707 / 4時間 eL【ナビ機能付き】システム開発の基礎	SPJ037 / 2日間 システムのニーズ分析	CTJ046 / 1日間 情報システム導入を成功させる要件定義とベンダー折衝の実践ポイント CTJ026 / 1日間 情報システムのユースケースと移行・切替・本番稼働の準備実務 CTJ065 / 2日間 エンタープライズITアーキテクチャのセオリー
要件定義	SPJ024 / 2日間 システムの要件定義技法	CTJ052 / 1日間 現行システムのリプレイス/改修における現状洗い出しを確実にするための業務フロー作成技法	SPJ054 / 1日間 後工程で慌てないユーザー/業務要件の漏れを未然に防ぐ業務設計と要件定義のコツ CTJ018 / 1日間 非機能要求の考え方 CTJ051 / 1日間 ビジネス要求引き出しのための業務課題抽出のテクニック
設計技法	NWJ139 / 2日間 Webアプリケーション設計の基礎	SPE017 / 5時間 eL 構造化モデリングによるシステムの機能抽出	SPJ056 / 1日間 開発の手戻りを最小限にする要件品質チェックのポイントと基本設計の肝
アプリケーション開発	CBE006 / 16時間 eL アルゴリズムの基礎 -フローチャート編-	SPJ028 / 1日間 品質確保のためのソフトウェアテスト SPE019 / 3時間 eL 速習! Webシステムテストのポイント プログラミング言語ごとのコース群	SPJ051 / 1日間 実践! テストケース設計 (テスト設計実践編) SPJ038 / 2日間 アプリケーション・アーキテクチャ策定演習 SPJ060 / 1日間 体験最新OSSを活用したDevOps入門 -Lumadaにおけるアプリケーション開発の流れ- SPJ059 / 1日間 (PDU)実践! DevOpsによるアジャイル開発 -お客様に素早く価値を届けるために-
システム基盤	UXE003 / 4時間 eL クラウドコンピューティング入門	サーバ製品ごとのコース群 CLJ005 / 1日間 実機で学ぶ! サーバ仮想化入門 -VMware vSphere, Microsoft Hyper-V, KVM-	CLJ014 / 1日間 実機で学ぶ! クラウドコンピューティング入門 CLD001 / 2日間 事業と技術の観点から検討するクラウドへの移行と管理-Cloud Essentials-
セキュリティ	SCE708 / 4時間 eL【ナビ機能付き】情報セキュリティテラ-セキュリティの必要性と対策-	SCE706 / 8時間 eL【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説 -セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度- SCJ050 / 1日間 情報セキュリティ基礎 -セキュリティ全体を俯瞰する-	SCE705 / 6時間 eL【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎-ネットワーク構成技術システム保護の概要編- SCJ038 / 1日間 情報セキュリティマネジメント運用 SCJ039 / 1日間 情報セキュリティマネジメントの評価と改善 SCJ047 / 1日間 ケーススタディから学ぶ 情報セキュリティリスクマネジメント
ネットワーク	NWJ103 / 2日間 ネットワーク基礎	NWE715 / 8時間 eL【ナビ機能付き】LANの技術-高可用ネットワーク- NWE717 / 8時間 eL【ナビ機能付き】WANの技術-VPNサービスへの変遷-	NWJ099 / 2日間 TCP/IPプロトコル解析 NWE704 / 6時間 eL【ナビ機能付き】ネットワーク管理解説 NWE028 / 4時間 eL ネットワーク設計基礎 NWJ084 / 2日間 ネットワークトラブル解決
データベース	DBJ045 / 1日間 データベース入門 -解説と操作体験-	DBJ055 / 1日間 速習! 1日でわかるデータベース設計の基礎	データベース製品ごとのコース群 DBJ054 / 2日間 データベース設計技法と演習
プロジェクトマネジメント	PMJ065 / 2日間 プロジェクトマネジメント基礎	PMJ066 / 2日間 (PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践	CTJ022 / 2日間 情報システム部門のための開発工程におけるベンダー・マネジメント プロジェクトマネージャ向けのコース群 CTJ037 / 2日間 (PDU)SEのためのベンダーマネジメント PMJ067 / 1日間 (PDU)PMO視点からのプロジェクト運営の勘所(アセスメント) PMD009 / 2日間 (PDU)プログラムマネジメント-より価値の高いプロジェクトを提供するために-
IT サービスマネジメント 運用管理・保守	ITJ008 / 1日間 情報システム運用入門 -運用からITサービスへ-	ITJ009 / 1日間 IT運用におけるヒューマンエラー予防	ITJ012 / 3日間 (PDU)ITIL®ファンデーション(認定試験付) ITJ004 / 2日間 システム運用の現状分析・設計力養成ワークショップ SPJ033 / 1日間 保守開発におけるトラブル対策の考え方 HSJ062 / 1日間 事例から学ぶシステムトラブル対策の考え方 -高信頼性システム実現のために-
システム監査		HSJ018 / 2日間 システムトラブルの予防と是正 -ISMS・システム監査の視点から-	

eL eラーニング

TOPICS

1 日立講習会コース活用例

2 開催コース/スケジュール一覧

3 講座別コースフロー/コースカリキュラム

4 研修会場

5 お申込方法

6 受講規約

● SI 企業 / IT 開発ベンダ向け推奨 IT 研修体系

現在のIT産業は、ハードウェアやソフトウェアといったプロダクトの提供だけでなく、顧客企業がめざす経営戦略や事業戦略を実現する IT サービスの提供が重要です。これを実現するために、高い専門性を持つ人材の必要性が高まっています。そのため、企業の競争力強化に向けた体系的な人材育成が重要です。

高い専門性を身につける「基礎体力」として、IT の基本をしっかりと身につけることが重要です。日立講習会では、JP1 や HiRDB といった製品技術修得のコースに留まらず、IT 基本、情報セキュリティ、ネットワークやデータベースといった汎用的な IT の修得に対応したコースをご用意しています。下記は、日立講習会を活用した研修体系の一例です。

日立講習会を活用した情報システム/ソフトウェア開発技術者のITスキル(ITの基礎体力)修得コースマップの例

項目		初 級					中 級				上 級	
IT 基本	コンピュータ科学基礎、コンピュータシステムの構成	SJJ009 / 5日間 コンピュータ基礎	SJE701 / 8時間 eL【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-ハードウェア編-	SJE702 / 8時間 eL【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-ソフトウェア編-	SJE703 / 4時間 eL【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-情報の基礎理論編-	SJE704 / 4時間 eL【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-情報システム編-						
	セキュリティ、ネットワーク、データベースの基本	SCE708 / 4時間 eL【ナビ機能付き】情報セキュリティ入門-セキュリティの必要性と対策-	NWJ103 / 2日間 ネットワーク基礎	DBJ045 / 1日間 データベース入門-解説と操作体験-								
クラウド / サーバ仮想化	仮想化技術	CLJ005 / 1日間 実機で学ぶ！サーバ仮想化入門-VMware vSphere, Microsoft Hyper-V, KVM-	CLJ007 / 1日間 実機で学ぶ！デスクトップ仮想化入門-Citrix XenDesktopとVMware vSphere-			仮想化製品提供ベンダーごとのコース群						
	クラウド	UXE003 / 4時間 eL クラウドコンピューティング入門	CLJ003 / 1日間 クラウドコンピューティング技術解説	CLJ014 / 1日間 実機で学ぶ！クラウドコンピューティング入門		CLD001 / 2日間 事業と技術の観点から検討するクラウドへの移行と管理-Cloud Essentials-	SPJ040 / 0.5日間 クラウドコンピューティングで読み解くITサービスの最新動向	クラウドサービス提供ベンダーごとのコース群				
システム基盤	サーバOS	UNIX/Linux	UXJ061 / 2日間 UNIX/Linux 基礎-コマンド編-	UXJ049 / 2日間 UNIX/Linux 基礎-シェルスクリプト編-	UXJ029 / 2日間 Linuxシステム管理 前編-Linuxインストールとシステム ネットワーク管理の基礎-	UXJ030 / 2日間 Linuxシステム管理 後編-システム起動の仕組みとディスク管理技術-	UXE004 / 3時間 eL オープンソースソフトウェア(OSS)概説	UXJ062 / 2日間 Linuxトラブルシューティング				
	Windows	MSJ042 / 2日間 Windows Server 2016 管理概説	MSE305 / 13時間 eL【ナビ機能付き】マシンプラクティクス Windows Server 2012 管理概説	Windows Serverの運用目的に応じたコース群			Windows Serverの運用目的に応じたコース群					
データベース	データベース設計、実装技術	DBJ055 / 1日間 速習1日でわかるデータベース設計の基礎	DBJ043 / 2日間 基礎から学ぶSQL-現場で使える力をつける-	DBE706 / 4時間 eL【ナビ機能付き】データベース入門	データベース製品ごとのコース群							
ネットワーク	ネットワークシステムの要素技術	NWE715 / 8時間 eL【ナビ機能付き】LANの技術-高可用ネットワーク	NWE717 / 8時間 eL【ナビ機能付き】WANの技術-VPNサービスへの変遷-	NWJ147 / 1日間 ネットワークインフラ構築-基礎編-		NWJ133 / 2日間 ネットワークインフラ構築-スイッチ編-	NWJ138 / 2日間 ネットワークインフラ構築-ルータ編-					
	ネットワーク設計	NWE028 / 4時間 eL ネットワーク設計基礎	NWE703 / 12時間 eL【ナビ機能付き】IPv6の基礎と移行技術			NWJ120 / 2日間 ネットワークインフラ構築-冗長化・負荷分散編-	NWE708 / 4時間 eL【ナビ機能付き】Software Defined Networking (SDN)概説-ネットワーク仮想化-					
セキュリティ	要素技術、セキュリティ計画、リスクマネジメント	SCE706 / 8時間 eL【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説-セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度-	SCE703 / 6時間 eL【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎-要素技術(暗号、認証)編-	SCE705 / 6時間 eL【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎-ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編-	SCE704 / 4時間 eL【ナビ機能付き】データベースセキュリティ概説	SCJ038 / 1日間 情報セキュリティマネジメント運用	SCJ039 / 1日間 情報セキュリティマネジメントの評価と改善	SCD001 / 5日間 CEH (Certified Ethical Hacker)	SCJ047 / 1日間 ケーススタディから学ぶ情報セキュリティリスクマネジメント			
システム設計 / システム開発	ソフトウェアエンジニアリング	SJE707 / 4時間 eL【ナビ機能付き】システム開発の基礎	SPJ058 / 2日間 演習で学ぶ！情報システムの役割と開発の進め方			PMJ006 / 1日間 ソフトウェア開発の品質管理と信頼性-日立の取り組み紹介-						
	ニーズ分析、要件定義	SPJ024 / 2日間 システムの要件定義技法	CTJ052 / 1日間 eL【ナビ機能付き】現行システムのリプレイス/改修における現状洗い出しを確実にするための業務フロー作成技法	SPJ037 / 2日間 システムのコース分析		CTJ018 / 1日間 非機能要求の考え方	SPJ054 / 1日間 後工程で使えないユーザ/業務要件の漏れを未然に防ぐ業務設計と要件定義のコツ	CTJ059 / 2日間 (PDU)ビジネスアナリシスの基礎	CTJ051 / 1日間 ビジネス要求引き出しのための業務課題抽出のテクニック	CTJ050 / 2日間 (PDU)要求の引き出しとマネジメント	CTJ062 / 2日間 (PDU)エンタープライズ・ビジネスアナリシス	
	システム設計、業務アプリケーション設計	NWJ139 / 2日間 Webアプリケーション設計の基礎	NWJ144 / 1日間 スマートフォンの特性を踏まえたWebアプリケーション設計の考え方	SPE017 / 5時間 eL 構造化モデリングによるシステムの機能抽出		SPJ038 / 2日間 アプリケーション・アーキテクチャ策定演習	SPJ036 / 2日間 システム化要求を実現するための業務設計	SPJ056 / 1日間 開発での手戻りを最小限にする要件品質チェックのポイントと基本設計の肝		CTJ065 / 2日間 エンタープライズITアーキテクチャのセオリー		
	モデリング / オブジェクト指向	OJJ024 / 2日間 UMLによるオブジェクト指向モデリング										
	アプリケーション開発	Javaテクノロジー					SPJ039 / 0.5日間 事例から学ぶSaaS活用提案のポイント	CLJ012 / 2日間 クラウドアプリケーション開発	SPJ060 / 1日間 体験最新OSSを活用したDevOps入門-Lumadaに学ぶアプリケーション開発の進化-	SPJ059 / 1日間 (PDU)実践! DevOpsによるアジャイル開発-お客様に素早く価値を届けるために-		
プログラミング	アルゴリズム / プログラミング	CBJ001 / 2日間 アルゴリズムの基礎-フローチャート編-	CBE006 / 13時間 eL アルゴリズムの基礎-フローチャート編-	プログラミング言語ごとのコース群								
	テスト技法	SPE701 / 4時間 eL【ナビ機能付き】プログラムのテスト技法	SPJ028 / 4日間 品質確保のためのソフトウェアテスト	SPE016 / 4時間 eL 実践! テストケース設計(テスト技法演習編)	SPJ051 / 1日間 実践! テストケース設計(テスト設計実践編)	SPE019 / 2時間 eL 速習! Webシステムテストのポイント	SPJ042 / 1日間 Javaによるテスト駆動開発演習	SPJ025 / 1日間 SeleniumによるWebアプリケーションテスト自動化演習				
評価、改善、信頼性向上	リスクマネジメント					SPJ033 / 1日間 保守開発におけるトラブル対策の考え方	HSJ062 / 1日間 事例から学ぶシステムトラブル対策の考え方-高信頼性システム実現のために-			HSJ018 / 2日間 システムトラブルの予防と是正-ISMS・システム監査の視点から-		
プロジェクトマネジメント	プロジェクトマネジメント	PMJ065 / 2日間 プロジェクトマネジメント基礎				PMJ066 / 2日間 (PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践	CTJ037 / 2日間 (PDU) SEのためのベンダーマネジメント	知識エリアごとのコース群			PMJ067 / 1日間 (PDU) PMO視点からのプロジェクト運営の勘所(アセスメント)	PMD009 / 2日間 (PDU)プログラママネジメント-より価値の高いプロフェッショナルを育てるために-

eL eラーニング

日立講習会を活用したITサービス企画/開発/運用管理技術者のITスキル(ITの基礎体力)修得コースマップの例

分野	ITサービス企画/開発/運用管理技術者のITスキル(ITの基礎体力)							項目	初級			中級			上級		
	ITサービス戦略	システム構想	システム化計画	業務設計	業務詳細設計	テスト・移行	投資対効果		運用	ITサービス評価・改善	初級	中級	上級	初級	中級	上級	初級
新事業・サービスの創成								戦略/マーケティング				HSJ181 1日間 (PDU)ソリューション提案のための経営と情報戦略 -経営・事業・情報戦略のあるべき関係性- HSJ182 1日間 (PDU)ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向 -イノベーション実現のために-			HSJ017 1日間 (PDU) IT戦略の立案 -IT-BSCの活用による- CTD011 2日間 (PDU) IT経営ストラテジ (IT戦略コース)		
								イノベーション	HSJ163 1日間 クリエイティブシンキング HSJ157 2日間 システムシンキング基礎 -問題を構成する互いに影響しあふ要素の「つながり」を可視化する-			HSJ170 2日間 イノベティブ思考-単なるアイデアで終わらせないためのロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせかた- HSJ159 2日間 顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン			HSJ158 1日間 イノベーションプロセスを強化するシナリオプランニング		
								超上流工程				CTJ059 2日間 (PDU) ビジネスアナリシスの基礎 SPJ037 2日間 システムのニーズ分析 CTJ051 1日間 (PDU) ビジネス要求引き出しのための業務課題抽出のテクニック			CTJ060 2日間 (PDU) 要求の引き出しとマネジメント CTJ062 2日間 (PDU) エンタープライズ・ビジネスアナリシス		
サービス企画/開発								サービスプロデュース				HSJ177 1日間 実現可能性を高めるユーザーの言葉を使って解決する成果志向型のサービスデザイン -事業開発の失敗リスクを最小化するための事業・競争環境・内部プロセスの検討- CTJ055 1日間 IT主導で攻めのビジネスを実現するための構想立案とIT化企画の作り方					
								サービスレベル設計	ITE006 4時間 eL SLAにおけるサービスレベル設計の基礎			CTJ018 1日間 非機能要求の考え方					
システム化企画/導入								システム企画	SPJ058 2日間 演習で学ぶ!情報システムの役割と開発の進め方			CTJ054 1日間 IT活用による業務改善を実現するための問題分析と新業務プロセス設計技法 SPJ036 2日間 システム化要求を実現するための業務設計					
								要件定義	CTJ053 1日間 現場主導で現状業務の見える化を推進するための業務フロー作成技法 CTJ052 1日間 現行システムのリリース/改修における現状洗い出しを確実にするための業務フロー作成技法			SPJ024 2日間 システムの要件定義技法 CTJ018 1日間 非機能要求の考え方			CTJ065 2日間 エンタープライズITアーキテクチャのセオリー		
								運用テスト・移行	SPJ028 1日間 品質確保のためのソフトウェアテスト			CTJ026 1日間 情報システムのユーザーテストと移行・切替・本番稼働の準備実務					
ITサービス運用								ITシステム運用	ITJ008 1日間 情報システム運用入門 -運用からITサービスへ-			ITJ009 1日間 IT運用におけるヒューマンエラー予防 ITE006 4時間 eL SLAにおけるサービスレベル設計の基礎					
								クラウド	UXE003 4時間 eL クラウドコンピューティング入門 CLJ014 1日間 実機で学ぶ!クラウドコンピューティング入門			CLD001 2日間 事業と技術の観点から検討するクラウドへの移行と管理-Cloud Essentials- SPJ040 0.5日間 クラウドコンピューティングで読み解くITサービスの最新動向 SPJ039 0.5日間 事例から学ぶSaaS活用提案のポイント					
								セキュリティ	SCE708 4時間 eL 【ナビ機能付き】情報セキュリティテラシー -セキュリティの必要性と対策- SCE706 8時間 eL 【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説 -セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度- SCJ050 1日間 情報セキュリティ基礎 -セキュリティ全体を俯瞰する- SCE705 6時間 eL 【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎-ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編-			SCJ038 1日間 情報セキュリティマネジメント運用 SCJ047 1日間 ケーススタディから学ぶ情報セキュリティリスクマネジメント SCJ039 1日間 情報セキュリティマネジメントの評価と改善					
								ネットワーク	NWJ103 2日間 ネットワーク基礎 NWE715 8時間 eL 【ナビ機能付き】LANの技術-高可用ネットワーク-			NWJ099 2日間 TCP/IPプロトコル解析 NWE704 6時間 eL 【ナビ機能付き】ネットワーク管理解説			NWJ084 2日間 ネットワークトラブル解決		
								UNIX/Linuxサーバ	UXJ061 2日間 UNIX/Linux 基礎 -コマンド編- UXJ049 2日間 UNIX/Linux 基礎 -シェルスクリプト編-			UXJ029 2日間 Linuxシステム管理 前編 -Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎- UXJ030 2日間 Linuxシステム管理 後編 -システム起動の仕組みとディスク管理技術-			UXJ062 2日間 Linuxトラブルシューティング		
								Windowsサーバ	MSJ042 2日間 Windows Server 2016 管理概説 MSJ045 2日間 実践! Active Directoryの基礎 -Windows Server 2016編-			MSJ047 1日間 実践! Windows PowerShellを用いたシステム管理の効率化-Windows Server 2016編- MSJ048 2日間 実践! Windows Server 2016によるインフラ構築演習-Windows Server 2016編-					
								DB	DBJ045 1日間 データベース入門 -解説と操作体験- DBJ063 2日間 基礎から学ぶSQL -現場で使える力をつける- SCE704 4時間 eL 【ナビ機能付き】データベースセキュリティ概説			データベース製品ごとのコース群					
	ITサービスの評価								IT投資評価				CTJ016 1日間 (PDU) IT投資対効果の考え方 -IT投資マネジメントの基礎-			SPJ008 2日間 (PDU) IT投資の評価手法 -IT投資の種類・パターンから効果を考える-	
							ITサービスの品質向上				HSJ062 1日間 事例から学ぶシステムトラブル対策の考え方 -高信頼性システム実現のために-			HSJ018 2日間 システムトラブルの予防と是正 -ISMS・システム監査の視点から-			
ITサービスのライフサイクル全体								ITサービスのグローバルスタンダード	ITJ012 3日間 (PDU) ITIL®ファンデーション (認定試験付)			ITJ004 2日間 システム運用の現状分析・設計力養成ワークショップ					

eL eラーニング : コース内で主に扱う工程 : コース内で概要もしくは副次的に扱う工程

TOPICS

1 日立講習会コース活用例

2 開催コース/スケジュール一覧

3 講座別コースプロフィール

4 研修会場

5 お申込方法

6 受講規約

1 日立講習会コース活用例

2 開催コース／スケジュール一覧

日立講習会は下記の通り「日立製品研修」と「IT/ビジネス研修」からなり、ITの利活用に必要なコースを多数取り揃えております。

「日立製品研修」、「IT/ビジネス研修」の概要および提供するコースをご紹介します。

日立製品研修

日立製品

日立製作所のオープンミドルウェア、プラットフォームソフトウェアなどを扱うために必要な技術が修得できます。

●JP1

統合システム運用管理ソフトウェアJP1を扱うために必要となる機能や操作、設定方法等の技術が修得できます。

●uCosminexus Application Server

uCosminexus Application Serverを使用したアプリケーション開発やシステム構築を行ううえで必要となる知識と技術が修得できます。

●HiRDB

データベースマネジメントシステムであるHiRDBのシステム運用やアプリケーション開発を行ううえで必要となる知識と技術が修得できます。

●OpenTP1

TPモニタであるOpenTP1システムの構築や運用、およびアプリケーションを開発するうえで必要となる知識と技術が修得できます。

●VOS3 / VOS1 / VOSK

日立メインフレームOSであるVOS3、VOS1、VOSKの使用法や機能、システム運用管理技術が修得できます。

●XDM / PDMII

日立メインフレームDB/DCであるXDM、PDM IIの機能や設定、システム運用管理技術が修得できます。

●Hitachi Advanced Data Binder

情報系システム向け超高速データベースエンジン、Hitachi Advanced Data Binderのアーキテクチャや導入までのWBS、設計や構築・運用管理に必要なスキルが修得できます。

●日立ストレージ

日立ブロックストレージに関する製品・機能について必要な知識やスキルを修得できます。

●Pentaho

データ統合・分析基盤であるPentahoを使用したデータの統合処理や、分析・可視化に必要な機能や操作等の技術が修得できます。

IT/ビジネス研修

デジタルトランスフォーメーション

デジタル化の波に対応するための要素技術やデジタルビジネスに必要なスキルが修得できます。

●IT活用

デジタルソリューション (IoT/AI/Lumada) の概要を理解し、ビジネスを展開するためのスキルが修得できます。

●イノベーション

イノベーションのプロセス、思考技法、必要な事業戦略の知識が修得できます。

●IoT/AI/Lumada

IoTやAIなどのデジタル化に必要なシステム開発技術が修得できます。

●ビッグデータ

ビッグデータの概要と、関連する要素技術や活用手法の概要が修得できます。

●データ分析

データ可視化、統計的機械学習手法の計画の立て方、手法、考察の仕方が修得できます。

●サイバーセキュリティ

サイバー攻撃に伴う予防およびインシデント発生時の初動の対応するためのスキルが修得できます。

●RPA

RPA (Robotic Process Automation) 製品を使用して業務自動化のロボットを開発するために必要な基礎知識と技術が修得できます。

クラウド／サーバ仮想化

クラウド/サーバ仮想化やクラウドという最新システムについての基礎知識と技術が修得できます。

ITサービスマネジメント

情報システムを活用し、ビジネスを支援するITサービスの業務プロセスを管理・改善するITサービスマネジメントの基礎知識・手法が修得できます。

システム基盤

ネットワーク、データベースやOSなどのシステム基盤構築、管理するために必要な技術が修得できます。

●IT基本

IT基礎力に必要な知識や技術が修得できます。

●オープンソースソフトウェア (OSS)

OSSの概要や活用方法を理解し、OSSによるシステム運用やサーバ構築に関する技術が修得できます。

●Linux

Linuxの機能や操作方法を理解し、システム構築・運用管理に関する技術が修得できます。

●Microsoft

Windows ServerなどのMicrosoft製品を使用した、システム構築・運用管理に関する技術が修得できます。

●ネットワーク

ネットワークの構成を理解し、LANおよびWANに接続したシステム設計・構築・運用管理に関する技術が修得できます。

●ハードウェア

サーバ・ストレージシステムの構築・活用に有効なハードウェア技術が修得できます。

●セキュリティ

個人情報保護や情報セキュリティに関する基礎知識、セキュリティを考慮したシステム構築・管理に必要な技術が修得できます。

●データベース

データベースの概念を理解し、データベースシステムを構築するための技術が修得できます。

IT戦略・IS企画

IT戦略・企画立案やプロセス評価、BA (Business Analysis) に関する知識や手法が修得できます。

システム開発

システム開発/アプリケーション開発を行うために必要な技術が修得できます。

●要件定義/設計

情報システムの開発に必要な基礎知識や、開発手順、分析、設計技法が修得できます。

●モデリング

オブジェクト指向の基本概念やUMLによるシステム分析、設計、プログラミングが修得できます。

●プログラミング

各種プログラミング言語を使用したプログラム開発を行うために必要な基本文法やプログラミング技術、Webアプリケーションの開発技術が修得できます。

情報処理技術者試験対策

情報処理技術者試験の資格取得に向け、知識や解答技法が修得できます。

ITリテラシ

情報の扱い方、特にコンピュータを利用して業務を行うための基礎的な知識や技術が修得できます。

プロジェクトマネジメント

情報システム開発プロジェクトの計画・実行を行うために必要な知識や手順、技法が修得できます。

コンプライアンス

個人情報保護や情報セキュリティ、内部統制といった、コンプライアンス意識向上に不可欠な知識が修得できます。

ビジネス/ヒューマン

仕事を進めるうえで必要となるスキル (ロジカルシンキング、コミュニケーション、ライティング、リーダーシップ、業務知識など) が修得できます。

グローバル

グローバルでビジネスを進めるうえで必要となるスキル (グローバルマインドセット、各国の動機付け要因、反発要因など) が修得できます。

 新設コース

分野	コースコード	コース名	日数*	
● 日立製品				
JP1	JPE322	<eラーニング>【マシン演習付き】JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1-ジョブ定義・監視-	12時間	
	JPE323	<eラーニング>【マシン演習付き】JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2-システム設定・運用管理-	12時間	
Pentaho	PTJ001	Pentahoによるデータの可視化・分析	0.5日	
	PTJ002	データ加工・統合入門-Pentahoを用いて-	1日	
● デジタルトランスフォーメーション				
IoT/AI/Lumada	IOE002	<eラーニング>IoT技術解説 セキュリティ編	3時間	
	IOE003	<eラーニング>IoT技術解説 IoTネットワーク編	3時間	
RPA	RPJ001	RPA入門-概説と操作体験(Automation Anywhere) -	1日	
	RPD001	Mastering Bots: Design and Build an Advanced Digital Workforce	3日	
● システム基盤				
Microsoft	MSJ051	ここが新しい! Windows Server 2019新機能	1日	
セキュリティ	情報セキュリティ	SCJ048	セキュリティリスク分析-IPA「制御システムのセキュリティリスク分析ガイド」解説-	1日
データベース	Oracle	DBE346	<eラーニング>【マシン演習付き】MySQL 5.7 データベース管理 I	14時間
		DBE347	<eラーニング>【マシン演習付き】MySQL 5.7 データベース管理 II	21時間
● IT戦略・IS企画				
IT戦略・IS企画	CTD010	(PDU) IT経営ストラテジ(経営戦略コース) PDU	2日	
	CTD011	(PDU) IT経営ストラテジ(IT戦略コース) PDU	2日	
● システム開発				
要件定義/設計	CTJ065	エンタープライズ ITアーキテクチャのセオリー	2日	
	SPD002	DevOpsテスト入門~継続的デリバリーを実現するテスト自動化の基礎~	1日	
	SPD003	テストプロセス改善~評価・改善案策定を一日で習得!~	1日	
プログラミング	Web関連技術	NWE031	<eラーニング>Webアプリケーション設計の基礎	8時間
● 情報処理技術者試験対策				
情報処理技術者試験対策	春期実施試験対策	SJD004	データベーススペシャリスト試験【DB】対策講座(合格に必要な知識と解答力を養う)	3日
		SJD005	データベーススペシャリスト試験【DB】対策講座(試験直前に模擬試験で得点をUPする)	1日
		SJD011	春期高度試験【PM】【AU】対策講座 実践!論文を書く-添削指導で合格するための論述力を養成する-	2日
● プロジェクトマネジメント				
プロジェクトマネジメント	SPJ064	スクラムの基礎と実践	1日	

*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています。
PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

分野	コースコード	コース名	日数*
● ビジネス/ヒューマン			
ビジネス/ヒューマン	マネジメント/リーダーシップ	HSJ197 自分を知り他者を知るコミュニケーションマネジメント-DISCモデルによる-	2日
	セールス	CTJ305 体系的に学ぶ提案活動の進め方-プロポーザルマネジメント 戦略策定と骨子づくり編-	2日
		CTJ306 はかどる・伝わる!提案書作成-プロポーザルマネジメント 顕在・潜在ニーズ訴求編-	1日

*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています。
PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

改訂コース

コース内容の大幅な変更(改訂)と、コース名称を変更したものは下記の通りです。改訂したコースについては、表右側の「改訂のポイント」をご覧ください。

分野	コースコード	コース名	日数*	改訂のポイント
----	--------	------	-----	---------

● 日立製品(コースコード末尾に「T」を表示しているコースは「試験付」です。)

JP1	JPJ277	JP1操作入門 旧コースコードおよび名称>> JPJ235 JP1操作入門(Version 12)	1日	コース名称変更
	JPJ278 (JPJ278T)	JP1エンジニア-機能概説- 旧コースコードおよび名称>> JPJ236/JPJ236T JP1エンジニア-機能概説-(Version 12)	1日	コース名称変更
	JPJ279	JP1プロフェッショナル 統合管理 1-システム監視- 旧コースコードおよび名称>> JPJ237 JP1プロフェッショナル 統合管理1-システム監視-(Version 12)	2日	コース名称変更
	JPJ280 (JPJ280T)	JP1プロフェッショナル 統合管理 2-システム設定- 旧コースコードおよび名称>> JPJ238/JPJ238T JP1プロフェッショナル 統合管理2-システム設定-(Version 12)	2日	コース名称変更
	JPJ281 (JPJ281T)	JP1プロフェッショナル 統合管理 セットコース 旧コースコードおよび名称>> JPJ239/JPJ239T JP1プロフェッショナル 統合管理セットコース(Version 12)	4日	コース名称変更
	JPJ282 (JPJ282T)	JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 旧コースコードおよび名称>> JPJ240/JPJ240T JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理(Version 12)	2日	コース名称変更
	JPJ283	JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1-ジョブ定義・監視- 旧コースコードおよび名称>> JPJ241 JP1プロフェッショナル ジョブ管理1-ジョブ定義・監視-(Version 12)	2日	コース名称変更
	JPJ284 (JPJ284T)	JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2-システム設定・運用管理- 旧コースコードおよび名称>> JPJ242/JPJ242T JP1プロフェッショナル ジョブ管理2-システム設定・運用管理-(Version 12)	2日	コース名称変更
	JPJ285 (JPJ285T)	JP1プロフェッショナル ジョブ管理 セットコース 旧コースコードおよび名称>> JPJ243/JPJ243T JP1プロフェッショナル ジョブ管理セットコース(Version 12)	4日	コース名称変更
	JPJ286	JP1プロフェッショナル IT運用自動化 旧コースコードおよび名称>> JPJ244 JP1プロフェッショナル IT運用自動化(Version 12)	2日	コース名称変更

JP1	JPJ288	JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1-ネットワーク管理基盤- 旧コースコードおよび名称>> JPJ246 JP1プロフェッショナル ネットワーク管理1-ネットワーク管理基盤-(Version 12)	2日	コース名称変更
	JPJ289 (JPJ289T)	JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2-システムリソース管理- 旧コースコードおよび名称>> JPJ247/JPJ247T JP1プロフェッショナル ネットワーク管理2-システムリソース管理-(Version 12)	1日	コース名称変更
	JPJ290 (JPJ290T)	JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 セットコース 旧コースコードおよび名称>> JPJ248/JPJ248T JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 セットコース(Version 12)	3日	コース名称変更
	JPJ291	JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 1-資産管理編- 旧コースコードおよび名称>> JPJ249 JP1プロフェッショナル 資産・配布管理1-資産管理編-(Version 12)	1日	コース名称変更
	JPJ292	JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 2-セキュリティ管理編- 旧コースコードおよび名称>> JPJ250 JP1プロフェッショナル 資産・配布管理2-セキュリティ管理編-(Version 12)	1日	コース名称変更
	JPJ293 (JPJ293T)	JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 3-配布管理編- 旧コースコードおよび名称>> JPJ251/JPJ251T JP1プロフェッショナル 資産・配布管理3-配布管理編-(Version 12)	1日	コース名称変更
	JPJ294 (JPJ294T)	JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 セットコース 旧コースコードおよび名称>> JPJ276/JPJ276T JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 セットコース(Version 12)	3日	コース名称変更
	JPJ295 (JPJ295T)	JP1プロフェッショナル セキュリティ管理 旧コースコードおよび名称>> JPJ252/JPJ252T JP1プロフェッショナル セキュリティ管理(Version 12)	1日	コース名称変更
	JPJ287 (JPJ287T)	JP1プロフェッショナル バックアップ管理 旧コースコードおよび名称>> JPJ245/JPJ245T JP1プロフェッショナル バックアップ管理(Version 12)	1日	コース名称変更
	JPJ296 (JPJ296T)	JP1コンサルタント 統合管理 旧コースコードおよび名称>> JPJ253/JPJ253T JP1コンサルタント 統合管理(Version 12)	1日	コース名称変更
	JPJ297 (JPJ297T)	JP1コンサルタント パフォーマンス管理 旧コースコードおよび名称>> JPJ254/JPJ254T JP1コンサルタント パフォーマンス管理(Version 12)	1日	コース名称変更
	JPJ298	JP1コンサルタント ジョブ管理-システム設計編- 旧コースコードおよび名称>> JPJ255 JP1コンサルタント ジョブ管理-システム設計編-(Version 12)	1日	コース名称変更
	JPJ299 (JPJ299T)	JP1コンサルタント ジョブ管理-チューニング編- 旧コースコードおよび名称>> JPJ256/JPJ256T JP1コンサルタント ジョブ管理-チューニング編-(Version 12)	1日	コース名称変更
	JPJ301 (JPJ301T)	JP1コンサルタント ネットワーク管理 旧コースコードおよび名称>> JPJ258/JPJ258T JP1コンサルタント ネットワーク管理(Version 12)	1日	コース名称変更

*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています。
PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

TOPICS

1 日立講習会
コース活用例

2 開催コース/スケジュール一覧

3 講座別コースプロフィール
コースカリキュラム

4 研修会場

5 お申込方法

6 受講規約

2 開催コース/スケジュール一覧

分野	コースコード	コース名	日数*	改訂のポイント
JP1	JPJ300 (JPJ300T)	JP1コンサルタント 資産・配布管理 旧コースコードおよび名称>> JPJ257/JPJ257T JP1コンサルタント 資産・配布管理 (Version 12)	1日	コース名称変更
	JPJ302	【日立パートナー様 限定コース】JP1セールスコーディネーター 旧コースコードおよび名称>> JPJ259 【日立パートナー様 限定コース】JP1セールスコーディネーター (Version 12)	1日	コース名称変更
	JPE324	<eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3管理 1-ジョブ定義・監視-(Version 11) 旧コースコードおよび名称>> JPE313 <eラーニング>【マシン演習付き】JP1プロフェッショナルジョブ管理 1-ジョブ定義・監視-(Version 11)	12時間	コース名称変更
	JPE325	<eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3管理 2-システム設定・運用管理-(Version 11) 旧コースコードおよび名称>> JPE314 <eラーニング>【マシン演習付き】JP1プロフェッショナルジョブ管理 2-システム設定・運用管理-(Version 11)	12時間	コース名称変更

● デジタルトランスフォーメーション

IoT/AI/Lumada	IOJ020	「IoTシステム技術検定(基礎検定)」対策講座 旧コースコードおよび名称>> IOJ008 「IoTシステム技術検定(基礎検定)」対策講座	1日	解説項目の追加に伴い、開催時間の変更
	IOJ021	「IoTシステム技術検定(中級)」対策講座 旧コースコードおよび名称>> IOJ015 「IoTシステム技術検定(中級)」対策講座	2日	解説項目の追加に伴い、開催時間の変更
ビッグデータ	CLJ015	Hadoop入門-HBaseとSpark ハンズオン- 旧コースコードおよび名称>> CLJ002 Hadoop入門-インストールと操作体験-	1.5日	コース名称、演習の拡充による日数の変更、および受講料の改訂
サイバーセキュリティ	SCJ049	サイバー攻撃対応コミュニケーション訓練 旧コースコードおよび名称>> SCJ045 サイバー攻撃対応コミュニケーション訓練(実習編)	0.5日	コース名称変更

● クラウド / サーバ仮想化

クラウド / サーバ仮想化	CLD012	Architecting on AWS 旧コースコードおよび名称>> CLD005 Architecting on AWS	3日	コースコードの変更
	CLD013	Developing on AWS 旧コースコードおよび名称>> CLD007 Developing on AWS	3日	コースコードの変更
	VMD010	VMware vSphere:Install, Configure, Manage[V6.7] 旧コースコードおよび名称>> VMD007 VMware vSphere:Install, Configure, Manage[V6.5]	5日	製品のバージョンアップに伴い、コース名称変更

● システム基盤

オープンソースソフトウェア (OSS)	UXJ077	Linuxで実現! Zabbixによるシステム監視 旧コースコードおよび名称>> UXJ064 Linuxで実現! Zabbixによるシステム監視	1日	Zabbixのバージョンアップに伴うインストール手順の短縮による日数の変更、および受講料の改訂
セキュリティ	SCJ050	情報セキュリティ基礎-セキュリティ全体を俯瞰する- 旧コースコードおよび名称>> SCJ043 情報セキュリティ基礎-セキュリティ全体を俯瞰する-	1日	受講料の改訂

セキュリティ	SCJ051	ネットワークセキュリティ対策実習-FW/IDS/PKI- 旧コースコードおよび名称>> SCJ044 ネットワークセキュリティ対策実習	2日	コース名称変更
--------	--------	--	----	---------

● システム開発

プログラミング	OJJ032	Javaプログラミング3-StreamAPI、モジュールシステム編- 旧コースコードおよび名称>> OJJ021 ハンズオン Java8/9新機能	2日	コース名称変更
---------	--------	--	----	---------

● 情報処理技術者試験対策

情報処理技術者試験対策	SJE293	<eラーニング>集中演習 2020年 春期 ITパスポート試験【IP】 旧コースコードおよび名称>> SJE284 <eラーニング>集中演習 2019年 秋期 ITパスポート試験【IP】	80時間	コース名称変更
	SJE294	<eラーニング>集中演習 2020年 春期 基本情報技術者試験【FE】 旧コースコードおよび名称>> SJE286 <eラーニング>集中演習 2019年 秋期 基本情報技術者試験【FE】	200時間	コース名称変更
	SJE295	<eラーニング>集中演習 2020年 春期 応用情報技術者試験【AP】 旧コースコードおよび名称>> SJE287 <eラーニング>集中演習 2019年 秋期 応用情報技術者試験【AP】	162時間	コース名称変更
	SJE296	<eラーニング>集中演習 2020年 春期 情報セキュリティマネジメント試験【SG】 旧コースコードおよび名称>> SJE285 <eラーニング>集中演習 2019年 秋期 情報セキュリティマネジメント試験【SG】	162時間	コース名称変更
	SJE300	<eラーニング>集中演習 2020年 春期 情報処理安全確保支援士試験【SC】 旧コースコードおよび名称>> SJE288 <eラーニング>集中演習 2019年 秋期 情報処理安全確保支援士試験【SC】	162時間	コース名称変更
	SJE298	<eラーニング>集中演習 2020年 春期 データベーススペシャリスト試験【DB】 旧コースコードおよび名称>> SJE025 <eラーニング>集中演習 2019年 春期 データベーススペシャリスト試験【DB】	162時間	コース名称変更
	SJE297	<eラーニング>集中演習 2020年 春期 プロジェクトマネージャ試験【PM】 旧コースコードおよび名称>> SJE026 <eラーニング>集中演習 2019年 春期 プロジェクトマネージャ試験【PM】	162時間	コース名称変更
	SJE299	<eラーニング>集中演習 2020年 春期 システム監査技術者試験【AU】 旧コースコードおよび名称>> SJE027 <eラーニング>集中演習 2019年 春期 システム監査技術者試験【AU】	162時間	コース名称変更

● ビジネス/ヒューマン

ビジネス/ヒューマン	思考法	HSE126	<eラーニング>ロジカルシンキング基礎-論理の可視化と論理チェックのポイント- 旧コースコードおよび名称>> HSE035 <eラーニング>【学び直し】ロジカルシンキング基礎-論理の可視化と論理チェックのポイント-	8時間	コース名称変更
	プレゼンテーション	HSE127	<eラーニング>ロジカルプレゼンテーション基礎-レクチャ編- 旧コースコードおよび名称>> HSE039 <eラーニング>【学び直し】ロジカルプレゼンテーション基礎	8時間	コース名称変更
	コミュニケーション	HSE123	<eラーニング>報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎-レクチャ編- 旧コースコードおよび名称>> HSE041 <eラーニング>【学び直し】報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎	4時間	コース名称変更

*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています。
PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

分野	コースコード	コース名	日数*	改訂のポイント	
ビジネス/ ヒューマン	コミュニケーション	<eラーニング>リスニング力を高めるコミュニケーションスキルアップ-レクチャ編- 旧コースコードおよび名称>> HSE042 <eラーニング>【学び直し】リスニング力を高める コミュニケーションスキルアップ	4時間	コース名称変更	
		<eラーニング>アサーティブ・コミュニケーション-レクチャ編- 旧コースコードおよび名称>> HSE043 <eラーニング>【学び直し】アサーティブ・コミュニケーション	4時間	コース名称変更	
	マネジメント/ リーダーシップ	<eラーニング>メンバーシップとチームワーク-レクチャ編- 旧コースコードおよび名称>> HSE045 <eラーニング>【学び直し】メンバーシップとチームワーク	4時間	コース名称変更	
		<eラーニング>リーダーシップの原理・原則 旧コースコードおよび名称>> HSE108 <eラーニング>【学び直し】リーダーシップの原理・原則	4時間	コース名称変更	
	HSJ196	リーダーのためのマインドフルネス基礎 -成果発揮へのセルフリーダーシップとマインドフル- 旧コースコードおよび名称>> HSJ166 マインドフルリーダーシップ基礎	1日	コース名称変更	
	HSE121	<eラーニング>コーチング基礎-レクチャ編- 旧コースコードおよび名称>> HSE047 <eラーニング>【学び直し】コーチング基礎	4時間	コース名称変更	
	HSJ194	(PDU)半日でレベルアップ!コーチング実習 PDU 旧コースコードおよび名称>> HSJ179 半日でレベルアップ!コーチング実習	0.5日	PDU対象コースに改訂	
	HSJ195	(PDU)部下のパフォーマンスを高める 1 on 1 ミーティングとフィードバック PDU 旧コースコードおよび名称>> HSJ186 部下のパフォーマンスを高めるOne on Oneミーティングと フィードバック	1日	PDU対象コースに改訂	
	● グローバル				
	グローバル	GBE025	<eラーニング>多様性の理解(グローバルナビゲーター) A. アジア編 旧コースコードおよび名称>> GBE006 <eラーニング>多様性の理解(グローバルナビゲーター) A. アジア編	3時間	ミャンマーの文化/思想/価値観/習慣の内容を追加
GBE026		<eラーニング>多様性の理解(グローバルナビゲーター) B. ロシア、インド、イスラム編 旧コースコードおよび名称>> GBE007 <eラーニング>多様性の理解(グローバルナビゲーター) B. ロシア、インド、イスラム編	3時間	UAEの文化/思想/価値観/習慣の内容を追加	

*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています。
PDU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

廃止コース

新設コースの実施や大幅な内容改訂を図り、ニーズの高いコース・お役に立てるコースの充実に努めております。そのため、大変ご迷惑をお掛けしますが、次のコースを廃止とさせていただきます。なお、下記廃止コースのうち、内容が同等または類似のコースがある場合は、廃止コース名の下段に対象のコース名をご紹介します。コースの詳細は日立アカデミーのホームページをご覧ください。

分野	コースコード	コース名	日数*
● 日立製品 (コースコード末尾に「T」を表示しているコースは「試験付」です。)			
JP1	JPJ090	JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1-ジョブ定義・監視-(Version 11) >>同等または類似のコースコードおよび名称>> JPJ283 JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1-ジョブ定義・監視-	2日
	JPJ091	JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2-システム設定・運用管理-(Version 11) >>同等または類似のコースコードおよび名称>> JPJ284/JPJ284T JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2-システム設定・運用管理-	2日
	JPJ092	JP1プロフェッショナル ジョブ管理セットコース(Version 11) >>同等または類似のコースコードおよび名称>> JPJ285/JPJ285T JP1プロフェッショナル ジョブ管理 セットコース	4日
Pentaho	PTD006 (Pentaho認定) PentahoとHadoopフレームワークの基本	2日	
● デジタルトランスフォーメーション			
IoT/AI/Lumada	IOJ012	IoT技術解説-セキュリティ編- >>同等または類似のコースコードおよび名称>> IOE002 <eラーニング>IoT技術解説 セキュリティ編	0.5日
	IOJ013	IoT技術解説-IoTネットワーク編- >>同等または類似のコースコードおよび名称>> IOE003 <eラーニング>IoT技術解説 IoTネットワーク編	0.5日
	IOJ014	IoT技術解説-センサ編-	0.5日
	● クラウド/サーバ仮想化		
クラウド/サーバ仮想化	CLD005T	Architecting on AWS(受験バウチャーチケット付き) >>同等または類似のコースコードおよび名称>> CLD012 Architecting on AWS	3日
	CLD006T	Systems Operations on AWS(受験バウチャーチケット付き) >>同等または類似のコースコードおよび名称>> CLD006 Systems Operations on AWS	3日
	CLD007T	Developing on AWS(受験バウチャーチケット付き) >>同等または類似のコースコードおよび名称>> CLD013 Developing on AWS	3日
	CLD009	AWS認定試験準備ワークショップ:ソリューションアーキテクトアソシエイト	0.5日
	CLD011	AWS Security Fundamental	1日
	● システム基盤		
オープンソースソフトウェア(OSS)	UXJ071	Linuxで構築するクラウド基盤-OpenStack編-	2日
	UXJ074	<研修室自習型>Linuxで構築するKVM仮想化環境	1日

*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています。
PDU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

分野	コースコード	コース名	日数※	
オープンソースソフトウェア (OSS)	UXJ073	<研修室自習型>Linuxで実現!DNS、Webサーバの構築- BIND、Apache編- >>同等または類似のコースコードおよび名称>> NWJ148 インターネットプロトコル(DNS、メール、HTTP)解説とサーバ構築	1日	
	UXJ075	Linuxで実現!社内ネットワークサーバの構築-LDAP/SambaによるWindowsネットワークとの統合-	2日	
	UXE302	<eラーニング>【マシン演習付き】OSSによるWebシステム構築-Linux、Apache、PostgreSQL、PHP-	13時間	
データベース	Oracle	DBE344	<eラーニング>【マシン演習付き】MySQL データベース管理 I/II >>同等または類似のコースコードおよび名称>> DBE346 <eラーニング>【マシン演習付き】MySQL 5.7 データベース管理 I、および DBE347 <eラーニング>【マシン演習付き】MySQL 5.7 データベース管理 II	35時間
● IT戦略・IS企画				
IT戦略・IS企画	CTD006	IT経営ストラテジ >>同等または類似のコースコードおよび名称>> CTD010 (PDU) IT経営ストラテジ(経営戦略コース)、および CTD011 (PDU) IT経営ストラテジ(IT戦略コース)	2日	
	CTJ050	情報システム導入の社内企画・準備、外部委託先選定の実務	1日	
● プロジェクトマネジメント				
プロジェクトマネジメント	PMJ033	(PDU)ファンクションポイント法基礎 PDU	1日	
	SPJ044	アジャイル開発プロセスの基礎知識 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> SPJ064 スクラムの基礎と実践	1日	
	SPJ043	(PDU)スクラムの基礎と実践 PDU >>同等または類似のコースコードおよび名称>> SPJ064 スクラムの基礎と実践	1日	
● コンプライアンス				
コンプライアンス	HSJ105	システム監査で学ぶ開発・保守とリスク評価	2日	
● ビジネス/ヒューマン				
ビジネス/ヒューマン	マネジメント/リーダーシップ	HSJ071	個人と組織のマネジメント-部長・課長コース-	1泊3日

※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています。

PDU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

開催コース/スケジュール一覧

日立製品(コースコード末尾に「T」を表示しているコースは「試験付」です。「試験」は研修終了後に実施します。)

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
JPJ277	Renewal	JP1操作入門	¥44,000	1日	マシン実習	東京(大森)		1	3	10	3		-
JPJ278 (JPJ278T)	Renewal	JP1エンジニア-機能概説-	¥44,000 (¥50,600)	1日	レクチャ	東京(大森)	11	8	2	20	21		-
JPJ279	Renewal	JP1プロフェッショナル 統合管理 1 -システム監視-	¥110,000	2日	マシン実習	東京(大森) 大阪		18~19	17~18	28~29	25~26	12~13	-
JPJ280 (JPJ280T)	Renewal	JP1プロフェッショナル 統合管理 2 -システム設定-	¥110,000 (¥118,800)	2日	マシン実習	東京(大森)		20~21	19~20	30~31	27~28		-
JPJ281 (JPJ281T)	Renewal	JP1プロフェッショナル 統合管理 セットコース	¥198,000 (¥206,800)	4日	マシン実習	東京(大森)		18~21	17~20	28~31	25~28		-
JPJ282 (JPJ282T)	Renewal	JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理	¥110,000 (¥118,800)	2日	マシン実習	東京(大森)		14~15		20~21	20~21		-
JPJ283	Renewal	JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 -ジョブ定義・監視-	¥110,000	2日	マシン実習	東京(大森) 大阪 名古屋	15~16	5~6, 18~19 12~13	2~3, 17~18	7~8, 21~22	4~5, 25~26	10~11, 23~24	-
JPJ284 (JPJ284T)	Renewal	JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 -システム設定・運用管理-	¥110,000 (¥118,800)	2日	マシン実習	東京(大森) 大阪 名古屋	17~18	7~8, 20~21 14~15	4~5, 19~20	9~10, 23~24	6~7, 27~28	12~13, 25~26	-
JPJ285 (JPJ285T)	Renewal	JP1プロフェッショナル ジョブ管理 セットコース	¥198,000 (¥206,800)	4日	マシン実習	東京(大森) 大阪 名古屋	15~18	5~8, 18~21 12~15	2~5, 17~20	7~10, 21~24	4~7, 25~28	10~13, 23~26	-
JPE322	New	<eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 -ジョブ定義・監視-	¥110,000	12時間	eラーニング マシン実習	学習開始日	11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
JPE323	New	<eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 -システム設定・運用管理-	¥110,000	12時間	eラーニング マシン実習	学習開始日	11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
JPJ286	Renewal	JP1プロフェッショナル IT運用自動化	¥110,000	2日	マシン実習	東京(大森)			9~10				-
JPJ288	Renewal	JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1 -ネットワーク管理基盤-	¥110,000	2日	マシン実習	東京(大森)		5~6	9~10	14~15		2~3	-
JPJ289 (JPJ289T)	Renewal	JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2 -システムリソース管理-	¥55,000 (¥63,800)	1日	マシン実習	東京(大森)		7	11	16		4	-
JPJ290 (JPJ290T)	Renewal	JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 セットコース	¥143,000 (¥151,800)	3日	マシン実習	東京(大森)		5~7	9~11	14~16		2~4	-
JPJ291	Renewal	JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 1 -資産管理編-	¥55,000	1日	マシン実習	東京(大森)			2		17		-
JPJ292	Renewal	JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 2 -セキュリティ管理編-	¥55,000	1日	マシン実習	東京(大森)			3		18		-
JPJ293 (JPJ293T)	Renewal	JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 3 -配布管理編-	¥55,000 (¥63,800)	1日	マシン実習	東京(大森)			4		19		-
JPJ294 (JPJ294T)	Renewal	JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 セットコース	¥143,000 (¥151,800)	3日	マシン実習	東京(大森)			2~4		17~19		-
JPJ295 (JPJ295T)	Renewal	JP1プロフェッショナル セキュリティ管理	¥55,000 (¥63,800)	1日	マシン実習	東京(大森)				10			-
JPJ287 (JPJ287T)	Renewal	JP1プロフェッショナル バックアップ管理	¥55,000 (¥63,800)	1日	マシン実習	東京(大森)				22			-
JPJ296 (JPJ296T)	Renewal	JP1コンサルタント 統合管理	¥55,000 (¥66,000)	1日	レクチャ	東京(大森)						9	-
JPJ297 (JPJ297T)	Renewal	JP1コンサルタント パフォーマンス管理	¥55,000 (¥66,000)	1日	レクチャ	東京(大森)						10	-

New: 新設コース Renewal: 改訂コース 休講: 今期の定期開催はありません

PDU: PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.59)を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング) サービス有効期間/学習終了日
JPJ298	Renewal	JP1コンサルタント ジョブ管理 -システム設計編-	¥55,000	1日	レクチャ	東京(大森)			19			18	-
JPJ299 (JPJ299T)	Renewal	JP1コンサルタント ジョブ管理 -チューニング編-	¥55,000 (¥66,000)	1日	レクチャ	東京(大森)			20			19	-
JPJ301 (JPJ301T)	Renewal	JP1コンサルタント ネットワーク管理	¥55,000 (¥66,000)	1日	レクチャ	東京(大森)						17	-
JPJ300 (JPJ300T)	Renewal	JP1コンサルタント 資産・配布管理	¥55,000 (¥66,000)	1日	レクチャ	東京(大森)						16	-
JPJ302	Renewal	【日立パートナー様 限定コース】 JP1セールスコーディネーター	¥25,300	1日	レクチャ	東京(大森)		1			3		-
JPE016		<eラーニング> JP1機能概説 (Version 11)	¥30,800	6時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日になります
JPE017		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1 /IM管理 1 -システム監視- (version 11)	¥110,000	12時間	eラーニング マシン演習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
JPE018		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1 /IM管理 2 -システム設定- (version 11)	¥110,000	12時間	eラーニング マシン演習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
JPE324	Renewal	<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1 /AJS3管理 1 -ジョブ定義・監視- (Version 11)	¥110,000	12時間	eラーニング マシン演習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
JPE325	Renewal	<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1 /AJS3管理 2 -システム設定・運用管理- (Version 11)	¥110,000	12時間	eラーニング マシン演習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
JPJ102		JP1 /AJS3 エキスパート育成講座 -開発編-	¥55,000	1日	マシン演習	東京(大森)						23	-
JPJ103		JP1 /AJS3 エキスパート育成講座 -運用編-	¥55,000	1日	マシン演習	東京(大森)						24	-
JPE019		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1 /PFM (Version 11)	¥110,000	12時間	eラーニング マシン演習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
JPE308		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1 /IM管理 1 -システム監視- (Version 10)	¥88,000	12時間	eラーニング マシン演習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
JPE309		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1 /IM管理 2 -システム設定- (Version 10)	¥88,000	12時間	eラーニング マシン演習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
JPE310		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1 /PFM (Version 10)	¥88,000	12時間	eラーニング マシン演習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
JPE006		<eラーニング> JP1機能概説 (Version 10)	¥28,050	6時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日になります
JPE311		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1 /AJS3管理 1 -ジョブ定義・監視- (Version 10)	¥88,000	12時間	eラーニング マシン演習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
JPE312		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1 /AJS3管理 2 -システム設定・運用管理- (Version 10)	¥88,000	12時間	eラーニング マシン演習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です

uCosminexus Application Server (掲載ページ: P. 75 ~)

CSE302		<eラーニング>【マシン演習付き】 uCosminexus Application Server 入門-構築基礎-	¥33,000	6時間	eラーニング マシン演習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
CSE303		<eラーニング>【マシン演習付き】 uCosminexus Application Server 実践1-設計・構築-	¥88,000	12時間	eラーニング マシン演習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
CSE304		<eラーニング>【マシン演習付き】 uCosminexus Application Server 実践2-トラブルシューティング-	¥44,000	6時間	eラーニング マシン演習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
CSE001		<eラーニング> uCosminexus Application Server 実践3-性能設計・性能対策-	¥33,550	6時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日になります

※下記集合研修のコースについてお問い合わせがある場合は、日立オープンミドルウェア技術者認定センターまでご連絡願います。
 【CSJ017 uCosminexus Application Server 入門-構築基礎-】
 【CSJ018 uCosminexus Application Server 実践1-設計・構築-】
 【日立オープンミドルウェア技術者認定センター問い合わせ窓口】
https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/it/soft/cert_contact/form.jsp

*受講料(税込)は、2019年10月時点の消費税(10%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合、集合研修は講習会終了日、eラーニングは学習開始日時時点の税率を適用した金額となります。

*日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表示しています。

*自習テキストの受講料欄には教材費(テキスト販売費)を表記しています。

*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング) サービス有効期間/学習終了日
--------	------	------	----------	-----------	------	------	-----	-----	-----	----	----	----	-------------------------

HiRDB (掲載ページ: P. 77 ~)

DBJ064		HiRDB入門 -データベース構築編-	¥33,000	1日	レクチャ	東京(大森)						30	17	-
DBE338		<eラーニング>【ナビ機能付き】【マシン演習付き】 HiRDB入門-データベース構築編-	¥33,000	7時間	eラーニング マシン演習			11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
DBE307		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDB入門 -GUIによる構築・運用・チューニング操作体験編-	¥33,000	7時間	eラーニング マシン演習			11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
DBE015		<eラーニング> HiRDB機能解説	¥26,950	7時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日になります	
DBJ092		HiRDBデータベース管理	¥66,000	2日	レクチャ	東京(大森)						11~12	3~4	-
DBE305		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDBデータベース管理	¥66,000	12時間	eラーニング マシン演習			11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
DBE306		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDB アプリケーションプログラミング	¥33,000	6時間	eラーニング マシン演習			11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
DBE026		<eラーニング> HiRDBデータベースチューニング	¥30,800	6.5時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日になります	
DBE318		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDB アプリケーションチューニング	¥88,000	13時間	eラーニング マシン演習			11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
DBE330		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDBバックアップリカバリとクラスタリング	¥88,000	12時間	eラーニング マシン演習			11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
DBE329		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDBパラレルサーバ構築	¥88,000	13時間	eラーニング マシン演習			11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です

OpenTP1 (掲載ページ: P. 81 ~)

DBJ009		OpenTP1基礎	¥33,000	1日	レクチャ	東京(大森)						13		-
DBE709		<eラーニング>【ナビ機能付き】 OpenTP1基礎	¥20,900	6時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日になります	
DBJ041		OpenTP1の設計と運用 -Server Base編-	¥88,000	2日	レクチャ	東京(大森)						23~24		-
DBE023		<eラーニング> OpenTP1の設計と運用-MCF編-	¥19,800	6時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日になります	
DBE014		<eラーニング> OpenTP1性能チューニング解説	¥11,000	4時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日になります	

VOS3/VOS1/VOSK (掲載ページ: P. 83 ~)

-		オペレーティングシステム入門(自習テキスト)	¥2,200	平均15時間	自習テキスト									-
VSJ016		VOS3基礎1 -はじめてのメインフレーム-	¥33,000	1日	レクチャ	東京(大森)						10	8	-
VSE003		<eラーニング> VOS3基礎1 -はじめてのメインフレーム-	¥18,700	8時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日になります	
VSJ015		VOS3基礎2-JCL-	¥61,600	2日	レクチャ	東京(大森)						11~12	9~10	-
VSE004		<eラーニング> VOS3基礎2-JCL-	¥36,300	16時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日になります	
VSJ011		VOS3システム解説	¥33,000	1日	レクチャ	東京(大森)						13	14	-
VSJ017		VOS3応用 -VSAMデータセットの活用-	¥33,000	1日	レクチャ	東京(大森)						15		-
VSJ018	休講	VOS3ジョブ管理解説	¥61,600	2日	レクチャ									-

New: 新設コース | 改訂コース | 休講: 今期の定期開催はおりません

POU: PMP®資格更新に必要なポイント(POU)を取得できます。

学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.59)を参照ください。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
-		VOS1使用法(自習テキスト)	¥8,800	平均12時間	自習テキスト								-
-		VOS1機能解説(自習テキスト)	¥8,800	平均12時間	自習テキスト								-
-		VOSK使用法(自習テキスト)	¥8,800	平均12時間	自習テキスト								-
-		VOSKシステム運用と管理(自習テキスト)	¥8,800	平均12時間	自習テキスト								-

XDM/PDMII (掲載ページ: P. 87 ~)

DBE016		<eラーニング> XDMリレーショナル DB機能と設定 -環境構築編-	¥15,620	4時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBE017		<eラーニング> XDMリレーショナル DB機能と設定 -データベース作成編-	¥15,620	4時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBE018		<eラーニング> XDMリレーショナル DB機能と設定 -運用編-	¥15,620	4時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBJ104	休講	XDMリレーショナル DB機能と設定	¥55,000	2日	レクチャ								-
DBE024		<eラーニング> XDM構造型DB機能と設定	¥55,000	18時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBJ105	休講	XDM構造型DB機能と設定	¥82,500	3日	レクチャ								-
DBE025		<eラーニング> XDM/DCCM3機能解説とシステム運用	¥37,400	12時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBJ103	休講	XDM/DCCM3機能解説とシステム運用	¥55,000	2日	レクチャ								-
DBE028		<eラーニング> XDMシステムの設計と運用	¥78,650	18時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
-		XDM RDBプログラミング(自習テキスト)	¥2,750	平均15時間	自習テキスト								-
-		XDM構造型DBプログラミング(自習テキスト)	¥5,280	平均24時間	自習テキスト								-
-		DCCM3入門(自習テキスト)	¥3,520	平均15時間	自習テキスト								-
-		DCCM3プログラミング(自習テキスト)	¥4,180	平均25時間	自習テキスト								-
-		PDMII入門(自習テキスト)	¥2,200	平均10時間	自習テキスト								-
-		PDMIIデータベース機能と設定(自習テキスト)	¥8,800	平均15時間	自習テキスト								-
-		PDMIIプログラミング(自習テキスト)	¥4,620	平均20時間	自習テキスト								-

Hitachi Advanced Data Binder (掲載ページ: P. 93 ~)

DBJ118		Hitachi Advanced Data Binder概説	¥17,600	0.5日	レクチャ	東京(大森)						4	-
--------	--	--------------------------------	---------	------	------	--------	--	--	--	--	--	---	---

日立ストレージ (掲載ページ: P. 94 ~)

SPL063		日立ストレージ製品概要 -ストレージ基礎・製品紹介編-	¥25,300	1日	レクチャ	東京(大森)		8		21			-
SPL064		日立ストレージハードウェア -ミッドレンジストレージ編-	¥38,500	1日	レクチャ	東京(大森)		26		28	21		-

*受講料(税込)は、2019年10月時点の消費税(10%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合、集合研修は講習会終了日、eラーニングは学習開始日時時点の税率を適用した金額となります。

*日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「TJ」)の受講料はカッコ内に表示しています。

*自習テキストの受講料欄には教材費(テキスト販売費)を表記しています。

*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。

SPL070		日立ストレージハードウェア -ハイエンドストレージ編-	¥38,500	1日	レクチャ	東京(大森)			6		14		-
SPL066		日立ストレージ機能 -バックアップ編-	¥38,500	1日	レクチャ	東京(大森)		27		29		9	-
SPL067		日立ストレージ機能 -仮想化編-	¥38,500	1日	レクチャ	東京(大森)		28		30		10	-
SPL068		日立ストレージ機能 -リモートコピー編-	¥38,500	1日	レクチャ	東京(大森)		29				11	-
SPL069		日立ストレージ機能 -無停止運用管理編-	¥38,500	1日	レクチャ	東京(大森)						12	-
SPL071		REST APIを使用したストレージ運用・管理	¥38,500	1日	マシンプレーン	東京(大森)						24	-

Pentaho (掲載ページ: P. 97 ~)

PTD001		(Pentaho認定) ビジネスアナリティクス ユーザーコンソール	¥110,000	1日	マシンプレーン	東京(大森)		19		15			-
PTJ001	New	Pentahoによるデータの可視化・分析	¥38,500	0.5日	マシンプレーン	東京(大森)	31		30			5	-
PTD002		(Pentaho認定) ビジネスアナリティクス レポートデザイナー	¥209,000	2日	マシンプレーン	東京(大森)		20~21			25~26		-
PTD003		(Pentaho認定) ビジネスアナリティクス データモデリング	¥209,000	2日	マシンプレーン	東京(大森)		25~26			16~17		-
PTD004		(Pentaho認定) CToolsの基本	¥209,000	2日	マシンプレーン	東京(大森)			5~6		27~28		-
PTJ002	New	データ加工・統合入門 -Pentahoを用いて-	¥66,000	1日	マシンプレーン	東京(大森)		1		31		6	-
PTD005		(Pentaho認定) データ統合の基本	¥308,000	3日	マシンプレーン	東京(大森)		27~29			5~7		-

デジタルトランスフォーメーション

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
--------	------	------	----------	-----------	------	------	-----	-----	-----	----	----	----	------------------------

IT利活用 (掲載ページ: P. 100 ~)

IOE001		<eラーニング> デジタルソリューションで活用するIT技術概説	¥19,800	8時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
--------	--	---------------------------------	---------	-----	--------	-------	------------------	---------------	---------------	---------------	---------------	-------	---------------------------

イノベーション (掲載ページ: P. 101 ~)

HSJ170		イノベティブ思考 -単なるアイデアで終わらせないためのロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせかた-	¥96,800	2日	グループ学習	東京(大森)	31~	1	5~6	9~10, 27~28, 29~30			-
HSJ163		クリエイティブシンキング	¥44,000	1日	グループ学習	東京(大森) 大阪	11	29	3, 19	27	19	6	-
HSJ158		イノベーションプロセスを強化するシナリオプランニング	¥49,500	1日	グループ学習	東京(大森)	15			20			-
HSJ157		システムシンキング基礎 -問題を構成する互いに影響しあう要素の「つながり」を可視化する-	¥96,800	2日	グループ学習	東京(大森)	8~9	7~8		30~31		4~5	-
HSJ175		データ利活用のパターンとビジネス着想	¥28,600	0.5日	レクチャ	東京(大森) 名古屋		6	9				-
HSJ159		顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン	¥66,000	2日	グループ学習	東京(大森)	28~29		16~17			3~4	-
HSJ177		実現可能性を高める!ユーザーの言葉を使って解決する成果志向型のサービスデザイン -事業開発の失敗リスクを最小化するための事業・競争環境、内部プロセスの検討-	¥38,500	1日	グループ学習	東京(大森)				17			-

New: 新設コース PDU: 改訂コース 休講: 今期の定期開催はありません

PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.59)を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
HSJ178		新規事業における利益の健全性評価と収益性の高いビジネスモデルのデザイン -不確実性の高いビジネスにおける仮説検証、価値ベースのプライシングを身に付ける-	¥38,500	1日	グループ学習	東京(大森)		18					-
HSJ176		顧客との関係を深め続けられる顧客接点のビジネスモデルデザイン -モバイル時代の消費者行動の変化を捉え、経験価値をデザインする-	¥38,500	1日	グループ学習	東京(大森)			2				-

IoT/AI/Lumada (掲載ページ: P. 104 ~)

IOJ001		IoT概説	¥20,900	0.5日	レクチャ	東京(大森) 大阪 名古屋	29 29 13	24 10 20					-
IOE002	New	<eラーニング>IoT技術解説 セキュリティ編	¥12,100	3時間	eラーニング	学習開始日		4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11		開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
IOE003	New	<eラーニング>IoT技術解説 IoTネットワーク編	¥12,100	3時間	eラーニング	学習開始日		4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11		開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
IOJ019		IoT技術解説 5G編	¥28,600	0.5日	レクチャ	東京(大森)		18			6		-
IOJ020	Renewal	[IoTシステム技術検定(基礎検定)]対策講座	¥33,000	1日	レクチャ	東京(大森)	25	13, 18, 25					-
IOJ021	Renewal	[IoTシステム技術検定(中級)]対策講座	¥92,400	2日	レクチャ	東京(大森) 大阪		7~8, 20~21 18~19					-
IOJ016		体験!Node-REDによるIoTシステム入門 -Raspberry Piを使用した 風車のリアルタイム監視から予兆診断まで-	¥41,800	1日	マシン学習	東京(大森)			6	17	5		-
SPJ060		体験!最新OSSを活用したDevOps入門 -Lumadaにおけるアプリケーション開発の流れ-	¥44,000	1日	マシン学習	東京(大森)		18	12	17	14		-
SPJ059		(PDU)実践!DevOpsによるアジャイル開発 -お客様に素早く価値を届けるために-	¥44,000	1日	マシン学習	東京(大森) 大阪		25				17	-
IOJ018		IoTにおけるイベント駆動型システム開発入門 -Hitachi Application Framework/ Event Driven Computing (HAF/EDC)による 故障予知診断を例にして-	¥22,000	0.5日	レクチャ	東京(大森)		1	2	15	18		-
IOJ017		IoTにおけるイベント駆動型システム開発実践 -Hitachi Application Framework/ Event Driven Computing (HAF/EDC)による アプリケーション、システム開発演習を通して-	¥83,600	2日	マシン学習	東京(大森)			17~18		25~26		-
DBJ088		体験!機械学習 -ビッグデータ時代のシステムを支える技術-	¥44,000	1日	マシン学習	東京(大森) 大阪 名古屋 広島 福岡	18 8 3 21 17			6			-
DBJ110		NVIDIA Deep Learning Institute (DLI) 認定コース 1日できるディープラーニング -画像認識入門-	¥88,000	1日	マシン学習	東京(大森)	25	25	18	7, 28			-
IOJ011		スマートスピーカの最新動向と 社会インフラ適用の可能性	¥40,700	0.5日	レクチャ	東京(大森)			16		21		-

ビッグデータ (掲載ページ: P. 109 ~)

DBJ081		ビッグデータ概説	¥22,000	0.5日	レクチャ	東京(大森) 大阪 名古屋	30 16 11	6	19				-
DBE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】 ビッグデータ概説	¥19,800	8時間	eラーニング	学習開始日	2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
DBJ089		NoSQL入門 -ビッグデータ時代のデータベース-	¥33,000	1日	マシン学習	東京(大森)			10	12			-

*受講料(税込)は、2019年10月時点の消費税(10%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合、集合研修は講習会終了日、eラーニングは学習開始日時時点の税率を適用した金額となります。
*日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「TJ」)の受講料はカッコ内に表示しています。
*自習テキストの受講料欄には教材費(テキスト販売費)を表記しています。
*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。

CLJ015	Renewal	Hadoop入門 -HBaseとSparkハンズオン-	¥57,750	1.5日	マシン学習	東京(大森)			19~20				-
DBE706		<eラーニング>【ナビ機能付き】 データウェアハウス概説	¥22,000	6時間	eラーニング	学習開始日	2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
DBE705		<eラーニング>【ナビ機能付き】 データウェアハウスにおけるデータモデリング解説	¥22,000	6時間	eラーニング	学習開始日	2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
DBJ106		ビッグデータにおけるシステム設計実践 -多様なデータを統合しビッグデータとして活用する-	¥48,125	1日	グループ学習	東京(大森) 大阪			1	16		17	-

データ分析 (掲載ページ: P. 114 ~)

HSJ108		定量分析のスキル -問題解決の精度を高める-	¥82,500	2日	グループ学習	東京(大森) 大阪 名古屋 広島 福岡	16~17, 28~29	7~8 20~21		21~22, 30~31	5~6, 18~19, 25~26	5~6, 9~10, 16~17	-	
OAJ048		Excelによるデータ可視化 -Excelでビジュアルに強くなる-	¥37,400	1日	マシン学習	東京(大森) 大阪 広島		6 12			22		-	
OAJ047		Excelによる売上データ分析 -Excelではじめるデータ活用の第一歩-	¥37,400	1日	マシン学習	東京(大森) 大阪 福岡		1 29				18	-	
HSJ112		仮説構築と調査検証 -仮説構築の考え方を学び、仮説に沿った調査手法を 選択し、調査結果を読み解く-	¥82,500	2日	グループ学習	東京(大森) 大阪 名古屋		14~15		23~24	25~26 19~20	3~4	-	
HSJ162		BI・マイニング事例で学ぶ データ分析提案の進め方	¥82,500	2日	グループ学習	東京(大森)		28~29		22~23		4~5	-	
HSJ109		データ分析手法の理論と適用 -ビジネスにおける統計的手法活用の広がり-	¥82,500	2日	マシン学習	東京(大森) 大阪 名古屋 広島 福岡	8~9, 23~24	25~26, 28~29	12~13 23~24		29~30	16~17	5~6 12~13	-
HSE116		<eラーニング> データ分析手法の理論と適用	¥36,300	14時間	eラーニング	学習開始日	2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります	
DBJ100		データビジュアライゼーション基礎	¥53,900	1日	マシン学習	東京(大森)	7		2				-	
DBE037		<eラーニング>流れを体験! 予測モデル構築のプロセス(基礎知識編) -初めてでもOK!データ分析を身近に-	¥39,600	9時間	eラーニング	学習開始日	2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります	
DBJ117		流れを体験! 予測モデルの構築プロセス(ケーススタディ編) -データのバリュアアップから結果説明に至るまで-	¥108,900	2日	マシン学習	東京(大森)			14~15		27~28		-	
DBJ115		データビジュアライゼーション実装 地図上への可視化編	¥38,500	1日	マシン学習	東京(大森)				27			-	
DBJ116		データビジュアライゼーション実装 ネットワークの可視化編	¥38,500	1日	マシン学習	東京(大森)					12		-	
DBJ112		試行錯誤から学ぶ!統計理論抜きで学ぶ Rによる統計的手法のハンズオン	¥38,500	1日	マシン学習	東京(大森) 大阪			27 8		15		-	
DBJ111		試行錯誤から学ぶ! Rによるデータ可視化のハンズオン	¥38,500	1日	マシン学習	東京(大森) 大阪				31			-	
DBJ107		0から始めるPython入門 -データ分析での活用をテーマとして-	¥77,000	2日	マシン学習	東京(大森) 大阪 名古屋			5~6 3~4			6~7	-	

New: 新設コース | Renewal: 改訂コース | 休講: 今期の定期開催はありません
PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.59)を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
DBE038		<eラーニング>【スキル定着】Pythonでのデータ可視化ーオープン環境を活用した実装力の磨き方ー	¥11,000	4時間		学習開始日	2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBD057		Rによる統計解析ー分析結果を統計的に正しく理解し、次の意思決定に向けた提案へー	¥220,000	2.5日		白台金 (BrainPad)			4~6		17~19	11~13	-
DBD059		機械学習による問題解決実践ー機械学習で大量データを分析し、データからビジネス価値を創出ー	¥220,000	2日		白台金 (BrainPad)			9~10		20~21	16~17	-
DBD058		SQLによる集計・分析ー分析の基本的なプロセスを修得し、自社DBデータの活用へー	¥132,000	1.5日		白台金 (BrainPad)			2~3		13~14	9~10	-

サイバーセキュリティ (掲載ページ: P. 119 ~)

SCE011		<eラーニング>サイバー攻撃対応基礎(知識修得編)	¥11,000	3時間		学習開始日	2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SCJ049		サイバー攻撃対応コミュニケーション訓練	¥28,600	0.5日		東京(大森) 大阪 名古屋 広島 福岡	29 18 25 13 27	18	21	19			-

RPA (掲載ページ: P. 121 ~)

RPJ001		RPA入門ー概説と操作体験(Automation Anywhere)ー	¥66,000	1日		東京(大森)	29		13				-
RPD001		Mastering Bots: Design and Build an Advanced Digital Workforce	¥231,000	3日		東京(大森)		11~13		27~29		2~4	-

クラウド/サーバ仮想化

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
--------	------	------	----------	-----------	------	------	-----	-----	-----	----	----	----	------------------------

クラウド/サーバ仮想化(掲載ページ: P. 122 ~)

CLE703		<eラーニング>【ナビ機能付き】ストレージ関連者向けサーバ仮想化技術概説	¥9,900	3時間		学習開始日	2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CLJ005		実機で学ぶ!サーバ仮想化入門ーVMware vSphere, Microsoft Hyper-V, KVMー	¥38,500	1日		東京(大森)		5	2		3		-
CLJ007		実機で学ぶ!デスクトップ仮想化入門ーCitrix XenDesktopとVMware vSphereー	¥38,500	1日		東京(大森)		8	24	29	28		-
CLJ014		実機で学ぶ!クラウドコンピューティング入門	¥38,500	1日		東京(大森)	7	29			13		-
CLE702		<eラーニング>【ナビ機能付き】デスクトップ仮想化概説	¥12,100	4時間		学習開始日	2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
UXE003		<eラーニング>クラウドコンピューティング入門	¥7,700	4時間		学習開始日	2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CLE002		<eラーニング>Cloud beginnerのためのインフラストラクチャ基礎	¥19,800	6時間		学習開始日	2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CLJ003		クラウドコンピューティング技術解説	¥38,500	1日		東京(大森) 大阪	17				13	18	-
CLJ012		クラウドアプリケーション開発	¥82,500	2日		東京(大森)			4~5			4~5	-
CLD001		事業と技術の観点から検討するクラウドへの移行と管理ーCloud Essentialsー	¥121,000	2日		東京(大森)			9~10			18~19	-
CLJ011		Microsoft Azure概説	¥38,500	1日		東京(大森) 名古屋	25		10		26	19	-
CLJ009		Microsoft Azureを用いたWebアプリ開発入門	¥38,500	1日		東京(大森)		8					-

*受講料(税込)は、2019年10月時点の消費税(10%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合、集合研修は講習会終了日、eラーニングは学習開始日時点の税率を適用した金額となります。

*日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表示しています。

*学習テキストの受講料欄には教材費(テキスト販売費)を表記しています。

*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。

CLD010		AWS Technical Essentials	¥154,000	2日		東京(大森)	15~16	18~19	5~6	29~30	19~20	9~10	-
CLD012		Architecting on AWS	¥231,000	3日		別途ご案内いたします							-
CLD006		Systems Operations on AWS	¥231,000	3日		別途ご案内いたします							-
CLD013		Developing on AWS	¥231,000	3日		東京(大森)					5~7		-
VMJ006		VMware vSphere システム構築実習[V6.5]ー実装編ー	¥110,000	2日		東京(大森)	31~	1	12~13	9~10		12~13	-
VMD010		VMware vSphere: Install, Configure, Manage[V6.7]	¥544,500	5日		東京(大森)		25~29		20~24		2~6	-

ITサービスマネジメント

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
--------	------	------	----------	-----------	------	------	-----	-----	-----	----	----	----	------------------------

ITサービスマネジメント(掲載ページ: P. 128 ~)

ITE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】運用管理概説	¥20,900	6時間		学習開始日	2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
ITJ008		情報システム運用入門ー運用からITサービスへー	¥33,000	1日		東京(大森)				29			-
ITJ012		(PDU) ITIL® ファンデーション(認定試験付) PDU	¥171,600	3日		東京(大森)	8~10	11~13	9~11	14~16	19~21		-
ITE006		<eラーニング>SLAにおけるサービスレベル設計の基礎	¥11,000	4時間		学習開始日	2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
ITJ009		IT運用におけるヒューマンエラー予防	¥44,000	1日		東京(大森) 大阪	3	19		9		17	-
ITJ004		システム運用の現状分析・設計力養成ワークショップ	¥83,600	2日		東京(大森)	9~10						-

システム基盤

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
--------	------	------	----------	-----------	------	------	-----	-----	-----	----	----	----	------------------------

IT基本(掲載ページ: P. 131 ~)

SJJ009		コンピュータ基礎	¥132,000	5日		東京(大森)	7~11						-
SJE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎ーハードウェア編ー	¥19,800	8時間		学習開始日	2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SJE702		<eラーニング>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎ーソフトウェア編ー	¥19,800	8時間		学習開始日	2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SJE703		<eラーニング>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎ー情報の基礎理論編ー	¥9,900	4時間		学習開始日	2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SJE704		<eラーニング>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎ー情報システム編ー	¥9,900	4時間		学習開始日	2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SJJ030		アプリケーション開発者のための文字コード入門ーアプリケーションの文字化けを防ぐー	¥33,000	1日		東京(大森)	11						-
ESE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】組込みシステムとは	¥20,900	7時間		学習開始日	2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります

オープンソースソフトウェア(OSS)(掲載ページ: P. 134 ~)

UXE004		<eラーニング>オープンソースソフトウェア(OSS)概説	¥9,900	3時間		学習開始日	2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
--------	--	------------------------------	--------	-----	--	-------	------------------	---------------	---------------	---------------	---------------	-------	---------------------------

: 新設コース : 改訂コース : 今期の定期開催はおりません

PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.59)を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
UXJ077	Renewal	Linuxで実現!Zabbixによるシステム監視	¥44,000	1日	マシン演習	東京(大森)			16		18		-
UXJ076		Linuxにおけるコンテナ環境の管理 -Kubernetes編-	¥44,000	1日	マシン演習	東京(大森)	18		2			6	-
UXJ028		OSSによるWebシステム構築 -Linux, Apache, PostgreSQL, PHP-	¥77,000	2日	マシン演習	東京(大森)		25~26			6~7		-
UXJ072		OSS-DB PostgreSQL 導入と運用	¥88,000	2日	マシン演習	東京(大森)						2~3	-

Linux (掲載ページ: P. 137 ~)

UXJ061		UNIX/Linux 基礎-コマンド編-	¥66,000	2日	マシン演習	東京(大森)		18~19			13~14		-
UXJ049		UNIX/Linux 基礎-シェルスクリプト編-	¥66,000	2日	マシン演習	東京(大森)		25~26	19~20	23~24		16~17	-
UXE303		<eラーニング>【ナビ機能付き】UNIX/Linux基本使用法	¥38,500	8時間	eラーニング	学習開始日	11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は21日間です
UXJ069		UNIX/Linux実践シェルスクリプト -sed awk編-	¥77,000	2日	マシン演習	東京(大森)				21~22			-
UXJ029		Linuxシステム管理 前編 -Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-	¥77,000	2日	マシン演習	東京(大森)	7~8	5~6	10~11		25~26	9~10	-
UXJ030		Linuxシステム管理 後編 -システム起動の仕組みとディスク管理技術-	¥77,000	2日	マシン演習	東京(大森)	9~10	7~8	12~13		27~28		-
UXJ062		Linuxトラブルシューティング	¥88,000	2日	マシン演習	東京(大森)			5~6		3~4		-
UXJ063		Linuxで実現!セキュリティ対策手法の解説と要案化実習	¥82,500	2日	マシン演習	東京(大森)					20~21		-

Microsoft (掲載ページ: P. 140 ~)

MSJ051	New	ここが新しい!Windows Server 2019新機能	¥44,000	1日	マシン演習	東京(大森)		12		28		17	-
MSJ042		Windows Server 2016管理概説	¥82,500	2日	マシン演習	東京(大森)	10~11			23~24	6~7		-
MSE306		<eラーニング>【ナビ機能付き】Windows Server 2016管理概説	¥82,500	13時間	eラーニング	学習開始日	11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は21日間です
MSJ045		実践!Active Directoryの基礎 -Windows Server 2016編-	¥77,000	2日	マシン演習	東京(大森)		14~15			13~14		-
MSE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】Active Directoryの基礎 -Windows Server 2016編-	¥22,000	6時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
MSE307		<演習環境>Active Directoryの基礎 -Windows Server 2016編-	¥22,000	4時間	演習環境	学習開始日	11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は21日間です
SCE707		<eラーニング>【ナビ機能付き】グループポリシーを使用したセキュリティ強化 -Windows Server 2016編-	¥9,900	4時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
MSE308		<演習環境>グループポリシーを使用したセキュリティ強化 -Windows Server 2016編-	¥22,000	4時間	演習環境	学習開始日	11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は21日間です
MSJ047		実践!Windows PowerShellを用いたシステム管理の効率化 -Windows Server 2016編-	¥38,500	1日	マシン演習	東京(大森)		21				10	-
CLJ010		実践!Hyper-Vのインストールから可用性向上まで -Windows Server 2016編-	¥38,500	1日	マシン演習	東京(大森)			13			4	-

*受講料(税込)は、2019年10月時点の消費税(10%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合、集合研修は講習会終了日、eラーニングは学習開始日時時点の税率を適用した金額となります。

*日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表示しています。

*自習テキストの受講料欄には教材費(テキスト販売費)を表記しています。

*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。

MSJ048		実践!Windows Server 2016によるインフラ構築演習 -Windows Server 2016編-	¥93,500	2日	マシン演習	東京(大森)			17~18			12~13	-
MSJ049		【短縮版】Windows Server 2016のセキュリティ	¥110,000	2日	マシン演習	東京(大森)			5~6			18~19	-
MSE305		<eラーニング>【ナビ機能付き】Windows Server 2012管理概説	¥82,500	13時間	eラーニング	学習開始日	11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は21日間です
MSE304		<eラーニング>【ナビ機能付き】Active Directoryの基礎	¥82,500	13時間	eラーニング	学習開始日	11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は21日間です
OAE026		<eラーニング>SharePointによる社内ポータル作成入門	¥11,000	3時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります

ネットワーク (掲載ページ: P. 145 ~)

NWJ103		ネットワーク基礎	¥55,000	2日	レクチャ	東京(大森)	16~17	14~15		15~16		2~3	-
NWE706		<eラーニング>【ナビ機能付き】ネットワーク基礎I-イーサネットの仕組み	¥41,800	12時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWE707		<eラーニング>【ナビ機能付き】ネットワーク基礎II-TCP/IPの仕組み	¥41,800	12時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWE715		<eラーニング>【ナビ機能付き】LANの技術-高可用ネットワーク	¥22,000	8時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWE714		<eラーニング>【ナビ機能付き】TCP/IP機能概説-ルーティング編-	¥22,000	8時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWJ099		TCP/IPプロトコル解析	¥77,000	2日	マシン演習	東京(大森)			4~5	15~16		12~13	-
NWE717		<eラーニング>【ナビ機能付き】WANの技術-VPNサービスへの変遷	¥22,000	8時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWE001		<eラーニング>インターネット技術入門	¥16,500	6時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWJ148		インターネットプロトコル(DNS、メール、HTTP)解説とサーバ構築	¥77,000	2日	マシン演習	東京(大森)				27~28			-
NWE028		<eラーニング>ネットワーク設計基礎	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWJ146		ネットワーク設計基礎と演習	¥38,500	1日	グループ演習	東京(大森)		7		10			-
NWJ147		ネットワークインフラ構築-基礎編-	¥38,500	1日	マシン演習	東京(大森)	18	29	13	17		4	-
NWJ138		ネットワークインフラ構築-ルーティング編-	¥77,000	2日	マシン演習	東京(大森)			12~13			9~10	-
NWJ133		ネットワークインフラ構築-スイッチ編-	¥81,400	2日	マシン演習	東京(大森)			2~3			5~6	-
NWJ120		ネットワークインフラ構築-冗長化・負荷分散編-	¥81,400	2日	マシン演習	東京(大森)			17~18			12~13	-
NWJ134		ネットワークインフラ構築-VPN編-	¥77,000	2日	マシン演習	東京(大森)					21~22		-
NWE703		<eラーニング>【ナビ機能付き】IPv6の基礎と移行技術	¥41,800	12時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります

New: 新設コース | 改訂コース | 休講: 今期の定期開催はおりません

PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.59)を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
NWJ084		ネットワークトラブル解決	¥81,400	2日	マシン演習	東京(大森) 大阪 福岡		14~15	9~10		26~27	18~19 5~6	-
NWE704		<eラーニング>【ナビ機能付き】ネットワーク管理解説	¥22,000	6時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
NWJ109		無線LAN環境構築	¥77,000	2日	マシン演習	東京(大森)					6~7		-
NWE708		<eラーニング>【ナビ機能付き】Software Defined Networking (SDN) 概説 - ネットワーク仮想化 -	¥12,100	4時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
NWE712		<eラーニング>【ナビ機能付き】基礎から学ぶネットワーク運用管理	¥40,700	12時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります

ハードウェア (掲載ページ: P. 152 ~)

SJE705		<eラーニング>【ナビ機能付き】SAN概説	¥22,000	5時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
SJE016		<eラーニング> Fibre Channel 概説 - 日立ストレージ・ホストの接続を理解するために -	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
SJE028		<eラーニング> SCSI 入門 - ストレージインタフェースを理解するために -	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
SJE018		<eラーニング> SAS (Serial Attached SCSI) 入門 - ストレージインタフェースを理解するために -	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
SJE017		<eラーニング> SATA 入門	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります

セキュリティ (掲載ページ: P. 154 ~)

情報セキュリティ													
SCE708		<eラーニング>【ナビ機能付き】情報セキュリティリテラシー - セキュリティの必要性と対策 -	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
SCJ050	Renewal	情報セキュリティ基礎 - セキュリティ全体を俯瞰する -	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森) 大阪 名古屋	15			14	21	7	-
SCJ041		セキュリティ最新動向	¥30,800	0.5日	レクチャ	東京(大森)	23					9	-
SCE706		<eラーニング>【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説 - セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度 -	¥22,000	8時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
SCJ048	New	セキュリティリスク分析 - IPA「制御システムのセキュリティリスク分析ガイド」解説 -	¥55,000	1日	グループ演習	東京(大森)						3	-
SCJ047		ケーススタディから学ぶ情報セキュリティリスクマネジメント	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)	4		5		4		-
SCJ038		情報セキュリティマネジメント運用	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)			13				-
SCJ039		情報セキュリティマネジメントの評価と改善	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)					13		-
セキュリティ技術													
SCE703		<eラーニング>【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎 - 要素技術(暗号、認証)編 -	¥20,900	6時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
SCE705		<eラーニング>【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎 - ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編 -	¥20,900	6時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
SCJ051	Renewal	ネットワークセキュリティ対策実習 - FW/IDS/PKI -	¥77,000	2日	マシン演習	東京(大森) 大阪 名古屋 広島 福岡	24~25	28~29	24~25 12~13			3~4 27~28 18~19 13~14	-

*受講料(税込)は、2019年10月時点の消費税(10%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合、集合研修は講習会終了日、eラーニングは学習開始日時点の税率を適用した金額となります。
 *日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表示しています。
 *自習テキストの受講料欄には教材費(テキスト販売費)を表記しています。
 *eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。

SCE704		<eラーニング>【ナビ機能付き】データベースセキュリティ概説	¥12,100	4時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
SCE010		<eラーニング> IPsecによるVPN構築	¥11,000	3時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
SCJ037		インターネットにおける電子認証技術 - PKI -	¥38,500	1日	マシン演習		別途ご案内いたします						-
SCD001		CEH(Certified Ethical Hacker)	¥547,800	5日	マシン演習		別途ご案内いたします						-

データベース (掲載ページ: P. 161 ~)

共通													
DBJ045		データベース入門 - 解説と操作体験 -	¥33,000	1日	マシン演習	東京(大森) 大阪 名古屋 福岡		7	3	30	7		-
DBE711		<eラーニング>【ナビ機能付き】データベース基礎	¥20,900	8時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
DBJ063		基礎から学ぶSQL - 現場で使える力をつける -	¥66,000	2日	マシン演習	東京(大森) 大阪 名古屋	28~29		5~6		20~21		-
DBE703		<eラーニング>【ナビ機能付き】SQL入門	¥19,800	8時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
DBE339		<演習環境>SQL操作入門	¥22,000	3時間	演習環境	学習開始日	11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
DBJ055		速習!1日でわかるデータベース設計の基礎	¥33,000	1日	レクチャ	東京(大森) 大阪 名古屋	18		9	14			-
DBE710		<eラーニング>【ナビ機能付き】データベース概説 - 入門・設計・SQL編 -	¥39,600	12時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
DBE708		<eラーニング>【ナビ機能付き】速習!1日でわかるデータベース設計の基礎	¥30,250	6時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
DBJ054		データベース設計技法と演習	¥72,600	2日	レクチャ	東京(大森) 大阪 名古屋	24~25		19~20			17~18 17~18	-
DBE707		<eラーニング>【ナビ機能付き】データベース設計基礎	¥22,000	6時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
DBE304		<eラーニング>【マシン演習付き】SQLによる標準データベースプログラミング - 体感!埋め込みSQL -	¥33,000	6時間	eラーニング マシン演習	学習開始日	11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
DBJ067		脱初心者のためのSQL - SQLでここまでできる -	¥44,000	1日	マシン演習	東京(大森) 大阪 名古屋			14			17	-
DBJ090		データ分析に使えるSQL - SQLでビッグデータに立ち向かう -	¥44,000	1日	マシン演習	東京(大森) 大阪	23	15	9	24		10	-
DBE704		<eラーニング>【ナビ機能付き】OLTP概説	¥22,000	7時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
SQL Server													
DBE337		<eラーニング>【マシン演習付き】SQL Server 2016 データベース管理	¥82,500	14時間	eラーニング マシン演習	学習開始日	11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
DBJ113		SQL Server 2016 データベース管理	¥88,000	2日	マシン演習	東京(大森)				16~17			-
Oracle													
DBE346	New	<eラーニング>【マシン演習付き】MySQL 5.7 データベース管理 I	¥112,200	14時間	eラーニング マシン演習	学習開始日	10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は 90日間です

New: 新設コース 改訂コース 休講: 今期の定期開催はありません
 PDU: PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
 学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.59)を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
DBE347	New	<eラーニング>【マシン演習付き】MySQL 5.7 データベース管理II	¥168,300	21時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBE345		<eラーニング>【マシン演習付き】MySQL パフォーマンス・チューニング	¥314,160	28時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBE316		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c 新機能	¥392,700	35時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBD048		Oracle Database 12c 入門 SQL 基礎I	¥235,620	3日	マシン演習	東京(大森) 大阪 名古屋			19~21 16~18			8~10	-
DBE333		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c SQL 基礎II	¥157,080	14時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBD060		Oracle Database 12c R2 管理クイック・スタート	¥157,080	2日	マシン演習	東京(大森) 大阪 名古屋				20~21 21~22		9~10	-
DBD061		Oracle Database 12c R2 管理ネクスト・ステップ	¥235,620	3日	マシン演習	東京(大森) 大阪						3~5 12~14	-
DBE332		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c PL/SQL 基礎	¥157,080	14時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBE309		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c PL/SQL プログラム開発	¥235,620	21時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBD052		Oracle Database 12c SQL チューニングワークショップ	¥235,620	3日	マシン演習	東京(大森)					25~27		-
DBE308		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c バックアップ・リカバリ	¥392,700	35時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBE310		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c パフォーマンス・チューニング	¥392,700	35時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBD062		Oracle Database 実例から学ぶ! パフォーマンス・チューニング	¥78,540	1日	レクチャ	東京(大森)				27			-
DBE311		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c インストール&アップグレード	¥157,080	14時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBE315		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 11g R2 管理 ワークショップII	¥392,700	35時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBE319		<eラーニング>【マシン演習付き】Exadata Database Machine 管理ワークショップ	¥654,500	35時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBE322		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c Clusterware 管理	¥392,480	28時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBE331		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c RAC 管理	¥392,480	28時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBE321		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c ASM 管理	¥196,240	14時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBE324		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c セキュリティ	¥490,600	35時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBE323		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c Database Vault	¥157,080	14時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBE325		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c マルチテナント・アーキテクチャ	¥157,080	14時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBE341		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c R2 新機能 for 12c R1 管理者	¥392,700	35時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBE343		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Enterprise Manager Cloud Control 12c による管理	¥294,360	21時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBE019		<eラーニング> Oracle ではじめる統計入門	¥78,540	7時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です

*受講料(税込)は、2019年10月時点の消費税(10%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合、集合研修は講習会終了日、eラーニングは学習開始日時時点の税率を適用した金額となります。

*日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表示しています。

*自習テキストの受講料欄には教材費(テキスト販売費)を表記しています。

*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
DBE342		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c データ・マイニング手法	¥157,080	14時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBE029		<eラーニング>資格試験準備セミナー: ORACLE MASTER Bronze 12c(受験チケット付)	¥73,480	7時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は180日間です
DBE030		<eラーニング>資格試験準備セミナー: ORACLE MASTER Silver 12c(受験チケット付)	¥58,520	7時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は180日間です
DBE031		<eラーニング>資格試験準備セミナー: ORACLE MASTER Gold 12c(受験チケット付)	¥58,520	7時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は180日間です
DBE340		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Unlimited Product Learning Subscription	¥923,340	-	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は365日間です

IT戦略・IS企画

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
--------	------	------	----------	-----------	------	------	-----	-----	-----	----	----	----	------------------------

IT戦略・IS企画(掲載ページ: P. 178 ~)

HSJ017		(PDU) IT戦略の立案 -IT-BSCの活用による- PDU	¥33,000	1日	グループ演習	東京(大森)		27			18		-
SPJ008		(PDU) IT投資の評価手法 -IT投資の種類・パターンから効果を考える- PDU	¥82,500	2日	グループ演習	東京(大森)			3~4				-
CTJ016		(PDU) IT投資対効果の考え方 -IT投資マネジメントの基礎- PDU	¥38,500	1日	グループ演習	東京(大森)			9			2	-
CTJ005		(PDU)トラブルを防止する調達要件の分析 -RFPの作成と提案書の評価を中心に- PDU	¥110,000	2日	グループ演習	東京(大森)				27~28			-
SPJ033		保守開発におけるトラブル対策の考え方	¥38,500	1日	グループ演習	東京(大森)			10			3	-
CTD010	New	(PDU) IT経営ストラテジ(経営戦略コース) PDU	¥66,000	2日	レクチャ	六本木(FXLI)		7~8					-
CTD011	New	(PDU) IT経営ストラテジ(IT戦略コース) PDU	¥66,000	2日	レクチャ	六本木(FXLI)				20~21			-
CTD007		ITC資格試験対策 PDU	¥44,000	1日	レクチャ	六本木(FXLI)				10			-
CTJ059		(PDU)ビジネスアナリシスの基礎 PDU	¥99,000	2日	グループ演習	東京(大森)		17~18					-
CTJ060		(PDU)要求の引き出しとマネジメント PDU	¥99,000	2日	グループ演習	東京(大森)		31~	1				-
CTJ062		(PDU)エンタープライズ・ビジネスアナリシス PDU	¥99,000	2日	グループ演習	東京(大森)					5~6		-
CTD008		(PDU) CBAP® 試験対策コース PDU	¥165,000	3日	レクチャ								別途ご案内いたします
CTJ046	休講	情報システム導入を成功させる要件定義とベンダー折衝の実践ポイント	¥44,000	1日	グループ演習								-
CTJ026		情報システムのユーザテストと移行・切替・本番稼働の準備実務	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)		13					-
CTJ022		情報システム部門のための開発工程におけるベンダー・マネジメント	¥77,000	2日	グループ演習	東京(大森)					25~26		-
CTJ037		(PDU) SEのためのベンダーマネジメント PDU	¥88,000	2日	グループ演習	東京(大森)		7~8		2~3	27~28		-
CTJ054		IT活用による業務改善を実現するための問題分析と新業務プロセス設計技法	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)		1					-
CTJ055		IT主導で攻めのビジネスを実現するための構想立案とIT化企画の作り方	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)			10				-
CTJ053		現場主導で現状業務の見える化を推進するための業務フロー作成技法	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)	23						-

New: 新設コース PDU: 改訂コース 休講: 今期の定期開催はおりません

PDU: PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.59)を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
CTJ052		現行システムのリリース/改修における現状洗い出しを確実にするための業務フロー作成技法	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)	4						-
CTJ064		業務参照モデルを利用したバリューチェーンの紐解き方	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)					19		-
CTJ063		ビジネスアナリスト体験 一源流と超上流をつなげる	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)			25				-
CTJ051		ビジネス要求引き出しのための業務課題抽出のテクニック	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)			6				-
CTJ056		新時代に向けたビジネスモデル創造の進め方	¥132,000	2日	グループ演習		別途ご案内いたします						-
CTJ057		これからのIT技術者のための超上流要求開発入門 -いま、必要とされるサービスデザインメソッド-	¥132,000	2日	グループ演習		別途ご案内いたします						-
CTJ058		ビジネスモデリングからはじめる要求分析モデリング	¥132,000	2日	グループ演習		別途ご案内いたします						-

システム開発

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
要件定義/設計(掲載ページ:P.186~)													
SPJ058		演習で学ぶ!情報システムの役割と開発の進め方	¥66,000	2日	グループ演習	東京(大森)		28~29					-
SJE707		<eラーニング>【ナビ機能付き】システム開発の基礎	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	2.9.16, 23.30	6.13.20, 27	4.11.18, 25	8.15.22, 29	5.12.19, 26	4.11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SPJ037		システムのニーズ分析	¥82,500	2日	グループ演習	東京(大森)	7~8					4~5	-
SPJ036		システム化要求を実現するための業務設計	¥82,500	2日	グループ演習	大阪						10~11	-
SPJ024		システム化要求を実現するための業務設計	¥82,500	2日	グループ演習	東京(大森)	9~10					16~17	-
SPJ024		システムの要件定義技法	¥70,400	2日	レクチャ	大阪				30~31			-
CTJ018		非機能要求の考え方	¥38,500	1日	グループ演習	東京(大森)	28						-
CTD009		ビジネスプロセスの分析と設計	¥49,500	1日	グループ演習	東京(大森)			13				-
SPE702		<eラーニング>【ナビ機能付き】待ち行列理論	¥22,000	7時間	eラーニング	学習開始日	2.9.16, 23.30	6.13.20, 27	4.11.18, 25	8.15.22, 29	5.12.19, 26	4.11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CTJ065	New	エンタープライズITアーキテクチャのセオリー	¥99,000	2日	グループ演習	東京(大森)			19~20				-
SPE017		<eラーニング>構造化モデリングによるシステムの機能抽出	¥19,800	5時間	eラーニング	学習開始日	2.9.16, 23.30	6.13.20, 27	4.11.18, 25	8.15.22, 29	5.12.19, 26	4.11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CTE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】アプリケーション・アーキテクチャ基礎	¥20,900	6時間	eラーニング	学習開始日	2.9.16, 23.30	6.13.20, 27	4.11.18, 25	8.15.22, 29	5.12.19, 26	4.11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SPJ038		アプリケーション・アーキテクチャ策定演習	¥77,000	2日	マシン演習	東京(大森)		20~21		8~9			-
SPJ039		事例から学ぶSaaS活用提案のポイント	¥29,700	0.5日	レクチャ	東京(大森)		6					-
SPJ040		クラウドコンピューティングで読み解くITサービスの最新動向	¥29,700	0.5日	レクチャ	東京(大森)		6		14			-
UXJ070		gitによるソフトウェア構成管理	¥38,500	1日	マシン演習	東京(大森)	25						-
SPJ054		後工程で慌てない!ユーザー/業務要件の漏れを未然に防ぐ業務設計と要件定義のコツ	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)	3	5		20		3	-
SPJ055		業務要件とユーザビリティを確保するための要件定義のポイント	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)	30				21		-

*受講料(税込)は、2019年10月時点の消費税(10%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合、集合研修は講習会終了日、eラーニングは学習開始日時時点の税率を適用した金額となります。

*日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表記しています。

*学習テキストの受講料欄には教材費(テキスト販売費)を表記しています。

*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
SPJ056		開発での手戻りを最小限にする要件品質チェックのポイントと基本設計の肝	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)	16			31		19	-
SPJ028		品質確保のためのソフトウェアテスト	¥33,000	1日	レクチャ	東京(大森)	7		16		26		-
						大阪			16				-
						名古屋			5				-
SPJ063		ソフトウェアテストの管理手法	¥38,500	1日	レクチャ		別途ご案内いたします						-
SPE016		<eラーニング>実践!テストケース設計(テスト技法演習編)	¥18,700	8時間	eラーニング	学習開始日	2.9.16, 23.30	6.13.20, 27	4.11.18, 25	8.15.22, 29	5.12.19, 26	4.11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SPJ051		実践!テストケース設計(テスト設計実践編)	¥33,000	1日	マシン演習	大阪			10				-
						名古屋			13				-
SPE019		<eラーニング>速習!Webシステムテストのポイント	¥8,800	3時間	eラーニング	学習開始日	2.9.16, 23.30	6.13.20, 27	4.11.18, 25	8.15.22, 29	5.12.19, 26	4.11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWJ149		実践!Webシステムの性能テスト	¥38,500	1日	マシン演習		別途ご案内いたします						-
SPJ032		Javaモジュールテスト演習	¥33,000	1日	マシン演習	東京(大森)		18					-
SPJ062		Javaによるテスト駆動開発演習	¥33,000	1日	マシン演習	東京(大森)					21		-
SPJ035		SeleniumによるWebアプリケーションテスト自動化演習	¥33,000	1日	マシン演習	東京(大森)	29						-
SPE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】プログラムのテスト技法	¥20,900	7時間	eラーニング	学習開始日	2.9.16, 23.30	6.13.20, 27	4.11.18, 25	8.15.22, 29	5.12.19, 26	4.11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SPD002	New	DevOpsテスト入門 ~継続的デリバリーを実現するテスト自動化の基礎~	¥46,200	1日	グループ演習	麻布台(SHIFT)		19		21	27		-
SPD003	New	テストプロセス改善 ~評価・改善案策定を一日で習得!~	¥55,000	1日	グループ演習	麻布台(SHIFT)		15		17		13	-

モデリング(掲載ページ:P.194~)

OJE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】オブジェクト指向概説	¥20,900	6時間	eラーニング	学習開始日	2.9.16, 23.30	6.13.20, 27	4.11.18, 25	8.15.22, 29	5.12.19, 26	4.11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
OJE005		<eラーニング>UML 2.0入門	¥7,700	6時間	eラーニング	学習開始日	2.9.16, 23.30	6.13.20, 27	4.11.18, 25	8.15.22, 29	5.12.19, 26	4.11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
OJJ024	休講	UMLによるオブジェクト指向モデリング	¥66,000	2日	グループ演習								-
OJJ025	休講	UMLによるオブジェクト指向設計とプログラミング	¥66,000	2日	マシン演習								-
OJJ027	休講	定石から学ぶオブジェクト指向設計	¥77,000	2日	マシン演習								-

プログラミング(掲載ページ:P.196~)

共通													
CBJ001	休講	アルゴリズムの基礎-フローチャート編-	¥55,000	2日	レクチャ								-
CBE006		<eラーニング>アルゴリズムの基礎-フローチャート編-	¥11,220	16時間	eラーニング	学習開始日	2.9.16, 23.30	6.13.20, 27	4.11.18, 25	8.15.22, 29	5.12.19, 26	4.11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
Java													
OJJ016		Javaプログラミング1(基本文法編)	¥99,000	3日	マシン演習	東京(大森)	30~	1		20~22			-
						名古屋		27~29					-
						福岡					5~7		-
OJE702		<eラーニング>【ナビ機能付き】Javaプログラミング1(基本文法編)	¥60,500	24時間	eラーニング	学習開始日	2.9.16, 23.30	6.13.20, 27	4.11.18, 25	8.15.22, 29	5.12.19, 26	4.11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
OJE020		<eラーニング>【スキル定着】Javaプログラミング1(前編)	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	2.9.16, 23.30	6.13.20, 27	4.11.18, 25	8.15.22, 29	5.12.19, 26	4.11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります

New: 新設コース | 改訂コース | 休講: 今期の定期開催はおりません

PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.59)を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング) サービス有効期間/学習終了日
OJE021		<eラーニング>【スキル定着】Javaプログラミング1(後編)	¥11,000	4時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
OJJ017		Javaプログラミング2(基本クラス編)	¥66,000	2日	マシン学習	東京(大森) 名古屋 広島		18~19		28~29	12~13		-
OJE703		<eラーニング>【ナビ機能付き】Javaプログラミング2-基本クラス編-	¥40,700	16時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
OJJ032	Renewal	Javaプログラミング3-StreamAPI, モジュールシステム編-	¥66,000	2日	マシン学習	東京(大森)						9~10	-
OJJ026		Javaによるデータベース・プログラミング	¥66,000	2日	マシン学習	東京(大森)			9~10			9~10	-
OJJ018		サーバサイド Javaプログラミング(Servlet/JSP編)	¥99,000	3日	マシン学習	東京(大森) 大阪 名古屋 福岡			17~19		4~6		-
OJJ020		実践!Javaプログラミング	¥66,000	2日	マシン学習	東京(大森) 大阪	10~11		5~6		5~6		-
NWJ145		システムを危険から守る!セキュアプログラミング	¥44,000	1日	マシン学習	東京(大森)			20			6	-
OJJ028		Javaによる保守開発のためのリファクタリング	¥77,000	2日	マシン学習	東京(大森)				27~28			-
OJE025		<eラーニング>【マシン演習付き】Java SE 7 パフォーマンス・チューニング	¥294,360	21時間	eラーニング 専用コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
OJE022		<eラーニング>資格試験準備セミナー: OCJP Bronze SE 7/8(受験チケット付)	¥44,220	7時間	eラーニング 専用コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は180日間です
OJE023		<eラーニング>資格試験準備セミナー: OCJP Silver SE 8(受験チケット付)	¥58,520	7時間	eラーニング 専用コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は180日間です
OJE024		<eラーニング>資格試験準備セミナー: OCJP Gold SE 8(受験チケット付)	¥58,520	7時間	eラーニング 専用コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は180日間です
COBOL													
-		PAD入門(自習テキスト)	¥1,650	平均6時間	自習テキスト								-
CBJ002		COBOLプログラミング基礎編(PAD)	¥82,500	3日	マシン学習	東京(大森)				22~24			-
CBJ004	休講	COBOLプログラミング応用編(PAD)	¥107,800	4日	マシン学習								-
CBJ007		COBOLプログラミング基礎編(フローチャート)	¥82,500	3日	マシン学習	東京(大森)				22~24			-
CBJ008	休講	COBOLプログラミング応用編(フローチャート)	¥107,800	4日	マシン学習								-
CBE301		<eラーニング>【マシン演習付き】COBOLプログラミング基礎編(PAD)	¥99,000	24時間	eラーニング マシン学習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は21日間です
CBE302		<eラーニング>【マシン演習付き】COBOLプログラミング応用編(PAD)	¥124,300	32時間	eラーニング マシン学習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は21日間です
CBE303		<eラーニング>【マシン演習付き】COBOLプログラミング基礎編(フローチャート)	¥99,000	24時間	eラーニング マシン学習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は21日間です
CBE304		<eラーニング>【マシン演習付き】COBOLプログラミング応用編(フローチャート)	¥124,300	32時間	eラーニング マシン学習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は21日間です
CBE002		<eラーニング>COBOLプログラミング基礎編(PAD)	¥25,300	16時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CBE003		<eラーニング>COBOLプログラミング応用編(PAD)	¥25,300	16時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CBE004		<eラーニング>COBOLプログラミング基礎編(フローチャート)	¥25,300	16時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります

*受講料(税込)は、2019年10月時点の消費税(10%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合、集合研修は講習会終了日、eラーニングは学習開始日時点の税率を適用した金額となります。

*日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表示しています。

*自習テキストの受講料欄には教材費(テキスト販売費)を表記しています。

*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング) サービス有効期間/学習終了日
CBE005		<eラーニング>COBOLプログラミング応用編(フローチャート)	¥25,300	16時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
-		COBOLプログラミング基礎編(PAD)(自習テキスト)	¥4,180	平均18時間	自習テキスト								-
-		COBOLプログラミング応用編(PAD)(自習テキスト)	¥4,180	平均18時間	自習テキスト								-
-		COBOLプログラミング基礎編(フローチャート)(自習テキスト)	¥4,180	平均18時間	自習テキスト								-
-		COBOLプログラミング応用編(フローチャート)(自習テキスト)	¥4,180	平均18時間	自習テキスト								-
C/C++													
CCJ009		C言語プログラミング1-基本マスタ編-	¥99,000	3日	マシン学習	東京(大森) 名古屋		6~8					-
CCJ014		C言語プログラミング2-ポインタ実践編-	¥99,000	3日	マシン学習	東京(大森)		26~28				12~14	-
CCE005		<eラーニング>C言語プログラミング2-ポインタ実践編-	¥78,650	24時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CCE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】C言語プログラミング1(前編)-制御文と関数を学ぶ-	¥20,900	8時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CCE702		<eラーニング>【ナビ機能付き】C言語プログラミング1(後編)-データ構造とポインタを学ぶ-	¥40,700	16時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
ESJ001		リアルタイム OS を利用したソフトウェアプログラミング	¥66,000	2日	マシン学習	東京(大森)					18~19		-
VB/V/C#													
VBJ038		Visual Basic プログラミング	¥77,000	2日	マシン学習	東京(大森)	17~18				30~31		-
VBJ037		ASP.NET プログラミング	¥77,000	2日	マシン学習	東京(大森)		26~27					-
VCJ010		Visual C# プログラミング	¥77,000	2日	マシン学習	東京(大森)			5~6				-
Web関連技術													
NWE711		<eラーニング>【ナビ機能付き】Webシステム入門	¥20,900	6時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWE031	New	<eラーニング>Webアプリケーション設計の基礎	¥18,700	8時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWJ139		Webアプリケーション設計の基礎	¥66,000	2日	レクチャ	東京(大森) 大阪		31~1		11~12	22~23		-
NWE709		<eラーニング>【ナビ機能付き】CSSによるWebコンテンツ制作	¥20,900	8時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWE710		<eラーニング>【ナビ機能付き】HTMLによるWebコンテンツ制作	¥20,900	8時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWJ141		JavaScriptプログラミング-ECMAScript 2015対応-	¥77,000	2日	マシン学習	東京(大森) 大阪				17~18	2~3		-
NWJ142		HTML5プログラミング	¥38,500	1日	マシン学習	東京(大森)				21~22	28	11	-
NWJ140		HTML5/JavaScriptによるWebアプリケーション開発実践	¥110,000	2日	マシン学習	東京(大森)				27~28	16~17		-
スマートデバイス													
NWE029		<eラーニング>スマートデバイス活用システムの提案概説	¥11,000	3時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWJ144		スマートフォンの特性を踏まえたWebアプリケーション設計の考え方	¥33,000	1日	マシン学習	東京(大森)					5		-

New: 新設コース | 改訂コース | 休講: 今期の定期開催はありません

PDU: PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.59)を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
NWJ135		体験! Androidアプリケーションの開発	¥33,000	1日	マシン実習	東京(大森)					12		-
NWJ129		体験! iPhone・iPadアプリケーションの開発	¥38,500	1日	マシン実習	東京(大森)				26	5		-
NWJ131		体験! SwiftではじめるiPhoneアプリケーションの開発	¥38,500	1日	マシン実習	東京(大森)				27			-

情報処理技術者試験対策

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
--------	------	------	----------	-----------	------	------	-----	-----	-----	----	----	----	------------------------

情報処理技術者試験対策(掲載ページ:P.213~)

春期実施試験対策													
SJE293	Renewal	<eラーニング>集中演習 2020年 春期 ITパスポート試験【IP】	¥6,600	80時間	eラーニング 専用コース	学習開始日					16.30	13.27	開始日にかかわらず 学習終了日は4月30日 になります
SJE294	Renewal	<eラーニング>集中演習 2020年 春期 基本情報技術者試験【FE】	¥18,700	200時間	eラーニング 専用コース	学習開始日				16.30	13.27		開始日にかかわらず 学習終了日は4月30日 になります
SJE295	Renewal	<eラーニング>集中演習 2020年 春期 応用情報技術者試験【AP】	¥18,700	162時間	eラーニング 専用コース	学習開始日				16.30	13.27		開始日にかかわらず 学習終了日は4月30日 になります
SJE296	Renewal	<eラーニング>集中演習 2020年 春期 情報セキュリティマネジメント試験【SG】	¥11,000	162時間	eラーニング 専用コース	学習開始日				16.30	13.27		開始日にかかわらず 学習終了日は4月30日 になります
SJE300	Renewal	<eラーニング>集中演習 2020年 春期 情報処理安全確保支援士試験【SC】	¥18,700	162時間	eラーニング 専用コース	学習開始日				16.30	13.27		開始日にかかわらず 学習終了日は4月30日 になります
SJE298	Renewal	<eラーニング>集中演習 2020年 春期 データベーススペシャリスト試験【DB】	¥18,700	162時間	eラーニング 専用コース	学習開始日				16.30	13.27		開始日にかかわらず 学習終了日は4月30日 になります
SJE297	Renewal	<eラーニング>集中演習 2020年 春期 プロジェクトマネージャ試験【PM】	¥18,700	162時間	eラーニング 専用コース	学習開始日				16.30	13.27		開始日にかかわらず 学習終了日は4月30日 になります
SJE299	Renewal	<eラーニング>集中演習 2020年 春期 システム監査技術者試験【AU】	¥18,700	162時間	eラーニング 専用コース	学習開始日				16.30	13.27		開始日にかかわらず 学習終了日は4月30日 になります
SJD002		応用情報技術者試験【AP】対策講座 (合格に必要な知識と解答力を養う)	¥115,500	3日	レクチャ	東京(大森)				14(1日)	12(2日)	11(3日)	-
SJD003		応用情報技術者試験【AP】対策講座 (試験直前に模擬試験で得点をUPする)	¥38,500	1日	レクチャ	東京(大森)						25	-
SJD006		情報処理安全確保支援士試験【SC】対策講座 (合格に必要な知識と解答力を養う)	¥115,500	3日	レクチャ	東京(大森)				24(1日)	20(2日)	23(3日)	-
SJD007		情報処理安全確保支援士試験【SC】対策講座 (試験直前に模擬試験で得点をUPする)	¥38,500	1日	レクチャ	東京(大森)						24	-
SJD004	New	データベーススペシャリスト試験【DB】対策講座 (合格に必要な知識と解答力を養う)	¥115,500	3日	レクチャ	東京(大森)				28(1日)	25(2日)	26(3日)	-
SJD005	New	データベーススペシャリスト試験【DB】対策講座 (試験直前に模擬試験で得点をUPする)	¥38,500	1日	レクチャ	東京(大森)						27	-
SJD001		高度試験受験者向け 論文の書き方 -問題文の読み方から論文構成方法まで-	¥38,500	1日	レクチャ	東京(大森)				23			-
SJD011	New	春期高度試験【PM】【AU】対策講座 実践!論文を書く -添削指導で合格するための論述力を養成する-	¥77,000	2日	レクチャ	東京(大森)				3(1日)	2(2日)		-

ITリテラシ

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
--------	------	------	----------	-----------	------	------	-----	-----	-----	----	----	----	------------------------

ITリテラシ(掲載ページ:P.218~)

Office 2016													
OAE027		<eラーニング> Excel 2016 基礎編	¥6,600	2時間	eラーニング 専用コース	学習開始日	10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は 30日間です

*受講料(税込)は、2019年10月時点の消費税(10%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合、集合研修は講習会終了日、eラーニングは学習開始日時時点の税率を適用した金額となります。

*日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表示しています。

*自習テキストの受講料欄には教材費(テキスト販売費)を表記しています。

*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
OAE028		<eラーニング> Excel 2016 応用編	¥6,600	2時間	eラーニング 専用コース	学習開始日	10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は 30日間です
OAJ046		Excelで業務データを使いこなす -関数とピボットテーブルを利用して-	¥38,500	1日	マシン実習	東京(大森)		26					-
OAE029		<eラーニング> Word 2016 基礎編	¥6,600	2時間	eラーニング 専用コース	学習開始日	10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は 30日間です
OAE030		<eラーニング> Word 2016 応用編	¥6,600	2時間	eラーニング 専用コース	学習開始日	10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は 30日間です
OAE031		<eラーニング> PowerPoint 2016 基礎編	¥6,600	2時間	eラーニング 専用コース	学習開始日	10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は 30日間です
OAE032		<eラーニング> PowerPoint 2016 応用編	¥6,600	2時間	eラーニング 専用コース	学習開始日	10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は 30日間です

プロジェクトマネジメント

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
--------	------	------	----------	-----------	------	------	-----	-----	-----	----	----	----	------------------------

プロジェクトマネジメント(掲載ページ:P.221~)

PMJ065		プロジェクトマネジメント基礎	¥66,000	2日	グループ実習	東京(大森) 大阪	17~18					4~5	-
PME007		<eラーニング>【ナビ機能付き】プロジェクトマネジメント基礎	¥13,420	7時間	eラーニング 専用コース	学習開始日	2.9, 16, 23, 30	6.13, 20, 27	4.11, 18, 25	8.15, 22, 29	5.12, 19, 26	4.11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
PMJ066		(PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践 PDU	¥77,000	2日	グループ実習	東京(大森)				14~15			-
PMJ038		(PDU)プロジェクトマネジメント仮想体験講座 PDU	¥88,000	2日	グループ実習	東京(大森) 大阪					18~19		16~17
PMJ059		(PDU)ケースメソッドによるPM判断・行動力強化 -複数ケースを短期間で学びPM力向上- PDU	¥49,500	1日	グループ実習	東京(大森)		12					-
PMJ062		(PDU)ケースメソッドによるPM判断・行動力強化(上流工程編) -PJの成功・失敗分岐点を学ぶ- PDU	¥49,500	1日	グループ実習	東京(大森)						11	-
PMJ003	休講	(PDU)プロジェクト経験者のためのプロジェクトマネジメント上級編 PDU	¥88,000	2日	グループ実習								-
PMJ040		(PDU)トラブルプロジェクトのマネジメント PDU	¥99,000	2日	グループ実習	東京(大森)			11~12		27~28	24~25	-
PMJ060		(PDU)プロジェクトの敵を味方にするステークホルダーマネジメント PDU	¥33,000	1日	グループ実習	東京(大森)			16				-
PMJ069		(PDU)プロジェクト・マネージャ・コンピテンシ指向トレーニング(PMCOT) -プロジェクト・マネージャに必要な行動・思考の気付きと振り返り- PDU	¥93,500	2日	グループ実習	東京(大森)	17~18				27~28		-
PMJ070		(PDU)プロジェクト・マネージャのためのメンタリングスキルトレーニング -頼りにされるプロジェクト・マネージャになるためのメンタリング入門- PDU	¥93,500	2日	グループ実習	東京(大森) 大阪			19~20		26~27		-
PMJ042		(PDU)プロジェクト・ポートフォリオ・マネジメント -プロジェクトの横断的な把握、経営資源の効果的な配分のために- PDU	¥99,000	2日	グループ実習	東京(大森)			9~10		17~18		-
PMJ067	休講	(PDU)PMO視点からのプロジェクト運営の勘所(アセスメント) PDU	¥44,000	1日	グループ実習								-
PMJ023		(PDU)プロジェクトマネジメントのコミュニケーション PDU	¥99,000	2日	グループ実習	東京(大森)			5~6			9~10	-
PMJ024		(PDU)プロジェクトマネジメントのリーダーシップ PDU	¥99,000	2日	グループ実習	東京(大森)	30~31			8~9	4~5		-
PMJ054		(PDU)プロジェクトを円滑に進めるための合意形成力強化トレーニング PDU	¥82,500	2日	グループ実習	東京(大森) 大阪			7~8 26~27				-

New: 新設コース | 改訂コース | 休講: 今期の定期開催はありません

PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.59)を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
PMJ025		(PDU)プロジェクトマネジメントのネゴシエーション PDU	¥99,000	2日	グループ学習	東京(大森)			16~17			2~3	-
PMJ048		(PDU)プロジェクトマネジメントの契約・調達マネジメント PDU	¥99,000	2日	グループ学習	東京(大森)			23~24			18~19	-
PMJ032		(PDU)プロジェクトマネジメントの品質マネジメント PDU	¥99,000	2日	グループ学習	東京(大森)						16~17	-
PMJ068		(PDU)プロジェクトマネジメントのリスクマネジメント PDU	¥93,500	2日	グループ学習	東京(大森)		20~21					-
PMD009		(PDU)プログラムマネジメント -より価値の高いプロジェクトを提供するために- PDU	¥99,000	2日	グループ学習	六本木(FXLI)					6~7		-
PMJ039		(PDU)プロジェクトマネージャのためのファイナンシャルマネジメント PDU	¥99,000	2日	グループ学習	東京(大森)	28~29				20~21		-
PMJ006	休講	ソフトウェア開発の品質管理と信頼性 -1日の取り組み紹介-	¥33,000	1日	レクチャ								-
PMJ041		(PDU)プロジェクトマネジメントの要求マネジメント PDU	¥99,000	2日	グループ学習	東京(大森)						18~19	-
PME701		<eラーニング>【ナビ機能付き】(PDU)ファンクションポイント法基礎 PDU	¥12,100	4時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PMJ014		(PDU)ファンクションポイント法による見積り実践トレーニング -コストマネジメント実践- PDU	¥77,000	2日	レクチャ	東京(大森)						16~17	-
PME005		<eラーニング>(PDU)2時間でわかるファンクションポイント法 PDU	¥8,800	2時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PMJ053	休講	(PDU) Microsoft Office Projectによるタイムマネジメント PDU	¥77,000	2日	マシン学習								-
PMJ063		(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー PDU	¥92,400	2日	レクチャ	東京(大森) 大阪 名古屋 広島	3~4, 15~16 24~25	11~12	3~4 2~3 23~24	7~8	13~14	9~10	-
PME013		<eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナープロジェクトとは PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME014		<eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナープロジェクトの運営環境とプロジェクト・マネージャーの役割 PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME018		<eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー統合マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME011		<eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナースコープ・マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME010		<eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナースケジュール・マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME008		<eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナーコスト・マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME019		<eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー品質マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME016		<eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー資源マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME009		<eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナーコミュニケーション・マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME015		<eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナーリスク・マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります

*受講料(税込)は、2019年10月時点の消費税(10%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合、集合研修は講習会終了日、eラーニングは学習開始日時時点の税率を適用した金額となります。

*日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表示しています。

*自習テキストの受講料欄には教材費(テキスト販売費)を表記しています。

*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
PME017		<eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー調達マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME012		<eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナーステークホルダー・マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PMJ064		(PDU) PMBOK®ガイド第5版と第6版の差分講座 -半日でわかる第6版- PDU	¥33,000	0.5日	レクチャ	東京(大森) 大阪			11 10			23	-
PMJ056		PMP®対策講座(2日間)	¥88,000	2日	レクチャ	東京(大森) 大阪 名古屋 広島 福岡	3~4, 17~18	13~14, 25~26 7~8	4~5, 17~18	30~31	20~21		-
PMJ028		PMP®直前講座(模試)(1日間)	¥49,500	1日	レクチャ	東京(大森) 大阪 名古屋 福岡		5, 18	13, 23 9	7, 17	27	23	-
SPJ064	New	スクラムの基礎と実践	¥55,000	1日	グループ学習	東京(大森)			18		13		-
SPJ045		(PDU) [リーダー向け]アジャイル開発における自律型チーム運営 PDU	¥46,200	1日	グループ学習	東京(大森)			4				-
PMJ061		(PDU) マネージャーのための1日でわかるアジャイル・プロジェクトマネジメントの効用 PDU	¥38,500	1日	グループ学習	東京(大森)						6	-
PMD012		[EXIN アジャイル スクラム ファンデーション]資格対策	¥157,300	2日	レクチャ	麹町(ITブレイズ)			5~6			26~27	-
PMD013		(PDU) 1日でわかるPRINCE2® PDU	¥44,000	1日	グループ学習	東京(大森)				27			-
PMD014		(PDU) PRINCE2®ファンデーション(認定試験付き) PDU	¥292,600	3日	グループ学習	麹町(ITブレイズ)		6~8	23~25	14~16			-
PMD015		(PDU) PRINCE2®プラクティショナ(認定試験付き) PDU	¥256,300	2日	グループ学習	麹町(ITブレイズ)			16~17			26~27	-

コンプライアンス

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
HSJ062		事例から学ぶシステムトラブル対策の考え方 -高信頼性システム実現のために-	¥38,500	1日	グループ学習	東京(大森)		28			19		-
HSJ018		システムトラブルの予防と是正 -ISMS・システム監査の視点から-	¥77,000	2日	グループ学習	東京(大森)					3~4		-

ビジネス/ヒューマン

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
HSJ116		ロジカルシンキング基礎 -論理の可視化と論理チェックのポイント-	¥82,500	2日	グループ学習	東京(大森) 大阪 名古屋 広島 福岡	10~11 24~25	5~6 26~27	2~3, 16~17		27~28	12~13	-

New: 新設コース : 改訂コース 休講: 今期の定期開催はありません

PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.59)を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
HSE126	Renewal	<eラーニング>ロジカルシンキング基礎 -論理の可視化と論理チェックのポイント-	¥18,700	8時間	eラーニング		2.9.16, 23.30	6.13.20, 27	4.11.18, 25	8.15.22, 29	5.12.19, 26	4.11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
HSE066		<eラーニング>思考技法の概要	¥9,900	4時間	eラーニング		2.9.16, 23.30	6.13.20, 27	4.11.18, 25	8.15.22, 29	5.12.19, 26	4.11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
HSE036		<eラーニング>QFD(品質機能展開)で学ぶ マトリクス表の上手な使い方 -マトリクス表を使って「決める」を考える-	¥9,900	4時間	eラーニング		2.9.16, 23.30	6.13.20, 27	4.11.18, 25	8.15.22, 29	5.12.19, 26	4.11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
HSE037		<eラーニング>TRIZで学ぶ発想のパターン -科学的な強制発想法-	¥9,900	4時間	eラーニング		2.9.16, 23.30	6.13.20, 27	4.11.18, 25	8.15.22, 29	5.12.19, 26	4.11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
HSE302		<eラーニング>【スキル定着】 相手を納得させる論理構成力を磨く	¥11,000	4時間	eラーニング		2.9.16, 23.30	6.13.20, 27	4.11.18, 25	8.15.22, 29	5.12.19, 26	4.11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
ライティング													
HSE070		<eラーニング> 文書作成力向上トレーニング	¥18,700	8時間	eラーニング		2.9.16, 23.30	6.13.20, 27	4.11.18, 25	8.15.22, 29	5.12.19, 26	4.11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
HSJ161		文書作成力向上トレーニング(演習編)	¥33,000	1日	グループ演習	東京(大森) 広島 福岡		11 20	20 27	20			-
HSE064		<eラーニング> ロジカルライティング(基礎知識編)	¥18,700	6時間	eラーニング		2.9.16, 23.30	6.13.20, 27	4.11.18, 25	8.15.22, 29	5.12.19, 26	4.11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
HSJ160		ロジカルライティング(演習編)	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森) 大阪 広島 福岡			12 8 21	17 18			-
HSJ153		リーダ向け「文書添削と指導法」	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)	10	13	5				-
プレゼンテーション													
HSJ154		ロジカルプレゼンテーション基礎	¥74,800	2日	グループ演習	東京(大森) 大阪 広島 福岡	8~9, 30~31	5~6, 11~12 20~21	5~6	20~21	3~4, 27~28	3~4	-
HSE127	Renewal	<eラーニング> ロジカルプレゼンテーション基礎-レクチャ編-	¥18,700	8時間	eラーニング		2.9.16, 23.30	6.13.20, 27	4.11.18, 25	8.15.22, 29	5.12.19, 26	4.11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
HSE708		<eラーニング>【ナビ機能付き】 グラフィカルトレーニング-思考を図解で強化する-	¥11,000	2時間	eラーニング		2.9.16, 23.30	6.13.20, 27	4.11.18, 25	8.15.22, 29	5.12.19, 26	4.11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
HSE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】 ビジュアル化技法の基本 -魅力的なビジュアル資料を作る-	¥12,100	4時間	eラーニング		2.9.16, 23.30	6.13.20, 27	4.11.18, 25	8.15.22, 29	5.12.19, 26	4.11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
HSJ155		プレゼンを生き生きさせるビジュアル化技法 -相手を惹きつけるための資料作成-	¥24,750	0.5日	マンツーマン	東京(大森)	8.18	5	3.20	24	20	10	-
HSE301		<eラーニング>【スキル定着】 ビジュアルデザイン	¥11,000	4時間	eラーニング		2.9.16, 23.30	6.13.20, 27	4.11.18, 25	8.15.22, 29	5.12.19, 26	4.11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
意思決定													
HSE072		<eラーニング>意思決定のスキル -合理と心理を理解したうえでの意思決定-	¥8,800	4時間	eラーニング		2.9.16, 23.30	6.13.20, 27	4.11.18, 25	8.15.22, 29	5.12.19, 26	4.11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
HSJ137		意思決定のスキルII -ディビジョンマネジメントを実践するために-	¥38,500	1日	グループ演習	東京(大森)		21					-
交渉													
HSE711		<eラーニング>【ナビ機能付き】 協創を生み出す交渉(基礎知識編)	¥12,100	4時間	eラーニング		2.9.16, 23.30	6.13.20, 27	4.11.18, 25	8.15.22, 29	5.12.19, 26	4.11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
HSJ145		協創を生み出す交渉(基礎演習編)	¥27,500	1日	グループ演習	東京(大森) 大阪 名古屋	9	12	13	28	20		-
HSJ146		協創を生み出す交渉(実践演習編)	¥82,500	1.5日	グループ演習	東京(大森) 大阪		18~19 23~24	29~30 25~26	9~10 12~13			-

*受講料(税込)は、2019年10月時点の消費税(10%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合、集合研修は講習会終了日、eラーニングは学習開始日時時点の税率を適用した金額となります。

*日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表示しています。

*eラーニングの受講料には教材費(テキスト販売費)を表記しています。

*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
HSJ185		行動経済学を応用した パーセプション(説得)のスキル -ハーバード流交渉術を越えて-	¥38,500	1日	グループ演習	東京(大森)						21	-
コミュニケーション													
HSE049		<eラーニング>ビジネススキル基礎	¥18,700	8時間	eラーニング		2.9.16, 23.30	6.13.20, 27	4.11.18, 25	8.15.22, 29	5.12.19, 26	4.11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
HSJ126		報道相のためのビジネスコミュニケーション基礎	¥33,000	1日	グループ演習	東京(大森) 名古屋	8 23	8			14		-
HSE123	Renewal	<eラーニング>報道相のための ビジネスコミュニケーション基礎-レクチャ編-	¥9,900	4時間	eラーニング		2.9.16, 23.30	6.13.20, 27	4.11.18, 25	8.15.22, 29	5.12.19, 26	4.11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
HSJ127		情報を整理して伝えるコミュニケーション技法 -ロゴス・パトス・エトスを高める-	¥82,500	2日	グループ演習	東京(大森) 大阪	3~4	19~20			17~18	2~3	-
HSE117		<eラーニング> (PDU)リーダ向け報道相 PDU	¥9,900	4時間	eラーニング		2.9.16, 23.30	6.13.20, 27	4.11.18, 25	8.15.22, 29	5.12.19, 26	4.11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
HSJ174		(PDU)ストラクチャード・コミュニケーション -会議を空中戦にせず、 図で共有する・伝える・理解する・考える- PDU	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森) 大阪 名古屋	7	28	10	14	28		-
HSJ188		わたしを活かすキャリアデザイン -人生100年時代のキャリアを考える-	¥38,500	1日	レクチャー	東京(大森)					4		-
HSJ124		リスニング力を高めて コミュニケーションスキルアップ -職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上-	¥38,500	1日	グループ演習	東京(大森) 大阪				27	12		-
HSE124	Renewal	<eラーニング>リスニング力を高めて コミュニケーションスキルアップ-レクチャ編-	¥11,000	4時間	eラーニング		2.9.16, 23.30	6.13.20, 27	4.11.18, 25	8.15.22, 29	5.12.19, 26	4.11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
HSJ125		(PDU)アサーティブ・コミュニケーション -職場に活かせる 建設的コミュニケーションスキルの向上- PDU	¥38,500	1日	グループ演習	東京(大森) 大阪 名古屋 広島	29	12	4,9 3	24	4,17	9	-
HSE125	Renewal	<eラーニング>アサーティブ・コミュニケーション -レクチャ編-	¥11,000	4時間	eラーニング		2.9.16, 23.30	6.13.20, 27	4.11.18, 25	8.15.22, 29	5.12.19, 26	4.11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
マネジメント/リーダシップ													
HSJ197	New	自分を知り他者を知るコミュニケーションマネジメント -DISCモデルによる-	¥88,000	2日	グループ演習	東京(大森)	17~18	25~26			5~6	4~5	-
HSJ052		メンバーシップとチームワーク -チーム力向上のために大切なこと-	¥33,000	1日	グループ演習	東京(大森) 大阪				9	27	6	-
HSE122	Renewal	<eラーニング>メンバーシップとチームワーク -レクチャ編-	¥8,800	4時間	eラーニング		2.9.16, 23.30	6.13.20, 27	4.11.18, 25	8.15.22, 29	5.12.19, 26	4.11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
HSJ114	休講	リーダシップの原理・原則	¥44,000	1日	グループ演習								-
HSE128	Renewal	<eラーニング> リーダシップの原理・原則	¥11,000	4時間	eラーニング		2.9.16, 23.30	6.13.20, 27	4.11.18, 25	8.15.22, 29	5.12.19, 26	4.11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
HSJ196	Renewal	リーダのためのマインドフルネス基礎 -成果発揮へのセルフリーダシップとマインドフル-	¥66,000	1日	グループ演習	東京(大森)		12				4	-
HSJ079		コーチング基礎	¥33,000	1日	グループ演習	東京(大森) 大阪 名古屋	11,17	11,14	5,10	28	3,13, 18	2,9,16	-
HSE121	Renewal	<eラーニング> コーチング基礎-レクチャ編-	¥11,000	4時間	eラーニング		2.9.16, 23.30	6.13.20, 27	4.11.18, 25	8.15.22, 29	5.12.19, 26	4.11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
HSJ194	Renewal	(PDU) 半日でレベルアップ!コーチング実習 PDU	¥27,500	0.5日	グループ演習	東京(大森)				15			-
HSE097		<eラーニング> コーチングマニュアル	¥11,000	1時間	eラーニング		2.9.16, 23.30	6.13.20, 27	4.11.18, 25	8.15.22, 29	5.12.19, 26	4.11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
HSJ147		(PDU) 目標達成のためのコーチング実践 PDU	¥88,000	2日	グループ演習	東京(大森)		26~27	18~19		5~6		-

New: 新設コース Renewal: 改訂コース 休講: 今期の定期開催はありません

PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.59)を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
HSJ148		(PDU)会議/プロジェクトを円滑に進めるためのファシリテーション・スキル向上 PDU	¥88,000	2日	グループ学習	東京(大森)	24~25		2~3	16~17			-
HSJ152		SEのためのサービスマインド醸成 -顧客対応の質を高め、他社と差別化を図る-	¥44,000	1日	グループ学習	東京(大森)		13		16		6	-
HSJ195	Renewal	(PDU)部下のパフォーマンスを高める 1 on 1 ミーティングとフィードバック PDU	¥38,500	1日	グループ学習	東京(大森)	28				7		-
HSJ187		共に勝つ人生戦略 ウィナーシップ研修 -ビジネスパーソンとして「本気づくり」に挑戦する-	¥44,000	1日	グループ学習	東京(大森)			9		14		-
戦略・マーケティング													
HSE107		<eラーニング>(PDU)知っておくべきビジネスモデルの基本 -顧客のビジネスをより理解するために- PDU	¥33,000	10時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は56日間です
HSJ181		(PDU)ソリューション提案のための経営と情報戦略 -経営・事業・情報戦略のあるべき関係性- PDU	¥38,280	1日	グループ学習	東京(大森) 大阪	18	29		15			-
HSJ182		(PDU)ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向 -イノベーション実現のために- PDU	¥55,000	1日	グループ学習	東京(大森)		13	6	22	13		-
セールス													
HSJ180		顧客協創を促す ディスカッションペーパーの作成・活用の仕方	¥38,500	1日	グループ学習	東京(大森)				20			-
CTJ305	New	体系的に学ぶ提案活動の進め方 -プロポーザルマネジメント 戦略策定と骨子づくり編-	¥88,000	2日	グループ学習	東京(大森)		14~15					-
CTJ306	New	はかどる・伝わる!提案書作成 -プロポーザルマネジメント 顕在・潜在ニーズ訴求編-	¥66,000	1日	グループ学習	東京(大森)			13				-
アカウンティング/ファイナンス													
HSE709		<eラーニング>【ナビ機能付き】 WHYで学ぶアカウンティング(基礎知識編)	¥19,800	8時間	eラーニング 学習開始日		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
HSE710		<eラーニング>【ナビ機能付き】 業務に活かす簿記入門	¥22,000	8時間	eラーニング 学習開始日		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
HSE705		<eラーニング>【ナビ機能付き】 (PDU)財務諸表の基礎知識 PDU	¥12,100	4時間	eラーニング 学習開始日		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
HSE103		<eラーニング>(PDU)よくわかるファイナンス1 -投資の判断、リスクとリターン- PDU	¥17,600	4時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は28日間です
HSE104		<eラーニング>(PDU)よくわかるファイナンス2 -企業価値評価- PDU	¥17,600	4時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は28日間です
HSE105		<eラーニング>(PDU)よくわかるファイナンス3 -資金調達の方法- PDU	¥17,600	6時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は28日間です
HSE106		<eラーニング>(PDU)よくわかるファイナンス4 -M&A、コーポレートガバナンス、財務計画- PDU	¥17,600	6時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は28日間です
ビジネスセンスアップ													
HSE118		<eラーニング>(PDU)よくわかるビジネス・ミクロ経済1 -経済学の思考、費用分析、市場経済、ゲーム理論- PDU	¥17,600	6時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は28日間です
HSE098		<eラーニング>(PDU)よくわかるビジネス・ミクロ経済2 -不完全な情報、期待効用、行動経済学- PDU	¥17,600	4時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は28日間です
HSE099		<eラーニング>(PDU)よくわかるマクロ経済1 -効率性と公平性、アダムスミスとケインズ- PDU	¥17,600	4時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は28日間です
HSE100		<eラーニング>(PDU)よくわかるマクロ経済2 -GDP、為替、財政- PDU	¥17,600	6時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は28日間です
HSE101		<eラーニング>(PDU)よくわかるマクロ経済3 -金融政策、ハイエク、フリードマン、シュンペーター- PDU	¥17,600	4時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は28日間です
HSE102		<eラーニング>(PDU)よくわかるマクロ経済4 -景気循環、経済成長、格差社会と少子高齢化- PDU	¥17,600	6時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は28日間です

*受講料(税込)は、2019年10月時点の消費税(10%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合、集合研修は講習会終了日、eラーニングは学習開始日時時点の税率を適用した金額となります。

*日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表示しています。

*学習テキストの受講料欄には教材費(テキスト販売費)を表記しています。

*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
HSE115		<eラーニング>(PDU)中国古典に見る指導者の条件 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は56日間です
HSE113		<eラーニング>(PDU)「貞観政要」に学ぶリーダーの心得 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は56日間です
HSE114		<eラーニング>(PDU)「書経」に学ぶリーダーの心得 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は56日間です
HSE112		<eラーニング>(PDU)「韓非子」のリーダー学 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は56日間です
HSE109		<eラーニング>経世済民の哲学としての朱子学	¥33,000	10時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は56日間です
HSE111		<eラーニング>(PDU)孫子の兵法を現代に役立てる方法 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は56日間です
HSE110		<eラーニング>(PDU)リーダーに必要な人間力 三国志から学ぶリーダー学 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は56日間です
TOEIC® 試験対策													
HSE006	休講	<eラーニング>TOEIC® TEST 完全達成 470	¥13,200	40時間	eラーニング								開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
HSE007	休講	<eラーニング>TOEIC® TEST 完全達成 650	¥13,200	40時間	eラーニング								開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
HSE008	休講	<eラーニング>TOEIC® TEST 完全達成 730	¥13,200	40時間	eラーニング								開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります

グローバル

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
グローバル(掲載ページ: P. 263 ~)													
GBE010		<eラーニング>(PDU)グローバルビジネスの基礎 -ビジネスルールと多様性-(基本セット) PDU	¥22,000	4時間	eラーニング 学習開始日		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
GBE025	Renewal	<eラーニング>多様性の理解(グローバルナビゲーター) A. アジア編	¥5,500	3時間	eラーニング 学習開始日		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
GBE026	Renewal	<eラーニング>多様性の理解(グローバルナビゲーター) B. ロシア、インド、イスラム編	¥5,500	3時間	eラーニング 学習開始日		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
GBE008		<eラーニング>多様性の理解(グローバルナビゲーター) C. ヨーロッパ編	¥5,500	3時間	eラーニング 学習開始日		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
GBE009		<eラーニング>多様性の理解(グローバルナビゲーター) D. アメリカ、オセアニア編	¥5,500	3時間	eラーニング 学習開始日		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
GBD001		情理と論理のグローバルコミュニケーション -日本文化に根ざし、人間力で考える戦略思考-	¥55,000	1日	グループ学習	東京(大森)			18				-
GBE023		<eラーニング>(PDU)中国ビジネスの鉄則 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は56日間です
GBE024		<eラーニング>(PDU)インドビジネスの鉄則 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は56日間です

New: 新設コース Renewal: 改訂コース 休講: 今期の定期開催はありません

PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.59)を参照ください。

eラーニングコースのご紹介

ビジネススタイルやライフスタイルが多様化する中、自分の空いた時間を有効活用して知識やスキルを修得できる「eラーニング」は、非常に有効な研修方法です。

オリジナルeラーニング	マシン演習付き オリジナルeラーニング	提携コースeラーニング
<ul style="list-style-type: none"> ナビ機能付きeラーニング スキル定着を支援するeラーニング 動画型eラーニング 		<ul style="list-style-type: none"> Oracleトレーニング・オンデマンド eラーニング アイテック社 情報処理技術者試験対策 eラーニング SBI大学院 eラーニング ライトワークス社 Microsoft Officeシリーズ eラーニング

種類やコースによってサービス提供期間や学習利用環境(PCおよびWeb環境)が異なります。サービス提供期間については、「開催コース/スケジュール一覧」(P.29～)または当社のホームページでご確認ください。学習利用環境については、当社のホームページでご確認いただけます。

ナビ機能付きeラーニング

1つのコースを細かく複数の学習コンテンツ(チャック)に分離し、プレテストで学習の必要度を判断しながら学習を進められるeラーニングです(既に理解しているチャックは、スキップが可能)。また、学習コンテンツへのメモの書き込みやブックマーク保存、キーワードのWeb検索機能により、受講者の学習を支援します。

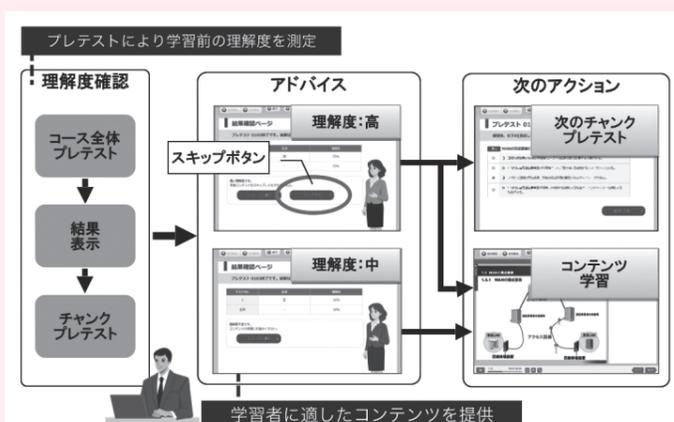
ナビ機能付きeラーニングの特長

学習者毎に学習内容を最適化し、提供するeラーニングです。学習をチャック*と呼ばれる短い単位で区切ることで、細かく理解度を測りながら段階的に学習を進めることができます。

また、修了試験の結果から、理解度が不十分な箇所のみ、再学習できるようになっています。

*チャック: 5~15分程度の短い学習コンテンツ

- Point 1** 学習前の知識レベルに応じて必要な学習内容を判断しながら進めるため、学習時間を短縮できます。
- Point 2** 学習前に自分の理解度を知ること、学習への動機が明確になります。



スキル定着を支援するeラーニング

「知識(わかる)」を「スキル(できる)」に! スキル定着を支援するeラーニングです。

スキル定着を支援するeラーニングの特長

学習者の「知識(わかる)」を「スキル(できる)」にレベルアップさせる学習経験の機会を拡大し、さらなる主体的、継続的な学習や「実践力(使える)」の養成に向けたスキル定着のプロセスを支援します。

- Point 1** 繰り返し設問に取り組むことにより、知識がスキルとして定着することを支援します。
- Point 2** 実務ベースで起こりうるシーンを設問に取り入れているため、すぐに業務に活用できます。

設問に取り組む。 繰り返す。 回答を載せる。 自分なりの回答を作成後、回答例を確認します。

さらなるレベルアップをめざした継続的な学習や実践力養成をめざしたスキル定着を支援するeラーニング!

動画型eラーニング

講義のプレゼンテーション画面や業務用アプリケーションなどのソフトウェア操作画面を、講師の説明音声とともに、動画にて学習できるeラーニングです。

マシン演習付きオリジナルeラーニング

従来のコンテンツによる学習やテストに加え、クラウド上のマシン環境で操作演習できるeラーニングです。

マシン演習付きオリジナルeラーニングの特長

学習者主体の学びが実現できるeラーニングに、クラウド上のマシン演習環境を合わせてご提供いたします。eラーニングで理解した内容をクラウド上のマシンで操作演習し、知識とスキルを定着させます。

- Point 1** Webブラウザとインターネット環境があれば、実機演習を用いた学習をすぐに開始できます。
*学習教材はPDFファイルにて提供いたします。
- Point 2** ご自身のペースで実機演習に取り組みます。
- Point 3** 受講期間中は、何度でもマシン演習環境を利用できます。

知識の修得 → 知る! → 試す! → 実機演習

操作演習用テキスト(PDF)をダウンロード

クラウド活用により迅速に演習環境を提供

実機演習を中心に知識とスキルを身につけるタイプのeラーニング!

提携コースeラーニング

提携コースeラーニングは、各社に委託し提供しているeラーニングです。このeラーニングは、提携各社のサービスを利用します。(学習利用環境、学習要領など提携各社ごとに異なりますので、あらかじめご了承ください)

- 提携コースeラーニングには、以下のコースがあります。
- Oracleトレーニング・オンデマンド eラーニング
 - アイテック社 情報処理技術者試験対策 eラーニング
 - SBI大学院 eラーニング
 - ライトワークス社 Microsoft Officeシリーズ eラーニング

eラーニングの学習利用環境

eラーニングのコースによって学習利用環境が異なります。

学習利用環境 学習利用環境については、下記のページをご確認ください。
<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/intro/el/index.html>

eラーニングシステム変更についてのお知らせ

2019年4月からeラーニングシステムの環境が新しく変わりました。これに伴う変更点は下記のとおりです。

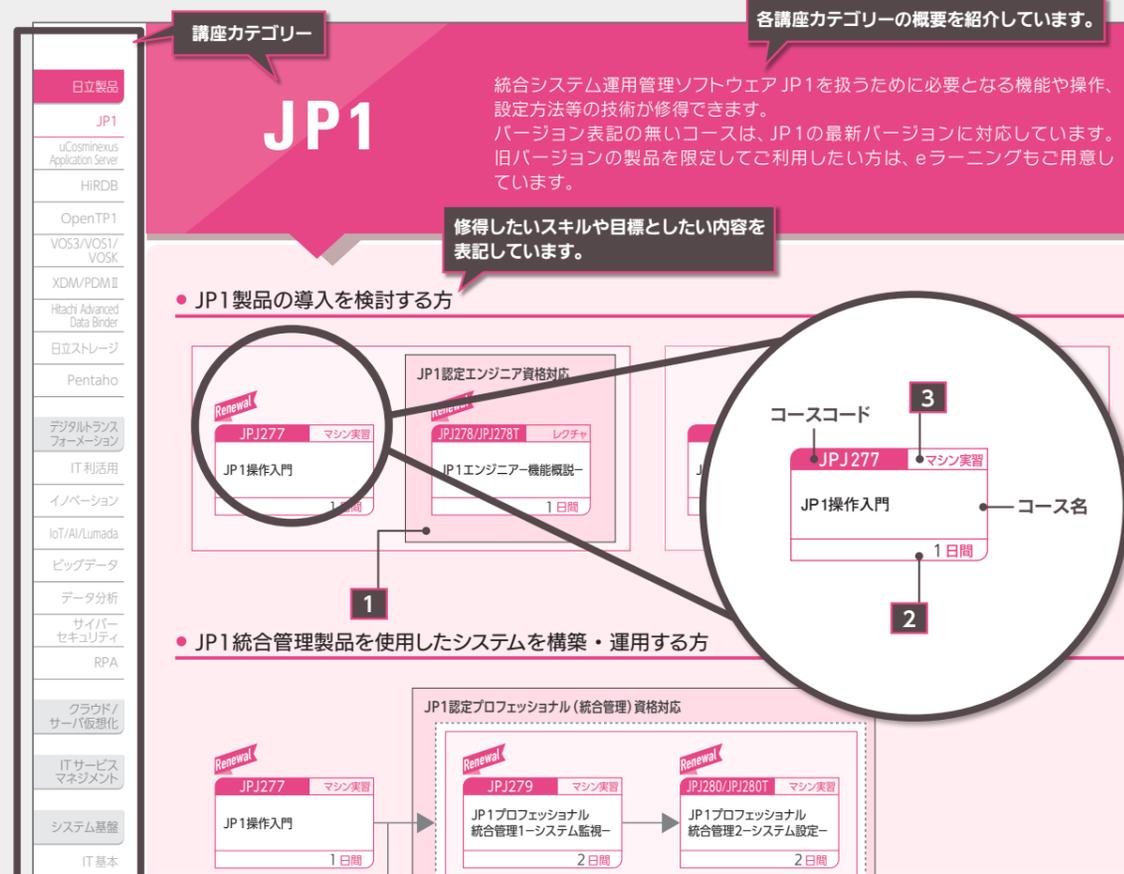
- オリジナルeラーニングのサービス提供期間終了日
開始日にかかわらずサービス提供期間終了日は各期の当社最終営業日となります。(9月末または3月末)
開始日によっては従来のサービス期間3ヶ月から、最大6ヶ月まで期間が延長されますが、期末に近い開始日では学習期間が短くなりますので、お申し込み時に確認をお願いいたします。
なお、マシン演習付きオリジナルeラーニングと提携コースeラーニングは、従来どおりコースごとに設定されたサービス提供期間で変更はございません。
- ご利用時間
メンテナンス日を除き、サービスの提供時間は24時間365日となります。メンテナンスの日程は当社のホームページでお知らせします。

受講レベル確認サービスのご紹介

いつでもどなたでもご利用できるサービスです。事前にコースの前提知識を確認することにより、効果的に受講することができます。また、実力の把握などに活用することもできます。詳細は、当社のホームページからご利用ください。

お客様の人財育成に役立てていただけるよう適切な体系を考え、また各種スキル標準に沿ったかたちで、さまざまなカリキュラムをご用意しています。36の講座カテゴリーに分類し、体系的に学習し、効率的なスキルアップを図れるよう、コースフローを紹介しています。

コースフロー参照の **POINT!**



講座カテゴリー

日立製品研修

- 日立製品**
- JP1
 - uCosminexus Application Server
 - HiRDB
 - OpenTP1
 - VOS3/VOS1/VOSK
 - XDM/PDM II
 - Hitachi Advanced Data Binder
 - 日立ストレージ
 - Pentaho

IT/ビジネス研修

- デジタルトランスフォーメーション**
- IT 利活用
 - イノベーション
 - IoT/AI/Lumada
 - ビッグデータ
 - データ分析
 - サイバーセキュリティ
 - RPA
- IT戦略・IS企画**
- システム開発
 - 要件定義 / 設計
 - モデリング
 - プログラミング
 - 情報処理技術者試験対策
- クラウド / サーバ仮想化**
- IT リテラシ
- IT サービスマネジメント**
- プロジェクトマネジメント
- システム基盤**
- コンプライアンス
 - ビジネス / ヒューマン
 - グローバル
 - IT 基本
 - オープンソースソフトウェア (OSS)
 - Linux
 - Microsoft
 - ネットワーク
 - ハードウェア
 - セキュリティ
 - データベース

コースカリキュラム参照の **POINT!**

コースコード

JPJ277 JP1

コース名

JP1操作入門

1日間

3

2

JP1の代表的な5製品の基本操作を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- JP1の主要5製品の特徴を説明できる。
- JP1/Automatic Job Management System3 (ジョブ管理)で業務を自動実行するための基本操作ができる。
- JP1/IT Desktop Management2(資産・配布管理)で資産管理をするための基本操作ができる。
- JP1/Cm2/Network Node Manager i(ネットワーク管理)でネットワークの監視をするための基本操作ができる。
- JP1/Performance Management (パフォーマンス管理)で稼働情報を監視するための基本操作ができる。
- JP1/Integrated Management Manager (統合管理)でシステム監視するための基本操作ができる。

対象者 JP1を使用してシステム運用管理をする方。JP1の導入を検討する方。

前置知識 オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語をご存知で、かつMicrosoft Windowsの操作経験があること。

内容

- システム運用管理とJP1
- ジョブ管理の操作入門
- 資産・配布管理の操作入門
- ネットワーク管理の操作入門
- パフォーマンス管理の操作入門
- 統合管理の操作入門

備考

- このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- このコースは、最新のバージョンに対応します。
- 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

分野名

JPJ300/JPJ300T JP1

コース名

JP1コンサルタント 資産・配布管理

1日間

2

1

JP1資産・配布管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を学習します。

到達目標 JP1資産・配布管理製品の導入・構築のための設計ができる。

対象者 JP1資産・配布管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方。

前置知識 「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 1、2、3」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- 設計
- 構築
- JP1製品との連携
- 障害事例

備考

- このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- このコースは、「JP1認定コンサルタント(資産・配布管理)」資格に準拠したコースです。
- このコースは、最新のバージョンに対応します。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えないようお願いいたします。
- コースコード: JPJ300 (研修のみ)
- コースコード: JPJ300T (試験付)
- 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。
- 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

アイコン凡例

1 開催区分

- New 新設コース
- Renewal 改訂コース
- 休講 今期の定期開催はありません

2 開催日数/平均学習時間

コースの開催日数となります。eラーニング、自習テキスト・演習環境の場合は平均学習時間を表記しています。

3 学習形態

学習形態により学習利用環境が異なりますので、ホームページをご参照のうえ、事前に環境をご確認ください。

【集合研修】

- マシン実習 原則として1人1台のマシンを使用しながらの研修
- グループ演習 グループ演習を中心とした研修
- 座学による研修

【eラーニング】

- オリジナルeラーニング
 - ナビ機能付き eラーニング
 - スキル定着 eラーニング
 - 動画型 eラーニング

【演習環境】

- 演習環境 職場・ご自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習

マシン実習付きオリジナルeラーニング

提携コースeラーニング

- Oracleトレーニング・オンデマンド eラーニング
- アイテック社 情報処理技術者試験対策 eラーニング
- SBI大学院 eラーニング
- ライトワークス社 Microsoft Officeシリーズ eラーニング

【自習テキスト】

- 自習テキスト 職場・ご自宅など自習テキストによる自己学習

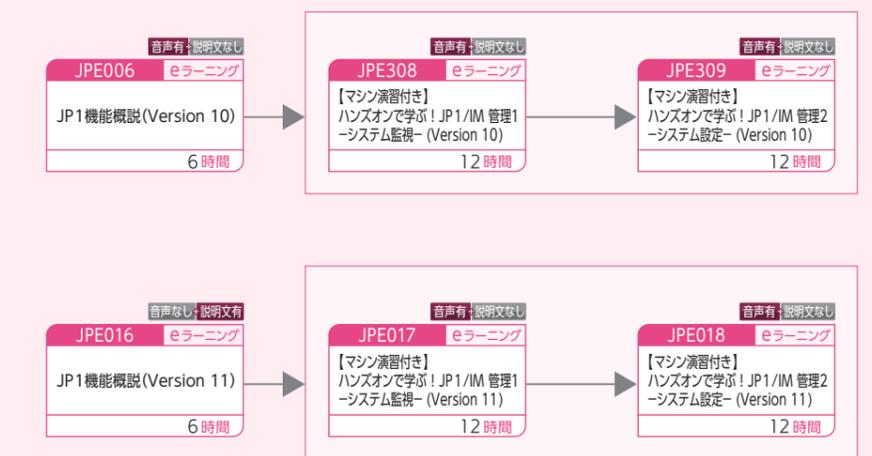
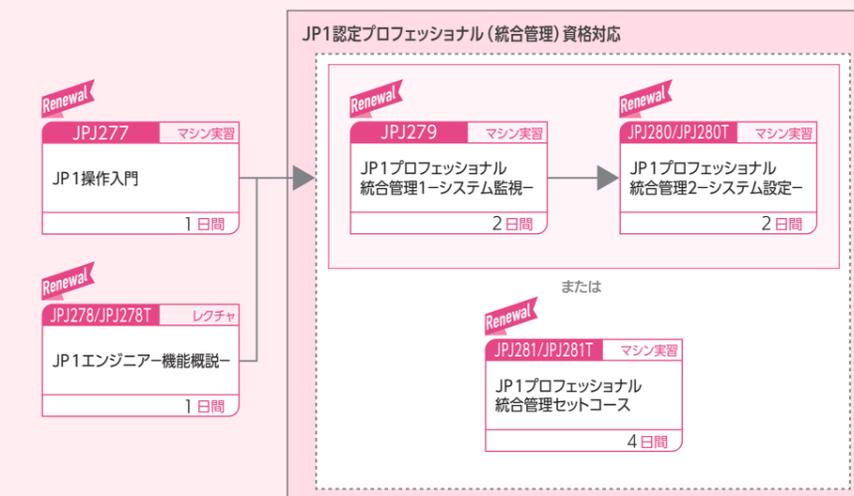
JP1

統合システム運用管理ソフトウェア JP1を扱うために必要となる機能や操作、設定方法等の技術が修得できます。バージョン表記の無いコースは、JP1の最新バージョンに対応しています。旧バージョン製品をご利用の方も受講できます。なお、旧バージョン製品を限定してご利用したい方は、eラーニングもご用意しています。

● JP1 製品の導入を検討する方



● JP1 統合管理製品を使用したシステムを構築・運用する方

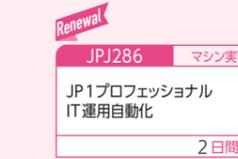


音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

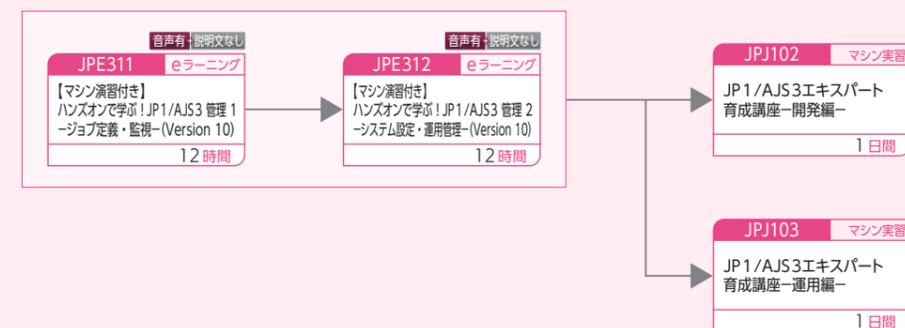
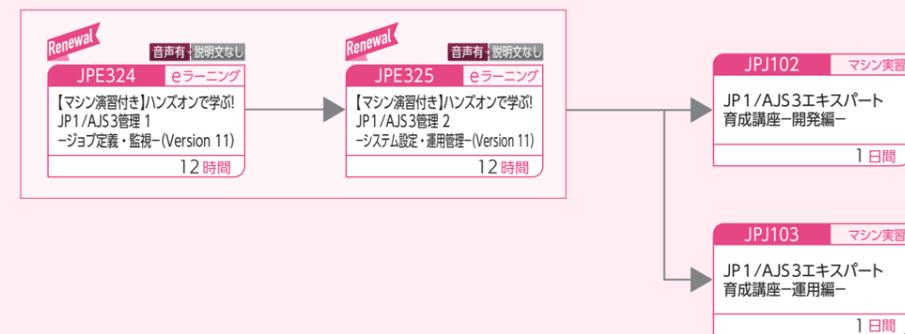
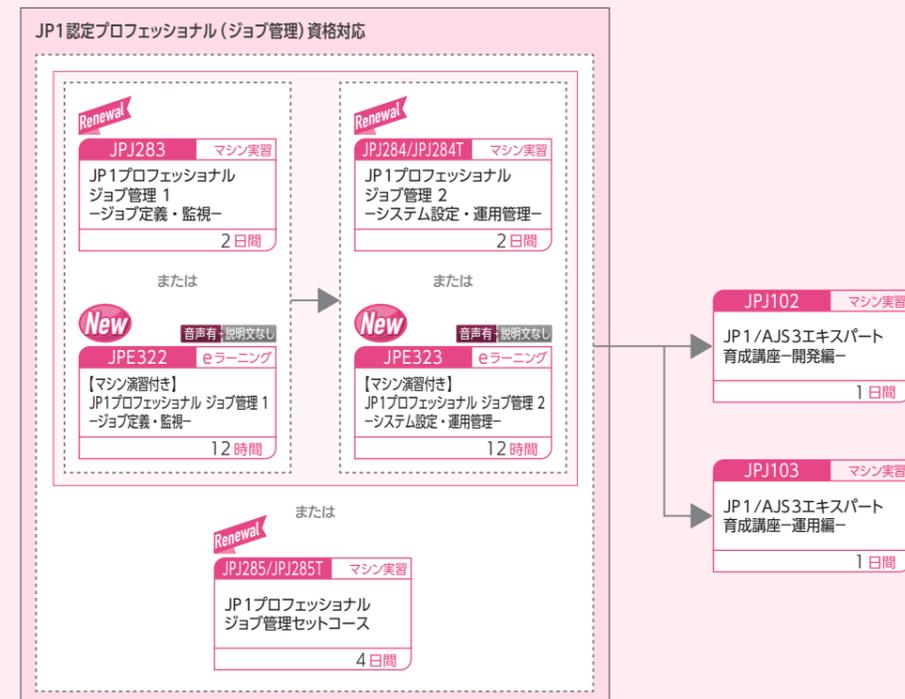
初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。



● JP1 IT運用自動化製品を使用したシステムを構築・運用する方



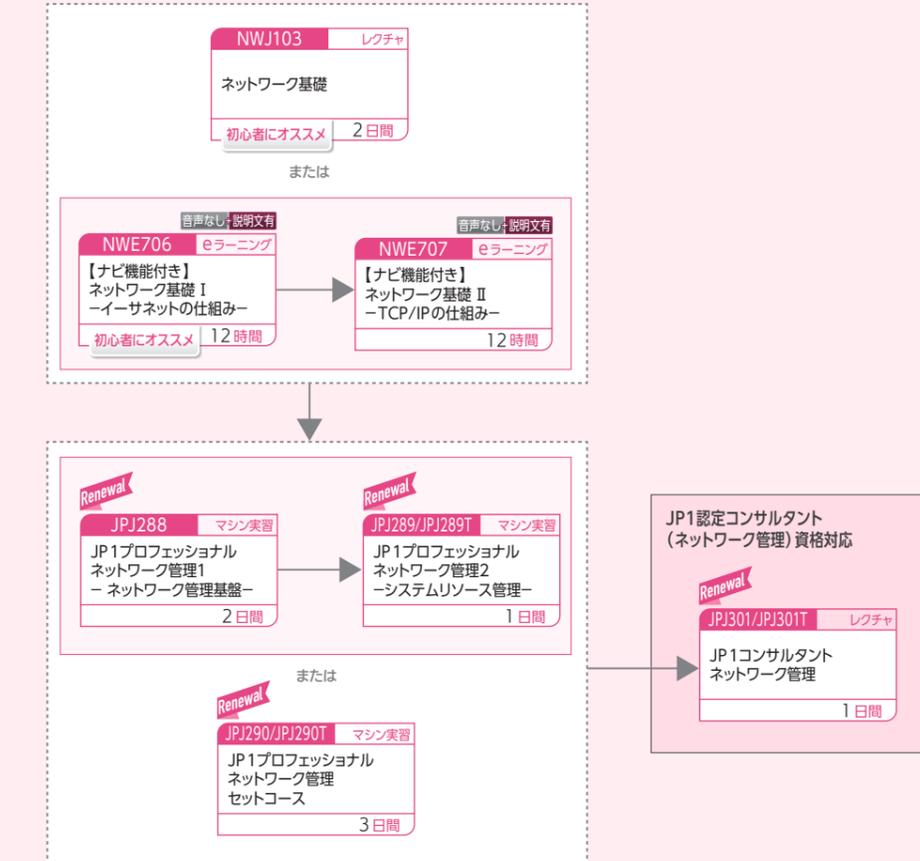
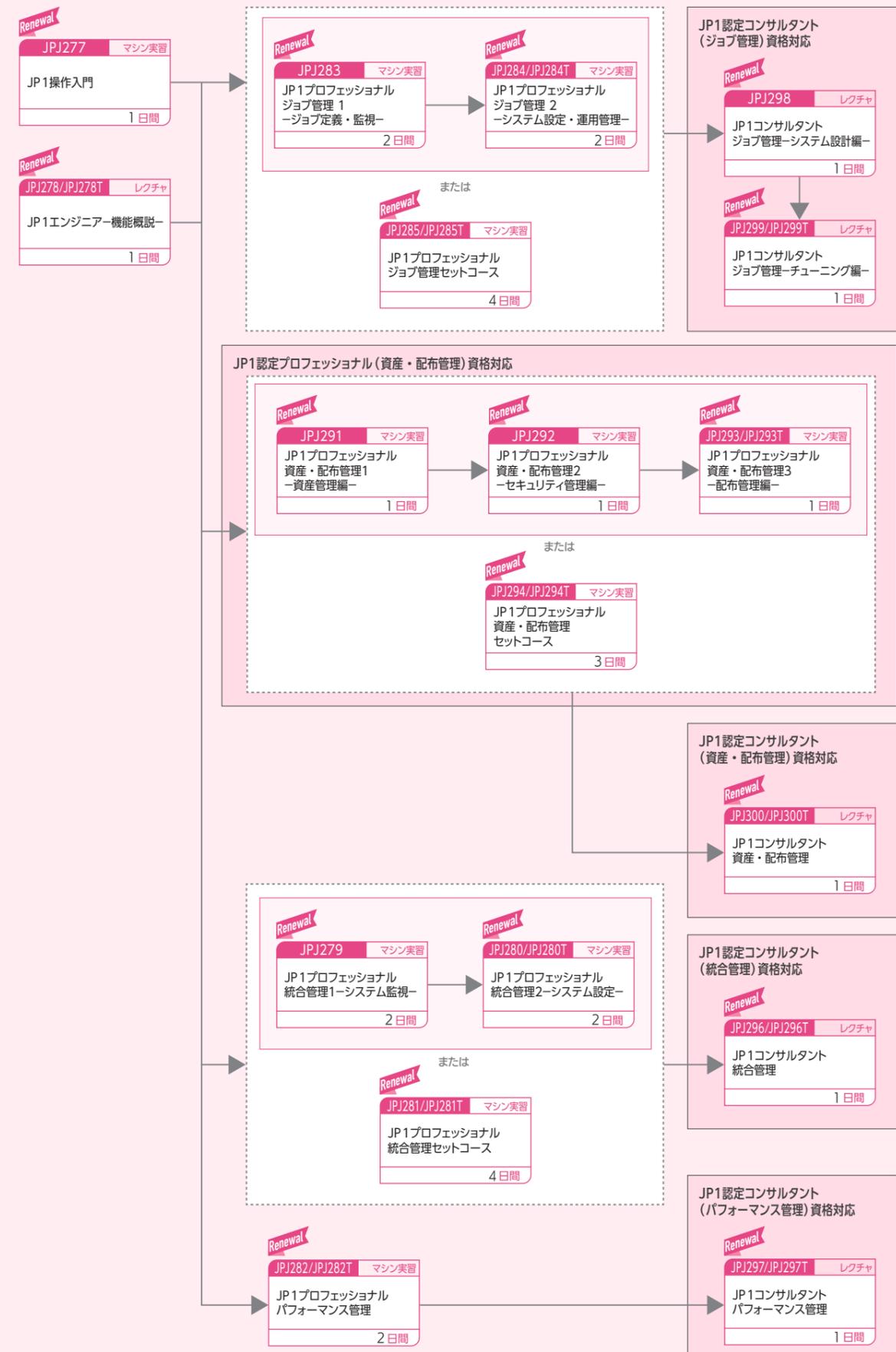
● JP1 ジョブ管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



休講 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

● JP1の各カテゴリ製品のシステム設計をする方



音声有+説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
 音声有+説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必要となります。
 音声なし+説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント

システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング

情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン

グローバル

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度 ― オープンミドルウェア編

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度(オープンミドルウェア編)は、JP1製品を対象に、一定以上のスキルを有する技術者を日立が認定する制度です。セールスからシステム構築・運用、アプリケーション開発まで目的ごと、さらにレベルごとに資格を設け、「試験」により、厳格・公正な評価基準でそのスキルレベルを認定します。

資格取得をサポート

試験合格をサポートする学習コース「講座」もご用意しております。講座は、試験に準拠した内容となっており、かつ高度な知識やノウハウを体系的・効率的に学べる、と大変好評をいただいております。

信頼と安心の技術者資格認定

資格取得者は、そのスキルレベルを客観的に示すことができ、日立オープンミドルウェア各製品をご利用いただくお客様、ソリューションやサービスを提供する方々から高い信頼と評価を得ることができます。また、人材育成や技術者のテクニカルスキルをはかる尺度としても活用できます。

資格取得者の特典

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度では、資格取得者に対して専用のWebサイトをご用意し、資格のバージョンアップや継続してスキルアップを図るための技術情報をご提供しております。(ご希望の方にはメールでもご案内しております。)また、認定証や名刺に貼ってご利用いただける認定ロゴシールや印刷して使用できるロゴも資格者専用の会員サイトにてご提供しております。

<受験にあたってのお願い>

- 受験当日は、ご本人を確認できる顔写真付き証明書(免許証、従業員証、パスポートなど)を忘れずにご持参ください。ご持参いただかない場合は、受験が無効になることがありますので、ご注意ください。
- 認定試験はマークシート方式のため、鉛筆またはシャープペンシル、プラスチック製消しゴムをご持参ください。
- 試験付コースをお申し込みの場合は、お申し込みの情報を日立オープンミドルウェア技術者認定センターに提供いたします。

JP1 技術者資格認定試験一覧

	試験名	試験内容	認定基準	試験時間
JP1認定エンジニア	CBT 日立	試験問題20問	70%以上正解	40分
JP1認定プロフェッショナル (各カテゴリ別認定)	CBT 日立	試験問題30問	70%以上正解	60分
JP1認定コンサルタント (各カテゴリ別認定)	CBT 日立	試験問題30問	70%以上正解	60分
JP1認定セールスコーディネーター [※]	CBT 日立	試験問題20問	70%以上正解	30分

CBT CBT試験サービス会社で受験できる試験 **日立** 当社で研修とともに受験できる試験

※日立パートナー様のみ受験可能です。

資格認定試験は、(株)日立製作所が提供するものです。

運営は、(株)日立アカデミーおよびCBT試験サービス会社に委託しています。

※受験可能なCBT試験サービス会社は下記のホームページでお確かめください。

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度サイト ▶▶ **JP1** <http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/soft1/jp1/event/cert/index.html>

● JP1 技術者資格認定制度の詳細・最新情報について

<http://www.hitachi.co.jp/products/it/cert/middleware/index.html>

● (株)日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部 日立オープンミドルウェア技術者認定センター お問い合わせ窓口

https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/it/soft/cert_contact/form.jsp

マシン学習 マシンを使用しながらの研修	グループ演習 グループ演習を中心とした研修	レクチャ 座学による研修	演習環境 職場・自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習	eラーニング インターネット接続による自己学習	自己テキスト 自習書による自己学習
------------------------	--------------------------	-----------------	----------------------------------	----------------------------	----------------------

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント

システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング

情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン

グローバル

JP1技術者資格認定制度 (Version 12対応)

※Version 11については日立オープンミドルウェア技術者認定センターまでお問い合わせください。

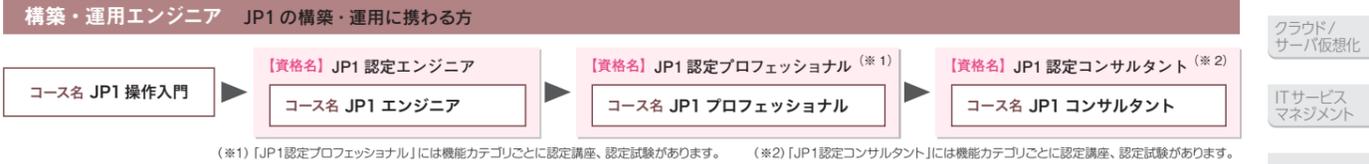
JP1技術者資格認定制度は、JP1の一定以上のスキルを有する技術者を日立が認定する制度です。セールスからシステム構築・運用まで目的ごと、さらにレベルごとに資格を設け、「JP1試験」により、厳格・公正な評価基準でそのスキルレベルを認定します。

JP1 技術者資格認定一覧

資格名	認定スキル
JP1認定エンジニア <Certified JP1 Engineer>	JP1全般の理解、および運用に必要なテクニカルスキルを修得したエンジニアを認定します。
JP1認定プロフェッショナル <Certified JP1 Professional>	JP1各カテゴリ製品の導入とシステム構築ができるテクニカルスキルを修得したエンジニアをカテゴリごとに認定します。
JP1認定コンサルタント <Certified JP1 Consultant>	JP1各カテゴリ製品について、最適なコンサルテーションができるテクニカルスキルを修得したエンジニアを、カテゴリごとに認定します。
JP1認定セールスコーディネーター <Certified JP1 Sales Coordinator> [※]	お客様に対し最適なJP1の提案・見積もりができるセールススキルを修得したエンジニアを認定します。

※日立パートナー様のみ受験可能です。

JP1 技術者資格認定制度の体系



セールスエンジニア JP1の販売に携わる方

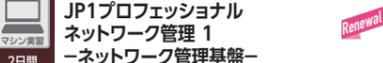


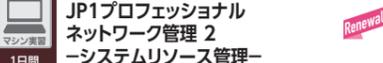
JP1 技術者資格認定制度における出題範囲

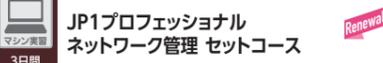
試験名	試験の出題範囲
JP1認定エンジニア	「JP1エンジニア機能概説-」(コースコード:JPJ278)のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル 統合管理	「JP1プロフェッショナル 統合管理 1-システム監視-」(コースコード:JPJ279)、 「JP1プロフェッショナル 統合管理 2-システム設定-」(コースコード:JPJ280)のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル パフォーマンス管理	「JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理」(コースコード:JPJ282)のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル ジョブ管理	「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1-ジョブ定義・監視-」(コースコード:JPJ283)、 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2-システム設定・運用管理-」(コースコード:JPJ284)のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル 資産・配布管理	「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 1-資産管理編-」(コースコード:JPJ291)、 「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 2-セキュリティ管理編-」(コースコード:JPJ292)、 「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 3-配布管理編-」(コースコード:JPJ293)のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル ネットワーク管理	「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1-ネットワーク管理基盤-」(コースコード:JPJ288)、 「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2-システムリソース管理-」(コースコード:JPJ289)のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル バックアップ管理	「JP1プロフェッショナル バックアップ管理」(コースコード:JPJ287)のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル セキュリティ管理	「JP1プロフェッショナル セキュリティ管理」(コースコード:JPJ295)のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント 統合管理	「JP1コンサルタント 統合管理」(コースコード:JPJ296)、 「JP1プロフェッショナル 統合管理 1-システム監視-」(コースコード:JPJ279)、 「JP1プロフェッショナル 統合管理 2-システム設定-」(コースコード:JPJ280)のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント パフォーマンス管理	「JP1コンサルタント パフォーマンス管理」(コースコード:JPJ297)、 「JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理」(コースコード:JPJ282)のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント ジョブ管理	「JP1コンサルタント ジョブ管理-システム設計編-」(コースコード:JPJ298)、 「JP1コンサルタント ジョブ管理-チューニング編-」(コースコード:JPJ299)、 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1-ジョブ定義・監視-」(コースコード:JPJ283)、 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2-システム設定・運用管理-」(コースコード:JPJ284)のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント 資産・配布管理	「JP1コンサルタント 資産・配布管理」(コースコード:JPJ300)、 「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 1-資産管理編-」(コースコード:JPJ291)、 「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 2-セキュリティ管理編-」(コースコード:JPJ292)、 「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 3-配布管理編-」(コースコード:JPJ293)のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント ネットワーク管理	「JP1コンサルタント ネットワーク管理」(コースコード:JPJ301)、 「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1-ネットワーク管理基盤-」(コースコード:JPJ288)、 「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2-システムリソース管理-」(コースコード:JPJ289)のテキスト内容から出題
JP1認定セールスコーディネーター [※]	「JP1セールスコーディネーター」(コースコード:JPJ302)のテキスト内容から出題 ※日立パートナー様のみ受験可能です。

休講 **休講**
今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

JPJ288	JP1
	JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1 —ネットワーク管理基礎—
2日間	
<p>ネットワーク接続機器の監視、管理を行うJP1/Network Node Manager i (JP1/NNMI) 製品の機能について、マシン実習を通して学習します。</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> JP1/NNMI のシステム構成と基本機能を説明できる。 JP1/NNMI のインストール後のセットアップができる。 監視環境の構築（検出、ポーリング設定）ができる。 インシデントの管理ができる。
対象者	<ul style="list-style-type: none"> JP1/NNMI を使用したネットワーク管理、システム構築を行う方。 JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。
前提知識	「ネットワーク基礎」コースを修了しているか、または同等の知識があること。「ネットワーク管理概説と演習」コースを修了しているか、ネットワーク管理プロトコルであるSNMPに関する知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> JP1によるネットワーク管理の概要 <ol style="list-style-type: none"> JP1によるネットワーク管理 ネットワーク管理オプション製品 JP1/NNMIを使ったネットワーク管理の概要 セットアップ <ol style="list-style-type: none"> システム構成 ユーザアカウントの作成 通信の基本設定 監視対象の登録 <ol style="list-style-type: none"> ノードの登録 管理モード ノードグループの作成 障害監視・性能監視 <ol style="list-style-type: none"> 障害監視の動作 監視設定 性能情報の利用 インシデント管理 <ol style="list-style-type: none"> インシデントの監視 インシデントへの対応 インシデント管理の設定
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(ネットワーク管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、最新のバージョンに対応します。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。

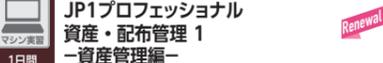
JPJ289/JPJ289T	JP1
	JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2 —システムリソース管理—
1日間	
<p>JP1/SNMP System Observer (JP1/SSO) を使用したサーバのリソース管理、プロセス監視の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> JP1/SSOのシステム構成と基本機能を説明できる。 JP1/SSOのインストールができる。 システムリソースの参照、収集設定ができる。 プロセスリソースの状態監視、監視設定ができる。 JP1/NNMIとの連携設定ができる。
対象者	<ul style="list-style-type: none"> JP1/SNMP System Observer (JP1/SSO) を使用してサーバのリソース管理、プロセス管理を行う方。 JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。
前提知識	「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1—ネットワーク管理基礎—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> JP1によるリソース管理の概要 セットアップ <ol style="list-style-type: none"> システム構成 監視マネジ、監視サーバ、リモート操作端末のセットアップ SSOコンソールのユーザ認証 システムリソース管理 <ol style="list-style-type: none"> システムリソースの収集、参照 レポート機能 プロセスおよびサービス監視 <ol style="list-style-type: none"> 監視設定、状態参照
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(ネットワーク管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、最新のバージョンに対応します。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 コースコード：JPJ289(研修のみ) コースコード：JPJ289T(試験付) 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

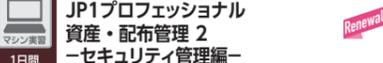
JPJ290/JPJ290T	JP1
	JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 セットコース
3日間	
<p>ネットワーク接続管理の監視、管理を行うJP1/Network Node Manager i (JP1/NNMI) 製品の機能について、マシン実習を通して学習します。また、JP1/SNMP System Observer (JP1/SSO) を使用したサーバのリソース管理、プロセス監視の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。</p>	
●このコースは、セットコースのご案内となります。各コースの詳細情報をご参照ください。	
<JPJ288> JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1 —ネットワーク管理基礎—	
<JPJ289/JPJ289T> JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2 —システムリソース管理—	
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(ネットワーク管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、最新のバージョンに対応します。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 コースコード：JPJ290(研修のみ) コースコード：JPJ290T(試験付) 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ294/JPJ294T	JP1
	JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 セットコース
3日間	
<p>JP1/IT Desktop Management 2 (JP1/ITDM2) を使用した資産管理、セキュリティ管理、配布管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。</p>	
●このコースは、セットコースのご案内となります。各コースの詳細情報をご参照ください。	
<JPJ291> JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 1 —資産管理編—	
<JPJ292> JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 2 —セキュリティ管理編—	
<JPJ293/JPJ293T> JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 3 —配布管理編—	
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(資産・配布管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、最新のバージョンに対応します。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 コースコード：JPJ294(研修のみ) コースコード：JPJ294T(試験付) 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ295/JPJ295T	JP1
	JP1プロフェッショナル セキュリティ管理
1日間	
<p>JP1/秘文を使用したセキュリティ管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> JP1/秘文のシステム構成と基本機能を説明できる。 JP1/秘文のインストールとセットアップができる。 秘文DCによる持ち出し/読み込み制御の操作ができる。 秘文DEによるHD、リムーバブルディスク、ファイルの暗号化の操作ができる。 秘文 Serverの設定と操作ができる。
対象者	<ul style="list-style-type: none"> JP1/秘文を使用してセキュリティ管理を行う方。 JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。
前提知識	セキュリティの基礎知識があり、かつMicrosoft Windowsの基本的な操作経験があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> JP1/秘文の概要 秘文DC、秘文Serverの主要機能 秘文DEの主要機能 秘文DE (FS)、秘文 Sever (ファイルサーバ)の主要機能 秘文Server (秘文LM) 秘文DPの主要機能
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(セキュリティ管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、最新のバージョンに対応します。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 コースコード：JPJ295(研修のみ) コースコード：JPJ295T(試験付) 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ287/JPJ287T	JP1
	JP1プロフェッショナル バックアップ管理
1日間	
<p>JP1/VERITAS NetBackupによるバックアップ管理機能を理解し、その使い方を、マシン実習を通して学習します。</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> JP1/VERITAS NetBackupの主な機能を説明できる。 JP1/VERITAS NetBackupのシステム構成を説明できる。 JP1/VERITAS NetBackupのインストールと環境設定ができる。 バックアップジョブとリストアジョブを作成し実行できる。
対象者	<ul style="list-style-type: none"> JP1/VERITAS NetBackupを使用してバックアップ管理を行う方。 JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。
前提知識	Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。また、一般的なバックアップの基礎知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> JP1/VERITAS NetBackupの概要 <ol style="list-style-type: none"> バックアップとリストアの基礎知識 JP1/VERITAS NetBackupの製品概要 JP1/VERITAS NetBackupのシステム構成 インストールと環境設定 <ol style="list-style-type: none"> JP1/VERITAS NetBackupのインストール JP1/VERITAS NetBackupの環境設定 バックアップとリストア <ol style="list-style-type: none"> JP1/VERITAS NetBackupによるデータバックアップ JP1/VERITAS NetBackupによるデータのリストア 高度なバックアップ
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(バックアップ管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、最新のバージョンに対応します。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 コースコード：JPJ287(研修のみ) コースコード：JPJ287T(試験付) 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ291	JP1
	JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 1 —資産管理編—
1日間	
<p>JP1/IT Desktop Management 2 (JP1/ITDM2) を使用した資産管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータなどの機器の状態を把握してメンテナンスができる。 ハードウェア資産やソフトウェアのライセンス過不足の状況を把握できる。
対象者	<ul style="list-style-type: none"> JP1/IT Desktop Management 2 (JP1/ITDM2) を使用してコンピュータの資産管理を実施する方。 JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。
前提知識	Microsoft Windowsを操作できること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 資産管理の概要 JP1/ITDM2の導入 機器管理 リモートコントロール 資産管理 Asset Console
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(資産・配布管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、最新のバージョンに対応します。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。

JPJ292	JP1
	JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 2 —セキュリティ管理編—
1日間	
<p>JP1/IT Desktop Management 2 (JP1/ITDM2) を使用したセキュリティ管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。</p>	
到達目標	セキュリティ状況の把握と対策を検討できる。
対象者	<ul style="list-style-type: none"> JP1/IT Desktop Management 2 (JP1/ITDM2) を使用してコンピュータのセキュリティ管理を実施する方。 JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。
前提知識	Microsoft Windowsを操作できること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> セキュリティ管理の概要 セキュリティポリシーの作成 セキュリティ状況の確認 更新プログラムの管理 ネットワークの接続制御 スマートデバイス管理
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(資産・配布管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、最新のバージョンに対応します。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。

JPJ293/JPJ293T	JP1
	JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 3 —配布管理編—
1日間	
<p>JP1/IT Desktop Management 2 (JP1/ITDM2) を使用した配布管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。</p>	
到達目標	パッチやファイルをコンピュータに配布し、インストールできる。
対象者	<ul style="list-style-type: none"> JP1/IT Desktop Management 2 (JP1/ITDM2) を使用してコンピュータの配布管理を実施する方。 JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。
前提知識	Microsoft Windowsを操作できること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 配布管理の概要 リモートインストールマネージャを利用した配布 ITDM互換配布
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(資産・配布管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、最新のバージョンに対応します。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 コースコード：JPJ293(研修のみ) コースコード：JPJ293T(試験付) 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ296/JPJ296T	JP1
	JP1コンサルタント 統合管理
1日間	
<p>JP1統合管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を学習します。</p>	
到達目標	JP1統合管理製品の導入・構築のための設計ができる。
対象者	<ul style="list-style-type: none"> JP1統合管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方。 JP1認定コンサルタント資格(統合管理)の取得をめざす方。
前提知識	「JP1プロフェッショナル 統合管理 1—システム監視—」コースおよび「JP1プロフェッショナル 統合管理 2—システム設定—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> JP1による運用管理システムの構築工程 想定する顧客システムの構成 要件定義 設計 構築作業 運用に向けて 障害事例
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、「JP1認定コンサルタント(統合管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、最新のバージョンに対応します。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 コースコード：JPJ296(研修のみ) コースコード：JPJ296T(試験付) 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ297/JPJ297T	JP1
	JP1コンサルタント パフォーマンス管理
1日間	
<p>JP1パフォーマンス管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を学習します。</p>	
到達目標	JP1パフォーマンス管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を修得できる。
対象者	<ul style="list-style-type: none"> JP1パフォーマンス管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方。 JP1認定コンサルタント(パフォーマンス管理)資格の取得をめざす方。
前提知識	「JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> パフォーマンス管理の導入事例 想定するお客様とシステムの概要 稼働監視システムの運用サイクル 稼働監視システムの設計 環境構築 運用に向けた留意事項 他のJP1製品との連携 障害事例
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、「JP1認定コンサルタント(パフォーマンス管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、最新のバージョンに対応します。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 コースコード：JPJ297(研修のみ) コースコード：JPJ297T(試験付) 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ298	JP1
	JP1コンサルタント ジョブ管理 —システム設計編—
1日間	
<p>JP1/AJS3を中心としたジョブ設計、運用設計に関する知識を学習します。要件の確認からシステム設計、ジョブ運用までの一連の流れを学習します。</p>	
到達目標	JP1/AJS3を中心としたジョブ設計、運用設計に関する知識を修得できる。
対象者	<ul style="list-style-type: none"> JP1ジョブ管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方。 JP1コンサルタント資格(ジョブ管理)をめざす方。
前提知識	「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1—ジョブ定義・監視—」, 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2—システム設定・運用管理—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 顧客要件の確認 システム設計 JP1設計ポイント トラブルシューティング
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、「JP1認定コンサルタント(ジョブ管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、最新のバージョンに対応します。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。

CSE302 uCosminexus Application Server

<eラーニング>【マシン演習付き】uCosminexus Application Server 入門-構築基礎-

6時間

uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの構築手法を学習します。uCosminexus Application ServerのインストールからWebシステムの構築までを扱います。

到達目標

- ・uCosminexus Application Serverの機能概要を説明できる。
- ・uCosminexus Application Serverを用いた基本的な構成のWebシステムを構築できる。

対象者

uCosminexus Application Serverを用いてWebシステムを構築する方、uCosminexus Application Serverの導入を検討している方。

前提知識

Webアプリケーションに関する基礎知識があり、かつMicrosoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内容

1. アプリケーションサーバ概要
2. uCosminexus Application Serverシステム構築の流れ
3. uCosminexus Application Serverのインストール
4. セットアップウィザードを用いたシステム構築
5. 運用管理ポータルを用いた操作・設定
6. 修了試験

備考

- ・サービス有効期限は21日間です。
- 【お申し込み前に必ずご確認ください】
- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf
- ・このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・このコースは、集合研修「uCosminexus Application Server 入門-構築基礎-」コース(CSJ017)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- ・このコースは、【マシン演習付き】<eラーニング>Cosminexus エンジニア アプリケーションサーバシステム構築基礎-」コースの名称を変更したものです。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

CSE303 uCosminexus Application Server

<eラーニング>【マシン演習付き】uCosminexus Application Server 実践1-設計・構築-

12時間

uCosminexus Application Serverを用いたシステムの設計・構築・運用に必要なノウハウを学習します。

到達目標

- ・要件にあった運用方法や信頼性確保手順を説明できる。
- ・システム構築に使用するパラメータを設計できる。
- ・システムの構築・運用ができる。

対象者

uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの設計・構築をする方。

前提知識

【マシン演習付き】uCosminexus Application Server 入門-構築基礎-Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。さらにWebシステムの構築または運用に携わった経験があること。

内容

1. 作業概要とシステム基本構成
2. システム基本設計
3. システム詳細設計
4. システム構築
5. 修了試験

備考

- ・サービス有効期限は21日間です。
- 【お申し込み前に必ずご確認ください】
- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf
- ・このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・このコースは、集合研修「uCosminexus Application Server 実践 1-設計・構築-」コース(CSJ018)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

CSE304 uCosminexus Application Server

<eラーニング>【マシン演習付き】uCosminexus Application Server 実践2-トラブルシュート-

6時間

uCosminexus Application Serverを用いたシステムのトラブルシュートについて学習します。トラブルが発生したときの対処方法を理解できます。

到達目標

- ・トラブルシュートの流れを説明できる。
- ・代表的なトラブルについて、原因を切り分けができる。

対象者

uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの障害対応をする方、JavaEEアプリケーションの開発をする方。

前提知識

【マシン演習付き】uCosminexus Application Server 実践 1-設計・構築-Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。さらにJavaEEアプリケーション開発に携わった経験があること。

内容

1. トラブルシュートの概要
2. トラブルシュート手順
3. 代表的なトラブルの原因切り分け方法
4. 修了試験

備考

- ・サービス有効期限は21日間です。
- 【お申し込み前に必ずご確認ください】
- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf
- ・このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・このコースは、旧「uCosminexus Application Server 実践 2-トラブルシュート-」コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

CSE001 uCosminexus Application Server

<eラーニング>uCosminexus Application Server 実践3-性能設計・性能対策-

6時間

uCosminexus Application Server を用いたWebシステムにおいて、要件を満たす性能設計、性能対策について学習します。

到達目標

- ・性能設計と性能検証の関係について説明できる。
- ・要件を満たす性能設計ができる。
- ・ボトルネックの要因を分析し、性能対策ができる

対象者

uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの性能設計および性能対策をする方。

前提知識

【マシン演習付き】uCosminexus Application Server 実践 1-設計・構築-」および【マシン演習付き】uCosminexus Application Server 実践 2-トラブルシュート-」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. 性能設計と性能検証
2. 性能設計
3. 性能検証とチューニング
4. 修了試験

備考

- ・学習終了日は3月31日になります。
- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。
- ・このコースは、旧「uCosminexus Application Server実践3-性能設計・性能対策-」コース(集合研修)をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

マシ演習
マシンを使用しながらの研修

グループ演習
グループ演習を中心とした研修

レクチャ
座学による研修

演習環境
職場・自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習

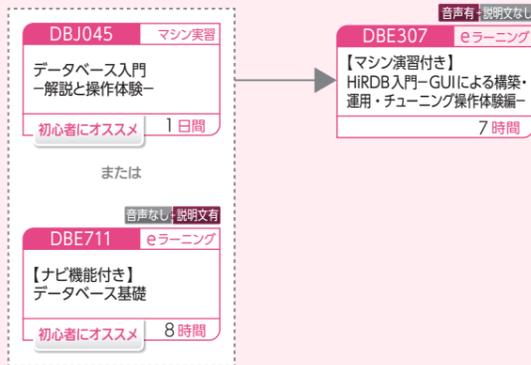
eラーニング
インターネット接続による自己学習

自己テキスト
自習書による自己学習

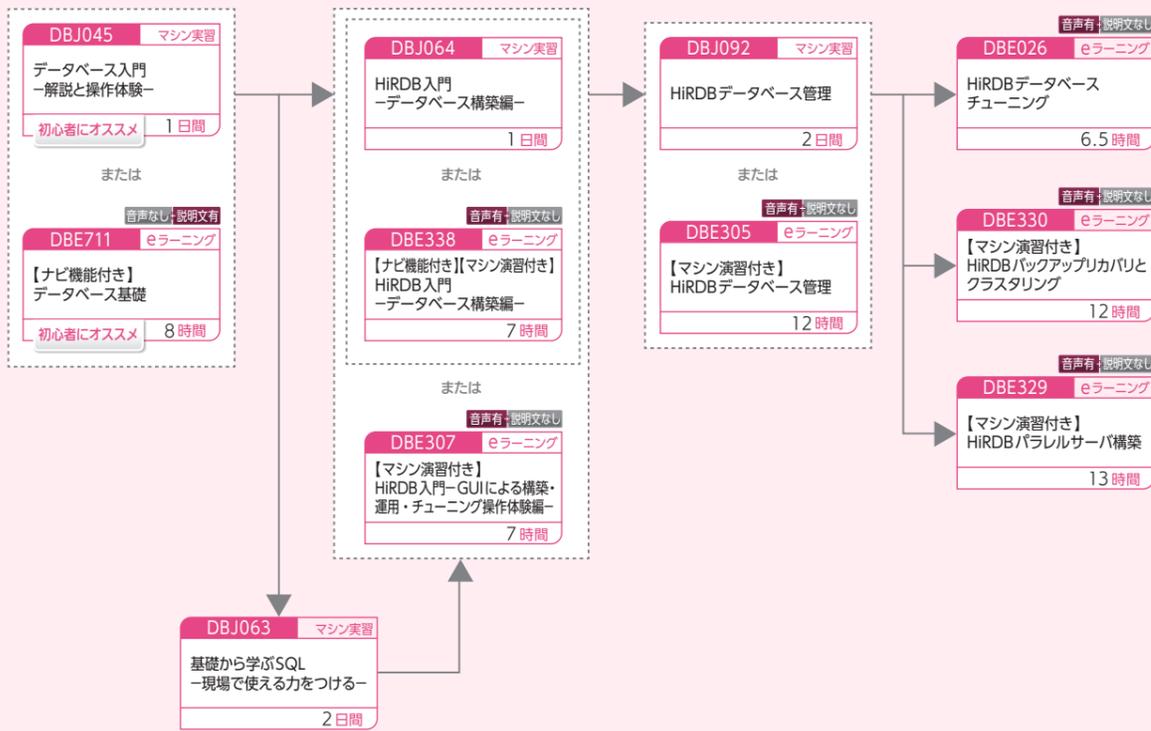
HiRDB

データベースマネジメントシステムであるHiRDBのシステム運用やアプリケーション開発を行ううえで必要となる知識と技術が修得できます。

● HiRDBが提供するGUIツールの操作概要を修得したい方



● HiRDBを使用してデータベースを構築・運用する方



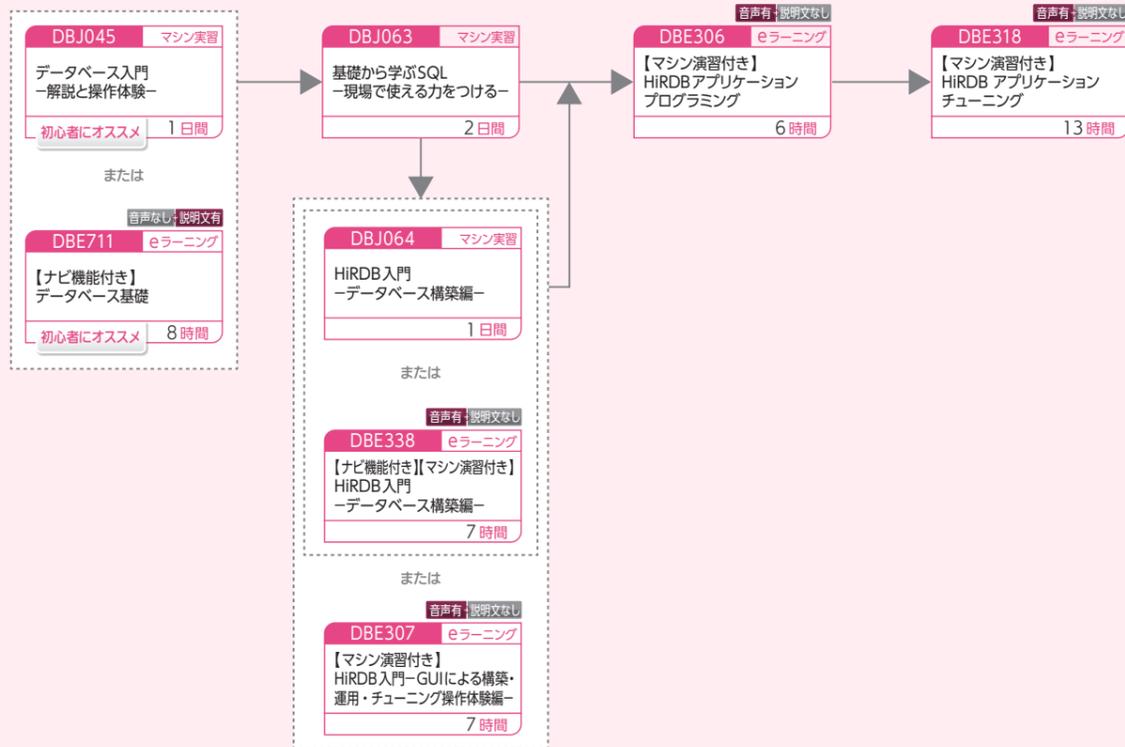
- 音声有+説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有+説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし+説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

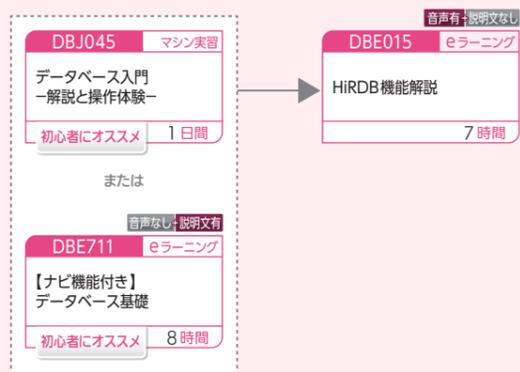
休講 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

● HiRDBにアクセスするアプリケーションプログラムを開発する方



● HiRDBの機能概要を修得したい方



DBJ064 HiRDB
HiRDB入門
—データベース構築編—
 1日間

HiRDBを初めて使用するにあたって必要なHiRDBのアーキテクチャや、HiRDBにおけるユーザ・表・インデックスの概念、およびその定義方法に関する基礎知識を学習します。HiRDB講座の導入コースとしてお薦めです。

到達目標
 ・HiRDBシステムのアーキテクチャの概要を理解し説明できる。
 ・定義系SQLを用いて、HiRDB上にユーザ、スキーマ、テーブル、ビュー、インデックスを作成できる。

対象者
 HiRDBシステムの基礎的な知識を必要とする方、現在HiRDBの導入を検討している方。

前置知識
 「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
 1. HiRDBの概要
 2. HiRDBインストール
 3. HiRDB環境設定
 4. HiRDBの開始と終了
 5. ユーザの作成
 6. スキーマの作成
 7. 表の作成
 8. インデックスの作成

備考
 ・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。

DBE338 HiRDB
<eラーニング>
【ナビ機能付き】【マシン演習付き】
HiRDB入門—データベース構築編—
 7時間

HiRDBを初めて使用するにあたって必要なHiRDBのアーキテクチャやHiRDBにおけるユーザ・表・インデックスに関する基礎知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。HiRDB講座の導入コースとしてお薦めです。

到達目標
 ・HiRDBシステムのアーキテクチャの概要を理解し説明できる。
 ・定義系SQLを用いて、HiRDB上にユーザ、スキーマ、テーブル、ビュー、インデックスを作成できる。

対象者
 ITエンジニア職、若手・中堅HiRDB初学者の方で、データベース構築を基礎から学習したい方。

前置知識
 「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
 1. HiRDBの概要
 2. HiRDBのインストール
 3. HiRDBの環境設定
 4. HiRDBの開始と終了
 5. ユーザの作成
 6. スキーマの作成
 7. 表の作成
 8. インデックスの作成
 9. 修了試験

備考
 ・サービス有効期限は21日間です。
【お申し込み前に必ずご確認ください】
 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
 ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご確認ください。
 ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
 ・このコースは、「HiRDB入門—データベース構築—」コースと同一内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE307 HiRDB
<eラーニング>【マシン演習付き】
HiRDB入門—GUIによる構築・運用・
チューニング操作体験編—
 7時間

HiRDBのGUIツールによる操作体験を通して、HiRDBの環境構築から運用・チューニングまでの概要を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
 ・各種GUIツールの概要を理解し説明できる。
 ・HiRDBの構築から運用・チューニングまでの概要を理解し説明できる。

対象者
 HiRDBを使用したシステムの提案・構築・運用・アプリケーション開発に携わる方。

前置知識
 「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
 1. HiRDBの概要
 2. HiRDBのアーキテクチャ
 3. データベースの構築
 4. HiRDBの開始/終了
 5. ユーザ管理
 6. 表とインデックスの作成
 7. データロード
 8. RDエリアのメンテナンス
 9. パフォーマンスチューニング
 10. バックアップ/リカバリ/オプション
 11. 修了試験

備考
 ・サービス有効期限は21日間です。
【お申し込み前に必ずご確認ください】
 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
 ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご確認ください。
 ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
 ・このコースは、旧「HiRDB入門—GUIによる構築・運用・チューニング操作体験—」コース(集合研修)をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE015 HiRDB
<eラーニング>
HiRDB機能解説
 7時間

HiRDBの特長、システム構成およびデータベース活用のための各種機能について学習します。

到達目標
 ・HiRDBシステムのアーキテクチャの概要を理解し説明できる。
 ・HiRDBシステムの各種機能の概要を理解し説明できる。

対象者
 HiRDBシステムの設計・運用を行う方、HiRDBシステムの導入を検討している方。

前置知識
 「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
 1. 並列データベースの技術
 2. HiRDBの概要
 3. データベースの構造
 4. HiRDBの各種機能
 5. 修了試験

備考
 ・学習終了日は3月31日になります。
 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBJ092 HiRDB
HiRDBデータベース管理
 2日間

HiRDBのデータベース物理設計から環境構築、定期的な運用(バックアップ/リカバリ、再編成、セキュリティ等)など、データベース管理者として必要な基礎知識を学習します。

到達目標
 ・HiRDBシステムの設計を行える。
 ・HiRDBのコマンドを用いHiRDBシステムを構築できる。
 ・HiRDBシステムの基本的な管理作業の概要を理解し説明できる。

対象者
 HiRDBのデータベース管理者としての基本的な知識を必要とする方。

前置知識
 「基礎から学ぶSQL—現場で使える力をつける—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
 1. HiRDBのアーキテクチャ
 2. 構築と運用要件の確認
 3. データベース設計
 4. データベース構築
 5. データベースセキュリティ
 6. データベースの運用と保守
 7. トラブルシューティング
 8. 修了試験

備考
 ・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
 ・このコースは、「HiRDBプラットフォームエンジニア—データベース管理—」コースの名称を変更したものです。

DBE305 HiRDB
<eラーニング>【マシン演習付き】
HiRDBデータベース管理
 12時間

HiRDBのデータベース物理設計から環境構築、定期的な運用(バックアップ/リカバリ、再編成、セキュリティ等)など、データベース管理者として必要な基礎知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
 ・HiRDBシステムの設計を行える。
 ・HiRDBのコマンドを用い、HiRDBシステムを構築できる。
 ・HiRDBシステムの基本的な管理作業の概要を理解し、説明できる。

対象者
 HiRDBのデータベース管理者としての基本的な知識を必要とする方。

前置知識
 「基礎から学ぶSQL—現場で使える力をつける—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
 1. HiRDBのアーキテクチャ
 2. 構築と運用要件の確認
 3. データベース設計
 4. データベース構築
 5. データベースセキュリティ
 6. データベースの運用と保守
 7. トラブルシューティング
 8. 修了試験

備考
 ・サービス有効期限は21日間です。
【お申し込み前に必ずご確認ください】
 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
 ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご確認ください。
 ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
 ・このコースは、「【マシン演習付き】<eラーニング>HiRDBプラットフォームエンジニア—データベース管理—」コースと同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
 ・このコースは、「【マシン演習付き】<eラーニング>HiRDBプラットフォームエンジニア—データベース管理—」コースの名称を変更したものです。
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス / ヒューマン
グローバル

DBE306	HIRDB
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>マシン演習</div></div><div><div></div><div>マシン演習</div></div></div></div></div>	
<eラーニング>【マシン演習付き】 HIRDB アプリケーションプログラミング	
6時間	
HIRDB にアクセスするアプリケーションを開発するために必要な知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。	
到達目標	各種アプリケーション開発技術を用い、HIRDBにアクセスするアプリケーションを作成できる。
対象者	HIRDBにアクセスするアプリケーションを開発する方。
前提知識	「基礎から学ぶSQL-現場で使える力をつける-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. HIRDBのアーキテクチャ 2. HIRDBのアプリケーションプログラミング概要 3. 表のデータ型 4. アプリケーションプログラムの実装 5. ストアドプロシージャ、ストアドファンクションとトリガー 6. データベースセキュリティ 7. 修了試験
備 考	・サービス有効期限は21日間です。 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてもキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースは、集合研修「HIRDBアプリケーションプログラミング」コース(DBJ093)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 ・このコースは、「【マシン演習付き】<eラーニング>HIRDBアプリケーションエンジニアデータベースプログラミング」コースの名称を変更したものです。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE330	HIRDB
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>マシン演習</div></div><div><div></div><div>マシン演習</div></div></div></div></div>	
<eラーニング>【マシン演習付き】 HIRDBバックアップリカバリとクラスタリング	
12時間	
HIRDB を安定して運用するための技術や、各種障害に応じたりカバリ方法およびクラスタリング(系切り替え)技術を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。	
到達目標	・HIRDBシステムに対する各種バックアップ・リカバリ作業を行える。 ・HIRDBシステムに対するクラスタリング技術の概要を理解し、説明できる。
対象者	HIRDB管理者として障害対策に関する知識を必要とする方。
前提知識	「HIRDBデータベース管理」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. バックアップリカバリとクラスタリングの概要 2. バックアップリカバリにあたっての基礎知識 3. データベースのバックアップ 4. データベースのリカバリ 5. システムファイルの障害対処 6. クラスタリングの概要 7. クラスタリング環境の構築と運用 8. 修了試験
備 考	・サービス有効期限は21日間です。 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・マシン演習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・クラスタリングに関するマシン演習はありません。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてもキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

	マシン演習 マシンを使用しながらの研修		グループ演習 グループ演習を中心とした研修		レクチャ 座学による研修
	演習環境 職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習		eラーニング インターネット接続による自己学習		自己テキスト 自習書による自己学習

DBE026	HIRDB
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>マシン演習</div></div></div></div></div>	
<eラーニング> HIRDBデータベースチューニング	
6.5時間	
HIRDB を効率良く運用するために必要なパフォーマンス診断や、チューニング方法を学習します。	
到達目標	HIRDBサーバ上の各種要素に対するパフォーマンス診断、チューニング方針を理解し、説明できる。
対象者	HIRDBのパフォーマンスチューニングの知識を必要とする方。
前提知識	「HIRDBデータベース管理」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. パフォーマンスチューニング概要 2. データベース設計 3. グローバルバッファのチューニング 4. ログバッファのチューニング 5. SQLオブジェクトバッファのチューニング 6. 修了試験
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE329	HIRDB
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>マシン演習</div></div><div><div></div><div>マシン演習</div></div></div></div></div>	
<eラーニング>【マシン演習付き】 HIRDBパラレルサーバ構築	
13時間	
HIRDB パラレルサーバを使ったHIRDBシステムの構築や運用に必要な基礎知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。	
到達目標	・HIRDB/パラレルサーバシステムの物理設計ができる。 ・HIRDB/パラレルサーバシステムの構築ができる。 ・HIRDB/パラレルサーバシステムが持つ機能について理解し、説明できる。
対象者	HIRDBのデータベース管理者としてHIRDB/パラレルサーバシステムの構築に関する知識を必要とする方。
前提知識	「HIRDBデータベース管理」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. HIRDB/パラレルサーバのアーキテクチャ (1)HIRDB/パラレルサーバの構成 (2)HIRDB/パラレルサーバの特長 (3)HIRDB/パラレルサーバの採用基準 2. 要件確認 (1)要件確認の目的 (2)要件確認項目一覧 (3)項目の確認および調査 (4)BES数見積もりに必要な項目の確認および調査 3. BESとFESの配置方針と必要台数の見積り (1)基本的なサーバの配置方針 (2)BESの配置および必要台数の決定 (3)FESの配置および必要台数の決定 4. リソースの配置方針と容量見積り (1)リソースの配置方針 (2)容量見積り 5. データベース構築手順 (1)サーバベース構築手順 (2)サーバマシン環境・データベース環境の決定 (3)システム定義ファイルの作成 (4)HIRDBファイルシステム領域の作成 (5)システムファイルの作成 (6)RDエリアの作成とHIRDBシステムの開始 (7)表の定義 6. HIRDB/パラレルサーバのその他の機能 (1)高性能を実現するHIRDB/パラレルサーバの機能 (2)HIRDB/パラレルサーバシステムにおけるHAクワスタ 7. 修了試験
備 考	・サービス有効期限は21日間です。 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・マシン演習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてもキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

	マシン演習 マシンを使用しながらの研修		グループ演習 グループ演習を中心とした研修		レクチャ 座学による研修
	演習環境 職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習		eラーニング インターネット接続による自己学習		自己テキスト 自習書による自己学習

DBE318	HIRDB
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>マシン演習</div></div><div><div></div><div>マシン演習</div></div></div></div></div>	
<eラーニング>【マシン演習付き】 HIRDB アプリケーションチューニング	
13時間	
HIRDB に適した処理効率の良い業務アプリケーションの開発技術や、アプリケーションのパフォーマンス診断およびチューニング方法を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。	
到達目標	・応用的なSQLを用い、HIRDBを効率的に使用するための技術を実装できる。 ・HIRDBに接続するアプリケーションの、パフォーマンス診断、チューニング作業を行える。
対象者	HIRDBにアクセスする処理効率の良いアプリケーションの開発技術が必要とする方。
前提知識	【【マシン演習付き】HIRDBアプリケーションプログラミング】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. SQLコーディングテクニック (1)応用的なSQL (2)APの保守性/性能を高めるためのSQLの書き方 2. 排他制御 (1)排他制御の概要 (2)Isolationレベルの制御 (3)デッドロック対策 3. アクセス効率の良いアプリケーションプログラムの作成 (1)アクセスパス (2)SQLとインデックス (3)SQL最適化 4. SQLチューニング (1)統計情報の収集 (2)SQLチューニング (3)HIRDB SQL Tuning Advisorを使用したSQLチューニング 5. 修了試験
備 考	・サービス有効期限は21日間です。 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてもキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースは、集合研修「HIRDBアプリケーションチューニング」コース(DBJ095)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

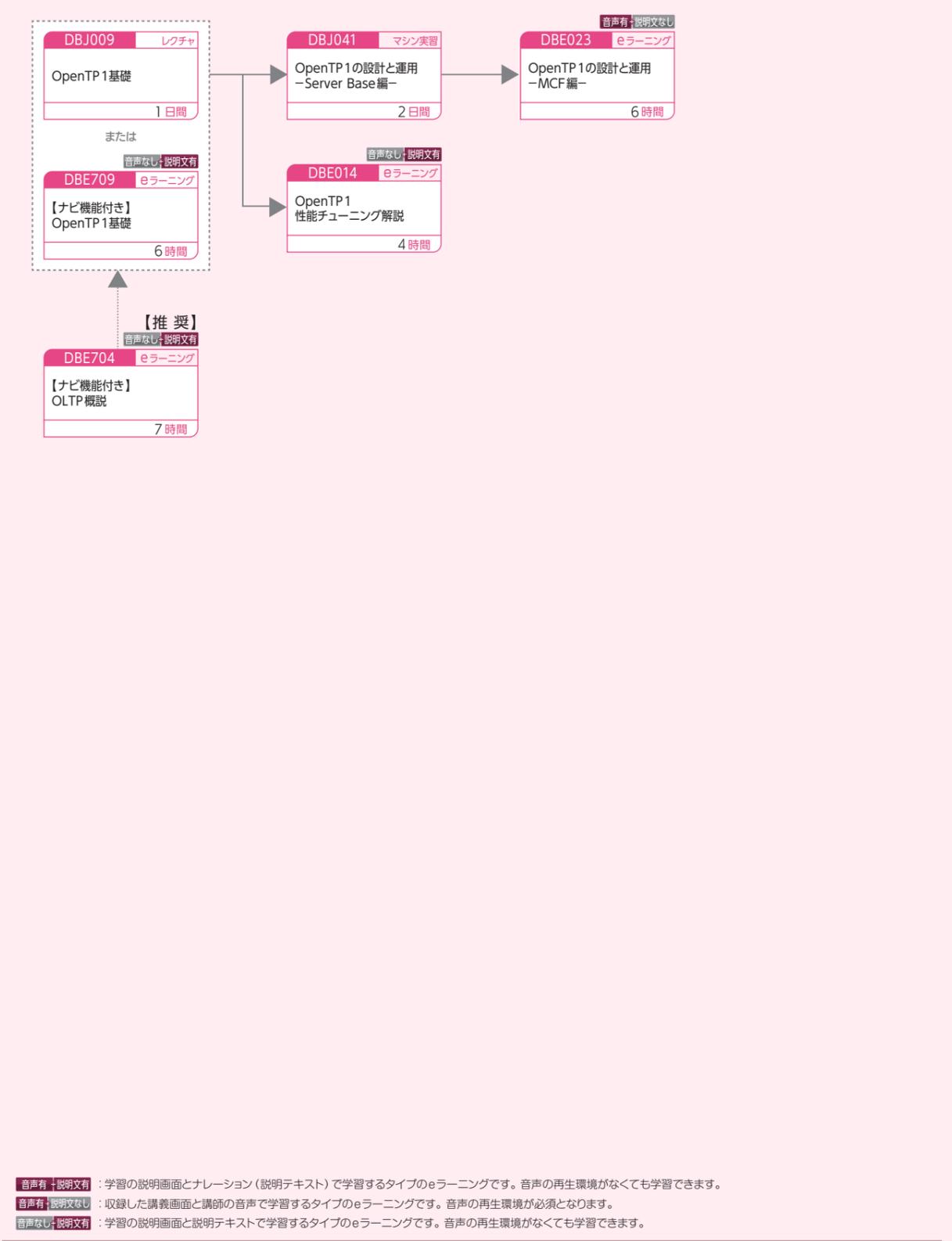
DBE318	HIRDB
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>マシン演習</div></div><div><div></div><div>マシン演習</div></div></div></div></div>	
<eラーニング>【マシン演習付き】 HIRDB アプリケーションチューニング	
13時間	
HIRDB に適した処理効率の良い業務アプリケーションの開発技術や、アプリケーションのパフォーマンス診断およびチューニング方法を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。	
到達目標	・応用的なSQLを用い、HIRDBを効率的に使用するための技術を実装できる。 ・HIRDBに接続するアプリケーションの、パフォーマンス診断、チューニング作業を行える。
対象者	HIRDBにアクセスする処理効率の良いアプリケーションの開発技術が必要とする方。
前提知識	【【マシン演習付き】HIRDBアプリケーションプログラミング】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. SQLコーディングテクニック (1)応用的なSQL (2)APの保守性/性能を高めるためのSQLの書き方 2. 排他制御 (1)排他制御の概要 (2)Isolationレベルの制御 (3)デッドロック対策 3. アクセス効率の良いアプリケーションプログラムの作成 (1)アクセスパス (2)SQLとインデックス (3)SQL最適化 4. SQLチューニング (1)統計情報の収集 (2)SQLチューニング (3)HIRDB SQL Tuning Advisorを使用したSQLチューニング 5. 修了試験
備 考	・サービス有効期限は21日間です。 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてもキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースは、集合研修「HIRDBアプリケーションチューニング」コース(DBJ095)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

	マシン演習 マシンを使用しながらの研修		グループ演習 グループ演習を中心とした研修		レクチャ 座学による研修
	演習環境 職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習		eラーニング インターネット接続による自己学習		自己テキスト 自習書による自己学習

OpenTP1

TPモニターであるOpenTP1システムの構築や運用、およびアプリケーションを開発するうえで必要となる知識と技術が修得できます。

- OpenTP1を使用してOLTPシステムを構築・運用・設計する方



音声有 + 説明文有	：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
音声有 + 説明文なし	：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
音声なし + 説明文有	：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ	：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。
-----------------	--

休 講	休 講 今期の定期開催はありません
------------	-----------------------------

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

80

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス / ヒューマン
グローバル

81

DBJ009 OpenTP1

OpenTP1基礎

1日間

OLTPシステムの構築に必要なOLTPの基礎知識、およびTPモニタとしてのOpenTP1の役割、構成、機能を学習します。

到達目標

- ・トランザクションの定義を説明できる。
- ・OLTPを説明できる。
- ・OpenTP1の機能を説明できる。

対象者 OpenTP1システムを構築・管理する方、OpenTP1システムにアクセスするアプリケーションを開発する方。

前提知識 OS、データベースおよびネットワークの基礎知識があること。

内容

1. OLTPの基礎知識
 - (1) クライアントサーバシステム
 - (2) OLTPの基礎知識
 - (3) インターネット連携
2. OpenTP1の機能
 - (1) アプリケーション間の通信形態
 - (2) リモートプロシジャコール (RPC)
 - (3) メッセージ送受信形態
 - (4) メッセージキューイング形態
 - (5) OpenTP1のプロセス制御
 - (6) トランザクション制御
3. OpenTP1の日常的な運用
 - (1) システムファイル
 - (2) OpenTP1の開始および終了

備考 このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。

DBE709 OpenTP1

<eラーニング> [ナビ機能付き] OpenTP1基礎

6時間

OLTPシステムを構築するにあたり必要となるOLTPの基礎知識、およびTPモニタとしてのOpenTP1の役割、構成、機能について学習します。

到達目標

- ・トランザクションの特徴とOLTPについて理解し説明できる。
- ・OpenTP1の役割、構成、機能について理解し説明できる。

対象者 OpenTP1システムを構築および管理する方、OpenTP1システムにアクセスするアプリケーションを開発する方。

前提知識 【【ナビ機能付き】OLTP概説】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. OLTPの基礎知識
 - (1) クライアントサーバシステム
 - (2) OLTPの基礎知識
 - (3) OpenTP1の特徴
 - (4) インターネット連携
2. OpenTP1の機能
 - (1) アプリケーション間の通信形態
 - (2) リモートプロシジャコール
 - (3) メッセージ送受信形態
 - (4) メッセージキューイング形態
 - (5) OpenTP1のプロセス制御
 - (6) トランザクション制御
 - (7) OpenTP1のソフトウェア製品
3. OpenTP1の日常的な運用
 - (1) システムファイル
 - (2) OpenTP1の運用

備考

- ・学習終了日は3月31日になります。
- ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBJ041 OpenTP1

OpenTP1の設計と運用 -Server Base編-

2日間

OpenTP1によるOLTPシステムの構築に必要なOpenTP1のシステムの作成、運用方法を学習します。

到達目標

- ・OpenTP1のコマンドを用いOpenTP1システムを構築できる。
- ・OpenTP1システムの基本的な管理ができる。

対象者 OpenTP1システムを構築する方、OpenTP1システムを管理する方。

前提知識 「OpenTP1基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. OpenTP1の概要
2. OpenTP1システム構築
3. システムファイルの作成
4. システム定義の作成
5. リソースマネージャの登録
6. OpenTP1の運用
7. ユーザサーバの設定と運用
8. システムファイルの障害対策
9. OpenTP1クライアントの設定

備考 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

DBE023 OpenTP1

<eラーニング> OpenTP1の設計と運用 -MCF編-

6時間

MCFを使用するOpenTP1のシステムの作成、運用方法について学習します。

到達目標

- ・OpenTP1のコマンドを用い、MCFの機能を実装したOpenTP1システムを構築できる。
- ・MCFの機能を実装したOpenTP1システムの基本的な管理作業ができる。

対象者 OpenTP1システムを構築する方、OpenTP1システムを管理する方。

前提知識 「OpenTP1設計と運用-Server Base編-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. メッセージ送受信形態
2. OpenTP1システムの構築
3. ネットワークコミュニケーション定義の作成
4. OpenTP1の運用
5. 修了試験

備考

- ・学習終了日は3月31日になります。
- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE014 OpenTP1

<eラーニング> OpenTP1性能チューニング解説

4時間

OpenTP1における性能見積の考え方と、さまざまな性能チューニング方法について学習します。

到達目標

- ・OpenTP1における性能見積の考え方を理解し説明できる。
- ・さまざまな性能チューニング方法を理解し説明できる。

対象者 OpenTP1システムを管理する方。

前提知識 「OpenTP1基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. OpenTP1の通信性能
2. OpenTP1のトランザクション性能
3. OpenTP1のプロセス・メモリ性能
4. OpenTP1の性能全般
5. 修了試験

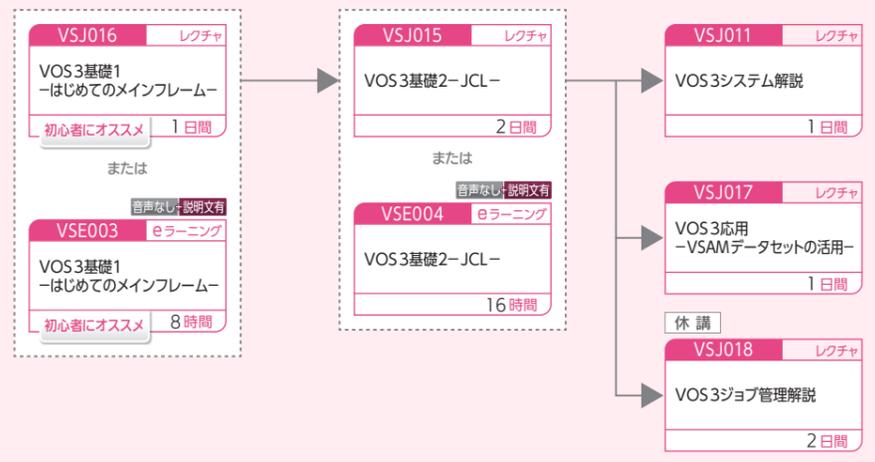
備考

- ・学習終了日は3月31日になります。
- ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

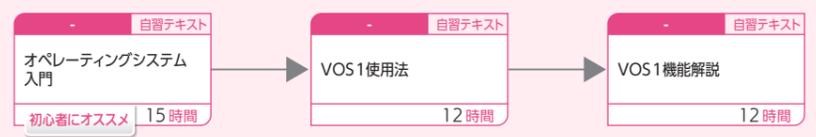
VOS3/VOS1/VOSK

日立メインフレーム OSであるVOS3、VOS1、VOSKの使用法や機能、システム運用管理技術が修得できます。

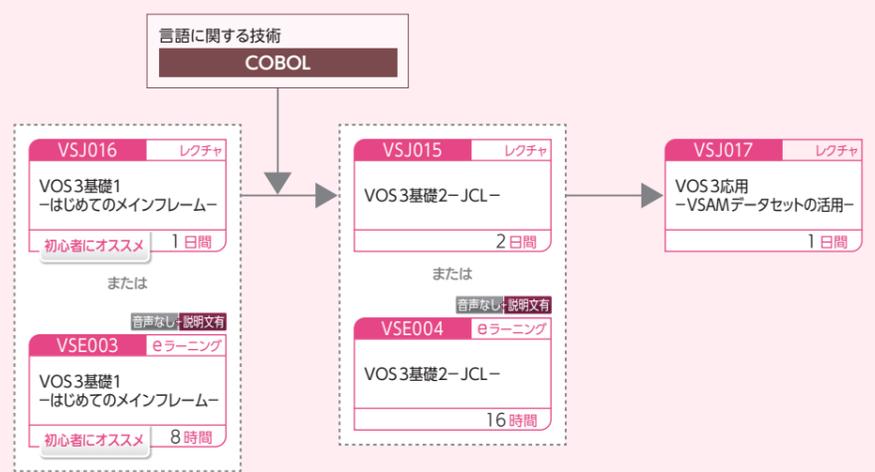
● VOS3システムの運用設計および実装・運用する方



● VOS1システムの運用設計および実装・運用する方



● VOS3システムでアプリケーションを開発する方



音声有+説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
音声有+説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
音声なし+説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

休講 休講 今期の定期開催はありません

● VOS1システムでアプリケーションを開発する方



● VOSKシステムの運用設計および実装・運用する方



音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

VOS3/VOS1/VOSK

オペレーティングシステム入門 (自習テキスト)

平均15時間

オペレーティングシステムの基本概念、構成要素とその機能、およびハードウェアの関連知識を学習します。

到達目標

- ・オペレーティングシステムの目的や構成を説明できる。
- ・プログラムの翻訳、結合・編集を説明できる。
- ・入力リダー、ジョブスケジューラ、出力ライタの役割が説明できる。
- ・入出力装置、ボリューム、データセットを説明できる。
- ・ファイル編成とアクセス方法を説明できる。
- ・マルチプログラミングのしくみを説明できる。

対象者 VOS3およびVOS1システムのシステム設計、またはプログラミングを行う方。

前提知識 特に必要としません。

内容

1. オペレーティングシステムとはなにか
2. プログラムの翻訳、結合・編集
3. ジョブの実行過程
4. データ入出力のしくみ
5. マルチプログラミングのしくみ

備考 お申し込みについては、下記URLをご覧ください。
<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/guide/apply/free/index.html>

VSJ015 VOS3/VOS1/VOSK

VOS3基礎2-JCL-

2日間

VOS3システムでジョブの実行に必要な基本的なJCL(ジョブ制御文)や、システムメッセージリストの見方を学習します。

到達目標

- ・JCL(ジョブ制御文)の役割を説明できる。
- ・JOB文、EXEC文、DD文を使用してジョブ制御文を作成できる。
- ・システムメッセージリストからジョブ実行に関する情報を読み取ることができる。

対象者 VOS3システムでJCL(ジョブ制御文)を使用したアプリケーション開発や運用を行う方、ジョブ制御文を基礎から学習したい方。

前提知識 「VOS3基礎1-はじめてのメインフレーム-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. JCL(ジョブ制御文)の役割
2. ジョブの実行過程
3. ジョブ制御文
 - (1) JOB文
 - (2) EXEC文
 - (3) DD文
4. システムメッセージリストの見方

備考

- ・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、旧「VOS3使用法」コース(集合研修)と同等の内容です。すでにご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。

VSJ016 VOS3/VOS1/VOSK

VOS3基礎1 -はじめてのメインフレーム-

1日間

メインフレームシステムの構成要素(ハードウェア/ソフトウェア)、および日立メインフレームのオペレーティングシステムであるVOS3の基本的な機能を学習します。

到達目標

- ・メインフレームシステムの概要を説明できる。
- ・メインフレームシステムのデータ管理方法を説明できる。
- ・メインフレームシステムでのプログラム開発手順を説明できる。
- ・メインフレームシステムでのジョブの実行手順を説明できる。
- ・メインフレームシステムの運用管理機能を説明できる。

対象者 はじめてVOS3を学習する方で、今後アプリケーション開発や運用・管理をする方。

前提知識 特に必要としません。

内容

1. メインフレームシステムの概要
2. メインフレームシステムのデータ管理方式
3. メインフレームシステムでのプログラム開発手順
4. メインフレームシステムでのジョブの実行手順
5. メインフレームシステムの運用管理機能

備考 このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。

VSE004 VOS3/VOS1/VOSK

<eラーニング> VOS3基礎2-JCL-

16時間

VOS3システムでジョブの実行に必要な基本的なJCL(ジョブ制御文)や、システムメッセージリストの見方を学習します。

到達目標

- ・JCL(ジョブ制御文)の役割を説明できる。
- ・JOB文、EXEC文、DD文を使用してジョブ制御文を作成できる。
- ・システムメッセージリストからジョブ実行に関する情報を読み取ることができる。

対象者 VOS3システムでJCL(ジョブ制御文)を使用したアプリケーション開発や運用を行う方、ジョブ制御文を基礎から学習したい方。

前提知識 「VOS3基礎1-はじめてのメインフレーム-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. JCL(ジョブ制御文)の役割
2. ジョブの実行過程
3. ジョブ制御文
 - (1) JOB文
 - (2) EXEC文
 - (3) DD文
4. システムメッセージリストの見方
5. 修了試験

備考

- ・学習終了日は3月31日になります。
- ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- ・このコースは、旧「VOS3使用法」コース(集合研修)、または「VOS3基礎2-JCL-」コース(VSJ015)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

VSE003 VOS3/VOS1/VOSK

<eラーニング> VOS3基礎1 -はじめてのメインフレーム-

8時間

メインフレームシステムの構成要素(ハードウェア/ソフトウェア)、および日立メインフレームのオペレーティングシステムであるVOS3の基本的な機能を学習します。

到達目標

- ・メインフレームシステムの概要を説明できる。
- ・メインフレームシステムのデータ管理方法を説明できる。
- ・メインフレームシステムでのプログラム開発手順を説明できる。
- ・メインフレームシステムでのジョブの実行手順を説明できる。
- ・メインフレームシステムの運用管理機能を説明できる。

対象者 はじめてVOS3を学習する方で、今後アプリケーション開発や運用・管理をする方。

前提知識 特に必要としません。

内容

1. メインフレームシステムの概要
2. メインフレームシステムのデータ管理方式
3. メインフレームシステムでのプログラム開発手順
4. メインフレームシステムでのジョブの実行手順
5. メインフレームシステムの運用管理機能
6. 修了試験

備考

- ・学習終了日は3月31日になります。
- ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます)
- ・このコースは、集合研修「VOS3基礎1-はじめてのメインフレーム-」コース(VSJ016)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

VSJ011 VOS3/VOS1/VOSK

VOS3システム解説

1日間

VOS3システムを管理するために必要となるVOS3の基礎知識や機能を学習します。

到達目標

- ・VOS3システムの処理形態を説明できる。
- ・仮想空間の構成について説明できる。
- ・仮想空間と記憶装置(主記憶・補助記憶)の関係を説明できる。
- ・TRUSTの機能について説明できる。
- ・システム運用の自動化機能について説明できる。

対象者 VOS3システムを管理する方。

前提知識 「VOS3基礎2-JCL-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。VOS3の利用経験が2年以上あると、より理解が深まります。

内容

1. VOS3の概要
2. 各種処理形態
 - (1) パッチ
 - (2) TSS
 - (3) DB/DC
3. 仮想記憶装置のしくみ
4. データ処理の高速化機能
 - (1) LPAの利用
 - (2) XPL
 - (3) VSAM HAF
 - (4) VIO
 - (5) SAM ESF
5. セキュリティ管理機能(TRUST)
6. システム運用の自動化機能
 - (1) AOMPLUS
 - (2) HOPSS3
 - (3) JP1との連携

備考 このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。

VSJ017 VOS3/VOS1/VOSK

VOS3応用 -VSAMデータセットの活用-

1日間

VOS3システムを管理、およびVOS3システムでアプリケーションプログラムを開発するうえで必要となるVSAMの基礎知識や機能を学習します。

到達目標

- VSAMデータセットの特長を説明できる。
- VSAMユーティリティの機能を説明できる。
- ライブラリ管理システム LIME E2の機能を説明できる。
- カタログの役割、機能を説明できる。

対象者 VOS3システムの運用を行う方、VOS3システムでアプリケーションの開発を行う方。

前提知識 「VOS3基礎2-JCL-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- データセットとディスクボリューム
- VSAMデータセットの特長
- ライブラリ管理システム LIME E2の機能
- データセットのカタログ機能
- VSAMユーティリティの機能

備考 このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。

VSJ018 VOS3/VOS1/VOSK

VOS3ジョブ管理解説

2日間

VOS3のシステム管理をするために必要となるJSS3の機能と設定方法を学習します。

到達目標

- JSS3の機能を説明できる。
- JSS3の起動の流れや仕組みを説明できる。
- ジョブ入出力に関するパラメタを説明できる。
- ジョブの実行スケジュールに関するパラメタを説明できる。

対象者 VOS3システムの運用管理に携わる方。

前提知識 「VOS3基礎2-JCL-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- JSS3の概要
- JSS3の起動と初期設定
 - JSS3起動用カタログプロシジャ
 - JSS3初期設定パラメタ
- ジョブの実行管理
 - ジョブの流れ
 - ジョブの入力
 - ジョブの実行スケジュール
 - ジョブの実行制御
 - ジョブ結果の出力
 - スプールとジョブキューの管理

備考 このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。

※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。

VOS1/VOS1/VOSK

VOS1使用法 (自習テキスト)

平均12時間

VOS1のワークステーションを使ったプログラム作成、ジョブ作成、ジョブの実行、ライブラリ操作、ファイル操作およびパネル作成について、その方法を学習します。

到達目標

- ワークステーションの操作ができる。
- プログラムの作成ができる。
- JCLプロシジャの作成ができる。
- ジョブの実行ができる。
- メンバの操作ができる。
- ファイルの操作ができる。
- バッチジョブの実行ができる。
- パネルの作成ができる。

対象者 VOS1を使用してワークステーションからジョブを実行する方。

前提知識 「オペレーティングシステム入門」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- ワークステーションの操作
- プログラムの作成
- JCLプロシジャの作成
- ジョブの実行
- メンバの操作
- ファイルの操作
- バッチジョブの実行
- パネルの作成

備考 お申し込みについては、下記URLをご覧ください。
<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/guide/apply/free/index.html>

VOS3/VOS1/VOSK

VOS1機能解説 (自習テキスト)

平均12時間

VOS1システムを運用するために必要となるOSの諸機能と、その設定方法、ボリュームやファイルの運用方法、およびシステムの操作方法を学習します。

到達目標

- ジョブの実行環境の設定ができる。
- 対話処理環境の設定ができる。
- ボリュームとファイルの運用ができる。
- システムの操作ができる。

対象者 VOS1システムを運用・管理する方。

前提知識 「VOS1使用法」自習テキストコースを修了し、かつOJTを経験しているか、または同等の知識があること。

内容

- ジョブの実行環境の設定
- 対話処理環境の設定
- ボリュームとファイルの運用
- システムの操作

備考 お申し込みについては、下記URLをご覧ください。
<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/guide/apply/free/index.html>

VOS3/VOS1/VOSK

VOSK使用法 (自習テキスト)

平均12時間

VOSKの基本的な操作方法、ワークステーションを使ったジョブ作成、ジョブの実行、ファイル操作等を学習します。

到達目標

- VOSKシステムの概要を説明できる。
- VOSKの基礎知識を説明できる。
- ワークステーションの基本操作ができる。
- ファイルの取扱いができる。
- ジョブの作成と実行ができる。
- ジョブの実行結果の出力ができる。

対象者 VOSKを使用してワークステーションからジョブを実行する方。

前提知識 コンピュータに関する基礎知識があること。

内容

- VOSKシステムの概要
- VOSKの基礎知識
- VOSKでの業務の開始と終了 (ワークステーションの基本操作)
- ファイルの取扱い
- ジョブの作成と実行
- ジョブの実行結果の出力

備考 お申し込みについては、下記URLをご覧ください。
<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/guide/apply/free/index.html>

VOS3/VOS1/VOSK

VOSKシステム運用と管理 (自習テキスト)

平均12時間

VOSKシステムの機能を理解し、利用者管理、DB管理、ジョブ実行環境の管理、およびシステム全体の管理ができるために必要な知識を学習します。

到達目標

- システムの運用と管理の概要を説明できる。
- 使用者管理ができる。
- ファイルシステムの運用と管理ができる。
- ジョブ実行環境の設定ができる。
- システムの操作ができる。
- システムの管理ができる。

対象者 VOSKシステム全体を運用管理する方。

前提知識 「VOSK使用法」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

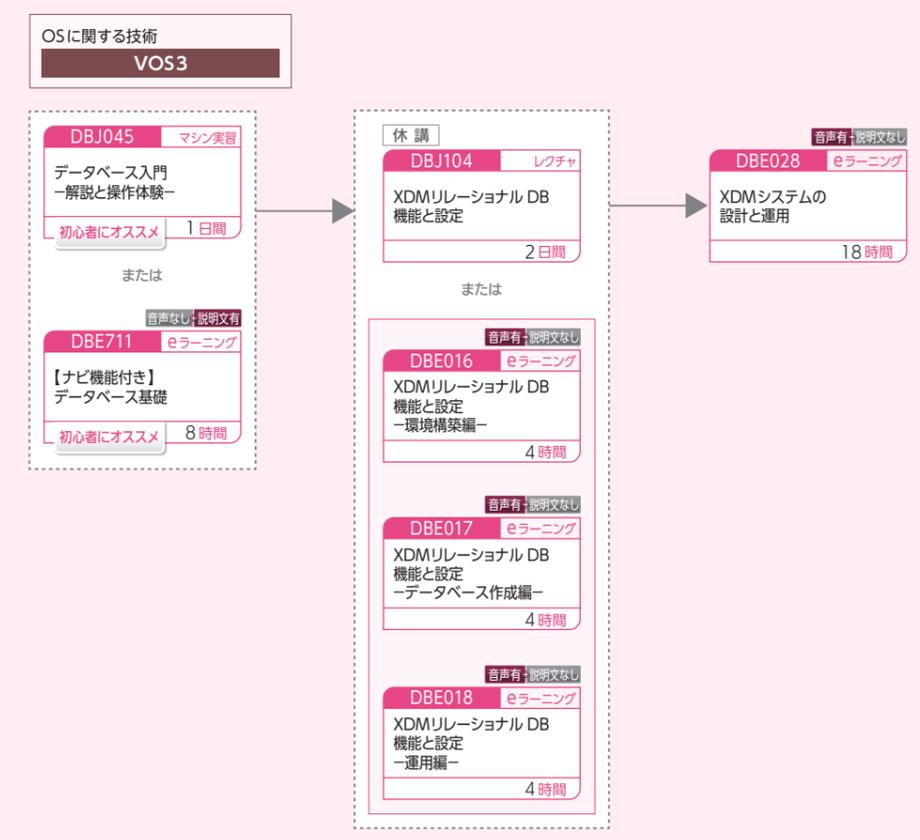
- システムの運用と管理の概要
- 使用者管理
- ファイルシステムの運用と管理
- ジョブ実行環境の設定
- システムの操作
- システムの管理

備考 お申し込みについては、下記URLをご覧ください。
<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/guide/apply/free/index.html>

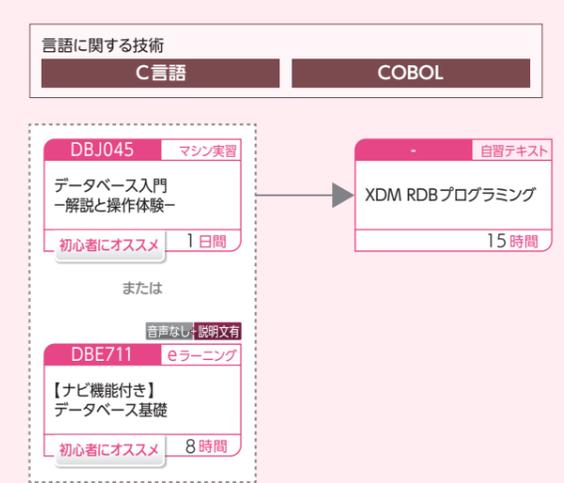
XDM / PDM II

日立メインフレーム DB/DCであるXDM、PDMIIの機能や設定、システム運用管理技術が修得できます。

● XDMを使用してリレーショナルデータベースを構築・運用・設計する方



● XDMリレーショナルデータベースを使用してアプリケーションプログラムを開発する方



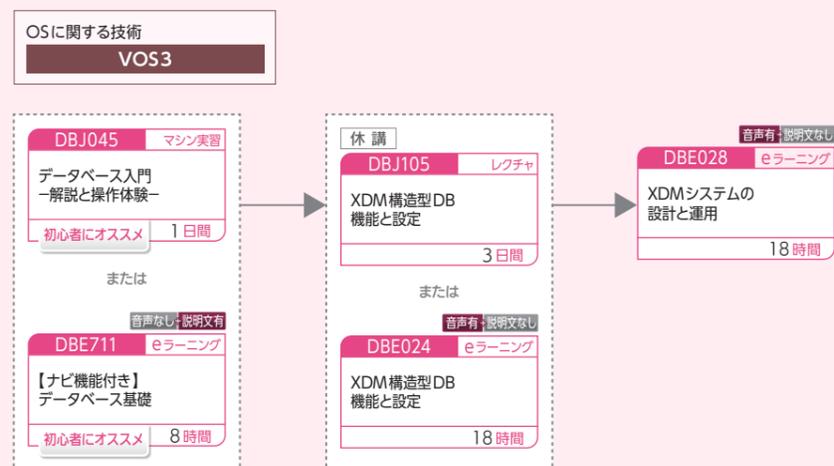
音声有+説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
音声有+説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
音声なし+説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

休講 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

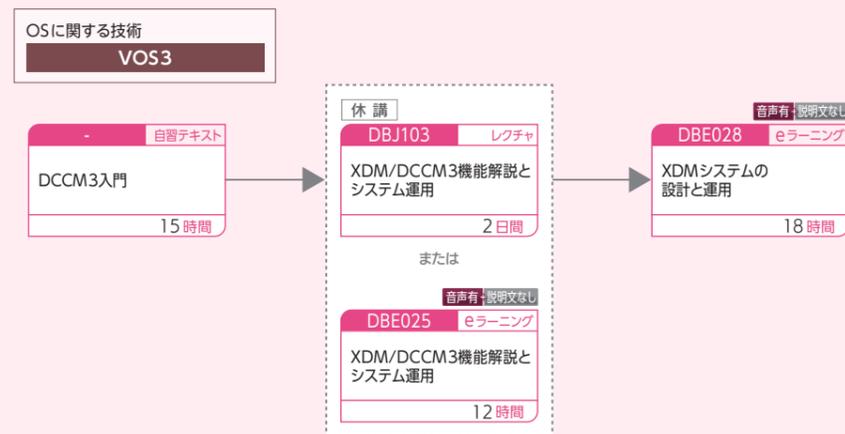
● XDMを使用して構造型データベースを構築・運用・設計する方



● XDM構造型データベースを使用してアプリケーションプログラムを開発する方



● XDM/DCCM3オンラインシステムを構築・運用・設計する方



音声有+説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし+説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

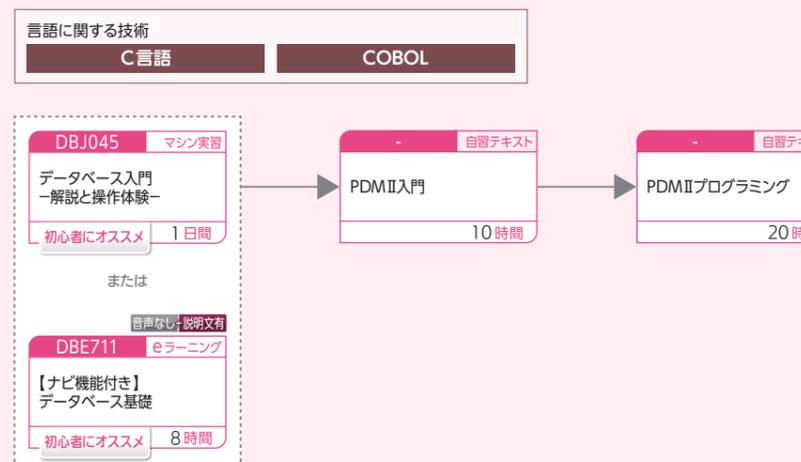
● XDM/DCCM3オンラインシステムを使用してアプリケーションプログラムを開発する方



● PDMIIデータベースを構築・運用する方



● PDMIIを使用してアプリケーションプログラムを開発する方



日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス / ヒューマン
グローバル

DBE016	XDM/PDM II
	<eラーニング> XDMリレーショナルDB機能と設定 ー環境構築編ー
4時間	
XDMリレーショナルデータベース (XDM/RD) システムを構築する際に必要なデータベースの構造と、XDM/RD空間を起動するために必要な定義方法を学習します。	
到達目標	・論理構造と物理構造を理解し説明できる。 ・RD初期設定ユーティリティで設定するオペランドを理解し説明できる。
対象者	XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。
前提知識	「データベース入門ー解説と操作体験ー」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. XDMシステムの概要 2. データベースの論理構造と物理構造 (1) データベースの論理構造 (2) データベースの物理構造 3. XDM/RDシステムの作成 (1) XDM/RDシステムの作成手順 (2) XDM/RDシステムの作成の準備 (3) XDM/RDシステムの環境設定 4. 修了試験
備考	・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、「XDMリレーショナルDB機能と設定」コース(集合研修)の一部分をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE017	XDM/PDM II
	<eラーニング> XDMリレーショナルDB機能と設定 ーデータベース作成編ー
4時間	
XDMリレーショナルデータベースシステム (XDM/RD) を構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法を学習します。	
到達目標	・論理構造と物理構造を理解し説明できる。 ・表およびインデクスを定義に必要なオペランドを理解し説明できる。
対象者	XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。
前提知識	「データベース入門ー解説と操作体験ー」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. XDMシステムの概要 2. データベースの論理構造と物理構造 (1) データベースの論理構造 (2) データベースの物理構造 3. データベースの作成 (1) 表の定義 (2) インデクスの定義 (3) データの初期ロードとインデクスの作成 (4) ビュー表の定義 4. 修了試験
備考	・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、「XDMリレーショナルDB機能と設定」コース(集合研修)の一部分をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE018	XDM/PDM II
	<eラーニング> XDMリレーショナルDB機能と設定 ー運用編ー
4時間	
XDMリレーショナルデータベース (XDM/RD) システムを構築する際に必要なデータベースの構造と、XDM/RD空間を起動するために必要な定義方法を学習します。	
到達目標	・機密保護、排他制御を理解し説明できる。 ・パッチUAP用ユーザ空間の起動制御文に必要なオペランドを理解し説明できる。
対象者	XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。
前提知識	「データベース入門ー解説と操作体験ー」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. XDMシステムの概要 2. データベースの定義と作成 (1) データベースの論理構造 (2) データベースの物理構造 3. データベースの管理と保守 (1) データデイクジョナリ (2) 機密保護 (3) 排他制御 4. データベースの運用 (1) XDM/RDシステムの起動と停止 (2) データベースの再編成 5. 修了試験
備考	・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、「XDMリレーショナルDB機能と設定」コース(集合研修)の一部分をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBJ104	XDM/PDM II
	XDMリレーショナルDB機能と設定
2日間	
XDMリレーショナルデータベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、データベースの管理や維持の方法を学習します。	
到達目標	・論理構造と物理構造を理解し、説明できる。 ・表およびインデクスを定義できる。 ・機密保護、排他制御を理解し、説明できる。 ・パッチUAP用ユーザ空間を起動できる。
対象者	XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。
前提知識	「データベース入門ー解説と操作体験ー」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. XDMシステムの概要 2. データベースの定義と作成 (1) データベースの論理構造 (2) データベースの物理構造 (3) XDM/RDシステムの作成 3. データベースの管理と保守 (1) データデイクジョナリ (2) 機密保護 (3) 排他制御 4. データベースの運用 (1) XDM/RDシステムの起動と停止 (2) データベースの再編成
備考	このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。

DBE024	XDM/PDM II
	<eラーニング> XDM構造型DB機能と設定
18時間	
XDM構造型データベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、データベースの管理や維持の方法を学習します。	
到達目標	・スキーマ、格納スキーマの適切な構造を定義できる。 ・データベース実行環境の適切なオプションを選択できる。 ・データベースの構造変更等の保守ができる。
対象者	XDM構造型データベースシステムを構築・運用する方。
前提知識	「データベース入門ー解説と操作体験ー」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. XDMシステムの概要 2. データベースの論理構造とデータ操作 3. データベースの格納構造と定義 4. データベースの物理構造と定義 5. プログラムからのデータベース利用 (1) 仮想構造 (2) データベースの操作機能 6. データベースの作成と保守 7. データベースの管理 (1) 排他制御 (2) コミット(同期点)処理 (3) データベースの障害回復
備考	・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBJ105	XDM/PDM II
	XDM構造型DB機能と設定
3日間	
XDM構造型データベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、データベースの管理や維持の方法を学習します。	
到達目標	・スキーマ、格納スキーマの適切な構造を定義できる。 ・データベース実行環境の適切なオプションを選択できる。 ・データベースの構造変更等の保守ができる。
対象者	XDM構造型データベースシステムを構築・運用する方。
前提知識	「データベース入門ー解説と操作体験ー」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. XDMシステムの概要 2. データベースの論理構造とデータ操作 3. データベースの格納構造と定義 4. データベースの物理構造と定義 5. プログラムからのデータベース利用 (1) 仮想構造 (2) データベースの操作機能 6. データベースの作成と保守 7. データベースの管理 (1) 排他制御 (2) コミット(同期点)処理 (3) データベースの障害回復
備考	このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。

 マシン実習 マシンを使用しながらの研修	 グループ演習 グループ演習を中心とした研修	 レクチャ 座学による研修	 演習環境 職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習	 eラーニング インターネット接続による自己学習	 自習テキスト 自習書による自己学習
--	--	---	---	--	--

DBE025	XDM/PDM II
	<eラーニング> XDM/DCCM3機能解説とシステム運用
12時間	
XDMによるオンラインシステムを構築、運用するにあたり必要なXDM/DCCM3のメッセージ制御機能とオンラインシステム運用のための機能を説明します。	
到達目標	・メッセージ制御についてさまざまなオプションを選択し、機能設定できる。 ・トランザクション定義ができる。
対象者	XDM/DCCM3を使用したオンラインシステムを構築・運用する方。
前提知識	「DCCM3入門」、「DCCM3プログラミング」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. XDMシステムの概要 2. メッセージ制御 (1) メッセージ受信/送信処理 (2) UAPのローディング方式 (3) メッセージ編集など 3. オンラインの運用 (1) XDMシステムの開始と終了 (2) センタ運用 (3) 端末運用 4. XDM/DCCM3システム定義例 ・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
備考	

DBJ106	XDM/PDM II
	XDM RDBプログラミング (自習テキスト)
平均15時間	
XDMリレーショナルDBを使用した業務プログラムを作成する際に必要なデータベースの検索、更新等の操作方法およびプログラムのコーディング方法を学習します。	
到達目標	・リレーショナルデータベースの特長とデータ操作上の留意点を説明できる。 ・検索処理プログラムを作成できる。 ・更新処理プログラムを作成できる。 ・追加/削除処理プログラムを作成できる。
対象者	XDMリレーショナルDBを使用する業務プログラムを開発する方。
前提知識	COBOL言語を修了し、かつXDMリレーショナルDBの基礎知識があること。
内 容	1. リレーショナルデータベースの特長とデータ操作上の留意点 2. 検索処理プログラムの作成方法 3. 更新処理プログラムの作成方法 4. 追加、削除処理プログラムの作成方法
備考	お申し込みについては、下記URLをご覧ください。 https://www.hitachi-ac.co.jp/course/guide/apply/free/index.html

休 講	休 講 今期の定期開催はありません
------------	-----------------------------

DBJ103	XDM/PDM II
	XDM/DCCM3機能解説とシステム運用
2日間	
XDMによるオンラインシステムを構築、運用するにあたり必要なXDM/DCCM3のメッセージ制御機能とオンラインシステム運用のための機能を説明します。	
到達目標	・メッセージ制御についてさまざまなオプションを選択し機能設定できる。 ・トランザクション定義ができる。
対象者	XDM/DCCM3を使用したオンラインシステムを構築・運用する方。
前提知識	「DCCM3入門」、「DCCM3プログラミング」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. XDMシステムの概要 2. メッセージ制御 (1) メッセージ受信/送信処理 (2) UAPのローディング方式 (3) メッセージ編集など 3. オンラインの運用 (1) XDMシステムの開始と終了 (2) センタ運用 (3) 端末運用 4. XDM/DCCM3システム定義例 このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。
備考	

DBJ107	XDM/PDM II
	XDM構造型DBプログラミング (自習テキスト)
平均24時間	
XDM構造型DBを使用した業務プログラムを作成する際に必要なデータベースの検索、更新等の操作方法およびプログラムのコーディング方法を学習します。	
到達目標	・構造型データベースの特長とデータ操作上の留意点を説明できる。 ・検索処理プログラムを作成できる。 ・更新処理プログラムを作成できる。 ・切り離し、組入れおよび再組入れ処理プログラムを作成できる。
対象者	XDM構造型DBを使用する業務プログラムを開発する方。
前提知識	COBOL言語を修了し、かつXDM構造型DBの基礎知識があること。
内 容	1. 構造型データベースの特長とデータ操作上の留意点 2. 検索処理プログラムの作成方法 3. 更新処理プログラムの作成方法 4. 切り離し、組み入れ処理プログラムの作成方法
備考	お申し込みについては、下記URLをご覧ください。 https://www.hitachi-ac.co.jp/course/guide/apply/free/index.html

休 講	休 講 今期の定期開催はありません
------------	-----------------------------

DBE028	XDM/PDM II
	<eラーニング> XDMシステムの設計と運用
18時間	
XDMによるオンラインシステムを構築、運用する際に必要な効果的なシステムの定義方法や運用の手順、およびそれらの作業方法を学習します。	
到達目標	・XDM空間を起動できる。 ・オンラインのさまざまなオプションを選択し性能改善できる。 ・センタ運用のさまざまなオプションを選択し省力化が図れる。
対象者	XDMシステムの管理者としてシステムの定義作成や運用する方。
前提知識	「XDM構造型DB機能と設定」コース、または「XDMリレーショナルDB機能と設定」eラーニングコース(3コースすべて)と、「XDM/DCCM3機能解説とシステム運用」コースを修了し、かつVOS3の各種用語や機能についての知識があること。
内 容	1. 概要 2. XDMシステムの構築と運用 (1) XDM運用のポイント 3. XDMシステムの管理を支援するツール (1) XDM/AOF E2 (2) XDM/PAF 4. XDMの設計指針 (1) 性能設計 (2) 信頼性設計 (3) DB設計 (4) DC設計
備考	・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBJ108	XDM/PDM II
	DCCM3入門 (自習テキスト)
平均15時間	
DCCM3またはXDM/DCCM3のオンラインシステムの構築に必要なとなるメッセージ制御機能およびその流れを基礎的用語を中心に学習します。	
到達目標	・DCCM3の目的および特長を説明できる。 ・メッセージの処理方法を説明できる。 ・DCCM3オンラインシステムの障害対策と運用を説明できる。
対象者	DCCM3、XDM/DCCM3を使用したオンラインシステムを構築・運用する方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. DCCM3、XDM/DCCM3の特徴 2. メッセージの処理方法 3. オンラインの運用
備考	お申し込みについては、下記URLをご覧ください。 https://www.hitachi-ac.co.jp/course/guide/apply/free/index.html

休 講	休 講 今期の定期開催はありません
------------	-----------------------------

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス / ヒューマン
グローバル

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

XDM/PDM II
DCCM3プログラミング (自習テキスト)
平均25時間
DCCM3、XDM/DCCM3によるオンラインシステムの業務プログラムを作成するにあたり必要なユーザアプリケーションプログラムの作成方法、パナール定義について例を中心に学習します。
到達目標
・DCCM3とXDM/DCCM3を使用する場合のユーザアプリケーションプログラムでのメッセージ処理の概要を理解し説明できる。 ・COBOL言語によるユーザアプリケーションプログラムを作成できる。 ・XMAPを使用したメッセージの基本的な編集ができる。
対象者
DCCM3、XDM/DCCM3を使用したオンラインシステムの業務プログラムを作成する方。
前提知識
COBOL言語を修了し、かつ「DCCM3入門」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容
1. DCCM3、XDM/DCCM3の特徴 2. ユーザアプリケーションプログラムの作成方法 3. パナール定義
備考
お申し込みについては、下記URLをご覧ください。 https://www.hitachi-ac.co.jp/course/guide/apply/free/index.html

XDM/PDM II
PDM II入門 (自習テキスト)
平均10時間
PDM IIデータベースシステムの構築や運用、あるいはデータベースを利用する際に必要な基礎知識を学習します。
到達目標
・PDM IIシステムのねらいを理解し説明できる。 ・PDM IIシステムによるデータベースシステムの実現方法を理解し説明できる。 ・データベース構造を理解し説明できる。 ・PDM IIシステムが提供する機能を理解し説明できる。
対象者
PDM IIデータベースシステムの設計・運用を行う方、または業務プログラムを開発する方。
前提知識
「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「データベース入門」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容
1. PDM IIの基本機能 2. PDM IIデータベースの構造 3. データベースの操作機能
備考
お申し込みについては、下記URLをご覧ください。 https://www.hitachi-ac.co.jp/course/guide/apply/free/index.html

XDM/PDM II
PDM IIデータベース機能と設定 (自習テキスト)
平均15時間
PDM IIデータベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、またデータベースの管理や維持の方法を紹介します。
到達目標
・論理/物理構造についてさまざまなオプションを選択し機能設定できる。 ・PDM IIシステムによるデータベースシステムの実現方法を理解し説明できる。 ・データベース定義/アクセス定義を定義できる。 ・運用・管理・生成と保守についてさまざまなオプションを選択し機能設定できる。
対象者
PDM IIデータベースシステムの設計・運用を行う方、または業務プログラムを開発する方。
前提知識
「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「データベース入門」eラーニングコース、および「PDM II入門」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容
1. PDM IIデータベースシステムの概要 2. データベースの論理構造 3. データベースの物理構造 4. データベースの定義 5. アクセス仕様定義 6. PDM IIシステムの運用 7. PDM IIシステムの管理 8. PDM IIシステムの生成と保守
備考
お申し込みについては、下記URLをご覧ください。 https://www.hitachi-ac.co.jp/course/guide/apply/free/index.html

XDM/PDM II
PDM IIプログラミング (自習テキスト)
平均20時間
PDM IIデータベースを作成、検索、更新する業務プログラムの作成方法を学習します。
到達目標
・PDM IIとプログラムのインターフェースを理解し説明できる。 ・検索・更新・追加/削除処理プログラムを作成できる。
対象者
PDM IIデータベースを使用した業務プログラムを開発する方。
前提知識
COBOL、PL/IまたはNHHELPのいずれかの言語を理解し、かつ「PDM II入門」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容
1. PDM IIの機能概要 2. プログラムとPDM IIのインターフェース 3. データベースの作成方法 4. データベースの検索方法 5. データベースの更新方法
備考
お申し込みについては、下記URLをご覧ください。 https://www.hitachi-ac.co.jp/course/guide/apply/free/index.html

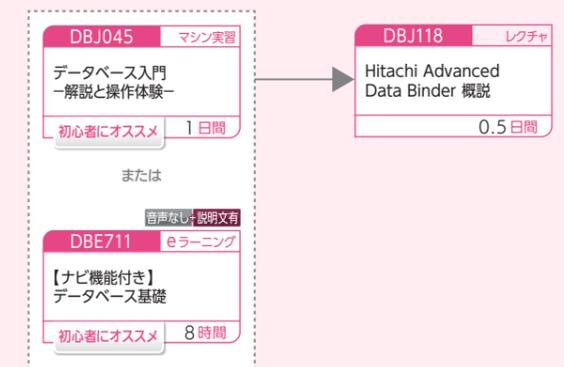
XDM/PDM II
PDM IIデータベース機能と設定 (自習テキスト)
平均15時間
PDM IIデータベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、またデータベースの管理や維持の方法を紹介します。
到達目標
・論理/物理構造についてさまざまなオプションを選択し機能設定できる。 ・PDM IIシステムによるデータベースシステムの実現方法を理解し説明できる。 ・データベース定義/アクセス定義を定義できる。 ・運用・管理・生成と保守についてさまざまなオプションを選択し機能設定できる。
対象者
PDM IIデータベースシステムの設計・運用を行う方、または業務プログラムを開発する方。
前提知識
「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「データベース入門」eラーニングコース、および「PDM II入門」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容
1. PDM IIデータベースシステムの概要 2. データベースの論理構造 3. データベースの物理構造 4. データベースの定義 5. アクセス仕様定義 6. PDM IIシステムの運用 7. PDM IIシステムの管理 8. PDM IIシステムの生成と保守
備考
お申し込みについては、下記URLをご覧ください。 https://www.hitachi-ac.co.jp/course/guide/apply/free/index.html

XDM/PDM II
DCCM3プログラミング (自習テキスト)
平均25時間
DCCM3、XDM/DCCM3によるオンラインシステムの業務プログラムを作成するにあたり必要なユーザアプリケーションプログラムの作成方法、パナール定義について例を中心に学習します。
到達目標
・DCCM3とXDM/DCCM3を使用する場合のユーザアプリケーションプログラムでのメッセージ処理の概要を理解し説明できる。 ・COBOL言語によるユーザアプリケーションプログラムを作成できる。 ・XMAPを使用したメッセージの基本的な編集ができる。
対象者
DCCM3、XDM/DCCM3を使用したオンラインシステムの業務プログラムを作成する方。
前提知識
COBOL言語を修了し、かつ「DCCM3入門」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容
1. DCCM3、XDM/DCCM3の特徴 2. ユーザアプリケーションプログラムの作成方法 3. パナール定義
備考
お申し込みについては、下記URLをご覧ください。 https://www.hitachi-ac.co.jp/course/guide/apply/free/index.html

Hitachi Advanced Data Binder

情報系システム向け超高速データベースエンジン、Hitachi Advanced Data Binderのアーキテクチャや導入までのWBS、設計や構築・運用管理に必要なとなるスキルが修得できます。

● Hitachi Advanced Data Binderを使用したシステムを設計・開発する方



- 音声有, 説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有, 説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし, 説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

DBJ118 Hitachi Advanced Data Binder
Hitachi Advanced Data Binder 概説
0.5日間
Hitachi Advanced Data Binderの概要、導入から保守までの作業概要(WBS)および設計・構築・運用の基礎知識を学習します。
到達目標
・Hitachi Advanced Data Binderの概要を理解し、説明できる。 ・Hitachi Advanced Data Binderの導入から保守までの作業概要(WBS)を理解し、説明できる。 ・Hitachi Advanced Data Binderの設計・構築・運用の基礎知識を理解し、説明できる。
対象者
Hitachi Advanced Data Binderの導入をご検討中の方。
前提知識
「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容
1. HADBの概要 2. HADBの設計 3. HADBの構築の概要 4. HADBのテストおよびチューニングの概要
備考
このコースは、13:00~17:00の間催とさせていただきます。

休講 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

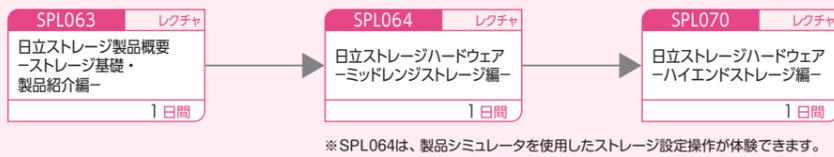
日立ストレージ

日立ブロックストレージに関する製品・機能について必要な知識やスキルを修得できます。

● ストレージの基礎および周辺知識を知りたい方

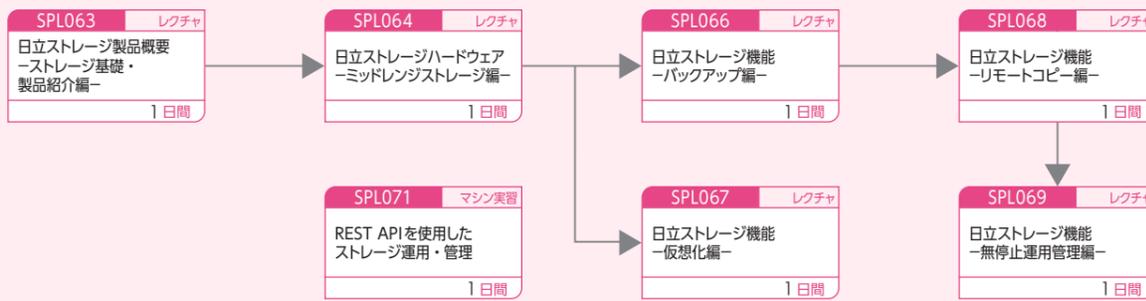
<p>【ストレージ】</p> <p>音声有・説明文なし eラーニング</p> <p>CLE703</p> <p>【ナビ機能付き】 ストレージ関連者向け サーバ仮想化技術概説</p> <p>3 時間</p>	<p>【周辺知識】</p> <p>音声有・説明文なし eラーニング</p> <p>SJE705</p> <p>【ナビ機能付き】 SAN概説</p> <p>5 時間</p>	<p>音声有・説明文なし eラーニング</p> <p>SJE016</p> <p>Fibre Channel概説 —日立ストレージ・ホストの 接続を理解するために—</p> <p>4 時間</p>
<p>レクチャ</p> <p>SPL063</p> <p>日立ストレージ製品概要 —ストレージ基礎・ 製品紹介編—</p> <p>1 日間</p>	<p>音声有・説明文なし eラーニング</p> <p>SJE017</p> <p>SATA入門</p> <p>2 時間</p>	<p>音声有・説明文なし eラーニング</p> <p>SJE028</p> <p>SCSI入門 —ストレージインタフェースを 理解するために—</p> <p>2 時間</p>
		<p>音声有・説明文なし eラーニング</p> <p>SJE018</p> <p>SAS (Serial Attached SCSI) 入門—ストレージインタフェース を理解するために—</p> <p>2 時間</p>

● 日立ストレージのハードウェア製品特長・構成を知りたい方



※SPL064は、製品シミュレータを使用したストレージ設定操作が体験できます。

● 日立ストレージの各機能を使用したシステムの構築・運用技術を知りたい方



※SPL064、SPL066、SPL067、SPL068は、製品シミュレータを使用したストレージ設定操作が体験できます。

音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

マシン実習 マシンを使用しながらの 研修	グループ演習 グループ演習を中心と した研修	レクチャ 座学による研修	演習環境 職場・自宅などのマシン演習 環境を使用した自己学習	eラーニング インターネット接続による 自己学習	自習テキスト 自習書による自己学習
----------------------------	------------------------------	-----------------	--------------------------------------	--------------------------------	----------------------

SPL063 日立ストレージ

日立ストレージ製品概要
—ストレージ基礎・製品紹介編—

1 日間

Hitachi Storage Solutions製品の基礎知識、提案および見積りの手順について学習します。

到達目標 Hitachi Storage Solutionsの基礎知識、提案、見積りに必要な事項を修得し、カタログを用いてHitachi Storage Solutionsの製品説明ができるようになり、かつ顧客のニーズを把握できるようになる。

対象者 顧客に対しHitachi Storage Solutionsに関する最適なシステムの提案技術の修得をめざす営業・SEの方。

前提知識 特に必要としません。

内容 1. ストレージと基礎知識
2. ストレージ製品ラインアップと特徴
3. 日立ストレージソフトウェアおよびリユース
4. 日立ストレージ管理ソフトウェア
5. 日立ストレージ提案・見積り

備考 このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。

SPL064 日立ストレージ

日立ストレージハードウェア
—ミッドレンジストレージ編—

1 日間

ハードウェアについては、製品ラインアップとオプション構成などハードウェアシステム構成ができる知識、ソフトウェア関連では、基本ソフトウェアの操作・設定ができる知識について学習します。なお、GUI操作も体験していただけます。

到達目標 ・ハードウェアシステム構成ができる知識を修得できる。
・オープン系ソフトウェアの操作・設定ができる。

対象者 日立ミッドレンジストレージについて基本的な技術の修得をめざす方。

前提知識 「日立ストレージ製品概要—ストレージ基礎・製品紹介編—」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内容 1. 日立ストレージ概要
2. ハードウェア
(1) 全体構成
(2) ハードウェアコンポーネント
3. 内部動作
(1) Read・Write時の内部動作
4. 基本ソフトウェア (オープンシステム)
(1) LUN Manager (機能・操作)
(2) Performance Monitorなど
(3) Hitachi Dynamic Provisioning概要

備考 このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。

SPL070 日立ストレージ

日立ストレージハードウェア
—ハイエンドストレージ編—

1 日間

ハイエンドストレージを担当する初級技術者・SEを対象にミッドレンジストレージとハイエンドストレージの異なりについて解説します。また、ハイエンドストレージの特徴であるメインフレーム接続について、接続構成や機能詳細を解説します。

到達目標 ハイエンドストレージのハードウェア・メインフレーム接続を修得し、構成設計ができるようになる。

対象者 ハイエンドストレージに関連したハード/ソフト開発を行う技術者、またシステム構成設計を行うSEの方。

前提知識 「日立ストレージハードウェア—ミッドレンジストレージ編—」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内容 1. ハイエンドストレージ概要
2. ハードウェア
(1) ハードウェアアーキテクチャと内部動作
(2) 全体構成
(3) 各コンポーネント
3. ソフトウェア
(1) オープンシステム向けソフトウェア
(2) メインフレーム向けソフトウェア
4. メインフレームサポート
(1) メインフレーム接続概要
5. Hitachi Command Suiteストレージ設定

備考 このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。

SPL066 日立ストレージ

日立ストレージ機能
—バックアップ編—

1 日間

ShadowImage、Thin Imageの基本機能、ペア操作(Storage Navigator、RAID Manager)について学習します。なお、GUIおよびCLI操作も体験していただけます。

到達目標 ・ShadowImageの知識を修得し、操作・設定ができる。
・Thin Imageの知識を修得し、操作・設定ができる。

対象者 日立ブロックストレージのボリュームコピー系機能 ShadowImage、Thin Imageの技術の修得をめざす方。

前提知識 「日立ストレージハードウェア—ミッドレンジストレージ編—」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内容 1. ShadowImage
(1) 基本機能 状態遷移 ペア操作
(2) RAID Managerを使用したシステム構成 (構成定義 ファイルなどを含む)
2. Thin Image
(1) 基本機能 状態遷移 ペア操作
3. GUIによる基本操作 (ボリュームコピー系機能)
4. Hitachi Command Suiteペア設定

備考 このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。

SPL067 日立ストレージ

日立ストレージ機能—仮想化編—

1 日間

日立ストレージの仮想化機能Universal Volume Manager、Dynamic Provisioning、Dynamic Tieringの基本機能、システム構成、設定について学習します。なお、GUI操作も体験していただけます。

到達目標 ・Universal Volume Managerの知識を修得し、操作・設定ができる。
・Dynamic Provisioningの知識を修得し、操作・設定ができる。
・Dynamic Tieringの知識を修得し、操作・設定ができる。

対象者 日立ブロックストレージの仮想化機能Universal Volume Manager、Dynamic Provisioning、Dynamic Tieringの技術の修得をめざす方。

前提知識 「日立ストレージ機能—バックアップ編—」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内容 1. Universal Volume Manager (UVM)
(1) 基本機能 内部動作 システム構成 操作
2. Dynamic Provisioning (HDP)
(1) 基本機能 システム構成、操作 (仮想ボリューム、プール作成、閾値設定)
3. Dynamic Tiering (HDT)
(1) 基本機能 システム構成、操作
4. active flash
(1) 基本機能 設定 操作
5. Hitachi Command Suite階層管理

備考 このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。

SPL068 日立ストレージ

日立ストレージ機能—リモートコピー編—

1 日間

日立ストレージリモートコピー機能 (TrueCopy、Universal Replicator) の基本機能、システム構成、ペア操作について学習します。なお、GUIおよびCLI操作も体験していただけます。

到達目標 ・TrueCopyの知識を修得し、操作・設定ができる。
・Universal Replicatorの知識を修得し、操作・設定ができる。

対象者 日立ブロックストレージのリモートコピー機能TrueCopy、Universal Replicatorの技術の修得をめざす方。

前提知識 「日立ストレージ機能—バックアップ編—」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内容 1. TrueCopy
(1) 基本機能 状態遷移 システム構成 (RAID Manager含む) ペア操作
2. Universal Replicator
(1) 基本機能 状態遷移 システム構成 (RAID Manager含む) ペア操作

備考 このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。

SPL066 日立ストレージ

日立ストレージ機能
—バックアップ編—

1 日間

ShadowImage、Thin Imageの基本機能、ペア操作(Storage Navigator、RAID Manager)について学習します。なお、GUIおよびCLI操作も体験していただけます。

到達目標 ・ShadowImageの知識を修得し、操作・設定ができる。
・Thin Imageの知識を修得し、操作・設定ができる。

対象者 日立ブロックストレージのボリュームコピー系機能 ShadowImage、Thin Imageの技術の修得をめざす方。

前提知識 「日立ストレージハードウェア—ミッドレンジストレージ編—」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内容 1. ShadowImage
(1) 基本機能 状態遷移 ペア操作
(2) RAID Managerを使用したシステム構成 (構成定義 ファイルなどを含む)
2. Thin Image
(1) 基本機能 状態遷移 ペア操作
3. GUIによる基本操作 (ボリュームコピー系機能)
4. Hitachi Command Suiteペア設定

備考 このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。

SPL067 日立ストレージ

日立ストレージ機能—仮想化編—

1 日間

日立ストレージの仮想化機能Universal Volume Manager、Dynamic Provisioning、Dynamic Tieringの基本機能、システム構成、設定について学習します。なお、GUI操作も体験していただけます。

到達目標 ・Universal Volume Managerの知識を修得し、操作・設定ができる。
・Dynamic Provisioningの知識を修得し、操作・設定ができる。
・Dynamic Tieringの知識を修得し、操作・設定ができる。

対象者 日立ブロックストレージの仮想化機能Universal Volume Manager、Dynamic Provisioning、Dynamic Tieringの技術の修得をめざす方。

前提知識 「日立ストレージ機能—バックアップ編—」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内容 1. Universal Volume Manager (UVM)
(1) 基本機能 内部動作 システム構成 操作
2. Dynamic Provisioning (HDP)
(1) 基本機能 システム構成、操作 (仮想ボリューム、プール作成、閾値設定)
3. Dynamic Tiering (HDT)
(1) 基本機能 システム構成、操作
4. active flash
(1) 基本機能 設定 操作
5. Hitachi Command Suite階層管理

備考 このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。

SPL068 日立ストレージ

日立ストレージ機能—リモートコピー編—

1 日間

日立ストレージリモートコピー機能 (TrueCopy、Universal Replicator) の基本機能、システム構成、ペア操作について学習します。なお、GUIおよびCLI操作も体験していただけます。

到達目標 ・TrueCopyの知識を修得し、操作・設定ができる。
・Universal Replicatorの知識を修得し、操作・設定ができる。

対象者 日立ブロックストレージのリモートコピー機能TrueCopy、Universal Replicatorの技術の修得をめざす方。

前提知識 「日立ストレージ機能—バックアップ編—」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内容 1. TrueCopy
(1) 基本機能 状態遷移 システム構成 (RAID Manager含む) ペア操作
2. Universal Replicator
(1) 基本機能 状態遷移 システム構成 (RAID Manager含む) ペア操作

備考 このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。

日立製品	SPL069 日立ストレージ	SPL071 日立ストレージ
JP1 uCosminexus Application Server HIRDB OpenTP1 VOS3/VOS1/ VOSK XDM/PDMII Hitachi Advanced Data Binder	日立ストレージ機能 —無停止運用管理編— 1日間 global virtualizationの概要と、global virtualizationをベースとした機能であるnondisruptive migration、global-active deviceの基本機能、システム構成、操作について学習します。 到達目標 ・ global virtualizationの概要を修得し、操作・設定ができる。 ・ nondisruptive migrationやglobal-active deviceの知識を修得し、操作・設定ができる。 対象者 ストレージの仮想化機能global virtualizationの技術の修得をめざす方。 前提知識 「日立ストレージ機能 —リモートコピー編—」コースを修了しているか、同等の知識があること。 内容 1. global virtualization (1) 仮想ストレージ概要、仮想ストレージの作成 2. nondisruptive migration (1) 基本機能 システム構成 操作 (データ移行) 3. global-active device (1) 基本機能 システム構成、操作 備考 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。	REST APIを使用した ストレージ運用・管理 1日間 REST APIの基本的な使用方法から、ストレージの設定・管理方法をマシン実習を通して学習します。 到達目標 ・ REST APIの基本的な使用方法が理解できる。 ・ REST APIを使用してストレージの設定ができる。 ・ REST APIを使用してストレージの情報を確認できる。 対象者 ストレージの運用・管理を行う方。 前提知識 日立ストレージに関する知識をお持ちのこと。 内容 1. REST APIとは (1) REST API概要 2. REST API操作 (1) RESTクライアントインストール (2) 認証 (ベーシック認証、セッション認証) (3) ストレージ情報確認、設定操作 3. REST API演習 (1) ストレージ設定、情報の確認などの演習 備考 このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
日立ストレージ Pentaho		
デジタルトランス フォーメーション		
IT 利活用		
イノベーション		
IoT/AI/Lumada		
ビッグデータ		
データ分析		
サイバー セキュリティ		
RPA		
クラウド/ サーバ仮想化		
IT サービス マネジメント		
システム基盤		
IT 基本		
オープンソース ソフトウェア(OSS)		
Linux		
Microsoft		
ネットワーク		
ハードウェア		
セキュリティ		
データベース		
IT 戦略・IS 企画		
システム開発		
要件定義 / 設計		
モデリング		
プログラミング		
情報処理技術者 試験対策		
ITリテラシ		
プロジェクト マネジメント		
コンプライアンス		
ビジネス/ ヒューマン		
グローバル		

Pentaho

データ統合・分析基盤であるPentahoを使用したデータの統合処理や、分析・可視化に必要な機能や操作等の技術が修得できます。

● Pentahoを使ってデータ操作・参照したい方

PTD001 マシン実習
(Pentaho認定)
ビジネスアナリティクス
ユーザーコンソール
1 日間

● PentahoのBI機能を使ったデータ分析をしたい方



● Pentahoを使用してデータ統合をしたい方



音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

休講 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

日立製品	JP1 uCosminexus Application Server HIRDB OpenTP1 VOS3/VOS1/ VOSK XDM/PDMII Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ	Pentaho
デジタルトランス フォーメーション	
IT 利活用	
イノベーション	
IoT/AI/Lumada	
ビッグデータ	
データ分析	
サイバー セキュリティ	
RPA	
クラウド/ サーバ仮想化	
IT サービス マネジメント	
システム基盤	
IT 基本	
オープンソース ソフトウェア(OSS)	
Linux	
Microsoft	
ネットワーク	
ハードウェア	
セキュリティ	
データベース	
IT 戦略・IS 企画	
システム開発	
要件定義 / 設計	
モデリング	
プログラミング	
情報処理技術者 試験対策	
ITリテラシ	
プロジェクト マネジメント	
コンプライアンス	
ビジネス/ ヒューマン	
グローバル	

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス / ヒューマン
グローバル

PTD001 Pentaho
 (Pentaho認定) ビジネスアナリティクス ユーザーコンソール
1日間
ビジネス上の意思決定にビジネスインテリジェンスを利用するユーザーに対して、Pentaho製品の円滑なスタートを提供します。また、このコースはすべてのビジネス・アナリティクスとデータ統合の学習のための出発点となり、より高度なトピックのための前提条件となります。
到達目標 インタラクティブレポート、アナライザ、レポートデザイナー、およびダッシュボードデザイナーの主な機能を説明できる。
対象者 ビジネスユーザーの方、ビジネスアナリストをめざす方、データアナリスト・Pentaho管理者・Pentahoサポートを担当する方。
前置知識 特に必要としません。
内容 1. Pentahoビジネスアナリティクス入門 2. インタラクティブレポートによるレポート作成 3. アナライザによるレポート作成 4. ダッシュボードデザイナーによるダッシュボード作成
備考 ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。

PTD003 Pentaho
 (Pentaho認定) ビジネスアナリティクス データモデリング
2日間
Pentahoメタデータエディターやスキーマワークベンチを使って、インタラクティブレポートやアナライザで使用するデータモデルの作成を行います。
到達目標 ・データソースウィザードを使用してCSVファイルからデータモデルを作成できる。 ・Pentahoメタデータエディターを使って、複雑なDBテーブルやレポートデータに対するセキュリティパラメータの設定をするためのビジネス言語定義が行える。 ・OLAP、ROLAP、ディメンショナル・モデリングを説明できる。 ・Mondrianスキーマの機能と目的を説明できる。 ・Pentahoアナライザの基本的なキューブを作成するために、スキーマワークベンチを使う。 ・ヒエラルキー・レベル・計算メンバーを含むスタースキーマを作成するために、スキーマワークベンチを使う。 ・スキーマワークベンチ内でMondrianスキーマをテストするために基本的なMDXクエリを書く。 ・Mondrianスキーマへのアクセスを管理するため、どのようにスキーマワークベンチのロールを使うか説明できる。
対象者 ビジネスアナリスト、データアナリストをめざす方、Pentahoサポートを担当する方。
前置知識 特に必要としません。
内容 1. Pentahoビジネスアナリティクス入門 2. OLAPによるデータソースの働き 3. OLAP/ROLAPとディメンショナル・モデリング 4. スキーマワークベンチの使用
備考 ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。

PTJ001 Pentaho
 Pentahoによる データの可視化・分析 New
0.5日間
Pentahoのアナライザレポート機能などを用いた、データの可視化および分析について学習します。
到達目標 ・データ分析の処理方法であるOLAP (Online Analytical Processing) の概要を説明できる。 ・Pentahoを用いてデータを可視化、分析できる。
対象者 Pentahoによるデータの可視化、分析について学びたい方。
前置知識 Microsoft Windowsの基本的な操作についての知識があること。
内容 1. Pentahoのデータ可視化、分析機能概要 (1) 概要 (2) アナライザレポート機能 (3) その他のレポート機能 2. アナライザレポート機能による可視化、分析 (1) OLAP分析の概要 (2) グラフ種別 (3) データ分析操作 3. データ分析演習 (1) 仮説の作成 (2) 分析と仮説の検証
備考 このコースは、13:00～17:00の開催とさせていただきます。

PTD004 Pentaho
 (Pentaho認定) CToolsの基本
2日間
リッチなユーザー体験を提供するピクセルパーフェクトなダッシュボードの作成方法について学習します。
到達目標 ・ダッシュボードデザインのためのトッパーボトムアプローチが説明できる。 ・DCFのようなダッシュボードフレームワークの目的を説明できる。 ・コアのCTools (CDA、CDE、CCC) が使えて、その目的が説明できる。 ・CToolsの中で使用されるテクノロジが説明できる。 ・CToolsトレーニング環境が説明できる。 ・CDEを使ったダッシュボードのためのレイアウトが作成できる。 ・CDEのライフサイクルの背景となる主要コンセプトが説明できる。 ・CDEデータソースパースベクティブが説明できる。 ・Mondrianデータソースをダッシュボードに追加できる。 ・CCCとCCC2が説明できる。 ・チャートや表がダッシュボードに追加できる。 ・チャートカスタマイズのための拡張ポイントを見つけるためドキュメントを使う。 ・パラメータコンポーネントをダッシュボードに追加できる。 ・セレクターやウィジェットをダッシュボードに追加できる。
対象者 ビジネスアナリストをめざす方。
前置知識 (Pentaho認定) ビジネスアナリティクスコースを修了しているか、同等の知識があること。
内容 1. ダッシュボードデザイン 2. CToolsのアーキテクチャ 3. CDF/CDE入門 4. CDAによるダッシュボードデータソースの作成 5. ダッシュボードへのコンポーネント追加 6. CCCによるチャートの設定 7. コンポーネント間の相互利用 8. CGGとCDAのエクスポート機能
備考 ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。

PTD002 Pentaho
 (Pentaho認定) ビジネスアナリティクス レポートデザイナー
2日間
Pentahoレポートデザイナーにより、レポートのデザイン、作成、パブリッシュ方法を修得します。また、データソースへのアクセスからデザイン要素の追加までビジネスレポート作成に必要なすべてのステップを学習できます。
到達目標 ・レポートデザイナーの主要な特徴を説明できる。 ・データソースに接続してクエリーデザインツールによりレポートのためのクエリーが書ける。 ・さまざまなデータを使用して要素をデザインできる。 ・レポート要素をフォーマットして、条件フォーマットをレポート要素に適用できる。 ・ハイパーリンクとパラメーターをレポートに追加できる。 ・レポートデザイナーでチャートとサブレポートを使える。 ・レポート内でリソースファイルを使うことができる。 ・レポートウィザードを使ってレポートを作成できる。
対象者 ビジネスアナリストをめざす方、Pentahoサポートを担当する方。
前置知識 特に必要としません。
内容 1. Pentahoビジネスアナリティクス入門 2. レポートデザイナーによるレポート作成 3. 高度なレポートインポート 4. レポートウィザードによるレポート作成
備考 ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。

PTJ002 Pentaho
 データ加工・統合入門 -Pentahoを用いて- New
1日間
データ統合に必要なETL処理について、データ加工の考え方やポイントを学習します。また、PentahoのPDI (Pentaho Data Integration) 機能を使用した、ETL処理の定義・実行操作を学習します。
到達目標 ・データ統合を目的としたETL (Extract/Transform/Load) 処理のポイントを説明できる。 ・Pentahoを用いてETL処理を定義・実行できる。
対象者 ・業務でデータ統合を実現する方法を学びたい方。 ・Pentahoを使用したシステムの提案、導入を担当する営業、SEの方。
前置知識 Microsoft Windowsの基本的な操作についての知識があること。
内容 1. ETL概要 (1) ETLとは (2) ETLにおけるデータ加工のポイント 2. Pentaho概要 (1) Pentahoの概要と構成 (2) PDIの用語・概念 3. データの名寄せ (1) 名寄せとは (2) 名寄せのポイント (3) PDIでの設定・実行例 (4) 演習 4. データのクレンジング (1) クレンジングとは (2) クレンジングのポイント (3) PDIでの設定・実行例 (4) 演習
備考 このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。

PTD005 Pentaho
 (Pentaho認定) データ統合の基本
3日間
Pentahoデータ統合を活用し、生産性を向上させるスキルを修得できます。また、Pentahoのデータ統合機能を使用して、さまざまなアプリケーションにデータを配信する方法を学習できます。
到達目標 ・ステップやジョブを含む基本的なデータ変換の作成、プレビュー、実行ができる。 ・データ変換の結果をメトリクスビューやログビューで確認できる。 ・基本的なセキュリティを含むPentahoエンタープライズレポジトリを設定できる。 ・Pentahoエンタープライズレポジトリを使用できる。 ・データ変換ステップのためのエラーハンドリングができる。 ・データベース接続を作成してデータベース探索が行える。 ・データ変換の作成が行える。 ・ストリーム上での複雑な計算を行うデータ変換の作成できる。 ・パラメータや環境変数を使った繰り返しデータのデータ変換を作成できる。 ・データ補正データクレンジングにPentahoデータ統合を使用できる。 ・異なるデータソースへデータをロードできる。 ・ジョブを作成できる。 ・データ変換やジョブのためのログを設定し、結果を検証できる。 ・Pentahoデータ統合、Pentahoエンタープライズコンソールから、スケジュールしてモニタリングできる。
対象者 データアナリストをめざす方。
前置知識 特に必要としません。
内容 1. 基本的なデータ変換の作成、プレビュー、実行 2. メトリクスビューやログビュー 3. Pentahoエンタープライズレポジトリ 4. エラーハンドリング 5. データベース接続 6. 各種データ変換 7. データ統合 8. ジョブの作成
備考 ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。

 マシン実習 マシンを使用しながらの研修	 グループ演習 グループ演習を中心とした研修	 レクチャ 座学による研修	 演習環境 職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習	 eラーニング インターネット接続による研修コース	 eラーニング インターネット接続による自己学習	 自己テスト 自習書による自己学習
---	---	--	--	--	--	--

休講	休講 今期の定期開催はありません
-----------	----------------------------

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス / ヒューマン
グローバル

IT活用

デジタルソリューション(IoT/AI/Lumada)の概要を理解し、ビジネスを展開するためのスキルが修得できます。

● イノベーションとデジタルビジネスの概要を知りたい方

音声有 + 説明文なし

IOE001 eラーニング

デジタルソリューションで活用するIT技術概説

8 時間

音声有 + 説明文なし

IOE001 eラーニング

デジタルソリューションで活用するIT技術概説

8 時間

《オーダー研修》：ご希望に応じて個別開催いたします。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。

- 音声有 + 説明文有**：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有 + 説明文なし**：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし + 説明文有**：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

IOE001 IT活用

<eラーニング>
デジタルソリューションで活用するIT技術概説

8時間

社会イノベーション事業などITを活用したビジネスを企画・提案する方に必要となるIT技術の概要を学習します。

到達目標

- ・各ビジネス領域でIT化を実現するためにどのようなIT技術が活用されているかを説明できる。
- ・ビジネスに活用される主なIT技術を説明できる。
- ・IT化を実現するための体制、プロセス、提供モデルが説明できる。

対象者

業務にITを活用する方、ITを活用したビジネスを企画・提案する方。

前提知識

特に必要としません。

内 容

1. IT活用の変遷とビジネスへのかかわり
 - (1) ITとは何か
 - (2) ソリューションの変遷
2. 各種ビジネス領域で活用されるIT
 - (1) ITシステムのアーキテクチャ
 - (2) IoT
 - (3) クラウドコンピューティング
 - (4) ビッグデータ
 - (5) AI、BI
 - (6) セキュリティ
3. 提供形態
 - (1) ソリューション
 - (2) 提供形態
 - (3) サービス
4. 提供プロセス
 - (1) 開発プロセス
 - (2) デジタルソリューション開発プロセス
 - (3) PoC
 - (4) アジャイル開発
5. まとめ
 - (1) 技術の整理

備 考

- ・学習終了日は3月31日になります。
- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必須です。）
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

イノベーション

イノベーションのプロセス、思考技法、必要な事業戦略の知識が修得できます。

● イノベティブな考え・行動を強化したい方

イノベティブな思考の進め方、思考法を知りたい

HSJ170 グループ演習

イノベティブ思考
-単なるアイデアで終わらせないためのロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせ-

2 日間

HSJ163 グループ演習

クリエイティブシンキング

1 日間

未来の社会の姿をどう想像するのか、その方法を知りたい

HSJ158 グループ演習

イノベーションプロセスを強化するシナリオプランニング

1 日間

考えているエコシステムをどのように図で表現するとよいか知りたい

HSJ157 グループ演習

システムシンキング基礎
-問題を構成する互いに影響しあう要素の「つながり」を可視化する-

2 日間

データを利活用したビジネスのアイデア出しがしたい

HSJ175 レクチャ

データ利活用のパターンとビジネス着想

0.5 日間

ビジネスモデルキャンパス活用関連4コース

HSJ159 グループ演習

顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン

2 日間

HSJ177 グループ演習

実現可能性を高めるユーザーの意見を捉えて解決する
成果志向型のサービスデザイン-事業開始の失敗リスクを削減するための事業・競争戦略、内情プロセスの検討-

1 日間

HSJ178 グループ演習

新事業における利益の健全性評価と収益性の高い
ビジネスモデルのデザイン-不確実性の高いビジネスにおける仮設検証、価値ベースのプライシングを身に付ける-

1 日間

HSJ176 グループ演習

顧客との関係を深め続けられる顧客接点の
ビジネスモデルデザイン-モバイル時代の消費者行動の変化を捉え、経験価値をデザインする-

1 日間

ビジネスモデルを検討する際の考慮すべき要素や進め方を知りたい

音声有 + 説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有 + 説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし + 説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

HSJ170	イノベーション
<div><div><div></div><div>グループ演習</div></div></div>	

2日間

IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

HSJ157	イノベーション
<div><div><div></div><div>グループ演習</div></div></div>	

2日間

 マシン実習	 グループ演習
マシンを使用した研修	グループ演習を中心とした研修

HSJ163	イノベーション
<div><div><div></div><div>グループ演習</div></div></div>	

1日間

HSJ175	イノベーション
<div><div><div></div><div>レクチャ</div></div></div>	

0.5日間

HSJ158	イノベーション
<div><div><div></div><div>グループ演習</div></div></div>	

1日間

HSJ159	イノベーション
<div><div><div></div><div>グループ演習</div></div></div>	

2日間

HSJ177	イノベーション
<div><div><div></div><div>グループ演習</div></div></div>	

1日間

HSJ178	イノベーション
<div><div><div></div><div>グループ演習</div></div></div>	

1日間

HSJ176	イノベーション
<div><div><div></div><div>グループ演習</div></div></div>	

1日間

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

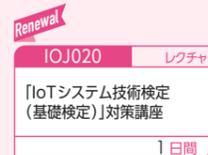
IoT/AI/Lumada

IoTやAIなどのデジタル化に必要なシステム開発技術が
修得できます。

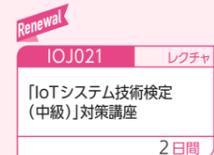
IoT技術を身につけたい方



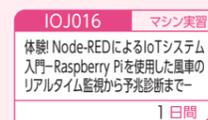
<基礎検定受検者向け>



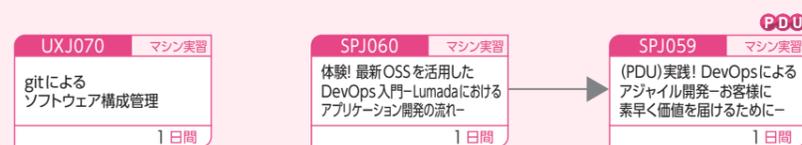
<中級検定受検者向け>



OSSを活用したIoTシステムを開発したい方



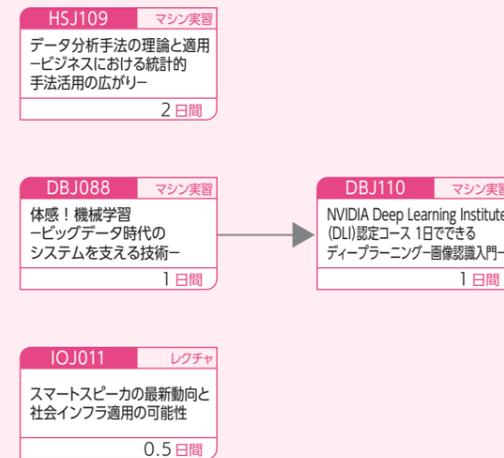
最新OSSを活用したDevOpsを知りたい方



Hitachi Application Framework/Event Driven Computingを利用したシステムを開発したい方



AIを活用したビジネスに携わる方



音声有+説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし+説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

休講 休講
今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

IOJ001	IoT/AI/Lumada
 IoT概説	
0.5日間	
IoTの全体像を理解します。	
到達目標	
・IoTとは何かを理解できる。 ・IoTのシステム構成を理解できる。 ・各社のIoTの動向を理解できる。 ・IoTの技術的なポイントを理解できる。	
対象者	
IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。	
前提知識	
特に必要としません。	
内容	
1. IoTとは 2. IoTシステムと関連技術 3. IoT技術動向 4. 各社の動向	
備考	
このコースは、9:00～12:00の開催とさせていただきます。	

IOE002	IoT/AI/Lumada
 <eラーニング> IoT技術解説 セキュリティ編	
3日間	
IoTシステムでのセキュリティ適用に関するポイントを事例解説と通して学習します。	
到達目標	
・IoTでのセキュリティの重要性を説明できる。 ・IoTでのセキュリティの考え方を説明できる。 ・IoTシステムに即したセキュリティを提案できる。	
対象者	
IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。	
前提知識	
「IoT概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。	
内容	
1. IoTセキュリティの重要性 2. ITセキュリティとの異なり 3. IoTシステムでのセキュリティ適用事例 4. 業界ごとのセキュリティ技術（自動車・製造関連・医療関連など） 5. セキュリティ技術：ホワイトリスト、SSL/TLSなど 6. その他 （1）各種セキュリティガイドライン	
備考	
・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。	

IOE003	IoT/AI/Lumada
 <eラーニング> IoT技術解説 IoTネットワーク編	
3日間	
IoTネットワークの構築に必要な知識（電波特性・関連法令・ネットワークの種類）とともに、LPWAを使用したネットワークのシステム構成・セキュリティについて学習します。	
到達目標	
・IoT広域ネットワークで使用される技術について理解できる。 ・IoTエリアネットワークで使用される技術について理解できる。 ・IoTネットワークを構築するための関連知識について理解できる。	
対象者	
IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。	
前提知識	
「IoT概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。	
内容	
1. 無線関連の基礎知識 （1）電波特性 （2）関連法令 （3）その他 2. 広域ネットワーク技術 （1）LPWA LoRa、Sigfox、NB-IoT等 （2）その他 3. エリアネットワーク技術 （1）Wi-Fi （2）その他 ZigBeeなど 4. ネットワークセキュリティ技術概要	
備考	
・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。	

IOJ019	IoT/AI/Lumada
 IoT技術解説 5G編	
0.5日間	
IoTシステム構築・関連製品の企画・構築を行う方を対象に、高速・低遅延の無線ネットワークとして、各種IoTシステムやコネクテッドカーへの適用が進む5Gの構成と機能を学習します。	
到達目標	
5Gを使用したIoTシステムの構築について説明できる。	
対象者	
IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。	
前提知識	
「IoT概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。	
内容	
1. 5Gとは （1）5Gとは （2）4G（LTE）や既存LPWA（Sigfoxなど）との異なり （3）今後の適用 2. 5G詳細技術 （1）5G New Radio （2）Massive MIMO （3）その他関連技術 3. IoTへの適用 （1）自動車関連（コネクテッドカー・オートノマーカー） （2）医療関連 （3）その他 4. 関連事項 （1）3GPPや業界の動向 （2）各社の5Gサービス	
備考	
このコースは、9:30～12:00の開催とさせていただきます。	

IOJ020	IoT/AI/Lumada
 「IoTシステム技術検定（基礎検定）」 対策講座	
1日間	
IoTの提案・企画を今後行う営業・SEに対して、「IoTシステムのデモンストレーション」、「座学」、「模擬試験」を使用し、IoTに関する基礎知識（考え方・用語）を紹介します。なお、このコースはMCPC主催「IoTシステム技術検定 基礎検定」についての対策講座です。	
到達目標	
・MCPC主催「IoTシステム技術検定（基礎検定）」に合格できる技術力を修得する。 ・IoTシステムの概要、技術的なキーワードが理解できる。	
対象者	
SE・営業の若年層。これからIoTに携わる業務を行う営業・SEの方。	
前提知識	
特に必要としません。	
内容	
1. デモンストレーション（IoTデバイス・IoTサーバなど） 2. 技術ポイント解説 （1）IoTシステム構築 （2）センサ・アクチュエータ （3）IoTデータ活用（ビッグデータ・AI） （4）IoTセキュリティ （5）IoTシステムプロトタイプ 3. 模擬試験	
備考	
・このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。 ・テキストとして「IoT技術テキスト 基礎編【MCPC IoTシステム技術検定基礎対応】公式ガイド」を配布します（受講料に含まれます）。	

IOJ021	IoT/AI/Lumada
 「IoTシステム技術検定（中級）」 対策講座	
2日間	
IoT関連業務に携わっている方を対象に、模擬試験などを活用して、検定合格に必要な技術を効率的に修得していただきます。なお、このコースはMCPC主催「IoTシステム技術検定 中級検定」についての対策講座です。	
到達目標	
MCPC主催「IoTシステム技術検定（中級）」に合格できる技術力を修得できる。	
対象者	
IoTシステム構築に関連するSE/技術者の方。	
前提知識	
IoT関連業務（システム構築、製品開発など）に携わっている方。	
内容	
1. 試験の概要 2. IoTシステム構築と構築技術 （1）IoTシステムアーキテクチャ （2）IoTサービスプラットフォーム 3. センサ/アクチュエータと通信方式 （1）IoTデバイス （2）ネットワーク （3）プロトコル 4. AI分析とデータ活用 （1）ビッグデータ分析技術 （2）IoTデータ活用事例 5. セキュリティ対策とプライバシー保護 （1）セキュリティ対策 （2）情報セキュリティと法制度 6. IoTのプロトタイプ （1）プロトタイプ	
備考	
・このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。 ・テキストとして「IoT技術テキスト 第2版」を配布します（受講料に含まれます）。	

IOJ016	IoT/AI/Lumada
 体験！Node-REDによるIoTシステム入門 －Raspberry Piを使用した風車のリアルタイム監視から予兆診断まで－	
1日間	
ハードウェアデバイス/APIやオンラインサービスを接続するツールであるNode-REDを活用し、機器の監視から予兆診断、保守までを実行するIoTシステムの実装方法を学習します。IoTシステムのエッジとして使用されることが多いRaspberry Piを使用し、機器からセンサでデータ収集・処理を行います。風車のメンテナンスを事例に、顧客にとって有益なIoTシステムの設計、実装する演習を行い、実践力の強化を図ります。	
到達目標	
・IoTシステムにおけるデータ収集、加工、分析、可視化、予兆診断、保守などの処理の流れを説明できる。 ・Node-RED上で簡単なフローを作成できる。 ・Node-REDとRaspberry Piを連携させた、簡単なIoTシステムを設計、実装できる。	
対象者	
Node-REDを使用して、データ収集、加工、分析などの処理を行うIoTシステムを提案、設計、開発、実装する方。	
前提知識	
・Windowsの操作ができること。 ・Linuxの基本的な操作（ls、cd、moreコマンド）ができること。	
内容	
1. LumadaとNode-RED （1）Lumadaの概要 （2）LumadaにおけるNode-RED 2. 風車の予兆診断デモ （1）風車保守最適化ソリューション （2）風車の予兆診断デモ 3. Node-REDの処理フローとノード （1）Node-REDの概要 （2）処理フロー作成 （3）ノードの紹介と主なフロー処理 4. Raspberry PiとNode-RED （1）Raspberry Pi、Sense HATとNode-RED （2）MQTTによるセンサデータ収集 （3）データレイクとしてのElasticsearchの利用 5. 風車の予兆診断デモアプリケーション （1）風車の予兆診断デモアプリケーションの概要 （2）風車の予兆診断デモアプリケーションの詳細	
備考	
・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。	

IOJ018	IoT/AI/Lumada
 IoTにおけるイベント駆動型システム開発入門 －Hitachi Application Framework/Event Driven Computing (HAF/EDC)による故障予知診断を例にして－	
0.5日間	
分散処理に対応したイベント駆動型システムで何ができるのかを理解し、IoTの大量データを高速で柔軟に分析するための開発や運用の概要を学習します。Hitachi Application Framework/Event Driven Computing (HAF/EDC)の活用により、いかに効率よくイベント駆動型システムが開発できるかを学習します。※HAF/EDCは、Hitachi Application Framework/Event Driven Computingの略称です。	
到達目標	
・分散処理に対応したイベント駆動型システムの概要や効果を説明できる。 ・HAF/EDCを用いたシステム開発の概要を説明できる。	
対象者	
イベント駆動型システムの開発に携わる方。システム開発に関する基礎知識があること。	
前提知識	
システム開発に関する基礎知識があること。	
内容	
1. イベント駆動型システムとは （1）イベント駆動型システムが求められる背景 （2）イベント駆動型システムの特徴 2. HAF/EDCを用いたシステムの一例（産業機器の故障予知診断のデモ） 3. 核となるHAF/EDCエンジン （1）HAF/EDCの全体像 （2）分散処理基盤の概要 （3）イベント処理制御機能の概要 （4）IoT共通フレームワーク基盤の概要 （5）HAF/EDCのまとめ 4. HAF/EDCの開発・運用支援環境 （1）高い生産性を実現する開発フレームワーク （2）設計・実装支援ツールの紹介とデモ （3）開発支援OSS群の活用	
備考	
このコースは、13:00～16:30の開催とさせていただきます。	

SPJ060	IoT/AI/Lumada
 体験！最新OSSを活用したDevOps入門 －Lumadaにおけるアプリケーション開発の流れ－	
1日間	
OSS (Redmine、Rocket.Chat、Git、Jenkins、Docker、Hubot) を活用したDevOps環境において、頻繁に設計、開発、テストを行うアプリケーション開発手法を体験しながら学習します。DevOps環境の体験は、Lumada Competency Centerを使います。	
到達目標	
・DevOpsの概要を説明できる。 ・DevOps環境で基本的なアプリケーションの開発の流れを説明できる。	
対象者	
DevOpsによるアプリケーション開発を行う予定の方。システム開発に関する基礎知識があること。	
前提知識	
1. 概要 （1）デジタルリニューションとシステム開発における課題 （2）DevOpsとは （3）最新OSSを活用したDevOps環境の概要 2. DevOps環境でのアプリケーション開発デモ （1）デモ環境（研修環境）の概要 （2）アプリケーション開発の流れ （3）アプリケーション開発デモ 3. DevOps環境のツールの機能と操作 （1）プロジェクト管理（Redmine） （2）コミュニケーション（Rocket.Chat） （3）ソースコード管理・ソースコードレビュー（Git/GitHub） （4）継続的インテグレーション（Jenkins） （5）ChatOps（Hubot） 4. サンプルによるDevOps体験 （1）DevOps環境での開発フロー （2）演習（プロジェクト管理） （3）演習（開発） （4）演習（リリース）	
備考	
このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。	

SPJ059	IoT/AI/Lumada
 （PDU） 実践！DevOpsによるアジャイル開発 －お客様に素早く価値を届けるために－	
1日間	
Redmineを用いたバグログを管理し、GitHubを使ってBDD（振る舞い駆動開発）などのアジャイル開発手法を実践的に学習します。実際の開発のシナリオに合わせて実習を行います。Lumada Competency Center上のPoC環境による開発を想定しています。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：6.5ポイント）の取得が可能です。	
到達目標	
DevOps環境を用いた開発の流れを実行できる。DevOpsによるアプリケーション開発を行う予定の方。	
対象者	
「体験！最新OSSを活用したDevOps入門－Lumadaにおけるアプリケーション開発の流れ－」コースを修了しているか、または同等の知識があること。	
前提知識	
1. 概要 （1）はじめに （2）アジャイル開発における考え方 （3）開発プロセス全体像 （4）取り組み事例紹介 2. プロジェクト管理 （1）プロジェクト方針 （2）要件管理（バグログ管理） （3）開発計画立案（工数見積り、スプリント定義、タスク分割） （4）進捗管理（カンバンによる進捗管理） （5）振り返り 3. 開発 （1）プルリクエスト駆動開発 （2）GitHub Flowとブランチ戦略 （3）振る舞い駆動開発（BDD） （4）継続的インテグレーション（CI） （5）各種自動化（ビルド・テスト・デプロイ） （6）ペアプログラミング 4. 改善 （1）開発作業の改善 （2）製品・サービスの改善 （3）ログ分析 （4）事例紹介	
備考	
・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute、Inc.）の登録商標です。	

 マシン実習 マシンを使用しながらの研修	 グループ演習 グループ演習を中心とした研修	 レクチャ 座学による研修	 演習環境 職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習	 eラーニング インターネット接続による自己学習	 自習テキスト 自習書による自己学習
--	--	---	---	--	--

休講 今期の定期開催はありません

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル



DBJ110	IoT/AI/Lumada
1日間	0.5日間
NVIDIA Deep Learning Institute (DLI) 認定コース 1日できるディープラーニング—画像認識入門—	
ディープラーニングの概要、ニューラルネットワークの基礎、画像認識によく使われる畳み込みニューラルネットワークを学習します。さらに、ハンズオンでは、NVIDIA DLI のGPUディープラーニング学習システム「DIGITS」を使った実環境での画像認識を体験します。ディープラーニングの基礎から精度向上のテクニックまでを紹介します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ディープラーニングによるモデル構築の一連の流れを具体的に説明できる。 CaffeとNVIDIA DIGITSを利用した画像認識の学習プロセスの概略を説明できる。
対象者	人工知能のブーム到来を受けて興味はあるが、ディープラーニングの適用イメージ、構築イメージが分からないITエンジニア(若手・中堅)の方。これからデータ活用案件において、ディープラーニング利用を要望されており、初歩・中級レベルで理解したい、使えるようにしたい方。
前提知識	特に必要としません。
内容	<ol style="list-style-type: none"> ディープラーニング概論 <ol style="list-style-type: none"> ディープラーニングとは ディープラーニングによる恩恵 ディープラーニングの適用領域 ニューラルネットワーク <ol style="list-style-type: none"> ニューラルネットワークとは ディープラーニングにおける学習プロセス 学習プロセスでのさまざまなテクニック 畳み込みニューラルネットワーク <ol style="list-style-type: none"> 畳み込みニューラルネットワークとは 畳み込み層 プーリング層 ディープラーニング学習システム <ol style="list-style-type: none"> DIGITS Caffe ハンズオン <ol style="list-style-type: none"> DIGITSによる画像分類
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 【事前準備のお願い】 研修開始までに、NVIDIAアカウントの作成が必要です。事前にアカウントを作成した上で、ご受講ください。 [1] http://courses.nvidia.com/joinへアクセス [2] [Create an account]をクリック [3] 右下、言語をEnglish [US] から日本語へ、「アカウントをお持ちでないですか?」の右、「アカウントを作成する」をクリック [4] 必要事項を入力し、「アカウントを作成する」をクリック [5] プライバシー設定承認画面にて「許可する」をクリック [6] 確認メールが届きます。メールを確認します。 [7] 電子メールアドレスの確認をクリック [8] 姓名、組織名、場所、職種、興味分野を入力(英語) [9] [Submit]をクリック [10] [Public Username]を任意の名前で入力 [11] [Create Account]をクリックで完了
※株式会社日立アカデミーは、NVIDIA社の Deep Learning Institute (DLI)トレーニングパートナーです。	

IOJ011	IoT/AI/Lumada
0.5日間	0.5日間
スマートスピーカの最新動向と社会インフラ適用の可能性	
スマートスピーカを用いたビジネスのモデルからその実装までを概観するコースです。技術革新の激しい分野のため、業界に精通する外部講師に登壇いただき最新動向を解説します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> スマートスピーカの機能が理解できる。 スマートスピーカの業界動向や個人や社会に与える影響が理解できる。 スマートスピーカ関連のビジネスモデルや商機が理解できる。 スマートスピーカ関連サービス/アプリ開発の雰囲気理解ができる(実機体験)。
対象者	スマートスピーカに関する最新動向を把握したいSE、営業職の方。
前提知識	特に必要としません。
内容	<ol style="list-style-type: none"> スマートスピーカの最新動向 <ol style="list-style-type: none"> 市場動向 基本機能と主な利用シーン 基本構造と低価格実現の背景 プラットフォーム各社の動向とねらい <ol style="list-style-type: none"> Amazon Alexa : EC注文増 Google Assistant : 新しい検索手段 LINE Clova : 新しいコミュニケーションスタイルの提案 スマートスピーカ周辺ビジネス <ol style="list-style-type: none"> SKILL開発、SKILLストア プラットフォームを利用したハードウェア開発 SKILL開発の全体像 <ol style="list-style-type: none"> チャットボットからの発展 従来アプリとの違い、SKILLに向いている機能 対話AIをはじめとする関連要素技術 Dialog flowでのSKILL開発 起動、終了コマンドの重要性 ボイスコンピューティングにおけるマネタイズの可能性 <ol style="list-style-type: none"> SKILLストア 広告 家庭以外での活用 スマホユーザー以外へのリーチ
備考	このコースは、9:30～12:00の開催とさせていただきます。
<持参品> ・LINEアカウントを作成して、研修当日にログイン情報をご持参ください。演習で使用します。お持ちの個人IDで問題ございません。 ・PCでログインできるようにするため、LINEアカウントにメールアドレス登録をお願いします。 https://help.line.me/line/?contentId=20000059 ・Clova Developer Centerへログインできることをご確認ください。 https://clova-developers.line.me/#/	

<持参品>

・LINEアカウントを作成して、研修当日にログイン情報をご持参ください。演習で使用します。お持ちの個人IDで問題ございません。
 ・PCでログインできるようにするため、LINEアカウントにメールアドレス登録をお願いします。
<https://help.line.me/line/?contentId=20000059>
 ・Clova Developer Centerへログインできることをご確認ください。
<https://clova-developers.line.me/#/>

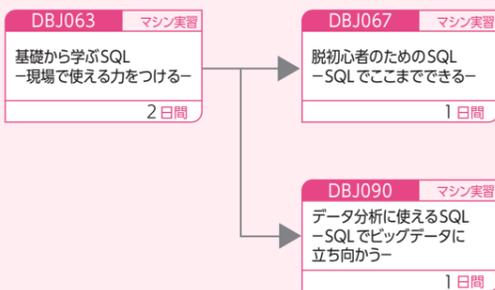
ビッグデータ

ビッグデータの概要と、関連する要素技術や活用手法の概要が修得できます。

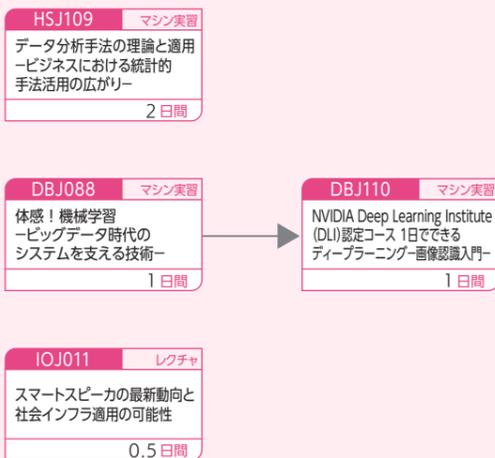
● ビッグデータとは何か?や既存技術との違いを理解し、関連するIT技術/分析技術の概要を修得したい方

DBJ081	レクチャ
ビッグデータ概説	
初心者におすすめ	
0.5日間	
または	
音声有:説明文なし	
DBE701	
eラーニング	
【ナビ機能付き】	
ビッグデータ概説	
8時間	

● ビッグデータの分析に役立つSQLを修得したい方



● AIを活用したビジネスに携わる方



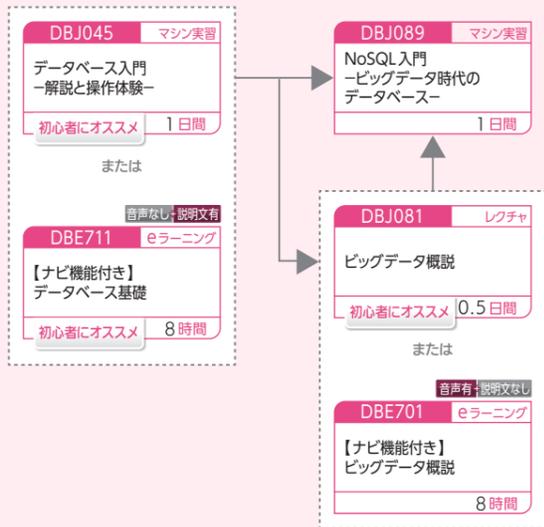
音声有:説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有:説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

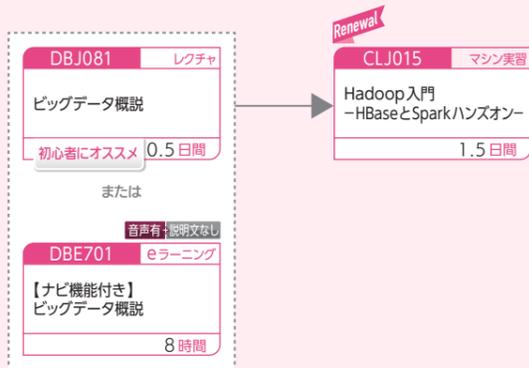
音声なし:説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

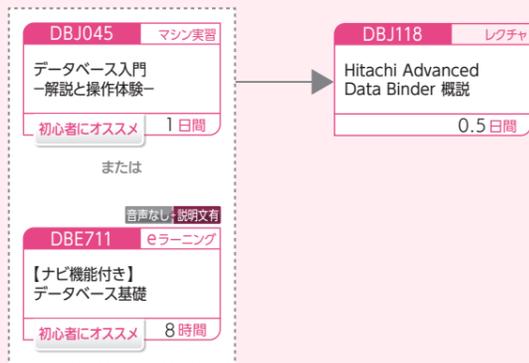
● NoSQLを使用したシステムを設計・開発する方



● Hadoopを使用したシステムを設計・開発する方



● Hitachi Advanced Data Binderを使用したシステムを設計・開発する方



音声有+説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

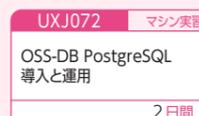
音声なし+説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● Oracle Exadataを使用してデータベースを管理する方



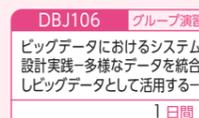
● OSS-DBを活用する技術を修得したい方



● データウェアハウスの概要や設計技術を修得したい方



● データ活用に向けシステムを設計する力を修得したい方



日立製品

JP1

uCosminexus Application Server

HIRDB

OpenTP1

VOS3/VOS1/VOSK

XDM/PDMII

Hitachi Advanced Data Binder

日立ストレージ

Pentaho

デジタルトランスフォーメーション

IT 利活用

イノベーション

IoT/AI/Lumada

ビッグデータ

データ分析

サイバーセキュリティ

RPA

クラウド/サーバ仮想化

IT サービス マネジメント

システム基盤

IT 基本

オープンソースソフトウェア(OSS)

Linux

Microsoft

ネットワーク

ハードウェア

セキュリティ

データベース

IT 戦略・IS 企画

システム開発

要件定義/設計

モデリング

プログラミング

情報処理技術者試験対策

ITリテラシ

プロジェクト マネジメント

コンプライアンス

ビジネス/ヒューマン

グローバル

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス / ヒューマン
グローバル

DBJ081 ビッグデータ
ビッグデータ概説 0.5日間
ビッグデータでできることや活用事例を通して、さまざまな関連技術や活用手法の基礎を半日で学習します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ビッグデータの概要を説明できる。 ビッグデータの関連技術とその必要性を説明できる。 ビッグデータの活用方法を説明できる。
対象者 ビッグデータの概要を修得したい方、ビッグデータ関連事業に従事する方。
前提知識 特に必要としません。
内容 <ol style="list-style-type: none"> ビッグデータ概要 <ol style="list-style-type: none"> ビッグデータで何ができるのか ビッグデータとは なぜ、ビッグデータが注目されているのか ビッグデータ関連技術 <ol style="list-style-type: none"> 並列・分散処理 NoSQL ストリームデータ処理 超高速データベースエンジン データの活用～データ分析～ <ol style="list-style-type: none"> データマイニング 機械学習 ビッグデータに求められる人材 <ol style="list-style-type: none"> ビッグデータに求められるスキル 企業における取り組み
備考 <ul style="list-style-type: none"> このコースは、13:00～17:00の開催とさせていただきます。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

DBE701 ビッグデータ
<eラーニング>【ナビ機能付き】ビッグデータ概説 8時間
ビッグデータでできることや活用事例を通して、さまざまな関連技術や活用手法の基礎を学習します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ビッグデータの概要を説明できる。 ビッグデータの関連技術とその必要性を説明できる。 ビッグデータの活用方法を説明できる。
対象者 ビッグデータの概要を修得したい方、ビッグデータ関連事業に従事する方。
前提知識 特に必要としません。
内容 <ol style="list-style-type: none"> ビッグデータ概要 <ol style="list-style-type: none"> ビッグデータで何ができるのか ビッグデータとは なぜ、ビッグデータが注目されているのか ビッグデータ関連技術 <ol style="list-style-type: none"> 並列・分散処理 NoSQL ストリームデータ処理 超高速データベースエンジン データの活用～データ分析～ <ol style="list-style-type: none"> データマイニング 機械学習 ビッグデータに求められる人材 <ol style="list-style-type: none"> ビッグデータに求められるスキル 企業における取り組み 修了試験
備考 <ul style="list-style-type: none"> 学習終了日は3月31日になります。 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBJ089 ビッグデータ
NoSQL入門 —ビッグデータ時代のデータベース— 1日間
NoSQLの基礎知識を、マシン実習を通して学習します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> NoSQLのデータモデルを説明できる。 さまざまなNoSQL製品の特長を説明できる。
対象者 これからNoSQLを使用したシステム構築を行う開発者や管理者の方。
前提知識 「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 <ol style="list-style-type: none"> NoSQLの概要 データモデル データ分散 NoSQL製品の紹介
備考 <ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

DBJ106 ビッグデータ
ビッグデータにおけるシステム設計実践 —多様なデータを統合し ビッグデータとして活用する— 1日間
設備保守支援システム、業務最適化支援システムからテーマを選択し、それを実現するためのシステムの初期設計を行います。どこにどのような装置やソフトウェアを配置し、それらをどのようにつなげるか検討し、議論することでデータ活用システムの設計力を身につけます。
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> システムを構成するうえで必要となる要素技術の全体像を説明できる。 ビッグデータシステムにおいて顧客要件から必要な技術を選択しシステムを設計できる。 設計したシステムの意図を他者に説明できる。
対象者 <ul style="list-style-type: none"> ITエンジニア職、若手・中堅の方。 基幹DBや他のデータを、分析用に加工および統合するシステムを設計する方。 分析に適したデータ設計をする方。
前提知識 データベース、仮想環境、ビッグデータに関する基礎知識があること。
内容 <ol style="list-style-type: none"> オリエンテーション 利用する技術要素の概要 グループワーク 発表
備考 <ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしく申し上げます。

CLJ015 ビッグデータ
Hadoop入門 —HBaseとSparkハンズオン— Renewal 1.5日間
Hadoop/YARNの概要、HBaseの概要、Sparkの概要、それぞれ構築作業の実際についてハンズオンにて学習します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> Hadoop/MapReduceの概要と基本的な機能を理解できる。 カラム指向DB(HBase)の基本と機能を理解できる。 Sparkの基本と機能を理解できる。 Linux上でHadoopとSparkを実装できる。
対象者 クラウドやビッグデータ技術に興味があるSE・運用管理者の方。
前提知識 「Linuxシステム管理 前編」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 <ol style="list-style-type: none"> Hadoopの概要 ネットワーク構成(演習) Hadoopの構成(演習) HBaseの構成演習 Spark on YARN構成演習
備考 このコースは、初日は9:30～17:00、2日目は9:30～12:00の開催とさせていただきます。

DBE706 ビッグデータ
<eラーニング>【ナビ機能付き】データウェアハウス概説 6時間
データウェアハウスの概念やデータウェアハウスの設計・構築方法および利用方法の基礎を学習します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> データウェアハウスの概念を理解し説明できる。 データウェアハウスの利用方法について理解し説明できる。 データウェアハウスに適する設計方法を理解し説明できる。
対象者 DSSシステムの管理者として、基本的な知識を必要とする方。
前提知識 「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 <ol style="list-style-type: none"> データウェアハウス登場の背景 意思決定支援システムにおけるデータウェアハウス データウェアハウスとは OLAPとデータマイニング 修了試験
備考 <ul style="list-style-type: none"> 学習終了日は3月31日になります。 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE705 ビッグデータ
<eラーニング>【ナビ機能付き】データウェアハウスにおけるデータモデリング解説 6時間
基幹系データベース設計との相違点をふまえながら、データウェアハウスの設計手順について学習します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> トランザクションのACID特性について理解し説明できる。 さまざまなOLTPシステム構成について理解し説明できる。 DTPモデルの各種ソフトウェアの役割とAPIについて理解し説明できる。
対象者 データウェアハウスの設計・構築を行うための知識を必要とする方。
前提知識 【【ナビ機能付き】データウェアハウス概説】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 <ol style="list-style-type: none"> データウェアハウス概要 基幹系データベース設計との相違点 データウェアハウスの概念設計 修了試験
備考 <ul style="list-style-type: none"> 学習終了日は3月31日になります。 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修	グループ演習 グループ演習を中心とした研修	レクチャ 座学による研修	演習環境 職場・自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習	eラーニング インターネット接続による自己学習	自習テキスト 自習書による自己学習
------------------------	--------------------------	-----------------	----------------------------------	----------------------------	----------------------

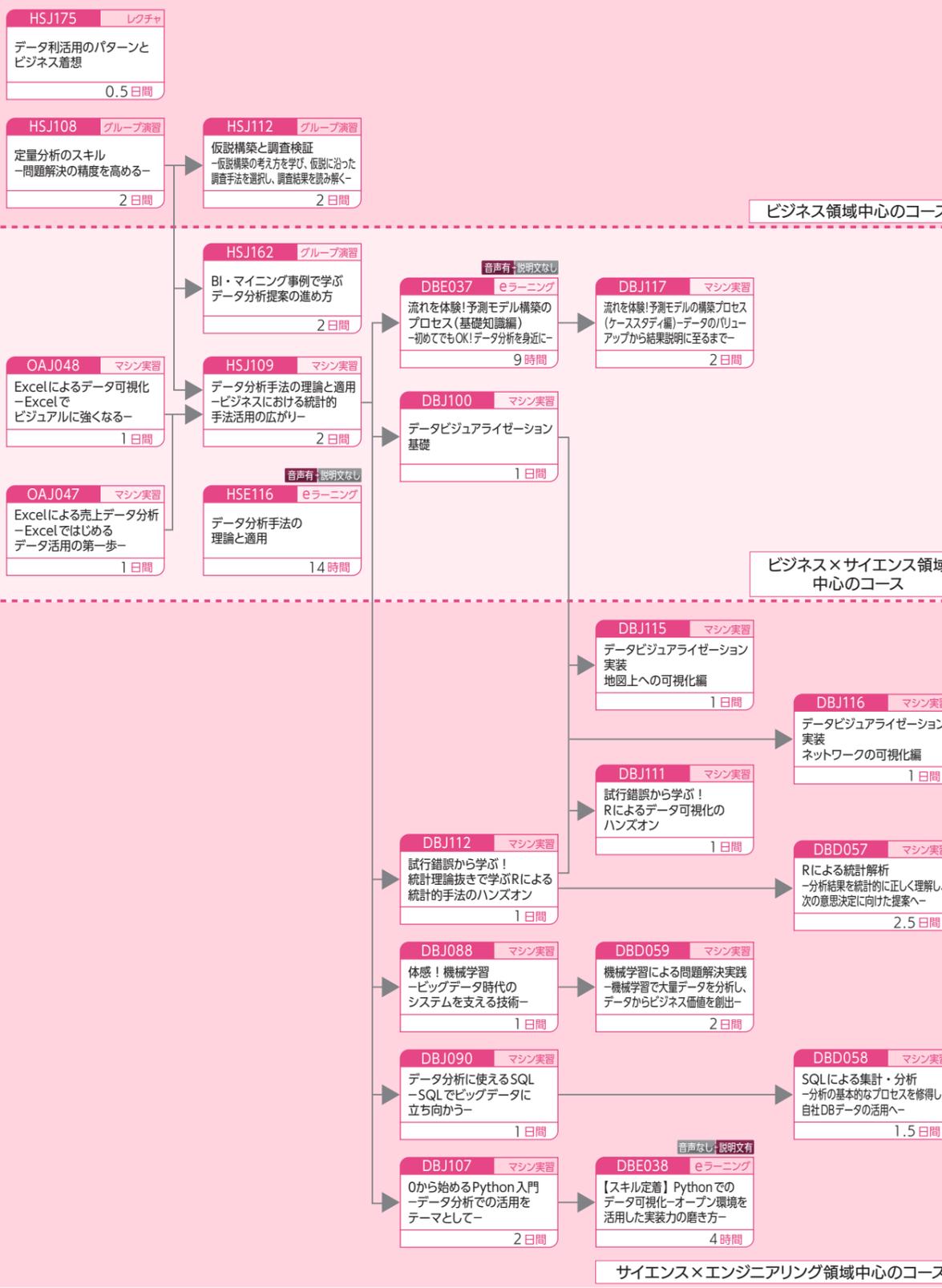
休講	休講 今期の定期開催はありません
-----------	----------------------------

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス / ヒューマン
グローバル

データ分析

データ可視化、統計的機械学習手法の計画の立て方、手法、考察の仕方が修得できます。

● 定量的な分析能力を高めたい方



HSJ108 データ分析

グループ演習

定量分析のスキル -問題解決の精度を高める-

2日間

データ分析には一般的な分析の流れがあり、ビッグデータのような大量のデータを分析する時にこそ、その流れを意識する必要があります。このコースは、ビジネスにおける問題発見と解決の具体的な流れに従い、お客様の課題を捉え、具体的に提案・解決する能力を高めることを目的としています。

問題発見と解決とは、課題の構造化と仮説立案、分析結果(グラフ・チャート)をイメージしたデータ収集、多面的な評価軸で比較・分析することであり、これらも含めて、問題発見と解決のステップ全体を具体的に学習します。問題発見と解決の概念やスキルに関する講義だけではなく、サプライチェーンの実事例をもとに「どの地域を重点におくべきか、売り逃しはどこか、どこまで改善できるか」といったことを考えるケース演習と、ミニ演習を組み合わせており、大変実践的なものとなっています。ケース演習やミニ演習での失敗、気づき、成功体験を通して、大量のデータに自身が惑わされず何を読み取るか、またデータの意味をどう考え、扱うかということについて学習します。

到達目標

- 問題発見、解決のプロセスを理解し問題を定量的に捉えることができる。
- お客様のビジネス上の課題を構造的に捉え企画、提言ができる。

対象者

論理的思考を活用しながらビジネスにおける課題を数値的に捉えたい方、大量のデータを読み解き企画・提案につなげたい方、現状の業務課題を数値的に捉え解決したい方。

前置知識

「ロジカルシンキング基礎-論理的可視化と論理チェックのポイント-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- はじめに(ケース学習の概要と経験学習のご説明)
- 目的の明確化と意味合いの抽出の重要性
- 仮説立案の重要性と合理的決定の方法
- 仮説立案、解析準備、解析・検証のサイクル
- そして実務へ-実務での適用に向けた分析計画-
- 2日間の振り返り

備考

- このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- データ操作などの作業効率向上をめざす方は、「データ分析手法の理論と適用-ビジネスにおける統計的手法活用の広がり-」コースのご受講を推奨します。
- 定量分析の実事例をもとに開発したケースを使用しています。
- ケース演習、ミニ演習はすべてグループ演習となっております。問題解決や定量分析の視点を広げながら学習します。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

OAJ048 データ分析

マシン実習

Excelによるデータ可視化 -Excelでビジュアルに強くなる-

1日間

データを活用するための第一歩はデータの可視化です。Excelを使用して、データを図やグラフに可視化する手順をマシン操作を通して学習します。業務で発生したデータの持つ意味や役割を自ら解釈し、他者が見てもわかりやすく見やすいグラフを作る手法を紹介します。

到達目標

- Excelを用いた基本的なデータ可視化ができる。
- 業務で発生したデータに対し、Excelによる可視化手法を用いて意味づけができる。

対象者

- 業務データを解釈してその意味を見出し、他者が見てわかりやすい図やグラフに可視化するスキルを修得したい方。
- 業務データはExcelにまとめたが、その活用方法を模索している方。

前置知識

特に必要としません。

内容

- グラフ作成に必要な知識
 - ビジネスの用途にあったグラフを選択する
- グラフ作成の基本
 - グラフの基本的な作り方
 - グラフの種類
- 応用グラフを作る
 - 複合グラフ
 - 絵グラフ
- グラフィカルなグラフを作る
 - 魅力あるグラフ

備考

- このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

OAJ047 データ分析

マシン実習

Excelによる売上データ分析 -Excelではじめるデータ活用の第一歩-

1日間

業務で利用するデータをどのように分析するか、一連の分析プロセスを理解しながら、Excelの分析機能を活用してその手順を、マシン操作を通して学習します。考察に活用できる法則や、データの意味づけ、データ間のみならずを整理する分析手法を紹介いたします。

到達目標

売上データに対する基本的なデータ分析ができる。

対象者

- 売上データに対し、データ分析する基礎的なスキルを修得したい方。
- 売上データは手元にあるが、その活用方法を模索している方。

前置知識

特に必要としません。

内容

- 売上データ分析の基本
 - 既存の売上データから法則性を見出す
 - 売上データのまとめ方
- 売上データを分析する
 - さまざまな法則性
 - 自社において必要な法則性とは
- 売上予測の立て方の基本
 - 売上予測の本来の目的とは
 - 売上予測の仕方
 - さまざまな関数
- 相関分析を使って売上予測をする
 - 相関分析とは
- 重回帰分析を使って売上予測をする
 - 重回帰分析とは
 - 重回帰分析で注目すべき数字

備考

- このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

HSJ112 データ分析

グループ演習

仮説構築と調査検証 -仮説構築の考え方を学び、仮説に沿った調査手法を選択し、調査結果を読み解く-

2日間

ビッグデータの分析であっても、分析結果から意味を解き、活用するのは人間です。このコースでは、問題解決における仮説構築と調査検証を具体的に遂行する思考力を高めることを目的としています。仮説構築とは、すでに分かっている事実から、帰納・演繹の思考体系を用い、仮説を構造的に展開する思考力です。また、調査検証とは、仮説を検証するためのデータ収集、仮説と収集したデータから分析手法を選択すること、適用結果と仮説の対比・解釈から成ります。これらを実践演習を通して学習します。

到達目標

- 得られている事実から仮説を構造化できる。
- 仮説構築と調査検証を繰り返し深い洞察ができる。
- 検証のための各調査手法を理解し目的にあわせて実行できる。

対象者

仮説構築の考え方を身につけビジネスデータの利用につなげたい方、調査手法を知り漠然とした問題を解決したい方。

前置知識

「ロジカルシンキング基礎-論理的可視化と論理チェックのポイント-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- 初期仮説構築のための思考と二次情報収集
 - 仮説構築のための情報収集前の思考
 - 情報収集結果から仮説構築する思考
 - 仮説を検証するための検証計画を立てる際の思考
 - 二次調査のソース(官公庁資料/市販出版物/IR資料/ソーシャルメディア/社内情報)
- 初期仮説の立案とヒアリング調査による検証
 - ヒアリング設計の考え方
 - ヒアリング技法(U&A調査/ラダリング法/コンセプトテスト)
- 解決策仮説の立案とアンケート調査による検証
 - 仮説・調査票・アンケート結果の可視化・考察の関連付け(購買行動分析/ブランドイメージ調査/コレスポンデンス分析/PSM分析/クラスター分析/重回帰分析/コンジョイント分析)

備考

- このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSJ162 データ分析

グループ演習

BI・マイニング事例で学ぶデータ分析提案の進め方

2日間

データ活用提案をする際には、顧客要望や顧客の持つデータの特性に応じて、分析のストーリーを提示できる必要があります。このコースでは、どのような点に注意して提案活動を進めていくのかを実例の紹介・BIツール(QlikSense)やテキストマイニングツール(CoreExplorer)を用いた演習を交えて学習します。

到達目標

- BIツールやテキストマイニングツールでできることが理解できる。
- BIツールを含めた分析提案のパターンを理解できる。
- BIツールを含めた分析提案の各パターンの注意点を理解できる。
- データを前にして、ステークホルダーに提示する可視化(図表)が複数パターンイメージできる。

対象者

- データ分析の企画・提案をする/される立場の方。
- BIツールやテキストマイニングツールを活用した分析提案を検討および実行している方。
- BIツールやテキストマイニングツールの社内導入を検討および実行している方。

前置知識

提案書作成に関する基礎知識があり、かつ一般的な分析手法の知識があること。

内容

- はじめに
 - データ分析ツールの分類と各ツールの特徴
 - データ分析提案の進め方と各フェーズでの注意点
- BIツールを中心とした分析提案の進め方
 - 分析提案のプロセス
 - 要件ヒアリング/PoC(Proof of Concept:概念検証)/提案ベックの確定/見積の作成
 - 分析事例に見る気をつけるポイント
 - 特定APPへの集客・分析機能追加事例
 - 既存BI環境のリプレイス事例
 - SaaS型サービスへの機能付加事例
 - UPへの分析機能追加事例
- データ・テキストマイニング提案の進め方
 - 分析におけるソリューション提案のプロセス
 - 要件ヒアリング/PoC/業務プロセスへの導入(システム化)提案
 - 分析事例に見る気をつけるポイント
 - 知財データのテキストマイニング事例
 - 故障報告書データのテキストマイニング事例
 - 小売でのVOC(Voice of customer:顧客の声)分析事例
 - ログデータ分析による故障予測事例

備考

- このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- ツールにはBIツール(QlikSense)、テキストマイニングツール(CoreExplorer)を用います。
- 演習内容、ご紹介する事例は、予告なく変更する場合があります。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSJ109 データ分析

マシン実習

データ分析手法の理論と適用 -ビジネスにおける統計的手法活用の広がり-

2日間

このコースでは、ビッグデータの分析やデータマイニングの根拠にある、データ分析の理論や作業スキルを学習します。また、理論や作業スキルにとどまらず、各分析手法をビジネスデータに適用する際の考え方もあわせて学習します。例えば、分析手法適用の際のインプットデータは、目的や仮説に基づいて抽出する必要があります。また、アウトプットの図表からは、「だから何が言えるのか」という、提言につながる考察を抽出する必要があります。このような、データを入力してからレポート作成するまでの一連の思考過程と作業を、Excelを利用した演習を通して学習します。

到達目標

- 分析の目的と仮説を分析手法適用のインプットに反映できる。
- 分析結果から意味を抽出し、提案や企画に活かすことができる。
- 統計における各種数式の意味が理解できる。
- Excelを用いて効率よく分析ができる。

対象者

データ分析におけるExcel活用を学びたい方、Excel操作にとどまらずデータ分析における考え方のポイントを知りたい方。

前置知識

「ロジカルシンキング基礎-論理的可視化と論理チェックのポイント-」コースを修了しているか、または同等の知識があり、かつExcelの基本的な操作経験があること。

内容

- データ分析手法の分類
 - 目的によるデータ分析手法の分類
 - データの種類によるデータ分析手法の分類
- データ分析手法
 - 分析のアウトプットの意味を考える
 - 分析のインプットデータをどうすべき考える(ヒストグラム/基本統計量/時系列分析/パレート分析/重回帰分析/散布図/重回帰分析/数量化I類/主成分分析/判別分析/クラスター分析)
- 確率と検定
 - 区間推定
 - 検定(t検定/独立性の検定/分散分析)
 - シミュレーションへの確率分布の適用
- そして実務へ
 - 分析計画の策定

備考

- このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- このコースは、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

日立製品
<p>JP1</p> uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

DBJ100	データ分析
	<eラーニング>データ分析手法の理論と適用
14時間	
データ分析の理論や作業スキルに加え、各分析手法を適用する際の考え方も学習します。データを手に入れてからレポートとするまでの一連の頭と手の動かし方を学習します。	
到達目標	・分析の目的と仮説を分析手法適用のインプットに反映できる。 ・分析結果から意味を抽出し、提案や企画に活かすことができる。 ・統計における各種数式の意味が理解できる。 ・Excelを用いて効率よく分析ができる。
対象者	・データ分析におけるExcel活用を学びたい方。 ・Excel操作に留まらず、データ分析の考え方のポイントを知りたい方。 ・「データ分析手法の理論と適用」コースをじっくり再学習したい、集合コースを受け取る前に基礎知識を身につけておきたい方。 ・レベル自分のペースで学習したい方。
前置知識	Excelの基本的な操作経験をお持ちのこと。かつ、「ロジカルシンキング基礎ー論理的可視化と論理チェックのポイント」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. はじめに (1) データ分析とは何か? (2) どのような手順で分析計画を考えるのか? (3) どのように振り下げて分析するのか? 2. データ分析手法の種類 (1) データを分類すると? (2) 分析手法をデータの種類の分類すると? (3) 分析手法を目的で分類すると? (4) 問題解決のプロセスで分類すると? 3. QC手法の適用 (1) ヒストグラムと基本統計量 (2) 管理図の活用 (時系列図) (3) パレート分析 (4) 散布図と単回帰分析 (5) クロス集計とアソシエーション分析 4. 多変量解析の適用 (1) 重回帰分析 (2) 数量化理論1類 (3) 判別分析 (4) ロジスティック回帰分析 (5) 決定木分析 (分類木) (6) クラスタ分析 (k-means法) (7) 主成分分析 5. 確率と検定の適用 (1) 確率分布と検定手法の種類 (2) 区間推定 (3) t検定 (平均値の差の検定) (4) χ2検定 (独立性の検定) (5) F検定 (等分散性の検定) 6. そして実務へ
備考	・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、集合研修「データ分析手法の理論と適用ービジネスにおける統計的手法活用の広がり」コース (HSJ109) と同等の内容です。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法を確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBJ117	データ分析
	流れを体験！予測モデルの構築プロセス (ケーススタディ編)ーデータのバリュウアップから結果説明に至るまでー
2日間	
「流れを体験！予測モデルの構築プロセス (基礎知識編)」で学んだ手法を駆使してモデル構築のケーススタディを行います。ケーススタディは2種類あり、データ分析の結果を大きく左右する「データ磨き (バリュウアップ)」の要所を二段階で修得します。さらに、データ分析専門家から経験豊富な専門家を招いた講演を盛り込んでいます。業界動向をはじめ現場のリアルなやり取りなど実践に役立つ情報を提供します。	
到達目標	・予測モデル構築の一連の流れが具体的に分かる。特に、以下の点について具体的な考え方・やり方が身につく。 ・データの背景にある顧客業務を理解するためのコミュニケーション ・預かった生データを分析用のデータセットとして磨き上げる ・最適なモデルを決めるための複数の手法でのパフォーマンス比較
対象者	・データ分析案件において、分析作業を担当する、したい方。 ・データ分析提案をするにあたり、実際のモデル構築がどんな作業になるかを知っておく必要がある方。 ・モデリングの検討手順が分らず、データ分析の学習に迷われている方。 ・モデルの手法を体系的に学びたい方。
前置知識	「流れを体験！予測モデル構築のプロセス (基礎知識編)」ー初めてでもOK！データ分析を身近にー「eラーニング」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. はじめに (1) オリエンテーション (2) 基礎知識編 (eラーニング) の学習内容のおさらい 2. ケース演習 (1) データから顧客の業務や運用を推測して質問に纏める (2) データ汚れの有無をデータ検査ノードや各種グラフを使って確認する (3) 複数の手法でモデリング (4) 精度評価とチューニング (5) レポート化 ・ケースターマ例1:製造メーカーにおける種別判別を99%を超える精度で判別するモデルの構築 ・ケースターマ例2:品質検査におけるばらつきの原因推定モデルの構築 ※ケースターマは最新のテーマへと随時変更していくため、予告なく変更いたします 3. データ分析専門家による事例紹介講演 4. おわりに
備考	このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。

DBJ115	データ分析
	データビジュアライゼーション実装 地図上への可視化編
1日間	
地図の可視化のうち、位置情報に紐づくテーマを扱うデータの可視化 (主題図とよばれる地図) について、「考え方」の基礎と、作り方の手順を学びます。 ※実装を主とした内容ですが、データ整形とアプリ操作が主のため、プログラミングスキル向上のためのコースとさせていただきます。	
到達目標	・地図の可視化手法の全体像を理解する。 ・オープンソースのアプリケーションを使用して、データを適切に加工し、可視化することができるようになる。
対象者	・位置情報に紐づくデータを活用したい方。 ・可視化した図をプレゼンテーション資料に活かしたい方。 ・地図の可視化手法の全体像を理解し、適切な手段が何か判断できるようになりたい方。
前置知識	データを加工するため、テキストエディタやExcelなどの表計算アプリの利用経験があることが望ましい。 ※実装を主とした内容ですが、データ整形とアプリ操作が主のため、プログラミングスキルはなくともご受講いただけます。
内容	1. 地図可視化の概要 (1) 地図にまつわる基礎知識 2. 地図可視化の種類 (1) 地図の可視化の分類法と実例 (2) 階級分類と色の考え方 3. オープンソースを利用した可視化実習 (1) 必要なデータの加工方法 (2) いくつかの地図の作成方法
備考	このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。

DBJ116	データ分析
	データビジュアライゼーション実装 ネットワークの可視化編
1日間	
人間関係、企業間の関係、国同士の輸出入、スポーツの試合など、現代社会の多分野に存在する物事の関係性=ネットワークについて、「考え方」の基礎と、作り方の手順を学びます。 ※実装を主とした内容ですが、データ整形とアプリ操作が主のため、プログラミングスキル向上のためのコースとさせていただきます。	
到達目標	・ネットワーク構造の可視化手法の全体像を理解する。 ・オープンソースのアプリケーションを使用して、データを適切に加工し、可視化することができるようになる。
対象者	・ネットワーク・データを活用したい方。 ・可視化した図をプレゼンテーション資料に活かしたい方。 ・ネットワーク構造の可視化手法の全体像を理解し、適切な手段が何か判断できるようになりたい方。
前置知識	データを加工するため、テキストエディタやExcelなどの表計算アプリの利用経験があることが望ましい。 ※実装を主とした内容ですが、データ整形とアプリ操作が主のため、プログラミングスキルはなくともご受講いただけます。
内容	1. ネットワーク可視化の概要 (1) ネットワークにまつわる基礎知識 2. ネットワーク可視化の種類 (1) ネットワークの可視化の分類法と実例 3. オープンソースを利用した可視化実習 (1) 必要なデータの加工方法 (2) いくつかのネットワークの作成方法
備考	このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。

	グループ演習		演習環境		eラーニング		自己テキスト
マシン実習	グループ演習を中心とした研修	レクチャ	職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習	eラーニング	インターネット接続による自己学習	自己テキスト	自習書による自己学習

DBE038	データ分析
	<eラーニング>【スキル定着】Pythonでのデータ可視化ーオープン環境を活用した実装力の磨き方ー
4時間	
さまざまなデータ可視化の実装を通して、実践で使えるレポートリを増やします。繰り返し実装することで、Pythonでのデータ活用の流れの定着を図ります。	
到達目標	・Pythonを使った可視化の実装ができる。 ・オープンな環境を利用してどのように学び (自己学習) を深められるかが理解できる。
対象者	・Pythonのライブラリを活用して可視化の実装を試したい方。 ・Pythonの基本は分かったので腕試ししたい方。
前置知識	「0から始めるPython入門ーデータ分析での活用をテーマとしてー」コースを修了しているか、または同等の知識 (Pythonを実装できる環境構築やPythonの基本構文・データ構造の理解) があること。
内容	1. データ可視化とは (1) データ可視化の目的 (2) データ可視化の種類 (3) データ可視化の手順 (4) データ可視化のセオリー (データインク比、データ濃度、表現方法の選択) 2. Pythonを使ったデータ可視化の進め方 (1) ライブラリの種類と目的に応じた選択 (2) 可視化に使える主なWebアプリとその選択 (3) 学習に使えるオープンデータとソースコード 3. Pythonによるさまざまなデータの可視化の紹介および実装 (1) 平行座標プロット (2) 散布図行列 (3) ヒートマップ (4) デンドログラム (5) ワードクラウド (6) コロプレス地図 (7) ネットワーク図 (8) アニメーションバブル図
備考	※ご紹介する可視化手法は予告なく変更する場合があります ・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

休講	休講 今期の定期開催はありません
-----------	---------------------

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

DBJ112	データ分析
	試行錯誤から学ぶ！統計理論抜きで学ぶRによる統計的手法のハンズオン
1日間	
OSSの統計解析向けのプログラミング言語、およびその開発実行環境であるRのインストール、基本操作を学習します。	
到達目標	・Rの基本文法を修得し、基本的なデータ操作や、代表値 (平均値、標準偏差など) を求めることができる。 ・Rを用いてデータを適切な図表で表現できる。 ・Rを用いて各種分析手法を用いることができる。
対象者	データ分析におけるRの操作方法を学びたい方。
前置知識	「データ分析手法の理論と適用ービジネスにおける統計的手法活用の広がり」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. Rの概要 2. Rによるデータ操作の基礎 3. Rによるデータ分析 (1) 重回帰分析 (2) ロジスティック回帰分析 (3) クラスタ分析
備考	このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。

休講	休講 今期の定期開催はありません
-----------	---------------------

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

DBJ111	データ分析
	試行錯誤から学ぶ！Rによるデータ可視化のハンズオン
1日間	
Rを通じて以下サイトにあるデータ可視化を実装します。https://www.r-graph-gallery.com/ Web上でグラフを作成するメリットは、 ・表現の幅が任意的に広がること。 ・試行錯誤により思い通りのグラフにブラッシュアップできることです。 試行錯誤するには、 ・サッとプログラミングでき、 ・どのような属性をどんな表現方法で追加するとよいか構想できる エンジニアリング×AIエンスの力が必要です。 このコースでは、実際にRで可視化のプログラミングを行うことを通して、その試行錯誤のやり方を学ぶことができます。	
到達目標	・顧客の要望に合わせて適切に可視化方法を選ぶようになる。 ・さまざまなグラフをRを通じて実装できるようになる。 ・データ利活用を推進しており、分析の実作業に携わっている、携わる予定、携わりたい方。 ・顧客が知らないようなグラフも提示したいが、データ可視化のスキルが十分でないがゆえに、効果的なグラフを作成できていない方。
前置知識	「試行錯誤から学ぶ！統計理論抜きで学ぶRによる統計的手法のハンズオン」コースを修了しているか、または同等の知識があり、かつRでのプログラミングの基礎知識をお持ちのこと。
内容	1. はじめに (1) データ可視化の目的 (2) データ可視化の種類 (3) データ可視化の手順 (4) データ可視化のセオリー (データインク比、データ濃度、表現方法の選択) 2. Rによるさまざまな可視化の紹介および実装体験 (1) 並行座標プロット (2) 散布図行列 (3) ヒートマップ (4) デンドログラム (5) ワードクラウド (6) コロプレス地図 (7) ネットワーク図 (8) アニメーションバブルチャート ※ご紹介する可視化手法は予告なく変更する場合があります。 3. おわりに (1) 学習内容の振り返り (2) 業務への活用の検討
備考	このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。

DBD057	データ分析
	Rによる統計解析ー分析結果を統計的に正しく理解し、次の意思決定に向けた提案へー
2.5日間	
分析結果を統計的に正しく理解し、適切な意思決定支援を行うために必要なスキルをケーススタディで学習します。分析の各プロセスに従いながら、モデル作成や評価の流れをRを用いて実践的に学習します。	
到達目標	・検定などを用いて効果測定ができる (e.g.A/Bテスト、メールCTR比較)。 ・モデルの解釈と、チューニングが理解できる (SVM、ベイズ推定/MCMCなど)。 ・分析・効果測定の結果を統計的に正しく理解できる。 ・分析結果から意思決定に向けた施策提案ができる。 ・予測や分類の解析手法の使い方がわかる (e.g.回帰やクラスタ分析)。
対象者	・分析結果を統計的に正しく理解したい方。 ・分析を活用して適切な意思決定支援をしたい方。
前置知識	Rのインストールができること。高校数学程度の知識をお持ちで (行列・ベクトル概念、2の意味)、かつ「定量化のスキルー問題解決の精度を高める」コースおよび、「試行錯誤から学ぶ！統計理論抜きで学ぶRによる統計的手法のハンズオン」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. 基礎知識の習得ー分析のプロセス、基本統計量とデータの可視化ー 2. 統計・分析手法の基本と活用 (1) 確率分布、統計的仮説検定 (2) モデル作成と評価 (回帰分析と結果の見方、予測精度の評価) 4. 機械学習の応用 (モデリング) (1) 選択モデルの考え方 (2) RとJAGSの使い方。MCMCによる分析、結果の見方 3. 総合演習 (新規事業担当者として、スマホアプリの欠損や不整合を含む実データ分析から、小売店の販促施策の提案を作成) (1) 集計、統計量算出による現状把握ー仮設構築、分析課題設定 (2) モデル作成/評価ーモデルの結果から、提案作成 (3) 中欄/最終発表ー発表/講師フィードバック/ディスカッション
備考	・このコースは、初日は14:00～18:00、2日目以降は9:00～18:00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、プレインパッド社との提携コースのため、プレインパッド社の研修会場にて開催します。 ・コース実施に必要となるご受講者の個人情報をプレインパッド社へ提供いたします。 ・開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースは、実事例をもとにしたケーススタディによる演習が中心です。 ・このコースで利用する実データは、予告なく変更する場合があります。 ・このコースは、マシン実習を通し、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

休講	休講 今期の定期開催はありません
-----------	---------------------

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

データ分析

DBE037	データ分析
	<eラーニング>流れを体験！予測モデル構築のプロセス (基礎知識編)ー初めてでもOK！データ分析を身近にー
9時間	
このコースは、データマイニングの代表的な方法論である「CRISP-DM」に沿って、予測モデルを構築する一連の流れおよびモデルを構築するために必要な各種分析手法を学習します。受講者はソフトウェアをインストール可能なPCを用意いただくことを推奨します。お手元にPCを用意いただくことで、画面認識に従ってソフトウェアをインストールおよびハンズオンで確認しながら学習することができます。このコースを受講することで、今までよりもデータ分析を身近に感じていただくことができます。なお、このコースは「流れを体験！予測モデルの構築プロセス (ケーススタディ編)」ーデータのバリュウアップから結果説明に至るまでー」コースを受講するための前提コースとなります。	
到達目標	・データマイニングの基本プロセスを説明できる。 ・多変量解析やクラスター分析、決定木分析などデータマイニングの基本的な手法を説明できる。 ・「流れを体験！予測モデルの構築プロセス (ケーススタディ編)」コースで使用するツールの基本操作を説明できる。
対象者	・データ分析ツールを表計算ソフトやワープロソフトなどと同じように使いこなしたいと考えている方。 ・データ活用案件において、アナリティクスを担当する必要がある、したい方。 ・データ分析提案をするにあたり、実際のモデル構築がどんな作業になるかを知っておく必要があると思われる方。 ・分析モデリングの検討手順が分らず、データ分析の学習に迷われている方。 ・予測モデルの手法を体系的に学びたい方。 ・「流れを体験！予測モデルの構築プロセス (ケーススタディ編)」ーデータのバリュウアップから結果説明に至るまでー」コースを受講される方。
前置知識	一次方程式の関数 (y=f(x)) がわかること。 ソフトウェアのインストールができること。 平均や分散、標準偏差など基本統計量について理解できていること。
内容	1. データマイニング概要 2. データの理解、記述 3. ツールのインストール 4. 演習データの説明 5. データの磨き上げ (バリュウアップ) 概要 6. データの磨き上げ (バリュウアップ) 操作 7. モデリング1 (多変量解析、クラスター分析、ニューラル・ネットワーク、決定木分析ほか) 8. モデリング2 (異常値検査、時系列分析ほか) 9. 全体まとめ 10. 「流れを体験！予測モデルの構築プロセス (ケーススタディ編)」について ※このコースの内容は、予告なく変更する場合があります。 ※お手元にPCをご用意いただいた方は、適宜PC操作をハンズオンで学習いただけます。
備考	・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法を確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBJ100	データ分析
	データビジュアライゼーション基礎
1日間	
データ可視化について、計画を立てるプロセス・各手順での考え方を学習します。オープンソースのアプリケーションを使用したデータの可視化手順を学習します。 ※このコースはデータ可視化の「考え方」の基礎です。実装のプログラミングスキル向上は対象としておりませんのでご注意ください。	
到達目標	役立つ可視化の計画を考える思考プロセスを理解できるオープンソースのアプリケーションを活用したデータの可視化の実装の手順のイメージを持てる (※ただし実装のためのプログラミングが中心ではございませんのでご注意ください)。
対象者	データの可視化スキルを必要とする方。例えば、オープンデータの有効活用のために、幅広いユーザーに使いやすい画面での公開を考える必要がある。データ活用の提案や構築において、一般的なチャートとは異なる魅せ方を必要とする。データ開示系のデータを利活用した新サービスを考案する必要がある方。
前置知識	プログラミングについてコードが読める程度の基礎知識を有すること。
内容	1. データビジュアライゼーション概要 (1) データビジュアライゼーションとは何か、なぜ必要なのか (2) どのようにすればデータビジュアライゼーションは実現できるか 2. データビジュアライゼーションの基本 (1) 何を表現するか (2) どう表現するか 3. webアプリを使った実装方法 (1) 実装ワークフローに沿った実装 (2) スキルアップのための試行錯誤の進め方 (3) 今後の学びのために役立つアプリの紹介 4. 可視化計画の立て方 5. まとめ (1) 今後のスキルの磨き方
備考	このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。

DBJ117	データ分析
	流れを体験！予測モデルの構築プロセス (ケーススタディ編)ーデータのバリュウアップから結果説明に至るまでー
2日間	
「流れを体験！予測モデルの構築プロセス (基礎知識編)」で学んだ手法を駆使してモデル構築のケーススタディを行います。ケーススタディは2種類あり、データ分析の結果を大きく左右する「データ磨き (バリュウアップ)」の要所を二段階で修得します。さらに、データ分析専門家から経験豊富な専門家を招いた講演を盛り込んでいます。業界動向をはじめ現場のリアルなやり取りなど実践に役立つ情報を提供します。	
到達目標	・予測モデル構築の一連の流れが具体的に分かる。特に、以下の点について具体的な考え方・やり方が身につく。 ・データの背景にある顧客業務を理解するためのコミュニケーション ・預かった生データを分析用のデータセットとして磨き上げる ・最適なモデルを決めるための複数の手法でのパフォーマンス比較
対象者	・データ分析案件において、分析作業を担当する、したい方。 ・データ分析提案をするにあたり、実際のモデル構築がどんな作業になるかを知っておく必要がある方。 ・モデリングの検討手順が分らず、データ分析の学習に迷われている方。 ・モデルの手法を体系的に学びたい方。
前置知識	「流れを体験！予測モデル構築のプロセス (基礎知識編)」ー初めてでもOK！データ分析を身近にー「eラーニング」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. はじめに (1) オリエンテーション (2) 基礎知識編 (eラーニング) の学習内容のおさらい 2. ケース演習 (1) データから顧客の業務や運用を推測して質問に纏める (2) データ汚れの有無をデータ検査ノードや各種グラフを使って確認する (3) 複数の手法でモデリング (4) 精度評価とチューニング (5) レポート化 ・ケースターマ例1:製造メーカーにおける種別判別を99%を超える精度で判別するモデルの構築 ・ケースターマ例2:品質検査におけるばらつきの原因推定モデルの構築 ※ケースターマは最新のテーマへと随時変更していくため、予告なく変更いたします 3. データ分析専門家による事例紹介講演 4. おわりに
備考	このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。

DBE038	データ分析
	<eラーニング>【スキル定着】Pythonでのデータ可視化ーオープン環境を活用した実装力の磨き方ー
4時間	
さまざまなデータ可視化の実装を通して、実践で使えるレポートリを増やします。繰り返し実装することで、Pythonでのデータ活用の流れの定着を図ります。	
到達目標	・Pythonを使った可視化の実装ができる。 ・オープンな環境を利用してどのように学び (自己学習) を深められるかが理解できる。
対象者	・Pythonのライブラリを活用して可視化の実装を試したい方。 ・Pythonの基本は分かったので腕試ししたい方。
前置知識	「0から始めるPython入門ーデータ分析での活用をテーマとしてー」コースを修了しているか、または同等の知識 (Pythonを実装できる環境構築やPythonの基本構文・データ構造の理解) があること。
内容	1. データ可視化とは (1) データ可視化の目的 (2) データ可視化の種類 (3) データ可視化の手順 (4) データ可視化のセオリー (データインク比、データ濃度、表現方法の選択) 2. Pythonを使ったデータ可視化の進め方 (1) ライブラリの種類と目的に応じた選択 (2) 可視化に使える主なWebアプリとその選択 (3) 学習に使えるオープンデータとソースコード 3. Pythonによるさまざまなデータの可視化の紹介および実装 (1) 平行座標プロット (2) 散布図行列 (3) ヒートマップ (4) デンドログラム (5) ワードクラウド (6) コロプレス地図 (7) ネットワーク図 (8) アニメーションバブル図
備考	※ご紹介する可視化手法は予告なく変更する場合があります ・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法を確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBD059	データ分析
	機械学習による問題解決実践ー機械学習で大量データを分析し、データからビジネス価値を創出ー
2日間	
ログ、センサー、ソーシャルなどの大量データの分析に有効な機械学習について、ケーススタディを通して学びます。SVM、ベイズ推定などの手法を用いて、機械学習によるビジネス課題解決のアプローチを実践的に学習します。	
到達目標	・機械学習の概念を理解し、ビジネス課題への適用方法がわかる。 ・モデルの解釈と、チューニングが理解できる (SVM、ベイズ推定/MCMCなど)。 ・オープンソース (R、JAGS) による機械学習の実装ができる。
対象者	大量データの分析に機械学習を活用し、ビジネスで成果を出したい方。
前置知識	高校数学程度の知識があり (行列・ベクトルの概念、2の意味がわかる)、かつ「体感ー機械学習ービッグデータ時代のシステムを支える技術」コース、および「Rによる統計解析ー分析結果を統計的に正しく理解し、次の意思決定に向けた提案へ」を修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. 分析のプロセスー機械学習入門【1日目】 (1) 機械学習の流れ、アルゴリズムの種類 2. サポートベクトルマシン (1) カルネ法、実例SVM、交差正当化 3. 解の推定 (1) ベイズ推定、マルコフ連鎖モンテカルロ法、収束判定 4. 機械学習の応用 (モデリング) (1) 選択モデルの考え方 (2) RとJAGSの使い方。MCMCによる分析、結果の見方 3. 総合演習 (新規事業担当者として、欠損や不整合を含む実データ分析から、小売店の販促施策の提案を作成) (1) 集計、統計量算出による現状把握ー仮設構築、分析課題設定 (2) モデル作成/評価ーモデルの結果から、提案作成 (3) 中欄/最終発表ー発表/講師フィードバック/ディスカッション【2日目】 (1) 集計、統計量算出による現状把握ー仮設構築、分析課題設定 (2) モデル作成/チューニング/評価ーモデルの結果から、提案作成 (3) 中欄/最終発表ー発表/講師フィードバック/ディスカッション
備考	・このコースは、9:00～18:00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、プレインパッド社との提携コースのため、プレインパッド社の研修会場にて開催します。 ・コース実施に必要となるご受講者の個人情報をプレインパッド社へ提供いたします。 ・開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースは、実事例をもとにしたケーススタディによる演習が中心です。 ・このコースで利用する実データは、予告なく変更する場合があります。 ・このコースは、マシン実習を通し、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

日立製品
<p>JP1</p> uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

休講	休講 今期の定期開催はありません
-----------	---------------------

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

データ分析

DBD058	データ分析
	SQLによる集計・分析 —分析の基本的なプロセスを修得し、 自社DBデータの活用へ—
1.5日間	分析の設計（指標やKPI、クロス集計の集計軸の考え方など）や、分析の際のデータハンドリング方法など、一連のデータ分析のプロセスをケーススタディを通して、実践的に学習します。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> SQLを用いて大量データのハンドリングができる。 問題解決のための分析設計（集計軸の設計）ができる。 自社DB上のデータに対し、集計・分析ができる。 集計・分析を通して、データに基づく改善提案ができる。
対象者	<ul style="list-style-type: none"> データ分析のプロセスの知識を実践に結びつけたい方。 DB上の自社データを活用したい方。
前置知識	Excelでのピボットテーブル操作、もしくはAccessの利用経験をお持ちのこと、かつ「定量分析のスキル＝問題解決の精度を高める」コース、および「基礎から学ぶSQL＝現場で使える力をつける」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 分析の基本 <ol style="list-style-type: none"> 分析とは？/ 基本的な分析プロセス 分析とDB、SQL <ol style="list-style-type: none"> Database / SQLとは？ 検索操作の基本 分析視点でのSQL演習 <ol style="list-style-type: none"> 分析プロセスのおさらい 推移/利用/属性別集計 総合演習（新規事業担当のビジネスケーススタディ） <ol style="list-style-type: none"> 分析設計 - 現状把握と課題抽出 中間発表 - 課題の要因探索 - 改善提案作成 最終発表 - 発表/ディスカッション/まとめ
備 考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、初日は14:00～18:00、2日目は9:00～18:00の開催とさせていただきます。 このコースは、ブレインパッド社との提携コースのため、ブレインパッド社の研修会場にて開催します。 コース実施に必要なご受講者の個人情報をブレインパッド社へ提供いたします。 開始日10営業日前を過ぎてもキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 このコースは実事例をもとにしたケーススタディ演習が中心です。スマホアプリの実データ（欠損や不整合を含む）を利用します。研修で利用する実データは予告なく変更することがあります。 このコースは、マンシ実習を通じ、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしく申し上げます。

サイバーセキュリティ

サイバー攻撃に伴う予防およびインシデント発生時の初動の対応するためのスキルが修得できます。

● エンドユーザに対してよくある攻撃と、その対処方法を修得したい方

音声なし 説明文有
SCE011 eラーニング
サイバー攻撃対応基礎 (知識修得編)
3 時間

● インシデント発生時の対処方法を修得したい方

音声なし 説明文有
SCJ049 グループ演習
サイバー攻撃対応 コミュニケーション訓練
0.5 日間

● 社会人としてのセキュリティ意識を身につけたい方

音声なし 説明文有
SCE708 eラーニング
【ナビ機能付き】 情報セキュリティテラシー —セキュリティの必要性と対策—
4 時間

※コース詳細はセキュリティ講座をご覧ください。

- 音声有 | 説明文有** : 学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有 | 説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし | 説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

休 講 休 講
今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル



日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

SCE011	サイバーセキュリティ
	<eラーニング>
	サイバー攻撃対応基礎 (知識修得編)
3週間	
サイバー攻撃に関して最低限必要な基礎知識の解説と、インシデント発生時の対応方法を解説します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> サイバー攻撃に伴う予防の対応を説明できる。 サイバー攻撃に伴うインシデント発生時の初動の対応を説明できる。
対象者	情報システムを運用・管理する方。
前提知識	ITに関する基礎的な知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 基礎知識修得編 <ol style="list-style-type: none"> 日常業務での注意点 サイバー攻撃への対処 開発時の注意点 脆弱性情報の収集と対策検討 インシデント発生時の備え まとめ 体験学習編 <ol style="list-style-type: none"> 標的型攻撃による情報漏えい ランサムウェア感染による業務妨害 Webアプリケーションの脆弱性とサービス妨害攻撃 内部不正、過失による自社からの情報漏えい サイバー攻撃を防ぐために
備考	<ul style="list-style-type: none"> 学習終了日は3月31日になります。 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

SCJ049	サイバーセキュリティ
	サイバー攻撃対応 コミュニケーション訓練
0.5日間	
セキュリティインシデントを疑似体験するコースです。参加者は、事業責任者、システム担当者、広報などに代わり、セキュリティインシデントのボードゲームを使用し、インシデント発生時の迅速な意思決定、関係者とのコミュニケーションを疑似体験します。	
到達目標	サイバー攻撃に伴うインシデント発生時の初動の対応ができる。
対象者	情報システムを運用・管理する方。
前提知識	ITに関する基礎的な知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> セキュリティインシデントとは グループワークによるコミュニケーション訓練 各グループ発表 講評
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、14:00～17:00の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

マシン実習
グループ演習
レクチャ
演習環境
eラーニング
自習テキスト



RPA(Robotic Process Automation)製品を使用して業務自動化のロボットを開発するために必要な基礎知識と技術が修得できます。

Automation Anywhereを使って業務自動化のロボットを開発する方



- 音声有・説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

RPJ001	RPA
	RPA入門 ー概説と操作体験 (Automation Anywhere) ー
1日間	
RPA (Robotic Process Automation)の基礎について学習し、RPA製品 (Automation Anywhere Enterprise) によるロボット作成を体験します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> RPAの概要や導入事例が説明できる。 RPA製品 (Automation Anywhere Enterprise) の概要が説明できる。 RPA製品 (Automation Anywhere Enterprise) を使用して基本的な業務自動化ロボットの作成・実行ができる。
対象者	RPAの導入を検討している方、RPAの基礎から学習したい方。
前提知識	Microsoft Windowsの操作経験があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> RPA概要 Automation Anywhere Enterpriseの紹介 業務自動化ロボット作成体験
備考	このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。

RPD001	RPA
	Mastering Bots: Design and Build an Advanced Digital Workforce
3日間	
Automation Anywhere Enterpriseを実際に使用することで、単純なものからやや複雑な業務を自動化するためのボット開発方法について、マシン実習を通して修得します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> Automation Anywhere Enterpriseのプラットフォーム、アーキテクチャ、コンポーネントについて説明できる。 単純なタスク、ボットを作成するためのレコーダー、エディター、さまざまな基本コマンドについて説明できる。 中高程度の複雑なボットを自身で開発できる。 RPAとそのユースケースについて説明できる。
対象者	RPA製品 (Automation Anywhere Enterprise) を使用して業務の省力化・自動化をする方。
前提知識	RPAについて基礎的な知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> Introduction Web Control Room Bot Creator MetaBot Bot Insight
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。 このコースは、Automation Anywhere社認定コースです。 このコースは、Automation Anywhere社が提供するテキストを使用します。 このコースの内容は、予告なく変更される場合があります。

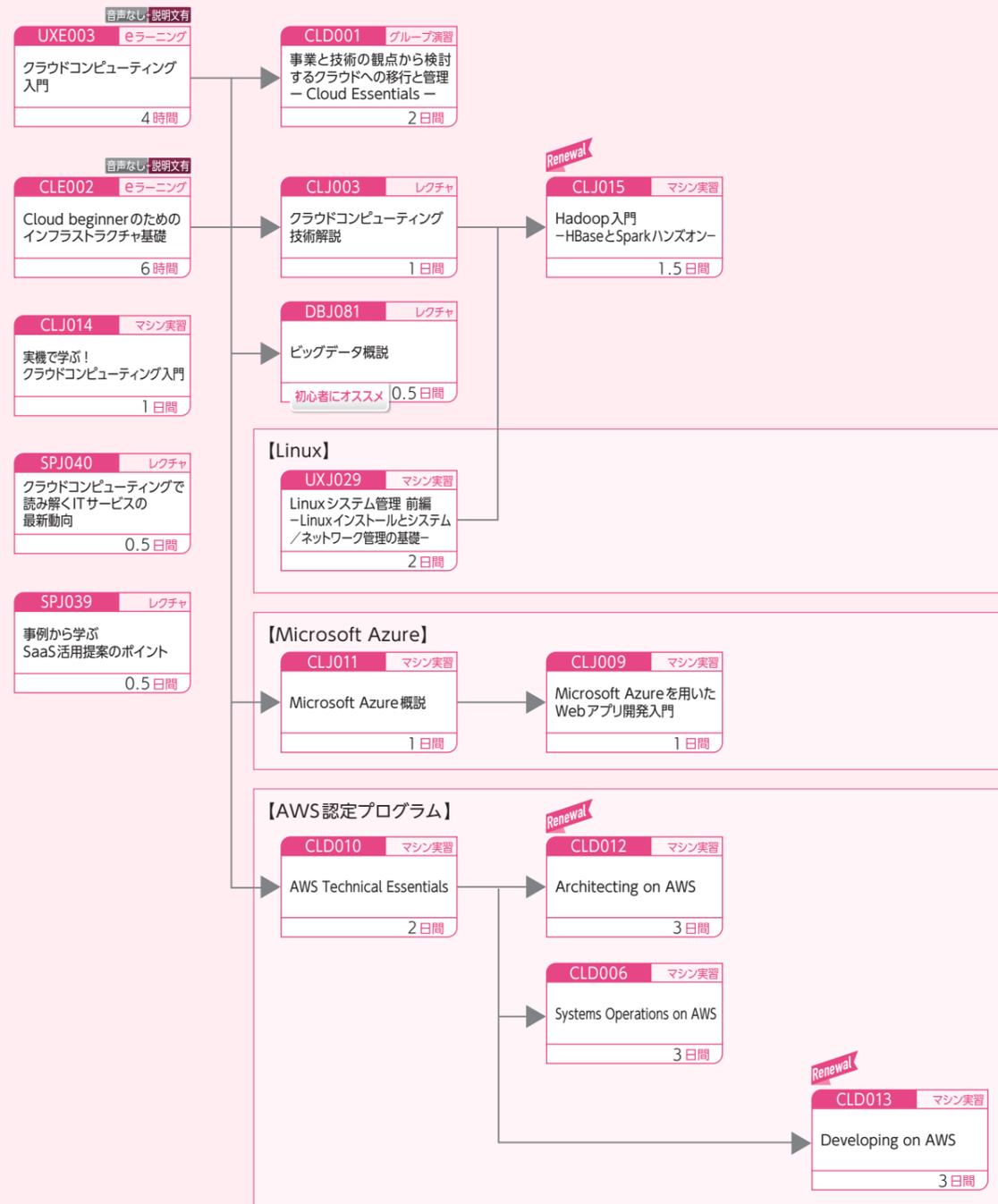
休講 休講 今期の定期開催はありません

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

クラウド / サーバ仮想化

クラウド / サーバ仮想化やという最新システムについての基礎知識と技術が修得できます。

● クラウド基盤の基礎知識や技術を修得したい方



● サーバ仮想化の基礎知識や技術を修得したい方

CLJ005 マシン実習 実機で学ぶ! サーバ仮想化入門 - VMware vSphere, Microsoft Hyper-V, KVM - 1日間	CLE703 eラーニング 【ナビ機能付き】 ストレージ関連者向け サーバ仮想化技術概説 3時間
---	---

【Microsoft】

CLJ010 マシン実習 実践! Hyper-Vのインストールから可用性向上まで - Windows Server 2016編 - 1日間

【VMware】

VMJ006 マシン実習 VMware vSphere システム構築実習 [V6.5] - 実装編 - 2日間	VMD010 マシン実習 VMware vSphere: Install, Configure, Manage [V6.7] 5日間
---	---

【Linux】

UXJ076 マシン実習 Linuxにおけるコンテナ環境の管理 - Kubernetes編 - 1日間

● VMware認定資格の取得をめざす方

< VMware Certified Professional (VCP : VMware 認定プロフェッショナル) >

VMD010 マシン実習 VMware vSphere: Install, Configure, Manage [V6.7] 5日間

- 音声有・説明文有** : 学習の説明画面とナレーション (説明テキスト) で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

資格 VMware 認定資格

VMware 認定資格とは、VMwareソリューションの導入・展開を担う技術者を育成するために、VMware社が提供している認定プログラムです。主なVMware認定資格には、VMware Certified Professional (VCP) - VMware 認定プロフェッショナルがあります。

詳しくは、日立アカデミーのwebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/intro/license/vmware/index.html>



休講 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

資格 アマゾン ウェブ サービス (AWS) 認定資格

AWS 認定資格は、AWS プラットフォームで稼働するアプリケーションの設計、デプロイ、管理に必要なスキルと技術知識を有する IT プロフェッショナルであることを証明します。認定資格を取得することにより AWS に関してスキルや知識を有していることを証明できるだけでなく、所属組織が AWS ベースのアプリケーションを運用構築ができる人材を有していることを証明します。

詳しくは、日立アカデミーのwebサイトにてご確認ください。

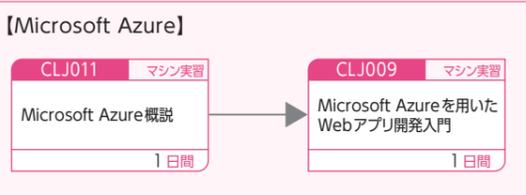
<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/intro/license/aws/index.html>

マシン実習 マシンを使用しながらの研修	グループ演習 グループ演習を中心とした研修	レクチャ 座学による研修	演習環境 職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習	eラーニング インターネット接続による自己学習	自習テキスト 自習書による自己学習
------------------------	--------------------------	-----------------	-----------------------------------	----------------------------	----------------------

● デスクトップ仮想化の基礎知識や技術を修得したい方

<p>CLE702 eラーニング</p> <p>【ナビ機能付き】 デスクトップ仮想化概説</p> <p>4 時間</p>	<p>CLJ007 マシン実習</p> <p>実機で学ぶ! デスクトップ仮想化入門 -Citrix XenDesktopとVMware vSphere-</p> <p>1 日間</p>
---	---

● クラウド環境で動作するアプリケーションを開発する方



- 音声有 + 説明文有** : 学習の説明画面とナレーション (説明テキスト) で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有 + 説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし + 説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

<p>CLE703 クラウド/サーバ仮想化</p> <p><eラーニング>【ナビ機能付き】 ストレージ関連者向け サーバ仮想化技術概説</p> <p>3 時間</p>
<p>VMware・Hyper-Vなどのサーバ仮想化環境で日立ストレージを動作させる場合のシステム構成・ポイントサーバ仮想化の基本技術を交えて学習します。</p>
<p>到達目標 VMware・Hyper-Vなどのサーバ仮想化環境で日立ストレージを動作させる場合のシステム構成・ポイントサーバ仮想化の基本技術を理解できる。</p>
<p>対象者 特に必要としません。</p>
<p>前提知識 特に必要としません。</p>
<p>内容 1. サーバ仮想化概要 2. 代表的なサーバ仮想化製品 3. サーバ仮想化環境でのストレージ関連設定 4. 修了試験</p>
<p>備考 ・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</p>

<p>CLJ005 クラウド/サーバ仮想化</p> <p>実機で学ぶ! サーバ仮想化入門 -VMware vSphere、 Microsoft Hyper-V、KVM-</p> <p>1 日間</p>
<p>サーバ仮想化の基礎を解説し、市場で大きなシェアを持っているVMware vSphere、Microsoft Hyper-V、KVMを利用したサーバ仮想化方法を実機で学習します。</p>
<p>到達目標 ・サーバ仮想化の概要を説明できる。 ・各種製品 (VMware vSphere、Microsoft Hyper-V、KVM) をインストールしそれらの製品を使用して仮想サーバを作成できる。</p>
<p>対象者 サーバ仮想化の提案、構築を行う営業、SEの方。</p>
<p>前提知識 特に必要としません。</p>
<p>内容 1. サーバ仮想化の概要 2. VMware vSphereの概要と特徴 (1) 演習1: VMware vSphereのインストールと仮想サーバの作成 3. Hyper-Vの概要と特徴 (1) 演習2: Microsoft Hyper-Vのインストールと仮想サーバの作成 4. KVMの概要と特徴 (1) 演習3: KVMのインストールと仮想サーバの作成</p>
<p>備考 ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。</p>

<p>CLJ007 クラウド/サーバ仮想化</p> <p>実機で学ぶ! デスクトップ仮想化入門 -Citrix XenDesktopと VMware vSphere-</p> <p>1 日間</p>
<p>・仮想デスクトップ用仮想マシンの作成から、管理、クライアントでの接続までの一連の作業を実機ベースで行い、デスクトップ仮想化環境を構成する各種サーバ類の役割を学習します。 ・複数の仮想デスクトップ構成パターンを実装し、各方式の特徴 (長所/短所) を学習します。</p>
<p>到達目標 デスクトップ仮想化の実現に必要なシステムインフラの構成と役割を説明できる。</p>
<p>対象者 デスクトップ仮想化ソリューションを提案・構築する営業、SEの方。</p>
<p>前提知識 サーバ仮想化の基礎知識があること。</p>
<p>内容 1. デスクトップ仮想化の仕組み (1) デスクトップ仮想化とは (2) デスクトップ仮想化のシステム構成 2. 仮想デスクトップの作り方 (1) 仮想デスクトップへの接続の流れ (2) 仮想デスクトップ用仮想マシンの作成 (3) 仮想デスクトップ接続用クライアント 3. デスクトップ仮想化 導入の注意点 (1) ライセンス (2) デスクトップ仮想化システムのポルトネックについて</p>
<p>備考 ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。</p>

<p>CLJ014 クラウド/サーバ仮想化</p> <p>実機で学ぶ! クラウドコンピューティング入門</p> <p>1 日間</p>
<p>AWSとMicrosoft Azureの概要や違いを実機を操作しながら学習します。</p>
<p>到達目標 ・AWSとMicrosoft Azureの概要を理解し、基本的な違いを説明できる。 ・仮想マシンの起動など、AWSとMicrosoft Azureの操作コンソールで基本的な操作ができる。</p>
<p>対象者 これからクラウドを利用・提案するうえで、主要なパブリッククラウドを比較検討したい方。</p>
<p>前提知識 コンピュータの基礎知識をお持ちのこと。</p>
<p>内容 1. クラウドコンピューティングの概要 2. AWS 3. Microsoft Azure 4. AWSとMicrosoft Azureの比較</p>
<p>備考 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。</p>

<p>CLE702 クラウド/サーバ仮想化</p> <p><eラーニング>【ナビ機能付き】 デスクトップ仮想化概説</p> <p>4 時間</p>
<p>デスクトップを仮想化することで得られるメリット/デメリットと、その実現の仕組みを学習します。また、デスクトップ仮想化の2大製品であるVMware ViewとCitrix XenDesktopの特徴を紹介しします。</p>
<p>到達目標 ・デスクトップを仮想化することでのメリット/デメリットが説明できる。 ・デスクトップ仮想化の実現に必要な機能・役割を説明できる。 ・デスクトップ仮想化の2大製品であるVMware ViewとCitrix XenDesktopの特徴を理解できる。</p>
<p>対象者 デスクトップ仮想化製品をこれから扱うSEおよび営業の方。</p>
<p>前提知識 特に必要としません。</p>
<p>内容 1. デスクトップ仮想化の概念 (1) この章で学ぶこと (2) デスクトップの仮想化とは (3) デスクトップ仮想化のメリット・デメリット 2. デスクトップ仮想化のシステム構成 (1) この章で学ぶこと (2) デスクトップ仮想化のシステム構成 3. 代表的なデスクトップ仮想化製品について (1) この章で学ぶこと (2) VMware Horizon (with View) (3) Citrix XenDesktop (4) 日立SPC (5) VDIライセンスについて 4. 修了試験</p>
<p>備考 ・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</p>

<p>UXE003 クラウド/サーバ仮想化</p> <p><eラーニング> クラウドコンピューティング入門</p> <p>4 時間</p>
<p>クラウドコンピューティングの基本的な内容、適用技術を学習します。</p>
<p>到達目標 クラウドコンピューティングの概要を説明できる。</p>
<p>対象者 クラウドコンピューティングに関する基礎的な知識を必要とする方。</p>
<p>前提知識 特に必要としません。</p>
<p>内容 1. クラウドコンピューティングとは (1) クラウドコンピューティングの定義 (2) クラウドコンピューティングの背景と出現 (3) クラウドコンピューティングの提供形態 (4) クラウドコンピューティングのサービスモデル (5) クラウドコンピューティングの歴史 (6) クラウドコンピューティングのメリット、デメリット (7) クラウドコンピューティングの動向 2. クラウドコンピューティングの適用 (1) パブリッククラウドの適用 (2) プライベートクラウドの構築と運用 (3) クラウドを支える基礎技術 3. 修了試験</p>
<p>備考 ・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</p>

休講 休講 今期の定期開催はありません

日立製品
<p>JP1</p> uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT活用
インバージョン
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

クラウド /サーバ仮想化

CLFE002	クラウド/サーバ仮想化
<div><div><div><div><div></div><div><div>eラーニング</div></div></div></div><div>6時間</div></div></div>	<div> <div><div><div><div></div><div><div><eラーニング> Cloud beginnerのためのインフラストラクチャ基礎</div></div></div></div><div>6時間</div></div></div>

CLJ003	クラウド/サーバ仮想化
<div><div><div><div><div></div><div><div>レクチャ</div></div></div></div><div>1日間</div></div></div>	<div> <div><div><div><div></div><div><div>クラウドコンピューティング技術解説</div></div></div></div><div>1日間</div></div></div>

CLJ012	クラウド/サーバ仮想化
<div><div><div><div><div></div><div><div>マシン実習</div></div></div></div><div>2日間</div></div></div>	<div> <div><div><div><div></div><div><div>クラウドアプリケーション開発</div></div></div></div><div>2日間</div></div></div>

CLD010	クラウド/サーバ仮想化
<div><div><div><div><div></div><div><div>マシン実習</div></div></div></div><div>2日間</div></div></div>	<div> <div><div><div><div></div><div><div>AWS Technical Essentials</div></div></div></div><div>2日間</div></div></div>

CLD012	クラウド/サーバ仮想化
<div><div><div><div><div></div><div><div>マシン実習</div></div></div></div><div>3日間</div></div></div>	<div> <div><div><div><div></div><div><div>Architecting on AWS</div></div></div></div><div>3日間</div></div></div>

CLD006	クラウド/サーバ仮想化
<div><div><div><div><div></div><div><div>マシン実習</div></div></div></div><div>3日間</div></div></div>	<div> <div><div><div><div></div><div><div>Systems Operations on AWS</div></div></div></div><div>3日間</div></div></div>

CLD001	クラウド/サーバ仮想化
<div><div><div><div><div></div><div><div>グループ演習</div></div></div></div><div>2日間</div></div></div>	<div> <div><div><div><div></div><div><div>事業と技術の観点から検討するクラウドへの移行と管理ーCloud Essentialsー</div></div></div></div><div>2日間</div></div></div>

CLJ011	クラウド/サーバ仮想化
<div><div><div><div><div></div><div><div>マシン実習</div></div></div></div><div>1日間</div></div></div>	<div> <div><div><div><div></div><div><div>Microsoft Azure概説</div></div></div></div><div>1日間</div></div></div>

CLJ009	クラウド/サーバ仮想化
<div><div><div><div><div></div><div><div>マシン実習</div></div></div></div><div>1日間</div></div></div>	<div> <div><div><div><div></div><div><div>Microsoft Azureを用いたWebアプリ開発入門</div></div></div></div><div>1日間</div></div></div>

CLD013	クラウド/サーバ仮想化
<div><div><div><div><div></div><div><div>マシン実習</div></div></div></div><div>3日間</div></div></div>	<div> <div><div><div><div></div><div><div>Developing on AWS</div></div></div></div><div>3日間</div></div></div>

ITサービスマネジメント

情報システムを活用し、ビジネスを支援するITサービスの業務プロセスを管理・改善するITサービスマネジメントの基礎知識・手法が修得できます。

● システム運用管理に関する基礎知識を身につけたい方

<p>音声なし・説明文有 eラーニング</p> <p>ITE701</p> <p>【ナビ機能付き】 運用管理概説</p> <p>初心者におすすめ 6時間</p>	<p>グループ演習</p> <p>ITJ008</p> <p>情報システム運用入門 —運用からITサービスへ—</p> <p>1日間</p>
--	--

● ITIL®に関する知識を修得したい方

<p>PDU レクチャ</p> <p>ITJ012</p> <p>(PDU) ITIL® ファンデーション (認定試験付)</p> <p>3日間</p>
--

● システム開発・運用を担当する方

<p>音声なし・説明文有 eラーニング</p> <p>ITE006</p> <p>SLAにおける サービスレベル設計の基礎</p> <p>4時間</p>	<p>グループ演習</p> <p>ITJ009</p> <p>IT運用における ヒューマンエラー予防</p> <p>1日間</p>
--	---

<p>グループ演習</p> <p>HSJ062</p> <p>事例から学ぶ システムトラブル対策の考え方 —高信頼性システム実現のために—</p> <p>1日間</p>	<p>グループ演習</p> <p>HSJ018</p> <p>システムトラブルの予防と是正 —ISMS・システム監査の 視点から—</p> <p>2日間</p>
--	--

<p>グループ演習</p> <p>ITJ004</p> <p>システム運用の現状分析・ 設計力養成ワークショップ</p> <p>2日間</p>	<p>グループ演習</p> <p>CLD001</p> <p>事業と技術の観点から検討 するクラウドへの移行と管理 — Cloud Essentials —</p> <p>2日間</p>
---	---

音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

● JP1を使用してシステムを運用管理する方

<p>マシ実習</p> <p>JPJ277</p> <p>JP1操作入門</p> <p>1日間</p>	<p>レクチャ</p> <p>JPJ278/JPJ278T</p> <p>JP1エンジニア機能概説—</p> <p>1日間</p>			
<p>マシ実習</p> <p>JPJ279</p> <p>JP1プロフェッショナル 統合管理1—システム監視—</p> <p>2日間</p>	<p>マシ実習</p> <p>JPJ280/JPJ280T</p> <p>JP1プロフェッショナル 統合管理2—システム設定—</p> <p>2日間</p>	<p>マシ実習</p> <p>JPJ281/JPJ281T</p> <p>JP1プロフェッショナル 統合管理セットコース</p> <p>4日間</p>	<p>マシ実習</p> <p>JPJ282/JPJ282T</p> <p>JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理</p> <p>2日間</p>	
<p>マシ実習</p> <p>JPJ283</p> <p>JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 —ジョブ定義・監視—</p> <p>2日間</p>	<p>マシ実習</p> <p>JPJ284/JPJ284T</p> <p>JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 —システム設定・運用管理—</p> <p>2日間</p>	<p>マシ実習</p> <p>JPJ285/JPJ285T</p> <p>JP1プロフェッショナル ジョブ管理セットコース</p> <p>4日間</p>	<p>マシ実習</p> <p>JPJ102</p> <p>JP1/AJS3エキスパート 育成講座—開発編—</p> <p>1日間</p>	<p>マシ実習</p> <p>JPJ103</p> <p>JP1/AJS3エキスパート 育成講座—運用編—</p> <p>1日間</p>
<p>マシ実習</p> <p>JPJ288</p> <p>JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1 —ネットワーク管理基盤—</p> <p>2日間</p>	<p>マシ実習</p> <p>JPJ289/JPJ289T</p> <p>JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2 —システムリソース管理—</p> <p>1日間</p>	<p>マシ実習</p> <p>JPJ290/JPJ290T</p> <p>JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 セットコース</p> <p>3日間</p>	<p>マシ実習</p> <p>JPJ286</p> <p>JP1プロフェッショナル IT運用自動化</p> <p>2日間</p>	<p>マシ実習</p> <p>JPJ287/JPJ287T</p> <p>JP1プロフェッショナル バックアップ管理</p> <p>1日間</p>
<p>マシ実習</p> <p>JPJ291</p> <p>JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 1 —資産管理編—</p> <p>1日間</p>	<p>マシ実習</p> <p>JPJ292</p> <p>JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 2 —セキュリティ管理編—</p> <p>1日間</p>	<p>マシ実習</p> <p>JPJ293/JPJ293T</p> <p>JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 3 —配布管理編—</p> <p>1日間</p>	<p>マシ実習</p> <p>JPJ294/JPJ294T</p> <p>JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 セットコース</p> <p>3日間</p>	<p>マシ実習</p> <p>JPJ295/JPJ295T</p> <p>JP1プロフェッショナル セキュリティ管理</p> <p>1日間</p>
<p>レクチャ</p> <p>JPJ298</p> <p>JP1コンサルタント ジョブ管理—システム設計編—</p> <p>1日間</p>	<p>レクチャ</p> <p>JPJ299/JPJ299T</p> <p>JP1コンサルタント ジョブ管理—チューニング編—</p> <p>1日間</p>	<p>レクチャ</p> <p>JPJ300/JPJ300T</p> <p>JP1コンサルタント 資産・配布管理</p> <p>1日間</p>	<p>レクチャ</p> <p>JPJ296/JPJ296T</p> <p>JP1コンサルタント 統合管理</p> <p>1日間</p>	
<p>レクチャ</p> <p>JPJ297/JPJ297T</p> <p>JP1コンサルタント パフォーマンス管理</p> <p>1日間</p>	<p>レクチャ</p> <p>JPJ301/JPJ301T</p> <p>JP1コンサルタント ネットワーク管理</p> <p>1日間</p>			

資格 ITIL®認定資格

ITIL® [Information Technology Infrastructure Library] は、英国政府が作成したITサービスマネジメントのベストプラクティスがまとめられた書籍です。ITIL®は、システム運用管理を中心とした幅広い分野で広く利用され、現在、ITサービスマネジメントの世界的な業界標準として普及しています。ITIL®認定資格は、ITIL®をベースとしたITサービスマネジメントに関するスキルを証明する資格です。

詳しくは、日立アカデミーのwebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/intro/license/itil/index.html>

休講 休講
今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

ITE701	ITサービスマネジメント
	<eラーニング>【ナビ機能付き】 運用管理概説
6時間	
システム運用管理の必要性や、管理項目を学習します。また、各担当の役割や各運用管理の作業内容を、演習を通して理解を深めます。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ITサービスとITシステムの運用管理の必要性の関係を理解し、説明できる。 運用管理の体制と各担当の作業概要を説明できる。 システム運用の管理項目の種類や作業概要を説明できる。
対象者	<ul style="list-style-type: none"> これから運用業務に携わる方。 システムサービスの企画・設計に携わる方で、運用管理の知識が必要な方。
前提知識	ITの基本用語を知っていること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> ITサービスマネジメント概要 <ol style="list-style-type: none"> サービスとは ITサービスとITシステム 運用管理概要 <ol style="list-style-type: none"> 運用管理の目的 有用性、保証 運用管理の活動 <ol style="list-style-type: none"> 安定したサービスを提供するための活動 サービスを安全に変更するための活動 より良いサービスを提供するための活動 修了試験
備考	<ul style="list-style-type: none"> 学習終了日は3月31日になります。 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

ITJ008	ITサービスマネジメント
	情報システム運用入門 ー運用からITサービスへー
1日間	
システム運用の必要性、作業項目、体制について、基本的な考え方を講義と演習を通して学習します。演習を通して、システム運用を行ううえで必要な活動への理解を深めます。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> システム運用の管理項目の種類や役割を説明できる。 ITサービスとITシステムの運用管理の必要性の関係を理解し、説明できる。
対象者	<ul style="list-style-type: none"> これから情報システムの運用業務に携わる方。 システムサービスの企画・設計に携わる方で運用管理の知識が必要な方。
前提知識	ITの基本的な用語についての知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> ITサービスマネジメント概説 <ol style="list-style-type: none"> サービスとITサービス <ul style="list-style-type: none"> サービスとは ITサービスとは サービスの有用性と保証 ITサービスの管理 <ul style="list-style-type: none"> ITサービスのライフサイクル 運用管理概説 <ol style="list-style-type: none"> 運用管理の目的 運用管理の対象 運用管理の体制 運用管理の活動 <ol style="list-style-type: none"> 安定したITサービスを提供するための活動 <ul style="list-style-type: none"> 日常の活動 障害発生時の対応 障害対策 災害対策 ITサービスを安全に変更するための活動 <ul style="list-style-type: none"> 変更管理、リリース・展開管理 資産・構成管理 より良いITサービスを提供するための活動 <ul style="list-style-type: none"> 運用改善サイクル、ナレッジ管理
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 このコースは、【ナビ機能付き】運用管理概説】eラーニングコース(ITE701)と同等の内容です。eラーニングをご受講済の方は、申し込めないようご注意ください。

ITJ012	ITサービスマネジメント
	(PDU) ITIL® ファンデーション (認定試験付) PDU
3日間	
ITIL®は、ITサービスマネジメントのベストプラクティスです。このコースでは、ITIL®にて紹介されたライフサイクルモデルを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:18ポイント)の修得が可能です。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ITサービスマネジメントの中枢となる分野と概念を説明できる。 組織におけるITIL®実装の有益性を説明できる。 ITIL®ファンデーション資格の取得をめざす方。特に必要としません。
対象者	ITIL®ファンデーション資格の取得をめざす方。
前提知識	特に必要としません。
内容	<ol style="list-style-type: none"> プラクティスとしてのサービスマネジメント サービスライフサイクル サービスストラテジ サービスデザイン サービストランジション サービスオペレーション 継続的サービス改善 技術とアーキテクチャ 試験対策 認定試験
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:00～17:30の開催とさせていただきます。 このコースは、認定試験「ITIL® Foundation」が含まれています。受験当日、本人を確認できる顔写真付き証明書(免許証、従業員証、パスポートなど)を忘れずにご持参ください。ご持参いただかない場合は、受験が無効になることがありますので、ご注意ください。 このコースをご受講の場合、受講者の個人情報を試験機関に提供いたします。 PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 当社はPeopleCert®の認定教育事業者(ATO)であるITプレナズ社の認定アフィリエイトです。

ITE006	ITサービスマネジメント
	<eラーニング> SLAにおけるサービスレベル設計の基礎
4時間	
ITサービスの設計要素として、キャパシティ、可用性、継続性の項目を学習します。サービスレベルに基づくサービス設計の基礎を身につけます。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ITサービスのキャパシティ、可用性、継続性を説明できる。 キャパシティ、可用性、継続性の基本的な設計ができる。
対象者	ITサービスの設計を行う方。
前提知識	ITIL®の概要、用語の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> ITサービスの設計の概要 可用性管理の設計 キャパシティ管理の設計 継続性管理の設計 情報セキュリティの設計 修了試験
備考	<ul style="list-style-type: none"> 学習終了日は3月31日になります。 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

ITJ009	ITサービスマネジメント
	IT運用におけるヒューマンエラー予防
1日間	
IT運用現場で起こり得るヒューマンエラーについて、講義と演習を通して学習します。トラブル・事故事例から、ヒューマンエラーの影響と発生メカニズムを理解します。演習では、自職場での効果的なヒューマンエラー防止策を立案します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> IT運用の現場で起こるヒューマンエラーについて理解できる。 ヒューマンエラーが起こるメカニズムを理解し、未然に防ぐ方法を理解できる。 効果的なヒューマンエラー防止策を実施できる。 チームのヒューマンエラーを無くすための指導やプロセス改善を考慮することができる。
対象者	IT運用に携わっている方、IT運用の部署のチームリーダーまたはリーダーになる方。
前提知識	IT運用の基礎知識があること。IT運用の実務経験があることが望ましい。
内容	<ol style="list-style-type: none"> IT運用の事故・トラブル ヒューマンエラーとは ヒューマンエラーの防止策
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

ITJ004	ITサービスマネジメント
	システム運用の 現状分析・設計力養成ワークショップ
2日間	
システム運用管理において、現状の課題分析を行い、運用管理ツール(JP1)の導入による運用改善の策定を通して、システム運用設計のスキルを修得します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> システム運用の課題を認識し、解決策を考えることができる。 ITサービスの改善プロセスを理解し実行できる。
対象者	運用業務に携わる方、運用を考慮したシステム企画・設計を行う方。
前提知識	【ナビ機能付き】運用管理概説】eラーニングコースを修了しているか、または運用管理の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> オリエンテーション <ol style="list-style-type: none"> サービス改善のアプローチ 現状の運用理解と運用課題の洗い出し <ol style="list-style-type: none"> システムにより提供されるサービスの目的を確認 現状の運用を確認 運用管理の改善 <ol style="list-style-type: none"> サービスで提供すべきゴール(KPI)を設定 改善後の運用設計 <ol style="list-style-type: none"> ゴールを達成するための運用の設計 ゴール達成度の評価方法の設計(測定項目と測定基準)
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 このコースは、運用ツールとしてJP1製品を活用し、運用業務の設計を行います。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

IT 基本

IT 技術者の前提として求められる知識が修得できます。

● ITの基礎力を身につけたい方

SJJ009 レクチャ コンピュータ基礎 初心者におすすめ 5日間	音声なし; 説明文有 SJE701 eラーニング 【ナビ機能付き】 コンピュータ基礎 -ハードウェア編- 初心者におすすめ 8時間	音声なし; 説明文有 SJE702 eラーニング 【ナビ機能付き】 コンピュータ基礎 -ソフトウェア編- 初心者におすすめ 8時間	音声なし; 説明文有 SJE703 eラーニング 【ナビ機能付き】 コンピュータ基礎 -情報の基礎理論編- 初心者におすすめ 4時間
音声なし; 説明文有 SJE704 eラーニング 【ナビ機能付き】 コンピュータ基礎 -情報システム編- 初心者におすすめ 4時間	音声なし; 説明文有 SCE708 eラーニング 【ナビ機能付き】 情報セキュリティリテラシー -セキュリティの必要性と対策- 初心者におすすめ 4時間	音声なし; 説明文有 CBE006 eラーニング アルゴリズムの基礎 -フローチャート編- 初心者におすすめ 16時間	休 講 CBJ001 レクチャ アルゴリズムの基礎 -フローチャート編- 初心者におすすめ 2日間
NWJ103 レクチャ ネットワーク基礎 初心者におすすめ 2日間	音声なし; 説明文有 NWE706 eラーニング 【ナビ機能付き】 ネットワーク基礎 I -イーサネットの仕組み- 初心者におすすめ 12時間		音声なし; 説明文有 NWE707 eラーニング 【ナビ機能付き】 ネットワーク基礎 II -TCP/IPの仕組み- 12時間
音声なし; 説明文有 DBE711 eラーニング 【ナビ機能付き】 データベース基礎 初心者におすすめ 8時間	SJJ030 マシン実習 アプリケーション開発者の ための文字コード入門 -アプリケーションの文字付けを学ぶ- 1日間	音声有; 説明文なし ESE701 eラーニング 【ナビ機能付き】 組み込みシステムとは 初心者におすすめ 7時間	音声なし; 説明文有 NWE712 eラーニング 【ナビ機能付き】 基礎から学ぶ ネットワーク運用管理 12時間
			DBJ045 マシン実習 データベース入門 -解説と操作体験- 初心者におすすめ 1日間
			UXJ070 マシン実習 gitによる ソフトウェア構成管理 1日間

● ITエンジニアをめざす方

SJJ009 レクチャ コンピュータ基礎 初心者におすすめ 5日間	音声なし; 説明文有 SCE708 eラーニング 【ナビ機能付き】 情報セキュリティリテラシー -セキュリティの必要性と対策- 初心者におすすめ 4時間	音声有; 説明文なし OJJ016 マシン実習 Javaプログラミング1 (基本文法編) 初心者におすすめ 3日間	音声有; 説明文なし OJJ017 マシン実習 Javaプログラミング2 (基本クラス編) 2日間
休 講 CBJ001 レクチャ アルゴリズムの基礎 -フローチャート編- 初心者におすすめ 2日間	NWJ103 レクチャ ネットワーク基礎 初心者におすすめ 2日間	または 音声有; 説明文なし OJE702 eラーニング 【ナビ機能付き】 Javaプログラミング1 (基本文法編) 初心者におすすめ 24時間	または 音声有; 説明文有 OJE020 eラーニング 【スキル定着】 Javaプログラミング1 (前編) 4時間
DBJ045 マシン実習 データベース入門 -解説と操作体験- 初心者におすすめ 1日間		音声有; 説明文有 OJE021 eラーニング 【スキル定着】 Javaプログラミング1 (後編) 4時間	音声有; 説明文なし OJE703 eラーニング 【ナビ機能付き】 Javaプログラミング2 -基本クラス編- 16時間

音声有; 説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
 音声有; 説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
 音声なし; 説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

休 講 休 講
 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

日立製品
 JP1
 uCosminexus
 Application Server
 HiRDB
 OpenTP1
 VOS3/VOS1/
 VOSK
 XDM/PDMI
 Hitachi Advanced
 Data Binder
 日立ストレージ
 Pentaho
 デジタルトランス
 フォーメーション
 IT利活用
 インバージョン
 IoT/AI/Lumada
 ビッグデータ
 データ分析
 サイバー
 セキュリティ
 RPA
 クラウド/
 サーバ仮想化
 ITサービス
 マネジメント
 システム基盤
 IT基本
 オープンソース
 ソフトウェア(OSS)
 Linux
 Microsoft
 ネットワーク
 ハードウェア
 セキュリティ
 データベース
 IT戦略・IS企画
 システム開発
 要件定義/設計
 モデリング
 プログラミング
 情報処理技術者
 試験対策
 ITリテラシ
 プロジェクト
 マネジメント
 コンプライアンス
 ビジネス/
 ヒューマン
 グローバル

日立製品	
JP1	
uCosminexus Application Server	
HIRDB	
OpenTP1	
VOS3/VOS1/VOSK	
XDM/PDMII	
Hitachi Advanced Data Binder	
日立ストレージ	
Pentaho	
デジタルトランスフォーメーション	
IT 利活用	
イノベーション	
IoT/AI/Lumada	
ビッグデータ	
データ分析	
サイバーセキュリティ	
RPA	
クラウド/サーバ仮想化	
IT サービス マネジメント	
システム基盤	
IT 基本	
オープンソースソフトウェア(OSS)	
Linux	
Microsoft	
ネットワーク	
ハードウェア	
セキュリティ	
データベース	
IT 戦略・IS 企画	
システム開発	
要件定義 / 設計	
モデリング	
プログラミング	
情報処理技術者試験対策	
ITリテラシ	
プロジェクト マネジメント	
コンプライアンス	
ビジネス / ヒューマン	
グローバル	

SJJ009	IT 基本
	コンピュータ基礎
5日間	
情報処理技術者として必要となる基礎知識を学習します。	
到達目標	・コンピュータの動作原理や情報システムの仕組みを説明できる。 ・ネットワークやデータベースの基本を説明できる。 ・システム開発の手順と各工程の作業を説明できる。
対象者	これから情報システム部門に在籍し、システムを開発またはシステムを運用する方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. コミュニケーションネットワークとコンピュータシステム 2. 入出力装置 3. 記憶装置 4. 中央処理装置 5. オペレーティングシステム 6. 情報処理技術の基礎と理論 7. ファイル編成とデータベース 8. 通信ネットワークシステム 9. 情報セキュリティ 10. 情報システムとRASIS 11. 情報システムの開発
備 考	このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。

SJE701	IT 基本
	<eラーニング>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎 –ハードウェア編–
8時間	
情報処理技術者として必要なハードウェアの基礎知識を学習します。	
到達目標	情報処理技術者として必要なハードウェアの基礎知識について説明できる。
対象者	これから情報システム部門に在籍し、システムを開発またはシステムを運用する方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. コンピュータとは (1) コンピュータとは (2) コンピュータの5大基本機能 (装置) 2. 記憶装置 (1) 記憶階層 (2) 主記憶装置 (3) 半導体 (IC) メモリ (4) ハードディスクドライブ (HDD) (5) その他の補助記憶装置 3. CPU (1) CPUの構成要素 (2) 制御装置 (3) 演算装置 (4) バス (5) CPUの高速化 4. 入出力装置 (1) 入力装置 (2) 出力装置 (3) I/O (Input/Output) 5. 修了試験
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、集合研修「コンピュータ基礎」コース(SJJ009)と学習内容が重複します。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SJE702	IT 基本
	<eラーニング>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎 –ソフトウェア編–
8時間	
情報処理技術者として必要なソフトウェアの基礎知識を学習します。	
到達目標	情報処理技術者として必要なソフトウェアの基礎知識について説明できる。
対象者	これから情報システム部門に在籍し、システムを開発またはシステムを運用する方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. OSの制御プログラム (1) タスク管理 (2) 記憶管理 (3) ジョブ管理 (4) ファイル管理 2. 言語 (1) 言語プロセッサ (2) 主記憶装置 (3) プログラムの作成と実行 (4) プログラム言語の種類とプログラムの性質 3. 修了試験
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、集合研修「コンピュータ基礎」コース(SJJ009)と学習内容が重複します。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

ESE701	IT 基本
	<eラーニング>【ナビ機能付き】組み込みシステムとは
7時間	
組み込みシステム技術者の全体的な技術基礎力向上のために、組み込みシステムで用いられるハードウェア、ソフトウェアに関する技術を学習します。	
到達目標	・組み込みシステムで用いられるハードウェア、ソフトウェアに関して説明できる。 ・組み込みソフトウェアが動作するしくみを説明できる。 ・リアルタイムOSの概要を説明できる。
対象者	組み込みソフトウェアを開発する方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. 組み込みシステムとは 2. 組み込みシステムの基本アーキテクチャ 3. 組み込み製品の開発に必要な知識 4. マイコンを利用したソフトウェア開発の基礎 (1) 組み込みソフトの開発環境 (2) 入出力制御の概要 (3) 割り込み 5. リアルタイムOSとは (1) リアルタイムOSの機能と役割 (2) タスクと状態遷移 (3) リアルタイムOSの種類 (4) リアルタイムOSを使用したシステム構築手順 6. 組み込みシステムに関する新技術 7. 修了試験
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SJE703	IT 基本
	<eラーニング>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎 –情報の基礎理論編–
4時間	
情報処理技術者として必要な情報基礎理論の基礎知識を学習します。	
到達目標	情報処理技術者として必要な情報基礎理論の基礎知識について説明できる。
対象者	これから情報システム部門に在籍し、システムを開発またはシステムを運用する方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. データの表現 2. 基数 3. 固定小数点数 4. 浮動小数点数 5. 精度 6. 論理演算 7. 論理回路 8. 修了試験
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、集合研修「コンピュータ基礎」コース(SJJ009)と学習内容が重複します。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SJE704	IT 基本
	<eラーニング>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎 –情報システム編–
4時間	
情報処理技術者として必要な情報システムの基礎知識を学習します。	
到達目標	情報処理技術者として必要な情報システムの基礎知識について説明できる。
対象者	これから情報システム部門に在籍し、システムを開発またはシステムを運用する方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. システム構成 (1) システムの形態 (2) 処理形態 2. システム性能 (1) CPUの性能 (2) システムの性能 3. システムの信頼性 (1) RASIS (2) 稼働率 (3) 高信頼システム (4) RAID 4. 修了試験
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、集合研修「コンピュータ基礎」コース(SJJ009)と学習内容が重複します。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SJJ030	IT 基本
	アプリケーション開発者のための文字コード入門 –アプリケーションの文字化けを防ぐ–
1日間	
代表的な文字セットと符号化方式を、バイナリエディタを使用した演習を通して学習します。外字や重複文字、改行コードの扱いなど、文字コードが関係するさまざまな問題について扱います。	
到達目標	・代表的な符号化文字集合と符号化方式を説明できる。 ・符号化された文字の実体を確認し文字化けの理由を説明できる。 ・外字や改行コード、全角半角など、ソフトウェアでの文字の扱いに関する諸問題を説明できる。
対象者	コンピュータ上で文字の扱いに関する基礎的な知識を修得したい方。
前提知識	Windowsの基本的な操作経験があり、2進数や16進数への基数変換について理解していること。
内 容	1. はじめに 2. コンピュータでの文字の扱い方 3. 代表的な符号化文字集合 4. 代表的な文字符号化方式 5. 文字コードが関係する諸問題 6. プログラミング言語と文字コード
備 考	このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advance Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス / ヒューマン
グローバル

UXE004 オープンソースソフトウェア(OSS)

<eラーニング>
オープンソースソフトウェア(OSS)概説

3時間

OSのビジネスモデルや活用領域の紹介を通して、さまざまな分野におけるOSSの利活用手法の基礎を学習します。

到達目標

- ・OSSの概要を説明できる。
- ・OSSの活用方法を説明できる。
- ・OSSが活用されている分野を理解できる。

対象者

- ・OSSの概要を修得したい方。
- ・OSS関連事業に従事する方。

前提知識

特に必要としません。

内容

1. OSSとは
2. OSSの活用領域
3. OSS活用におけるコンプライアンス

備考

- ・学習終了日は3月31日になります。
- ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

UXJ077 オープンソースソフトウェア(OSS)

Linuxで実現!
Zabbixによるシステム監視

1日間

LinuxシステムにZabbixを用いたシステム監視を学習します。また、マシン実習を通して、Zabbixの設定および操作を体験します。

到達目標

- ・システム監視でよく使う監視項目について説明できる。
- ・Zabbixによる監視システムを構築できる。

対象者

Linuxシステムを運用・管理する方。

前提知識

「Linuxシステム管理 前編-Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. システム監視の概要
2. Zabbixの概要
3. Zabbixのインストールおよび設定
4. 運用監視

備考

このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

UXJ076 オープンソースソフトウェア(OSS)

Linuxにおけるコンテナ環境の管理
-Kubernetes編-

1日間

コンテナの概要と、コンテナ環境の自動展開やスケーリングといった運用を行うためのツールとして良く利用されるKubernetesを学習し、マシン演習で実際に体験します。

到達目標

コンテナの概要を修得し、コンテナの管理の環境をKubernetesで構築できる。

対象者

ITエンジニア職、若手・中堅の方でコンテナを使ったマイクロサービスアーキテクチャが採用されることが多くになっている。そのコンテナを効率よく管理するツールとしてKubernetesを使用したい方。

前提知識

「Linuxシステム管理 前編-Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. コンテナ
 - (1) コンテナ概要
 - (2) Dockerの基本機能
 - (3) Dockerの構築と操作
2. Kubernetes
 - (1) Kubernetesの概要
 - (2) Kubernetesのアーキテクチャ
 - (3) Kubernetesの構築
 - (4) Kubernetesの操作

備考

このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

UXJ028 オープンソースソフトウェア(OSS)

OSSによるWebシステム構築
-Linux, Apache, PostgreSQL, PHP-

2日間

OSからアプリケーションソフトウェアまでOSSだけを使用したWeb・DB連携サーバの構築方法を紹介します。各OSSの利用時の注意事項、WebサーバやDBサーバの設定方法などを紹介します。

到達目標

Linux上で、Apache、PostgreSQL、PHPを使ったWeb・DB連携システムを構築できる。

対象者

OSSでWebシステムの導入を検討している方。

前提知識

「Linuxシステム管理 前編-Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. オープンソースソフトウェア(OSS)概要
2. Linuxとは
3. Apache
 - (1) Apacheのインストール
 - (2) Apacheの起動
 - (3) Apacheの設定
4. PostgreSQL
 - (1) PostgreSQLのアーキテクチャ
 - (2) PostgreSQLの環境構築
 - (3) psqlによる基本操作
 - (4) PostgreSQLの管理
5. PHP
 - (1) PHPのアーキテクチャ
 - (2) PHPの処理の流れ
 - (3) PHPの設定
 - (4) PHPプログラミングの基礎
 - (5) PostgreSQLとの連携

備考

- ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXJ072 オープンソースソフトウェア(OSS)

OSS-DB PostgreSQL 導入と運用

2日間

これからPostgreSQLを使用したシステム構築を行う開発者や管理者の方を対象に、PostgreSQLのインストールや基本的な設定、基本的な使い方について解説します。更にバックアップやリストア、PITRなどの運用管理、性能チューニング、障害対応について解説します。

到達目標

PostgreSQLを用いたデータベースシステムの構築や管理作業を行うことができる。

対象者

PostgreSQLを用いたデータベースシステムの構築や管理作業を行う方。

前提知識

データベースについての基礎知識があること。

内容

1. オープンソースデータベースの一般的特徴
2. インストール
3. 標準付属ツール
4. トランザクションとスキーマ
5. アーキテクチャ
6. セキュリティ
7. メンテナンス
8. 実行計画
9. 性能分析
10. 性能改善
11. 障害対応
12. PITR
13. Streaming Replication

備考

このコースは、9:30~17:30の開催とさせていただきます。

Linux

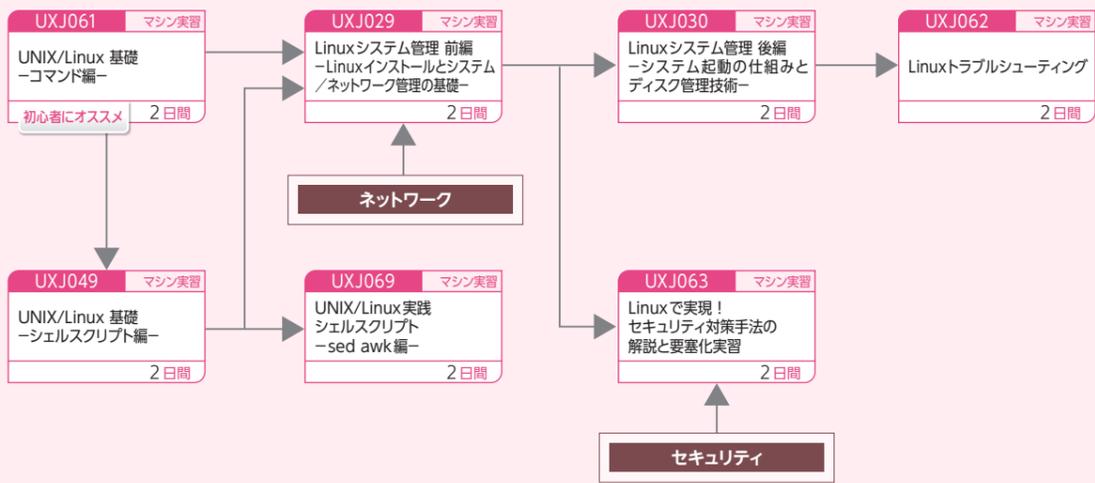
Linuxの機能や操作方法を理解し、システム構築・運用管理に関する技術が修得できます。

● UNIX/Linuxを利用する方

UXJ061 マシン実習
UNIX/Linux 基礎
-コマンド編-
初心者にオススメ 2日間

UXE303 eラーニング
【ナビ機能付き】
【マシン演習付き】
UNIX/Linux基本使用方法
初心者にオススメ 8時間

● Linuxを使用してシステムを構築・運用・管理する方



音声有 +説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
音声有 +説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
音声なし +説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

休講 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス / ヒューマン
グローバル

UXJ061 Linux
 UNIX/Linux 基礎 —コマンド編—
2日間
UNIXおよびLinuxOSの基本機能とコマンドの基本操作を、マシン実習を通して学習します。
到達目標
・UNIX/Linuxの基本的な操作ができる。 ・ネットワークの基本コマンドを実行できる。
対象者
UNIXまたはLinux OSの初心者の方で基礎から学習したい方。
前提知識
コンピュータの基礎知識があること。
内容
1. 概要 2. コマンドの基本操作 3. ファイルシステム 4. viエディタ 5. シェル 6. 知っておくと便利なシェルの機能 7. ネットワークの利用
備考
・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXJ049 Linux
 UNIX/Linux 基礎 —シェルスクリプト編—
2日間
シェルスクリプトの作成に必要なプログラミング技術を修得するとともに、シェルの機能をより深く理解することができます。
到達目標
・シェルスクリプトの概要を説明できる。 ・変数、配列、算術、文字列操作の基本操作ができる。 ・制御文の基本を説明できる。 ・関数を利用した簡単な応用スクリプトを作成できる。
対象者
UNIX/Linuxでシェルスクリプトの作成をする方、システム管理者の方。
前提知識
「UNIX/Linux基礎—コマンド編—」コース、または【【ナビ機能付き】【マシン演習付き】UNIX/Linux基本使用方法】eラーニングを修了しているか、または同等の知識があること。
内容
1. シェルとシェルスクリプトの概要 2. パラメータの取り扱い 3. 算術評価と文字列操作 4. 制御文(分岐/繰り返しなど) 5. 関数の利用 6. 実践的なシェルスクリプト
備考
・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXE303 Linux
 <eラーニング> 【ナビ機能付き】【マシン演習付き】 UNIX/Linux基本使用方法
8時間
UNIX/Linuxの基本的なコマンドの機能、使用方法を学習します。
到達目標
・UNIX/Linuxの基本的な操作ができる。 ・ネットワークの基本コマンドを実行できる。
対象者
UNIX/Linux初心者の方で、基礎から学習したい方。
前提知識
オペレーティングシステムおよびネットワークに関する基本的な知識があること。
内容
1. UNIX/Linux概要 2. ファイルシステムとコマンド 3. ファイルとディレクトリのパーミッション 4. viエディタ 5. シェルの機能 6. UNIX/Linuxのネットワーク操作 7. 修了試験
備考
・サービス有効期限は21日間です。 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・説明の画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

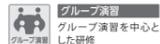
UXJ062 Linux
 Linuxトラブルシューティング
2日間
Linuxで発生するトラブルの原因分析方法と解決策を学習します。マシン実習では、運用中に実際に発生する可能性のあるトラブルを再現し、原因の分析と復旧作業を行います。
到達目標
・トラブル発生時の対応手順を説明できる。 ・Linuxシステムのトラブル発生時に、緊急ブート手段でブートできる。 ・Linuxシステムのトラブル発生状況から原因を究明し復旧できる。
対象者
Linuxシステムを運用・管理する方。
前提知識
「Linuxシステム管理 後編—システム起動の仕組みとディスク管理技術—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容
1. トラブルシューティング概要 (1) トラブルの種類 (2) トラブルシューティングの流れ (3) 情報の収集手段 (4) バックアップとリストア (5) トラブル発生時のLinux起動 2. ブート時のトラブルシューティング (1) ブートの仕組み (2) ブートデバイス関連のトラブルシューティング (3) ブートローダ関連のトラブルシューティング (4) init/systemd関連のトラブルシューティング 3. システム稼働中のトラブルシューティング (1) ログインの仕組み (2) ログイン関連のトラブルシューティング (3) ファイルシステムの仕組み (4) ファイルシステム関連のトラブルシューティング 4. ネットワークのトラブルシューティング (1) ネットワークコマンドと設定ファイル (2) ネットワークトラブルの原因と調査方法 (3) ネットワーク設定関連のトラブルシューティング
備考
・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXJ063 Linux
 Linuxで実現! セキュリティ対策手法の解説と要塞化実習
2日間
Linuxシステムを用いたセキュリティ対策手法を学習します。また、マシン実習を通して、SSH、Netfilter、Snort、Tripwireの設定および操作を体験します。
到達目標
・SSHを利用して、安全な通信ができる。 ・Netfilterを利用して、パケットフィルタリングを実装できる。 ・Snortを利用して、IDSを実装できる。 ・Tripwireを利用して、ファイルの改ざん検知ができる。
対象者
Linuxシステムを運用・管理する方。
前提知識
「Linuxシステム管理 前編—Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容
1. セキュリティの概要とLinuxにおけるセキュリティ対策 2. SSHによるセキュアリモートアクセス 3. NetfilterによるパケットフィルタリングとNAT 4. Snortによる侵入検知 5. Tripwireによるファイルの改ざんチェック
備考
・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXJ069 Linux
 UNIX/Linux実践シェルスクリプト —sed awk編—
2日間
システム運用を効率化する実践的なシェルスクリプトを理解し、システム運用に必要なシェルスクリプトの作成方法を学習します。
到達目標
・正規表現が理解できる。 ・sed、awkのシェルスクリプトを業務で活用できる。 ・実践的なシェルスクリプトを作成できる。
対象者
・既存コースと同様UNIX/Linuxでシェルスクリプトの作成をする方。 ・UNIX/Linuxシステムを管理する方。
前提知識
「UNIX/Linux基礎—シェルスクリプト編—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容
1. パターンマッチングと正規表現 (1) シェルの種類とシェルスクリプト (2) 変数による文字列の取り扱い (3) 正規表現 2. sed (1) sedとは (2) sedを用いたテキスト編集 (3) sedの応用的な機能 3. awk (1) awkとは (2) 基本的なawkプログラミング (3) awkの編集処理の流れと制御文 (4) awkの関数 4. 実践的なシェルスクリプトの作成
備考
・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXJ029 Linux
 Linuxシステム管理 前編 —Linuxインストールと システム/ネットワーク管理の基礎—
2日間
Linuxシステムの管理や運用に必要な基礎知識を学習します。また、マシン実習を通して、インストール、ユーザ管理、およびネットワーク設定方法などのシステム管理作業を体験します。
到達目標
・Linuxをインストールできる。 ・Linuxシステムの運用・管理が必要となる、ユーザ管理、パッケージ管理およびログ管理などができる。 ・Linuxにてネットワークを利用するための設定ができる。
対象者
Linuxシステムをはじめて運用・管理する方。
前提知識
「UNIX/Linux基礎—コマンド編—」および「ネットワーク基礎—Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容
1. Linuxシステム管理の基礎 2. Linuxのインストール 3. ネットワークの基本設定とサービス制御 4. ユーザ・グループ管理 5. パッケージ管理 6. ログの取得と管理 7. バックアップとリストア
備考
・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・Linuxシステムの管理を行う方には、あわせて「Linuxシステム管理 後編—システム起動の仕組みとディスク管理技術—」コースのご受講を推奨します。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXJ030 Linux
 Linuxシステム管理 後編 —システム起動の仕組みと ディスク管理技術—
2日間
Linuxシステムの起動の方法、およびディスク管理に必要な知識を学習します。また、マシン実習を通して、ファイルシステムの構築方法やLVMのディスク管理方法を体験します。
到達目標
・Linuxシステムの起動の仕組みを説明できる。 ・新規にパーティションやファイルシステムの作成ができる。 ・LVMやiSCSIによる高度なディスク管理ができる。
対象者
Linuxシステムを運用・管理する方。
前提知識
「Linuxシステム管理 前編—Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容
1. システムの起動 2. ファイルシステムの作成と管理 (1) ファイルシステムの作成手順 (2) ファイルシステムの修復 (3) ファイルシステムの管理 (4) ファイルシステムの使用量の制限 3. LVM概要と環境構築 4. LVMの管理 (1) LVMの特性変更 (2) LVMの拡張 (3) LVMの縮小 (4) LVMの削除 5. iSCSI (1) ストレージの共有 (2) iSCSIとは (3) iSCSIの設定 (4) iSCSIの冗長化
備考
・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。



日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス / ヒューマン
グローバル

Windows Server 2019の新機能を知りたい方

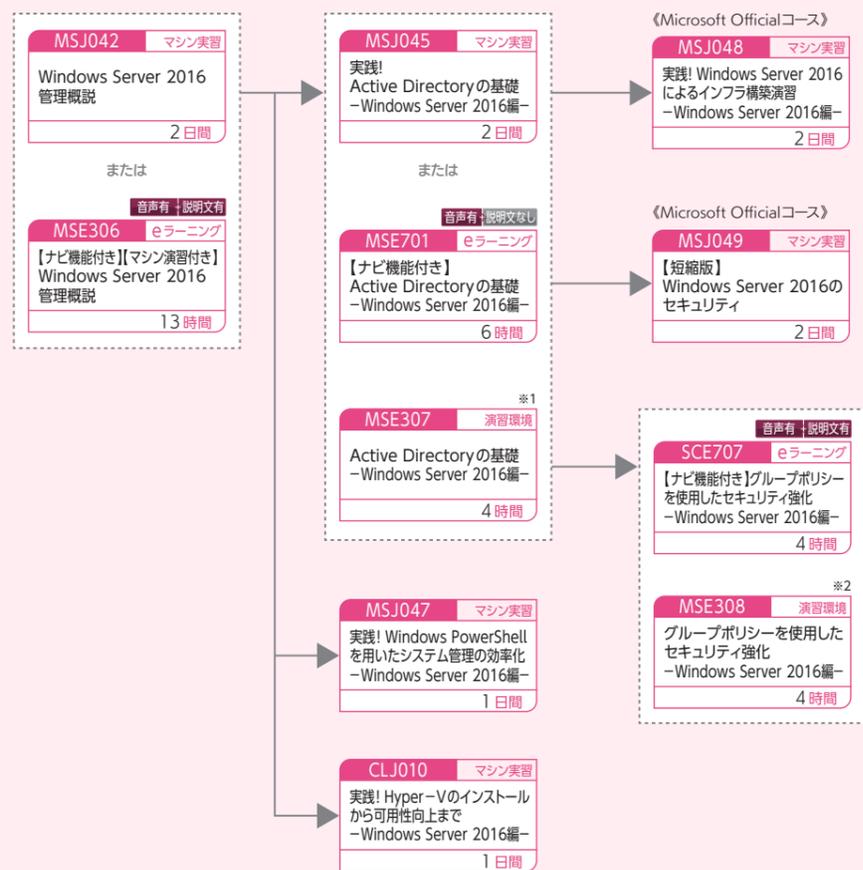
New

MSJ051 マシン実習

ここが新しい!
Windows Server 2019
新機能

1 日間

Windows Server 2016を使用してシステムを構築・運用・管理する方



※1:「MSE307<演習環境>Active Directoryの基礎-Windows Server 2016編-」は「MSE701<eラーニング>【ナビ機能付き】Active Directoryの基礎-Windows Server 2016編-」の修了後のご受講をお薦めします。

※2:「MSE308<演習環境>グループポリシーを使用したセキュリティ強化-Windows Server 2016編-」は「SCE707<eラーニング>【ナビ機能付き】グループポリシーを使用したセキュリティ強化-Windows Server 2016編-」の修了後のご受講をお薦めします。

音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

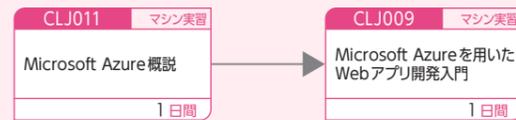
音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

Windows Server 2012を使用してシステムを構築・運用・管理する方



Microsoft Azureを使用してシステムを構築する方



SharePointを使用してポータルサイトを作成する方

OAE026 eラーニング

SharePointによる
社内ポータル作成入門

3 時間

資格 マイクロソフト認定資格

マイクロソフト認定資格は、Microsoft テクノロジーにおける専門知識を証明するものです。マイクロソフト認定プロフェッショナルは、コミュニティ リソースやツールにアクセスして、仲間とアイデアを交換して自身の知識やスキルを高めたり、キャリアの可能性を広げたりできます。

詳しくは、日立アカデミーのwebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/intro/license/mcp/index.html>

Microsoft
CERTIFIED
Professional

休講 休講
今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

Microsoft
日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス / ヒューマン
グローバル

 マシン実習	 グループ演習	 レクチャ
---	--	--

マシン実習 マシンを使用しながらの研修

グループ演習 グループ演習を中心とした研修

レクチャ 座学による研修

 演習環境	 eラーニング	 自己テキスト
--	--	--

演習環境 職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習

eラーニング

インターネット接続による自己学習

自己テキスト

自己学習

Microsoft

Microsoft
ここが新しい! Windows Server 2019新機能 New
1日間
Windows Server 2019の新機能の概要について、マシン実習を通して学習します。
到達目標
対象者
前提知識
内 容
備 考

Microsoft
実践！Active Directoryの基礎 –Windows Server 2016編–
2日間
Windows Server 2016にActive Directoryをインストールし、ドメインの構築・運用・管理するために必要な基礎知識を体系的に学習します。なお、このコースの学習項目は、「実践！Active Directoryの基礎–Windows Server 2016編–」コースと同一です。
到達目標
対象者
前提知識
内 容
備 考

・Active Directoryの概要と実装方法が説明できる。
・Active Directoryを使用してドメイン環境を管理できる。
・グループポリシーの実装ができる。
・Active Directoryのバックアップと復元ができる。
対象者
Active Directoryを設計・構築・管理する方、またはActive Directoryの導入を検討している方、Active Directoryの基礎知識をご存じない方。
前提知識
【【ナビ機能付き】【マシン演習付き】Windows Server 2012管理概説】eラーニングコース、または「Windows Server 2016管理概説」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容
1. Active Directoryドメインサービスの概要
2. Active Directoryドメインサービスの実装
3. Active Directoryドメインのオブジェクト管理
4. グループポリシーの実装と管理
5. Active DirectoryドメインサービスとDNS
6. サイトの構成
7. 信頼関係の構成
8. Active Directoryドメインサービスのバックアップと復元
備 考
・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

Microsoft
Windows Server 2016管理概説
2日間
Windows Server 2016を使用してWindowsシステムを構築・運用・管理するために必要な技術の概要を、マシン実習を通して学習します。
到達目標
対象者
前提知識
内 容
備 考

Microsoft
<eラーニング>【ナビ機能付き】Active Directoryの基礎 –Windows Server 2016編–
6時間
Windows Server 2016にActive Directoryをインストールし、ドメインの構築・運用・管理するために必要な基礎知識を体系的に学習します。なお、このコースの学習項目は、「実践！Active Directoryの基礎–Windows Server 2016編–」コースと同一です。
到達目標
対象者
前提知識
内 容
備 考

・Active Directoryの概要と実装方法について説明できる。
・グループポリシーの管理について説明できる。
・Active Directoryのバックアップと復元について説明できる。
対象者
・Active Directoryを設計・構築・管理する方。
・Active Directoryの導入を検討している方。
前提知識
「Windows Server 2016 管理概説」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容
1. Active Directoryドメインサービスの概要
2. Active Directoryドメインサービスの実装
3. Active Directoryドメインのオブジェクト管理
4. グループポリシーの実装と管理
5. Active DirectoryドメインサービスとDNS
6. サイトとグローバルカタログサーバーの構成
7. 複数ドメイン環境の構成
8. Active Directoryドメインサービスのバックアップと復元
備 考
・学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必須です。）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

Microsoft
<eラーニング>【ナビ機能付き】【マシン演習付き】Windows Server 2016管理概説
13時間
Windows Server 2016を使用してWindowsシステムを構築・運用・管理するために必要な技術の概要を、マシン実習を通して学習します。なお、このコースの学習項目は、「Windows Server 2016管理概説」コースと同一です。
到達目標
対象者
前提知識
内 容
備 考

Microsoft
<演習環境>Active Directoryの基礎 –Windows Server 2016編–
4時間
Active Directoryの構築・運用・管理方法を、当社の提供するクラウド上のマシンを使用して学習します。このコースは、クラウド上に演習環境をセットアップしたマシンと、演習題材を利用できるマシン演習環境サービスです。
到達目標
対象者
前提知識
内 容
備 考

・Active Directoryの構築・運用・管理を実装できる。
・Active Directoryの管理に関する操作スキルを身につけたいが自身で構築することは困難な方。
・Active Directoryの管理に関する検証を行いたいが実際の運用環境では試せない方。
前提知識
「Windows Server 2016 管理概説」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容
1. Active Directoryドメインサービスの実装
2. Active Directoryドメインのオブジェクト管理
3. グループポリシーの実装と管理
4. Active DirectoryドメインサービスとDNS
5. サイトとグローバルカタログサーバーの構成
6. 複数ドメイン環境の構成
7. Active Directoryドメインサービスのバックアップと復元
備 考
・サービス有効期限は21日間です。
・このコースは、演習問題と、それに必要なデータ、マシン環境が利用できるマシン演習環境サービスです。
・このコースの学習要領・学習利用環境をご確認のうえ、お申し込みください。
https://www.hitachi-ac.co.jp/course/intro/mc/index.html
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

Microsoft
<eラーニング>【ナビ機能付き】グループポリシーを使用したセキュリティ強化 –Windows Server 2016編–
4時間
Windows環境のセキュリティを向上するために用意されているグループポリシーを、シナリオベースで紹介します。
到達目標
対象者
前提知識
内 容
備 考

Microsoft
実践！Hyper-Vのインストールから可用性向上まで –Windows Server 2016編–
1日間
Microsoft社の仮想化技術であるHyper-Vを使った仮想サーバーの管理の基礎を、Windows Server 2016を使用して学習します。また、与えられた要件を基に、適切な機能を選択し、実装を行う演習により、実践力の強化を図ります。
到達目標
対象者
前提知識
内 容
備 考

・Hyper-Vによるサーバー仮想化の概要を説明できる。
・与えられた要件を基に、Hyper-Vを適切にインストールできる。
・与えられた要件を基に、Hyper-V上に仮想マシンを作成し、ゲストOSをインストールできる。
・Hyper-Vに作成できる仮想スイッチの違いを理解し、要件に応じて適切な仮想スイッチを使用できる。
・Hyper-Vに作成できる仮想ハードディスクの違いを理解し、要件に応じて適切な仮想ハードディスクを使用できる。
・仮想マシンの運用時、チェックポイントや仮想マシンのバックアップ、仮想マシンのインポート/エクスポートを適切に実行できる。
・仮想マシンの可用性向上のため、マイグレーションやHyper-Vレプリカの特徴を踏まえ、適切な方法で仮想マシンの可用性向上を実装できる。
対象者
Hyper-V上で動作する仮想サーバーを構築、運用、管理する方。
前提知識
「Windows Server 2016 管理概説」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容
1. Hyper-Vの概要
2. Hyper-Vのインストール
3. 仮想マシンの作成
(1) ウィザードによる仮想マシンの作成
(2) ゲストOSのインストール
(3) 統合サービスのインストール
4. 仮想スイッチの管理
(1) 仮想スイッチの概要
(2) 仮想スイッチの種類
(3) 仮想スイッチの作成と仮想マシンの接続
5. 仮想ハードディスクの管理
(1) 仮想ハードディスクの概要
(2) 仮想ハードディスクの種類
(3) 仮想ハードディスクの作成と接続
6. 仮想マシンの運用
(1) 仮想マシンの操作
(2) 仮想マシンの設定
(3) チェックポイントの利用
(4) 仮想マシンのインポート/エクスポート
(5) 仮想マシンのバックアップ
7. 仮想マシンの可用性向上
(1) 可用性向上のための機能
(2) 仮想マシンのマイグレーション
(3) Hyper-Vレプリカ
備 考
・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

休 講

休 講
今期の定期開催はありません

Microsoft
<演習環境>グループポリシーを使用したセキュリティ強化 –Windows Server 2016編–
4時間
グループポリシーを実装してWindows環境のセキュリティを強化する方法を、クラウド上のマシンを使用して学習します。このコースは、クラウド上に演習環境をセットアップしたマシンと、演習題材を利用できるマシン演習環境サービスです。
到達目標
対象者
前提知識
内 容
備 考

Microsoft
実践！Windows Server 2016によるインフラ構築演習 –Windows Server 2016編–
2日間
Microsoft社の認定テキストを事前配布し、反転学習による知識の修得後に、Windows Server 2016を使用して、要件に基づいたインフラの設計・実装を行う総合演習を実施します。 ※受講前に事前配布テキストの内容を必ずご確認ください。
到達目標
対象者
前提知識
内 容
備 考

・Windows Server 2016のインストールと構成ができる。
・DNSサーバーを構築できる。
・Active Directoryを構築できる。
・DHCPサーバーを構築できる。
・フェールオーバークラスターを構成できる。
Windows Serverについて基本的な知識を持っているが、より実践的な実装スキルを身につけたい方。
前提知識
「実践！Active Directoryの基礎–Windows Server 2016–」コース、または【【ナビ機能付き】Active Directoryの基礎–Windows Server 2016編–】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容
1. Windows Server 2016のインストールと構成
2. DNSの実装
3. ドメインコントローラのインストールと構成
4. AD DSでのオブジェクトの管理
5. DHCPの実装
6. フェールオーバークラスタリングの実装
備 考
・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
・このコースは、マイクロソフト認定コースより、テーマごとに内容の一部を抽出し、再構成したコースです。
・このコースは、arvato社の電子テキストを使用します。事前に氏名とメールアドレスによるskillpipeのアカウント登録をお願いします。
・【事前学習のお願い】このコースでは、事前にダウンロードした電子テキストを学習したうえで、演習中心のコースをご受講いただけます。事前学習には概ね6時間を必要とします。
・このコースは、開始日の20営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。

Microsoft
実践！Windows PowerShellを用いたシステム管理の効率化 –Windows Server 2016編–
1日間
PowerShellを用いたWindowsシステムの管理方法を、マシン実習を通して学習します。また、与えられた要件をもとにPowerShellスクリプトを作成する演習を用意し、実践的な力の強化に繋がります。
到達目標
対象者
前提知識
内 容
備 考

Microsoft
【短縮版】Windows Server 2016のセキュリティ
2日間
Microsoft社の認定テキストを事前配布し、反転学習による知識の修得後に、Windows Server 2016を使用して、要件に基づいたセキュリティの設計・実装を行う演習を実施します。 ※受講前に事前配布テキストの内容を必ずご確認ください。
到達目標
対象者
前提知識
内 容
備 考

Windowsサーバーの堅牢化に際し、ガイドラインやベストプラクティスを理解したうえで、適切なセキュリティの実装ができる。
Windows Serverについて基本的な知識を持っているが、より具体的なセキュリティの実装スキルを身につけたい方。
前提知識
「実践！Active Directoryの基礎–Windows Server 2016–」コース、または【【ナビ機能付き】Active Directoryの基礎–Windows Server 2016編–】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容
1. 攻撃と侵害の検出とSysinternals ツール
2. 真偽情報の保護と特権アクセス
3. Just Enough Administrationによる管理者権限の制限
4. 特権アクセス管理と管理フォレスト
5. マルウェアおよび脅威の軽減
6. 詳細な監査とログ分析によるアクティビティの分析
7. Microsoft Advanced Threat AnalyticsとMicrosoft Operations Management Suiteの展開と構成
8. 仮想化インフラストラクチャのセキュリティ保護
9. アプリケーション開発およびサーバーワークロードインフラストラクチャのセキュリティ保護
10. データの保護と計画
11. ファイル サービスの最適化およびセキュリティ保護
12. ファイアウォールと暗号化によるネットワークトラフィックのセキュリティ保護
13. ネットワーク トラフィックのセキュリティ保護
14. Windows Serverの更新
備 考
・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
・このコースは、arvato社の電子テキストを使用します。事前に氏名とメールアドレスによるskillpipeのアカウント登録をお願いします。
・【事前学習のお願い】このコースでは、事前にダウンロードした電子テキストを学習したうえで、演習中心のコースをご受講いただけます。事前学習には概ね14時間を必要とします。
・このコースは、開始日の20営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。

Microsoft
日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advance Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス / ヒューマン
グローバル

MSE305 Microsoft

<eラーニング>【ナビ機能付き】【マシン演習付き】Windows Server 2012管理概説

Windows Server 2012 (R2) を使用してWindowsシステムを構築・運用・管理するために必要な技術の概要を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- Windows Server 2012 (R2) の概要が説明できる。
- ローカルユーザー、ドメインユーザーを管理できる。
- ファイルサーバーを構成し、資源を管理できる。
- Windows Server 2012 (R2) のトラブルシューティングを実施できる。

対象者

Windows Server 2012(R2)を使用しシステムを管理される方、またはWindows Server 2012(R2)の導入を検討している方。

前提知識

Windows インターフェイスの十分な使用経験があり、「ネットワーク基礎」コース、または【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎 II -TCP/IPの仕組み】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- Windows Server 2012 (R2) 概要
- Windows Server 2012 (R2) のインストール
- サーバー管理ツール
- ワークグループ環境のアカウント管理
- ドメイン環境のアカウント管理
- ポリシーの概要
- ディスクの管理
- アクセス許可の設定
- ファイルサーバーの構築
- サーバーの監視
- サーバーのバックアップ
- 修了試験

備考

- サービス有効期限は21日間です。
- 【お申し込み前にお読みください】
 - 説明の画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
 - このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
 - このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf
 - このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
 - 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるPC/コンにてご参照ください。
 - 学習開始日10営業日前を過ぎてもキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前にお読みください。お申し込み方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

MSE304 Microsoft

<eラーニング>【マシン演習付き】Active Directoryの基礎

Windows Server 2012 (R2)にActive Directoryをインストールし、ドメインの構築・運用・管理するために必要な技術を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- Active Directoryの概要と実装方法が説明できる。
- Active Directoryを使用してドメイン環境を管理できる。
- グループポリシーを実装できる。
- Active Directoryのバックアップと復元ができる。

対象者

Active Directoryを設計・構築・管理する方。

前提知識

【【ナビ機能付き】【マシン演習付き】Windows Server 2012 管理概説】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- Active Directoryドメインサービスの概要
- Active Directoryドメインサービスの実装
- Active Directoryドメインのオブジェクト管理
- グループポリシーの実装と管理
- Active DirectoryドメインサービスとDNS
- サイトとグローバルカタログサーバーの構成
- 複数ドメイン環境の構成
- Active Directoryドメインサービスのバックアップと復元
- 修了試験

備考

- サービス有効期限は21日間です。
- 【お申し込み前にお読みください】
 - 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
 - このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
 - このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf
 - このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
 - 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
 - 学習開始日10営業日前を過ぎてもキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前にお読みください。お申し込み方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

OAE026 Microsoft

<eラーニング>SharePointによる社内ポータル作成入門

SharePointを利用したポータルサイトの構築を学習します。

到達目標

SharePointを利用して、ポータルサイトを構築することができる。

対象者

- 職種、年齢層にかかわらずSharePointでサイトを構築される方。
- SharePointでサイトを構築する必要があるが、サイトを構築する方法がわからない方。

前提知識

特に必要としません。

内容

- SharePointの概要
- SharePointの代表的なアプリ
- SharePointのサイト構築
- SharePointのサイト管理
- Outlookとの連携
- SharePoint 2010ベースのワークフローの実装
- 修了試験

備考

- 学習終了日は3月31日になります。
- 説明の画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前にお読みください。お申し込み方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

ネットワーク

ネットワークの構成を理解し、LANおよびWANに接続したシステム設計・構築・運用管理に関する技術が修得できます。

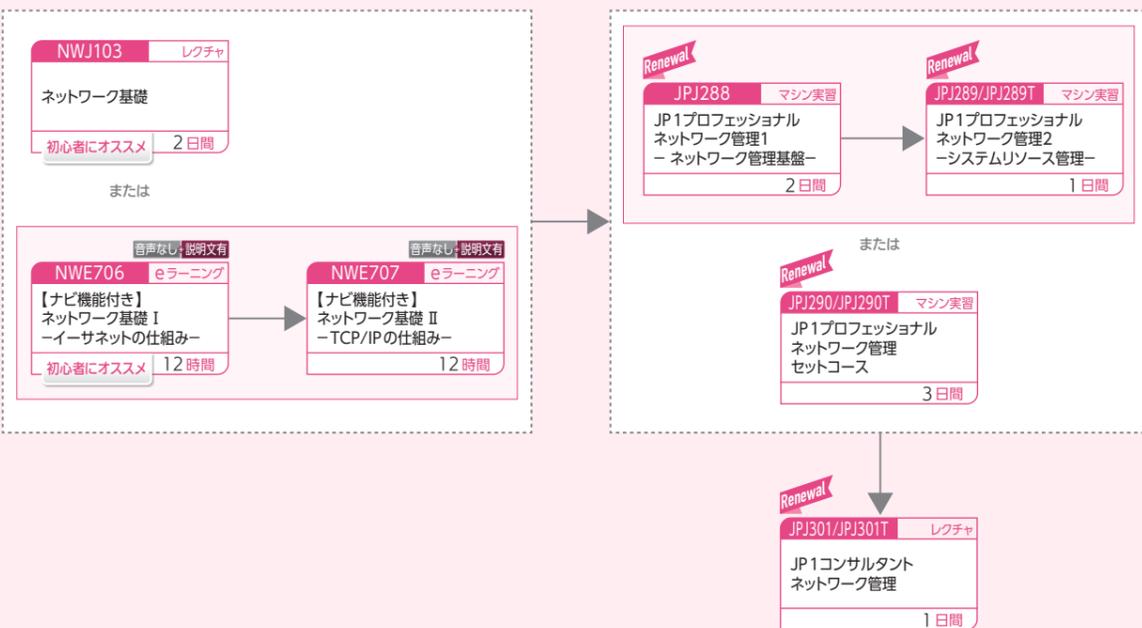
● ネットワークを設計・構築・運用する方、技術を詳しく学びたい方



インターネットサーバを構築・運用・管理する方



JP1 ネットワーク管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



ワイヤレスネットワークを設計・構築・運用する方、技術を幅広く学びたい方



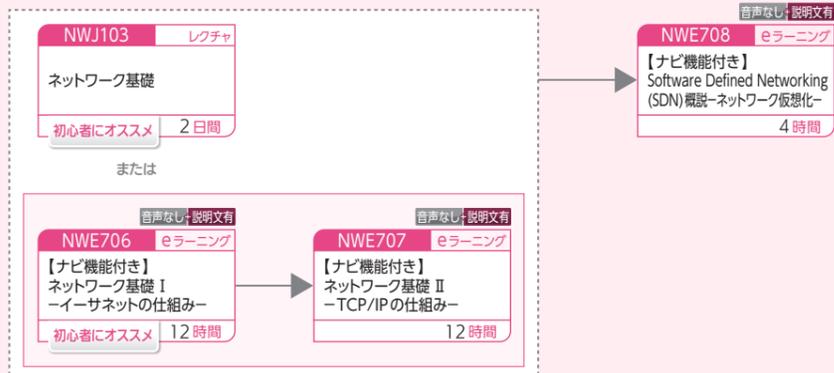
音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

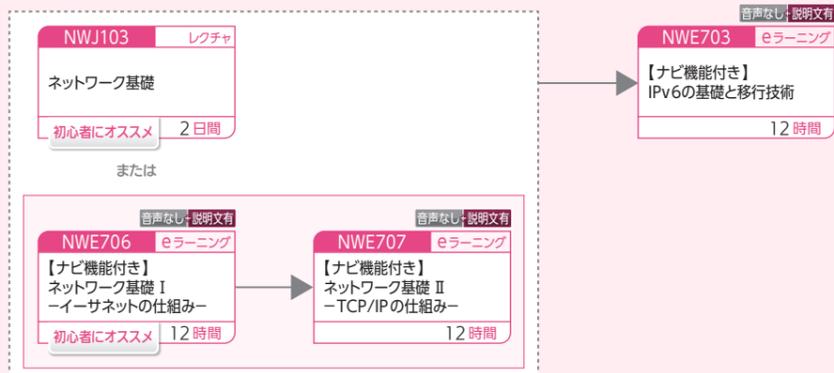
音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

ネットワークの最新動向を学びたい方



IPv6ネットワークを構築・運用・管理する方、技術を詳しく学びたい方



ネットワークシステム、インターネットを利用する方



休講 : 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス / ヒューマン
グローバル

NWJ138 ネットワーク
 ネットワークインフラ構築 —ルータ編— 2日間
LANでのルーティング技術について、ルータを使ったマシン実習を通して学習します。
到達目標 小規模ネットワークにおけるルーティング設定ができる。 対象者 ルータを使用したネットワークを構築、管理する方。 前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ—TCP/IPの仕組み—」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 内 容 1. ルータの基本操作 2. ルーティングの基礎 3. スタティックルーティング 4. ダイナミックルーティング (シングルエリアOSPF) 5. ダイナミックルーティング (マルチエリアOSPF) 6. ダイナミックルーティング (BGP) 7. 経路再配布 備考 ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

NWJ133 ネットワーク
 ネットワークインフラ構築 —スイッチ編— 2日間
L3スイッチを使ったマシン演習を通し、VLAN、リンクアグリゲーション、STP、ルーティング、フィルタリング、運用管理について学習します。
到達目標 L3スイッチによるネットワークを構築できる。 対象者 LANスイッチを使用したネットワークを構築、管理する方。 前提知識 「ネットワークインフラ構築—基礎編—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 内 容 1. スイッチの概要 2. スイッチの基本操作 (コンフィギュレーション、ミラーポート) 3. VLAN (ポートVLAN、タグVLAN、VLAN間ルーティング) 4. リンクアグリゲーション 5. STP (RSTP、MSTP) 6. パケットフィルタリング (ACL) 7. 運用管理 (SNMP、Syslog) 備考 このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。

NWJ120 ネットワーク
 ネットワークインフラ構築 —冗長化・負荷分散編— 2日間
高可用ネットワークを実現するための冗長化技術および負荷分散技術について、マシン実習を通して学習します。
到達目標 ・冗長化技術を用いたネットワークを設計・構築できる。 ・負荷分散技術を用いたネットワークを設計・構築できる。 対象者 ネットワークインフラを設計、構築、管理する方。 前提知識 「ネットワークインフラ構築—スイッチ編—」および「ネットワークインフラ構築—ルータ編—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 内 容 1. L2冗長化・負荷分散 (STP、RSTP、MSTP) 2. L3冗長化・負荷分散 (OSPF、RIP) 3. ゲートウェイ冗長化 (VRRP) 4. ロードバランサによる負荷分散 5. NIC冗長化 (チームング) 6. 総合演習 備考 このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。

NWE704 ネットワーク
 <eラーニング>【ナビ機能付き】 ネットワーク管理解説 6時間
ネットワークの運用管理の対象となる項目 (構成管理・性能管理・障害管理等) と、ネットワーク運用管理において利用するプロトコル、各種管理ツールの特徴について学習します。
到達目標 ・ネットワークの管理項目 (構成管理・性能管理・障害管理等) について説明できる。 ・セキュリティを確保した、小規模・中規模な無線LAN環境が構築できる。 ・各種管理ツールの利用方法・特徴について説明できる。 ・SNMPによるネットワーク管理の構成要素と、要素の概要を説明できる。 対象者 情報システムにおけるネットワークの運用管理を行う方。 前提知識 「ネットワークインフラ構築—基礎編—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 内 容 1. ネットワーク管理の概要 2. 資産・構成管理 3. 性能管理 4. 障害管理 5. ネットワーク管理ツール 6. SNMPを用いたネットワーク管理 7. 修了試験 備考 ・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

NWJ109 ネットワーク
 無線LAN環境構築 2日間
無線LAN技術の基礎知識および発展的な知識について、マシン実習を通して学習します。
到達目標 ・無線LANで利用される代表的な技術について説明できる。 ・セキュリティを確保した、小規模・中規模な無線LAN環境が構築できる。 ・無線LANシステムの要件定義から、設計・構築・運用までの全体的な流れを説明できる。 対象者 無線LANを利用したネットワークを設計、構築・運用する方、業務で無線LANについての知識を必要とする方。 前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ—TCP/IPの仕組み—」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 内 容 1. 無線LANの概要 2. 物理層に関わる技術 3. データリンク層に関わる技術 4. 無線LAN規格の動向 5. 無線LANのセキュリティ技術 6. 大規模な無線LAN環境構築技術 7. 無線LANの設計・導入 備考 このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。

NWE708 ネットワーク
 <eラーニング>【ナビ機能付き】 Software Defined Networking (SDN) 概説—ネットワーク仮想化— 4時間
Software Defined Networking (SDN) の概要を学習します。
到達目標 Software Defined Networking (SDN) の概要を説明できる。 対象者 Software Defined Networking (SDN) 技術に興味のある方、ネットワーク仮想化技術に興味のある方。 前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ—TCP/IPの仕組み—」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 内 容 1. Software Defined Networking (SDN) の概要 2. Software Defined Networking (SDN) の要素技術 3. Software Defined Networking (SDN) の活用例 4. 修了試験 備考 ・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

NWJ134 ネットワーク
 ネットワークインフラ構築 —VPN編— 2日間
基本的なVPNの概要、およびインターネットVPNの要素技術について、マシン実習を通して学習します。
到達目標 ・IPsecやSSL/TLSなど、インターネットVPNに必要な要素技術について説明できる。 ・IPsec-VPNを利用してネットワークが構築できる。 ・SSL-VPNを利用してネットワークが構築できる。 対象者 ネットワークを設計、構築、管理、運用する方。 前提知識 「ネットワークインフラ構築—基礎編—」コース、および「【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎—要素技術 (暗号、認証) 編—」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 内 容 1. VPNの概要 2. IPsec-VPN 3. SSL-VPN 4. その他のインターネットVPN関連技術 5. VPN導入例 備考 このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。

NWE703 ネットワーク
 <eラーニング>【ナビ機能付き】 IPv6の基礎と移行技術 12時間
IPv6プロトコルに関連する基礎技術 (アドレス、ヘッダ、ICMP等) と移行技術を学習します。
到達目標 ・IPv6の概要を説明できる。 ・IPv6移行技術の概要を説明できる。 対象者 IPv6の基礎的な知識を必要とする方、ネットワークの設計、構築、運用管理を行う方。 前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ—TCP/IPの仕組み—」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 内 容 1. IPv4の問題点とIPv6の特徴 2. IPv6の仕様 (プロトコルスタックやアドレスなど) 3. ICMPv6の仕様 (アドレス解決やステートレスアドレス自動設定など) 4. IPv6への移行 (移行形態やアドレス設計例など) 5. 修了試験 備考 ・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

NWJ084 ネットワーク
 ネットワークトラブル解決 2日間
ネットワークにおけるトラブルシュートについて、マシン実習を通して学習します。
到達目標 ・トラブルシュートの基礎的な考え方について説明できる。 ・トラフィック解析ツールを利用したトラブルシュートができる。 対象者 ネットワークを構築・管理する方、トラブルの切り分けを行う方。 前提知識 「ネットワークインフラ構築—基礎編—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 内 容 1. ネットワーク概要 2. トラブル解析手順 (1) ネットワークトラブルに対する考え方 (2) トラブルシュートに必要なこと (3) トラブルの絞り込み 3. ルータの基本操作 4. スイッチの基本操作 5. LANアナライザの使用法 6. トラブルシューティング演習 備考 このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。

NWE712 ネットワーク
 <eラーニング>【ナビ機能付き】 基礎から学ぶネットワーク運用管理 12時間
ネットワークの管理項目として、構成管理、性能監視、障害運用を学習します。また、ITシステムの運用管理におけるネットワーク管理の位置づけと運用管理の体制について学習します。
到達目標 ・ネットワークの基礎技術を理解したうえで、運用管理の手法や、活用されている技術について説明できる。 ・ITシステムの運用管理におけるネットワークの管理の位置づけと運用管理について説明できる。 対象者 ・ネットワークの運用管理技術について、ネットワークの基礎技術の復習をしながら学習を進めたい方。 ・運用管理を切り口にネットワークの基礎技術を修得したいITエンジニアや営業の方。 前提知識 特に必要としません。 内 容 1. ネットワーク管理の概要 (1) ネットワーク管理の必要性 (2) ネットワーク管理の概要 2. 構成管理 (1) 構成管理とは (2) 物理構成 (3) 論理構成 3. 性能監視 (1) 性能監視とは (2) 監視のための方法 4. 障害運用 (1) 障害運用とは (2) 障害対応作業 5. ITシステムからみたネットワーク管理と運用管理の体制 (1) 運用管理の対象 (2) 運用管理の体制 6. 修了試験 備考 ・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス / ヒューマン
グローバル

NWJ138 ネットワーク
 ネットワークインフラ構築 —ルータ編— 2日間
LANでのルーティング技術について、ルータを使ったマシン実習を通して学習します。
到達目標 小規模ネットワークにおけるルーティング設定ができる。 対象者 ルータを使用したネットワークを構築、管理する方。 前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ—TCP/IPの仕組み—」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 内 容 1. ルータの基本操作 2. ルーティングの基礎 3. スタティックルーティング 4. ダイナミックルーティング (シングルエリアOSPF) 5. ダイナミックルーティング (マルチエリアOSPF) 6. ダイナミックルーティング (BGP) 7. 経路再配布 備考 ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

ハードウェア

サーバ・ストレージシステムの構築・活用に有効なハードウェア技術が修得できます。

● SAN関連業務に携わる方

音声有 <small>+</small> 説明文なし
SJE705 eラーニング
【ナビ機能付き】 SAN概説
5時間

● サーバ・ストレージシステムを活用・構築する方

音声有 <small>+</small> 説明文なし
SJE016 eラーニング
Fibre Channel概説 一日立ストレージ・ホストの接続を理解するために
4時間

音声有 <small>+</small> 説明文なし
SJE028 eラーニング
SCSI入門 —ストレージインタフェースを理解するために—
2時間

● サーバ製品の設計・システム構築に携わる方

音声有 <small>+</small> 説明文なし
SJE018 eラーニング
SAS (Serial Attached SCSI) 入門—ストレージインタフェースを理解するために—
2時間

● HDDを含む製品の開発に携わる方

音声有 <small>+</small> 説明文なし
SJE017 eラーニング
SATA入門
2時間

音声有 + 説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有 + 説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし + 説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

SJE705 ハードウェア
<eラーニング> [ナビ機能付き] SAN概説
5時間

SAN (Storage Area Network) およびSAN関連製品に携わっていくためのSANの基礎知識を学習します。

到達目標	SANの全体像が説明できる。
対象者	SAN関連業務に従事する方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. SANとは 2. SANトポロジ (FC-SAN、IP-SAN) 3. SANソリューション バックアップ、ディザスタリカバリ、ストレージ仮想化 4. ストレージ管理 5. NAS (Network Attached Storage) / データアーカイブ 6. 修了試験
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SJE016 ハードウェア
<eラーニング>Fibre Channel概説—一日立ストレージ・ホストの接続を理解するために—
4時間

ホスト・ストレージ間接続に使用されるFibre Channelについての基礎知識を学習します。

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・Fibre Channelに関する用語を使いこなすことができる。 ・サーバ・ストレージ製品で使用されているFibre Channel技術を理解できる。
対象者	日立ストレージに関する業務を担当している方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. Fibre Channelの歴史と特徴 2. Fibre Channelハードウェア <ol style="list-style-type: none"> (1) メディアタイプ (2) FC-Switch 3. Fibre Channel基本事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) トポロジ (2) アドレス構成 4. 憶えておきたいキーワード 5. Fibre Channel詳細/各レイヤの詳細 6. 修了試験
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SJE028 ハードウェア
<eラーニング>SCSI入門—ストレージインタフェースを理解するために—
2時間

ホスト (UNIX・Windows) とストレージ (HDD) を接続するインタフェースであるSCSIの基本事項について、パラレルSCSIを中心に学習します。

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・パラレルSCSIのシステム構成を説明できる。 ・パラレルSCSIの動作概要を説明できる。 ・シリアルSCSIの種類と特徴を説明できる。
対象者	サーバ・ストレージなどSCSIを使用した製品に関する業務を担当する方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. SCSIとは 2. パラレルSCSI概要 <ol style="list-style-type: none"> (1) ハードウェア (2) システム構成 3. パラレルSCSI詳細 <ol style="list-style-type: none"> (1) コマンド体系 (2) ステータス、センスデータ (3) コマンドシーケンス 4. 関連事項 <ul style="list-style-type: none"> Command Queuing機能 5. 修了試験
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SJE018 ハードウェア
<eラーニング> SAS (Serial Attached SCSI) 入門—ストレージインタフェースを理解するために—
2時間

SASの基本知識を学習します。

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・SASのシステム構成を説明できる。 ・SASの動作概要を説明できる。 ・SASのSATAデバイスサポートを説明できる。
対象者	サーバ・ストレージなどHDDを使用した製品に関する業務を担当する方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. SASとは 2. SAS概要 <ol style="list-style-type: none"> (1) ハードウェア (2) システム構成 3. SAS詳細 <ol style="list-style-type: none"> (1) データ転送 (2) コマンド体系 (3) コマンドシーケンス 4. SASのSATAデバイスサポート 5. 修了試験
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SJE017 ハードウェア
<eラーニング>SATA入門
2時間

SATAの機能・システム構成・内部動作を学習します。

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・SATAの機能、システム構成を説明できる。 ・SATAの内部動作を理解できる。
対象者	サーバ・ストレージなどHDDを使用した製品に関する業務を担当する方。
前提知識	PCの構造を理解していること。
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ATAとは <ol style="list-style-type: none"> (1) 歴史 (2) ATAのシステムのな位置づけ 2. パラレルATA <ol style="list-style-type: none"> (1) システム構成 (2) レジスタインタフェース (3) 基本的なシーケンス 3. シリアルATA (SATA) <ol style="list-style-type: none"> (1) パラレルATAとの異なり/システム構成 (2) 基本的なシーケンス (3) 独自機能 コマンドキューイング・SAS連携 4. 修了試験
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

休 講 休 講
今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

セキュリティ

個人情報保護や情報セキュリティに関する基礎知識、セキュリティを考慮したシステム構築・管理に必要な技術が修得できます。

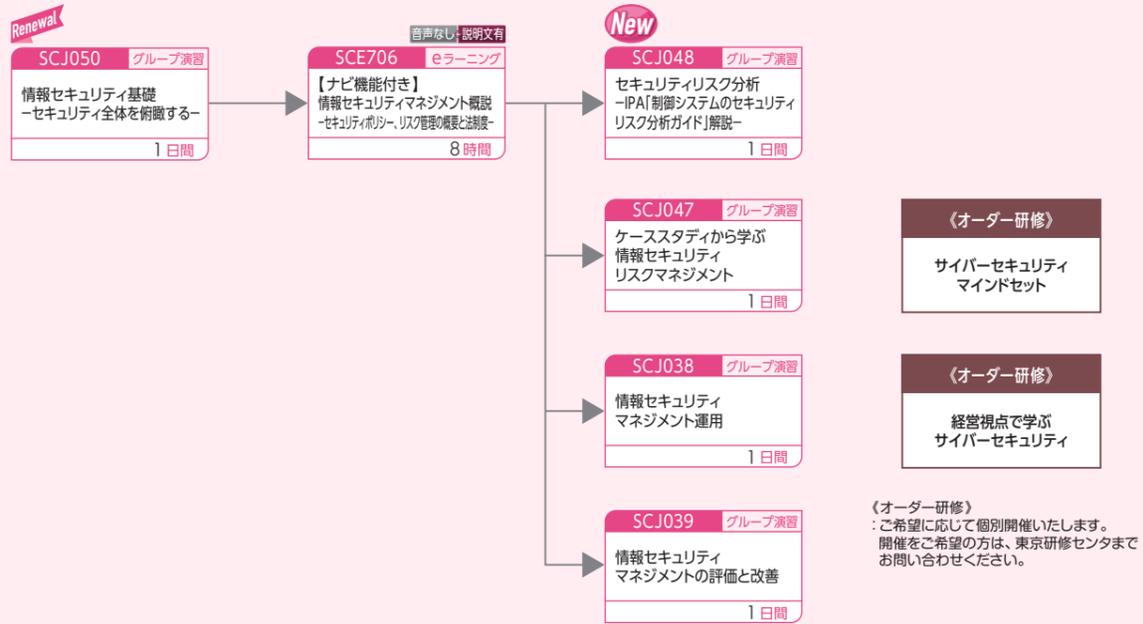
● セキュリティの最新動向を知りたい方

SCJ041 レクチャ
セキュリティ最新動向
0.5日間

● 社会人としてのセキュリティ意識を身につけたい方

SCE708 eラーニング
【ナビ機能付き】
情報セキュリティリテラシー
-セキュリティの必要性と対策-
初心者におすすめ 4時間

● 企業内の情報セキュリティを管理する方

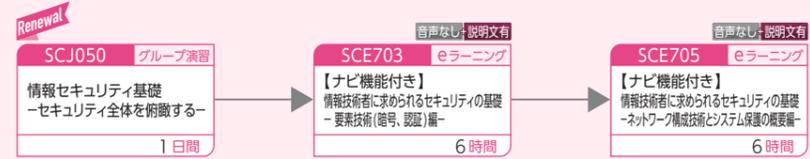


● セキュリティインシデント対応の基礎を身につけたい方

SCE011 eラーニング
サイバー攻撃対応基礎
(知識修得編)
3時間

SCJ049 グループ演習
サイバー攻撃対応
コミュニケーション訓練
0.5日間

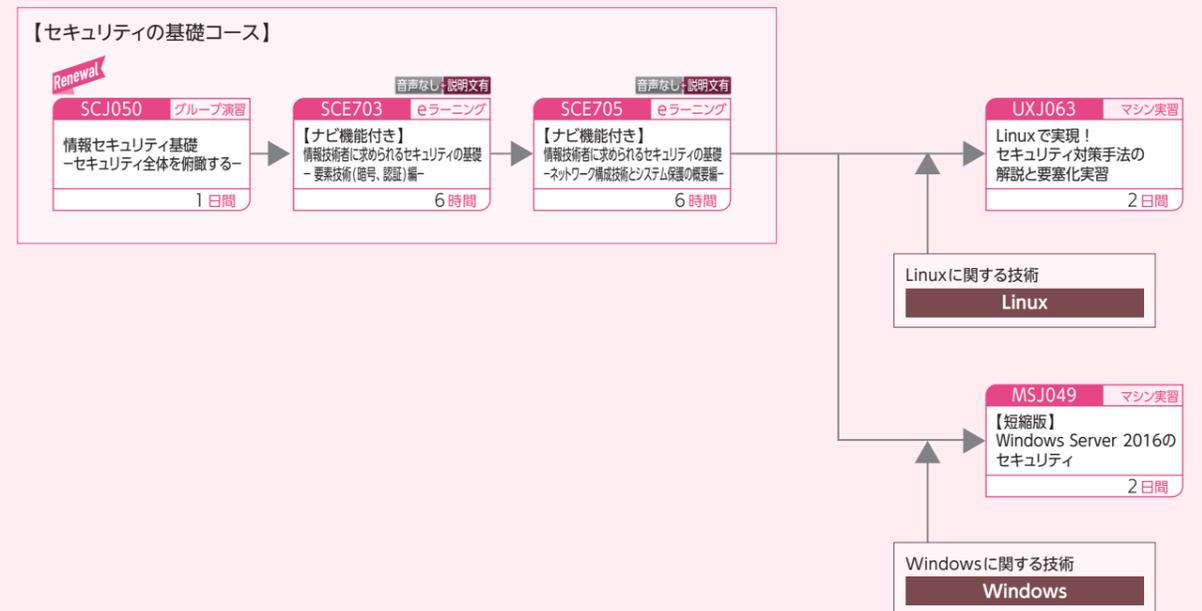
● 情報システムを構築・運用する方 (セキュリティの基礎)



● ネットワークシステムを構築・運用する方



● Windows、Linuxで情報システムを構築・運用・管理する方



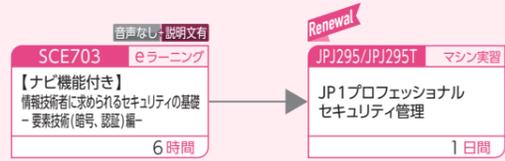
音声有+説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
音声有+説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
音声なし+説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

休講 休講
今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

● JP1セキュリティ管理製品を使用してシステムを構築・運用する方



● JP1資産・配布管理製品を使用してシステムを構築・運用する方



● データベースを構築・運用する方



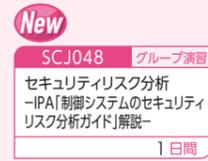
音声なし+説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

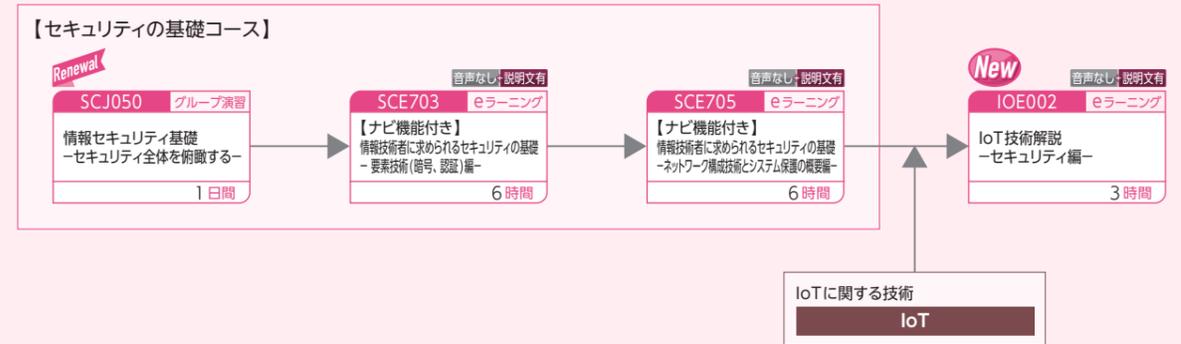
音声なし+説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● 制御システムを構築・運用・管理する方



● IoTのシステムを構築・運用・管理する方



● ホワイトハッカーをめざす方



資格 EC-Council認定資格

EC-Council認定資格は、EC-Council Internationalが「情報セキュリティ技術者として、一定水準以上の技術力を持つこと」を認定する資格です。

詳しくは、日立アカデミーのwebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/intro/license/ecc/index.html>

休講 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

日立製品
<p>JP1</p> uCosminexus Application Server
HIRDB
<p>OpenTP1</p> VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
<p>Pentaho</p>
<p>デジタルトランスフォーメーション</p>
IT 利活用
<p>インバケーション</p>
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
<p>データ分析</p> サイバーセキュリティ
RPA
<p>クラウド/サーバ仮想化</p>
<p>IT サービス マネジメント</p>
<p>システム基盤</p>
<p>IT 基本</p>
<p>オープンソースソフトウェア(OSS)</p> Linux
Microsoft
<p>ネットワーク</p>
ハードウェア
<p>セキュリティ</p>
データベース
<p>IT 戦略・IS 企画</p>
<p>システム開発</p>
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
<p>情報処理技術者試験対策</p>
<p>ITリテラシ</p>
<p>プロジェクト マネジメント</p>
コンプライアンス
<p>ビジネス / ヒューマン</p>
グローバル

<p>SEC708 情報セキュリティ</p> <div><div><eラーニング>【ナビ機能付き】情報セキュリティリテラシー－セキュリティの必要性と対策－</div></div> <div>4時間</div>
--

<p>SCE706 情報セキュリティ</p> <div><div><eラーニング>【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説－セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度－</div></div> <div>8時間</div>	<p>情報セキュリティ維持、個人情報保護のための管理システムと情報セキュリティに関連する規格、法律制度など管理的対策に関する概要を学びます。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none">情報セキュリティ、コンプライアンスの概念を説明できる。 情報セキュリティ維持、個人情報保護のマネジメントシステムの概要を説明できる。 情報セキュリティに関連する規格、法律制度を説明できる。 <p>対象者 情報システムを運用・管理する方。 情報セキュリティを計画・立案する方。</p> <p>前提知識 コンピュータシステムの基礎知識があること。</p> <p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none">情報セキュリティの概要 情報セキュリティマネジメントの基本概念 <ol style="list-style-type: none">情報セキュリティマネジメントの概要 情報セキュリティポリシーの概要 リスクマネジメント <ol style="list-style-type: none">リスクアセスメント リスク対応 情報セキュリティの維持 <ol style="list-style-type: none">ISMS認証基準 インシデントレスポンス 情報セキュリティ関連の法規と規格 <ol style="list-style-type: none">個人情報保護 サイバー犯罪関連法規 修了試験 <p>備 考</p> <ul style="list-style-type: none">学習終了日は3月31日になります。 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
---	---

<p>SCJ050 情報セキュリティ</p> <div><div>情報セキュリティ基礎－セキュリティ全体を俯瞰する－</div></div> <div>1日間</div>	<p>近年、高度化・多様化するセキュリティの脅威の紹介を通し、日常業務の中で扱っているシステムやサービスに潜むセキュリティのリスクや対策手法の全体像について学習します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none">日々取り組む業務やお客様に提供するサービスに潜むセキュリティの脅威について、概要を説明できる。 自分の関わる業務において、どこにどのようなセキュリティ対策が必要となるのか、その全体感を説明できる。 <p>対象者 SIベンダー、情報システム部門の担当者の方。 日々取り組む業務やお客様に提供するサービスにおいてセキュリティは大切な要件だという認識がある一方で、常にセキュリティの脅威に晒されており不安を抱えている方。</p> <p>前提知識 ITの基礎知識があること。</p> <p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none">セキュリティの概要とインシデント事例 サイバー攻撃の手法とその対策 システムへのアクセスに関するセキュリティ サーバやネットワークに関するセキュリティ データの保護に関するセキュリティ 不正操作に関するセキュリティ セキュリティマネジメント IT技術の動向とセキュリティ セキュリティに関する法規や制度 <p>備 考</p> <ul style="list-style-type: none">このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
---	---

<p>SCJ041 情報セキュリティ</p> <div><div>セキュリティ最新動向</div></div> <div>0.5日間</div>	<p>セキュリティの基本概念からセキュリティ対策の最新動向を学習します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none">セキュリティの必要性が説明できる。 最新のセキュリティ脅威を説明できる。 セキュリティ対策における最新動向を説明できる。 <p>対象者 セキュリティの最新動向を知りたい方。</p> <p>前提知識 オペレーティングシステム、およびネットワークに関する基本的な知識があること。</p> <p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none">情報セキュリティの基礎 最新の攻撃方法と対策 セキュリティ対策の実例 今後増加すると考えられる攻撃 新しい対策技術 さらに知りたい人のために <p>備 考 このコースは、13:00～16:30の開催とさせていただきます。</p>
---	--

<p>SCJ047 情報セキュリティ</p> <div><div>ケーススタディから学ぶ情報セキュリティリスクマネジメント</div></div> <div>1日間</div>	<p>部門の情報セキュリティマネジメントを構築するための基本事項・部門で守るべき情報資産の洗い出し・リスクアセスメントの実施、管理台帳の作成について、部門の情報セキュリティマネジメントの観点からケーススタディを通して修得します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none">部門の情報セキュリティマネジメントの位置づけ、体制、構築対象、プロセスを説明できる。 部門の情報資産の捉え方を理解し、リスクアセスメントができる。 <p>対象者 情報セキュリティを計画・立案する方。</p> <p>前提知識 【【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説－セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度－】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none">情報セキュリティマネジメントの構築 <ol style="list-style-type: none">情報セキュリティ対策の基本 情報セキュリティ規程の体系と部門ルール 情報資産の調査と分類、管理台帳 <ol style="list-style-type: none">守るべき情報資産の洗い出し 情報資産の分類 リスクアセスメントの実施 <ol style="list-style-type: none">リスクアセスメントの流れ アプローチ方法と例 情報セキュリティ対策 ケーススタディ <p>備 考</p> <ul style="list-style-type: none">このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
---	---

<p>SCJ038 情報セキュリティ</p> <div><div>情報セキュリティマネジメント運用</div></div> <div>1日間</div>	<p>このコースでは、部門の情報セキュリティマネジメントの運用に必要な項目とインシデントへの具体的な対応方法について、部門の情報セキュリティマネジメントの観点から、ケーススタディを通して修得します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none">部門の情報セキュリティを維持するために欠かせない作業ができる。 部門担当者として重要となるインシデントへの対応について、部門状況やインシデントの種類に従った適切な行動ができる。 情報セキュリティ事故や情報セキュリティ監査からの改善指示などに適切に対応するための不適合への処置や再発防止の施策を決定することができる。 <p>対象者 現在部門内の情報セキュリティ管理を担当している方。 IPAの「情報セキュリティマネジメント試験」を受験したい方。</p> <p>前提知識 【【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説－セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度－】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none">部門の情報セキュリティマネジメント運用の概要 <ol style="list-style-type: none">情報セキュリティ環境変化の把握 部門で対応すべき事項 インシデントへの対応 <ol style="list-style-type: none">インシデント種別ごとの対応 インシデント時の初動と対策の強化 インシデントの報告 ケーススタディ <ul style="list-style-type: none">インシデント発生への対応 インシデントの判断 緊急的対応 緊急対応後の措置 インシデント報告 <p>備 考</p> <ul style="list-style-type: none">このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 開催にあたっては、最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
--	---

<p>SCE705 セキュリティ技術</p> <div><div><eラーニング>【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎－ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編－</div></div> <div>6時間</div>	<p>ネットワークセキュリティの実現に使用される技術や、コンピュータを保護するためのOSのセキュリティ機能、コンピュータウイルス対策の概要について学習します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none">ファイアウォールの機能や種類について説明できる。 OSの機能設定によるシステム強化の手法について説明できる。 コンピュータウイルスの概要と対策について説明できる。 <p>対象者 情報システムにおいてネットワークやサーバを管理/構築する方。</p> <p>前提知識 【【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎－要素技術(暗号、認証)編－】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none">ファイアウォール <ol style="list-style-type: none">ファイアウォールの役割 ファイアウォールの種類 VPN (Virtual Private Network) <ol style="list-style-type: none">VPNとは VPNの種類 OSの機能設定によるセキュリティ コンピュータウイルス <ol style="list-style-type: none">コンピュータウイルスの種類 コンピュータウイルス対策 修了試験 <p>備 考</p> <ul style="list-style-type: none">学習終了日は3月31日になります。 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
---	--

<p>SCJ039 情報セキュリティ</p> <div><div>情報セキュリティマネジメントの評価と改善</div></div> <div>1日間</div>	<p>このコースでは、情報セキュリティの評価の基準や部門の情報セキュリティ監査への対応、特に不適合への対応方法について、部門の情報セキュリティマネジメントの観点から、ケーススタディを通して修得します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none">評価基準、情報セキュリティ監査、セキュリティ対策の有効性評価ができる。 是正処置、再発防止策、情報セキュリティ監査への対応や不適合への対応ができる。 情報セキュリティ事故や情報セキュリティ監査からの改善指示などに適切に対応するための不適合への処置や再発防止の施策を決定することができる。 <p>対象者 現在部門内の情報セキュリティ管理を担当している方。 IPAの「情報セキュリティマネジメント試験」を受験したい方。</p> <p>前提知識 【【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説－セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度－】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none">情報セキュリティの評価 <ol style="list-style-type: none">情報セキュリティ評価の基準 各種情報セキュリティ基準の活用場面 情報セキュリティ監査への対応と改善 <ol style="list-style-type: none">情報セキュリティの評価活動の分類 情報セキュリティ監査で問われること 情報セキュリティ監査への対応 不適合への対応 ケーススタディ <ul style="list-style-type: none">不適合への対応 情報セキュリティ監査の不適合の理解 不適合への対処 再発防止策 不適合対策の報告 <p>備 考</p> <ul style="list-style-type: none">このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 開催にあたっては、最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
--	---

<p>SCE703 セキュリティ技術</p> <div><div><eラーニング>【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎－要素技術(暗号、認証)編－</div></div> <div>6時間</div>	<p>安全性の高い情報システムの実現に利用される、セキュリティ要素技術の基礎について学習します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none">セキュリティ技術の必要性について説明できる。 共通鍵暗号や公開鍵暗号などの暗号技術について説明できる。 認証の分類や代表的な方式について説明できる。 <p>対象者 情報システムにおいてネットワークやサーバを管理/構築する方。</p> <p>前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ－TCP/IPの仕組み－】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none">セキュリティの概要 暗号技術 <ol style="list-style-type: none">共通鍵暗号方式 公開鍵暗号方式 認証技術 <ol style="list-style-type: none">ユーザ認証 データ認証 暗号や認証の利用例 <ol style="list-style-type: none">公開鍵の信頼 Web通信における利用例 メール通信における利用例 修了試験 <p>備 考</p> <ul style="list-style-type: none">学習終了日は3月31日になります。 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
--	---

<p>マシン実習</p> マシンを使用しながらの研修

<p>グループ演習</p> グループ演習を中心とした研修

<p>レクチャ</p> 座学による研修

<p>演習環境</p> 職場・ご自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習

<p>eラーニング</p> インターネット接続による自己学習

<p>自習テキスト</p> 自習書による自己学習

<p>休 講</p> 休 講

今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

日立製品
<p>JP1</p> uCosminexus Application Server
HIRDB
<p>OpenTP1</p> VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advance Data Binder
日立ストレージ
<p>Pentaho</p>
<p>デジタルトランスフォーメーション</p>
IT 利活用
<p>インバケーション</p>
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
<p>データ分析</p> サイバーセキュリティ
RPA
<p>クラウド/サーバ仮想化</p>
<p>IT サービス マネジメント</p>
<p>システム基盤</p>
<p>IT 基本</p>
<p>オープンソースソフトウェア(OSS)</p> Linux
Microsoft
<p>ネットワーク</p>
ハードウェア
<p>セキュリティ</p>
データベース
<p>IT 戦略・IS 企画</p>
<p>システム開発</p>
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
<p>情報処理技術者試験対策</p>
<p>ITリテラシ</p>
<p>プロジェクト マネジメント</p>
コンプライアンス
<p>ビジネス / ヒューマン</p>
グローバル

<p>159</p>

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

SCOE10 セキュリティ技術
 <eラーニング>IPsecによるVPN構築
3週間
<p>IPsecを利用したVPN構築方法について学習します。</p>
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> VPNの概要やメリットが説明できる。 IPsecの仕組みが説明できる。
<p>対象者</p> <p>情報システムにおいてネットワークやサーバを管理/構築する方。</p>
<p>前置知識</p> <p>【【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎-要素技術(暗号、認証)編-】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> VPN概要 <ol style="list-style-type: none"> VPNを実現する技術 VPNの接続形態 VPNプロトコル IPsec解説 <ol style="list-style-type: none"> IPsecの概要 セキュリティアソシエーション(SA)とパラメータ SA管理と鍵管理 修了試験
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習終了日は3月31日になります。 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SCJ037 セキュリティ技術
 インターネットにおける電子認証技術 -PKI-
1日間
<p>このコースでは、マイナンバー制度などの公共情報システムやインターネット上の電子取引において、取引相手やデータの信頼性・安全性を確保するために不可欠な電子認証技術であるPKI(Public Key Infrastructure)の概要を学習します。</p>
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> PKIとは何か、機能や役割の概要を説明できる。 PKIの構成要素である、電子署名、電子証明書、暗号化の仕組みや技術の概念を説明できる。 情報システムにおいてPKIがどのように利用されているかについて説明できる。
<p>対象者</p> <p>情報システムを運営・管理する方、電子取引システムを構築する方。</p>
<p>前置知識</p> <p>【【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎-要素技術(暗号、認証)編-】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> PKIの概要 暗号技術と電子署名 認証局と電子証明書 PKIによる電子認証のしくみ PKIの活用 電子認証関連法規と公共機関におけるPKIの利用
<p>備考</p> <p>このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。</p> <p>※別途ご案内いたします。</p>

SCD001 セキュリティ技術
 CEH (Certified Ethical Hacker)
5日間
<p>最新のセキュリティ脅威、高度の攻撃ベクトルと、最新のハッキングの技術、手法、ツール、巧みな技、情報セキュリティ対策のリアルタイムでの実演/実用に重点を置いた、エシカル・ハッキング/情報システム・セキュリティ監査の統合型プログラムを学習します。</p> <p>・18のモジュールから、最新のセキュリティ脅威、ハッキング技術を構造的に学習します。</p>
<p>到達目標</p> <p>最新のセキュリティ脅威、ハッキング技術を構造的に理解できる。</p>
<p>対象者</p> <p>情報セキュリティの責任者/監査人/専門家、サイト管理者の方。</p>
<p>前置知識</p> <p>「ネットワーク基礎」コース、または【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎II-TCP/IPの仕組み-eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> エシカル・ハッキング概論 フットプリンティングおよび偵察 ネットワークのスキャン 列挙 システムのハッキング マルウェアの脅威 スニフティング ソーシャル・エンジニアリング サービス妨害攻撃(DoS攻撃) サービス妨害攻撃(DoS攻撃) セッション・ハイジャック Webサーバのハッキング Webアプリケーションのハッキング SQLインジェクション 無線ネットワークのハッキング モバイル・プラットフォームのハッキング IDS、ファイアウォール、ハニーポットの回避 クラウド・コンピューティング 暗号化
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> このコースは、10:00~18:00の開催とさせていただきます。 このコースは、EC-Councilの認定コースです。 このコースは、グローバルセキュリティエキスパート(株)(GSX社)との提携コースのため、GSX社の研修会場にて開催いたします。 開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。 受講料の中に受験料(1回分)が含まれています。受験は後日となります。申込み方法等は研修中に説明があります。 コースの受講登録には、会社名、氏名(漢字およびローマ字)、E-mailアドレスが必要です。これらの登録情報は、GSX社に提供いたします。 <p>※別途ご案内いたします。</p>

データベース

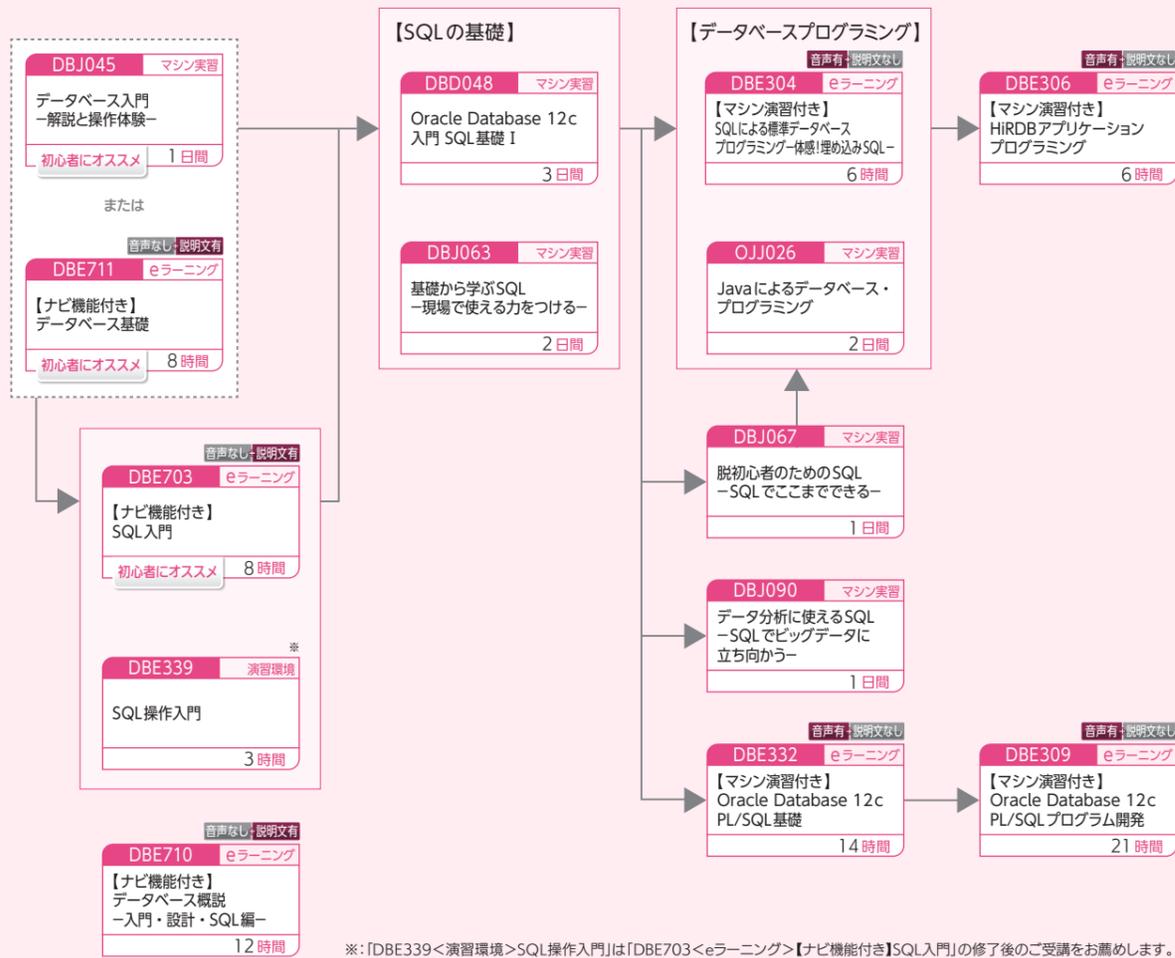
データベースの概念を理解し、データベースシステムを構築するための技術が修得できます。

データベースを利用する方



※:「DBE339<演習環境>SQL操作入門」は「DBE703<eラーニング>【ナビ機能付き】SQL入門」の修了後のご受講をお勧めします。

データベースを利用したアプリケーションを開発する方



※:「DBE339<演習環境>SQL操作入門」は「DBE703<eラーニング>【ナビ機能付き】SQL入門」の修了後のご受講をお勧めします。

- 音声有+説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有+説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし+説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

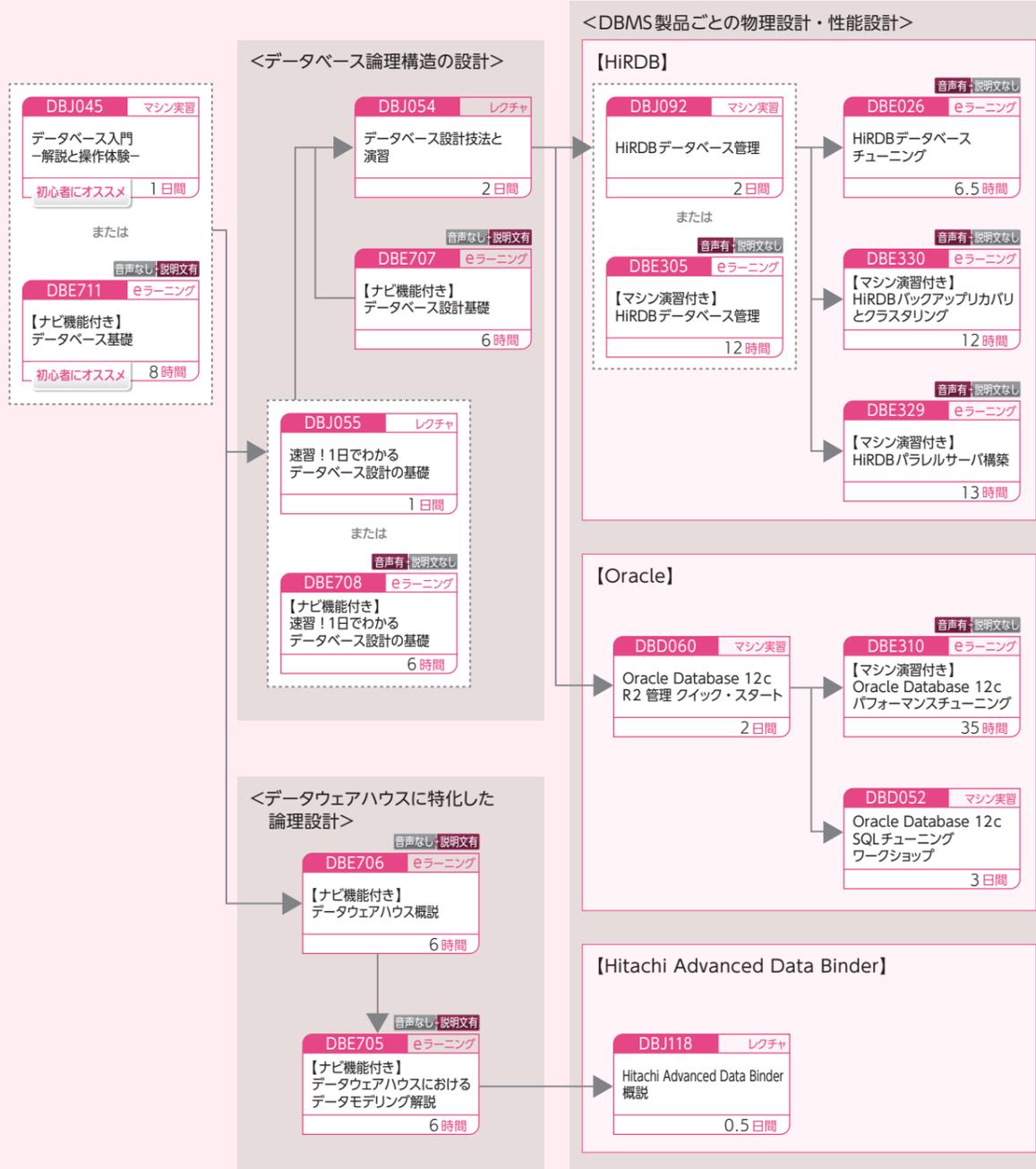
休講 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル



データベースを設計する方



音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

データベースのチューニング方法を修得したい方



データウェアハウスに特化した論理設計を修得したい方



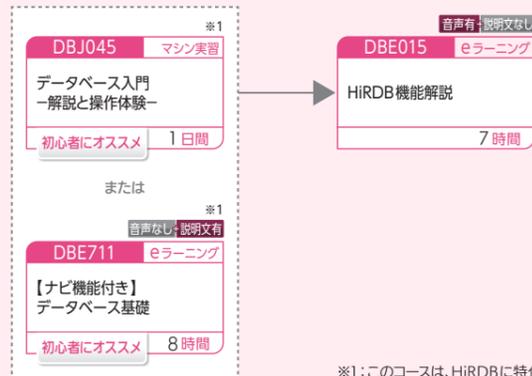
オンライントランザクション処理 (OLTP) やTPモニターの概要を修得したい方



休講 休講 今期の定期開催はありません

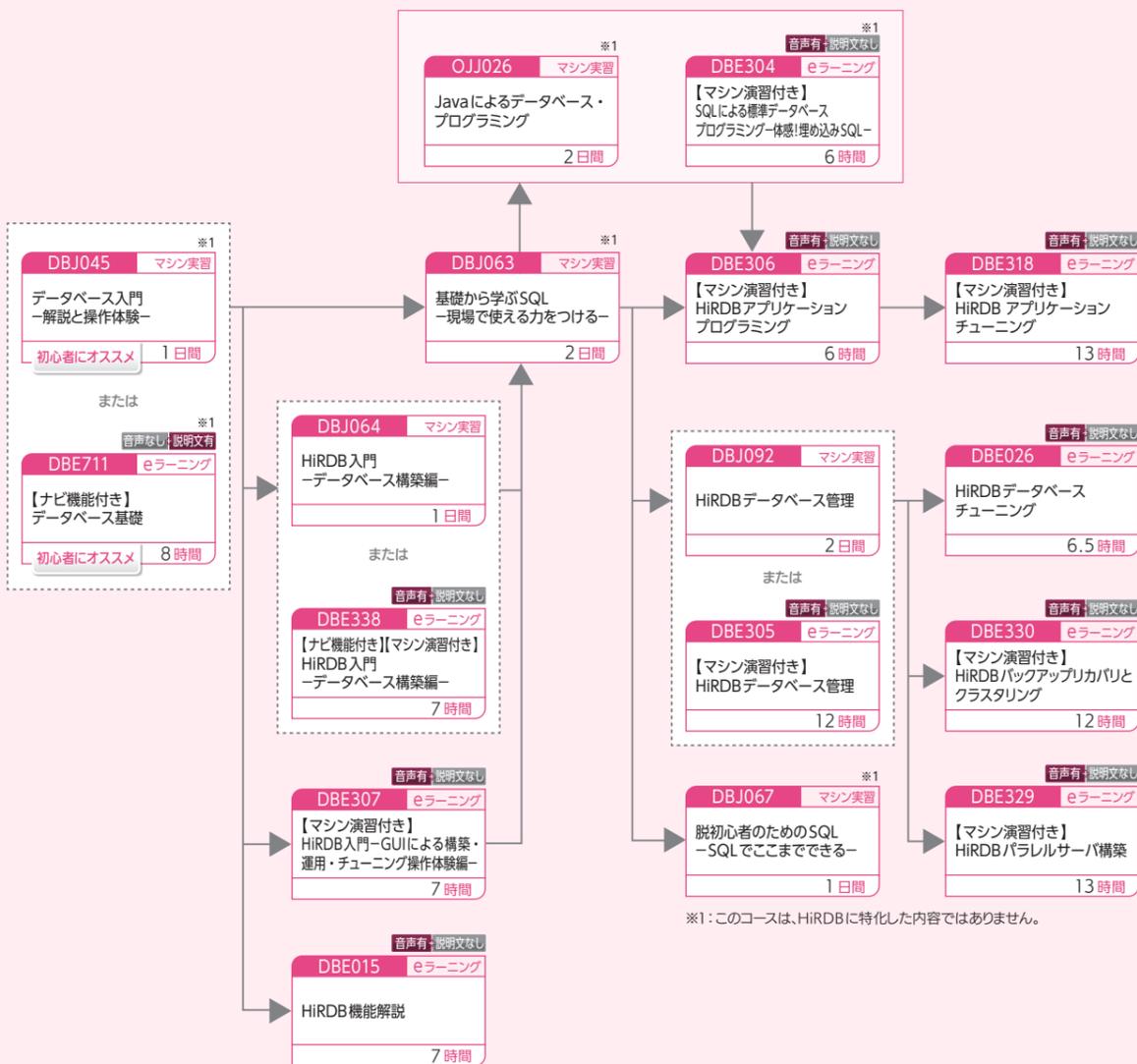
コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

● HiRDBの概要を修得したい方



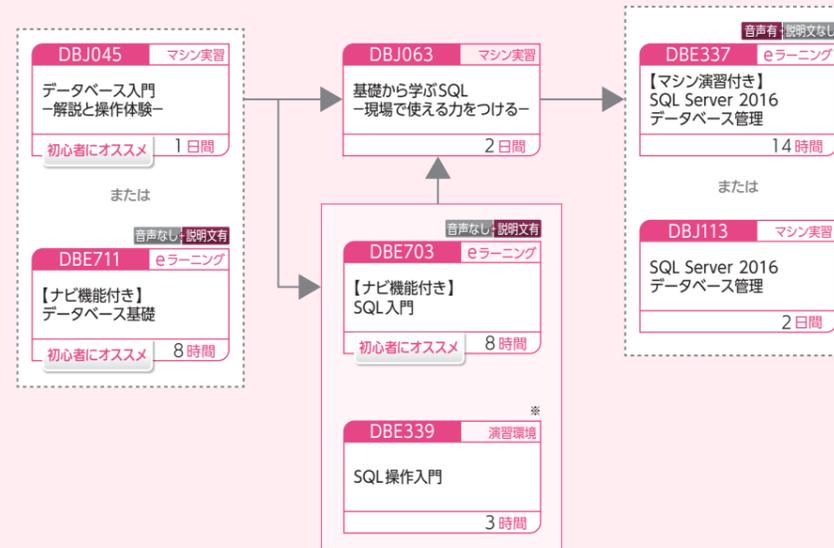
※1: このコースは、HiRDBに特化した内容ではありません。

● HiRDBを使用してデータベースを構築・運用・アプリケーションプログラム開発をする方



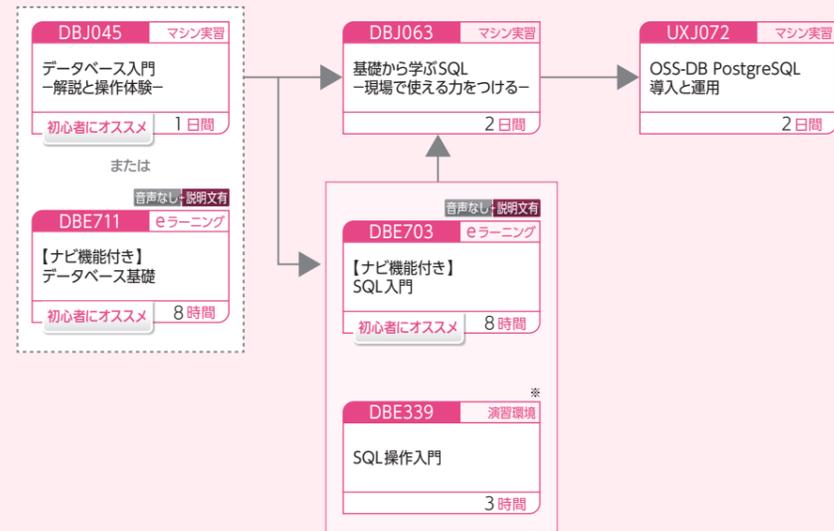
※1: このコースは、HiRDBに特化した内容ではありません。

● SQL Server 2016 を使用してデータベースを管理・運用する方



※: 「DBE339<演習環境>SQL操作入門」は「DBE703<eラーニング>【ナビ機能付き】SQL入門」の修了後のご受講をお勧めします。

● PostgreSQL を使用してデータベースを管理・運用する方



※: 「DBE339<演習環境>SQL操作入門」は「DBE703<eラーニング>【ナビ機能付き】SQL入門」の修了後のご受講をお勧めします。

音声有+説明文有: 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし: 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

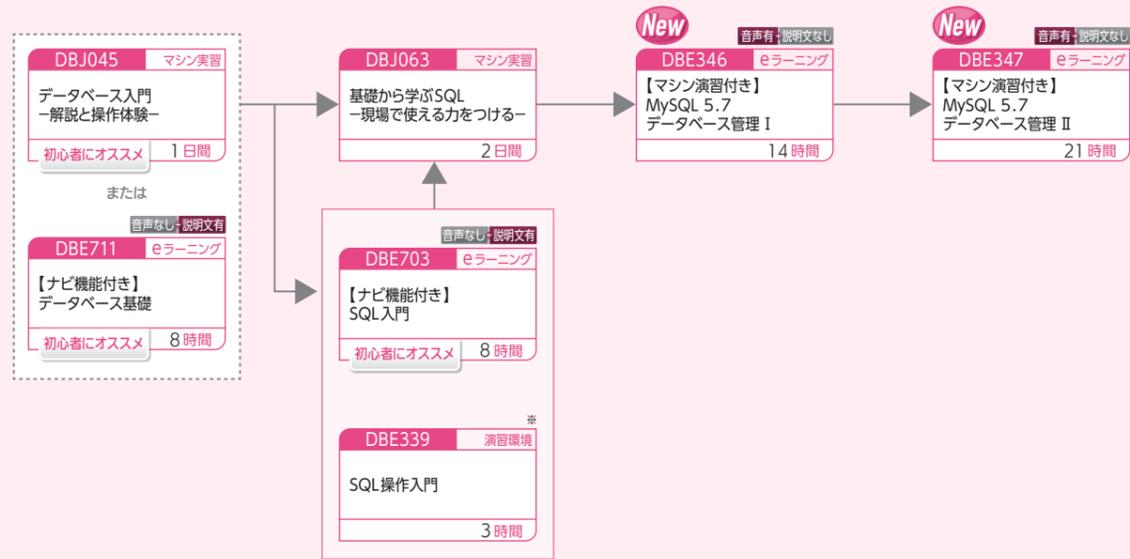
音声なし+説明文有: 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

休講 休講 今期の定期開催はありません

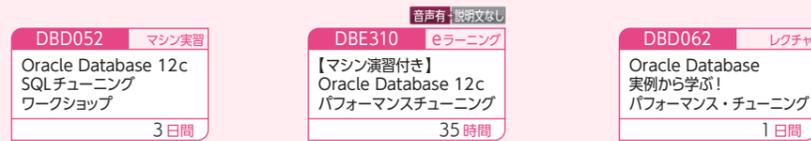
コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

MySQL を使用してデータベースを管理・運用する方

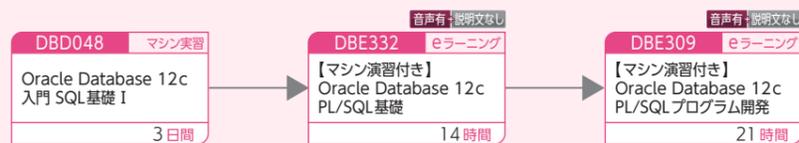


※: [DBE339<演習環境>SQL操作入門]は[DBE703<eラーニング>【ナビ機能付き】SQL入門]の修了後のご受講をお薦めします。

Oracleのチューニング方法を修得したい方



Oracleを使用してPL/SQLによるアプリケーションを開発する方



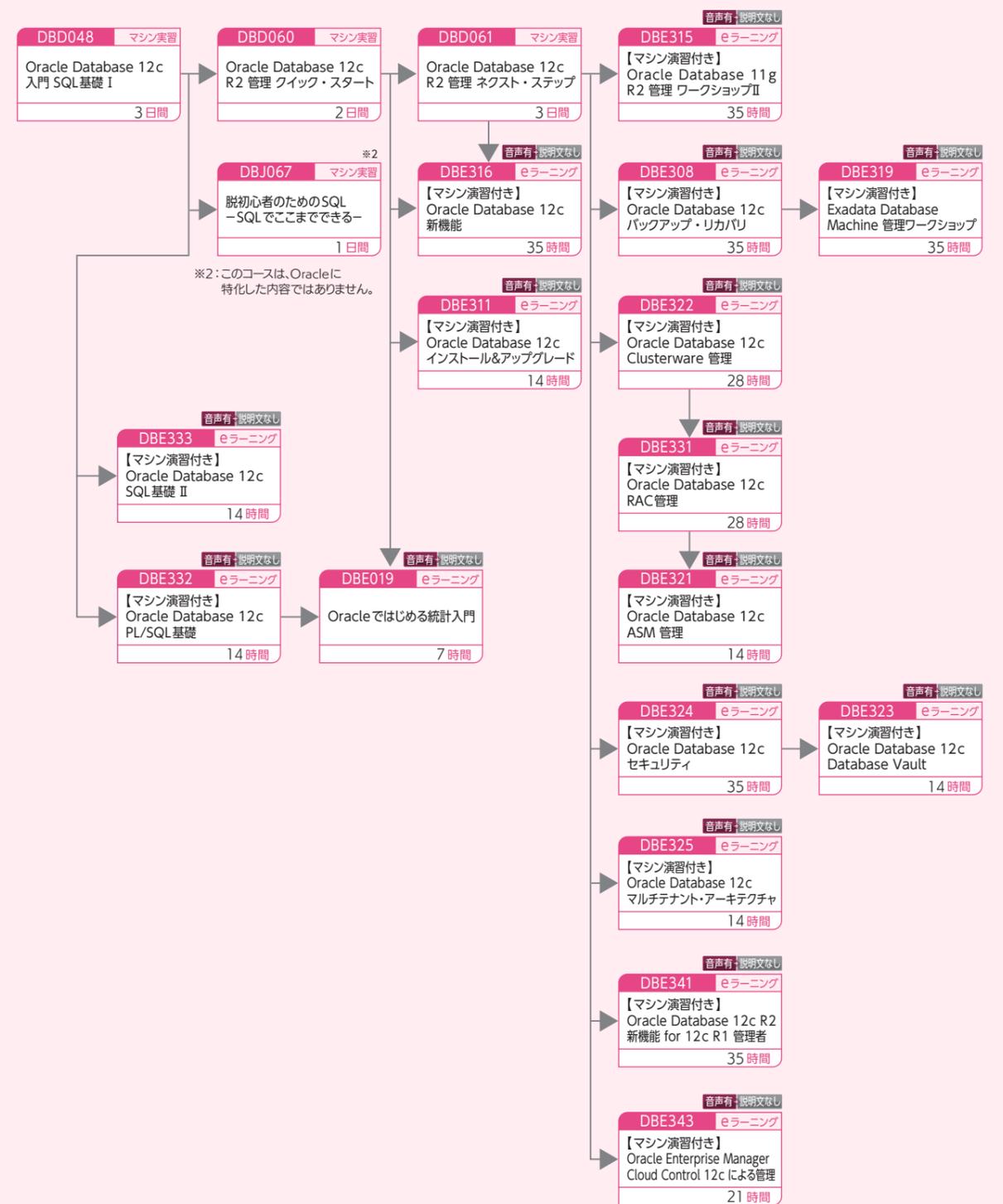
音声有+説明文有: 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし: 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし+説明文有: 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

Oracleを使用してデータベースを設計・運用する方



※2: このコースは、Oracleに特化した内容ではありません。

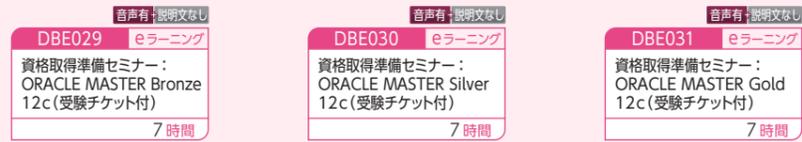
● Oracle Exadataを使用してデータベースを管理・運用する方



● Oracleを使用してデータ分析をする方



● ORACLE MASTER 資格取得をめざされている方



● Oracle全般の技術を修得したい方



音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

資格 オラクル認定技術者制度

オラクル認定技術者制度とは、日本オラクル社が世界で高い評価を受けているOracle製品に関する技術者を認定する制度です。認定を受けるためには、日本オラクル社の試験に合格する必要がある、合格した試験科目の組み合わせにより認定技術資格を取得できます。

詳しくは、日立アカデミーのwebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/intro/license/oramas/index.html>



DBJ045 共通
データベース入門
 ー解説と操作体験ー
 1日間

データベースの基礎知識やDBMSの基本機能、SQLによるデータ操作方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
 ・データベースとデータモデルを理解し説明できる。
 ・DBMSの基本機能を理解し説明できる。
 ・基本的なSQLを発行しリレーショナルデータベースを操作できる。

対象者
 データベースにアクセスするアプリケーションを開発する方、データベースを管理・運用する方。

前提知識
 特に必要としません。

内容
 1. データベースとデータモデル
 2. DBMSの基本機能
 (1) データ独立性
 (2) データの機密保護
 (3) トランザクション
 (4) 同時実行制御
 (5) 整合性制約
 (6) 障害回復
 (7) インデックス
 3. SQL概要
 (1) リレーショナルデータベースの基本操作
 (2) SQLの種類
 (3) SQL構文

備考
 ・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。

DBE711 共通
<eラーニング>【ナビ機能付き】
データベース基礎
 8時間

データベースの基礎やDBMSの基本機能を学習します。

到達目標
 ・データベースとデータモデルを理解し説明できる。
 ・DBMSの基本機能を理解し説明できる。

対象者
 ・データベースにアクセスするアプリケーションを開発する方。
 ・データベースを管理、運用する方。

前提知識
 特に必要としません。

内容
 1. データベースの概念
 2. DBMS基本機能
 3. データモデル
 4. データベース設計
 5. 修了試験

備考
 ・学習終了日は3月31日になります。
 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBJ063 共通
基礎から学ぶSQL
 ー現場で使える力をつけるー
 2日間

リレーショナルデータベースを操作するためのSQL、トランザクションを制御するためのSQL、オブジェクトを作成するためのSQLの文法と機能を学習します。

到達目標
 ・リレーショナルデータベースの表の検索ができる。
 ・リレーショナルデータベースに行の追加、削除、値の更新ができる。
 ・SQLを用いてトランザクションの制御ができる。
 ・リレーショナルデータベース上にオブジェクトの作成ができる。

対象者
 SQLの知識を必要とする方。

前提知識
 「データベース入門ー解説と操作体験ー」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
 1. リレーショナルデータベースとSQLの概要
 2. SQLによるデータ検索
 (1) 全件検索
 (2) 探索条件
 (3) 結合
 (4) 集合関数
 (5) グループ化
 (6) 並び替え
 (7) 集合演算
 (8) 副問合せ
 3. SQLによるデータ追加/更新/削除
 4. SQLによるトランザクションの制御
 5. SQLによるデータ定義
 (1) 表の定義
 (2) ビューの定義
 (3) インデックスの定義

備考
 ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
 ・このコースでは、ISO標準のSQL文法を解説します。
 ・演習ではPostgreSQLを用いますが、学習内容はいかなる製品でも使用可能です。

DBE703 共通
<eラーニング>【ナビ機能付き】
SQL入門
 8時間

リレーショナルデータベースを操作するためのSQLの基礎を学習します。

到達目標
 ・データ操作をするSQLについて、基本的な機能と文法を理解し説明できる。
 ・データ定義をするSQLについて、基本的な機能と文法を理解し説明できる。
 ・トランザクション制御をするSQLについて、基本的な機能と文法を理解し説明できる。

対象者
 リレーショナルデータベースを管理・運用する方、リレーショナルデータベースのアプリケーションを開発する方。

前提知識
 リレーショナルデータベースの基礎知識があること。

内容
 1. リレーショナルデータベースとSQL
 2. データ操作文 (DML)
 (1) 検索処理
 (2) 追加処理
 (3) 更新処理
 (4) 削除処理
 3. データ定義文 (DDL)
 (1) 表の定義
 (2) 参照制約
 (3) ビュー表
 4. データ制御文 (DCL)
 (1) データの確定
 (2) データの取り消し
 5. 修了試験

備考
 ・学習終了日は3月31日になります。
 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE339 共通
<演習環境>SQL操作入門
 3時間

基本的なSQL文の構築や実行方法を、マシン操作を通して学習します。このコースは、クラウド上に演習環境をセットアップしたマシンと、演習題材を利用できるマシン演習環境サービスです。

到達目標
 SQLによる基本的なデータ操作ができる。

対象者
 基本的なSQL文の構築や実行方法を、マシン操作を通して学習したい方。

前提知識
 「【ナビ機能付き】SQL入門」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
 1. SQL実行環境
 2. SQL実行演習

備考
 ・サービス有効期限は21日間です。
 ・このコースは、演習問題と、それに必要なデータ、マシン環境が利用できるマシン演習環境サービスです。
 ・このコースの学習要領・学習利用環境をご確認のうえ、お申し込みください。
<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/intro/mc/index.html>
 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

DBJ055 共通
速習!1日でわかる
データベース設計の基礎
 レクチャ
 1日間

具体的な業務を想定しながら、リレーショナルデータベースの論理設計、物理設計、性能設計に必要な基礎知識を、机上演習を通して学習します。

到達目標
 リレーショナルデータベースの論理設計、物理設計、性能設計に関する基礎的な手法を理解し説明できる。

対象者
 リレーショナルデータベースの設計に関する知識を必要とする方。

前提知識
 「データベース入門ー解説と操作体験ー」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
 1. データベース設計の概要
 2. ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計
 (1) ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計の流れ
 (2) 正規化
 (3) ER図の作成
 (4) 確認作業ートップダウンアプローチの観点からの確認ー
 3. データベース物理設計
 (1) テーブル関連図とテーブル定義書の作成
 (2) 領域配置図の作成
 4. データベース性能設計
 (1) インデックス設計

備考
 このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。

休講 休講 今期の定期開催はありません

日立製品
<p>JP1</p> uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

DBE710	共通
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>マシンプログ</div></div><div><div></div><div>マシンプログ</div></div></div></div></div>	
<eラーニング>【ナビ機能付き】データベース概説 –入門・設計・SQL編–	
データベースの入門として、データベース分野全般の概要を学習します。さらに、データベース設計、およびSQLを用いたデータベース操作について、具体的な例を用いて学習します。	
到達目標	・データベース全般の基礎的な知識・技術について理解ができる。 ・ニーズに応じたデータベースを適切に設計し、構築したデータベース上でデータを操作できる。
対象者	データベースのデータを活用するにあたり、データベース分野全般の基礎知識について効率よく学習したい方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. データベースの基礎知識 2. データベース設計 3. SQLの操作法 4. 修了試験
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE708	共通
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>マシンプログ</div></div><div><div></div><div>マシンプログ</div></div></div></div></div>	
<eラーニング>【ナビ機能付き】速習！1日でわかるデータベース設計の基礎	
具体的な業務を想定しながら、リレーショナルデータベースの論理設計、物理設計、性能設計に必要な基礎知識を、机上演習を通して学習します。	
到達目標	リレーショナルデータベースの論理設計、物理設計、性能設計に関する基礎的な手法を理解し説明できる。
対象者	リレーショナルデータベースの設計に関する知識を必要とする方。
前提知識	「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または【【ナビ機能付き】データベース基礎】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. データベース設計の概要 2. ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計 (1)ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計の流れ (2)正規化 (3)ER図の作成 (4)確認作業-トップダウンアプローチの観点からの確認- 3. データベース物理設計 (1)テーブル関連図とテーブル定義書の作成 (2)領域配置図の作成 4. データベース性能設計 (1)インデックス設計 5. 修了試験
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBJ054	共通
<div><div><div><div><div></div><div>レクチャ</div></div></div><div><div><div></div><div>マシンプログ</div></div><div><div></div><div>マシンプログ</div></div></div></div></div>	
データベース設計技法と演習	
2日間	
演習を通し、データベース論理構造の適切な設計手順について学習します。	
到達目標	・データベース設計技法について理解し説明できる。 ・データベースの論理構造の設計ができる。
対象者	データベースシステムの設計・構築をする方、または予定している方。
前提知識	「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または【【ナビ機能付き】データベース基礎】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. データモデル (1)データモデルとは (2)ERモデル (3)リレーショナルモデル 2. 正規化 (1)正規化のねらい (2)正規化理論の前提知識 (3)正規化手順 3. 論理構造の設計手順 (1)論理構造の設計手順概要 (2)トップダウンアプローチ例題 (3)ボトムアップアプローチ例題 4. RDBMSへの実装および性能を考慮した変形操作 (1)RDBMSへ実装可能な形式への変形 (2)非正規化
備 考	このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。

DBJ090	共通
<div><div><div><div><div></div><div>マシンプログ</div></div></div><div><div><div></div><div>マシンプログ</div></div><div><div></div><div>マシンプログ</div></div></div></div></div>	
データ分析に使えるSQL –SQLでビッグデータに立ち向かう–	
1日間	
高度なSQL文やSQL分析関数を使用して、データベースに格納されたデータを分析する手法を、マシン実習を通して学習します。	
到達目標	・SQLによるデータ分析の概要を説明できる。 ・高度なSQL文・SQL分析関数の文法を理解し説明できる。 ・高度なSQL文・SQL分析関数を利用したデータ集計・分析を理解し説明できる。
対象者	SQLを用いたデータ分析手法を修得したい方。
前提知識	「基礎から学ぶSQL-現場で使える力をつける-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. データ分析概要 2. 高度なSQL文 (1)CASE式 (2)相関副問合せ 3. SQL分析関数 (1)ウィンドウ関数 (2)レポート関数 (3)LAG/LEAD関数 (4)中間データの加工-副問合せと共通表式(WITH句)-
備 考	・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

DBE704	共通
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>マシンプログ</div></div><div><div></div><div>マシンプログ</div></div></div></div></div>	
<eラーニング>【ナビ機能付き】OLTP概説	
7時間	
OLTP（オンライントランザクション処理）の基本的な概念や機能、および分散トランザクションシステムを実現するために必要なソフトウェアとAPIを規定した、DTPモデルについて学習します。	
到達目標	・トランザクションのACID特性について理解し、説明できる。 ・さまざまなOLTPシステム構成について理解し、説明できる。 ・DTPモデルの各種ソフトウェアの役割とAPIについて理解し、説明できる。 ・オンライントランザクションシステムを構築する方。 ・分散ランザクションやDTPモデルの知識を必要とする方。
対象者	・オンライントランザクションシステムを構築する方。 ・分散ランザクションやDTPモデルの知識を必要とする方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. トランザクション処理とは 2. トランザクション処理の変遷 3. OLTPの特徴 4. OLTPのシステム要件 5. ユーザーの管理 6. The Open Group DTPモデル 7. OLTPシステムの基本機能 8. 修了試験
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE337	SQL Server
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>マシンプログ</div></div><div><div></div><div>マシンプログ</div></div></div></div></div>	
<eラーニング>【マシン演習付き】SQL Server 2016 データベース管理	
14時間	
SQL Serverのデータベースとしての基本機能、およびSQL Serverを用いたデータベースシステムの構築方法について学習します。	
到達目標	・SQL Serverのデータベース機能を理解し説明できる。 ・SQL Serverを用いたデータベースシステムを構築できる。 ・SQL Serverのデータベースの障害から回復できる。 ・SQL Serverを管理する方。 ・アプリケーション開発者としてSQL Serverの基本的な知識を必要とする方。
対象者	「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または【【ナビ機能付き】データベース基礎】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
前提知識	1. SQL Server 2016概要 2. インストールと環境設定 3. データベースファイルの管理 4. データベースコンポーネントの管理 5. ユーザーの管理 6. バックアップと障害回復
備 考	・サービス有効期限は21日間です。 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシンプ演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・操作演習用テキストは、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE707	共通
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>マシンプログ</div></div><div><div></div><div>マシンプログ</div></div></div></div></div>	
<eラーニング>【ナビ機能付き】データベース設計基礎	
6時間	
データベース設計手順についての基礎理論を、eラーニングでの演習を通して学習します。	
到達目標	・基本的なデータベース設計手順を理解し説明できる。 ・設計手順に基づいて、簡単なデータベース設計ができる。
対象者	リレーショナルデータベースの設計の知識を必要とする方。
前提知識	「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または【【ナビ機能付き】データベース基礎】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. データベース設計概要 2. ERモデルとER図 3. 正規化 4. ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計例題 5. トップダウンアプローチによるデータベース論理設計例題 6. 修了試験
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE304	共通
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>マシンプログ</div></div><div><div></div><div>マシンプログ</div></div></div></div></div>	
<eラーニング>【マシン演習付き】SQLによる標準データベースプログラミング-体感！理め込みSQL-	
6時間	
理め込みSQLによるアプリケーションを開発するための基礎知識について、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。	
到達目標	理め込みSQLを用いてデータベースにアクセスするプログラムを開発できる。
対象者	理め込みSQLを用いてDBMSにアクセスするアプリケーションを開発する方。
前提知識	SQL、RDBMSの基礎知識があり、かつC言語の基本的な文法に関する知識があること。
内 容	1. SQLの基礎 2. 理め込みSQLを用いたAP作成 3. 修了試験
備 考	・サービス有効期限は21日間です。 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシンプ演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・操作演習用テキストは、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースは、旧「演習で学ぶ理め込みSQLプログラミング」コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBJ067	共通
<div><div><div><div><div></div><div>マシンプログ</div></div></div><div><div><div></div><div>マシンプログ</div></div><div><div></div><div>マシンプログ</div></div></div></div></div>	
脱初心者のためのSQL –SQLでここまでできる–	
1日間	
ショッピングサイトを題材にして、システムに実装済みのSQL文を、性能、可読性、保守性の観点から改善することにより、CASE式や自己結合といった、高度なSQL文の使いどころを学習します。	
到達目標	・EXISTS述語の使用方法を理解し説明できる。 ・NOT EXISTS述語の使用方法を理解し説明できる。 ・相関副問合せの使用方法を理解し説明できる。 ・自己結合の使用方法を理解し説明できる。 ・CASE式の使用方法を理解し説明できる。
対象者	高度なSQL文の知識を修得したい方。
前提知識	「基礎から学ぶSQL-現場で使える力をつける-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. 演習環境概要 2. 高度なSQL文 (1)EXISTS述語を使用した存在チェック (2)相関副問合せを使用したランキング表示 (3)分析関数を使用したランキング表示 (4)CASE式を使用したSELECT句での条件分岐 (5)自己結合を使用した組み合わせ表示 (6)NOT EXISTS述語と相関副問合せを使用した更新処理
備 考	・このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。 ・演習ではPostgreSQLを用いますが、学習内容はいかなる製品でも使用可能です。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

DBJ113	SQL Server
<div><div><div><div><div></div><div>マシンプログ</div></div></div><div><div><div></div><div>マシンプログ</div></div><div><div></div><div>マシンプログ</div></div></div></div></div>	
SQL Server 2016 データベース管理	
2日間	
SQL Serverのデータベースとしての基本機能、およびSQL Serverを用いたデータベースシステムの構築方法について学習します。	
到達目標	・SQL Serverのデータベース機能を理解し説明できる。 ・SQL Serverを用いたデータベースシステムを構築できる。 ・SQL Serverのデータベースの障害から回復できる。
対象者	・SQL Serverを管理する方。 ・アプリケーション開発者としてSQL Serverの基本的な知識を必要とする方。
前提知識	「基礎から学ぶSQL-現場で使える力をつける-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. SQL Server 2016概要 2. インストールと環境設定 3. データベースファイルの管理 4. データベースコンポーネントの管理 5. ユーザーの管理 6. バックアップと障害回復
備 考	このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。

DBE346	Oracle
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>マシンプログ</div></div><div><div></div><div>マシンプログ</div></div></div></div></div>	
<eラーニング>【マシン演習付き】MySQL 5.7 データベース管理I	New
14時間	
MySQLデータベース管理者および開発者向けの基礎となる内容を学習します。	
到達目標	・MySQL データベースのインツール、および運用管理方法について修得できる。 ・MySQL Cloud Service を使用する利点について修得できる。
対象者	MySQLの知識修得をされたい方。 「基礎から学ぶSQL-現場で使える力をつける-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
前提知識	1. MySQL サーバーおよびクライアント・プログラムのインストールおよび構成 2. MySQL アーキテクチャの主なコンポーネントの確認 3. サーバーの保護 4. サーバー速度低下およびその他の問題のトラブルシューティング 5. クエリーのパフォーマンス向上 6. さまざまなレプリケーション・トポロジの構成および管理 7. MySQL Cloud の利点の理解
備 考	本ページ右下※1をご参照ください。

※1	・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドについて、下記URLの「トレーニング・オンデマンド」について、下記URL内の学習利用環境を必ずご確認ください。 http://www.oracle.com/jp/education/tod-video-viewing-2111198-jap.pdf ・このコースは、日本オラクル(株)が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」(PDF)を使用します。 ・このコースのマシンプ演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日内の連続した6日間です。 ・受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。 ・このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。 ・ご利用最終日は、16：00まで利用可能です。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
----	--

日立製品
<p>JP1</p> uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

日立製品
<p>JP1</p> uCosminexus Application Server
HIRDB
<p>OpenTP1</p> VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
<p>Pentaho</p> デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

DBE347 Oracle
<div><div><div><div><div></div><div><div>eラーニング</div></div></div></div><div>研修コース</div></div></div> <div><eラーニング>【マシン演習付き】MySQL 5.7 データベース管理Ⅱ New</div>
21時間
MySQLデータベース管理者および開発者向けの基礎となる内容を学習します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">MySQL Serverの構成、レプリケーションおよびセキュリティの設定、データベース・バックアップの実行、クエリー・パフォーマンスの最適化および高可用性の確保について修得できる。
対象者 MySQLの知識修得をされたい方。
前提知識 「MySQL 5.7 データベース管理Ⅰ」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容 <ol style="list-style-type: none">MySQL サーバーおよびクライアント・プログラムのインストールおよび構成 MySQL アーキテクチャの主なコンポーネントの確認 サーバーの保護 サーバー速度低下およびその他の問題のトラブルシューティング クエリーのパフォーマンス向上 さまざまなレプリケーション・トポロジの構成および管理 MySQL Cloud の利点の理解
備 考 右ページ右下※1をご参照ください。

DBE345 Oracle
<div><div><div><div><div></div><div><div>eラーニング</div></div></div></div><div>研修コース</div></div></div> <div><eラーニング>【マシン演習付き】MySQL パフォーマンス・チューニング</div>
28時間
さまざまなツールを使用して、サーバー、データベース、およびクエリーを構成、モニタリングおよびトラブルシューティングするためのベスト・プラクティスを学習します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">MySQLツールを使用してアプリケーションの速度、効率性および安全性を保つためのさまざまな構成オプション、モニタリング・ツールおよび技術の使用方法を修得できる。
対象者 MySQLのパフォーマンスチューニングを担当される方。
前提知識 【【マシン演習付き】MySQL データベース管理Ⅰ/Ⅱ】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容 <ol style="list-style-type: none">概要 パフォーマンス・チューニングの概念 パフォーマンス・チューニングのツール パフォーマンス・スキーマ メモリー、接続およびスレッド テーブル、ファイルおよびログ ステートメントのモニタリング、ソート・パッファーおよびクエリー・キャッシュ InnoDB ストレージ・エンジン スキーマ設計およびパフォーマンス クエリーの最適化 パフォーマンス問題のトラブルシューティング アプリケーション環境に合わせた MySQL の最適化 ハードウェアの最適化 まとめ
備 考 右ページ右下※1をご参照ください。

DBE316 Oracle
<div><div><div><div><div></div><div><div>eラーニング</div></div></div></div><div>研修コース</div></div></div> <div><eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c 新機能</div>
35時間
Oracle Database 12cの新機能と強化された機能について学習します。Oracle Database 12cによって管理性、セキュリティ、およびパフォーマンスが向上する仕組みを学習します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">Oracle Database 12cの新機能について説明できる。 Oracle Database 12cで強化された機能について説明できる。 Oracle Database 12cのパフォーマンスについて説明できる。
対象者 Oracle Database 12cを運用する方、Oracle Database 12cを管理する方。
前提知識 Oracle Database 11gに関する十分な知識があること。
内 容 <ol style="list-style-type: none">Oracle Database 12cの各種ツールの新機能 Oracle Database 12cのSQLの監査・権限・監視機能の拡張 Oracle Database 12cのパフォーマンスの拡張 Oracle Database 12cのSQL機能拡張
備 考 このコースは、旧「Oracle Database 12c：新機能」コース（集合研修）と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 <ul style="list-style-type: none">右ページ右下※1をご参照ください。

DBD061 Oracle
<div><div><div><div><div></div><div><div>マシン演習</div></div></div></div><div>研修コース</div></div></div> <div>Oracle Database 12c R2 管理 ネット・ステップ</div>
3日間
データベースの環境構築、オブジェクト管理、セキュリティ管理、バックアップ・リカバリを行う際に必要な知識や操作方法をより深く学習します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">Oracle Databaseインスタンスの管理ができる。 記憶域構造の作成および管理ができる。 Oracleネットワーク環境の構成ができる。 データベースの監視とパフォーマンスの管理ができる。 バックアップの取得と簡単な障害からのリカバリができる。
対象者 Oracleデータベースを運用する方。ORACLE MASTER Silver OracleDatabaseの資格取得をめざす方。
前提知識 「Oracle Database 12c R2 管理 クイック・スタート」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容 <ol style="list-style-type: none">Oracle Databaseアーキテクチャの確認 データベース・インスタンスの管理 Oracleネットワーク環境の構成 ユーザー・セキュリティの管理 データベース記憶域構造の管理 領域の管理 データ同時実行性の管理 Oracle Database監査の実装 バックアップおよびリカバリ データの移動 データベースのメンテナンス パフォーマンスの管理
備 考 このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。 <ul style="list-style-type: none">このコースは、Oracle社認定コースです。 このコースは、日本オラクル(株)が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」(PDF)を使用します。 コース実施およびメール送信に必要となるご受講者の個人情報やOracle社へ提供いたします。ダウンロード時に必要な情報は、ご受講前(開始日の約1週間前)にOracle社よりご受講者の方へメールにてご連絡します。 このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。

DBE332 Oracle
<div><div><div><div><div></div><div><div>eラーニング</div></div></div></div><div>研修コース</div></div></div> <div><eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c PL/SQL基礎</div>
14時間
基本的なPL/SQLプログラミングを学習します。制御文、明示カーソル、例外処理、ストアド・プロシージャ、ファンクションの概要など、プログラムを作成する上で必須の内容について学習します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">PL/SQLのプログラミング構造を理解し作成できる。 効率的に実行されるPL/SQL無名ブロックを作成できる。 データベースに接続するPL/SQLコードの記述ができる。 実行時エラーの処理を理解し活用できる。
対象者 PL/SQLを使用してOracleデータベースのアプリケーションを開発する方。
前提知識 「Oracle Database 12c 入門 SQL基礎Ⅰ」コースを修了しているか、同等の知識があること。
内 容 <ol style="list-style-type: none">はじめに ストアド・プロシージャの作成 ファンクションの作成およびサブプログラムのデバッグ パッケージの作成 パッケージの使用 アプリケーション開発でのオラクル社が提供するパッケージの使用 動的SQLの使用項 PL/SQLコードの設計上の考慮事項 トリガーの作成 複数トリガー、DDLトリガーおよびイベント・データベース・トリガーの作成 PL/SQLコンパイラの使用
備 考 本ページ右下※1をご参照ください。

DBE309 Oracle
<div><div><div><div><div></div><div><div>eラーニング</div></div></div></div><div>研修コース</div></div></div> <div><eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c PL/SQLプログラム開発</div>
21時間
基礎的なPL/SQL知識をお持ちの開発者向けのコースです。ファンクション、パッケージおよびデータベース・トリガーなどのPL/SQLストアド・プロシージャの開発・運用・管理を学習します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">ストアド・プロシージャおよびファンクションを作成できる。 PL/SQLパッケージの設計による関連構造のグルーパ化および包含を説明できる。 PL/SQLサブプログラム間の依存関係を管理できる。
対象者 PL/SQLを使用してOracleデータベースのアプリケーションを開発する方。
前提知識 【【マシン演習付き】Oracle Database 12c PL/SQL基礎】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容 <ol style="list-style-type: none">はじめに ストアド・プロシージャの作成 ファンクションの作成およびサブプログラムのデバッグ パッケージの作成 パッケージの使用 アプリケーション開発でのオラクル社が提供するパッケージの使用 動的SQLの使用項 PL/SQLコードの設計上の考慮事項 トリガーの作成 複数トリガー、DDLトリガーおよびイベント・データベース・トリガーの作成 PL/SQLコンパイラの使用 依存性の管理
備 考 本ページ右下※1をご参照ください。

DBD048 Oracle
<div><div><div><div><div></div><div><div>マシン演習</div></div></div></div><div>研修コース</div></div></div> <div>Oracle Database 12c 入門 SQL基礎Ⅰ</div>
3日間
リレーショナル・データベースの概念、SQLによるデータ操作およびスキーマ・オブジェクトの作成方法について学習します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">SQL関数 (TO_CHAR、SUBSTR、SUMなど) でデータを加工して取得できる。 複数の表の結合や、副問合せでデータを取得できる。 INSERT文、UPDATE文、DELETE文を使用できる。 表を作成、管理できる。
対象者 Oracleデータベースを使用し、かつSQL文の知識を必要とする方。ORACLE MASTER Bronze Oracle Databaseの資格取得をめざす方。
前提知識 「データベース入門－解説と操作体験－」コース、または【【ナビ機能付き】データベース基礎】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容 <ol style="list-style-type: none">はじめに SQL SELECT文を使用したデータの取得 データの制限とソート 単一行関数を使用した出力のカスタマイズ 変換関数と条件式の使用 グループ関数を使用した集計データのレポート 結合を使用した複数の表のデータの表示 集合演算子の使用 DML文を使用した表の管理 データ定義言語の概要
備 考 このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。 <ul style="list-style-type: none">このコースは、Oracle社認定コースです。 このコースは、日本オラクル(株)が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」(PDF)を使用します。 コース実施およびメール送信に必要となるご受講者の個人情報やOracle社へ提供いたします。ダウンロード時に必要な情報は、ご受講前(開始日の約1週間前)にOracle社よりご受講者の方へメールにてご連絡します。 このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。

DBE333 Oracle
<div><div><div><div><div></div><div><div>eラーニング</div></div></div></div><div>研修コース</div></div></div> <div><eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c SQL基礎Ⅱ</div>
14時間
スキーマ・オブジェクトの管理、データ・ディクショナリ・ビューの使用法、および応用的な問い合わせやデータセットの操作や正規表現を使用など効率的なSQLの記述方法を学習します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">スキーマオブジェクトの管理やデータディクショナリ・ビューを使用することができる。 副問い合わせを活用して効率的な問い合わせを行うことができる。 正規表現を使用した複雑な問い合わせを行うことができる。
対象者 Oracle Database 12cを使用したアプリケーションを開発する方。
前提知識 Oracle Database 12cに関する基本的な知識があること、および基本的なSQLに関する知識があること。
内 容 <ol style="list-style-type: none">データ・ディクショナリ・ビューの概要 ビューの作成 スキーマ・オブジェクトの管理 副問い合わせを使用したデータの取得 単一行関数を使用した出力のカスタマイズ 変換関数と条件式の使用 グループ関数を使用した集計データのレポート 結合を使用した複数の表のデータの表示 集合演算子の使用 DML文を使用した表の管理 データ定義言語の概要
備 考 右ページ右下※1をご参照ください。

DBD060 Oracle
<div><div><div><div><div></div><div><div>マシン演習</div></div></div></div><div>研修コース</div></div></div> <div>Oracle Database 12c R2 管理 クイック・スタート</div>
2日間
Oracleデータベースのインストールから環境構築、記憶域の管理、バックアップ・リカバリなど、データベース管理者の第一歩となる基礎的な技術を、マシン演習を通して学習します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">Oracleデータベースをインストールしデータベースを作成できる。 Enterprise Manager Database Expressを用いたデータベース記憶域構造、ユーザーおよびセキュリティの管理ができる。 Oracle SQL Developerを用いてスキーマ・オブジェクトの作成と管理ができる。 データベースの監視、およびアドバイザの使用について説明できる。
対象者 Oracleデータベースを運用する方。ORACLE MASTER Bronze Oracle Databaseの資格取得をめざす方。
前提知識 「Oracle Database 12c 入門 SQL基礎Ⅰ」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容 <ol style="list-style-type: none">Oracleデータベース管理の概要 データベースのインストールおよび作成 Oracle Enterprise Manager Database Express とSQLベース管理ツールの使用 Oracleネットワーク環境の構成 Oracleインスタンスの管理 データベース記憶域構造の管理 ユーザーおよびセキュリティの管理 スキーマ・オブジェクトの管理 バックアップおよびリカバリの実行 データベースの監視およびアドバイザの使用 ソフトウェアの管理
備 考 このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。 <ul style="list-style-type: none">このコースは、Oracle社認定コースです。 このコースは、日本オラクル(株)が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」(PDF)を使用します。 コース実施およびメール送信に必要となるご受講者の個人情報やOracle社へ提供いたします。ダウンロード時に必要な情報は、ご受講前(開始日の約1週間前)にOracle社よりご受講者の方へメールにてご連絡します。 このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。

DBD052 Oracle
<div><div><div><div><div></div><div><div>マシン演習</div></div></div></div><div>研修コース</div></div></div> <div>Oracle Database 12c SQLチューニングワークショップ</div>
3日間
自動SQLチューニング・コンポーネント、EXPLAIN、SQL Trace、TKPROF、SQL*Plus AUTOTRACE等のOracleの診断ツール・機能を用い、SQLをチューニングするための知識やノウハウについて学習します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">効率の悪いSQL文を識別できる。 SQL文を最適に実行するために改良できる。 アプリケーション・トレースを使用できる。 オプティマイザ・ヒントを効果的に使用できる。
対象者 Oracleデータベースにおいて、SQL文のチューニングに対する知識を必要とする方。
前提知識 「Oracle Database 12c 入門 SQL基礎Ⅰ」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容 <ol style="list-style-type: none">Oracle Databaseアーキテクチャの検討 SQLチューニングの概要 オプティマイザの概要 オプティマイザ演算子 実行計画の解釈 ケース・スタディ：スター型変換 オプティマイザ統計 バインド変数の使用 オプティマイザ・ヒントの使用 アプリケーション・トレース SQLチューニングの自動化
備 考 このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。 <ul style="list-style-type: none">このコースは、Oracle社認定コースです。 このコースは、日本オラクル(株)が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」(PDF)を使用します。 コース実施およびメール送信に必要となるご受講者の個人情報やOracle社へ提供いたします。ダウンロード時に必要な情報は、ご受講前(開始日の約1週間前)にOracle社よりご受講者の方へメールにてご連絡します。 このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。

DBE308 Oracle
<div><div><div><div><div></div><div><div>eラーニング</div></div></div></div><div>研修コース</div></div></div> <div><eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c バックアップ・リカバリ</div>
35時間
バックアップおよびリカバリ手順の適切な計画の立案について、さまざまなシナリオで学習します。要件の評価および適切なバックアップ・リカバリ計画の立案に役立つ知識も学習できます。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">適切なバックアップおよびリカバリ手順の立案ができる。 リカバリ手順を使用したメディア障害からのリカバリができる。 フラッシュバック・テクノロジーを使用したバックアップおよびリカバリ手順の補完ができる。
対象者 Oracle Database 12cのバックアップリカバリに携わる方。
前提知識 「Oracle Database 12c 管理 ネット・ステップ」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容 <ol style="list-style-type: none">はじめに リカバリ可能性の構成 RMANリカバリ・カタログの使用 バックアップ計画および用語 バックアップの実行 バックアップの向上 RMANによる暗号化/バックアップの使用 障害の診断 リストアおよびリカバリの概要 リカバリの実行 (パート1) リカバリの実行 (パート2) RMANおよびOracle Secure Backup フラッシュバック・テクノロジーの使用 フラッシュバック・データベース データの転送 Point-in-Timeリカバリの実行 データベースの複製 RMANパフォーマンスおよびチューニング バックアップおよびリカバリ・ワークショップ
備 考 本ページ右下※1をご参照ください。

DBE308 Oracle
<div><div><div><div><div></div><div><div>eラーニング</div></div></div></div><div>研修コース</div></div></div> <div><eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c バックアップ・リカバリ</div>
35時間
バックアップおよびリカバリ手順の適切な計画の立案について、さまざまなシナリオで学習します。要件の評価および適切なバックアップ・リカバリ計画の立案に役立つ知識も学習できます。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">適切なバックアップおよびリカバリ手順の立案ができる。 リカバリ手順を使用したメディア障害からのリカバリができる。 フラッシュバック・テクノロジーを使用したバックアップおよびリカバリ手順の補完ができる。
対象者 Oracle Database 12cのバックアップリカバリに携わる方。
前提知識 「Oracle Database 12c 管理 ネット・ステップ」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容 <ol style="list-style-type: none">はじめに リカバリ可能性の構成 RMANリカバリ・カタログの使用 バックアップ計画および用語 バックアップの実行 バックアップの向上 RMANによる暗号化/バックアップの使用 障害の診断 リストアおよびリカバリの概要 リカバリの実行 (パート1) リカバリの実行 (パート2) RMANおよびOracle Secure Backup フラッシュバック・テクノロジーの使用 フラッシュバック・データベース データの転送 Point-in-Timeリカバリの実行 データベースの複製 RMANパフォーマンスおよびチューニング バックアップおよびリカバリ・ワークショップ
備 考 本ページ右下※1をご参照ください。

※1
<ul style="list-style-type: none">収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドについて「内の学習利用環境を必ずご確認ください。http://www.oracle.com/jp/education/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf このコースは、日本オラクル(株)が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」(PDF)を使用します。 このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日内の連続した6日間です。 受講に必要な情報は、開始日に際しOracle社よりメールにてご連絡いたします。 このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報やOracle社へ提供いたします。 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。 ご利用最終日は、16：00まで利用可能です。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

データベース
日立製品
<p>JP1</p> uCosminexus Application Server
HIRDB
<p>OpenTP1</p> VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advance Data Binder
日立ストレージ
<p>Pentaho</p> デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

DBE310	Oracle
<div><div><div></div><div>eラーニング</div></div><div><div></div><div>修習コース</div></div></div>	

DBD062	Oracle
<div><div><div></div><div>eラーニング</div></div><div><div></div><div>修習コース</div></div></div>	

DBE311	Oracle
<div><div><div></div><div>eラーニング</div></div><div><div></div><div>修習コース</div></div></div>	

DBE331	Oracle
<div><div><div></div><div>eラーニング</div></div><div><div></div><div>修習コース</div></div></div>	

DBE321	Oracle
<div><div><div></div><div>eラーニング</div></div><div><div></div><div>修習コース</div></div></div>	

DBE324	Oracle
<div><div><div></div><div>eラーニング</div></div><div><div></div><div>修習コース</div></div></div>	

DBE315	Oracle
<div><div><div></div><div>eラーニング</div></div><div><div></div><div>修習コース</div></div></div>	

DBE319	Oracle
<div><div><div></div><div>eラーニング</div></div><div><div></div><div>修習コース</div></div></div>	

DBE322	Oracle
<div><div><div></div><div>eラーニング</div></div><div><div></div><div>修習コース</div></div></div>	

DBE323	Oracle
<div><div><div></div><div>eラーニング</div></div><div><div></div><div>修習コース</div></div></div>	

DBE325	Oracle
<div><div><div></div><div>eラーニング</div></div><div><div></div><div>修習コース</div></div></div>	

DBE327	Oracle
<div><div><div></div><div>eラーニング</div></div><div><div></div><div>修習コース</div></div></div>	

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

※1
・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
・このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。 お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。 http://www.oracle.com/jp/education/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf
・このコースは、日本オラクル(株)が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材[eKit](PDF)を使用します。
・このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日の内の連続した6日間です。
・受講に必要な情報は、開始日に際しOracle社よりメールにてご連絡いたします。
・このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。
・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
・このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。
・ご利用最終日は、16：00まで利用可能です。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

日立製品
<p>JP1</p> uCosminexus Application Server
HIRDB
<p>OpenTP1</p> VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
<p>Pentaho</p> デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス / ヒューマン
グローバル

DBE341 Oracle
<div><div><div><div><div></div><div><div><eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c R2</div></div></div></div><div>新機能 for 12c R1 管理者</div></div></div>
Oracle Database 12c R1 データベース管理者を対象に Oracle Database 12c R2 の新機能を学習します。さらに Oracle Database Cloud Service の概要についても学習します。
到達目標 マルチテナント、セキュリティ、可用性、パフォーマンス、管理性、パーティション化、SQLなど、さまざまなOracle Database 12c Release 2(12.2.0.1)の新機能や機能拡張について説明できる。
対象者 Oracle Database 12c R2データベースを管理する方。
前提知識 【【マシン演習付き】Oracle Database 12c 新機能】eラーニングコースを修了されているか、同等の知識があること。
内 容 <ol style="list-style-type: none">はじめに アプリケーション・コンテナとアプリケーション CDB、アプリケーション・コンテナ およびPDBのセキュリティ 新しい方法を使用したPDBの作成 PDBのリカバリとフラッシュバック CDBとPDBのパフォーマンス CDBおよびPDBでのアップグレードおよびその他の操作 権限およびユーザー・プロファイル 監査 データ・リダクション データ暗号化 透過的機密データ保護 データの可用性 Oracle Data Pump、SQL*Loader および外部表 インメモリーリストア SQLチューニングの機能拡張 リソース・マネージャおよび その他のパフォーマンスの拡張 オンステートメント・リフレッシュ・マテリアライズド・ビューの使用 管理性の拡張 診断性の機能拡張 Oracle Database Cloud Services SQLおよびSQLcl
備考 <ul style="list-style-type: none">このコースは、日本オラクル(株)が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」(PDF)を使用します。 このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日内の連続した6日間です。 右ページ右下※2をご参照ください。

DBE342 Oracle
<div><div><div><div><div></div><div><div><eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c</div></div></div></div><div>データ・マイニング手法</div></div></div>
データ・マイニングの基本的な概念から、Oracle Advanced AnalyticsオプションのコンポーネントであるOracle Data Miningによる予測分析まで、Oracle Database 機能を活用したアナリティクスの実践方法を学習します。
到達目標 Oracle Data MiningのGUIツールであるOracle Data Miner 4.1を使用できるようになり、データのグラフィカルな調査、複数のデータ・マイニング・モデルの作成と評価、新しいデータへのOracle Data Miningモデルの適用およびOracle Data Miningの予測および洞察の企業全体へのデプロイを行うことができる。
対象者 Oracleデータベースを用いたデータ・マイニング作業について携わる方。
前提知識 「Oracleではじめる統計入門」eラーニングコースを修了されているか、同等の知識があること。
内 容 <ol style="list-style-type: none">はじめに 予測分析とデータ・マイニングの概念 データ・マイニングのプロセス Oracle Data Miner 4.1 の紹介 分類モデルの使用 回帰モデルの使用 クラスタリング・モデルの使用 マーケット・バスケット分析の実行 異常検出の使用 構造化データ及び非構造化データのマイニング 予測問合せの使用 予測モデルのデプロイ
備考 <ul style="list-style-type: none">このコースは、日本オラクル(株)が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」(PDF)を使用します。 このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日内の連続した6日間です。 右ページ右下※2をご参照ください。

DBE343 Oracle
<div><div><div><div><div></div><div><div><eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Enterprise Manager Cloud Control 12c</div></div></div></div><div>による管理</div></div></div>
Oracle Enterprise Manager Cloud Control 12cのコア機能の使用方法を学習します。
到達目標 Cloud Controlの管理と監視、ホストやグループ、システム、サービスの管理、ターゲットの監視、ジョブ・システムとEnterprise Managerレポート・ツールの使用、構成の表示と比較、コンプライアンスの管理などのタスクについて修得できる。
対象者 Oracle Enterprise Manager Cloud Control 12cを用いたシステムの統合管理に携わる方。
前提知識 「Oracle Database 12c 管理ネクスト・ステップ」コースを修了されているか、同等の知識があること。
内 容 <ol style="list-style-type: none">はじめに Enterprise Managerのコア概念の確認 Enterprise Manager Cloud Controlの管理および監視 ターゲットの監視 ホストの管理 グループの管理 システムおよびサービスの管理 ジョブ・システムの使用 インシデントの管理 パッチ適用およびプロビジョニング 構成の管理 コンプライアンスの管理 Enterprise Managerレポートの作成および使用
備考 <ul style="list-style-type: none">このコースは、日本オラクル(株)が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」(PDF)を使用します。 このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日内の連続した6日間です。 右ページ右下※2をご参照ください。

DBE029 Oracle
<div><div><div><div><div></div><div><div><eラーニング>資格試験準備セミナー：ORACLE MASTER Bronze 12c</div></div></div></div><div>(受験チケット付)</div></div></div>
ORACLE MASTER Bronze Oracle Database 12c 資格試験(12c SQL、Bronze DBA 12c)の頻出トピックを模擬問題とインストラクターによるポイント解説で学習します。また、試験をご受験いただけるように、受験チケット：Oracle認定資格オンライン試験用が1枚と受験チケット：Oracle認定資格会場試験用が1枚付いています。
到達目標 ORACLE MASTER Bronze Oracle Database 12c 資格試験のポイントを理解できる。
対象者 Oracle Master Bronze 12c の資格取得をめざす方。
前提知識 「Oracle Database 12c 入門 SQL基礎Ⅰ」および「Oracle Database 12c 管理 クイック・スタート」コースを修了されているか、同等の知識があること。
内 容 <ol style="list-style-type: none">ORACLE MASTER Bronze試験の受験準備 <ol style="list-style-type: none">12c SQL <ul style="list-style-type: none">SQLのSELECT文の使用によるデータの取得 データの制限とソート 単一行関数の使用による出力のカスタマイズ 変換関数と条件式の使用 グループ関数の使用による集計データのレポート 結合の使用による複数の表のデータの出力 副問合せの使用による問合せの解決 集合演算子の使用 DML文の使用による表の管理 データ定義言語の概要 Bronze DBA 12c <ul style="list-style-type: none">Oracleデータベース管理の概要 Oracleデータベースのインストールおよびデータベースの作成 Oracle Enterprise Manager Database Express およびSQL管理ツールの使用 Enterprise Manager 管理者権限の付与 Oracle Network環境の構成 Oracleインスタンスの管理 データベース記憶域構造の管理 ユーザーおよびセキュリティの管理 スキーマ・オブジェクトの管理 データベースの監視およびアドバイザの使用 Oracleデータベース・ソフトウェアの管理
備考 <ul style="list-style-type: none">このコースのサービス有効期間は180日間です。 右ページ右下※2をご参照ください。

DBE019 Oracle
<div><div><div><div><div></div><div><div><eラーニング></div></div></div></div><div>Oracleではじめる統計入門</div></div></div>
Oracle製品ユーザを対象に、データベースに格納されている膨大なデータの活用方法や、統計に関する基本的な知識および分析関数を活用したデータ分析を、レクチャ形式で学習します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">Big Dataを取り巻く環境を説明できる。 基本的な統計手法について説明できる。 Oracle Databaselにおけるデータ分析ができる。
対象者 Oracleデータベースを運用する方、Oracleデータベースのアプリケーション開発やデータ分析業務に携わる方。
前提知識 「Oracle Database 11g 入門 SQL基礎Ⅰ」、「Oracle Database 11g 管理 クイック・スタート」および「Oracle Database 11g PL/SQL基礎」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容 <ol style="list-style-type: none">Big Dataを取り巻く環境 統計概要 平均 度数分布と標準偏差 散布図とバブル・チャート 時系列分析（傾向分析） 多次元分析 Oracle Databaseで提供される分析関数
備考 <ul style="list-style-type: none">このコースは、日本オラクル(株)が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」(PDF)を使用します。 このコースのサービス有効期間は90日間です。 このコースは、旧「Oracleではじめる統計入門」コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) 右ページ右下※2をご参照ください。

DBE030 Oracle
<div><div><div><div><div></div><div><div><eラーニング>資格試験準備セミナー：ORACLE MASTER Silver 12c</div></div></div></div><div>(受験チケット付)</div></div></div>
ORACLE MASTER Silver Oracle Database 12c 資格試験の頻出トピックを模擬問題とインストラクターによるポイント解説で学習します。また、試験をご受験いただけるように、受験チケット：Oracle認定資格会場試験用が1枚付いています。
到達目標 ORACLE MASTER Silver Oracle Database 12c 資格試験のポイントを理解できる。
対象者 ORACLE MASTER Silver 12c認定資格取得をめざす方。
前提知識 ORACLE MASTER Bronze 12cの試験範囲に関する十分な知識があること。
内 容 <ol style="list-style-type: none">インストール、アップグレード <ol style="list-style-type: none">(1)Oracle Grid Infrastructure およびOracle データベースのインストールとデータベースの作成 (2)Oracleデータベースのアップグレード Oracle Databaseの管理 <ol style="list-style-type: none">(1)インスタンスの管理、Oracleネットワーク環境の構成 (2)ユーザー・セキュリティの管理、同時実行性の管理 (3)データベース記憶域構造の管理 (4)バックアップ・リカバリ、データ移動、リソース・マネージャ、Oracle Schedulerの使用 (5)データベースのメンテナンス、パフォーマンスの管理
備考 <ul style="list-style-type: none">このコースのサービス有効期間は180日間です。 右ページ右下※2をご参照ください。

DBE031 Oracle
<div><div><div><div><div></div><div><div><eラーニング>資格試験準備セミナー：ORACLE MASTER Gold 12c</div></div></div></div><div>(受験チケット付)</div></div></div>
ORACLE MASTER Gold Oracle Database 12c 資格試験の頻出トピックを模擬問題とインストラクターによるポイント解説で学習します。また、ORACLE MASTER資格の試験をご受験いただけるように、受験チケット：Oracle認定資格会場試験用が1枚付いています。
到達目標 ORACLE MASTER Gold Oracle Database 12c 資格試験のポイントを理解できる。
対象者 ORACLE MASTER Gold 12c認定資格取得をめざす方。
前提知識 ORACLE MASTER Silver 12cの試験範囲に関する十分な知識があること。
内 容 <ol style="list-style-type: none">バックアップとリカバリ <ol style="list-style-type: none">(1)Oracle データ保護ソリューション (2)基本的なバックアップとリカバリの実行 (3)リカバリ能力の構成 (4)RMAN リカバリ・カタログの使用 (5)バックアップ計画の実装・実行 (6)RMAN バックアップ・オプションの設定および非データベース・ファイルのバックアップの作成 (7)RMAN 暗号化バックアップの使用 (8)障害の診断 (9)リストアおよびリカバリ操作の実行・RMAN を使用したファイルのリカバリ (10)Oracle Secure Backup の使用 (11)フラッシュバック・テクノロジーの使用・フラッシュバック・データベースの使用 (12)データの転送 (13)データベースの複製 (14)RMAN の操作の監視と調整 プラグابل・データベースとコンテナ・データベースの管理 <ol style="list-style-type: none">(1)マルチテナント・コンテナ・データベースとプラグابل・データベースのアーキテクチャと作成 (2)CDB と PDB の記憶域の管理・セキュリティの管理 (3)可用性の管理 (4)パフォーマンスの管理 (5)データの移動、セキュリティ操作の実行、他のOracle製品との統合
備考 <ul style="list-style-type: none">このコースのサービス有効期間は180日間です。 本ページ右下※2をご参照ください。

DBE340 Oracle
<div><div><div><div><div></div><div><div><eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Unlimited Product Learning Subscription</div></div></div></div><div></div></div></div>
対象のOracleトレーニング・オンデマンドを、期間中自由に学習します。
到達目標 担当するOracleデータベース技術分野についての実践的な知識・技術について理解できる。
対象者 Oracleデータベース製品について、全般的な技術力の向上をめざす方。
前提知識 特に必要としません。ただし、コンテンツごとに前提知識が設定されている場合があります。
内 容 <ol style="list-style-type: none">任意のOracleトレーニング・オンデマンドコース 各種の関連する技術についての動画
備考 <ul style="list-style-type: none">提供されているコンテンツの種類や詳細につきましては、以下のページをご覧ください。http://education.oracle.com/pls/web_prod-plq-dad/db_pages.getpage?page_id=1034 このコースのサービス有効期間は365日間です。 本ページ右下※2をご参照ください。

日立製品
<p>JP1</p> uCosminexus Application Server
HIRDB
<p>OpenTP1</p> VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advance Data Binder
日立ストレージ
<p>Pentaho</p> デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス / ヒューマン
グローバル

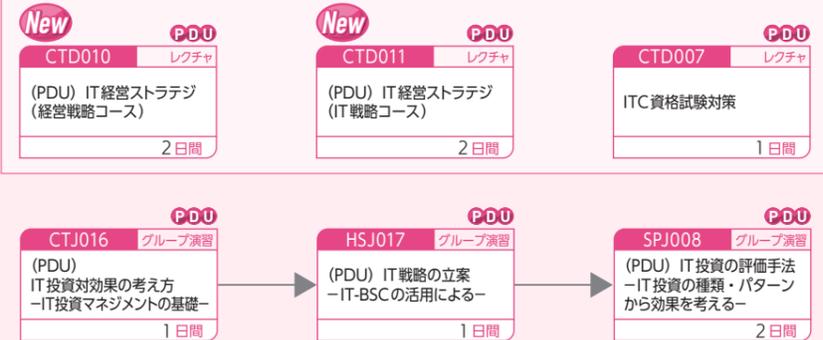
※2
<ul style="list-style-type: none">収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。http://www.oracle.com/jp/education/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf 受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。 このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。 学習開始日10営業日前を過ぎでのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。 ご利用最終日は、16：00まで利用可能です。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

IT戦略・IS企画

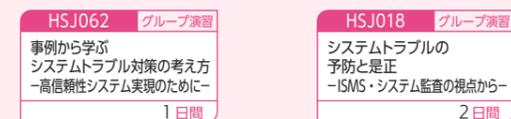
IT戦略・企画立案やプロセス評価、BA(Business Analysis)に関する知識や手法が修得できます。

● 経営戦略/IT戦略の立案・強化をお考えの方

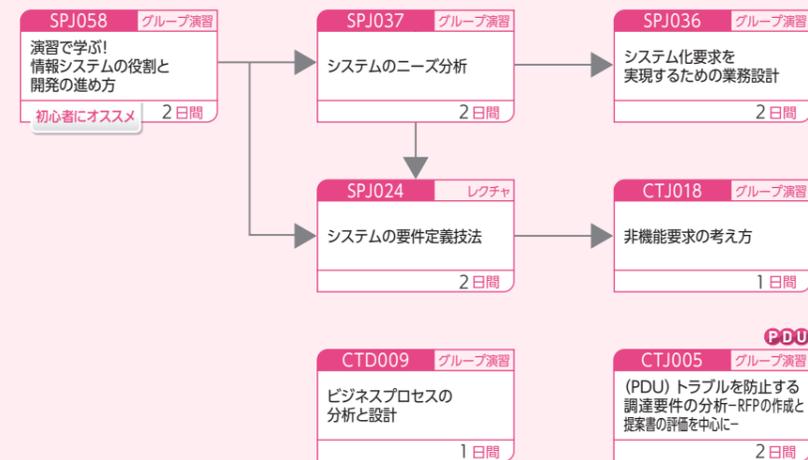
<ITコーディネータ関連コース>



● 内部統制の向上・強化をお考えの方



● システム企画/要件定義に携わる方



音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

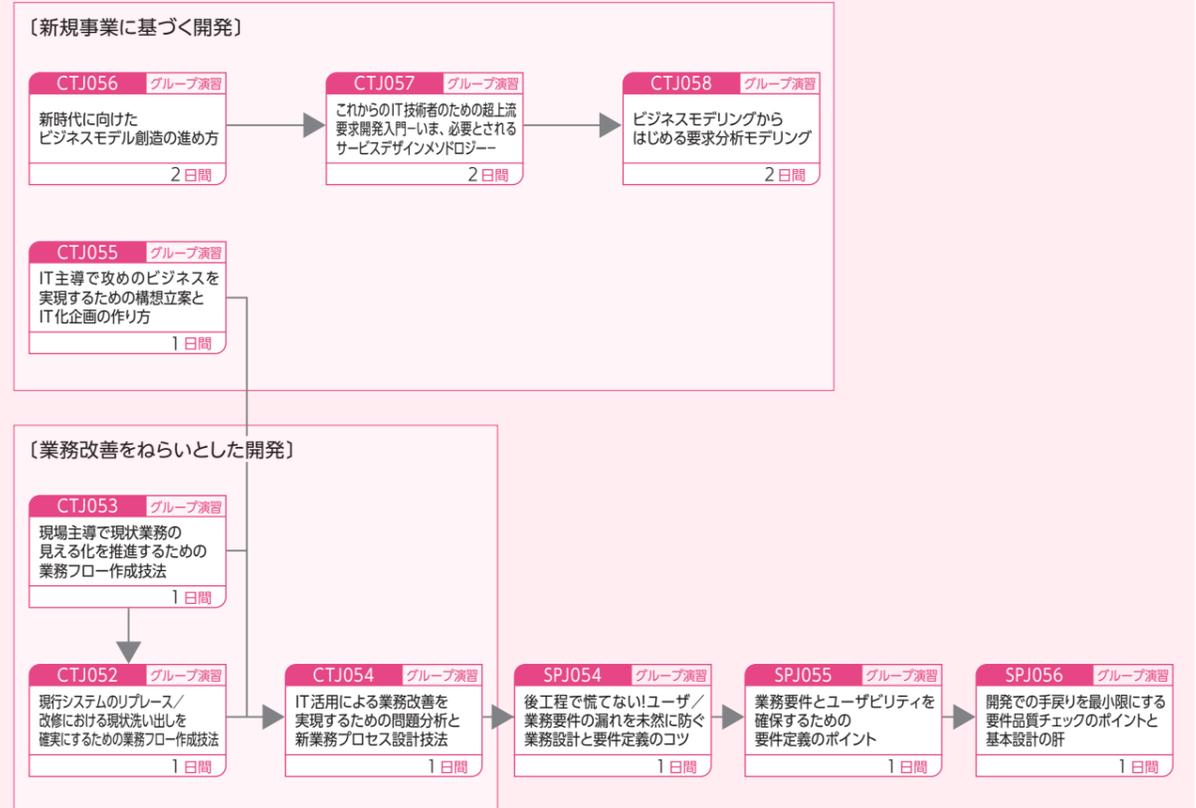
音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

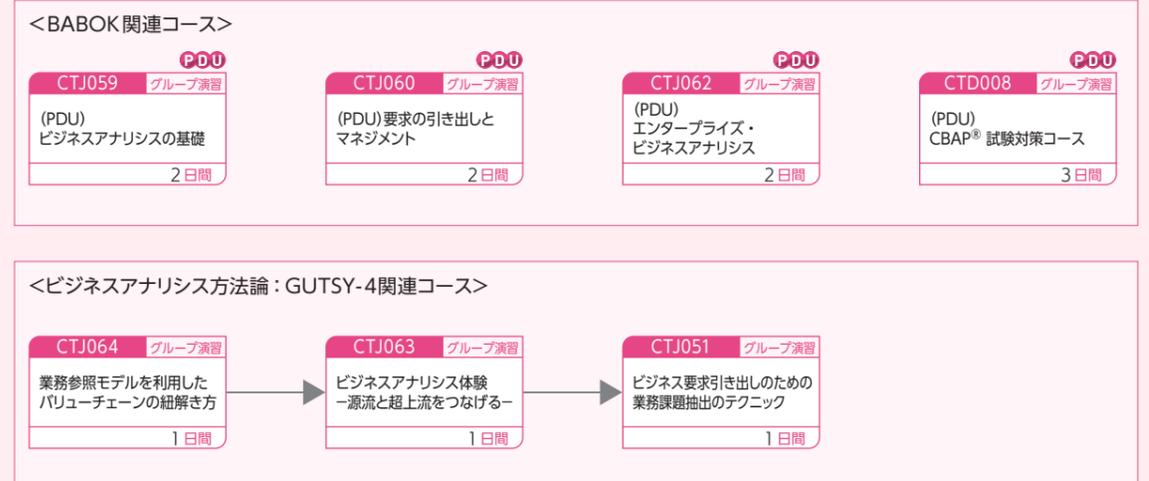
初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

● システム企画/要件定義に携わる方(特に、現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたってお悩みの方向け)



● ビジネスアナリシスに取り組まれる方、関心をお持ちの方



日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル
180

● 情報システム部門でベンダー・マネジメントに携わる方

<div> <div>休 講</div> </div>	<div> <div>CTJ046</div> </div>	<div> <div>グループ演習</div> </div>	<div> <div>CTJ026</div> </div>	<div> <div>グループ演習</div> </div>
<div> <div>情報システム導入を成功させる要件定義とベンダー折衝の実践ポイント</div> </div>	<div> <div>情報システムのユーザテスト移行・切替・本番稼働の準備実務</div> </div>	<div> <div>1 日間</div> </div>	<div> <div>1 日間</div> </div>	
<div> <div>PDU</div> </div>	<div> <div>CTJ005</div> </div>	<div> <div>グループ演習</div> </div>	<div> <div>CTJ022</div> </div>	<div> <div>グループ演習</div> </div>
<div> <div>(PDU) トラブルを防止する調達要件の分析-RFPの作成と提案書の評価を中心に-</div> </div>	<div> <div>情報システム部門のための開発工程におけるベンダー・マネジメント</div> </div>	<div> <div>2 日間</div> </div>	<div> <div>2 日間</div> </div>	

● システムエンジニア (SE) でサブベンダーのマネジメントに携わる方

<div> <div>PDU</div> </div>	<div> <div>CTJ037</div> </div>	<div> <div>グループ演習</div> </div>
<div> <div>(PDU) SEのためのベンダーマネジメント</div> </div>	<div> <div>2 日間</div> </div>	

● 保守開発に携わる方

<div> <div>SPJ033</div> </div>	<div> <div>グループ演習</div> </div>
<div> <div>保守開発におけるトラブル対策の考え方</div> </div>	<div> <div>1 日間</div> </div>

音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

<div> <div>HSJ017</div> </div>	<div> <div>IT戦略・IS企画</div> </div>
<div> <div>グループ演習</div> </div>	<div> <div>(PDU) IT戦略の立案</div> </div>
<div> <div>1 日間</div> </div>	<div> <div>-IT-BSCの活用による-</div> </div>

「ビジネスに役立つIT投資」を実践するために必要となるIT戦略立案プロセスに関する知識や限られた経営資源で最高のITパフォーマンスを引き出す戦略面でのポイントを、講師による解説、ケーススタディ演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：6.5ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・IT戦略の基礎知識を理解できる。
・経営者が納得するIT企画書を作成できる。

対象者 IT戦略立案を担当する方、システム企画を担当する方、システムアナリスト・システムエンジニア・セールスエンジニアの方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内 容

1. 今なぜIT戦略なのか
 - (1) クラウゼヴィッツの戦略論
 - (2) 経営トップはIT戦略に関与しているか
 - (3) IT部門は経営戦略を意識しているか、ほか
2. IT戦略の基礎知識
 - (1) 全体最適化
 - (2) 組織体制
 - (3) 情報化投資ほか
3. ITバランススコアカード(IT-BSC)による戦略マネジメント
 - (1) ビジョンと戦略
 - (2) IT-BSCの標準フレームワーク
 - (3) IT投資マネジメントへの応用ほか
4. 経営者が納得するIT企画書
 - (1) どれだけの費用が発生するのか
 - (2) どれだけの効果が期待できるのか
 - (3) IT投資企画書のフレームワークほか
5. まとめ

備 考 ・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。

<div> <div>CTJ005</div> </div>	<div> <div>IT戦略・IS企画</div> </div>
<div> <div>グループ演習</div> </div>	<div> <div>(PDU) トラブルを防止する調達要件の分析</div> </div>
<div> <div>2 日間</div> </div>	<div> <div>-RFPの作成と提案書の評価を中心に-</div> </div>

情報システムの開発/導入は重要な投資案件であるにも関わらず、処理能力不足や予算超過など、多くの失敗事例が報告されています。これらの中には調達要件の分析不備が原因と推定されるケースも少なくありません。システム要件を的確に伝えるRFPの作成、ベンダからの提案書の合理的な評価方法、および信頼性を向上させるIT契約書の締結などに関する知識を、演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：12ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・RFPの作成と提案書の合理的な評価ができる。
・信頼性の高いIT契約を締結できる。

対象者 情報システム部門でシステム企画/調達等を担当する方、システムアナリスト・プロジェクトマネージャ・システムエンジニア・セールスエンジニアの方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内 容

1. IT調達が抱える課題と調達要件分析の重要性
2. プロジェクト調達マネジメント/IT調達ガイドライン
 - (1) 要件を的確に伝えるRFP（提案依頼書）
 - (1) 演習：新システム導入に関するRFP検討
4. 合理的な提案書評価
 - (1) 演習：ベンダからの提案書評価
5. 信頼性を向上させるIT契約書
 - (1) 演習：ベンダからの提案書評価

・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。

<div> <div>SPJ008</div> </div>	<div> <div>IT戦略・IS企画</div> </div>
<div> <div>グループ演習</div> </div>	<div> <div>(PDU) IT投資の評価手法</div> </div>
<div> <div>2 日間</div> </div>	<div> <div>-IT投資の種類・パターンから効果を考える-</div> </div>

IT投資に対するユーザー企業の評価は依然として厳しい状況が続いています。このような状況を解決しIT投資を生かすためには、経営陣の積極的な関与はもちろん、IT投資の目標を明確にし、目標に対する費用対効果について適切な評価ができるモデルを構築する必要があります。BSC、IT-BSC、SLMを、演習を通して体験するとともに、IT投資効果を戦略的投資、基盤への投資、保守への投資の観点から把握し、IT投資の評価モデル構築へのアプローチを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：13ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・IT投資の評価モデル構築へのアプローチを理解できる。
・IT投資の種類・パターンから見た効果を把握できる。

対象者 いかに効果的なIT投資を行うかに関心しておられるIT部門/ユーザー部門およびベンダの方、中小企業診断士・システムアナリスト・プロジェクトマネージャの方、またはこれらをめざす方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内 容

1. IT投資の実態と評価の状況
2. 情報化におけるコストの内訳、構造
3. IT投資の種類・パターンからみた効果把握のアプローチ
4. BSC（バランススコアカード）、IT-BSC（ITバランススコアカード）へのアプローチ、演習
5. SLM（サービレベルマネジメント）へのアプローチ、演習
6. IT投資評価モデル構築へのアプローチ

備 考 ・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。

<div> <div>SPJ033</div> </div>	<div> <div>IT戦略・IS企画</div> </div>
<div> <div>グループ演習</div> </div>	<div> <div>保守開発におけるトラブル対策の考え方</div> </div>
<div> <div>1 日間</div> </div>	

既存システムの修正や改良といった「保守開発」におけるトラブル対策の実践的知識を学習します。保守開発を進めるうえで留意すべきトラブル対策のポイントを、講師による解説とグループ演習を通して理解することができま。

到達目標 ・保守開発の現状と課題が説明できる。
・保守開発プロセスにおいて強化すべき改善ポイントが提言できる。
・保守開発で発生したシステムトラブルの原因分析と対策立案を実践できる。

対象者 プロジェクトマネージャ、保守開発担当者、品質管理担当者、内部監査担当者の方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内 容

1. 今なぜ保守開発のトラブル対策なのか
 - (1) 保守開発の現状
 - (2) 保守開発プロセスが抱える課題
2. 保守開発マネジメント概論
 - (1) 保守開発に関連するガイドライン
 - (2) トラブル防止に向けた取り組み
3. 保守開発プロセスの改革提言
 - (1) 保守開発段階での品質管理とは
 - (2) 保守開発計画と工数見積りのレベルアップ
 - (3) 開発環境とテスト環境の強化ポイント
4. 保守開発トラブルのマネジメント
 - (1) トラブル関連情報の収集と傾向分析
 - (2) ヒューマンファクタ分析の応用
 演習：保守開発におけるトラブルの事例研究
5. まとめ

講師：前橋システムコンサルティング株式会社 代表取締役 前橋 雅夫氏（公認システム監査人）

備 考 ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

<div> <div>CTJ016</div> </div>	<div> <div>IT戦略・IS企画</div> </div>
<div> <div>グループ演習</div> </div>	<div> <div>(PDU) IT投資対効果の考え方</div> </div>
<div> <div>1 日間</div> </div>	<div> <div>-IT投資マネジメントの基礎-</div> </div>

IT投資の提案者や評価者が身につけておきたいIT投資マネジメントに関する実践的スキルを、講師による解説、グループ演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：6ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・我が国のIT投資マネジメントの現状を再確認できる。
・IT投資マネジメントが抱える課題とそれを解決する各種方法論を理解できる。
・IT投資マネジメントシステムの構築手順を理解できる。

対象者 ITプロジェクトの提案及び評価を担当する方、および候補の方。または興味をお持ちの方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内 容

1. 今なぜIT投資マネジメントなのか
 - (1) 我が国のIT投資を取り巻く環境
 - (2) IT投資マネジメントが抱える課題
2. IT投資マネジメント概論
 - (1) IT投資マネジメントに関するガイドライン
 - (2) ITIM成熟度モデル
3. IT投資マネジメントシステムを構築する
 - (1) IT投資マネジメントプロセス
 - (2) ITバランススコアカード
 - (3) ITプロジェクトの費用対効果分析
 - (4) IT投資ポートフォリオモデル
4. まとめ

備 考 ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。

<div> <div>CTD010</div> </div>	<div> <div>IT戦略・IS企画</div> </div>
<div> <div>レクチャ</div> </div>	<div> <div>(PDU) IT経営ストラテジ</div> </div>
<div> <div>2 日間</div> </div>	<div> <div>(経営戦略コース)</div> </div>

IT経営推進のマネジメントプロセスとして、経営課題を引き出し、経営改革を実現するために「経営戦略プロセス」を中心に学習します。このコースでは企業ケース事例を用いながら、IT経営表現領域の経営戦略策定から、経営戦略実行、経営戦略評価段階にいたるまでの一連のIT経営を推進する手順を学習します。このコースは、IT経営推進プロセスガイドライン Ver.3.1に準拠し、ITコーディネータ協会のIT経営体感ケース研修の認定コースとされているため、ITコーディネータ資格取得をめざす人にとっての推奨研修になっていきます。

※IT戦略、IT活用プロセスについては、別コースの【IT経営ストラテジ (IT戦略コース)】で学習が可能です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：16ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・IT経営の戦略策定と評価のポイントについて理解できる。
・経営者視点に基づいた経営戦略の策定に関するポイントを理解できる。

対象者 ・IT提案に経営者視点を加味したい方。
・IT戦略の前工程を学びたい方。
・経営企画業務に携わる方。
・経営改革または業務改革を提案する方。

前提知識 特に必要としません。

内 容

1. IT経営推進プロセス ガイドラインの理解
2. 変革認識プロセスの理解
3. 持続的成長認識プロセスの理解とまとめ

備 考 ・このコースは、9:30～18:30の開催とさせていただきます。
・このコースは、富士ゼロックス総合教育研究所との提携コースのため、富士ゼロックス総合教育研究所で開催します。
・コース実施に必要なご受講者の個人情報富士ゼロックス総合教育研究所へ提供いたします。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

日立製品
<p>JP1</p> uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
<p>デジタルトランスフォーメーション</p> IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

CTJ060	IT戦略・IS企画
<div></div>	<div></div>
(PDU) 要求の引き出しとマネジメント PDU	
2日間	

このコースでは、要求事項の分析と文書化に関するビジネスアナリストの役割の紹介とともに、その領域において必要とされるコア知識及びスキルを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：14ポイント)の取得が可能です。

到達目標	要求事項の分析と文書化に関するビジネスアナリストの役割の紹介を行うとともに、その領域において必要とされるコア知識およびスキルを理解し、実践できる。
対象者	ビジネスアナリストの知識を習熟、あるいはアップデートしたいとお考えの方。
前提知識	ビジネスアナリスに関する基本的な知識があること。
内 容	<ol style="list-style-type: none">ソリューション・スコープの妥当性確認 目標とスコープの妥当性確認 協働による要求の引き出し 要求マネジメント・プロセス 要求マネジメント モデルとは?なぜ使うか?いつ何をモデル化するのか? 要求の文書化と伝達 要求ロジトリー 要求の妥当性確認 ソリューションの妥当性確認と検証 要求のコントロール 要求変更管理 ビジネスアナリシ計画 要求計画の重要性 <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none">このコースは、9:30～18:00の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 PMI®、PMP®、<i>PMBOK®ガイド</i>、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。

CTJ062	IT戦略・IS企画
<div></div>	<div></div>
(PDU) エンタープライズ・ビジネスアナリシス PDU	
2日間	

このコースでは、どのようにして企業規模での複雑性や変革にビジネスアナリシスを適用するのかを学習します。具体的には、エンタープライズ分析とは?といった基本から始めたうえで、ディスカッションを通して、それがどのような投資戦略や変革対応に役立つのか、さまざまなアーキテクチャ(情報、アプリケーション、テクノロジー、ガバナンス)、ビジネス・アーキテクチャのブループリントとフレームワークを踏まえたビジネス・アーキテクチャとエンタープライズ・アーキテクチャの関係について理解します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:15ポイント)の取得が可能です。

到達目標	<ul style="list-style-type: none">企業におけるビジネスアナリシスを説明できる。 企業の構成要素をモデル化し、それらがどのように働くかを説明できる。 戦略を形成するために必要となる顧客価値を特定することができる。
対象者	ビジネスアナリシスの分野に関心のある方。
前提知識	ビジネスアナリシスに関する基本的な知識、一般的な戦略論に関する知識があること。
内 容	<ol style="list-style-type: none">エンタープライズ・ビジネスアナリシス ビジネスアーキテクチャ 価値マッピング ビジネスモデルからビジネス・ブループリントへ ビジネスプロセス管理 組織マップ エンタープライズ・アーキテクチャの作成 ケイパビリティ・マップ エンタープライズ・プロセス・ソリューション 組織学習 <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none">このコースは、9:30～18:00の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 PMI®、PMP®、<i>PMBOK®ガイド</i>、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。

CTD008	IT戦略・IS企画
<div></div>	<div></div>
(PDU) CBAP® 試験対策コース PDU	
3日間	

CBAP®試験は米国の非営利団体IIBA (International Institute of Business Analysis)が認定する資格で唯一日本語での受験が可能な資格です。そのCBAP®資格を取得するための試験対策として、米国Strategy Execution社のノウハウを活用し、合格に向けた学習ポイントを修得します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:24ポイント)の取得が可能です。

到達目標	<ul style="list-style-type: none">BABOK®の全体像と基礎知識を深く掘り下げ、合格に向けた学習ポイントや試験傾向と対策を説明できる。 現状知識の強いエリア、弱いエリアを明確にし、受験に向けた強化ポイントを説明できる。 CBAP®およびIIBAに関する知識と受験申請の手続き、受験に際しての心構えについて説明できる
対象者	CBAP®資格取得をめざす方。
前提知識	BABOK®の基礎知識を修得していること。
内 容	<ol style="list-style-type: none">試験概要/受験申請手続き 基本概念 計画と監視 引き出しとコラボレーション 戦略アナリシス 要求分析とデザイン定義 ソリューション評価 基礎コンピテンシー 要求ライフサイクル管理 パースペクティブ 15の問機擬定試/解答解説 <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none">このコースは、9:30～18:30の開催とさせていただきます。 PMI®、PMP®、<i>PMBOK®ガイド</i>、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。 <p>※別途ご案内いたします。</p>

CTJ037	IT戦略・IS企画
<div></div>	<div></div>
(PDU) SEのためのベンダーマネジメント PDU	
2日間	

このコースでは、調達方針を踏まえ、SEがサブベンダーを取り纏める際のVMIについて、開発プロジェクトの現場でサブベンダーの作業実態を把握し、作業進捗管理とリスクマネジメントを遂行する方法を修得します。SEがサブベンダーを取り纏める際の、VMのための「プロセス実施方法の合意」「VM計画と問題解決プロセスの共有」「VM実行・監視コントロール」の具体策を学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：14ポイント)の取得が可能です。

到達目標	<ul style="list-style-type: none">ベンダーマネジメント(VM)の基本枠組みを説明できる。 実際のVM状況の改善策の実務検討ができる。 ベンダーの問題解決行動を判断、評価する方法を説明できる。
対象者	外部委託先を使って顧客向けシステムを開発するSEの方。
前提知識	<ul style="list-style-type: none">情報システムの開発に携わった経験があること。 これから情報システム開発に携わる方で3年以上の実務経験があるか、または同等の知識があること。
内 容	<ol style="list-style-type: none">プロジェクト合意 <ol style="list-style-type: none">(1)プロジェクトで開発するプロダクト、サービス、文書 (2)主要マイルストーン (3)前提条件の共有 (4)リスク要因の共有 (5)契約文書の理解 (6)ベンダー責任の明確化 VM計画と問題解決プロセス共有 <ol style="list-style-type: none">(1)プロジェクト計画の確認 (2)役割と責任の確認 (3)進捗管理方法の共有 (4)問題解決プロセスの共有 (5)リスクマネジメントプロセスの共有 (6)問題解決プロセスの運用方法の共有 (7)ベンダーとのコミュニケーションプランの共有 VM実行・監視コントロール・終結 <ol style="list-style-type: none">(1)ベースラインの確認 (2)ベンダーの進捗報告コントロール (3)双方でのリスクコントロール (4)変更コントロール (5)終結のコントロール <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none">このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 PMI®、PMP®、<i>PMBOK®ガイド</i>、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。

休 講	休 講
	今期の定期開催はありません

CTJ054	IT戦略・IS企画
<div></div>	<div></div>
IT活用による業務改善を実現するための問題分析と新業務プロセス設計技法	
1日間	

組織の生産性向上を実現するためにはITを活用した業務改善が重要になります。しかし、とすれば既存業務の在り方に引っぱられてしまい単なる現状の焼き直しに留まり期待したほどの成果を得られないケースも度々です。本当に取り組むべき問題をどのようにして発見しIT化によって解決するのかの考え方について、書籍「はじめよう!プロセス設計」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心にお伝えします。

到達目標	<ul style="list-style-type: none">問題構造分析について説明できる。 新しい業務プロセスの作り方について説明できる。
対象者	取り組みが進まず困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのかが悩んでいるITエンジニア職の方。
前提知識	5年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。また、情報システムの開発または運用に携わった経験があることが望ましい。
内 容	<ol style="list-style-type: none">業務改善とは何か? 顧客と本業とビジネスモデル ITと業務プロセスの関係 顧客の真のニーズとToBe設計 カスタマーエクスペリエンスとIT サービスデザインとIT IT化とデジタル化の違い <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none">このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 このコースは、2017年度まで公開していた「ビジネス視点からのIT活用と業務プロセス改善の立案技法-IT化企画の基礎から実践まで-」および「ビジネス視点からのITサービスデザインの進め方」と同等の内容を含みます。

CTJ055	IT戦略・IS企画
<div></div>	<div></div>
IT主導で攻めのビジネスを実現するための構想立案とIT化企画の作り方	
1日間	

デジタルライゼーション・AI・IoT…など、ITを全面的に活用することでこれまでになかった新しいビジネスモデルを実現する企業がどんどん生まれています。自社においてこのような取り組みをどのように進めればいいのかを、その最重要ポイントに絞って、書籍「はじめよう!プロセス設計」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心にお伝えします。

到達目標	<ul style="list-style-type: none">ITの真の価値について説明できる。 新しい業務プロセスの作り方について説明できる。
対象者	取り組みが進まず困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのかが悩んでいるITエンジニア職の方。
前提知識	5年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。また、情報システムの開発または運用に携わった経験があることが望ましい。
内 容	<ol style="list-style-type: none">IT化と従来のシステム化の違い 企画とは何か? 顧客と本業とビジネスモデル 顧客の真のニーズとToBe設計 カスタマーエクスペリエンスとIT サービスデザインとIT IT化とデジタル化の違い <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none">このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 このコースは、2017年度まで公開していた「ビジネス視点からのIT活用と業務プロセス改善の立案技法-IT化企画の基礎から実践まで-」および「ビジネス視点からのITサービスデザインの進め方」と同等の内容を含みます。

 マシン演習	 グループ演習	 レクチャ
マシンを使用したからの研修	グループ演習を中心とした研修	座学による研修

 演習環境	 eラーニング	 自習テキスト
職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習	インターネット接続による自己学習	自習書による自己学習

 eラーニング	 自習テキスト
インターネット接続による自己学習	自習書による自己学習

日立製品
<p>JP1</p> uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
<p>デジタルトランスフォーメーション</p> IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

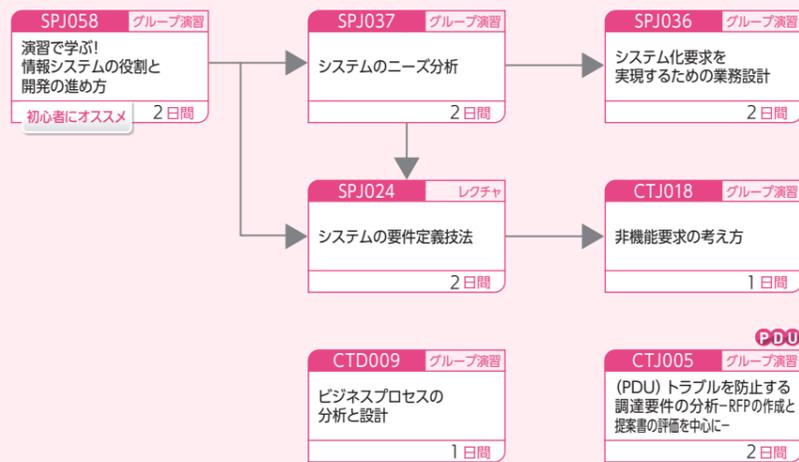
要件定義/設計

情報システムの開発に必要な基礎知識や、開発手順、分析、設計技法が修得できます。

● 初めて情報システムの開発に携わる方



● システムの分析・要件定義を担当する方



音声有+説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

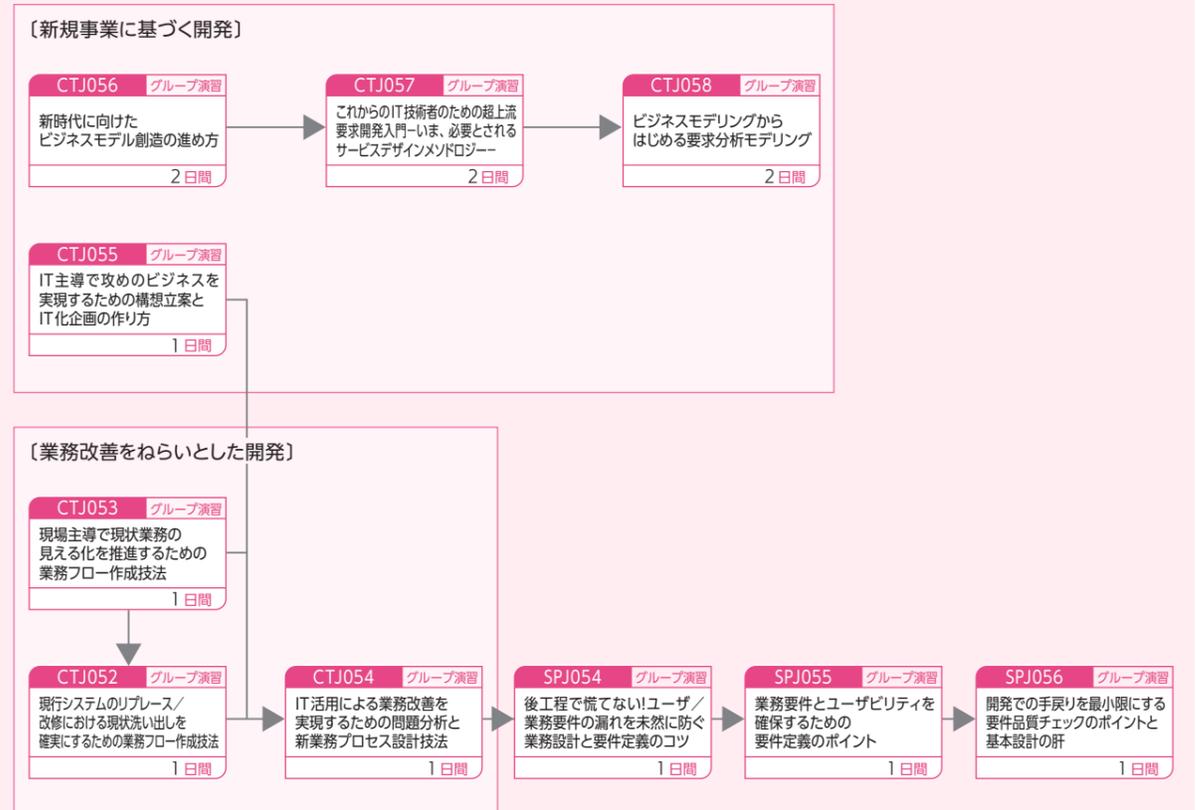
音声有+説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし+説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

● システム企画/要件定義に携わる方(特に、現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたってお悩みの方向け)



● システム開発の設計を担当する方



休講 休講
今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

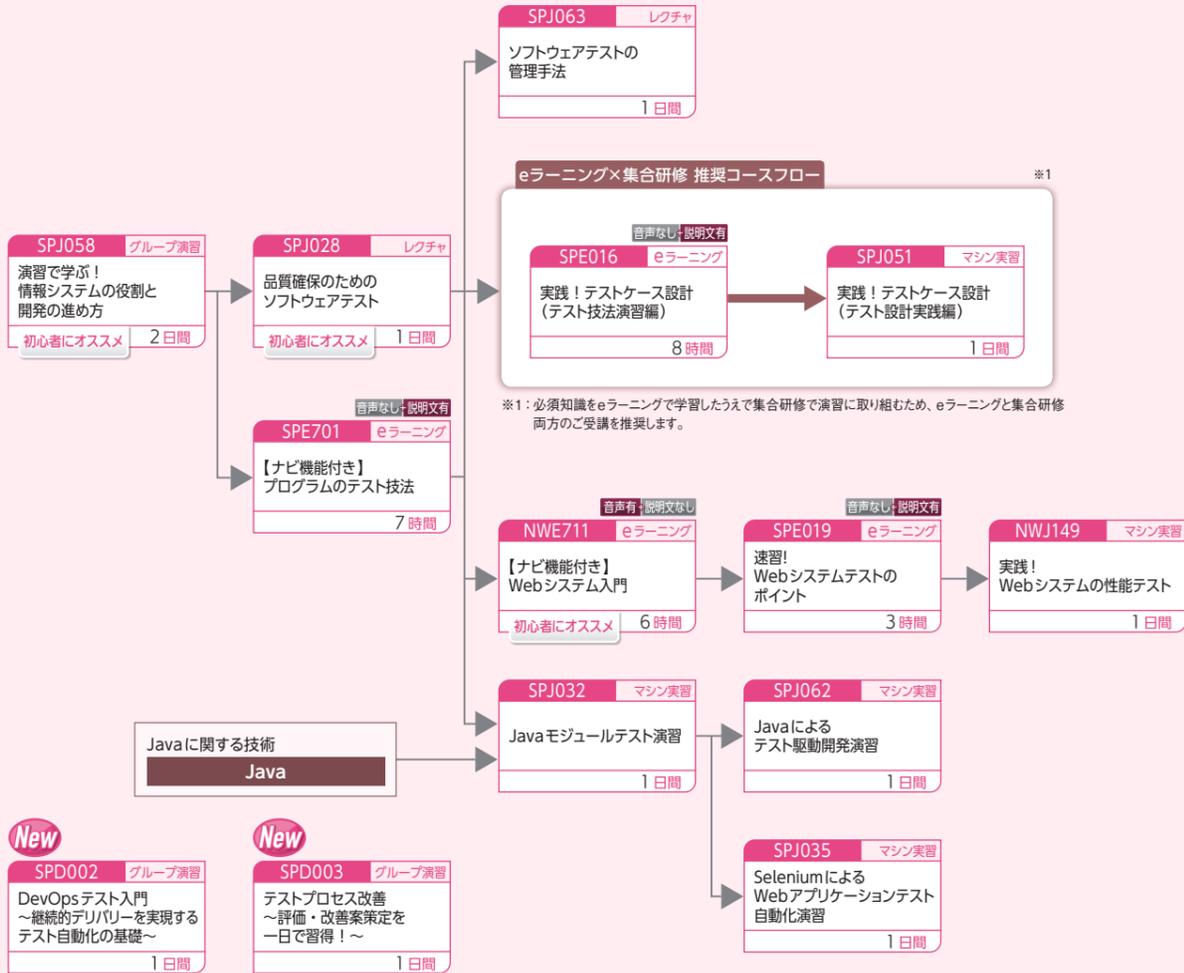
● システムの最新動向や事例を把握したい方

SPJ040 レクチャ クラウドコンピューティングで読み解くITサービスの最新動向 0.5日間	SPJ039 レクチャ 事例から学ぶSaaS活用提案のポイント 0.5日間	IOJ011 レクチャ スマートスピーカーの最新動向と社会インフラ適用の可能性 0.5日間
--	--	--

● DevOpsによるアプリケーション開発の流れを理解したい方

SPJ060 マシン実習 体験! 最新OSSを活用したDevOps入門-Lumadaにおけるアプリケーション開発の流れ- 1日間	SPJ059 マシン実習 (PDU)実践! DevOpsによるアジャイル開発-お客様に素早く価値を届けるために- 1日間	UXJ070 マシン実習 gitによるソフトウェア構成管理 1日間
---	---	--

● システムまたはプログラムのテストを担当する方



音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

SPJ058 要件定義/設計
演習で学ぶ! 情報システムの役割と開発の進め方
2日間

情報システムを開発・発注するうえで必要な基礎知識として、工程別に作業内容や作業目的を学習します。加えて開発プロジェクトの計画・統制・最終の側面から、代表的な仕事(見積り、契約など)についても学習します。

到達目標
・情報システムの役割を説明できる。
・開発プロセスおよび作業工程における作業概要を説明できる。
・開発方法論、代表的な成果物の表記法を説明できる。

対象者
これからシステムを企画、開発する方。

前提知識
「コンピュータ基礎」コースを修了しているか、またはコンピュータの基礎知識があること。

内容
1. 情報システムとは
(1)市場、定義、役割
2. 情報システムの開発
(1)作業と作業順序
(2)開発プロセス
(3)開発方式
3. 情報システムの維持・メンテナンス
(1)情報システムの寿命と保管場所
(2)必要な作業
4. 情報システムに関わる人
(1)プロジェクト・ステークホルダ
(2)職種
5. 情報システムのコスト
(1)見積り
(2)契約
6. 情報システムを支える技術
(1)サーバ、冗長化、クラウド、ビッグデータ
7. 演習
(1)業務分析、データ分析、機能分析

備考
・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

SJE707 要件定義/設計
<eラーニング>【ナビ機能付き】システム開発の基礎
4時間

システム設計の手法について基礎的な知識を学習します。

到達目標
システム設計に必要な作業について、手順や内容を説明できる。

対象者
・システム設計をこれからはじめる方。
・システム設計の基礎知識を身につけたい方。

前提知識
特に必要としません。

内容
1. システム開発と設計の役割
2. システムの品質と設計手法
3. 基本から詳細設計概略
(1)段階的詳細化のレベル
(2)業務機能設計
(3)実現方式設計(アーキテクチャ)
(4)外部インタフェース設計(遷移、レイアウト)
(5)パッチ処理設計
(6)データ基本設計(論理DB設計)
(7)プログラム詳細設計
(8)共通部品設計
(9)データ詳細設計
4. その他の開発手法
5. 修了試験

備考
・学習終了日は3月31日になります。
・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SPJ037 要件定義/設計
システムのニーズ分析
2日間

顧客の業務に一步踏み込み、的確なシステム化要件を導き出すまでの一連の基本動作を、ニーズ分析の進め方の解説と演習を通して学習します。

到達目標
・ニーズ分析の基礎を説明できる。
・顧客の業務に一步踏み込み的確なシステム化要件を導き出すまでの一連の基本動作を理解できる。

対象者
システム開発プロジェクトにおいて、システムのニーズ分析を行う方。

前提知識
情報システムに関する基礎知識があること。

内容
1. ニーズ分析の位置づけと意義
(1)「上流工程」で行うべきこと
(2)ニーズ分析の全体プロセス
(3)ニーズ分析の意義
2. ニーズ分析のプロセス
(1)準備フェーズ
(2)分析フェーズ

備考
・このコースは、9:30~17:30の開催とさせていただきます。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

SPJ036 要件定義/設計
システム化要求を実現するための業務設計
2日間

ニーズ分析に基づく業務アプリケーションの基本設計トレーニングです。システム設計の前提となる要求仕様定義を、業務の仕組みを念頭に確実に実行するための手法を修得します。

到達目標
・業務設計の進め方を説明できる。
・要求仕様定義を、業務の仕組みを念頭に確実に実行することができる。

対象者
業務モデリングに関心のある方。

前提知識
特に必要としません。

内容
1. 業務設計の位置づけと意義
(1)「上流工程」で行うべきこと
(2)業務設計の全体プロセス
(3)業務設計の意義
2. 業務設計のプロセス
(1)業務プロセスデザインフェーズ
(2)アプリケーションデザインフェーズ

備考
・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。
・このコースは、「ビジネスアプリケーション設計」コースの内容改訂および名称を変更したものです。

SPJ024 要件定義/設計
システムの要件定義技法
2日間

システム化による問題解決を図る際に求められる"システムが提供すべき機能"の導出方法について学習します。また、要件定義書を策定するうえで必須となる考え方について演習を通して学習します。非機能要件については、性能、セキュリティなどの観点から整理しておくべき事項を紹介します。

到達目標
・要件定義工程の作業概要、考慮すべき点を説明できる。
・要件定義工程で作成すべき成果物を説明できる。
・システム開発プロジェクトにおいて要件定義に携わる方。「演習で学ぶ! 情報システムの役割と開発の進め方」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

対象者
システム開発プロジェクトにおいて要件定義に携わる方。

前提知識
「演習で学ぶ! 情報システムの役割と開発の進め方」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
1. 要件とは
(1)定義
(2)各要件の内容
2. 要件定義と前後の作業
(1)共通フレームでの位置付け
(2)一般的な位置付け
(3)現状調査
(4)問題点分析・課題設定
(5)基本設計
3. 要件定義
(1)業務の表記法
(2)業務の検討
(3)アプリケーションの検討
(4)データの検討
(5)非機能要件の検討

備考
このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。

CTJ018 要件定義/設計
非機能要求の考え方
1日間

非機能要求グレードの意義や要求項目の定義を正しく理解し、非機能要件を的確に分析・仕様化するための知識修得をめざします。

到達目標
・非機能要求の概要を説明できる。
・非機能要求を規定する際の勘所を理解できる。
・非機能要求グレードの活用方法を説明できる。

対象者
上流工程を担当するシステムエンジニアの方。

前提知識
「演習で学ぶ! 情報システムの役割と開発の進め方」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
1. 非機能要求とは
(1)定義
(2)業務、実現手段との関係
(3)ステークホルダとの関係
(4)非機能要求間の関係
2. 非機能要求グレードとは
(1)概要
(2)非機能要求グレード活用手順
(3)非機能要求グレード活用事例
3. ケーススタディ演習(非機能要求の分析)
4. まとめ

備考
・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

日立製品
<p>JP1</p> uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

CTD009 要件定義 / 設計	グループ演習
1日間	
ビジネスプロセスの分析と設計	
ビジネスプロセスに着目した業務設計の重要性と、モデリング技法を紹介します。そのうえで、UMLなどを用いたビジネスプロセスの設計手順を学習します。	
到達目標	・ビジネスプロセスの概要を説明できる。 ・ビジネスプロセスの設計手順を説明できる。
対象者	業務の設計、あるいは情報システムの計画を行う方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. ビジネスプロセスとは 2. ビジネスプロセスモデリング 3. ビジネスプロセス設計 4. ケース演習
備 考	・このコースは、9:30～18:00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

SPE017 要件定義 / 設計	eラーニング
5時間	ナビ機能付き
<eラーニング> 構造化モデリングによるシステムの機能抽出	
データフロー図やデータディクショナリ、ERD、状態遷移図を用いてシステムを構造的に分析する手法を学習します。また、システムを段階的に詳細化しモデル化する価値や思考法を学習します。	
到達目標	・データフロー図、データディクショナリ、ERD、状態遷移図を読み、理解できる。 ・アーキテクチャを設計するための基本的な手段を説明できる。
対象者	情報システム開発プロジェクトに参画し、分析モデリングを行う方。
前提知識	システム開発に関する基礎知識があること。
内 容	1. 背景 <p>(1) 現実とソフトウェアのギャップ</p> <p>(2) 要求とソフトウェアのギャップ</p> <p>(3) ソフトウェアの開発に必要な作業</p> 2. 思考方法
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、旧「構造化モデリングによるシステムの機能抽出」コース(集合研修)をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SPE702 要件定義 / 設計	eラーニング
7時間	ナビ機能付き
<eラーニング> [ナビ機能付き] 待ち行列理論	
ITシステムの設計時に必要となる、待ち行列理論の基本的な考え方を理解します。単一窓口(M/M/1)と複数窓口(M/M/n)を中心に適用方法を修得します。	
到達目標	待ち行列モデルの「M/M/1」に関して説明できる。
対象者	待ち行列理論の基本を修得したい方。
前提知識	数学的な基礎知識があること。
内 容	1. 待ち行列理論 2. 解析事例学習項目 3. 演習問題 4. 修了試験
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

CTJ065 要件定義 / 設計	グループ演習
2日間	
エンタープライズ ITアーキテクチャのセオリー	New
近年の企業システムは初期の導入から数十年が経過し、相次ぐ変化によって複雑化、巨大化し、多くの問題を抱えています。こうした背景にある企業システムに、今こそ求められるものはアーキテクチャ(構造)です。老朽化した企業システムをやみくもに再構築するのではなく、自社がめざすアーキテクチャを描き、それに向けてシステム全体を着実に整備して行くことが今求められています。このコースでは、問題提起に始まり、EAの本質を踏まえた上で、具体的なソリューションの設計に至るまで、ITアーキテクチャ主導の企業システム設計について多くのセオリーを学びます。	
到達目標	企業のビジネスモデルに適合したITアーキテクチャ設計を修得できる。
対象者	・柔軟で拡張性に富んだ企業システムのITアーキテクチャがどうあるべきかを修得できる。 ・めざすアーキテクチャに基づいた企業システムの構築ロードマップを描けるようになる。 ・大規模システムの緩やかな再構築手法を理解し、ビッグパルスの回避策について修得できる。
前提知識	・企業システムを今後どのような方向に導くかを策定する立場の方。 ・将来の事業変化に備えて、企業システムを柔軟に対応できるようにしたいとお考えの方。 ・カオスと化したレガシー企業システムを整理整頓したいとお考えの方。 ・大規模基幹系システムの再構築を成功裏に取めたいとお考えの方。
内 容	・中規模から大規模アプリケーションシステムの設計・開発の経験があること。 ・SCM、会計、生産、販売、営業といった一会社の一般的業務知識があること。
備 考	・このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

SPJ038 要件定義 / 設計	マシン演習
2日間	
アプリケーション・アーキテクチャ 策定演習	
演習を通して、アプリケーション・アーキテクチャの策定要領を学習します。	
到達目標	・アプリケーション分野の機能要件、およびアプリケーション実行の土台となるシステム分野の非機能要件の整理の仕方を説明できる。 ・アプリケーション構築のための道具立てについて説明できる。 ・業務処理に適した業務オブジェクトの構成方法を説明できる。
対象者	アプリケーション・アーキテクチャの策定をお考えの方。
前提知識	情報システム開発の経験があること。
内 容	1. 要件定義と方式(アーキテクチャ)設計 2. 演習対象システムの概要 3. 要件定義 4. システム方式 5. アプリケーション方式
備 考	・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

SPJ039 要件定義 / 設計	レクチャ
0.5日間	
事例から学ぶSaaS活用提案のポイント	
最新のWebサービスの動向をSaaS概要を中心に解説し、主要なWebサービス提供者の取り組みや、企業における活用事例を解説します。	
到達目標	・SaaSの概要を理解できる。 ・今後のWebサービスの方向性がわかる。
対象者	最近のIT動向を把握したいとお考えの営業/SE/プログラマの方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. SaaS(Software as a Service)とは何か 2. SaaS登場までの経緯 3. SaaSを実現する技術 4. SaaSによって大きな変革を求められるITベンダー・主要プレーヤーの取り組み 5. SaaS導入事例解説 6. SaaS導入にあたって注意すべきこと 7. 今後のWebサービスの方向性
備 考	・このコースは、13:00～15:30の開催とさせていただきます。 ・「クラウドコンピューティングで読み解くITサービスの最新動向」コースとあわせてのご受講を推奨します。

SPJ040 要件定義 / 設計	レクチャ
0.5日間	
クラウドコンピューティングで読み解くITサービスの最新動向	
クラウドコンピューティングの技術的背景を総括しながら、新たなITサービスの動向や、今後の可能性について紹介します。	
到達目標	・クラウドコンピューティングの概念を理解できる。 ・ビジネスにおける活用例を知ることができる。 ・提案につなげるヒントについて考えることができる。
対象者	最近のIT動向を把握したいとお考えの営業/SE/プログラマの方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. クラウドコンピューティングとは? 2. クラウドコンピューティングを実現する技術 3. クラウドコンピューティングを実現化するサービス実例 4. クラウドコンピューティングによる近未来のITサービス
備 考	・このコースは、9:30～12:00の開催とさせていただきます。 ・「事例から学ぶSaaS活用提案のポイント」コースとあわせてのご受講を推奨します。

UXJ070 要件定義 / 設計	マシン演習
1日間	
gitによるソフトウェア構成管理	
構成管理の必要性、集中型/分散型それぞれの特徴を、マシン演習を通して学習します。個人演習だけでなくペア演習も行的、複数人開発で起こり得る問題点とその解決策も学習します。	
到達目標	・構成管理の必要性と概要を説明できる。 ・構成管理ツールの基本的な操作ができる。 ・複数人で構成管理する時の注意点を説明できる。
対象者	構成管理をこれから利用してアプリケーションを開発する方。システム開発で実装工程の経験があること。
前提知識	1. 構成管理とは 2. 構成管理の方法 <p>(1) 集中型</p> <p>(2) 分散型</p> 3. 個人での構成管理の利用 <p>(1) 集中型ツール(Subversion)の基本的な使用方法</p> <p>(2) 分散型ツール(git)と基本的な使用方法</p> <p>(3) 演習</p> 4. 複数人で構成管理の利用 <p>(1) マージと競合</p> <p>(2) リポジトリホスティングサービス(GitHub)と基本的な使用方法</p> <p>(3) ペア演習</p>
備 考	・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

SPJ054 要件定義 / 設計	グループ演習
1日間	
後工程で慌てない! ユーザ/業務要件の漏れを未然に防ぐ業務設計と要件定義のコツ	
システム開発プロジェクトの赤字の発生要因となる、仕様変更や仕様追加を未然に防ぐためには、詰めの甘い業務の設計や機能要件の漏れを早期にチェックし、対策することが求められます。設計工程や開発工程に課題を先送りしないための要件定義への取り組み方について、書籍「はじめよう!要件定義」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心にお伝えします。	
到達目標	・業務設計と要件定義の違いを理解できる。 ・業務設計の具体的な手法を理解できる。 ・システム要件の具体的な定義の仕方を理解できる。
対象者	現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのが悩んでいる担当者やSEの方。
前提知識	情報システムの開発または運用での業務経験があること。
内 容	1. ユーザテストでの手戻り要因 2. 要件定義とは何か? 3. 新業務フローと業務要件 4. 業務要件とシステム機能要件の違い 5. 例外処理と要件 6. 演習 7. まとめ
備 考	・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースは、2017年度まで公開していた「後工程での仕様変更/仕様追加を未然に防ぐ要件定義のコツ」と同等の内容を含みます。

SPJ055 要件定義 / 設計	グループ演習
1日間	
業務要件とユーザビリティを確保するための要件定義のポイント	
システム開発プロジェクトの終盤においてユーザの検証に伴って生じる「このシステムは使えない」という事態は単なる手戻りというレベルを超えて、プロジェクト自体の意義を問われることすら起こります。この事態を防止するためには、業務上の要件を満たすことと使い勝手を確保することが不可欠です。ではどうすれば良いのかということについて、書籍「はじめよう!要件定義」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心にお伝えします。	
到達目標	・業務要件とオペレーション要件の違いを理解できる。 ・要件定義に不可欠な三点セット(UI・機能・データ)について理解できる。
対象者	現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのが悩んでいる担当者やSEの方。
前提知識	情報システムの開発または運用での業務経験があること。
内 容	1. 業務要件とユーザビリティの関係 2. ユーザビリティとオペレーションフロー 3. 材料としての要件 <p>(1) UI</p> <p>(2) 機能</p> <p>(3) データ</p> <p>(4) CRUDマトリクスによる検証</p> 4. 演習 5. まとめ
備 考	・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースは、2017年度まで公開していた「開発時の手戻り予防を実現する要件品質チェック技法」と同等の内容を含みます。

SPJ056 要件定義 / 設計	グループ演習
1日間	
開発での手戻りを最小限にする要件品質チェックのポイントと基本設計の肝	
要件定義でいくら業務要件や使い勝手をしっかり考慮していても実装できないような要件では開発工程が迷走しコストを延々と垂れ流すこととなります。これを防止してきちんと要件を開発につなぐための要件チェックと基本設計をどのようにすべきかについて、書籍「はじめよう!要件定義」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心にお伝えします。	
到達目標	・設計について理解できる。 ・要件と設計の関係について理解できる。 ・アーキテクチャと各層における設計の方法について理解できる。
対象者	現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのが悩んでいる担当者やSEの方。
前提知識	情報システムの開発または運用での業務経験があること。
内 容	1. 開発で迷走する原因 2. 設計とは何か 3. 要件と設計の関係 4. アーキテクチャと基本設計 <p>(1) クライアント層</p> <p>(2) メッセージとサーバ層</p> <p>(3) インフォーマーションとDB層</p> 5. 演習 6. テスト設計(単体・結合・総合) 7. まとめ
備 考	・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースは、2017年度まで公開していた「開発時の手戻り予防を実現する要件品質チェック技法」と同等の内容を含みます。

日立製品
<p>JP1</p> uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

日立製品
<p>JP1</p> uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルランスフォーメーション
IT活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

SPJ028	要件定義 / 設計
<div><div><div><div><div></div><div>レクチャ</div></div></div><div><div><div></div><div>マシン実習</div></div></div></div></div> <div>品質確保のためのソフトウェアテスト</div>	
1日間	
 <div>システム開発を行ううえで品質を確保するために必要な、ソフトウェアテスト分野全般の知識を、担当者と管理者の高視点で学習します。</div>	
到達目標	<div><ul style="list-style-type: none">ソフトウェアテストの必要性を説明できる。ソフトウェアテストを実行しソフトウェアの欠陥を抽出できる。ソフトウェアテストの流れを説明できる。これからソフトウェアテストに関わる方。</div>
対象者	これからソフトウェアテストを担当する方。
前提知識	「コンピュータ基礎」コースを修了しているか、またはコンピュータの基礎知識があること。
内 容	1. ソフトウェアテスト概要 （テストの必要性、テストの目的、テストの実施と管理） 2. 開発におけるテストの位置づけ （テストレベル、W字モデル） 3. 静的テスト （コードレビュー、静的解析ツール） 4. テスト技法の活用 （1）制御構造に着目したテストケース設計 （2）入出力に着目したテストケース設計 （3）複雑な入出力に着目したテストケース設計 （4）欠陥の修正 5. テストの管理 （1）バグゼロの落とし穴 （2）テスト計画 （3）ソフトウェアメトリクス （4）改善のための布石
備 考	このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。

SPJ063	要件定義 / 設計
<div><div><div><div><div></div><div>レクチャ</div></div></div><div><div><div></div><div>マシン実習</div></div></div></div></div> <div>ソフトウェアテストの管理手法</div>	
1日間	
 <div>ソフトウェアテストを管理する手法について、テスト計画とテスト結果の分析と評価を中心に学習します。</div>	
到達目標	<div><ul style="list-style-type: none">テスト計画を立てることができる。テスト結果の分析と評価ができる。これからプロジェクト管理（特にテスト工程の管理）を担当する方。</div>
前提知識	「品質確保のためのソフトウェアテスト」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. ソフトウェアテストの管理すべきこと 2. テスト計画 3. テスト結果の分析と評価
備 考	・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 <p>※別途ご案内いたします。</p>

SPE016	要件定義 / 設計
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div></div></div> <div><eラーニング>実践！テストケース設計（テスト技法演習編）</div>	
8時間	
 <div>現在知られているテスト技法の全体像を知り、代表的な手法を扱う演習を通して、テスト実装のスキルを修得します。</div>	
到達目標	代表的なテスト技法を使用してテストケースを作成できる。
対象者	これからテスト技法を修得したい方。
前提知識	「品質確保のためのソフトウェアテスト」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. ソフトウェアテストにおける基本概念 2. テスト技法 （1）テスト技法の概要 （2）入出力に着目したテスト （3）入力の組合せに着目したテスト （4）状態に着目したテスト （5）コースケースに着目したテスト
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースは、「eラーニング×集合研修」の推奨コースです。 ・このコースは集合研修「実践！テストケース設計（テスト設計実践編）」コース（SPJ051）の前提となる共通の基礎知識部分をeラーニング化したものです。集合研修とあわせてのご受講を推奨します。 ・詳細につきましては、「eラーニング×集合研修」推奨コース学習要領をご覧ください。 https://www.hitachi-ac.co.jp/koushukai/BlendingLearning/index.html ・このコースは、旧題「実践！テストケース設計」コース（集合研修）と学習内容が重複します。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。

SPJ032	要件定義 / 設計
<div><div><div><div><div></div><div>マシン実習</div></div></div><div><div><div></div><div>マシン実習</div></div></div></div></div> <div>Javaモジュールテスト演習</div>	
1日間	
 <div>単体テスト（モジュールテスト）を自動化して、効率的にテストを実施する方法について学習します。またマシン実習では、JUnit等のテスト作成支援ツールを利用してテストコードを作成しテストを実施します。</div>	
到達目標	・自動テスト作成の考え方や、ツールを利用した実践的なテスト手順について説明できる。 ・ツールを利用して自動テストを実施できる。
対象者	Java言語でプログラムを作成する方、モジュールテストの自動化に興味のある方。
前提知識	「品質確保のためのソフトウェアテスト」コースおよび「Javaプログラミング2（基本クラス編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. テスト駆動開発について （1）テスト自動化の必要性 （2）本コースで利用するツールの関係 2. JUnit を使用したテスト自動化 （1）JUnit とは （2）テストコードの基本 （3）テストコード作成ガイド 3. 動的解析支援ツール （1）使用する動的解析ツール概要 （2）カバレッジ収集 （3）レポート作成 4. 演習
備 考	このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。

SPJ062	要件定義 / 設計
<div><div><div><div><div></div><div>マシン実習</div></div></div><div><div><div></div><div>マシン実習</div></div></div></div></div> <div>Javaによるテスト駆動開発演習</div>	
1日間	
 <div>テストを活用した開発手法であるテスト駆動開発について学習します。Javaによるアプリケーション開発を通して、テスト駆動開発の進め方やJUnitなどを利用した自動化の仕組みを学習します。</div>	
到達目標	・テスト駆動開発の進め方を説明できる。 ・テスト駆動開発を進めるうえでの重要点を説明できる。 ・実装前にテストコードを作成し、テストファーストの開発を実践できる。
対象者	テスト駆動開発を利用して開発を進める方。
前提知識	1. 「Javaプログラミング2（基本クラス編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 2. 「Javaモジュールテスト演習」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. はじめに 2. テスト駆動開発 3. 効率的にテスト駆動開発を進めるために 4. テスト駆動開発演習
備 考	・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

SPJ035	要件定義 / 設計
<div><div><div><div><div></div><div>マシン実習</div></div></div><div><div><div></div><div>マシン実習</div></div></div></div></div> <div>SeleniumによるWebアプリケーションテスト自動化演習</div>	
1日間	
 <div>SeleniumによりWebアプリケーションテストを自動化し、JUnitとSelenium WebDriverを用いてテストコードを作成して、効率的にテストを実施する方法について学習します。</div>	
到達目標	<div><ul style="list-style-type: none">Selenium WebDriverのJava用APIを利用してブラウザの操作を行うプログラムを作成できる。Selenium WebDriverとJUnitフレームワークを利用して、Webアプリケーションの自動テストを実施できる。Webアプリケーションのテストを行う方、Webアプリケーション自動操作のツールを作成する方。</div>
前提知識	「Javaプログラミング2（基本クラス編）」コース/eラーニングコースおよび「Javaモジュールテスト演習」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. Seleniumとは 2. Selenium WebDriver使用方法 3. JUnitフレームワークを利用したWebアプリケーションのテスト作成 4. Webアプリケーションのテスト自動化演習
備 考	・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

SPJ051	要件定義 / 設計
<div><div><div><div><div></div><div>マシン実習</div></div></div><div><div><div></div><div>マシン実習</div></div></div></div></div> <div>実践！テストケース設計（テスト設計実践編）</div>	
1日間	
 <div>このコースではモデルケースを使いテスト分析・設計に基づいてテストケースを作成する演習に取り組みます。その後ペアまたは小グループでレビューをし、より良いテストケースをめざします。</div>	
到達目標	<div><ul style="list-style-type: none">テスト分析・設計の考え方を理解できる。テスト分析・設計に基づいてテストケースを作成できる。テストケースの良し悪しについてレビューできる。これからソフトウェアテストを担当する人で、テストの目的を踏まえたテストケースを作りたい方。</div>
対象者	・テストケース密度を参考にテストケースを作るがバグが出ないなど、テストケースに関する問題を抱えている方。
前提知識	「実践！テストケース設計（テスト技法演習編）」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. ソフトウェアテストを取り巻く環境 2. テスト分析・設計 （1）テスト分析・設計の目的 （2）テスト分析・設計の進め方 （3）分析・設計結果の活用 3. 総合演習 （1）テスト分析・設計とテストケース作成 （2）テストケースレビューと振り返り
備 考	・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、「eラーニング×集合研修」の推奨コースです。 ・「実践！テストケース設計（テスト技法演習編）」eラーニングコース（SPE016）とあわせてのご受講を推奨します。eラーニングでは、このコースの前提となる基礎知識を修得します。 ・詳細につきましては、「eラーニング×集合研修」推奨コース学習要領をご覧ください。 https://www.hitachi-ac.co.jp/koushukai/BlendingLearning/index.html ・このコースは、グループ演習を含む構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

SPE019	要件定義 / 設計
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div></div></div> <div><eラーニング>速習！Webシステムテストのポイント</div>	
3時間	
 <div>Webシステムにおけるテスト設計において必要となる、テスト体系、着眼点、代表的な技法について学習します。</div>	
到達目標	<div><ul style="list-style-type: none">Webシステムテストの留意点を説明できる。Webシステムテストの種類を説明できる。Webシステムをテストする方、またはWebシステムを設計する方。</div>
対象者	Webシステムをテストする方、またはWebシステムを設計する方。
前提知識	「プログラムのテスト技法」eラーニングコース、または「品質確保のためのソフトウェアテスト」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. Webシステムを取り巻く状況 2. Webシステムのテストにおける姿勢と施策 （1）品質の定義を知る （2）ビジネスリスクを捉える （3）テストタピタピに留意する 3. Webシステムテストの種類 4. Webシステムテストのポイント （1）非機能テスト （2）グレーボックステスト （3）経験値ベーステスト （4）回帰テスト 5. Webシステムテストを自動化するツール
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

NWJ149	要件定義 / 設計
<div><div><div><div><div></div><div>マシン実習</div></div></div><div><div><div></div><div>マシン実習</div></div></div></div></div> <div>実践！Webシステムの性能テスト</div>	
1日間	
 <div>演習を通して、Webシステムの性能を測定しボトルネックを検出する観点を学習します。</div>	
到達目標	<div><ul style="list-style-type: none">性能テストの位置づけを説明できる。ボトルネック・ポイントを説明できる。性能の指標であるスループット、レスポンスタイム、性能限界点を説明できる。これから性能テストに携わる方。</div>
対象者	JavaEE、SQL、Webアプリケーションサーバ、データベースの基礎知識があること。
前提知識	「速習！Webシステムテストのポイント」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. キャパシティ・プランニングの実践 2. チューニング・サイクルの実践 3. ボトルネック・ポイントの検出
備 考	・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 <p>※別途ご案内いたします。</p>

SPE701	要件定義 / 設計
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div></div></div> <div><eラーニング>【ナビ機能付き】プログラムのテスト技法</div>	
7時間	
 <div>プログラムのテスト作業における手順、技法についての基本的な考え方を学習します。</div>	
到達目標	・プログラムのテストを実施する手順を説明できる。 ・テスト実施時に必要なテスト技法の概要と種類を説明できる。
対象者	これからプログラムのテストに携わる方。
前提知識	コンピュータおよびプログラミングの基礎知識があること。
内 容	1. プログラムテストの概要 （1）テスト作業の位置づけ （2）テストの必要性 （3）テスト作業の内容 2. プログラムのテスト技法 （1）テストデータの設計方法（ホワイトボックステスト、ブラックボックステスト） （2）テスト・デバッグの方法 3. テストの管理 4. 修了試験
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SPD002	要件定義 / 設計
<div><div><div><div><div></div><div>グループ演習</div></div></div><div><div><div></div><div>グループ演習</div></div></div></div></div> <div>DevOpsテスト入門～継続的デリバリーを実現するテスト自動化の基礎～</div>	
1日間	
 <div>テストの進め方、手動テスト・自動テストの使い分け、代表的な自動化ツールの適切な選択、およびその効果的な適用法を身につけるコースです。実際のプロジェクト現場からの声を集め、DevOpsにおいて非常に有効なリスクベースドテストのやり方、そこにおけるテスト技法の選択の勘所を学習し、実際に体感し、どのように活用していくかを修得します。</div>	
到達目標	・基本的なDevOpsの概念を理解できるようになる。 ・DevOpsにおける品質の捉え方、またアジャイルテストにおけるリスクベースドテストを活用したテスト技法の使い分け、自動テストとマニュアルテストの使い分けができるようになる。 ・TDD/ATDD/BDDを活用した自動化テストの基礎が理解できるようになる。
対象者	DevOpsにおけるテストについての基礎を学び、より効果的、効率的なテストを会得したい方。
前提知識	テスト設計およびテスト実行の経験があること。
内 容	1. DevOps基礎 （1）DevOpsとは （2）DevOpsとAgile （3）品質とテスト （4）テストプロセス （5）テスト計画 （6）テストレベル・テストタイプ（演習）良い品質のポイント（演習）リスク抽出 2. DevOpsにおけるテストの基礎を学び、より効果的、効率的なテストを会得したい方。 （演習）リスク抽出 （演習）リスクチャート （演習）③テスト技法の選択 3. DevOpsにおけるテスト自動化入門 （1）自動化の目的 （2）TDD/ATDD/BDDの活用（演習）Gherkin
備 考	・このコースは、10:00～17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、株式会社SHIFTとの提携コースのため、株式会社SHIFTで開催します。 ・コース実施に必要なご受講者の個人情報を株式会社SHIFTへ提供いたします。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

SPD003	要件定義 / 設計
<div><div><div><div><div></div><div>グループ演習</div></div></div><div><div><div></div><div>グループ演習</div></div></div></div></div> <div>テストプロセス改善～評価・改善案策定を一日で習得！～</div>	
1日間	
 <div>演習を繰り返すことによってソフトウェアテストを品質向上させる鍵となる「テストプロセス評価と改善」をたった一日で修得することができます。現場ですぐに使える実践的な技法です。講師は「数田和夫氏」（TPI NEXT®日本語版）訳者。特典：副読本として「TPI NEXT日本語版」をプレゼントします！！</div>	
到達目標	・ソフトウェアテストに関するさまざまな標準モデルとTPI NEXT®の位置づけを修得できる。 ・TPI NEXT®モデルの基本的な構造を修得できる。 ・TPI NEXT®のキーエリア・チェックポイントの理解と評価方法を修得できる。 ・TPI NEXT®を使ったプロセス改善実施計画の立案方法を修得できる。
対象者	・テストの品質を向上させたいと考えているリーダー、マネジャーの方。 ・品質向上のためにプロセス改善を検討している方。
前提知識	テストプロジェクト（もしくは開発プロジェクトでのテスト作業）の経験があること。
内 容	1. ソフトウェアテスト技術の標準化動向とTPI NEXTの位置づけ 2. TPI NEXT キーエリアとチェックポイント 3. プロセス評価と改善計画作成手順 4. テストプロセスの自己評価と発表 5. テストプロセス改善の自己計画作成と発表 6. まとめ
備 考	・このコースは、10:00～19:00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、株式会社SHIFTとの提携コースのため、株式会社SHIFTで開催します。 ・コース実施に必要なご受講者の個人情報を株式会社SHIFTへ提供いたします。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

 マシン実習 マシンを使用しながらの研修	 グループ演習 グループ演習を中心とした研修	 レクチャ 座学による研修
---	---	--

 演習環境 職場・ご自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習	 eラーニング インターネット接続による自己学習	 自己テキスト 自習書による自己学習
---	---	--

 eラーニング インターネット接続による自己学習	 自己テキスト 自習書による自己学習
--	---

 休講 今期の定期開催はありません
--

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

要件定義 / 設計

日立製品
<p>JP1</p> uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advance Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルランスフォーメーション
IT活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

193

モデリング

オブジェクト指向の基本概念やUMLによるシステム分析、設計、プログラミングが修得できます。

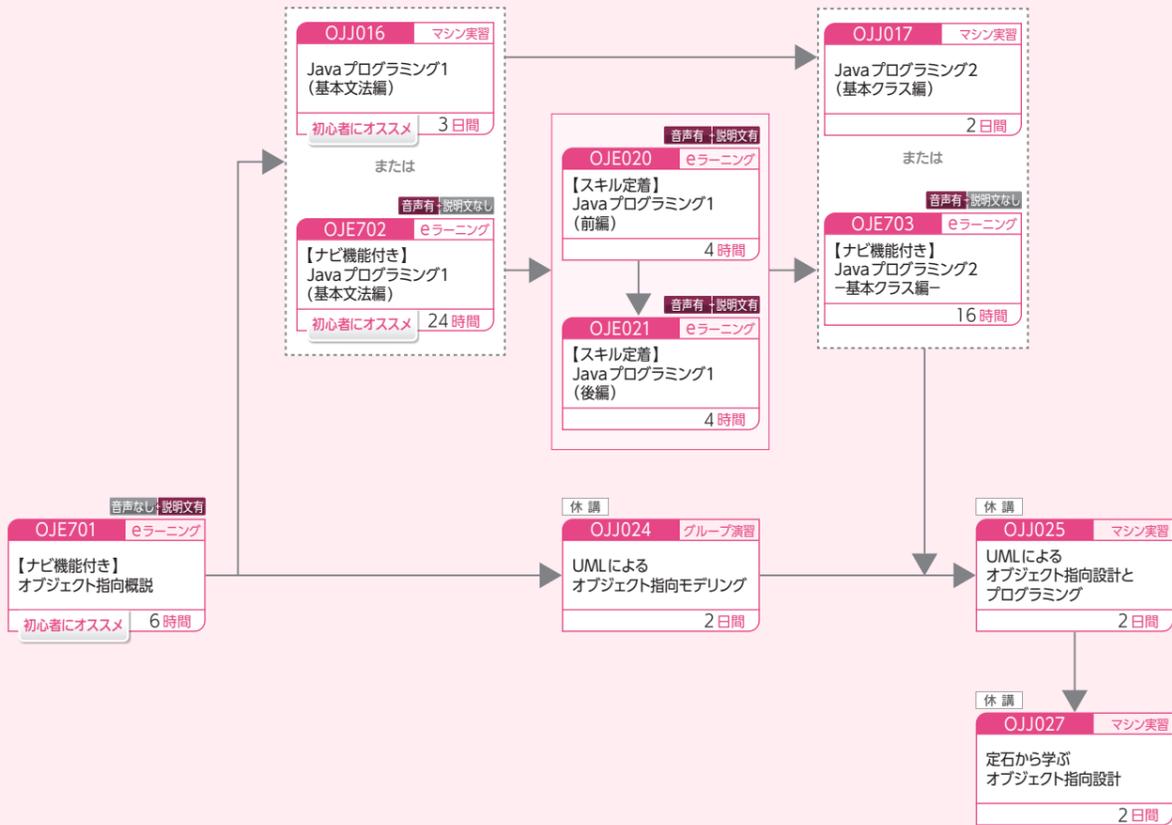
● UMLを初めて学習する方、または導入を検討する方



● UMLを適用してシステム分析をする方



● UMLを適用したシステム開発で設計・プログラミングをする方



音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

OJE701 モデリング
<eラーニング>【ナビ機能付き】オブジェクト指向概説
6時間
<p>オブジェクト指向の考え方と基本概念、およびオブジェクト指向による開発の流れを学習します。</p>
到達目標
<ul style="list-style-type: none"> オブジェクト指向の基本概念(オブジェクト、クラス、カプセル化、継承、ポリモフィズムなど)を説明できる。 オブジェクト指向による開発の流れを説明できる。 UML(Unified Modeling Language)の役割、概要を説明できる。
対象者
これからオブジェクト指向による情報システム開発に携わる方。
前提知識
特に必要としません。
内容
<ol style="list-style-type: none"> オブジェクト指向概要 UML概要 オブジェクト指向の基本概念 <ol style="list-style-type: none"> オブジェクト クラス 関連 継承 多態性 オブジェクト指向開発手順の概要 修了試験
備考
<ul style="list-style-type: none"> 学習終了日は3月31日になります。 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

OJE005 モデリング
<eラーニング>UML2.0入門
6時間
<p>UML(Unified Modeling Language)のコースケース図、クラス図、シーケンス図の書き方・読み方を学習します。</p>
到達目標
UML(Unified Modeling Language)の各種ダイアグラムについて、役割、記述内容を説明できる。
対象者
これからUMLを利用する方。
前提知識
【【ナビ機能付き】オブジェクト指向概説】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容
<ol style="list-style-type: none"> UMLとは UMLリファレンス オブジェクト指向言語(Java、C++)へのマッピング UMLの導入 修了試験
備考
<ul style="list-style-type: none"> 学習終了日は3月31日になります。 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

OJJ024 モデリング
UMLによるオブジェクト指向モデリング
2日間
<p>UMLを用いたモデリングによるシステム分析の手順および技法を紹介いたします。</p>
到達目標
<ul style="list-style-type: none"> UMLのクラス図を読み理解できる。 問題記述からUMLのクラス図を作成できる。
対象者
オブジェクト指向を適用した情報システム開発プロジェクトに参画し、分析モデリングを行う方。
前提知識
【【ナビ機能付き】オブジェクト指向概説】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容
<ol style="list-style-type: none"> 背景 <ol style="list-style-type: none"> 現実とソフトウェアのギャップ 要求とソフトウェアのギャップ ソフトウェアの開発に必要な作業 思考方法 モデリングスキルの修得 <ol style="list-style-type: none"> UMLを知る UMLを読む UMLを書く モデルを作る モデリングスキルの向上
備考
<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願い致します。
※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。

OJJ025 モデリング
UMLによるオブジェクト指向設計とプログラミング
2日間
<p>UMLで記述された分析モデルを設計モデルへ洗練する手順と、設計モデルをJavaでプログラミングする手順を紹介いたします。</p>
到達目標
<ul style="list-style-type: none"> UMLのクラス図、シーケンス図を基にJavaでプログラミングできる。 分析モデルを基に、実装できるレベルまで洗練し設計モデルを作成できる。
対象者
オブジェクト指向を適用した情報システム開発プロジェクトに参画し、分析・設計モデリングを行う方。
前提知識
「UMLによるオブジェクト指向モデリング」コースを修了(同コースで作成した分析モデルを利用します)し、かつJavaのプログラミング経験があること。
内容
<ol style="list-style-type: none"> モデリングの概要 <ol style="list-style-type: none"> モデルの価値 モデルの種類 モデラーの種類 モデリングスキルの修得 <ol style="list-style-type: none"> UMLを知る 分析モデルを読む 分析モデルを洗練する モデルを実装する モデリングスキルの向上
備考
<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。 前提コースとなる「UMLによるオブジェクト指向モデリング」コースで作成した分析モデルを設計・実装します。 このコースでは、ソフトウェア開発支援ツールを使用します。 このコースは、マシン実習を通し、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願い致します。
※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。

OJJ027 モデリング
定石から学ぶオブジェクト指向設計
2日間
<p>アプリケーションの仕様変更・追加、およびリファクタリングを行う過程を通して、デザインパターンを理解し、より良いモデルやプログラムを作成する手順を学習します。</p>
到達目標
<ul style="list-style-type: none"> デザインパターンの学習方法を説明できる。 クラス設計における留意点を説明できる。 インタフェース、抽象クラスの効果的な使い方を説明できる。
対象者
オブジェクト指向を適用した情報システム開発プロジェクトに参画し、設計・プログラミングを行う方。
前提知識
「UMLによるオブジェクト指向モデリング」コース、および「UMLによるオブジェクト指向設計とプログラミング」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容
<ol style="list-style-type: none"> 理論から学ぶ <ol style="list-style-type: none"> 結合度と凝縮度など デザインパターンから学ぶ <ol style="list-style-type: none"> 導入するうえでの留意点 学習するうえでの留意点 導き出した設計・実装におけるセオリー
備考
<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。

休講 休講 今期の定期開催はありません

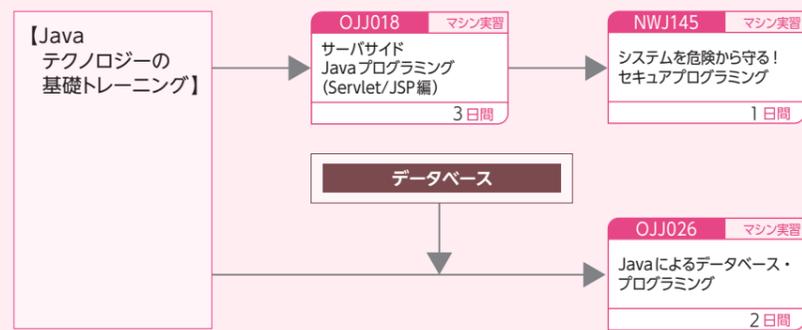
プログラミング

各種プログラミング言語を使用したアプリケーション開発を行うために必要な基本文法やプログラミング技術、Webアプリケーションの開発技術が修得できます。

● Java言語を使用してプログラムを開発する方 (Javaテクノロジーの基礎トレーニング)



● サーバサイド・テクノロジーを使用してアプリケーションを開発する方 (Java EEテクノロジーのトレーニング)



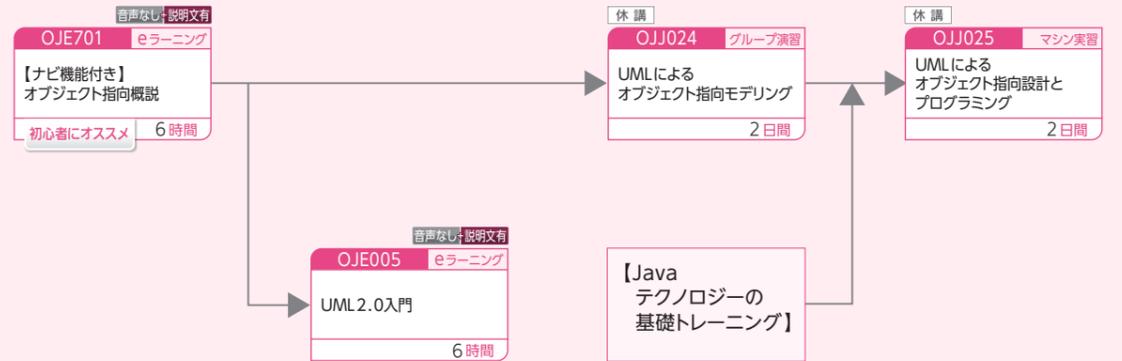
- 音声有+説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有+説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし+説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● Python言語を使ってアプリケーション開発する方

DBJ107 マシン実習
0から始めるPython入門
-データ分析での活用をテーマとして-
2日間

● Javaオブジェクト技術を使用してシステムを分析・設計する方



● Java言語の資格取得をめざす方

OJE022 eラーニング
資格試験準備セミナー：
OCJP Bronze SE 7/8
(受験チケット付)
7時間

OJE023 eラーニング
資格試験準備セミナー：
OCJP Silver SE 8
(受験チケット付)
7時間

OJE024 eラーニング
資格試験準備セミナー：
OCJP Gold SE 8
(受験チケット付)
7時間

● COBOLを使用してプログラムを開発する方



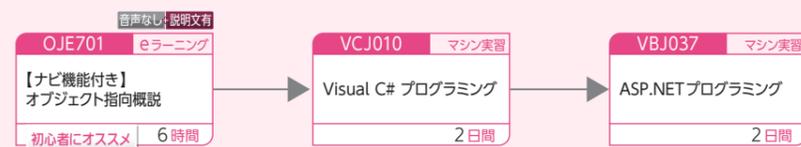
● C言語を使用してプログラムを開発する方



● Visual Basic を使用してアプリケーションを開発する方



● Visual C# を使用してアプリケーションを開発する方



音声有 + 説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有 + 説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし + 説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

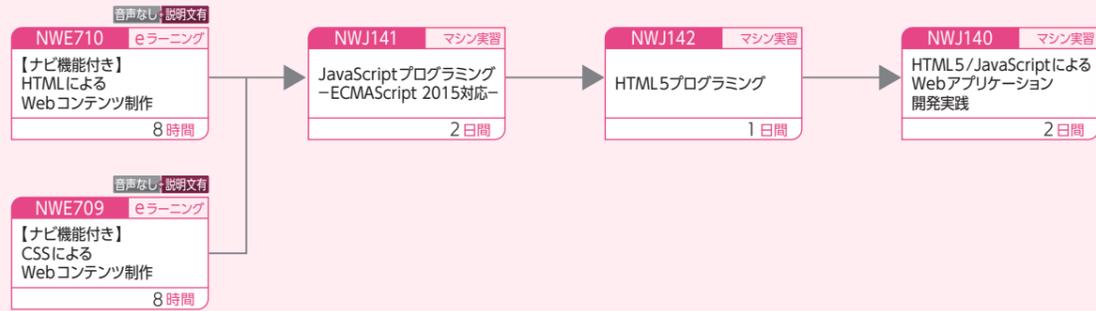
初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

休講 休講 今期の定期開催はありません

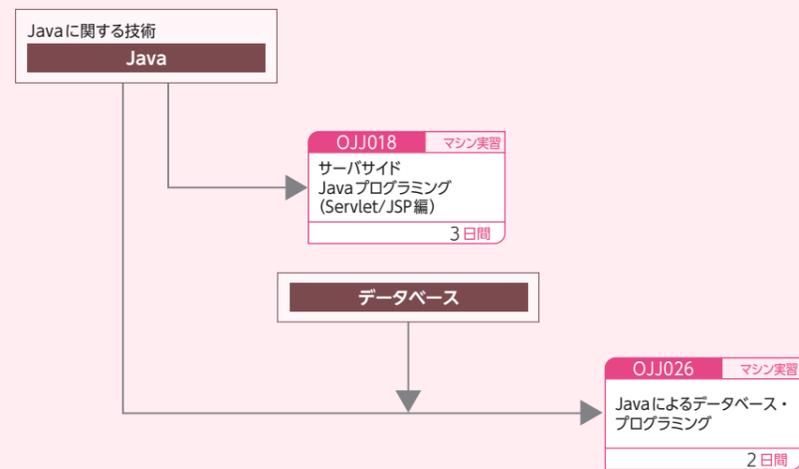
Webアプリケーションの開発技術について幅広く知りたい方



Webコンテンツを制作する方



Java EEテクノロジーのトレーニング (サーバサイド・テクノロジーを使用してアプリケーションを開発する方)



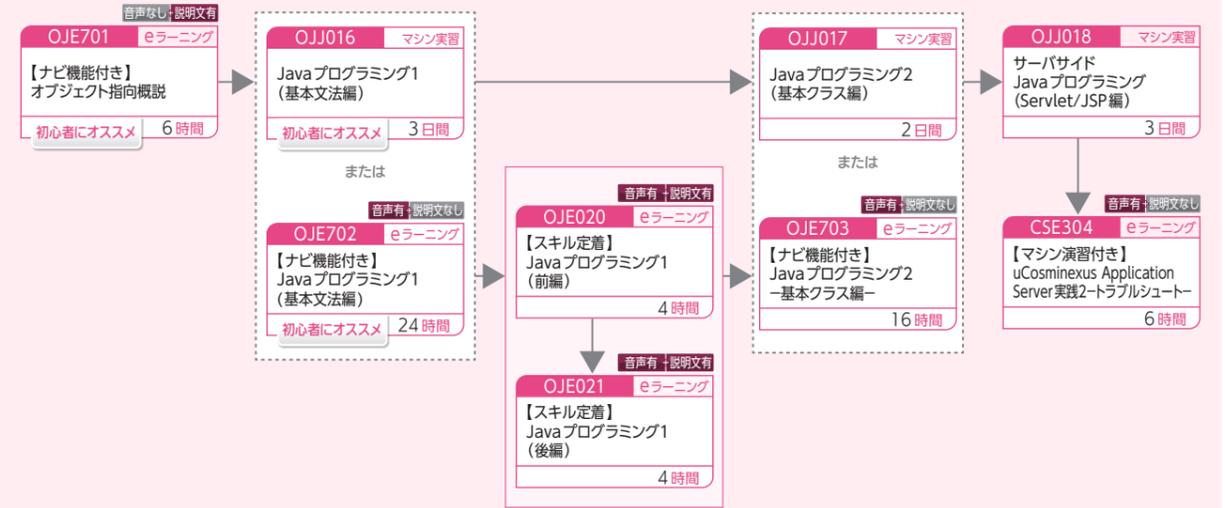
音声有+説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし+説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

uCosminexus Application Serverを使用してWebアプリケーションの開発をする方



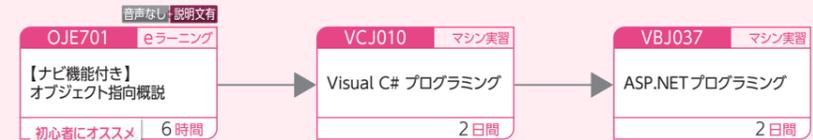
uCosminexus Application Serverを使用したWebシステムの性能設計・性能対策をする方



Visual Basicを使用してWebアプリケーションを開発する方



Visual C#を使用してWebアプリケーションを開発する方



日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

OJJ017	Java
<div><div><div><div><div></div><div>マシン実習</div></div></div><div><div><div></div><div>2日間</div></div></div></div></div>	Javaプログラミング2（基本クラス編）
<div><div><div><div><div></div><div>Java言語での開発において利用頻度の高いAPIの概要と使用方法を、マシン実習を通して学習します。</div></div></div></div></div>	
到達目標	・APIドキュメントからクラス、メソッドの使い方を把握できる。 <p>・参照の一致と内容の一致の違いを説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none">マルチスレッドプログラムの作成方法を説明できる。 ファイル入出力プログラムの作成方法を説明できる。
対象者	これからJava言語でアプリケーションを開発する方。
前提知識	「Javaプログラミング 1（基本文法編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. APIドキュメント 2. 文字列を扱うクラス 3. Objectクラス 4. ラッパークラス 5. スレッド 6. 入出力 7. コレクション
備 考	・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 <ul style="list-style-type: none">このコースの内容は、Java SE7以降に対応しています。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

OJJ026	Java
<div><div><div><div><div></div><div>マシン実習</div></div></div><div><div><div></div><div>2日間</div></div></div></div></div>	Javaによるデータベース・プログラミング
<div><div><div><div><div></div><div>Javaプログラムからデータベースへの一般的なアクセス方法を学習します。</div></div></div></div></div>	
到達目標	JDBCを利用してデータベースにアクセスするプログラミングができる。
対象者	Java言語でデータベース連携を伴うアプリケーションを開発する方。
前提知識	「Javaプログラミング 2（基本クラス編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があり、かつSQLの基礎知識があること。
内 容	1. データベースプログラミング概要 2. JDBCによる基本的なデータベース利用 3. トランザクション制御 4. O/Rマッピング
備 考	・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 <ul style="list-style-type: none">このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

マシ実習	マシンを使用しながらの研修
グループ演習	グループ演習を中心とした研修
レクチャ	座学による研修
演習環境	職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習
eラーニング	インターネット接続による自己学習
自習テキスト	自習者による自己学習

OJE703	Java
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>16時間</div></div></div></div></div>	<eラーニング>【ナビ機能付き】Javaプログラミング2—基本クラス編—
<div><div><div><div><div></div><div>Java言語での開発において利用頻度の高いAPIの概要と使用方法について、マシン演習を通して学習します。</div></div></div></div></div>	
到達目標	・APIドキュメントからクラス、メソッドの使い方を把握できる。 <ul style="list-style-type: none">参照の一致と内容の一致の違いを説明できる。 マルチスレッドプログラムの作成方法を説明できる。 ファイル入出力プログラムの作成方法を説明できる。
対象者	これからJava言語でアプリケーションを開発する方。
前提知識	「Javaプログラミング 1（基本文法編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. APIドキュメント 2. 文字列を扱うクラス 3. Objectクラス 4. ラッパークラス 5. スレッド 6. 入出力 7. コレクション 8. 修了試験
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 <ul style="list-style-type: none">収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必須です。） ダウンロードした演習ファイルを使って演習するためには、お使いのPCにJDKがインストールされている必要があります。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

OJJ018	Java
<div><div><div><div><div></div><div>マシン実習</div></div></div><div><div><div></div><div>3日間</div></div></div></div></div>	サーバサイドJavaプログラミング（Servlet/JSP編）
<div><div><div><div><div></div><div>要素技術を順に組み合わせてWebアプリケーションを構築する過程を通して、JavaEEによるWebアプリケーション構築に必要なスキルを学習します。</div></div></div></div></div>	
到達目標	・ServletおよびJSPを作成できる。 <ul style="list-style-type: none">MVCモデルに則したWebアプリケーションの特徴を説明できる。 Webアプリケーションの実行時に発生するエラーに対処できる。
対象者	これからJavaEEによるWebアプリケーションの開発に携わる方。
前提知識	「Javaプログラミング 2（基本クラス編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. Webアプリケーションとは 2. 静的なWebページ 3. 動的なWebページ 4. 静的、動的なWebページの連携 5. HTMLとプログラムの分離 6. HTML、Servlet、JSPの連携 7. HTML、Servlet、JSP、Beanの連携 8. Webアプリケーションの設計
備 考	・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 <ul style="list-style-type: none">このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

OJJ032	Java
<div><div><div><div><div></div><div>マシン実習</div></div></div><div><div><div></div><div>2日間</div></div></div></div></div>	Javaプログラミング3—StreamAPI、モジュールシステム編—
<div><div><div><div><div></div><div>このコースは、JavaSE8で追加されたStreamAPI、JavaSE9で追加されたモジュールシステムなどについて、マシン演習を通して学習します。</div></div></div></div></div>	
到達目標	・Javaにおけるラムダ式の概要を説明できる。 <ul style="list-style-type: none">StreamAPIを利用した一連の操作手順を説明できる。 Javaのモジュールシステムの概要を説明できる。
対象者	・Java言語でアプリケーションを開発する方。 <ul style="list-style-type: none">StreamAPI、モジュールシステムといった機能を開発に活用したい方。
前提知識	「Javaプログラミング2（基本クラス編）」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. java.util、Functionインタフェースとラムダ式 2. java.util.Optionalクラス 3. StreamAPI 4. java.time/パッケージ 5. モジュールシステム 6. Jshell
備 考	・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 <ul style="list-style-type: none">研修内容は予告なく変更となる可能性があります。 このコースは、旧コース（OJJ021）「ハンズオンJava8/9新機能」コースと同内容となっています。

OJJ020	Java
<div><div><div><div><div></div><div>マシン実習</div></div></div><div><div><div></div><div>2日間</div></div></div></div></div>	実践！Javaプログラミング
<div><div><div><div><div></div><div>Javaアプリケーション開発者に必要な実用的かつ保守性の高いプログラムの作成ノウハウを学習します。</div></div></div></div></div>	
到達目標	・開発効率を向上するための機能を利用したプログラミングができる。 <ul style="list-style-type: none">プログラムの実行効率を向上する際の観点を説明できる。 変更容易性を意識したプログラミングの効果や観点を説明できる。
対象者	ITエンジニア職、若手・中堅の方でJavaでアプリケーションを開発する方。
前提知識	「Javaプログラミング2（基本クラス編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. 設計におけるノウハウ （1）凝集度と結合度 （2）アクセス範囲を限定する 2. プログラミングにおけるノウハウ （1）EoDを意識したプログラミング （2）実行効率を意識したプログラミング （3）変容易性を意識したプログラミング 3. 開発演習
備 考	・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 <ul style="list-style-type: none">このコースの内容は、Java SE7以降に対応しています。

NWJ145	Java
<div><div><div><div><div></div><div>マシン実習</div></div></div><div><div><div></div><div>1日間</div></div></div></div></div>	システムを危険から守る！セキュアプログラミング
<div><div><div><div><div></div><div>Webアプリケーションのセキュリティ脆弱性の作りこみ防止技術と適切な設計・対策について学習します。</div></div></div></div></div>	
到達目標	・Webアプリケーションで作りこみやすいセキュリティ脆弱性の特徴を説明できる。 <ul style="list-style-type: none">セキュリティ脆弱性の作りこみ防止を考慮してプログラムを作成できる。
対象者	Webアプリケーションを実装する方。
前提知識	「サーバサイドJavaプログラミング—Servlet/JSP編—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. Webアプリケーションのしくみ 2. hiddenフィールドの書き換え 3. SQLインジェクション 4. クロスサイトスクリプティング 5. クロスサイトリクエストフォージェリ
備 考	このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。

OJE022	Java
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>資格コース</div></div></div></div></div>	<eラーニング>資格試験準備セミナー：OCJP Bronze SE 7/8（受験チケット付）
<div><div><div><div><div></div><div>7時間</div></div></div></div></div>	
<div><div><div><div><div></div><div>Oracle Certified Java Programmer, Bronze SE 7/8 資格試験の出題内容を模擬問題とインストラクターによる詳しい解説でキャッチアップすることができます。また、試験を受験いただけるように、受験チケット：Oracle認定資格オンライン試験用が1枚付いています。</div></div></div></div></div>	
到達目標	Oracle Certified Java Programmer, Bronze SE 7/8 資格試験（1Z0-814: Java SE 7/8 Bronze）の出題内容を理解できる。
対象者	OCJP Bronze SE 7/8 資格取得をめざす方。
前提知識	「Javaプログラミング1（基本文法編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. はじめに 2. Java言語のプログラムの流れ 3. データの宣言と使用 4. 演算子と分岐文 5. ループ文 6. オブジェクト指向コンセプト 7. クラス定義とオブジェクトの生成、使用 8. 継承とポリモフィズム
備 考	・サービス有効期間は180日間です。 <ul style="list-style-type: none">本ページ右下※2をご参照ください。

休 講	休 講
	今期の定期開催はありません

OJJ028	Java
<div><div><div><div><div></div><div>マシン実習</div></div></div><div><div><div></div><div>2日間</div></div></div></div></div>	Javaによる保守開発のためのリファクタリング
<div><div><div><div><div></div><div>ソースの可読性を高めるテクニックや既存のソースコードを読解するうえで、留意すべきポイントを学習します。</div></div></div></div></div>	
到達目標	・可読性に留意して簡単なリファクタリングができる。 <ul style="list-style-type: none">保守性、再利用性を意識してソースコードを読む。
対象者	Javaでアプリケーションを開発される方。
前提知識	「Javaプログラミング2（基本クラス編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. 保守作業概要 2. リファクタリング概要 3. コードの理解向上 4. テスト時の工夫
備 考	このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。

OJE025	Java
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>資格コース</div></div></div></div></div>	<eラーニング>【マシン演習付き】Java SE 7 パフォーマンス・チューニング
<div><div><div><div><div></div><div>21時間</div></div></div></div></div>	
<div><div><div><div><div></div><div>Javaのパフォーマンスチューニングの具体的な方法論やノウハウを学習します。</div></div></div></div></div>	
到達目標	Javaプログラミングにおけるパフォーマンスチューニングについて説明できる。
対象者	Javaアプリケーションの開発業務に携わる方。
前提知識	「Javaプログラミング2（基本クラス編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. コースの概要 2. Java 仮想マシンおよびパフォーマンスの概要 3. JVMおよびJavaガベージ・コレクション 4. Java ガベージ・コレクタ 5. コマンドラインからのJVMの監視 6. Mission Control および JVM 監視ツール 7. Java Flight Recorder 8. オペレーティング・システムのパフォーマンスの監視 9. パフォーマンス・プロファイリング・ツール 10. プロファイリングを使用したパフォーマンス問題のトラブルシュート 11. ガベージ・コレクションのチューニング 12. 言語レベルでの考慮事項とガベージ・コレクション
備 考	・このコースは、日本オラクル（株）が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」（PDF）を使用します。 <ul style="list-style-type: none">このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日以内の連続した6日間です。 本ページ右下※2をご参照ください。

OJE023	Java
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>資格コース</div></div></div></div></div>	<eラーニング>資格試験準備セミナー：OCJP Silver SE 8（受験チケット付）
<div><div><div><div><div></div><div>7時間</div></div></div></div></div>	
<div><div><div><div><div></div><div>Oracle Certified Java Programmer, Silver SE 8 資格試験の出題内容を模擬問題とインストラクターによる詳しい解説でキャッチアップすることができます。また、試験を受験いただけるように、受験チケット：Oracle認定資格会場試験用が1枚付いています。</div></div></div></div></div>	
到達目標	Oracle Certified Java Programmer, Silver SE 8 資格試験（1Z0-808: Java SE 8 Programmer I）の出題内容を理解できる。
対象者	OCJP Silver SE 8 資格取得をめざす方。
前提知識	「Javaプログラミング1（基本文法編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. はじめに 2. Javaの基本 3. Javaのデータ型の操作 4. 演算子と判定構造の使用 5. 配列の作成と使用 6. ループ構造の使用 7. メソッドとカプセル化の操作 8. 継承の操作 9. 例外の処理 10. Java APIの主要なクラスの操作 11. まとめ
備 考	・サービス有効期間は180日間です。 <ul style="list-style-type: none">本ページ右下※2をご参照ください。

※2

- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必須です。）
- このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。http://www.oracle.com/jp/education/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf
- 受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。
- このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。
- 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。
- ご利用最終日は、16：00まで利用可能です。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advance Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advance Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

205

ESJ001 C/C++

リアルタイムOSを利用したソフトウェアプログラミング

2日間

組込みシステム用リアルタイムOSの仕組みを学習し、リアルタイムOSを用いたプログラミングを、実機を用いて実施します。

到達目標 リアルタイムOSを利用したマルチタスクプログラミングができる。

対象者 組込みソフトウェアを開発する方。

前提知識 「C言語プログラミング 1ー基本マスタ編ー」コース、または「【ナビ機能付き】C言語プログラミング1 (後編)ーデータ構造とポインタを学ぶー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. リアルタイムOSとは
(1)リアルタイムOSの機能と役割
(2)タスクと状態遷移
(3)スケジューラとプリエンティブ
(4)リアルタイムOSの種類
(5)統合開発環境
2. シングルタスクプログラミング
(1)タスクの生成と起動方法
(2)タスクの状態遷移
(3)割り込みを用いたプログラミング
3. マルチタスクプログラミング
(1)タスク間通信
(2)イベントフラグ
(3)リソース(セマフォ)

備考 このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。

VBJ038 VB/VC#

Visual Basicプログラミング

2日間

.NET Frameworkの概要、Visual Basicによるオブジェクト指向プログラミングの基本文法、およびVisual BasicによるWindowsアプリケーションの作成方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標 ・クラスやオブジェクト、継承などオブジェクト指向の基本用語を説明できる。
・Visual Basicの基本文法を理解し、オブジェクト指向プログラミング(クラスの定義・継承)ができる。
・例外処理の必要性を理解し、例外処理を実装できる。
・Windowsアプリケーションの作成から実行までの一連の操作ができる。

対象者 Visual Basicによるオブジェクト指向プログラミングを身につけたい方、これからVisual Basicを使用してアプリケーションを開発する方。

前提知識 Windowsの基本的な操作経験があり、「【ナビ機能付き】オブジェクト指向概説」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. Visual Studioを利用したアプリケーション開発
2. Visual Basicプログラミングの基本
3. Visual Basicの基本文法
4. モジュールの定義
5. クラスの定義
6. 構造体の定義
7. 継承
8. 例外処理

備考 このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。

VBJ037 VB/VC#

ASP.NETプログラミング

2日間

ASP.NET によるWebアプリケーションを作成するために必要な知識を学習します。

到達目標 ・ASP.NET Webフォームの特徴を理解し、Webアプリケーションのライフサイクルやポストバックについて説明できる。
・サーバコントロールを使用したWebフォームを作成できる。
・ステート管理の重要性を理解し、セッション管理をするWebアプリケーションを作成できる。
・ASP.NET MVCについて概要を説明できる。
・ADO.NETによるデータベース連携の実装方法を説明できる。

対象者 これからASP.NETによるWebアプリケーションの開発に携わる方。

前提知識 インターネットの基礎知識があり、「Visual Basic プログラミング」または「Visual C# プログラミング」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. ASP .NET概要
2. Webフォームの基本実装
3. サーバコントロール
4. ステート管理
5. ASP.NET MVCの基本
6. ADO.NETの利用

備考 ・このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・使用するプログラミング言語は、Visual Basic.NETおよびVisual C# から選択可能です。

VCJ010 VB/VC#

Visual C#プログラミング

2日間

.NET Frameworkの概要、Visual C#によるオブジェクト指向プログラミングの基本文法、およびVisual StudioによるWindowsアプリケーションの作成方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標 ・クラスやオブジェクト、継承などオブジェクト指向の基本用語を説明できる。
・Visual C#の基本文法を理解し、オブジェクト指向プログラミング(クラスの定義・継承)ができる。
・例外処理の必要性を理解し、例外処理を実装できる。
・Windowsアプリケーションの制作から実行までの一連の操作ができる。

対象者 Visual C#によるオブジェクト指向プログラミングを身につけたい方、これからVisual C#を使用してアプリケーションを開発する方。

前提知識 Windowsの基本的な操作経験があり、「【ナビ機能付き】オブジェクト指向概説」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. Visual Studioを利用したアプリケーション開発
2. Visual C#プログラミングの基本
3. Visual C#の基本文法
4. クラス
5. 構造体
6. 継承
7. 例外処理

備考 このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。

NWE711 Web関連技術

<eラーニング>【ナビ機能付き】Webシステム入門

6時間

Webシステムの構成要素と代表的なアプリケーション開発技術を学習します。加えて、開発時における留意点を学習します。

到達目標 ・Webシステムにおけるクライアントとサーバの役割を説明できる。
・Webシステムにおけるサーバの種類と代表的な製品を説明できる。
・Webシステムにおける開発時の留意点を説明できる。

対象者 ・これからWebシステムを構築、管理する方。
・これからWebアプリケーションを開発する方。

前提知識 特に必要としません。

内容 1. Webシステムを取り巻く環境
2. 構成要素と動作イメージ
3. システム構成
4. アプリケーションの実装技術
5. 開発時の留意点
6. 修了試験

備考 ・学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

NWE031 Web関連技術

<eラーニング>Webアプリケーション設計の基礎

8時間

Webアプリケーション開発に関わるに当たり、設計の観点からの基本的な知識や留意点を学習します。従来の文法だけでなく、ユーザビリティ向上と実装難易度をふまえた画面設計、開発効率や保守性を考慮したフレームワークの必要性、実行効率向上のためのデータと画面設計の対応について学習します。

到達目標 ・Webシステムの画面設計時に、ユーザビリティ向上にあたっての留意点を説明できる。
・保守性、開発効率をふまえフレームワーク導入の意義を説明できる。

対象者 これからWebアプリケーション開発にかかわる方。

前提知識 「【ナビ機能付き】Webシステム入門」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. Webシステム概要
(1)サーバ/クライアント
2. Webアプリケーションの設計とは
(1)設計フェーズの確認・機能要件/非機能要件
3. 画面設計
(1)ユーザビリティへの配慮
(2)ウィンドウサイズ/スクロールバー/画面部品/画面遷移
4. プログラムの設計
(1)フレームワークの利用・セッション管理
5. データ設計
(1)画面設計との整合性
6. 多様化するクライアントの役割
(1)非同期通信、多様なデータ形式
7. 修了試験

備考 ・学習終了日は3月31日になります。
・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

NWJ139 Web関連技術

Webアプリケーション設計の基礎

2日間

Webアプリケーション開発に関わるに当たり、設計の観点からの基本的な知識や留意点を学習する入門コースです。ユーザビリティ向上と実装難易度をふまえた画面設計、開発効率や保守性を考慮したフレームワークの必要性、実行効率向上のためのデータと画面設計の対応について学習します。

到達目標 ・Webシステムの画面設計時に、ユーザビリティ向上にあたっての留意点を説明できる。
・保守性、開発効率をふまえフレームワーク導入の意義を説明できる。

対象者 これからWebアプリケーション開発に関わる方。

前提知識 「【ナビ機能付き】Webシステム入門」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. Webシステム概要
(1)サーバ/クライアント
2. Webアプリケーションの設計とは
(1)設計フェーズの確認・機能要件/非機能要件
3. 画面設計
(1)ユーザビリティへの配慮
(2)ウィンドウサイズ/スクロールバー/画面部品/画面遷移
4. プログラムの設計
(1)フレームワークの利用・セッション管理
5. データ設計
(1)画面設計との整合性
6. 多様化するクライアントの役割
(1)非同期通信、多様なデータ形式

備考 ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

NWE709 Web関連技術

<eラーニング>【ナビ機能付き】CSSによるWebコンテンツ制作

8時間

CSSを用いたスタイルシートの効果的な指定方法を学習します。

到達目標 CSSを使ってWebコンテンツ(画面レイアウト)を作成できる。

対象者 ・JavaScriptやWebアプリケーション開発技術を学習する前提として、CSSを学ぶ方。

前提知識 ・「【ナビ機能付き】HTMLによるWebコンテンツ制作」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識をお持ちの方。
・Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内容 1. CSSの概要
2. CSSの基本文法
3. CSSの主要なプロパティ
4. 修了試験

備考 ・学習終了日は3月31日になります。
・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・HTML5によるWebコンテンツ作成については「HTML5プログラミング」コースにてご案内しています。

NWE710 Web関連技術

<eラーニング>【ナビ機能付き】HTMLによるWebコンテンツ制作

8時間

HTMLによるリンク、テーブル、フォームなどを用いたWebコンテンツの作成方法を学習します。

到達目標 ・HTML、スタイルシートの基礎を説明できる。
・リンク、マルチメディアデータ、テーブル、フォームを用いた WebコンテンツをHTMLで作成できる。

対象者 JavaScriptやWebアプリケーション開発技術を学習する前提として、HTMLを学ぶ方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内容 1. HTMLの概要
2. HTMLの基本文法(テーブル・フォーム・リンク等)
3. HTMLの主要な要素
4. 修了試験

備考 ・学習終了日は3月31日になります。
・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・HTML5によるWebコンテンツ作成については「HTML5プログラミング」コースにてご案内しています。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修

グループ演習 グループ演習を中心とした研修

レクチャ 座学による研修

演習環境 職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習

eラーニング インターネット接続による自己学習

自己テキスト 自習書による自己学習

休講 休講 今期の定期開催はありません

NWJ141 Web関連技術

JavaScriptプログラミングーECMAScript 2015対応ー

2日間

JavaScriptの基本文法と、DOM、イベント、ライブラリの使用方法、Ajaxについて学習します。従来の文法だけでなく、ECMAScript 2015からの文法・機能についても学習します。さらに演習を通して、JavaScriptを使用したアプリケーション開発の方法を学習します。

到達目標 ・JavaScriptの特徴を説明できる。
・JavaScriptのライブラリを用いたアプリケーション開発ができる。
・DOMの概要を説明できる。
・Ajaxの概要を説明できる。

対象者 JavaScriptによるアプリケーション開発に携わる方。

前提知識 「【ナビ機能付き】HTMLによるWebコンテンツ制作」および「【ナビ機能付き】CSSによるWebコンテンツ制作」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。プログラミング経験があること。

内容 1. JavaScript概要
2. JavaScriptの基本文法
3. DOM
4. JavaScriptのイベント
5. JavaScriptのライブラリ
6. JavaScriptとAjax

備考 このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。

NWJ142 Web関連技術

HTML5プログラミング

1日間

HTML5の概要を知り、マシン実習を通してHTML5の使用方法を学習します。

到達目標 ・HTML5の各規格の概要を説明できる。
・HTML5の新機能の概要を説明できる。

対象者 HTML5によるアプリケーション開発に携わる方。

前提知識 「JavaScriptプログラミングーECMAScript 2015対応ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. HTML5概要
2. HTML5によるマークアップ
(1)HTML5の基本文法
(2)HTML5で廃止になった要素
(3)HTML5の新要素
(4)演習
3. HTML5のAPI
(1)ドラッグ&ドロップAPI
(2)FileAPI
(3)WebSocketAPI
(4)WebWorkersAPI
(5)ServiceWorkerAPI
(6)WebStrageAPI
(7)HistoryAPI
4. HTML5関連技術

備考 このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。

NWJ140 Web関連技術

HTML5/JavaScriptによるWebアプリケーション開発実践

2日間

HTML5、JavaScriptを用いたWebアプリケーションの設計と実装を学習します。設計演習では、テキストで紹介した技術だけでなくインターネットを用いた自主的な技術調査も実施し、通用技術を各自で検討します。また、検討結果を共有し、与えられた要件をどのように実現するかといった観点で議論します。実装演習では、各自の設計を実際に実装することで、選択した各技術に対する理解を深めます。

到達目標 HTML5、JavaScriptの技術を組み合わせ、Webアプリケーションの設計と実装ができる。

対象者 ITエンジニア職、若手・中堅の方でHTML5、JavaScript等の技術を組み合わせるWebアプリケーションを開発したい方。

前提知識 「JavaScriptプログラミングー基礎からAjaxまでー」および「HTML5プログラミング」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. Webアプリケーションの変遷
2. サンプルプログラムの確認
3. 設計演習
(1)要件の確認
(2)アーキテクチャ、実装技術の調査検討
(3)検討結果の共有
4. 実装演習
(1)プログラミング
(2)成果物の共有

備考 ・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMI
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

NWE029 スマートデバイス

<eラーニング> スマートデバイス活用システムの提案概説

3時間

スマートデバイスの概要と、エンタープライズ分野でスマートデバイスを活用するうえで検討すべきポイントを学習します。

到達目標 スマートデバイスの特徴や、エンタープライズシステムへ適用するうえで検討すべき事項を説明できる。

対象者 スマートデバイスに関心のある方、スマートデバイスの導入に携わる方。

前置知識 特に必要としません。

内容

1. スマートデバイスの概要
2. 目的の明確化
3. スマートデバイスの管理
4. システムへの導入方式
5. アプリケーション開発方式
6. アプリケーション開発を支える技術

備考

- ・学習終了日は3月31日になります。
- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースは、「スマートデバイス概説と導入の考え方」eラーニングコースの内容改訂および名称を変更したものです。

NWJ144 スマートデバイス

スマートフォンの特性を踏まえたWebアプリケーション設計の考え方

1日間

スマートフォン用Webブラウザから利用するWebアプリケーションを開発するうえで必要となる、スマートフォンの特性を踏まえた画面設計や高速化手法の考え方を学習します。

到達目標

- ・スマートフォンに対応したWebアプリケーションにおける画面設計の留意点を説明できる。
- ・非同期通信やキャッシュを用いて、スマートフォンに対応したWebアプリケーションを高速化する手法を説明できる。

対象者 スマートフォンに対応したWebアプリケーションを設計する方。

前置知識 「Webアプリケーション設計の基礎」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. スマートフォンに対応したWebアプリケーションとは
 - (1) PC向けWebアプリケーションとの比較
 - (2) ネイティブアプリケーションとの比較
2. スマートフォンの特性を踏まえた画面設計
 - (1) UIレイアウト・デザインの考え方
 - (2) 代表的なライブラリ
3. Webアプリケーションの高速化
 - (1) ネットワーク環境に留意したWebアプリケーション設計の考え方
 - (2) 非同期通信と事前読み込み
 - (3) キャッシュ
4. セキュリティへの配慮

備考 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

NWJ135 スマートデバイス

体験! Androidアプリケーションの開発

1日間

PC環境を用いたAndroidアプリケーション開発の体験を通して、Androidアプリケーションの開発手順を学習します。

到達目標

- ・Androidが提供するアプリケーションフレームワークの役割を説明できる。
- ・Androidアプリケーション開発の流れについて説明できる。

対象者 これからAndroidを利用したアプリケーションの開発に携わる方。

前置知識 Java言語に関する基本的な知識があることが望ましい。

内容

1. Androidアプリケーションフレームワークの概要
2. Android開発環境構築
3. Androidアプリケーション開発の流れ
4. Androidアプリケーションの作成
 - (1) 画面遷移を伴うプログラムを作る
 - (2) バックグラウンドで動作するプログラムを作る
 - (3) データストアへのアクセスを伴うプログラムを作る
 - (4) 何らかの通知により起動するプログラムを作る

備考

- ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

NWJ129 スマートデバイス

体験! iPhone・iPadアプリケーションの開発

1日間

iPhone・iPadアプリケーションの開発に必要な基礎知識を学習するとともに、Objective-Cの基礎知識についても学習します。

到達目標

- ・iOSアーキテクチャの概要を説明できる。
- ・iOSアプリケーション作成の手順を説明できる。

対象者 iPhone・iPadアプリケーションを設計・開発する方。

前置知識 何らかの言語を使用したアプリケーション開発の経験があること。

内容

1. iOSアーキテクチャ
2. Objective-C概要
3. アプリケーション開発の手順
4. 画面遷移
5. 色々なUIの紹介

備考

- ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

NWJ131 スマートデバイス

体験! SwiftではじめるiPhoneアプリケーションの開発

1日間

Swiftを使って基本的なiPhoneアプリケーションを開発できるスキルを修得します。

到達目標 Swiftを使って基本的なiPhoneアプリケーションを開発できる。

対象者 これからiPhoneアプリケーションの開発をはじめめる方。

前置知識 特に必要としません。

内容

1. iOS概要
2. Swift概要
3. アプリケーション開発の手順
4. 画面遷移
5. 基本的な機能の紹介

備考

- ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

情報処理技術者試験対策

情報処理技術者試験の資格取得に向け、知識や解答技法が修得できます。

● 情報処理技術者試験の取得をめざす方

<eラーニング 春期秋期試験対策>

【IP】ITパスポート試験対策

Renewal 音声なし+説明文なし

SJE293 eラーニング

集中演習 2020年 春期
ITパスポート試験【IP】

80時間

【FE】基本情報技術者試験対策

Renewal 音声なし+説明文なし

SJE294 eラーニング

集中演習 2020年 春期
基本情報技術者試験【FE】

200時間

【AP】応用情報技術者試験対策

Renewal 音声なし+説明文なし

SJE295 eラーニング

集中演習 2020年 春期
応用情報技術者試験【AP】

162時間

【SG】情報セキュリティマネジメント試験対策

Renewal 音声なし+説明文なし

SJE296 eラーニング

集中演習 2020年 春期
情報セキュリティ
マネジメント試験【SG】

162時間

【SC】情報処理安全確保支援士試験対策

Renewal 音声なし+説明文なし

SJE300 eラーニング

集中演習 2020年 春期
情報処理安全確保支援士試験
【SC】

162時間

<eラーニング 春期試験対策>

【DB】データベーススペシャリスト試験対策

Renewal 音声なし+説明文なし

SJE298 eラーニング

集中演習 2020年 春期
データベーススペシャリスト
試験【DB】

162時間

【PM】プロジェクトマネージャ試験対策

Renewal 音声なし+説明文なし

SJE297 eラーニング

集中演習 2020年 春期
プロジェクトマネージャ試験
【PM】

162時間

【AU】システム監査技術者試験対策

Renewal 音声なし+説明文なし

SJE299 eラーニング

集中演習 2020年 春期
システム監査技術者試験
【AU】

162時間

- 音声有+説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有+説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし+説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声なし+説明文なし** : 学習の説明画面で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

資格 情報処理技術者試験・情報処理安全確保支援士試験

情報処理技術者試験、および情報処理安全確保支援士試験は、「情報処理の促進に関する法律」に基づき、情報処理に関する一定水準以上の「知識・技能」を持っていることを、経済産業省が認定する国家試験です。

詳しくは、日立アカデミーのwebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/intro/license/hcom/index.html>

休講 休講
今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

日立製品

JP1

uCosminexus
Application Server

HiRDB

OpenTP1

VOS3/VOS1/
VOSK

XDM/PDMI

Hitachi Advanced
Data Binder

日立ストレージ

Pentaho

デジタルトランス
フォーメーション

IT利活用

インベーション

IoT/AI/Lumada

ビッグデータ

データ分析

サイバー
セキュリティ

RPA

クラウド/
サーバ仮想化

ITサービス
マネジメント

システム基盤

IT基本

オープンソース
ソフトウェア(OSS)

Linux

Microsoft

ネットワーク

ハードウェア

セキュリティ

データベース

IT戦略・IS企画

システム開発

要件定義/設計

モデリング

プログラミング

情報処理技術者
試験対策

ITリテラシ

プロジェクト
マネジメント

コンプライアンス

ビジネス/
ヒューマン

グローバル

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

<集合研修 春期秋期試験対策>

【AP】応用情報技術者試験対策

SJD002 <small>レクチャ</small> 応用情報技術者試験【AP】対策講座 (合格に必要な知識と解答力を養う) 3日間	→	SJD003 <small>レクチャ</small> 応用情報技術者試験【AP】対策講座 (試験直前に模擬試験で得点をUPする) 1日間
---	---	---

【SC】情報処理安全確保支援士試験対策

SJD006 <small>レクチャ</small> 情報処理安全確保支援士試験【SC】対策講座 (合格に必要な知識と解答力を養う) 3日間	→	SJD007 <small>レクチャ</small> 情報処理安全確保支援士試験【SC】対策講座 (試験直前に模擬試験で得点をUPする) 1日間
---	---	---

<集合研修 春期試験対策>

【DB】データベーススペシャリスト試験対策

New SJD004 <small>レクチャ</small> データベーススペシャリスト試験【DB】対策講座 (合格に必要な知識と解答力を養う) 3日間	→	New SJD005 <small>レクチャ</small> データベーススペシャリスト試験【DB】対策講座 (試験直前に模擬試験で得点をUPする) 1日間
---	---	---

【PM】プロジェクトマネージャ試験対策
【AU】システム監査技術者試験対策

SJD001 <small>レクチャ</small> 高度試験受験者向け論文の書き方-問題文の読み方から論文構成方法まで- 1日間	→	New SJD011 <small>レクチャ</small> 春期高度試験【PM】【AU】対策講座 実践! 論文を書く-添削指導で合格するための論述力を養成する- 2日間
--	---	--

- 音声有 + 説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有 + 説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし + 説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

マシナ学習 マシンを使用しながらの研修	グループ演習 グループ演習を中心とした研修	レクチャ 座学による研修	演習環境 職場・自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習	eラーニング インターネット接続による自己学習	自習テキスト 自習書による自己学習
------------------------	--------------------------	-----------------	----------------------------------	----------------------------	----------------------

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

SJE293 春期実施試験対策

<eラーニング>
集中演習 2020年 春期
ITパスポート試験【IP】 Renewal

eラーニングを使用し、ITパスポート試験【IP】の合格に必要な知識を学習します。

- 到達目標**
- ・職業人が共通に備えておくべき情報技術に関する基礎的な知識を持ち、担当業務に対して情報技術を活用できる。
 - ・ITパスポート試験【IP】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 ITパスポート試験【IP】合格をめざす方。
前提知識 情報技術の基礎知識をお持ちのこと。

- 内容**
1. 基礎事項の学習
 2. 問題演習
 3. 小テスト

備考

- ・終了日はすべて4月30日になります。サービス有効期間は開始日によって異なります。2020年1月16日開始分は106日間、2020年1月30日開始分は92日間、2020年2月13日開始分は78日間、2020年2月27日開始分は64日間ご利用できます。
- ・説明画面で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースは、アイテック社より提供いたします。
- ・コース実施に必要なご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。
- ・学習開始日15営業日前を過ぎてのキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更される場合があります。

SJE294 春期実施試験対策

<eラーニング>
集中演習 2020年 春期
基本情報技術者試験【FE】 Renewal

eラーニングを使用し、基本情報技術者試験【FE】の合格に必要な知識を学習します。

- 到達目標**
- ・高度IT人材となるために必要な基本知識・技能を持ち、実践的な活用能力を身につけることができる。
 - ・基本情報処理技術者試験【FE】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 基本情報技術者試験【FE】合格をめざす方。
前提知識 ITパスポート試験【IP】に合格しているか、あるいは基本戦略立案やITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事していること。

- 内容**
1. 基礎事項の学習
 2. 問題演習
 3. 小テスト

備考

- ・終了日はすべて4月30日になります。サービス有効期間は開始日によって異なります。2020年1月16日開始分は106日間、2020年1月30日開始分は92日間、2020年2月13日開始分は78日間、2020年2月27日開始分は64日間ご利用できます。
- ・説明画面で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースは、アイテック社より提供いたします。
- ・コース実施に必要なご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。
- ・学習開始日15営業日前を過ぎてのキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更される場合があります。

SJE295 春期実施試験対策

<eラーニング>
集中演習 2020年 春期
応用情報技術者試験【AP】 Renewal

eラーニングを使用し、応用情報技術者試験【AP】の合格に必要な知識を学習します。

- 到達目標**
- ・高度IT人材となるために必要な応用的知識・技能を持ち、高度IT人材としての方向性を確立できる。
 - ・応用情報技術者試験【AP】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 応用情報技術者試験【AP】合格をめざす方。
前提知識 基本情報技術者試験【FE】に合格しているか、あるいは基本戦略立案やITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事していること。

- 内容**
1. 基礎事項の学習
 2. 問題演習
 3. 小テスト

備考

- ・終了日はすべて4月30日になります。サービス有効期間は開始日によって異なります。2020年1月16日開始分は106日間、2020年1月30日開始分は92日間、2020年2月13日開始分は78日間、2020年2月27日開始分は64日間ご利用できます。
- ・説明画面で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースは、アイテック社より提供いたします。
- ・コース実施に必要なご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。
- ・学習開始日15営業日前を過ぎてのキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更される場合があります。

SJE296 春期実施試験対策

<eラーニング>
集中演習 2020年 春期
情報セキュリティマネジメント試験【SG】 Renewal

eラーニングを使用し、情報セキュリティマネジメント試験【SG】の合格に必要な知識を学習します。

- 到達目標**
- ・高度IT人材となるために必要な基本知識・技能を持ち、実践的な活用能力を身につけることができる。
 - ・情報セキュリティマネジメント試験【SG】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 情報セキュリティマネジメント試験【SG】の合格をめざす方。
前提知識 ITパスポート試験【IP】に合格しているか、同等の知識/技術があること。

- 内容**
1. 基礎事項の学習
 2. 問題演習
 3. 小テスト

備考

- ・終了日はすべて4月30日になります。サービス有効期間は開始日によって異なります。2020年1月16日開始分は106日間、2020年1月30日開始分は92日間、2020年2月13日開始分は78日間、2020年2月27日開始分は64日間ご利用できます。
- ・説明画面で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースは、アイテック社より提供いたします。
- ・コース実施に必要なご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。
- ・学習開始日15営業日前を過ぎてのキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更される場合があります。

SJE300 春期実施試験対策

<eラーニング>
集中演習 2020年 春期
情報処理安全確保支援士試験【SC】 Renewal

eラーニングを使用し、情報処理安全確保支援士試験【SC】の合格に必要な知識を学習します。

- 到達目標**
- ・高度IT人材として確立した専門分野を持ち、情報セキュリティ技術の専門家として情報セキュリティ管理を支援できる。
 - ・情報処理安全確保支援士試験【SC】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 情報処理安全確保支援士試験【SC】合格をめざす方。
前提知識 応用情報技術者試験【AP】に合格しているか、あるいはセキュリティ機能の企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。

- 内容**
1. 基礎事項の学習
 2. 問題演習
 3. 小テスト

備考

- ・終了日はすべて4月30日になります。サービス有効期間は開始日によって異なります。2020年1月16日開始分は106日間、2020年1月30日開始分は92日間、2020年2月13日開始分は78日間、2020年2月27日開始分は64日間ご利用できます。
- ・説明画面で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースは、アイテック社より提供いたします。
- ・コース実施に必要なご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。
- ・学習開始日15営業日前を過ぎてのキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更される場合があります。

SJE298 春期実施試験対策

<eラーニング>
集中演習 2020年 春期
データベーススペシャリスト試験【DB】 Renewal

eラーニングを使用し、データベーススペシャリスト試験【DB】の合格に必要な知識を学習します。

- 到達目標**
- ・高度IT人材として確立した専門分野を持ち、データベース技術の専門家として情報システムへの技術支援できる。
 - ・データベーススペシャリスト試験【DB】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 データベーススペシャリスト試験【DB】合格をめざす方。
前提知識 応用情報技術者試験【AP】に合格しているか、あるいはデータベースシステムの企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。

- 内容**
1. 基礎事項の学習
 2. 問題演習
 3. 小テスト

備考

- ・終了日はすべて4月30日になります。サービス有効期間は開始日によって異なります。2020年1月16日開始分は106日間、2020年1月30日開始分は92日間、2020年2月13日開始分は78日間、2020年2月27日開始分は64日間ご利用できます。
- ・説明画面で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースは、アイテック社より提供いたします。
- ・コース実施に必要なご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。
- ・学習開始日15営業日前を過ぎてのキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更される場合があります。

休講 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

日立製品					
JP1					
uCosminexus Application Server					
HIRDB					
OpenTP1					
VOS3/VOS1/VOSK					
XDM/PDMⅡ					
Hitachi Advanced Data Binder					
日立ストレージ					
Pentaho					
デジタルトランスフォーメーション					
IT 利活用					
イノベーション					
IoT/AI/Lumada					
ビッグデータ					
データ分析					
サイバーセキュリティ					
RPA					
クラウド/サーバ仮想化					
IT サービスマネジメント					
システム基盤					
IT 基本					
オープンソースソフトウェア(OSS)					
Linux					
Microsoft					
ネットワーク					
ハードウェア					
セキュリティ					
データベース					
IT 戦略・IS 企画					
システム開発					
要件定義 / 設計					
モデリング					
プログラミング					
情報処理技術者試験対策					
ITリテラシ					
プロジェクトマネジメント					
コンプライアンス					
ビジネス / ヒューマン					
グローバル					

SJE297 春期実施試験対策
<p>eラーニングを使用し、プロジェクトマネージャ試験【PM】の合格に必要な知識を学習します。</p>
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度IT人材として確立した専門分野を持ち、システム開発プロジェクトの責任者として、プロジェクトを管理・運営することができる。 ・プロジェクトマネージャ試験【PM】に合格できる実力を身につけることができる。
<p>対象者</p> <p>プロジェクトマネージャ試験【PM】合格をめざす方。</p>
<p>前提知識</p> <p>情報処理技術者試験 高度試験に合格しているか、あるいは同等の知識・業務経験があること。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎事項の学習 2. 問題演習 3. 小テスト
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終了日はすべて4月30日になります。サービス有効期間は開始日によって異なります。2020年1月16日開始分は106日間、2020年1月30日開始分は92日間、2020年2月13日開始分は78日間、2020年2月27日開始分は64日間ご利用できます。 ・説明画面で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースは、アイテック社より提供いたします。 ・コース実施に必要なご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。 ・学習開始日15営業日前を過ぎてのキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。 ・このコースの内容は、予告なく変更される場合があります。

SJE299 春期実施試験対策
<p>eラーニングを使用し、システム監査技術者試験【AU】の合格に必要な知識を学習します。</p>
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度IT人材として確立した専門分野を持ち、情報システムに関するリスクおよびコントロールを総合的に点検評価し、改善を勧告することができる。 ・システム監査技術者試験【AU】に合格できる実力を身につけることができる。
<p>対象者</p> <p>システム監査技術者試験【AU】合格をめざす方。</p>
<p>前提知識</p> <p>情報処理技術者試験 高度試験に合格しているか、あるいは同等の知識・業務経験があること。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎事項の学習 2. 問題演習 3. 小テスト
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終了日はすべて4月30日になります。サービス有効期間は開始日によって異なります。2020年1月16日開始分は106日間、2020年1月30日開始分は92日間、2020年2月13日開始分は78日間、2020年2月27日開始分は64日間ご利用できます。 ・説明画面で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースは、アイテック社より提供いたします。 ・コース実施に必要なご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。 ・学習開始日15営業日前を過ぎてのキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。 ・このコースの内容は、予告なく変更される場合があります。

SJD002 春期実施試験対策
<p>3日間</p>
<p>応用情報技術者試験【AP】合格に向けて、必要な知識や解答方法を問題演習を中心として学習します。</p>
<p>到達目標</p> <p>応用情報技術者試験【AP】に出題される重点テーマの知識から応用問題を解答できる。</p>
<p>対象者</p> <p>応用情報技術者試験【AP】合格をめざす方。</p>
<p>前提知識</p> <p>基本情報技術者試験【FE】に合格された方、あるいは基本戦略立案やITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事している方。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎理論について 2. コンピュータシステムについて 3. 技術要素について 4. 開発技術について 5. 組込みシステムについて 6. マネジメント/ストラテジ系について
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このコースは、学習効果を高めるため日程をあけて開催します。開催日程は、以下の通りです。 【東京(大森)地区】 1/14(1日目) 9:30~17:00 2/12(2日目) 9:30~17:00 3/11(3日目) 9:30~17:00

SJD003 春期実施試験対策
<p>1日間</p>
<p>模擬試験により、積み重ねた学習成果を再確認し、知識を定着させ、合格ライン到達をめざして学習します。</p>
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験対策の総仕上げとして、重要ポイントを再確認できる。 ・現状から得点をUPできる知識、解答技法を本試験に活用できる。
<p>対象者</p> <p>応用情報技術者試験【AP】合格をめざす方。</p>
<p>前提知識</p> <p>基本情報技術者試験【FE】に合格された方、あるいは基本戦略立案やITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事している方。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 模擬試験 (ITECまたはTAC模擬試験を使用) 2. 解答&解説
<p>備考</p> <p>このコースは、9:00~17:00の開催とさせていただきます。</p>

SJD006 春期実施試験対策
<p>3日間</p>
<p>情報処理安全確保支援士試験【SC】合格に向けて、必要な知識や解答方法を問題演習を中心として学習します。</p>
<p>到達目標</p> <p>情報処理安全確保支援士試験【SC】に出題される重点テーマの知識から記述問題攻略法を知ることができる。</p>
<p>対象者</p> <p>情報処理安全確保支援士試験【SC】合格をめざす方。</p>
<p>前提知識</p> <p>応用情報技術者試験【AP】に合格されているか、セキュリティ機能の企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 午前Ⅱ対策・演習 <ol style="list-style-type: none"> (1) セキュリティについての基本知識の確認 2. 午後Ⅰ、午後Ⅱ対策・演習 <ol style="list-style-type: none"> (1) 情報セキュリティシステムの企画/開発/運用/保守に関すること (2) 情報セキュリティの運用に関すること (3) 情報セキュリティ技術に関すること (4) 情報セキュリティ関連の法的要求事項に関すること
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このコースは、学習効果を高めるため日程をあけて開催します。開催日程は、以下の通りです。 【東京(大森)地区】 1/24(1日目) 9:30~17:00 2/20(2日目) 9:30~17:00 3/23(3日目) 9:30~17:00

SJD007 春期実施試験対策
<p>1日間</p>
<p>模擬試験により、積み重ねた学習成果を再確認し、知識を定着させ、合格ライン到達に向けて学習します。</p>
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験対策の総仕上げとして、重要ポイントを再確認できる。 ・現状から得点をUPできる知識、解答技法を本試験に活用できる。
<p>対象者</p> <p>情報処理安全確保支援士試験【SC】合格をめざす方。</p>
<p>前提知識</p> <p>応用情報技術者試験【AP】に合格しているか、あるいはセキュリティ機能の企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 模擬試験 (ITECまたはTAC模擬試験を使用) 2. 解答&解説 3. 本試験での注意事項及びアドバイス
<p>備考</p> <p>このコースは、9:00~17:00の開催とさせていただきます。</p>

SJD004 春期実施試験対策
<p>3日間</p>
<p>データベーススペシャリスト試験【DB】合格に向けて、必要な知識や解答方法を学習します。</p>
<p>到達目標</p> <p>データベーススペシャリスト試験【DB】に出題される重点テーマの知識から記述問題攻略法を知ることができる。</p>
<p>対象者</p> <p>データベーススペシャリスト試験【DB】合格をめざす方。</p>
<p>前提知識</p> <p>応用情報技術者試験【AP】に合格しているか、あるいはデータベースシステムの企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. データベースシステムの設計・構築に関すること 2. データベースシステムの運用・保守に関すること 3. データベース技術に関すること
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このコースは、学習効果を高めるため日程をあけて開催します。開催日程は、以下の通りです。 【東京(大森)地区】 1/28(1日目) 9:30~17:00 2/25(2日目) 9:30~17:00 3/26(3日目) 9:30~17:00

SJD005 春期実施試験対策
<p>1日間</p>
<p>模擬試験により、積み重ねた学習成果を再確認し、知識を定着させ、合格ライン到達に向けて学習します。</p>
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験対策の総仕上げとして、重要ポイントを再確認することができる。 ・現状から得点をUPできる知識、解答技法を本試験に活用することができる。
<p>対象者</p> <p>データベーススペシャリスト試験【DB】合格をめざす方。</p>
<p>前提知識</p> <p>応用情報技術者試験【AP】に合格しているか、あるいはデータベースシステムの企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 模擬試験 (ITECまたはTAC模擬試験を使用) 2. 解答&解説 3. 本試験での注意事項及びアドバイス
<p>備考</p> <p>このコースは、9:00~17:00の開催とさせていただきます。</p>

SJD001 春期実施試験対策
<p>1日間</p>
<p>講師によるポイント面談で論述をするために必要な基盤を学習します。</p>
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各試験区分において、求められるスキルを説明できる。 ・問題文の読み方から論文を構成できる。 ・各設問において、論述する内容を明確にできる。
<p>対象者</p> <p>高度試験の午後Ⅱ(論述式)の基盤作りをしたい方。</p>
<p>前提知識</p> <p>情報処理技術者試験(SC/DB/NW/その他の高度)に合格された方、あるいは同等の知識・業務経験をお持ちの方。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各試験区分の求められるスキルとは 2. 「論文の書き方」共通部分 3. 採点者の視点 4. 問題文の読み方と論文構成 5. 論文演習 6. 個別面談
<p>備考</p> <p>このコースは、9:00~17:30の開催とさせていただきます。</p>

SJD003 春期実施試験対策
<p>1日間</p>
<p>模擬試験により、積み重ねた学習成果を再確認し、知識を定着させ、合格ライン到達をめざして学習します。</p>
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験対策の総仕上げとして、重要ポイントを再確認できる。 ・現状から得点をUPできる知識、解答技法を本試験に活用できる。
<p>対象者</p> <p>応用情報技術者試験【AP】合格をめざす方。</p>
<p>前提知識</p> <p>基本情報技術者試験【FE】に合格された方、あるいは基本戦略立案やITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事している方。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 模擬試験 (ITECまたはTAC模擬試験を使用) 2. 解答&解説
<p>備考</p> <p>このコースは、9:00~17:00の開催とさせていただきます。</p>

SJD006 春期実施試験対策
<p>3日間</p>
<p>情報処理安全確保支援士試験【SC】合格に向けて、必要な知識や解答方法を問題演習を中心として学習します。</p>
<p>到達目標</p> <p>情報処理安全確保支援士試験【SC】に出題される重点テーマの知識から記述問題攻略法を知ることができる。</p>
<p>対象者</p> <p>情報処理安全確保支援士試験【SC】合格をめざす方。</p>
<p>前提知識</p> <p>応用情報技術者試験【AP】に合格されているか、セキュリティ機能の企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 午前Ⅱ対策・演習 <ol style="list-style-type: none"> (1) セキュリティについての基本知識の確認 2. 午後Ⅰ、午後Ⅱ対策・演習 <ol style="list-style-type: none"> (1) 情報セキュリティシステムの企画/開発/運用/保守に関すること (2) 情報セキュリティの運用に関すること (3) 情報セキュリティ技術に関すること (4) 情報セキュリティ関連の法的要求事項に関すること
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このコースは、学習効果を高めるため日程をあけて開催します。開催日程は、以下の通りです。 【東京(大森)地区】 1/24(1日目) 9:30~17:00 2/20(2日目) 9:30~17:00 3/23(3日目) 9:30~17:00

SJD007 春期実施試験対策
<p>1日間</p>
<p>模擬試験により、積み重ねた学習成果を再確認し、知識を定着させ、合格ライン到達に向けて学習します。</p>
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験対策の総仕上げとして、重要ポイントを再確認できる。 ・現状から得点をUPできる知識、解答技法を本試験に活用できる。
<p>対象者</p> <p>情報処理安全確保支援士試験【SC】合格をめざす方。</p>
<p>前提知識</p> <p>応用情報技術者試験【AP】に合格しているか、あるいはセキュリティ機能の企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 模擬試験 (ITECまたはTAC模擬試験を使用) 2. 解答&解説 3. 本試験での注意事項及びアドバイス
<p>備考</p> <p>このコースは、9:00~17:00の開催とさせていただきます。</p>

SJD011 春期実施試験対策
<p>2日間</p>
<p>講師による面談を踏まえながら、合格するための論述力を学習します。</p>
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験区分において、求められるスキルを説明できる。 ・問題文の読み方から論文を構成できる。 ・各設問において、論述する内容を明確にできる。 ・論述することができる。
<p>対象者</p> <p>春期高度試験【PM】【AU】の午後Ⅱ(論述式)の論述を実践したい方。</p>
<p>前提知識</p> <p>情報処理技術者試験(SC/DB/NW/その他の高度)に合格された方、あるいは同等の知識・業務経験をお持ちの方。また「高度試験受験者向け論文の書き方-問題文の読み方から論文構成方法まで-」を受講された方。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 論文解答攻略のポイント解説 2. 過去問題を題材にした論文解答実践 3. 講師が個人面談指導 4. 添削 5. 1日目の論文をブラッシュアップ 6. 時間内に書き上げるためのステップ 7. 個別にて論文添削
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このコースは、学習効果を高めるため日程をあけて開催します。開催日程は、以下の通りです。 【東京(大森)地区】 2/3(1日目) 9:00~17:00 3/2(2日目) 9:00~17:00

日立製品					
JP1					
uCosminexus Application Server					
HIRDB					
OpenTP1					
VOS3/VOS1/VOSK					
XDM/PDMⅡ					
Hitachi Advanced Data Binder					
日立ストレージ					
Pentaho					
デジタルトランスフォーメーション					
IT 利活用					
イノベーション					
IoT/AI/Lumada					
ビッグデータ					
データ分析					
サイバーセキュリティ					
RPA					
クラウド/サーバ仮想化					
IT サービスマネジメント					
システム基盤					
IT 基本					
オープンソースソフトウェア(OSS)					
Linux					
Microsoft					
ネットワーク					
ハードウェア					
セキュリティ					
データベース					
IT 戦略・IS 企画					
システム開発					
要件定義 / 設計					
モデリング					
プログラミング					
情報処理技術者試験対策					
ITリテラシ					
プロジェクトマネジメント					
コンプライアンス					

ITリテラシ

情報の扱い方、特にコンピュータを利用して業務を行うための基礎的な知識や技術が修得できます。

● Excelを使用して表やグラフを作成する方



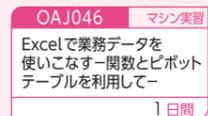
● Wordを使用して文書を作成する方



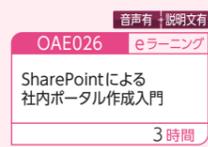
● PowerPointを使用してプレゼンテーション資料を作成する方



● Excelを使用してデータ活用をしたい方



● SharePointを使用してポータルサイトを作成する方



音声有 + 説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有 + 説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし + 説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

OAE027 Office 2016	
	<eラーニング> Excel 2016 基礎編
2時間	
Microsoft Excel 2016の基礎的な知識・操作方法を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> データを入力できる。 表の体裁を整えることができる。 目的に応じて印刷できる。 表計算機能を活用できる。
対象者	Microsoft Excel 2016を初めて利用する方、および、より体系的な学習を必要とする方。
前提知識	特に必要としません。
内容	<ol style="list-style-type: none"> はじめに Microsoft Excel 2016の画面 データ入力の基本 目的に応じた印刷 表計算機能の活用 その他の便利な機能
備考	<ul style="list-style-type: none"> サービス有効期限は30日間です。 音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境やMicrosoft Excel 2016がなくても学習できます。) このコースは、ライトワークス社より提供いたします。 コース実施に必要なご受講者の個人情報をライトワークス社へ提供いたします。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

OAE029 Office 2016	
	<eラーニング> Word 2016 基礎編
2時間	
Microsoft Word 2016の基礎的な知識・操作方法を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 文書を作成できる。 文書の体裁を整えることができる。 文書の保存と印刷ができる。
対象者	Microsoft Word 2016を初めて利用する方、および、より体系的な学習を必要とする方。
前提知識	特に必要としません。
内容	<ol style="list-style-type: none"> はじめに Microsoft Word 2016の画面 文書作成の基本 文書の体裁を整える 文書の保存と印刷 その他の便利な機能
備考	<ul style="list-style-type: none"> サービス有効期限は30日間です。 音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境やMicrosoft Word 2016がなくても学習できます。) このコースは、ライトワークス社より提供いたします。 コース実施に必要なご受講者の個人情報をライトワークス社へ提供いたします。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

OAE028 Office 2016	
	<eラーニング> Excel 2016 応用編
2時間	
Microsoft Excel 2016について、より深い知識や効率的な操作方法を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> グラフを作成できる。 データベースを管理できる。 関数を利用できる。 マクロを作成できる。
対象者	Microsoft Excel 2016の基礎的な知識・操作方法をすでに修得し、さらに高度な学習を必要とする方。
前提知識	「Excel 2016 基礎編」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> はじめに グラフの作成 データベースの管理 関数の基礎知識 マクロの作成 Excel VBA Excel Online
備考	<ul style="list-style-type: none"> サービス有効期限は30日間です。 音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境やMicrosoft Excel 2016がなくても学習できます。) このコースは、ライトワークス社より提供いたします。 コース実施に必要なご受講者の個人情報をライトワークス社へ提供いたします。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

OAJ046 Office 2016	
	Excelで業務データを使いこなす関数とピボットテーブルを利用して
1日間	
関数を使用してExcelにインポートしたダウンロードデータを整形する方法、ピボットテーブルを使用してデータの集計や分析をする方法を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 関数を効率よく入力し、データの整形ができる。 ピボットテーブルを使用してデータの集計や分析ができる。
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 業務で扱うデータを活用できるようになりたい方。 Excelの関数やピボットテーブルを使いこなしたい方。
前提知識	Microsoft Excelの基礎的な知識・操作方法を修得されていること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> ダウンロードデータをExcelにインポートする 関数を効率よく入力する ダウンロードデータを整形する ピボットテーブルを使用してデータの集計や分析をする
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

OAE030 Office 2016	
	<eラーニング> Word 2016 応用編
2時間	
Microsoft Word 2016について、より深い知識や効率的な操作方法を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 図形や画像を挿入できる。 文書の校閲ができる。 長文文書を作成できる。
対象者	Microsoft Word 2016の基礎的な知識・操作方法をすでに修得し、さらに高度な学習を必要とする方。
前提知識	「Word 2016 基礎編」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> はじめに 図形や画像の挿入 文書の校閲 長文文書作成のサポート Word Online その他の便利な機能
備考	<ul style="list-style-type: none"> サービス有効期限は30日間です。 音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境やMicrosoft Word 2016がなくても学習できます。) このコースは、ライトワークス社より提供いたします。 コース実施に必要なご受講者の個人情報をライトワークス社へ提供いたします。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

OAE031 Office 2016	
	<eラーニング> PowerPoint 2016 基礎編
2時間	
Microsoft PowerPoint 2016の基礎的な知識・操作方法を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーションを構成できる。 スライドの作成とデザインができる。 図形や画像を挿入できる。 スライドショーの準備と実行ができる。
対象者	Microsoft PowerPoint 2016を初めて利用する方、および、より体系的な学習を必要とする方。
前提知識	特に必要としません。
内容	<ol style="list-style-type: none"> はじめに Microsoft PowerPoint 2016の画面 プレゼンテーションの構成 スライドの作成とデザイン 図形や画像の挿入 スライドショーの準備と実行 その他の便利な機能
備考	<ul style="list-style-type: none"> サービス有効期限は30日間です。 音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境やMicrosoft PowerPoint 2016がなくても学習できます。) このコースは、ライトワークス社より提供いたします。 コース実施に必要なご受講者の個人情報をライトワークス社へ提供いたします。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

休講 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

日立製品

JP1

uCosminexus
Application Server

HIRDB

OpenTP1

VOS3/VOS1/
VOSK

XDM/PDM II

Hitachi Advanced
Data Binder

日立ストレージ

Pentaho

デジタルトランス
フォーメーション

IT 利活用

イノベーション

IoT/AI/Lumada

ビッグデータ

データ分析

サイバー
セキュリティ

RPA

クラウド/
サーバ仮想化IT サービス
マネジメント

システム基盤

IT 基本

オープンソース
ソフトウェア(OSS)

Linux

Microsoft

ネットワーク

ハードウェア

セキュリティ

データベース

IT戦略・IS企画

システム開発

要件定義 / 設計

モデリング

プログラミング

情報処理技術者
試験対策

ITリテラシ

プロジェクト
マネジメント

コンプライアンス

ビジネス/
ヒューマン

グローバル

OAE032 Office 2016

**<eラーニング>
PowerPoint 2016 応用編**

2時間

Microsoft PowerPoint 2016について、より深い知識や効率的な操作方法を学習します。

到達目標

- 表やグラフを挿入できる。
- アニメーションを活用できる。
- 動画を挿入、編集できる。
- マスターとテンプレートを活用できる。

対象者 Microsoft PowerPoint 2016の基礎的な知識・操作方法をすでに修得し、さらに高度な学習を必要とする方。

前提知識 「PowerPoint 2016 基礎編」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- はじめに
- 表やグラフの挿入
- アニメーションの活用
- 動画の挿入、編集
- マスターとテンプレートの活用
- PowerPoint Online
- その他の便利な機能

備考

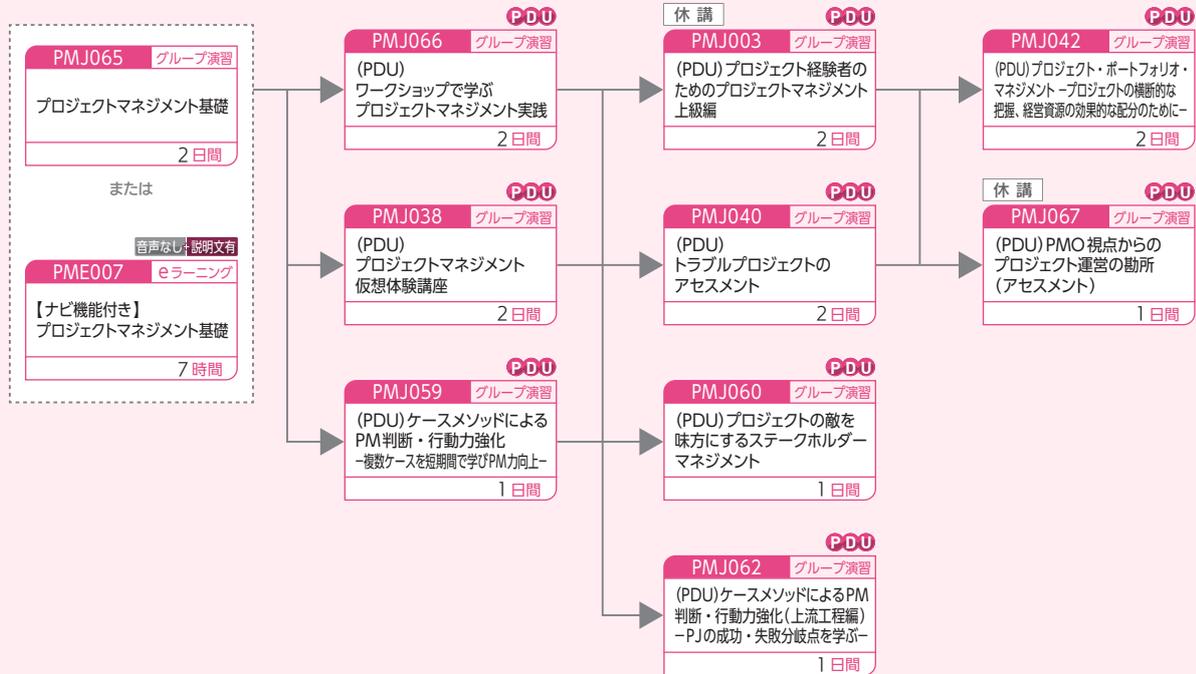
- サービス有効期限は30日間です。
- 音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境やMicrosoft PowerPoint 2016がなくても学習できます。)
- このコースは、ライトワークス社より提供いたします。
- コース実施に必要となる受講者の個人情報をライトワークス社へ提供いたします。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。



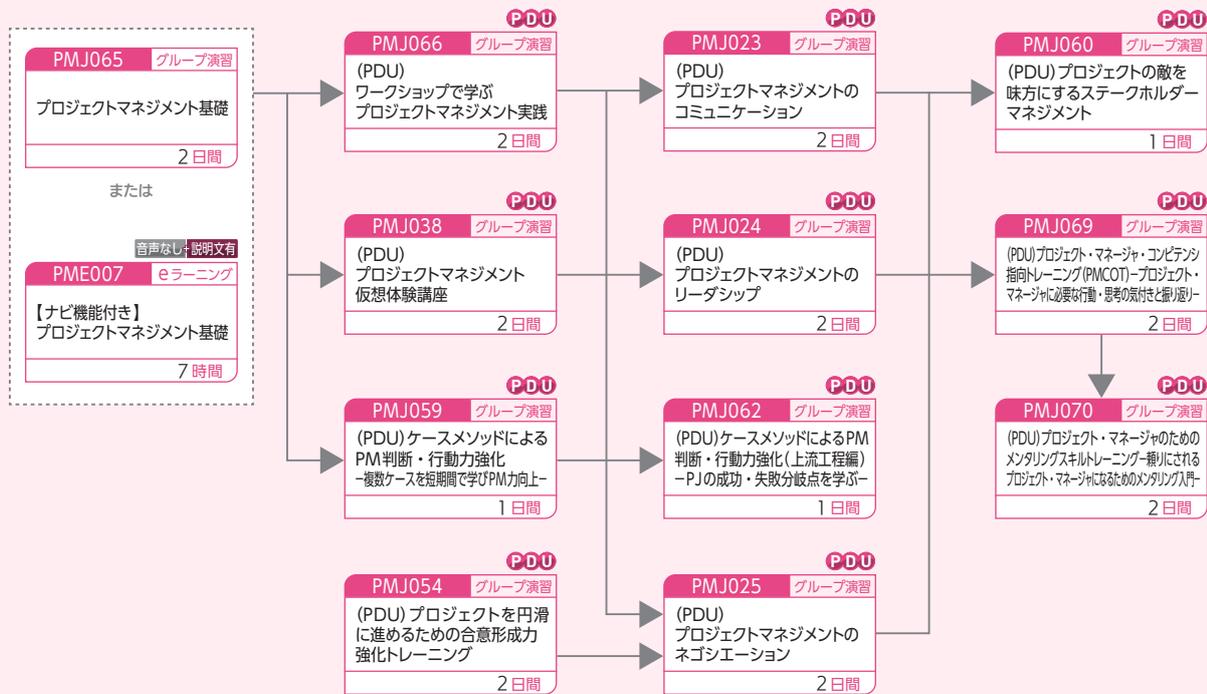
プロジェクトマネジメント

情報システム開発プロジェクトの計画・実行を行うために必要な知識や手順、技法が修得できます。

● プロジェクトマネージャをめざす方



● プロジェクトマネージャに必要なヒューマン系能力向上をめざす方



音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU : PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

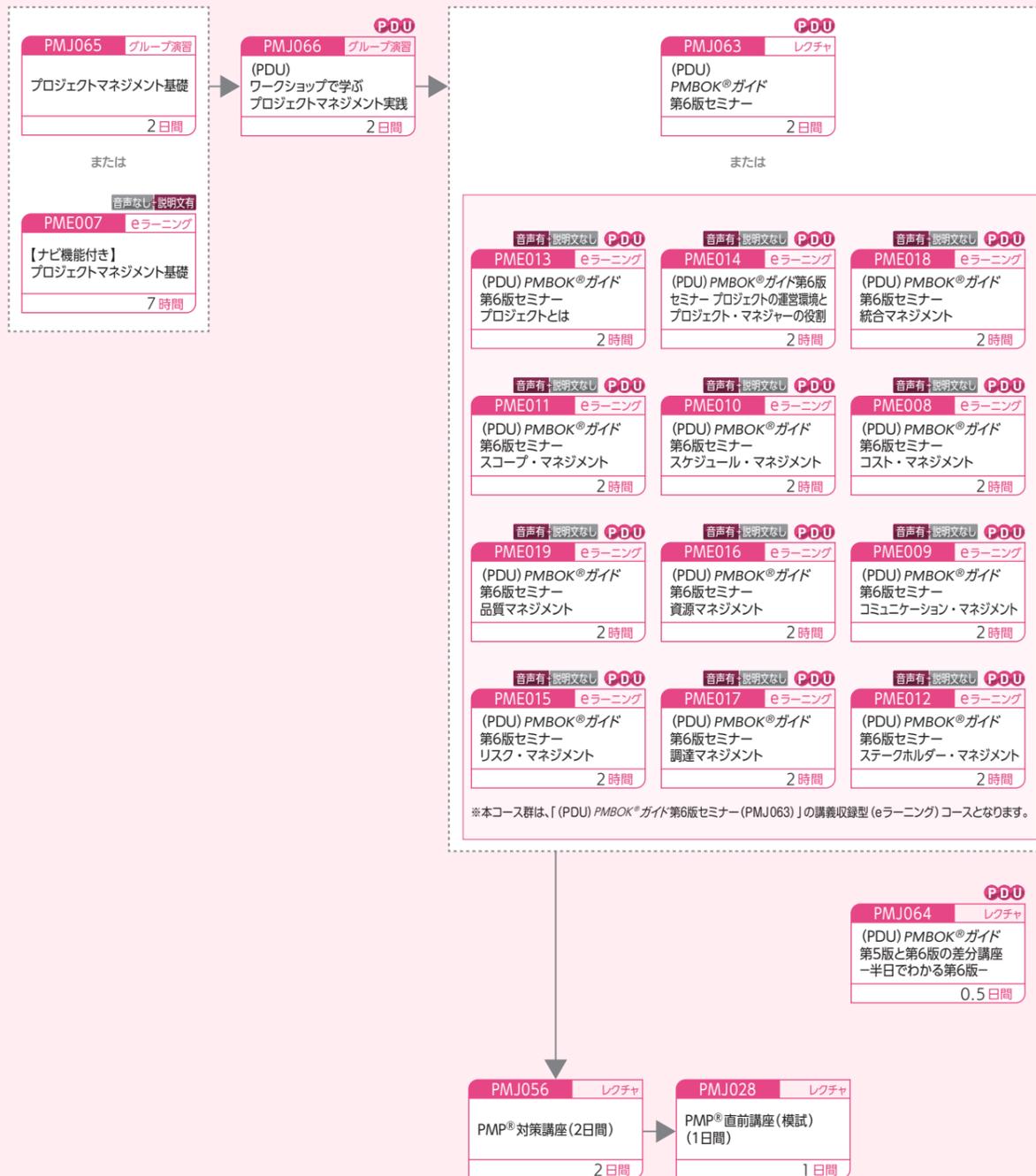
休講 休講
今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HiRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDMMI
- Hitachi Advanced Data Binder
- 日立ストレージ
- Pentaho
- デジタルトランスフォーメーション
- IT活用
- インベーション
- IoT/AI/Lumada
- ビッグデータ
- データ分析
- サイバーセキュリティ
- RPA
- クラウド/サーバ仮想化
- ITサービスマネジメント
- システム基盤
- IT基本
- オープンソースソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- ハードウェア
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画
- システム開発
- 要件定義/設計
- モデリング
- プログラミング
- 情報処理技術者試験対策
- ITリテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル

● プロジェクトマネージャに必要な専門能力向上をめざす方

● プロジェクトマネージャの国際資格PMP®の取得をめざす方



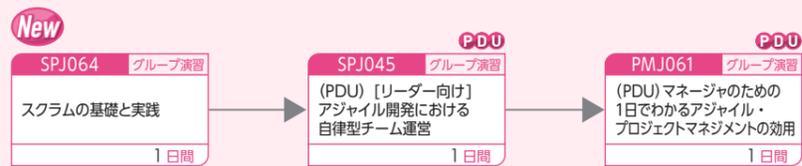
PMP® : Project Management Professionalの略で、米国PMI®(Project Management Institute)が認定する国際資格です。
 PDU : Professional Development Unitの略で、PMP®資格維持に必要な単位です。
 PMBOK®ガイドはプロジェクトマネジメント協会発行のA Guide to the Project Management Body of knowledgeの略称です。
 PMI®, PMP®, PMBOK®ガイド、PM Network®, PMI Today®, PMCDF®, R.E.P.ロゴは、プロジェクトマネジメント協会 (Project Management Institute, Inc.) の登録商標です。

音声有; 説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
 音声有; 説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
 音声なし; 説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

● アジャイル開発に携わる方、関心のある方

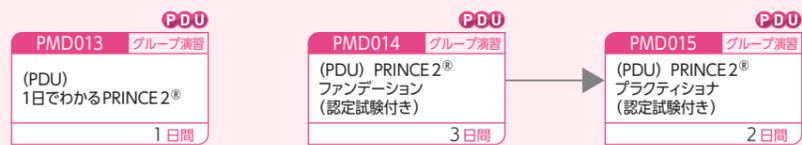


PMD012 レクチャ
[EXIN アジャイル スクラム ファンデーション]資格対策
2日間

● PMP®資格維持を図る方 (PMP®資格維持に必要なPDUが取得できます)

日立講習会では、PMP®資格(米国PMI®認定)に対応したコースを多数提供しています。
詳細は、ホームページをご覧ください。
<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/intro/license/pmp/index.html>

● イギリス発祥プロジェクトマネジメント方法論～事業計画立案から事業の価値創造まで～



- 音声有・説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

資格 PMP®資格(米国PMI®認定)

- Project Management Professional (PMP)®資格は、プロジェクトマネジメントの専門知識を有していることを証明するために、米国Project Management Institute (PMI)®が認定する資格です。
- PMP®の人気は世界的に非常に高く、資格受験者は年々増加を続けています。
- PMP®は、システム発注条件に記載されるケースも増えており、また、各社のプロジェクト・マネージャ資格認定制度においても認定要件である公的資格の一つに位置付けられることが多く、プロジェクト・マネージャをめざす方にとって人気の高い資格となっています。

詳しくは、日立アカデミーのwebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/intro/license/pmp/index.html>



PMI R.E.P. ロゴはプロジェクトマネジメント協会 (Project Management Institute, Inc.) の登録商標です。

● PDU 対象コース一覧

New : 新設コース **更新** : 改訂コース **休講** : 今期の定期開催はありません

分野	コースコード	区分	コース名	日数*	PDU合計	テクニカル・プロジェクトマネジメント	リーダーシップ	ストラテジック&ビジネスマネジメント	
デジタルトランスフォーメーション									
IoT/AI/Lumada	SPJ059		(PDU)実践! DevOpsによるアジャイル開発 -お客様に素早く価値を届けるために-	1日	6.5	6.5	0	0	
ITサービスマネジメント									
ITIL®	ITJ012		(PDU)ITIL® ファンデーション(認定試験付)	3日	18	5	8	5	
IT戦略・IS企画									
IT戦略・IS企画	HSJ017		(PDU)IT戦略の立案-IT-BSCの活用による-	1日	6.5	0	0	6.5	
	SPJ008		(PDU)IT投資の評価手法-IT投資の種類・パターンから効果を考える-	2日	13	0	0	13	
	CTJ016		(PDU)IT投資対効果の考え方-IT投資マネジメントの基礎-	1日	6	0	0	6	
	CTJ005		(PDU)トラブルを防止する調達要件の分析 -RFPの作成と提案書の評価を中心に-	2日	12	0	0	12	
	CTD010	New		(PDU) IT 経営ストラテジ(経営戦略コース)	2日	16	0	0	16
	CTD011	New		(PDU) IT 経営ストラテジ(IT戦略コース)	2日	16	0	0	16
	CTD007			ITC資格試験対策	1日	8	0	0	8
	CTJ059			(PDU)ビジネスアナリシスの基礎	2日	14	5	0	9
	CTJ060			(PDU)要求の引き出しとマネジメント	2日	14	13	0	1
	CTJ062			(PDU)エンタープライズ・ビジネスアナリシス	2日	15	5	0	10
	CTD008			(PDU)CBAP® 試験対策コース	3日	24	24	0	0
	CTJ037			(PDU)SEのためのベンダーマネジメント	2日	14	10	0	4

プロジェクトマネジメント

PMJ066			(PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践	2日	12	6	4	2
PMJ038			(PDU)プロジェクトマネジメント仮想体験講座	2日	14	8	6	0
PMJ059			(PDU)ケースメソッドによるPM判断・行動力強化 -複数ケースを短期間で学びPM力向上-	1日	7	3	2	2
PMJ062			(PDU)ケースメソッドによるPM判断・行動力強化(上流工程編) -PJの成功・失敗分岐点を学ぶ-	1日	7	3	2	2
PMJ003	休講		(PDU)プロジェクト経験者のためのプロジェクトマネジメント上級編	2日	12	6	4	2
PMJ040			(PDU)トラブルプロジェクトのアセスメント	2日	14	0	0	14
PMJ060			(PDU)プロジェクトの敵を味方にするステークホルダーマネジメント	1日	7	1	4	2
PMJ069			(PDU)プロジェクト・マネージャ・コンピテンシ指向トレーニング(PMCOT) -プロジェクト・マネージャに必要な行動・思考の気付きと振り返り-	2日	14	0	14	0
PMJ070			(PDU)プロジェクト・マネージャのためのメンタリングスキルトレーニング -頼りにされるプロジェクト・マネージャになるためのメンタリング入門-	2日	14	0	14	0
PMJ042			(PDU)プロジェクト・ポートフォリオ・マネジメント -プロジェクトの横断的な把握、経営資源の効果的な配分のために-	2日	14	0	0	14
PMJ067	休講		(PDU)PMO視点からのプロジェクト運営の勘所(アセスメント)	1日	6	3	2	1
PMJ023			(PDU)プロジェクトマネジメントのコミュニケーション	2日	14	10	4	0
PMJ024			(PDU)プロジェクトマネジメントのリーダーシップ	2日	14	0	14	0
PMJ054			(PDU)プロジェクトを円滑に進めるための合意形成力強化トレーニング	2日	13	5	3	5
PMJ025			(PDU)プロジェクトマネジメントのネゴシエーション	2日	14	0	14	0
PMJ048			(PDU)プロジェクトマネジメントの契約・調達マネジメント	2日	14	0	0	14
PMJ032			(PDU)プロジェクトマネジメントの品質マネジメント	2日	14	14	0	0
PMJ068			(PDU)プロジェクトマネジメントのリスクマネジメント	2日	14	10	4	0
PMD009			(PDU)プログラムマネジメント -より価値の高いプロジェクトを提供するために-	2日	16	8	0	8
PMJ039			(PDU)プロジェクトマネージャのためのファイナンシャルマネジメント	2日	14	0	0	14

休講 : 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

分野	コースコード	区分	コース名	日数※	PDU合計	テクニカル・プロジェクトマネジメント	リーダーシップ	ストラテジック&ビジネスマネジメント
	PMJ041		(PDU) プロジェクトマネジメントの要求マネジメント	2日	14	10	4	0
	PME701		<eラーニング>【ナビ機能付き】(PDU) ファンクションポイント法基礎	4時間	4	4	0	0
	PMJ014		(PDU) ファンクションポイント法による見積り実践トレーニング -コストマネジメント実践-	2日	12	10	0	2
	PME005		<eラーニング> (PDU) 2時間でわかるファンクションポイント法	2時間	2	2	0	0
	PMJ053	休講	(PDU) Microsoft Office Projectによるタイムマネジメント	2日	14	14	0	0
	PMJ063		(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー	2日	14	14	0	0
	PME013		<eラーニング> (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー プロジェクトとは	2時間	2	2	0	0
	PME014		<eラーニング> (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー プロジェクトの運営環境とプロジェクト・マネジャーの役割	2時間	2	2	0	0
	PME018		<eラーニング> (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー 統合マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME011		<eラーニング> (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー スコープ・マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME010		<eラーニング> (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー スケジュール・マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME008		<eラーニング> (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー コスト・マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME019		<eラーニング> (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー 品質マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME016		<eラーニング> (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー 資源マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME009		<eラーニング> (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー コミュニケーション・マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME015		<eラーニング> (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー リスク・マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME017		<eラーニング> (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー 調達マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME012		<eラーニング> (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー ステークホルダー・マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PMJ064		(PDU) PMBOK®ガイド第5版と第6版の差分講座 -半日でわかる第6版-	0.5日	4	4	0	0
	SPJ045		(PDU) [リーダー向け]アジャイル開発における自律型チーム運営	1日	6	4.5	1.5	0
	PMJ061		(PDU) マネージャのための1日でわかる アジャイル・プロジェクトマネジメントの効用	1日	7	4	2	1
	PMD013		(PDU) 1日でわかるPRINCE2®	1日	7	2	4	1
	PMD014		(PDU) PRINCE2®ファンデーション (認定試験付き)	3日	21	6	10	5
	PMD015		(PDU) PRINCE2®プラクティショナ (認定試験付き)	2日	14	4	5	5
ビジネス/ヒューマン								
	コミュニケーション	HSE117	<eラーニング> (PDU) リーダー向け報連相	4時間	4	1	2	1
		HSJ174	(PDU) ストラクチャード・コミュニケーション -会議を空中戦にせず、図で共有する・伝える・理解する・考える-	1日	7	0	7	0
		HSJ125	(PDU) アサーティブ・コミュニケーション -職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上-	1日	6.5	0	6.5	0
	マネジメント/リーダーシップ	HSJ194	(PDU) 半日でレベルアップ! コーチング実習	0.5日	3.5	0	3.5	0
		HSJ147	(PDU) 目標達成のためのコーチング実践	2日	14	1	5	8
		HSJ148	(PDU) 会議/プロジェクトを円滑に進めるための ファシリテーション・スキル向上	2日	14	4	5	5
		HSJ195	(PDU) 部下のパフォーマンスを高める1 on 1 ミーティングと フィードバック	1日	7.5	0	5.5	2

※eラーニングコースの日数欄には、平均学習時間を記載しています。

分野	コースコード	区分	コース名	日数※	PDU合計	テクニカル・プロジェクトマネジメント	リーダーシップ	ストラテジック&ビジネスマネジメント
戦略・マーケティング	HSE107		<eラーニング> (PDU) 知っておくべきビジネスモデルの基本 -顧客のビジネスをより理解するために-	10時間	8	0	0	8
	HSJ181		(PDU) ソリューション提案のための経営と情報戦略 -経営・事業・情報戦略のあるべき関係性-	1日	6.5	0	0	6.5
	HSJ182		(PDU) ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向 -イノベーション実現のために-	1日	6.5	0	0	6.5
アカウントティング/ファイナンス	HSE705		<eラーニング>【ナビ機能付き】(PDU) 財務諸表の基礎知識	4時間	4	3	0	1
	HSE103		<eラーニング> (PDU) よくわかるファイナンス1 -投資の判断、リスクとリターン-	4時間	3.5	0	0	3.5
	HSE104		<eラーニング> (PDU) よくわかるファイナンス2- 企業価値評価-	4時間	2.5	0	0	2.5
	HSE105		<eラーニング> (PDU) よくわかるファイナンス3 -資金調達の方法-	6時間	3.5	0	0	3.5
	HSE106		<eラーニング> (PDU) よくわかるファイナンス4 -M&A、コーポレートガバナンス、財務計画-	6時間	3.5	0	0	3.5
	ビジネスセンスアップ	HSE118		<eラーニング> (PDU) よくわかるビジネス・ミクロ経済1 -経済学の思考、費用分析、市場経済、ゲーム理論-	6時間	3	0	0
HSE098			<eラーニング> (PDU) よくわかるビジネス・ミクロ経済2 -不完全な情報、期待効用、行動経済学-	4時間	2.5	0	0	2.5
HSE099			<eラーニング> (PDU) よくわかるマクロ経済1 -効率性と公平性、アダムスミスとケインズ-	4時間	2.5	0	0	2.5
HSE100			<eラーニング> (PDU) よくわかるマクロ経済2 -GDP、為替、財政-	6時間	4	0	0	4
HSE101			<eラーニング> (PDU) よくわかるマクロ経済3 -金融政策、ハイエク、フリードマン、シュンペーター-	4時間	2.5	0	0	2.5
HSE102			<eラーニング> (PDU) よくわかるマクロ経済4 -景気循環、経済成長、格差社会と少子高齢化-	6時間	3.5	0	0	3.5
HSE115			<eラーニング> (PDU) 中国古典に見る指導者の条件	10時間	7	0	7	0
HSE113			<eラーニング> (PDU) 「貞観政要」に学ぶリーダーの心得	10時間	5	0	5	0
HSE114			<eラーニング> (PDU) 「書経」に学ぶリーダーの心得	10時間	6	0	6	0
HSE112			<eラーニング> (PDU) 「韓非子」のリーダー学	10時間	5	0	5	0
HSE111			<eラーニング> (PDU) 孫子の兵法を現代に役立てる方法	10時間	8	0	8	0
HSE110		<eラーニング> (PDU) リーダーに必要な人間力 三国志から学ぶリーダー学	10時間	7	0	7	0	
グローバル								
	GBE010		<eラーニング> (PDU) グローバルビジネスの基礎 -ビジネスルールと多様性- (基本セット)	4時間	4	0	2	2
	GBE023		<eラーニング> (PDU) 中国ビジネスの鉄則	10時間	7	0	0	7
	GBE024		<eラーニング> (PDU) インドビジネスの鉄則	10時間	6	0	0	6

※eラーニングコースの日数欄には、平均学習時間を記載しています。

日立製品	
JP1	
uCosminexus Application Server	
HIRDB	
OpenTP1	
VOS3/VOS1/VOSK	
XDM/PDM II	
Hitachi Advanced Data Binder	
日立ストレージ	
Pentaho	
デジタルトランスフォーメーション	
IT 利活用	
イノベーション	
IoT/AI/Lumada	
ビッグデータ	
データ分析	
サイバーセキュリティ	
RPA	
クラウド/サーバ仮想化	
IT サービスマネジメント	
システム基盤	
IT 基本	
オープンソースソフトウェア(OSS)	
Linux	
Microsoft	
ネットワーク	
ハードウェア	
セキュリティ	
データベース	
IT 戦略・IS 企画	
システム開発	
要件定義 / 設計	
モデリング	
プログラミング	
情報処理技術者試験対策	
ITリテラシ	
プロジェクトマネジメント	
コンプライアンス	
ビジネス/ヒューマン	
グローバル	

PMJ067	プロジェクトマネジメント
 (PDU) プロジェクト運営の勘所 (アセスメント) PDU 休講	
1日間	
PMOとしての役割や考え方、PMOによって改善されるべきことなど、事例を交えてプロジェクト運営の改善点について学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：6ポイント)の取得が可能です。	
到達目標	PMOの役割や考え方、PMOによって改善されるべきことなど、客観的な視点でのプロジェクト改善点を修得できる。
対象者	・PMO組織の改善を検討している方。 <ul style="list-style-type: none">客観的な視点でプロジェクト改善を検討したいと考えている方。
前提知識	〔(PDU) <i>PMBOK</i> ®ガイド第5版セミナー〕、または〔(PDU) <i>PMBOK</i> ®ガイド第6版セミナー〕コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. PMOの考え方とあり方 <ul style="list-style-type: none">(1)PMO視点でのプロジェクトマネジメントの見方 (2)PMOとしての役割とプロジェクト対応の考え方 2. PMO視点でのプロジェクト改善点と事例 <ul style="list-style-type: none">(1)プロジェクト運営の改善点 (2)PMO運営の考え方 3. PMO視点として持つべきもの(演習) 講師：日立製作所のSE部門にてPMO実務経験のある専門家が講義します。
備考	・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 <ul style="list-style-type: none">このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK</i> ®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。
	※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。

PMJ023	プロジェクトマネジメント
 (PDU) プロジェクトマネジメントのコミュニケーション PDU	
2日間	
プロジェクトマネージャ/リーダーが必要な対人関係を強化するコミュニケーション能力について、 <i>PMBOK</i> ®ガイドのコミュニケーション・マネジメントをベースに、ヒアリング能力・インタビュ能力・プレゼンテーション能力などの知識とスキルを、講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：14ポイント)の取得が可能です。	
到達目標	・コミュニケーションマネジメントの知識を説明できる。 <ul style="list-style-type: none">コミュニケーション・スキルを実践できる。
対象者	プロジェクトマネジメント業務を行う方。
前提知識	プロジェクトへの参加経験があり、「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコース、および〔(PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践〕コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. コミュニケーションの基本 2. プロジェクトにおけるコミュニケーション 3. インタビュースキル 4. ディスカッションスキル 5. プレゼンテーションスキル 6. 全体のまとめ
備考	・このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。 <ul style="list-style-type: none">このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK</i> ®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。

PMJ024	プロジェクトマネジメント
 (PDU) プロジェクトマネジメントのリーダーシップ PDU	
2日間	
リーダーシップの基礎知識、リーダーとしてのコンピテンシー、チーム内外でのコミュニケーションの基本、チームメンバーの動機付けおよび育成方法について、講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：14ポイント)の取得が可能です。	
到達目標	・リーダーシップの基礎知識、リーダーとしてのコンピテンシーを説明できる。 <ul style="list-style-type: none">チーム内外でのコミュニケーション、チームメンバーの動機付けおよび育成方法について説明できる。
対象者	プロジェクトマネジメント業務を行う方。
前提知識	プロジェクトへの参加経験があり、「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコース、および〔(PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践〕コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. リーダシップとマネジメント <ul style="list-style-type: none">(1)プロジェクトマネジメントにおけるリーダーシップの位置づけ (2)リーダーシップ・コンピテンシー　など 2. 優秀なチームをリードする <ul style="list-style-type: none">(1)チームが持つポジティブな側面とネガティブな側面 (2)グループから成功するチームへの発展　など 3. 変革への対応プロセスと倫理 <ul style="list-style-type: none">(1)行動科学とモチベーション (2)価値観と対人関係スタイル　など 4. 倫理とリーダーシップ <ul style="list-style-type: none">(1)変化に適応するプロセス (2)倫理的行動のメリット　など 5. リーダシップとコーチング <ul style="list-style-type: none">(1)なぜ今プロジェクトにおいてコーチングなのか (2)カウンセリング・コーチング・ティーチング　など
備考	・このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。 <ul style="list-style-type: none">このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK</i> ®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。

PMJ032	プロジェクトマネジメント
 (PDU) プロジェクトマネジメントの品質マネジメント PDU	
2日間	
プロジェクトにおける品質マネジメントの概念、品質計画、プロセス改善手法などプロジェクトの成功に不可欠な最先端の品質マネジメントの基礎的な知識と実践的なスキルを、講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：14ポイント)の取得が可能です。	
到達目標	・品質マネジメントの基礎的な知識を説明できる。 <ul style="list-style-type: none">品質マネジメントの実践的なスキルを実践できる。
対象者	プロジェクトマネジメント業務を行う方。
前提知識	プロジェクトへの参加経験があり、「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコース、および〔(PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践〕コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. 品質運動の歴史 2. 品質と品質マネジメントの基本 3. 品質計画 4. 品質管理 5. 品質保証 6. 変更管理 7. プロセス改善 8. 品質に対するコミットメント
備考	・このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。 <ul style="list-style-type: none">このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK</i> ®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。

PMJ039	プロジェクトマネジメント
 (PDU) プロジェクトマネージャのためのファイナンシャルマネジメント PDU	
2日間	
財務・会計の基本、契約時の利益計画、資産管理などの基礎知識とプロジェクト遂行における一般的な財務分析ツールを講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：14ポイント)の取得が可能です。	
到達目標	・財務・会計の基本、契約時の利益計画、資産管理などの基礎知識を説明できる。 <ul style="list-style-type: none">プロジェクト遂行における一般的な財務分析ツールを実践できる。
対象者	プロジェクトマネジメント業務を行う方。
前提知識	プロジェクトへの参加経験があり、「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコース、および〔(PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践〕コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. 財務の基本(財務分析、管理会計、収益測定(ROAなど)) 2. 契約上の利益(価格戦略と戦略、利益計画、利益目標) 3. 資産マネジメント(キャッシュフロー、受取勘定、財産目録) 4. 契約条件(価値、コスト、リスク・評価基準) 5. コスト見積り(コスト見積り法、計画策定とスケジュール)
備考	・このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。 <ul style="list-style-type: none">このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK</i> ®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。

PMJ006	プロジェクトマネジメント
 ソフトウェア開発の品質管理と信頼性	休講
1日間	
情報システムの高品質化(高信頼性化)を実現するための基本的考え方、および一連の施策について学習します。	
到達目標	情報システムの高品質化(高信頼性化)を実現するための基本的考え方、および一連の施策を説明できる。
対象者	情報システムの設計・開発を行う技術者の方、品質に関連する業務に携わる方。
前提知識	ソフトウェア開発に関する基礎知識があること。ソフトウェア開発経験があることが望ましい。
内容	1. オリエンテーション 2. システムのニーズと特徴・ソフトウェア開発上の障害 3. ソフトウェアの特徴 4. ソフトウェアの信頼性の定義 5. 信頼性向上技術 6. 実践的品質評価方法 7. プロジェクト管理における考え方 講師：日立製作所のSE部門品質保証部に品質管理を実務として担当している専門家が講義します。
備考	・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 <ul style="list-style-type: none">このコースは、「ソフトウェア開発の品質管理と信頼性」コースの名称を変更したものです。
	※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。

PMD009	プロジェクトマネジメント
 (PDU) プログラムマネジメントーより価値の高いプロジェクトを提供するためにー PDU	
2日間	
プログラムマネジメントはプロジェクトマネジメントの上位概念となり、組織の戦略とプロジェクトを関連付け、個々のプロジェクトだけでは対応できないベネフィット(売上増加、品質向上など)を得るために、一連のプロジェクト群をマネジメントします。このコースでは、プロジェクトマネジメントとの違いを確認しながらプログラムマネジメントの特徴について学習します。また、戦略実現に直結するプログラムマネジメントの知識・スキル修得とプログラムマネージャとしての役割と重要なフレームワークの一部ケーススタディを使いながら学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：16ポイント)の取得が可能です。	
到達目標	・プログラムマネジメントのライフサイクル全般と特に重要となるステークホルダマネジメント、ベネフィットマネジメントを中心にプログラムマネージャとしての必要な知識とスキルを修得できる。 <ul style="list-style-type: none">プロジェクトマネジメントの知識を持ったプログラムマネージャとして戦略的な価値を生み出すプロフェッショナル人材のベーススキルを修得できる。
対象者	上位プロジェクト・マネージャやプログラム・マネージャの方、経営企画・戦略部門マネージャ、PMOメンバーの方。特に必要とします。
前提知識	1. プログラムマネジメントとは 2. 組織戦略とプロジェクトとの関係 3. ベネフィットの定義(ベネフィット・マップ) 4. プログラムアーキテクチャとプログラムマネジメント計画 5. プログラムマネジメントの重要成功要因 <ul style="list-style-type: none">(1)プログラム・ライフサイクル (2)戦略との整合 (3)プログラム・ガバナンス (4)ベネフィット・マネジメント
備考	・このコースは、9:30～18:30の開催とさせていただきます。 <ul style="list-style-type: none">このコースは、株式会社富士ゼロックス総合研究所主催の「プログラムマネジメント」を実施するものです。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK</i> ®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。

日立製品	
JP1	
uCosminexus Application Server	
HIRDB	
OpenTP1	
VOS3/VOS1/VOSK	
XDM/PDM II	
Hitachi Advance Data Binder	
日立ストレージ	
Pentaho	
デジタルトランスフォーメーション	
IT 利活用	
イノベーション	
IoT/AI/Lumada	
ビッグデータ	
データ分析	
サイバーセキュリティ	
RPA	
クラウド/サーバ仮想化	
IT サービスマネジメント	
システム基盤	
IT 基本	
オープンソースソフトウェア(OSS)	
Linux	
Microsoft	
ネットワーク	
ハードウェア	
セキュリティ	
データベース	
IT 戦略・IS 企画	
システム開発	
要件定義 / 設計	
モデリング	
プログラミング	
情報処理技術者試験対策	
ITリテラシ	
プロジェクトマネジメント	
コンプライアンス	
ビジネス/ヒューマン	
グローバル	



日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho

デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA

クラウド/サーバ仮想化

IT サービスマネジメント

システム基盤

IT 基本

オープンソースソフトウェア(OSS)

Linux

Microsoft

ネットワーク

ハードウェア

セキュリティ

データベース

IT戦略・IS企画

システム開発

要件定義/設計

モデリング

プログラミング

情報処理技術者試験対策

ITリテラシ

プロジェクトマネジメント

コンプライアンス

ビジネス/ヒューマン

グローバル

プロジェクトマネジメント

PME701	プロジェクトマネジメント
 <eラーニング> [ナビ機能付き] (PDU) ファンクションポイント法基礎 PDU	
4時間	

ソフトウェアの機能を測る手段であり、顧客や開発発注先との価格交渉、見積りに効果的なファンクションポイント法の基本を学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：4ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ファンクションポイント法の基本について説明できる。

対象者 担当クラスの方。

前提知識 特に必要としません。

内容

- FP算出方法
- FPの性質と特徴
- FP法と見積
- 修了試験

備考

- 学習終了日は3月31日になります。
- 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースは、集合研修「(PDU)ファンクションポイント法基礎」コース(PMJ033)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

PMJ014	プロジェクトマネジメント
 (PDU) ファンクションポイント法による見積り実践トレーニング —コストマネジメント実践— PDU	
2日間	

ソフトウェア規模を見積るファンクションポイント法を業務に適用するための考え方、および手法について、講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：12ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・ソフトウェア規模を見積るファンクションポイント法の考え方、実践方法を説明できる。
・ファンクションポイント法を用いて計測ができる。

対象者 プロジェクトマネジメント業務を行う方、ファンクションポイント法を使用して見積りを行う方、ファンクションポイント法を使用している提案を評価する方。

前提知識 ソフトウェア開発に関する基礎知識があり、「(PDU)ファンクションポイント法基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- ファンクションポイント法による計測の手順
- ソフトウェア開発プロジェクトの見積り上の留意点
- 見積り演習
- ファンクションポイント法の導入方法
- 総合演習とまとめ
- 組織としての見積りへの取り組み
- ファンクションポイント法の動向

講師：日立製作所のSE部門で見積り技術の取りまとめを業務として担当している専門家が講義します。

備考 ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

PME005	プロジェクトマネジメント
 <eラーニング> (PDU) 2時間でわかるファンクションポイント法 PDU	
2時間	

ソフトウェア開発の規模を見積るためのファンクションポイント法について、計測方法の基礎を2時間で解説します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ファンクションポイント法の概要、および計測手順を説明できる。

対象者 プロジェクトリーダー(マネージャ)の方、または今後めざす方。特に必要としません。

前提知識 プロジェクトマネジメントの基本的な概念

内容

- ファンクションポイント法の基本的な概念
- ファンクションポイント算出手順
- データファンクションの計測
- トランザクションファンクションの計測
- ファンクションポイントの算出
- 修了試験

備考 ・学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

PMJ053	プロジェクトマネジメント
 (PDU) Microsoft Office Projectによるタイムマネジメント PDU	休講
2日間	

プロジェクトマネジメントツール Microsoft Office Projectを使って、計画段階のスケジュール作成・調整方法、実行段階での進捗管理方法を、講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：14ポイント)の取得が可能です。

到達目標 プロジェクトマネジメントツール Microsoft Office Projectを使い計画段階のプロジェクトスケジュールの作成・調整、実行段階での進捗情報の入力、スケジュール調整ができる。

対象者 Microsoft Office Projectを修得したい方。

前提知識 プロジェクトへの参加経験があり、「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- Microsoft Office Projectの概要
- 基本操作の理解
 - オプション設定の確認
 - ビューの切り替え
 - ビューの分割
 - カレンダーの設定
- プロジェクト・スケジュールの作成
 - タスクの登録
 - リンクの設定
 - 作業時間の見積り
 - リソース登録
 - 計画の調整
 - 基準計画の保存
- 進捗管理
 - 実績入力準備
 - 実績入力
 - 計画の見直し
 - コストの確認
- 便利機能の活用
 - ユーザ設定フィールド
 - テーブル/グループ/ビューの定義
 - 構成内容の変更
 - その他便利機能

備考 ・このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。
・マシン実習は、Windows環境Microsoft Office Project 2010を使用します。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。

PMJ063	プロジェクトマネジメント
 (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー PDU	
2日間	

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：14ポイント)の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*の概要を説明できる。

対象者 ・*PMBOK®ガイド*を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
・PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- はじめに
- プロジェクトの運営環境
- プロジェクト・マネジャーの役割
- 統合マネジメント
- スコープ・マネジメント
- スケジュール・マネジメント
- コスト・マネジメント
- 品質マネジメント
- 資源マネジメント
- コミュニケーション・マネジメント
- リスク・マネジメント
- 調達マネジメント
- ステークホルダー・マネジメント

備考 ・このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。
・「*PMBOK®ガイド*」が受講料に含まれます。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

PME013	プロジェクトマネジメント
 <eラーニング> (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー プロジェクトとは PDU	
2時間	

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*の概要を説明できる。

対象者 ・*PMBOK®ガイド*を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
・PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- 本ガイドの概要と目的
- 基本的要素
- 修了試験

備考 ・学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

PME014	プロジェクトマネジメント
 <eラーニング> (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー プロジェクトの運営環境とプロジェクト・マネジャーの役割 PDU	
2時間	

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*の概要を説明できる。

対象者 ・*PMBOK®ガイド*を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
・PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- 概要
- 組織体の環境要因(EEE)
- 組織のプロセス資産(OPA)
- 組織のシステム
- プロジェクト・マネジャーの定義(概要含む)
- プロジェクト・マネジャーの影響がおよび範囲
- プロジェクト・マネジャーのコンピテンシー
- 統合の実施
- 修了試験

備考 ・学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

PME018	プロジェクトマネジメント
 <eラーニング> (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー 統合マネジメント PDU	
2時間	

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*の概要を説明できる。

対象者 ・*PMBOK®ガイド*を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
・PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- プロジェクト憲章の作成
- プロジェクトマネジメント計画書の作成
- プロジェクト作業の指揮・マネジメント
- プロジェクト知識のマネジメント
- プロジェクト作業の監視・コントロール
- 統合変更管理
- プロジェクトやフェーズの終結
- 修了試験

備考 ・学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

PME011	プロジェクトマネジメント
 <eラーニング> (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー スコープ・マネジメント PDU	
2時間	

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*の概要を説明できる。

対象者 ・*PMBOK®ガイド*を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
・PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- スコープ・マネジメントの計画
- 要求事項の収集
- スコープの定義
- WBSの作成
- スコープの妥当性確認
- スコープのコントロール
- 修了試験

備考 ・学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

 マシン実習 マシンを使用しながらの研修	 グループ演習 グループ演習を中心とした研修	 レクチャ 座学による研修
---	---	--

 演習環境 職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習	 eラーニング	 マシン実習
--	---	---

 eラーニング インターネット接続による自己学習	 自己テキスト 自習書による自己学習
--	---

休講 今期の定期開催はありません

休講 今期の定期開催はありません

プロジェクトマネジメント

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho

デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA

クラウド/サーバ仮想化

IT サービスマネジメント

システム基盤

IT 基本

オープンソースソフトウェア(OSS)

Linux

Microsoft

ネットワーク

ハードウェア

セキュリティ

データベース

IT戦略・IS企画

システム開発

要件定義/設計

モデリング

プログラミング

情報処理技術者試験対策

ITリテラシ

プロジェクトマネジメント

コンプライアンス

ビジネス/ヒューマン

グローバル

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT活用
インバージョン
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

PME016	プロジェクトマネジメント
 <eラーニング> (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー 資源マネジメント PDU	
2時間	

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・*PMBOK®ガイド*の概要を説明できる。
対象者 ・*PMBOK®ガイド*を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
・PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. 調達マネジメントの計画
2. 調達の実行
3. 調達のコントロール
4. 修了試験

備考 ・学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。

PME009	プロジェクトマネジメント
 <eラーニング> (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー コミュニケーション・マネジメント PDU	
2時間	

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・*PMBOK®ガイド*の概要を説明できる。
対象者 ・*PMBOK®ガイド*を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
・PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. ステークホルダーの特定
2. ステークホルダー・エンゲージメントの計画
3. ステークホルダー・エンゲージメントのマネジメント
4. ステークホルダー・エンゲージメントの監視
5. 修了試験

備考 ・学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。

PME015	プロジェクトマネジメント
 <eラーニング> (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー リスク・マネジメント PDU	
2時間	

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・*PMBOK®ガイド*の概要を説明できる。
対象者 ・*PMBOK®ガイド*を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
・PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. リスク・マネジメントの計画
2. リスクの特定
3. リスクの定性的分析
4. リスクの定量的分析
5. リスク対応の計画
6. リスク対応策の実行
7. リスクの監視
8. 修了試験

備考 ・学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。

PMJ056	プロジェクトマネジメント
 PMP®対策講座(2日間)	
2日間	

PMP®資格試験合格に必要な*PMBOK®ガイド*および関連知識、解答のポイント、受験手続方法を学習します。テキストは、本番テストと同じ6つのカテゴリー(11ユニット)に分かれて構成されています。1～11の各ユニット終了毎に模擬演習問題を実施し、試験スタイルに慣れていただけます。付属の問題集(400問)で自己学習が可能です。

到達目標 PMP®資格試験合格に必要な*PMBOK®ガイド*および関連知識、解答のポイント、受験手続方法を修得できる。

対象者 PMP®資格を取得したい方。(業界を問いません)

前提知識 プロジェクトへの参加経験があり、[(PDU)*PMBOK®ガイド*第6版セミナー]コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. プロジェクト統合マネジメント
2. プロジェクト・スコープ・マネジメント
3. プロジェクト・タイム・マネジメント
4. プロジェクト・コスト・マネジメント
5. プロジェクト品質マネジメント
6. プロジェクト人的資源マネジメント
7. プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント
8. プロジェクト・リスク・マネジメント
9. プロジェクト調達マネジメント
10. ステークホルダー・マネジメント
11. プロフェッショナルの役割と責任
12. 受験ガイド(受験の手続き説明)

備考 ・このコースは、9:30～18:00の開催とさせていただきます。
・このコースの受講により、PMP®試験受験資格である学習時間の14時間分の受講証明書を発行いたします。
・*PMBOK®ガイド*をお持ちの方は、ご持参されることを推奨いたします。
・受験料は含まれておりません。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。

PMJ028	プロジェクトマネジメント
 PMP®直前講座(模試)(1日間)	
1日間	

PMP®資格試験合格のために出題数の多い分野を重点的に、得点力アップをめざして学習します。

到達目標 PMP®資格試験合格のために模範試験を実施し得点力をアップできる。

対象者 PMP®資格を取得したい方。(業界を問いません)
「PMP®対策講座(2日間)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. 全体おさらい
2. 模擬問題演習(200問)
3. 問題解答解説
4. 模擬問題演習(50問)
5. 合格への近道(受験ハウツー)

備考 ・このコースは、9:30～18:00の開催とさせていただきます。
・このコースの受講により、PMP®試験受験資格である学習時間の7時間分の受講証明書を発行いたします。
・計算用具(電卓)をご持参ください。
・*PMBOK®ガイド*をお持ちの方は、ご持参されることを推奨いたします。
・受験料は含まれておりません。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。

SPJ064	プロジェクトマネジメント
 スクラムの基礎と実践	
1日間	

このコースは、アジャイル開発手法の中でも主流のスクラムを取り上げます。基礎知識の解説に加え、実際のプロジェクトの進め方や要素技術など、アジャイル開発/スクラムの基礎と実践について学習します。また演習やワークショップによってアジャイル開発のメリットを体験します。

到達目標 スクラムの基本的なプロセスフレームワークを理解し、実践できる。

対象者 ・アジャイル開発の基礎を修得したい方。
・スクラムの修得をめざす方。

前提知識 特に必要としません。

内容 1. アジャイル開発の概要
2. スクラム入門
3. アジャイル開発の演習/ワークショップ
4. まとめ

備考 ・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・このコースは、株式会社ITプレナーズジャパン・アジアパシフィック主催の「EXIN アジャイル スクラム ファンデーションコース」を実施するものです。
・コース実施に必要なご受講者の個人情報をご提供いたします。

 マシン演習 マシンを使用しながらの研修	 グループ演習 グループ演習を中心とした研修	 レクチャ 座学による研修
---	---	--

 演習環境 職場・ご自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習	 eラーニング インターネット接続による自己学習	 自習テキスト 自習書による自己学習
---	---	---

 eラーニング インターネット接続による自己学習	 自習テキスト 自習書による自己学習
--	---

休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ https://www.hitachi-ac.co.jp/
--

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ https://www.hitachi-ac.co.jp/
--

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT活用
インバージョン
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

235

- 日立製品
- JP1
- uCosminex Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDMII
- Hitachi Advanced Data Binder
- 日立ストレージ
- Pentaho
- デジタルトランスフォーメーション
- IT 利活用
- イノベーション
- IoT/AI/Lumada
- ビッグデータ
- データ分析
- サイバーセキュリティ
- RPA
- クラウド/サーバ仮想化
- IT サービスマネジメント
- システム基盤
- IT 基本
- オープンソースソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- ハードウェア
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画
- システム開発
- 要件定義/設計
- モデリング
- プログラミング
- 情報処理技術者試験対策
- ITリテラシ
- プロジェクトマネジメント**
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル

PMD013 プロジェクトマネジメント
(PDU) 1日でわかるPRINCE2® (PDU)
1日間
<p>PRINCE2®の考え方を理解し、組織の全てのプロジェクトで使用できる共通のプロセス、役割、および用語を提供し、効率的で有効なプロジェクト管理方法を学びます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 7ポイント)の取得が可能です。</p>
<p>到達目標 PRINCE2®の概要を説明できる。</p>
<p>対象者 ITエンジニア職、若手・中堅の方でPRINCE2®の資格は不要だが、概要を知りたい方。</p>
<p>前提知識 特に必要としません。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> プロジェクトとは <ol style="list-style-type: none"> プロジェクトの定義 プロジェクトと通常の業務との違い プロジェクトマネジメント手法の例 プロジェクトマネジメントの課題 <ol style="list-style-type: none"> どのような課題があると考えられるか プロジェクトマネジメントでよくある課題 課題に対してPM手法がどう対応できるか PRINCE2® <ol style="list-style-type: none"> 歴史・背景 特徴 コントロールの対象 組織レベル 役割 PRINCE2®手法の流れ プロセスモデル、成果物 まとめ
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30~17:30の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

PMD014 プロジェクトマネジメント
(PDU) PRINCE2® ファンデーション (認定試験付き) (PDU)
3日間
<p>プロジェクト管理の手法として国際的なデファクトスタンダードであるPRINCE2®を学習します。PRINCE2®の基礎知識の修得を目的としています。研修の最後にPRINCE2®ファンデーション認定試験を受験します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 21ポイント)の取得が可能です。</p>
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> PRINCE2®の概要を理解し、PRINCE2®でのプロジェクト管理の原則を理解できる。 品質管理、リスク管理、ビジネスケースや予算、納期の範囲でプロジェクトを完了する方法を理解できる。
<p>対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトマネジメントに従事している方。 PRINCE2®の導入を考えている方。
<p>前提知識 特に必要としません。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> PRINCE2®のプロジェクト管理の手法 PRINCE2®の使用と実施の意味 プロジェクトへのPRINCE2®の原則の適用 品質、リスク、および利益の管理方法 既定のビジネス・ケースや予算、納期の範囲内でプロジェクトを完了する方法 さまざまなプロジェクト環境に合わせてPRINCE2®を調整する方法
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30~18:00の開催とさせていただきます。 このコースは、株式会社ITプレナーズジャパン・アジアパシフィック主催の「PRINCE2®ファンデーションコース」を実施するものです。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

PMD015 プロジェクトマネジメント
(PDU) PRINCE2® プラクティショナ (認定試験付き) (PDU)
2日間
<p>PRINCE2®の考え方を理解し、組織の全てのプロジェクトで使用できる共通のプロセス、役割、および用語を提供し、効率的で有効なプロジェクト管理方法を学びます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 14ポイント)の取得が可能です。</p>
<p>到達目標 組織の全てのプロジェクトで使用できる共通のプロセス、役割、および用語を提供し、効率的で有効なプロジェクト管理方法を理解できる。</p>
<p>対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトマネジメントに従事している方。 PRINCE2®の導入を考えている方。
<p>前提知識 PRINCE2®ファンデーション認定資格をお持ちの方、またはPMP®資格をお持ちの方。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> はじめに 原則、テーマ、およびプロセス ビジネスケース 組織 課題のレビュー 品質 計画 リスク 変更 進捗と試験準備ガイド プロセスを利用したテーマのレビュー
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30~18:00の開催とさせていただきます。 このコースは、株式会社ITプレナーズジャパン・アジアパシフィック主催の「PRINCE2®プラクティショナコース」を実施するものです。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

コンプライアンス

個人情報保護や情報セキュリティ、内部統制といった、コンプライアンス意識向上に不可欠な知識が修得できます。

● モニタリング：内部統制が有効に機能しているかを継続的に監視する

HSJ062 グループ演習

事例から学ぶ
システムトラブル対策の考え方
-高信頼性システム実現のために-

1 日間

HSJ018 グループ演習

システムトラブルの予防と是正
-ISMS・システム監査の
視点から-

2 日間

● 記録管理：内部統制の状況の確認、不正の発見、不正の抑止効果、内部統制の有効性の説明のために、企業活動を網羅的かつ正確に記録として残し管理する

音声有+説明文なし

DBE015 eラーニング

HiRDB機能解説

7 時間

DBJ092 マシン実習

HiRDBデータベース管理

2 日間

または

音声有+説明文なし

DBE305 eラーニング

【マシン演習付き】
HiRDBデータベース管理

12 時間

● セキュリティ管理：内部統制を実現するシステムが不正にアクセスされることを防止・抑止するためのセキュリティを管理する

音声なし+説明文有

SCE708 eラーニング

【ナビ機能付き】
情報セキュリティリテラシー
-セキュリティの必要性と対策-

初心者におススメ

4 時間

音声なし+説明文有

SCE706 eラーニング

【ナビ機能付き】
情報セキュリティマネジメント概説
-セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度-

8 時間

音声なし+説明文有

SCE703 eラーニング

【ナビ機能付き】
情報技術者に求められるセキュリティの基礎
-要素技術(暗号、認証)編-

6 時間

音声有+説明文有：学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし+説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

● システム運用管理：内部統制を実現する各システムが正しく導入・運用されることを保証するために管理する

<p>Renewal</p> <p>JPJ279 マシン実習</p> <p>JP 1 プロフェッショナル 統合管理1-システム監視-</p> <p>2日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ280/JPJ280T マシン実習</p> <p>JP 1 プロフェッショナル 統合管理2-システム設定-</p> <p>2日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ281/JPJ281T マシン実習</p> <p>JP 1 プロフェッショナル 統合管理セットコース</p> <p>4日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ282/JPJ282T マシン実習</p> <p>JP 1 プロフェッショナル パフォーマンス管理</p> <p>2日間</p>
<p>Renewal</p> <p>JPJ291 マシン実習</p> <p>JP 1 プロフェッショナル 資産・配布管理1-資産管理編-</p> <p>1日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ292 マシン実習</p> <p>JP 1 プロフェッショナル 資産・配布管理2-セキュリティ管理編-</p> <p>1日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ293/JPJ293T マシン実習</p> <p>JP 1 プロフェッショナル 資産・配布管理3-配布管理編-</p> <p>1日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ294/JPJ294T マシン実習</p> <p>JP 1 プロフェッショナル 資産・配布管理 セットコース</p> <p>3日間</p>
<p>Renewal</p> <p>JPJ295/JPJ295T マシン実習</p> <p>JP 1 プロフェッショナル セキュリティ管理</p> <p>1日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ296/JPJ296T レクチャ</p> <p>JP 1 コンサルタント 統合管理</p> <p>1日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ297/JPJ297T レクチャ</p> <p>JP 1 コンサルタント パフォーマンス管理</p> <p>1日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ300/JPJ300T レクチャ</p> <p>JP 1 コンサルタント 資産・配布管理</p> <p>1日間</p>
<p>音声なし、説明文有</p> <p>ITE701 eラーニング</p> <p>【ナビ機能付き】 運用管理概説</p> <p>初心者におすすめ 6時間</p>	<p>ITJ008 グループ演習</p> <p>情報システム運用入門 -運用からITサービスへ-</p> <p>1日間</p>	<p>ITJ009 グループ演習</p> <p>IT運用における ヒューマンエラー予防</p> <p>1日間</p>	<p>音声なし、説明文有</p> <p>ITE006 eラーニング</p> <p>SLAにおける サービスレベル設計の基礎</p> <p>4時間</p>
<p>ITJ004 グループ演習</p> <p>システム運用の現状分析・ 設計力養成ワークショップ</p> <p>2日間</p>	<p>PDU</p> <p>ITJ012 レクチャ</p> <p>(PDU) ITIL® ファンデーション (認定試験付)</p> <p>3日間</p>	<p>Renewal</p> <p>CLD001 グループ演習</p> <p>事業と技術の観点から検討 するクラウドへの移行と管理 - Cloud Essentials -</p> <p>2日間</p>	

音声有 + 説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有 + 説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし、説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修	グループ演習 グループ演習を中心とした研修	レクチャ 座学による研修	演習環境 職場・自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習	eラーニング インターネット接続による自己学習	自己テキスト 自習書による自己学習
------------------------	--------------------------	-----------------	----------------------------------	----------------------------	----------------------

HSJ062 コンプライアンス

事例から学ぶ システムトラブル対策の考え方 -高信頼性システム実現のために-

1日間

情報化社会におけるコンピュータシステムは、組織や社会のインフラを支えるという極めて重要な役割を担っています。これらのシステムに障害が発生すると、ビジネスに与える影響は非常に大きなものとなるため、今日の情報システムには高い信頼性と安全性が求められています。システムトラブル対策の実践的知識を学習します。IT技術者が開発段階や運用段階で実施すべきトラブル対策のポイント、解説とグループ演習を通して学習します。

到達目標

- システムトラブル発生状況とその対策実施状況を確認できる。
- 開発段階と運用段階で留意すべきトラブル対策のポイントを理解できる。
- システムトラブルマネジメントシステムの構築手順を理解できる。

対象者

プロジェクトマネージャ、システム開発担当者、システム運用担当者の方、システム品質管理担当者、ISMS導入担当者、内部監査担当者の方。

前提知識

情報化に関する基礎知識があること。

内容

- 今なぜシステムトラブル対策なのか
 - システムトラブル統計情報
 - トラブル防止に向けた取り組み
- 開発段階で実施するトラブル対策
 - 開発段階における留意事項
 - 開発段階での対策提言
- 運用段階で実施するトラブル対策
 - 運用段階における留意事項
 - 運用段階での対策提言
- システムトラブルをマネジメントする
 - トラブル情報の収集とその活用
 - 原因分析と対策立案
- まとめ

講師：前橋システムコンサルティング株式会社 代表取締役 前橋 雅夫氏（公認システム監査人）

備考

- このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSJ018 コンプライアンス

システムトラブルの予防と是正 -ISMS・システム監査の視点から-

2日間

情報システムの開発業務や運用業務で発生したトラブル事例を、予防処置と是正処置の観点から分析し、自らの職場において同様のトラブルを引き起こさないようにするためには何をすべきか、その対策ポイントについて研究・学習します。

到達目標

- 情報システムの開発業務や運用業務でトラブルを引き起こさないための対策ポイントを説明できる。
- システムトラブルの原因分析ならびに対策立案の手法を説明できる。
- ケーススタディ演習において、システムトラブルの原因分析ならびに対策方法を立案できる。

対象者

ISMS導入を担当する方、ISMS内部監査人、プロジェクトマネージャ、システム開発・運用を担当する方。

前提知識

情報化に関する基礎知識があること。

内容

- 今なぜシステムトラブルの予防と是正なのか
 - 情報セキュリティ対策の実施状況
 - システムトラブルの発生状況ほか
- 情報セキュリティ概論
 - 情報資産とは
 - 脅威と脆弱性ほか
- システムトラブルを未然に防止する
 - 物理的な事前対策
 - 技術的な事前対策
 - 管理的な事前対策
 - システム監査によるトラブル防止ほか
- システムトラブルの再発を防止する
 - セキュリティ事件・事故への対処
 - システムトラブル報告書
 - ヒューマンファクタ分析ほか
- まとめ
 - 危機管理の鉄則

講師：前橋システムコンサルティング株式会社 代表取締役 前橋 雅夫氏（公認システム監査人）

備考

- このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

休講 休講
今期の定期開催はありません

ビジネス/ヒューマン

仕事を進めるうえで必要となるスキル(ロジカルシンキング、コミュニケーション、ライティング、リーダーシップ、業務知識など)が修得できます。

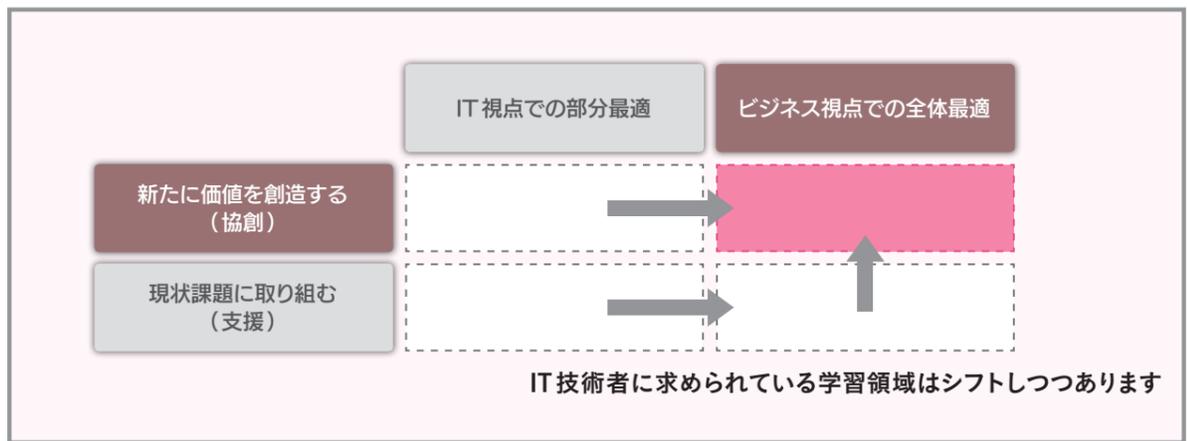
ビジネススキル修得のための推奨講座体系～変化の激しい時代を生き抜くために～

今後、IT技術者は何を学ぶべきか

ITが融合した市場・社会でのパラダイムシフトに企業が応えるためには、企業活動とITとの融合を継続的に進化(深化)させていく必要があります。ビジネスプロセス=ITシステムという現在、IT部門・技術者は「ITシステムを作るだけの人」で良いのでしょうか。ITがビジネスのあらゆる場面を支えるインフラとなり、ユーザー部門がIT部門・技術者に期待する関わり方は、「支援」ではなく「一体」に、そして「結果の共有」まで、全工程をマネジメントすることが求められるようになりました。

また、経営戦略の具現化・課題解決のために、ITの知見を軸としながらも、ITのみの視点にとどまらず、ビジネスの視点で全体最適な解決策を提案することが期待されています。

ITという技術を社会やビジネスで役立たせるには、「現実の場」とITを結びつけ、協創することが不可欠です。ビジネス推進と一体となって、ビジネスでの結果の共有を実践するために、IT技術者は使命の拡大に合わせて学習の領域を広げていくことが望まれています。



確実なスキルアップを促す講座体系の特長

上記のような要請を踏まえ日立講習会では、システム計画系やプロジェクトマネジメント系の講座体系に、ビジネススキル系のコースを追加し、段階的に拡充を図って参りました。

ビジネススキルの修得は「なかなか効果が見えないもの」といわれます。そこで日立講習会では、日立グループ向けのビジネス教育のノウハウを活用し、最短期間で修得できるよう、各項目の最終的な到達レベルを定義したうえで、その修得までに最適な時間を導き出しています。また、修得内容に一貫性を持たせつつ、必要最小限の項目で構成しています。

講座体系を活用したコースの選び方

次ページの講座体系では、ビジネス推進のスキルとして欠かせない四分野(問題解決、人・組織・リーダーシップ、戦略・マーケティング・セールス、財務)を縦軸に採り、横軸にレベル感や難易度を表現しました。お客様内での階層別育成の実施状況や、対象者の方の経験年数・業務経験・職位と照らし合わせて、コースをご検討ください。

また、P.242以降では、ビジネススキルの講座群を目的別のコースフローで掲載しています。こちらでは、今必要なスキル修得に最適なコース選択のために、「速引き」でコースを見つけていただけるように整理しました。

実績豊富な日立講習会のビジネス/ヒューマン講座をご活用いただければ幸いです。

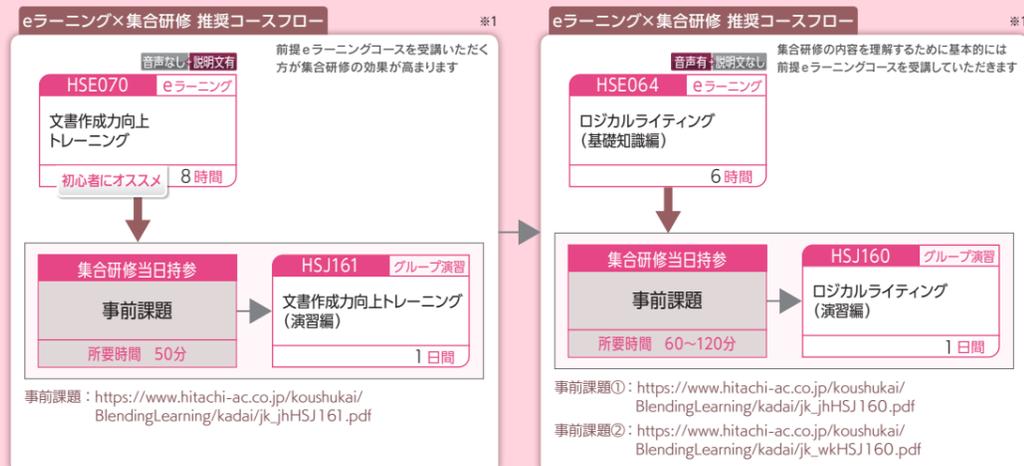
問題解決能力修得の共通ステップ	ビジネスの問題解決の基本を理解し、意識を高める	各自のビジネスにおける問題解決を実行する	先の見えない困難な状況下でも合理的な解を立案し、組織を導く	
レベル	入門	基礎	応用・中級	上級
問題解決	HSJ116 / 2日間 ロジカルシンキング基礎 ー論理の可視化と論理チェックのポイントー	HSJ170 / 2日間 イノベティブ思考ー単なるアイデアで終わらせないためのロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせかたー	問題解決のための コンセプチュアル総合コース	
ライティング	HSE070 / 3時間 eL 文書作成力向上トレーニング	HSJ161 / 1日間 文書作成力向上トレーニング(演習編)		
プレゼンテーション	HSJ154 / 2日間 ロジカルプレゼンテーション基礎			
意思決定	HSE072 / 4時間 eL 意思決定のスキルー合理と心理を理解したうえでの意思決定ー		HSJ137 / 1日間 意思決定のスキルIIーディジショナルマネジメントを実践するためにー	
交渉	HSE711 / 4時間 eL [ナビ機能付き]協創を生み出す交渉(基礎知識編)	HSJ145 / 1日間 協創を生み出す交渉(基礎演習編)	HSJ146 / 1.5日間 協創を生み出す交渉(実践演習編)	HSJ185 / 1日間 行動経済学を応用したパースェイション(説得)のスキルーハード交渉術を越えてー
コミュニケーション	HSE049 / 8時間 eL ビジネススキル基礎	HSJ124 / 1日間 リスニング力を高めるコミュニケーションスキルアップー現場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上ー	コミュニケーション系総合コース (各人・各組織の価値観や、非言語部分までを含んだ、「人の情念の変容に踏み込む総合的ファシリテーション講座」)	
人・組織・リーダーシップ	HSJ126 / 1日間 報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎	HSJ127 / 2日間 情報を整理して伝えるコミュニケーション技法ーロゴス・パトス・エトスを高めるー	HSJ125 / 1日間 (PDU)アサーティブ・コミュニケーションー現場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上ー	
マネジメント/リーダーシップ	HSJ079 / 1日間 コーチング基礎	HSJ195 / 1日間 (PDU)部下のパフォーマンスを高める1 on 1ミーティングとフィードバック	HSJ147 / 2日間 (PDU)目標達成のためのコーチング実践	
	HSJ114 / 1日間 リーダーシップの原理・原則	HSJ194 / 0.5日間 (PDU)半日でレベルアップ! コーチング実習		
	HSJ187 / 1日間 共に勝つ人生戦略 ウィナーシップ研修ービジネスパーソンとして「本気づくり」に挑戦するー		HSJ196 / 1日間 リーダーのためのマインドフルネス基礎ー成果発揮へのセルフリーダーシップとマインドフルー	
戦略・マーケティング・セールス		戦略的思考基礎 (コンサルタントの顧客対応ノウハウを学ぶ)	HSJ182 / 1日間 (PDU)ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向ーイノベーション実現のためにー	戦略基礎理論と応用
		HSJ180 / 1日間 顧客協創を促すディスカッションペーパーの作成・活用の仕方	マーケティング基礎理論と応用	
財務	HSE709 / 8時間 eL [ナビ機能付き] WHYで学ぶアカウンティング(基礎知識編)			財務系総合コース

確実なスキルアップを促す4つの講座群

- 問題解決スキル**
 ビジネスパーソンが修得すべき論理的思考をベースとした問題解決のためのスキルを身につけることができます。
- 人・組織・リーダーシップスキル**
 個人と組織が連携していくための真の対人能力を身につけ、「組織マネジメント」と「変革のリーダーシップ」を修得できます。
- 戦略・マーケティング・セールススキル**
 顧客の環境変化や顧客との協創を考え、ビジネスアイデアを創造するスキルを修得できます。
- 財務スキル**
 アカウンティングの本質から、連結経営、ファイナンス、経営分析を用いた経営改革のスキルを修得できます。

● 文書作成、プレゼンテーション力を高めたい方

文書作成の基本を押さえたい/押さえさせたい



※1: 必須知識をeラーニングで学習したうえで集合研修で演習に取り組むため、eラーニングと集合研修両方のご受講を推奨します。集合研修は事前課題に取り組むことが前提となります。

指導・添削のポイントを知りたい

HSJ153 グループ演習
リーダー向け「文書添削と指導法」
1日間

社内成果報告論文を書く

〈オーダー研修〉
社内成果報告論文の書き方

〈オーダー研修〉
成果報告論文向けプレゼンテーション研修

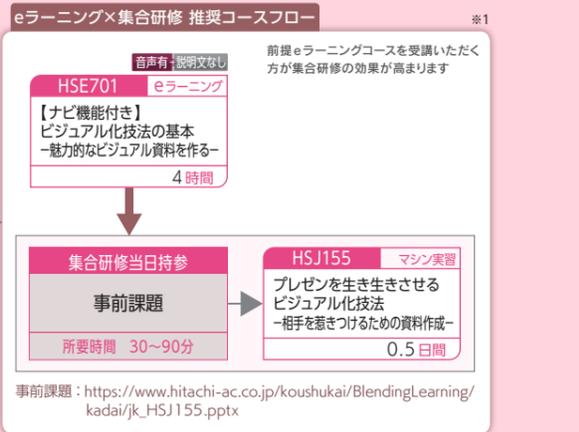
〈オーダー研修〉
ご希望に応じて個別開催いたします。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。

プレゼンテーションの準備プロセスを知りたい

HSJ154 グループ演習
ロジカルプレゼンテーション基礎
2日間

Renewal HSE127 eラーニング
ロジカルプレゼンテーション基礎 -レクチャ編-
8時間

資料のデザインのポイントを知りたい



※1: 必須知識をeラーニングで学習したうえで集合研修で演習に取り組むため、eラーニングと集合研修両方のご受講を推奨します。集合研修は事前課題に取り組むことが前提となります。

グローバルビジネスシーン

GBD001 グループ演習
情理と論理のグローバルコミュニケーション
-日本文化に添い、人脈で考える戦略思考-
1日間

● 論理的思考、問題発見・解決能力、発想力を高めたい方

問題解決のプロセス、論理的思考の技法を知りたい



論理的にアイデアを発想する手順を知りたい

HSE037 eラーニング
TRIZで学ぶ発想のパターン -科学的強制発想法-
4時間

HSE066 eラーニング
思考技法の概要
4時間

イノベティブに新しいことを考え出す必要性・考え方を知りたい

HSJ163 グループ演習
クリエイティブシンキング
1日間

イノベティブな問題解決の場合の手順、思考技法を知りたい

HSJ170 グループ演習
イノベティブ思考 -単なるアイデアで終わらせないためのロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせが-
2日間

相互に関連する要因から成る問題の可視化を知りたい

HSJ157 グループ演習
システムシンキング基礎 -問題を構成する互いに影響しあう要素の「つながり」を可視化する-
2日間

問題解決の適用シーンを拡大するために、チーム・組織などのさまざまな立場(視座)で問題を捉えます

シーン別学習

戦略マップ/KPIツリーを作成することに応用する

PDU HSJ181 グループ演習
(PDU)ソリューション提案のための経営と情報戦略-経営・事業・情報戦略のあるべき関係性-
1日間

音声有+説明文有: 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし: 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし+説明文有: 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

休講 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDMII
- Hitachi Advanced Data Binder
- 日立ストレージ
- Pentaho
- デジタルトランスフォーメーション
- IT活用
- イノベーション
- IoT/AI/Lumada
- ビッグデータ
- データ分析
- サイバーセキュリティ
- RPA
- クラウド/サーバ仮想化
- ITサービスマネジメント
- システム基盤
- IT基本
- オープンソースソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- ハードウェア
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画
- システム開発
- 要件定義/設計
- モデリング
- プログラミング
- 情報処理技術者試験対策
- ITリテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル

- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDMII
- Hitachi Advanced Data Binder
- 日立ストレージ
- Pentaho
- デジタルトランスフォーメーション
- IT活用
- イノベーション
- IoT/AI/Lumada
- ビッグデータ
- データ分析
- サイバーセキュリティ
- RPA
- クラウド/サーバ仮想化
- ITサービスマネジメント
- システム基盤
- IT基本
- オープンソースソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- ハードウェア
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画
- システム開発
- 要件定義/設計
- モデリング
- プログラミング
- 情報処理技術者試験対策
- ITリテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル

プレゼンテーションの構成づくりに応用する

HSJ154 グループ演習
ロジカルプレゼンテーション基礎
2日間

Renewal
HSE127 eラーニング
ロジカルプレゼンテーション基礎
-レクチャ編-
8時間

文書構成に応用する

eラーニング×集合研修 推奨コースフロー ※1

集合研修の内容を理解するために基本的には前提eラーニングコースを受講していただきます

HSE064 eラーニング
ロジカルライティング(基礎知識編)
6時間

事前課題①: https://www.hitachi-ac.co.jp/koushukai/BlendingLearning/kadai/jk_jhHSJ160.pdf
事前課題②: https://www.hitachi-ac.co.jp/koushukai/BlendingLearning/kadai/jk_wkHSJ160.pdf

集合研修当日持参
事前課題
所要時間 60~120分

HSJ160 グループ演習
ロジカルライティング(演習編)
1日間

意思決定に応用する

HSE036 eラーニング
QFD(品質機能展開)で学ぶマトリクス表の上手な使い方
-マトリクス表を使って「決める」を考える-
4時間

HSE072 eラーニング
意思決定のスキル
-合理と心理を理解したうえでの意思決定-
4時間

HSJ137 グループ演習
意思決定のスキルII
-ディシジョンマネジメントを実践するために-
1日間

テストケースの作成に応用する

eラーニング×集合研修 推奨コースフロー ※2

SPE016 eラーニング
実践! テストケース設計(テスト技法演習編)
8時間

SPJ051 マシン実習
実践! テストケース設計(テスト設計実践編)
1日間

ニーズ分析に応用する

SPJ037 グループ演習
システムのニーズ分析
2日間

仮説をもとに顧客と検証する

HSJ180 グループ演習
顧客協創を促すディスカッションペーパーの作成・活用の仕方
1日間

※1: 必須知識をeラーニングで学習したうえで集合研修で演習に取り組むため、eラーニングと集合研修両方のご受講を推奨します。集合研修は事前課題に取り組むことが前提となります。

※2: 必須知識をeラーニングで学習したうえで集合研修で演習に取り組むため、eラーニングと集合研修両方のご受講を推奨します。

音声有+説明有: 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明なし: 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし+説明有: 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

マシン実習: マシンを使用しながらの研修

グループ演習: グループ演習を中心とした研修

レクチャ: 座学による研修

演習環境: 職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習

eラーニング: インターネット接続による自己学習

自己テキスト: 自己学習による自己学習

サービスマインドを高めたい方

HSJ152 グループ演習
SEのためのサービスマインド醸成-顧客対応の質を高め、他社と差別化を図る-
1日間

社会人としての基本動作を身につけたい方

HSE049 eラーニング
ビジネススキル基礎
初心者におススメ 8時間

HSJ126 グループ演習
報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎
初心者におススメ 1日間

HSE070 eラーニング
文書作成力向上トレーニング
初心者におススメ 8時間

Renewal
HSE123 eラーニング
報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎-レクチャ編-
4時間

コミュニケーションスキルを高めたい方

【コミュニケーションスキルの基礎】

HSJ116 グループ演習
ロジカルシンキング基礎-論理の可視化と論理チェックのポイント-
初心者におススメ 2日間

または

Renewal
HSE126 eラーニング
ロジカルシンキング基礎-論理の可視化と論理チェックのポイント-
8時間

HSJ127 グループ演習
情報を整理して伝えるコミュニケーション技法-ロゴス・パトス・エトスを高める-
2日間

HSE117 eラーニング
(PDU)リーダ向け報連相
4時間

HSJ124 グループ演習
リスニング力を高めるコミュニケーションスキルアップ-職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上-
1日間

Renewal
HSE124 eラーニング
リスニング力を高めるコミュニケーションスキルアップ-レクチャ編-
4時間

Renewal
HSE125 eラーニング
アサーティブ・コミュニケーション-レクチャ編-
4時間

PDU
HSJ125 グループ演習
(PDU)アサーティブ・コミュニケーション-職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上-
1日間

HSJ126 グループ演習
報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎
初心者におススメ 1日間

HSJ154 グループ演習
ロジカルプレゼンテーション基礎
2日間

New
HSJ197 グループ演習
自分を知り他者を知るコミュニケーションマネジメント-DISCモデルによる-
2日間

Renewal
HSE123 eラーニング
報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎-レクチャ編-
4時間

Renewal
HSE127 eラーニング
ロジカルプレゼンテーション基礎-レクチャ編-
8時間

PDU
HSJ174 グループ演習
(PDU)ストラクチャード・コミュニケーション-会議を空戦にせず、図で共有する・伝える・理解する・考える-
1日間

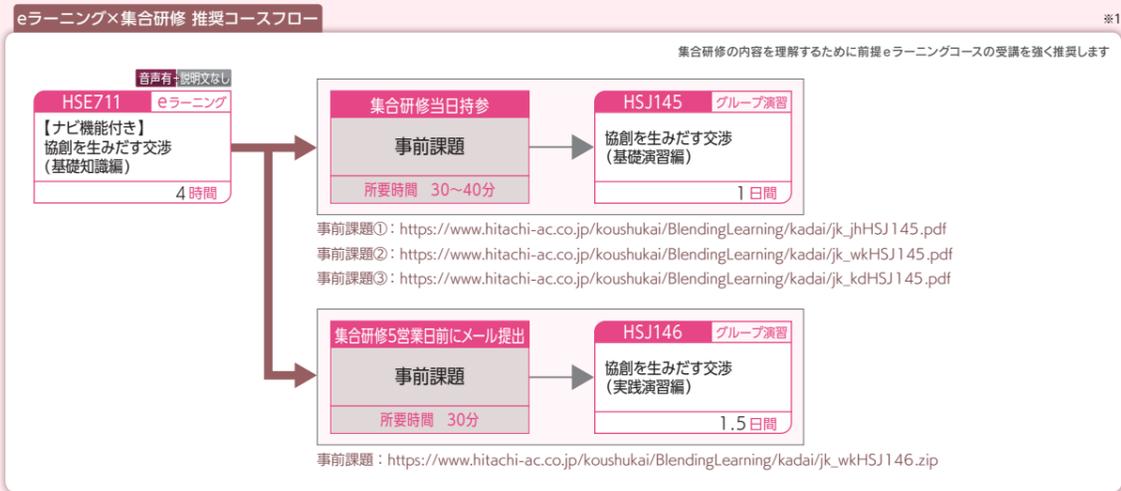
HSJ188 レクチャ
わたしを活かすキャリアデザイン-人生100年時代のキャリアを考える-
1日間

休講: 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDMII
- Hitachi Advanced Data Binder
- 日立ストレージ
- Pentaho
- デジタルトランスフォーメーション
- IT活用
- イノベーション
- IoT/AI/Lumada
- ビッグデータ
- データ分析
- サイバーセキュリティ
- RPA
- クラウド/サーバ仮想化
- ITサービスマネジメント
- システム基盤
- IT基本
- オープンソースソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- ハードウェア
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画
- システム開発
- 要件定義/設計
- モデリング
- プログラミング
- 情報処理技術者試験対策
- ITリテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル

● ネゴシエーションスキルを高めたい方



HSJ185 グループ演習
 行動経済学を応用したパース
 エイション(説得)のスキル
 -ハード交渉術を越えて-

● ビジュアルデザインの基本スキルを身につけたい方



HSE708 eラーニング
 【ナビ機能付き】
 グラフィックトレーニング
 -思考を図解で強化する-

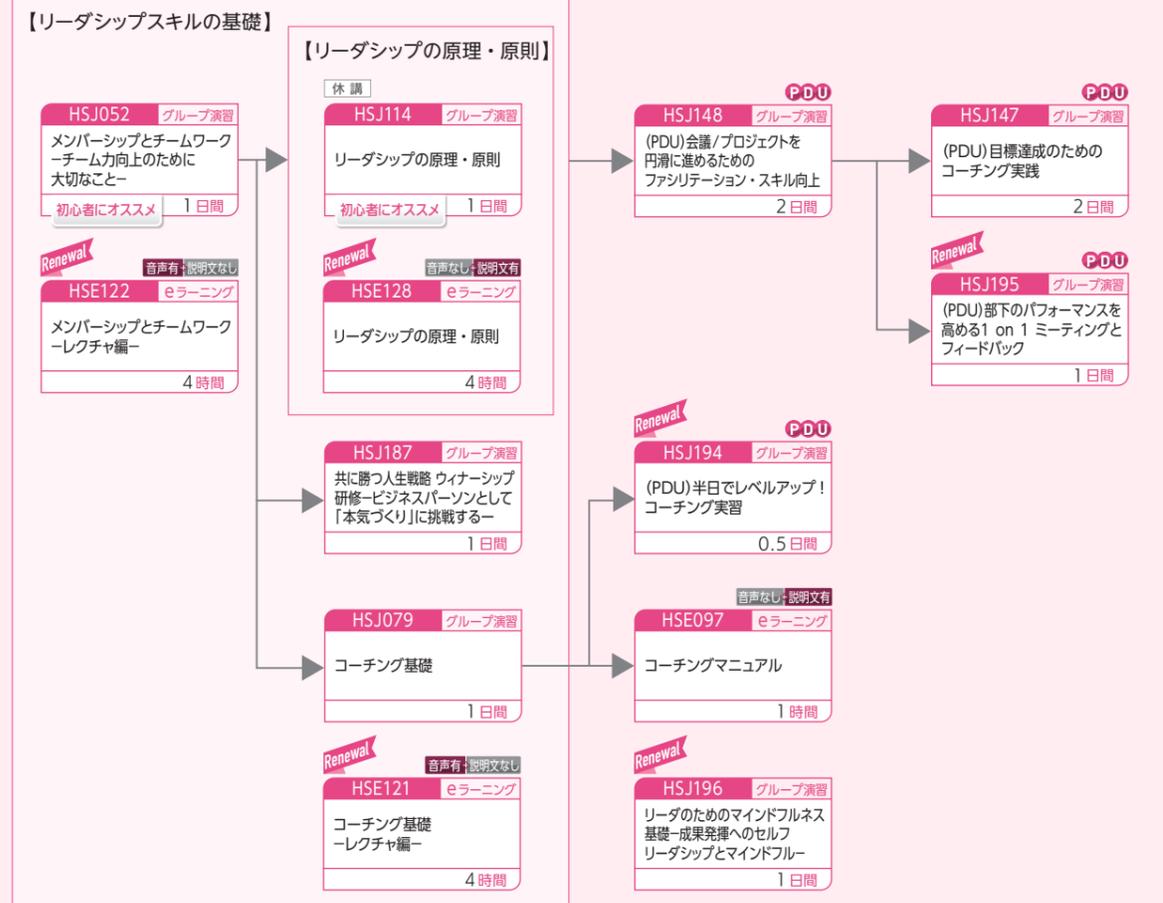
※1: 必須知識をeラーニングで学習したうえで集合研修で演習に取り組むため、eラーニングと集合研修両方のご受講を推奨します。集合研修は事前課題に取り組むことが前提となります。

- 音声有・説明文有: 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし: 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有: 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

● リーダシップ能力を向上し、チームをマネジメントしたい方



● 事業、マーケティング戦略、セールスを学びたい方

※2

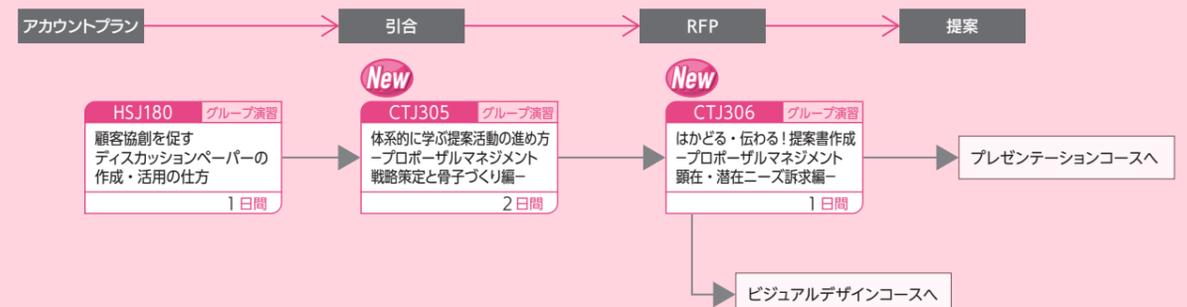
HSE107 eラーニング (PDU)
 (PDU)知っておくべき
 ビジネスモデルの基本
 -顧客のビジネスをより理解するために-

HSJ181 グループ演習 (PDU)
 (PDU)ソリューション提案の
 ための経営と情報戦略-経営・
 事業・情報戦略のあるべき関係性-

HSJ182 グループ演習 (PDU)
 (PDU)ITビジネスにおける
 戦略の基本と最新動向
 -イノベーション実現のために-

※2: SBI大学院大学が提供する単科コースを一部カスタマイズしてご提供します。

《フロント営業活動のプロセスに添った学習フロー》



休講 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

● アカウンティングに関するスキルを高めたい方

<p>音声なし、説明文有 eラーニング</p> <p>HSE709</p> <p>【ナビ機能付き】 WHYで学ぶアカウンティング (基礎知識編)</p> <p>初心者におすすめ 8時間</p>	<p>音声なし、説明文有 eラーニング</p> <p>HSE710</p> <p>【ナビ機能付き】 業務に活かす簿記入門</p> <p>初心者におすすめ 8時間</p>	<p>音声なし、説明文有 PDU eラーニング</p> <p>HSE705</p> <p>【ナビ機能付き】 (PDU)財務諸表の基礎知識</p> <p>初心者におすすめ 4時間</p>
---	---	--

● 中国古典を通して経営人間学を学びたい方

<p>音声有、説明文なし PDU ※2 eラーニング</p> <p>HSE115</p> <p>(PDU) 中国古典に見る 指導者の条件</p> <p>10時間</p>	<p>音声有、説明文なし PDU ※2 eラーニング</p> <p>HSE113</p> <p>(PDU) 「貞観政要」に学ぶ リーダーの心得</p> <p>10時間</p>	<p>音声有、説明文なし PDU ※2 eラーニング</p> <p>HSE114</p> <p>(PDU) 「書経」に学ぶリーダーの心得</p> <p>10時間</p>	<p>音声有、説明文なし PDU ※2 eラーニング</p> <p>HSE112</p> <p>(PDU) 「韓非子」のリーダー学</p> <p>10時間</p>
<p>音声有、説明文なし ※2 eラーニング</p> <p>HSE109</p> <p>(PDU) 経世済民の哲学としての 朱子学</p> <p>10時間</p>	<p>音声有、説明文なし PDU ※2 eラーニング</p> <p>HSE111</p> <p>(PDU) 孫子の兵法を 現代に役立てる方法</p> <p>10時間</p>	<p>音声有、説明文なし PDU ※2 eラーニング</p> <p>HSE110</p> <p>(PDU) リーダーに必要な人間力 三国志から学ぶリーダー学</p> <p>10時間</p>	

※2：SBI大学院大学が提供する単科コースを一部カスタマイズしてご提供します。

● ビジネス教養を身につけたい方

<p>音声有、説明文なし PDU ※2 eラーニング</p> <p>HSE118</p> <p>(PDU)よくわかるビジネス・ミクロ 経済 1-経済学の思考、費用分析、 市場経済、ゲーム理論-</p> <p>6時間</p>	<p>音声有、説明文なし PDU ※2 eラーニング</p> <p>HSE098</p> <p>(PDU)よくわかるビジネス・ミクロ 経済 2-不完全な情報、期待効用、 行動経済学-</p> <p>4時間</p>		
<p>音声有、説明文なし PDU ※2 eラーニング</p> <p>HSE099</p> <p>(PDU)よくわかるマクロ経済 1 -効率性と公平性、アダムスミス とケインズ-</p> <p>4時間</p>	<p>音声有、説明文なし PDU ※2 eラーニング</p> <p>HSE100</p> <p>(PDU)よくわかるマクロ経済 2 -GDP、為替、財政-</p> <p>6時間</p>	<p>音声有、説明文なし PDU ※2 eラーニング</p> <p>HSE101</p> <p>(PDU)よくわかるマクロ経済 3 -金融政策、ハイエク、フリードマン、 シュンペーター-</p> <p>4時間</p>	<p>音声有、説明文なし PDU eラーニング</p> <p>HSE102</p> <p>(PDU)よくわかるマクロ経済 4 2-景気循環、経済成長、格差社会 と少子高齢化-</p> <p>6時間</p>
<p>音声有、説明文なし PDU ※2 eラーニング</p> <p>HSE103</p> <p>(PDU)よくわかるファイナンス 1 -投資の判断、リスクとリターン-</p> <p>4時間</p>	<p>音声有、説明文なし PDU ※2 eラーニング</p> <p>HSE104</p> <p>(PDU)よくわかるファイナンス 2 -企業価値評価-</p> <p>4時間</p>	<p>音声有、説明文なし PDU ※2 eラーニング</p> <p>HSE105</p> <p>(PDU)よくわかるファイナンス 3 -資金調達の方法-</p> <p>6時間</p>	<p>音声有、説明文なし PDU eラーニング</p> <p>HSE106</p> <p>(PDU)よくわかるファイナンス 4 2-M&A、コーポレートガバナンス、 財務計画-</p> <p>6時間</p>
<p>音声有、説明文なし PDU ※2 eラーニング</p> <p>GBE023</p> <p>(PDU)中国ビジネスの鉄則</p> <p>10時間</p>	<p>音声有、説明文なし PDU ※2 eラーニング</p> <p>GBE024</p> <p>(PDU)インドビジネスの鉄則</p> <p>10時間</p>		

※2：SBI大学院大学が提供する単科コースを一部カスタマイズしてご提供します。

音声有、説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有、説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし、説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

● 英語力を高めたい方

<p>休講 音声有、説明文なし eラーニング</p> <p>HSE006</p> <p>TOEIC® TEST 完全達成 470</p> <p>初心者におすすめ 40時間</p>	<p>休講 音声有、説明文なし eラーニング</p> <p>HSE007</p> <p>TOEIC® TEST 完全達成 650</p> <p>40時間</p>	<p>休講 音声有、説明文なし eラーニング</p> <p>HSE008</p> <p>TOEIC® TEST 完全達成 730</p> <p>40時間</p>
--	---	---

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
インベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

HSJ116	思考法
<div><div><div><div><div></div><div>グループ演習</div></div></div><div><div><div></div><div>2日間</div></div></div></div></div>	ロジカルシンキング基礎 —論理の可視化と論理チェックのポイント—
	問題を解決する際や、相手の納得を得られるために伝える際に必要となる、論理的思考の標準的なプロセスと構成を学習します。日々の業務での出来事・経験と自己の成長と結び付けながら思考技術を学習します。
到達目標	・論理展開の基本が理解できる。 ・前提から結論までの論理のつなぎかたを理解できる。 ・事実としての正しさを考える論理的問題解決のプロセスを理解できる。 ・本当にそれは問題か、本当にそれは真の原因か、本当にそれは最もよい解決策か、本当にその解決策は実行して成果を生むかをクリティカルマインドを持って確認できる。
対象者	問題解決の標準的な進め方を身につけたい方、うまく相手に伝えられないと感じている方、仕事のやり方を概念的に見つめ直したい方。
前提知識	特に必要としません。
内容	1. オリエンテーション 2. 論理的思考の基礎知識 <p>(1) 意味論と構文論 (2) 論点と切り口</p> <p>(3) 問題解決のプロセス (4) 仮説検証サイクル</p> <p>(5) 挙げる (拡散思考) / 絞る (収束思考) / 確かめる (事実による検証)</p> <p>(6) クリティカルマインドでの問題解決</p> <p>3. 構文論の基本</p> <p>(1) 演繹法のポイント</p> <p>(2) 帰納法のポイント</p> <p>4. 構文論力の向上方法</p> <p>(1) ピラミッドストラクチャによる論理構成の可視化</p> <p>(2) 「なぜそう言えるの?」と「だから何が言えるの?」</p> <p>(3) 「なぜ大事な論点が漏れていないと言えるの?」</p> <p>(4) 「話の筋が通っているかどうか?」</p> <p>5. 意味論力向上の方法</p> <p>(1) 選択肢を挙げる / 絞り込む手法</p> <p>(2) 問題解決のプロセスへの論理思考の適用</p> <p>6. そして実務へ</p>
備考	・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・このコースは、「ロジカルシンキング基礎」コースの内容改訂および名称を変更したものです。

HSE036	思考法
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>4時間</div></div></div></div></div>	<eラーニング>QFD (品質機能展開) で学ぶマトリクス表の上手な使い方 —マトリクス表を使って「決める」を考える—
	QFD (品質機能展開) の手法を学習します。
到達目標	QFD (品質機能展開) の概要を説明できる。
対象者	「決める」プロセスを知りたい方、QFDに興味のある方。特に必要としません。
内容	1. QFDの基礎知識 <p>(1) QFDとは何か?</p> <p>(2) QFDはどう役立つのか?</p> <p>(3) QFDはどう進めるのか?</p> <p>(4) 品質って何?</p> <p>2. 要求分析の手順とポイント</p> <p>(1) 要求品質の抽出</p> <p>(2) 品質企画の設定</p> <p>(3) 品質特性の抽出</p> <p>(4) 要求品質と品質特性の関連付け</p> <p>(5) 品質設計の設定</p> <p>3. 考える手順の応用</p> <p>(1) どんな横軸・縦軸が考えられるか?</p> <p>(2) 決めたいことは何があるか?</p>
備考	・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

HSE126	思考法
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>8時間</div></div></div></div></div>	<eラーニング> ロジカルシンキング基礎 —論理の可視化と論理チェックのポイント—
	問題を解決する際や、相手の納得を得られるために伝える際に必要となる、論理的思考の標準的なプロセスと構成を学習します。日々の業務での出来事・経験と自己の成長と結び付けながら思考技術を学習します。
到達目標	・論理展開の基本が理解できる。 ・前提から結論までの論理のつなぎかたを理解できる。 ・事実としての正しさを考える論理的問題解決のプロセスを理解できる。 ・問題解決の標準的な進め方を身につけたい方。 ・うまく相手に伝えられないと感じている方。 ・仕事のやり方を概念的に見つめ直したい方。
対象者	・問題解決の標準的な進め方を身につけたい方。 ・うまく相手に伝えられないと感じている方。 ・仕事のやり方を概念的に見つめ直したい方。
前提知識	特に必要としません。
内容	1. 論理的思考の基礎知識 <p>(1) 意味論と構文論</p> <p>(2) 論点と切り口</p> <p>(3) 問題解決のプロセス</p> <p>(4) 仮説検証サイクル</p> <p>(5) 挙げる (拡散思考) / 絞る (収束思考) / 確かめる (事実による検証)</p> <p>2. 構文論の基本</p> <p>(1) 演繹法のポイント</p> <p>(2) 帰納法のポイント</p> <p>3. 構文論力の向上方法</p> <p>(1) ピラミッドストラクチャによる論理構成の可視化</p> <p>(2) 「なぜそう言えるの?」と「だから何が言えるの?」</p> <p>(3) 「なぜ大事な論点が漏れていないと言えるの?」</p> <p>(4) 「話の筋が通っているかどうか?」</p> <p>4. 意味論力向上の方法</p> <p>(1) 選択肢を挙げる / 絞り込む手法</p> <p>(2) 問題解決のプロセスへの論理思考の適用</p>
備考	・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

HSE037	思考法
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>4時間</div></div></div></div></div>	<eラーニング> TRIZで学ぶ発想のパターン —科学的な強制発想法—
	TRIZの手法を学習します。
到達目標	TRIZの概要を説明できる。
対象者	「発想する」プロセスを知りたい方、TRIZに興味のある方。特に必要としません。
内容	1. TRIZの基礎知識 <p>(1) TRIZとは何か?</p> <p>(2) TRIZはどう役立つのか?</p> <p>(3) TRIZはどう進めるのか?</p> <p>(4) 品質を定義する</p> <p>(1) 何を良くしたいのか?</p> <p>(2) 誰の究極の理想解なのか?</p> <p>(3) 何が妨げになるのか?</p> <p>3. 解決策を考える</p> <p>(1) 40の発明原理</p> <p>(2) 矛盾解決マトリクス (48の「ラメラ」)</p>
備考	・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

HSE066	思考法
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>4時間</div></div></div></div></div>	<eラーニング> 思考技法の概要
	これまで以上に業務における「思考」のウェイトが増えています。このような状況に対応するため、古今東西のあらゆる思考技法を、発想と情報整理の技法を中心に広く深く学習します。
到達目標	業務における思考の重要性を理解し、思考に時間を割く意欲が持てる。 ・各思考法の特長とそれぞれの適用シーンを理解できる。 ・自己業務で有効な思考法を特定し、その技法の修得計画を立案できる。
対象者	思考法についてこれから学習をはじめめる方、アイデア出しや情報を整理する必要があり、その手法を知りたい方。
前提知識	特に必要としません。
内容	1. 発散技法 <p>(1) ブレインストーミング</p> <p>(2) ブレインライティング ほか多数</p> <p>2. 収束技法</p> <p>(1) KJ法</p> <p>(2) 特性要因図 ほか多数</p> <p>3. 統合技法</p> <p>(1) ケプナートリゴーチ</p> <p>(2) TOC思考プロセス</p> <p>(3) バランススコアカード</p> <p>(4) ロジックツリー ほか多数</p> <p>4. 態度技法</p> <p>5. 修了試験</p>
備考	・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

HSE302	思考法
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>4時間</div></div></div></div></div>	<eラーニング> [スキル定着] 相手を納得させる論理構成力を磨く
	ロジックツリーやピラミッドストラクチャを何度も作って練習します。例えば、相手を納得させなければならぬ企画、提案の状況ケースとして設定し、その中で相手を納得させる論理構成をピラミッドストラクチャで作ります。
到達目標	ロジックツリーやピラミッドストラクチャに対して自分なりの活用シーン、活用の型をイメージできるようにする。
対象者	営業・ITエンジニア(若手・中堅)の方。ロジカルシンキング基礎を学び、ロジックツリーやピラミッドストラクチャを理解したが、練習の機会が研修だけで実務に適用するには不安のある方。もっとさまざまな問題を解いて活用慣れたい方。
前提知識	「ロジカルシンキング基礎—論理の可視化と論理チェックのポイント—」コースを修了しているか、または同等の知識(ロジックツリーやピラミッドストラクチャの理解)があること。
内容	1. 論拠をつなげて主張をおとす 2. 論拠を事実で支える 3. 結論を支える枠組みを考える 4. 結論を納得させるうえで何が言えればよいかを考える 5. 何が言えればよいか、を構造的に整理する
備考	・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

HSE070	ライティング
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>8時間</div></div></div></div></div>	<eラーニング> 文書作成力向上トレーニング
	読み手に正しく理解していただくためのビジネス文書の書き方のポイントを学習します。
到達目標	読み手を意識した分かりやすい文章を作成するためのポイントを説明できる。
対象者	分かりやすい文書作成のための構造を理解したい方。
前提知識	特に必要としません。
内容	1. ビジネス文書に求められること <p>(1) 求められる文書作成スキル</p> <p>(2) 読み手を意識した文書 (3) ビジネス文書の目的</p> <p>2. 読み手を意識した文書作成のポイント</p> <p>(1) 分かりやすい文書 (2) 簡潔な文書</p> <p>(3) 正しい文書</p> <p>(4) 読み手を意識した文書構造</p> <p>(5) 文書の要約</p> <p>3. 文書作成サイクル</p> <p>(1) 文書作成サイクル (2) 文書作成の準備</p> <p>(2) 文書の作成</p> <p>4. ビジネスメールの書き方</p> <p>(1) メール文の書き方 (2) メールのマナー</p> <p>5. 社内・社外文書の書き方</p> <p>(1) 社内・社外文書の基本構造</p> <p>(2) 社内文言と社外文言の違い</p> <p>(3) 社外文書の書き方 (4) 社外文書の書き方</p> <p>6. 修了試験</p>
備考	・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、「eラーニング×集合研修」の推奨コースです。 ・集合研修「文書作成力向上トレーニング(演習編)」コース(HSJ161)とあわせてのご受講を推奨します。 eラーニングで基礎知識を学習しながら、後続の集合研修の事前課題に取り組むための知識を修得します。 ・詳細につきましては、「eラーニング×集合研修」推奨コース学習要領をご覧ください。 https://www.hitachi-ac.co.jp//koushukai/BlendingLearning/index.html ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

HSJ160	ライティング
<div><div><div><div><div></div><div>グループ演習</div></div></div><div><div><div></div><div>1日間</div></div></div></div></div>	ロジカルライティング (演習編)
	「ロジカルライティング (基礎知識編)」eラーニングコースで学んだ論理構造化の手法を使って論理的な文書作成法を学びます。読み手が理解しやすい文書作成のスキルを実習を通して身につけます。
到達目標	ビジネス文書の基本とロジカルライティングの重要性を理解し、ライティング実習を通して、論理的な文書を作成できる。分かりやすい文書作成のための構造を理解したい方。
対象者	「ロジカルライティング (基礎知識編)」eラーニングコースを修了し、論理的思考に基づきピラミッドストラクチャを作成できること、または同等の知識があること。
前提知識	・事前課題にあるピラミッドストラクチャの作成ならびに提出ができていくこと。
内容	1. イントロダクション 2. ロジカルライティングとは 3. メッセージの論理構造化(振り返り) 4. 論理の文章化とビジュアル化(振り返り) 5. 分かりやすい文章の基本ルール <p>(1) 【演習2】提案書の作成</p> <p>(2) 【演習3】文書の相互添削</p> <p>(3) 【演習4】添削結果のブラッシュアップ</p> <p>6. まとめ</p>
備考	・このコースは、9:00～17:30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、「eラーニング×集合研修」の推奨コースです。 ・「ロジカルライティング (基礎知識編)」eラーニングコース(HSE064)とあわせてのご受講を推奨します。 ・このコースでは、事前課題にお取り組みいただけます。 ・詳細につきましては、「eラーニング×集合研修」推奨コース学習要領をご覧ください。当社サイトより ファイルをダウンロードいただき、課題にお取り組みください。 https://www.hitachi-ac.co.jp//koushukai/BlendingLearning/index.html ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・当日は、鉛筆もしくはシャープペン、消しゴムをご持参ください。

休 講	休 講
	今期の定期開催はありません

HSJ161	ライティング
<div><div><div><div><div></div><div>グループ演習</div></div></div><div><div><div></div><div>1日間</div></div></div></div></div>	文書作成力向上トレーニング (演習編)
	「文書作成力向上トレーニング」eラーニングコースで学んだ文書の基本をもとに、演習を通して、ビジネス文書の作成ポイントを学習します。
到達目標	「文書作成力向上トレーニング」eラーニングコースで学んだ文書の基本をもとに、演習を通して、ビジネス文書の作成ポイントを学習します。
対象者	「文書作成力向上トレーニング」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
前提知識	「ロジカルシンキング基礎—論理の可視化と論理チェックのポイント—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. ビジネス文書とは 2. 文書作成サイクル <p>(1) 文書作成サイクル</p> <p>(2) 文書作成前の準備</p> <p>(3) 文書の作成</p> <p>(4) 文書のレビュー</p> <p>3. ビジネスシーンに応じた文書の書き方</p> <p>(1) メールの書き方(社外/社内)</p> <p>(2) 議事録の書き方</p> <p>(3) 報告書の書き方</p>
備考	・このコースは、9:00～17:30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、「eラーニング×集合研修」の推奨コースです。 ・「文書作成力向上トレーニング」eラーニングコース(HSE070)とあわせてのご受講を推奨します。 ・このコースでは、事前課題にお取り組みいただけます。当社サイトより ファイルをダウンロードいただき、課題にお取り組みください。 ・詳細につきましては、「eラーニング×集合研修」推奨コース学習要領をご覧ください。 https://www.hitachi-ac.co.jp//koushukai/BlendingLearning/index.html ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・当日は、赤ボールペン、鉛筆もしくはシャープペン、消しゴムをご持参ください。

HSE064	ライティング
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>6時間</div></div></div></div></div>	<eラーニング> ロジカルライティング (基礎知識編)
	ロジカルシンキングの基礎コースで学んだ論理構造化の手法を使って、論理的な文書作成法を学習します。読み手が理解しやすい文書作成のスキルを、演習を通して身につけます。
到達目標	ビジネス文書の基本とロジカルライティングの重要性を理解し、論理的な文書作成に必要な知識を得られる。
対象者	分かりやすい文書作成のための構造を理解したい方。
前提知識	「ロジカルシンキング基礎—論理の可視化と論理チェックのポイント—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. イントロダクション <p>(1) 研修の目的 (2) 文書が分かりにくい人の共通点</p> <p>(3) ITエンジニアにとって文書作成は必須スキル</p> <p>(4) 分かりにくい文章の特徴</p> <p>(5) 文章の目的と読み手に期待する行動 (6) 誰に伝えるのか</p> <p>2. ロジカルライティングとは</p> <p>(1) ロジカルライティングの目的</p> <p>(2) ロジカルライティングに必要なマインド</p> <p>(3) ロジカルライティングに向けて</p> <p>3. メッセージの論理構造化</p> <p>(1) 考える前にやること (2) テーマに対する「問い」の把握</p> <p>(3) 「問い」に対する答えを決める</p> <p>(4) 結論・主張に対する根拠を示す</p> <p>(5) ストラクチャの要約文は明確であること</p> <p>(6) ロジックの展開を考える【演習】</p> <p>(7) 「ロジックの展開を考える」演練法</p> <p>(8) 帰納法と演練法(まとめ)</p> <p>4. 論理の文章化とビジュアル化</p> <p>(1) 論理の文章化 (2) メッセージ構造をそのまま文書へ</p> <p>(3) 文書全体のレイアウト (4) 文章化のポイント</p> <p>(5) 文章のビジュアル化</p> <p>(6) レイアウト(ビジュアル)のチェックポイント</p> <p>5. 分かりやすさのための基本ルール</p> <p>(1) 分かりやすさのための基本ルール</p> <p>(2) 前後関係を明確にする</p> <p>(3) 文章のチェックポイント</p> <p>6. まとめ</p>
備考	・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、「eラーニング×集合研修」の推奨コースです。 ・集合研修「ロジカルライティング(演習編)」コース(HSJ160)とあわせてのご受講を推奨します。eラーニングで基礎知識を学習しながら、後続の集合研修を取り組む事前課題を作成します。 ・詳細につきましては、「eラーニング×集合研修」推奨コース学習要領をご覧ください。 https://www.hitachi-ac.co.jp//koushukai/BlendingLearning/index.html ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

HSJ153	ライティング
<div><div><div><div><div></div><div>グループ演習</div></div></div><div><div><div></div><div>1日間</div></div></div></div></div>	リーダー向け「文書添削と指導法」
	技術文書の指導には、部下の文書の悪い点を論理的に指摘し、改善案を提示する必要があります。指導者自身の持つ文書技術を体系的に整理し、指導できるための知識と技術について学習します。
到達目標	・文書の役割と作成法の考え方について説明できる。 ・文書目的に応じた評価方法を体系的に説明できる。 ・文書添削のポイントを修得し、適切な文書添削ができる。
対象者	業務経験5年以上で、文書の作成方法を指導・添削する立場にあるリーダーの方。
前提知識	日本語文書を業務で日常的に作成していること。
内容	1. 文書作成技法の振り返り <p>(1) 文書の役割と文書作成法の考え方</p> <p>(2) 文書作成手順・技法</p> <p>2. 文書添削と指導法</p> <p>(1) 文書力向上のための要件</p> <p>(2) 提案書の添削と指導ポイント</p> <p>(3) 報告文書の添削と指導ポイント</p> <p>(4) 論文添削と指導ポイント</p>
備考	・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、「eラーニング×集合研修」の推奨コースです。 ・「ロジカルライティング (基礎知識編)」eラーニングコース(HSE064)とあわせてのご受講を推奨します。 ・このコースでは、事前課題にお取り組みいただけます。 ・詳細につきましては、「eラーニング×集合研修」推奨コース学習要領をご覧ください。当社サイトより ファイルをダウンロードいただき、課題にお取り組みください。 https://www.hitachi-ac.co.jp//koushukai/BlendingLearning/index.html ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

HSJ154	プレゼンテーション
<div><div><div><div><div></div><div>グループ演習</div></div></div><div><div><div></div><div>2日間</div></div></div></div></div>	ロジカルプレゼンテーション基礎
	プレゼンテーションに必要な4種のスキル(ストラクチャリング、ストーリーデザイン、ビジュアルライゼーション、デリバリー)のポイントと準備のプロセスを学習します。なかでも、このコースはストーリーデザインを重視したコースです。紙芝居はなぜ特別な準備をしなくても、能力を有さなくても相手を引き込めるのでしょうか。それは裏面にストーリーデザインがしっかりと準備されているからに他なりません。演習では、紙芝居の裏面をめざしたストーリーデザインの作り込み方をワークショップを用いて学習します。また、デリバリーについては、発表練習をビデオ撮影し、その再生を通して改善点・改善方法を具体的に学習します。
到達目標	・プレゼンテーションの基本概念を理解できる。 ・プレゼンテーションに不可欠な4種のスキルのポイントを理解できる。 ・プレゼンテーション準備のプロセスを理解できる。
対象者	プレゼンテーション能力を高めたい方。例えば、社内の業務・学習成果の報告会を控えている、社内の改善提案・企画のプレゼンテーションを控えている、プレゼンテーションの学習を通して相手に分かりやすく伝え、早く納得を得るスキルを磨きたい方。
前提知識	「ロジカルシンキング基礎—論理の可視化と論理チェックのポイント—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. プレゼンテーションの基礎知識 <p>(1) ビジネスプレゼンテーションの目的は何か?</p> <p>(2) 納得に必要な3要素(相手の問いを定義する、問いにダイレクトな答えを提示する、答えの納得に定着の筋と事実を示す)</p> <p>(3) プレゼンテーション準備のプロセス(相手・相手の状況、問いの分析と定義、論理構成、ストーリーの作成、資料作成、リハーサル)</p> <p>(4) プレゼンテーションに必要な4種のスキル(ストラクチャリング、ストーリーデザイン、ビジュアルライゼーション、デリバリー)</p> <p>2. 定義分析フェーズのポイント</p> <p>(1) 相手が誰で、どんな状況下におり、何を望んでいるのか?</p> <p>(2) 自分達はプレゼンテーションによって何をしたいのか?</p> <p>3. 論理構成のポイント</p> <p>(1) どうすれば論理構成を可視化できるのか?</p> <p>(2) どうすれば論理構成を的確にチェックできるのか?</p> <p>4. ストーリーを作るポイント</p> <p>(1) どうすれば相手を聞く気にさせられるのか?</p> <p>(2) どうすれば分かりやすい流れになるのか?</p> <p>(3) どのすれば行動する気にさせられるのか?</p> <p>(4) どのようにストーリー計画を可視化するのか?</p> <p>5. 資料作成のポイント</p> <p>(1) どうすれば整理整頓できるのか?</p> <p>(2) 図表はどうやって決めるのか?</p> <p>6. プレゼンターの振る舞いのポイント</p> <p>(1) どうすれば相手の目に訴えられるのか?</p> <p>(2) どうすれば相手の耳に訴えられるのか?</p>
備考	・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・プレゼンテーションの一連の準備プロセスが学習の中心です。論理構成について深く学びたい方は「ロジカルシンキング基礎—論理の可視化と論理チェックのポイント—」コースを、資料作成について深く学びたい方は「ビジュアルデザイン」コース群をご受講いただくことをお勧めいたします。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advance Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
インベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Iumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

HSE127	プレゼンテーション
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>8時間</div></div></div></div></div>	<div><div><div><div><div></div><div><eラーニング>ロジカルプレゼンテーション基礎ーレクチャ編ー</div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div></div></div>

＜eラーニング＞ロジカルプレゼンテーション基礎ーレクチャ編ー

HSJ155	プレゼンテーション
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>0.5日間</div></div></div></div></div>	<div><div><div><div><div></div><div>プレゼンを生き生きさせるビジュアル化技法ー相手を惹きつけるための資料作成ー</div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div></div></div>

HSE708	プレゼンテーション
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>2時間</div></div></div></div></div>	<div><div><div><div><div></div><div><eラーニング>【ナビ機能付き】グラフィカルトレーニングー思考を図解で強化するー</div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div></div></div>

HSE301	プレゼンテーション
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>4時間</div></div></div></div></div>	<div><div><div><div><div></div><div><eラーニング>【スキル定着】ビジュアルデザイン</div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div></div></div>

HSE701	プレゼンテーション
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>4時間</div></div></div></div></div>	<div><div><div><div><div></div><div><eラーニング>【ナビ機能付き】ビジュアル化技法の基本ー魅力的なビジュアル資料を作るー</div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div></div></div>

HSE072	意思決定
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>4時間</div></div></div></div></div>	<div><div><div><div><div></div><div><eラーニング>意思決定のスキルー合理と心理を理解したうえで意思決定ー</div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div></div></div>

HSJ137	意思決定
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>1日間</div></div></div></div></div>	<div><div><div><div><div></div><div>意思決定のスキルⅡーデジジョンマネジメントを実践するためにー</div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div></div></div>

HSE711	交渉
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>4時間</div></div></div></div></div>	<div><div><div><div><div></div><div><eラーニング>【ナビ機能付き】協創を生みだす交渉（基礎知識編）</div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div></div></div>

HSJ145	交渉
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>1日間</div></div></div></div></div>	<div><div><div><div><div></div><div>協創を生みだす交渉（基礎演習編）</div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div></div></div>

HSJ146	交渉
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>1.5日間</div></div></div></div></div>	<div><div><div><div><div></div><div>協創を生みだす交渉（実践演習編）</div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div></div></div>

HSJ185	交渉
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>1日間</div></div></div></div></div>	<div><div><div><div><div></div><div>行動経済学を応用したパースエイション（説得）のスキルーハーバード流交渉術を越えてー</div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div></div></div>

HSE049	コミュニケーション
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>8時間</div></div></div></div></div>	<div><div><div><div><div></div><div><eラーニング>ビジネススキル基礎</div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div></div></div>

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
</

HSJ126	コミュニケーション
	報連相のための ビジネスコミュニケーション基礎
1日間	
<p>社会人として身につけたい報連相（報告・連絡・相談）の重要性を、グループによる論議やロールプレイを行うことで学習します。</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な伝え方に必要なスキルを高められる。 ・報連相の重要なポイントをふまえ、質の高いアウトプットで仕事ができる。
対象者	新入社員、または若手社員の方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 報連相の基本ポイント <ol style="list-style-type: none"> (1) なぜ報連相が必要なのかーPDCAサイクル (2) 報連相とは (3) 仕事における報連相のサイクル (4) 報告 (5) 連絡 (6) 相談 2. コミュニケーションの基本とポイント <ol style="list-style-type: none"> (1) コミュニケーションとは何か (2) コミュニケーションの手段 (3) 職場で求められるコミュニケーション能力 (4) 仕事に対する基本姿勢 (5) 言語と非言語コミュニケーション 3. 話し方 <ol style="list-style-type: none"> (1) ONEWAYでなくTWOWAYを心がける (2) 話し方のポイント (3) 話す技術 4. 聴き方 <ol style="list-style-type: none"> (1) 聴き方のポイント (2) 聴く技術 (3) 良い聴き手となるために (4) 質問
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

HSE123	コミュニケーション
	<eラーニング>報連相のための ビジネスコミュニケーション基礎 ーレクチャ編ー
4時間	
<p>社会人として身につけたい報連相（報告・連絡・相談）の重要性を理解します。このコースは演習を含みません。演習を通して理解を深めたい方は、集合研修「報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎」コースの受講をお薦めします。</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な伝え方に必要なスキルを高められる。 ・報連相の重要なポイントをふまえ、質の高いアウトプットで仕事ができる。
対象者	新入社員、または若手社員の方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 報連相の基本ポイント <ol style="list-style-type: none"> (1) なぜ報連相が必要なのか -PDCAサイクル (2) 報連相とは (3) 仕事における報連相のサイクル (4) 報告 (5) 連絡 (6) 相談 2. コミュニケーションの基本とポイント <ol style="list-style-type: none"> (1) コミュニケーションとは何か (2) コミュニケーションの手段 (3) 職場で求められるコミュニケーション能力 (4) 仕事に対する基本姿勢 (5) 言語と非言語コミュニケーション 3. 話し方 <ol style="list-style-type: none"> (1) ONEWAYでなくTWOWAYを心がける (2) 話し方のポイント (3) 話す技術 4. 聴き方 <ol style="list-style-type: none"> (1) 聴き方のポイント (2) 聴く技術 (3) 良い聴き手となるために (4) 質問
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必須です。） ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

HSJ127	コミュニケーション
	情報を整理して伝える コミュニケーション技法 ーロゴス・パトス・エトスを高めるー
2日間	
<p>論理的なコミュニケーションをとるための手法を、演習を通して学習します。</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい情報を論理的に整理することができる。 ・状況や相手に合わせたコミュニケーションがとれる。
対象者	コミュニケーション力を高めたい方。
前提知識	「ロジカルシンキング基礎ー論理の可視化と論理チェックのポイントー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ロジカルコミュニケーションの必要性 2. 情報の分析・整理法 3. 分かりやすく伝えるために 4. ロジカルコミュニケーションには根拠・感情・信頼が大切 5. ロジックだけでは人を動かせない 6. 積極的傾聴 7. 総合演習
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

HSE117	コミュニケーション
	<eラーニング> (PDU) リーダ向け報連相 PDU
4時間	
<p>職場における報連相（報告、連絡、相談）の指導ポイントを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：4ポイント）の取得が可能です。</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・報連相のポイントが指導できる。 ・報連相を受けるポイントが説明できる。
対象者	部下または新規配属者などを指導する立場の方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職場における報連相の問題点 2. 仕事のサイクルと報連相の関係 3. 報告の受け方 4. 連絡の受け方 5. 相談の受け方 6. 報連相指導のポイント 7. 職場での情報共有を進めるためには
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・PMI®、PMP®、<i>PMBOK®ガイド</i>、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

HSJ174	コミュニケーション
	(PDU) ストラクチャード・コミュニケーション 一会議を空中戦にせず、図で共有する・ 伝える・理解するー PDU
1日間	
<p>このコースでは、限られた時間の中で、できるだけ有効な情報を引き出し、整理し、考えを伝えることが求められる方が、相手とのコミュニケーションにおいて、情報を構造化し図で表現するために必要な知識を学びます。基本となる図解パターンを元に、考えを伝える演習や、聞く演習、また考えをまとめる演習を通して、相手の課題を解決するための図解スキルを修得します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：7ポイント）の取得が可能です。</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の伝えたい情報を構造化し図に描きながら説明できる。 ・相手からヒヤリングした情報を構造化し図にまとめながら確認できる。 ・相手を巻き込み共に図を描きながら交渉を進められる。 ・相手とのやり取りを口頭だけで済ませず、イメージを明確に共有しつつコミュニケーションを進めたい方。 ・お客様をはじめ、社内関係者など業務上の関係者と交渉や調整をされる方。 ・部下・後輩（入社五年目まで）指導に当たられる方。
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・相手とのやり取りを口頭だけで済ませず、イメージを明確に共有しつつコミュニケーションを進めたい方。 ・お客様をはじめ、社内関係者など業務上の関係者と交渉や調整をされる方。 ・部下・後輩（入社五年目まで）指導に当たられる方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 図解で伝える <ol style="list-style-type: none"> (1) 代表的な情報の構造の基本パターン (2) 情報の構造の図解表現を知る演習 (3) 自分の伝えたいことを図解で説明する演習 3. 図解で聞く <ol style="list-style-type: none"> (1) 相手の発言を書き出す演習 4. 図解で考える <ol style="list-style-type: none"> (1) 相手の考えを図解でまとめる演習 (2) 図解しやすいように質問を構造化する演習 (3) 情報を構造化してから文章にまとめる演習 5. 振り返りとまとめ
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・このコースは、9:00～17:30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・PMI®、PMP®、<i>PMBOK®ガイド</i>、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

HSJ188	コミュニケーション
	わたしを活かすキャリアデザイン ー人生100年時代のキャリアを考えるー
1日間	
<p>自分のキャリアを棚卸して、自分にできること、将来やりたいことを明確にし、次のステップへ踏み出すためのヒントを学習します。</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のキャリアを振り返り、整理と分析ができる。 ・分析結果と自分の興味を併せて、本当は何をやりたいのかを明文化できる。
対象者	実務経験が3年以上の方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. キャリアデザインとは 2. キャリアデザインの理論と現実 3. 自分を知る <ol style="list-style-type: none"> (1) キャリアの棚卸 (2) 興味と経験 (3) グループワークによる共有と共感 4. キャリアビジョンの策定 <ol style="list-style-type: none"> (1) アクションプランの作成 (2) グループワークによる共有と共感 (3) 決意表明
備 考	このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。

HSJ124	コミュニケーション
	リスニング力を高めて コミュニケーションスキルアップ ー職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上ー
1日間	
<p>対話のスキルとして重要な2つの要素「傾聴」と「アサーション」のうち、「傾聴」を中心に学習します。</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・傾聴のポイントを説明できる。 ・自分の日頃の聴き方のクセを認識できる。 ・対話をスムーズにするための、自分の聴き方の改善点が分かる。
対象者	同僚や顧客との対話において自分の聴き方に問題を感じている方、現在の自分の聴き方で本当によいのか確認したい方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. リスニングとは 2. なぜ人の話を聞けないのか 3. 傾聴 4. 質問 5. リスニング演習 6. 批判を受け止める 7. 振り返り
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・「(PDU) アサーティブ・コミュニケーションー職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上ー」コースとあわせてのご受講を推奨します。

HSE124	コミュニケーション
	<eラーニング> リスニング力を高めてコミュニケーション スキルアップーレクチャ編ー
4時間	
<p>対話のスキルとして重要な2つの要素「傾聴」と「アサーション」のうち「傾聴」を中心に学習します。このコースは演習を含みません。演習を通して理解を深めたい方は、集合研修「リスニング力を高めてコミュニケーションスキルアップ」コースの受講をお薦めします。</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・傾聴のポイントを説明できる。 ・自分の日頃の聴き方のクセを認識できる。 ・対話をスムーズにするための、自分の聴き方の改善点が分かる。
対象者	同僚や顧客との対話において、自分の聴き方に問題を感じている方、現在の自分の聴き方で本当によいのか確認したい方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. リスニングとは 2. なぜ人の話を聞けないのか 3. 傾聴 4. 質問 5. リスニング演習 6. 批判を受け止める 7. 振り返り
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必須です。） ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

HSJ125	コミュニケーション
	(PDU) アサーティブ・コミュニケーション ー職場に活かせる建設的 コミュニケーションスキルの向上ー PDU
1日間	
<p>自己尊重のマインドに基づいて、自分の考えや気持ちを明快に伝えるアサーティブコミュニケーションを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：6.5ポイント）の取得が可能です。</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・アサーティブの考えを理解できる。 ・自己主張が対人関係に与える重要性を認識できる。 ・自分の日頃の伝え方・聞き方を認識できる。
対象者	新入社員、若手社員の方、チーム力を高めたい方。
前提知識	4年以上の業務経験があること。
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. アサーティブとは 2. なぜアサーティブになれないのか 3. それぞれの自己表現の特徴からみた考察 4. 考え方をアサーティブにする 5. なぜアサーティブを身につけるのか 6. アサーティブ行動になるために 7. アサーティブ演習 8. 振り返り
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・「リスニング力を高めてコミュニケーションスキルアップー職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上ー」コースとあわせてのご受講を推奨します。 ・PMI®、PMP®、<i>PMBOK®ガイド</i>、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

HSE125	コミュニケーション
	<eラーニング> アサーティブ・コミュニケーション ーレクチャ編ー
4時間	
<p>自己尊重のマインドに基づいて、自分の考えや気持ちを明快に伝えるアサーティブコミュニケーションを学習します。このコースは演習を含みません。演習を通して理解を深めたい方は、集合研修「アサーティブ・コミュニケーション」コースの受講をお薦めします。</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・アサーティブの考えを理解できる。 ・自己主張が対人関係に与える重要性を認識できる。 ・自分の日頃の伝え方・聞き方を認識できる。
対象者	コミュニケーション力を高めたい方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. アサーティブとは 2. なぜアサーティブになれないのか 3. それぞれの自己表現の特徴からみた考察 4. 考え方をアサーティブにする 5. なぜアサーティブを身につけるのか 6. アサーティブ行動になるために
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必須です。） ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

HSJ197	マネジメント/リーダーシップ
	自分を知り他者を知る コミュニケーションマネジメント ーDISCモデルによるー
2日間	
<p>さまざまな考え方やキャリアを持つ他者と、どうコミュニケーションをとればよいかが学習します。自己を知り、他者を推察し「違いは間違いではない」という考えのもと、具体的アプローチ方法を学習します。</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自己のタイプを認識し、他者のタイプの推察ができる。 ・他者を推察し、相手に合った対応ができる。 ・コミュニケーションにおけるPDCAサイクルを回すことができる。 ・チームに効果的なアプローチのアクションプランが作成できる。
対象者	自己の、そして職場のコミュニケーション改善をしたい方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「あの人が苦手な理由、好きな理由 2. フラストレーションはどこから生まれるか 3. 自分のタイプを読み解く 4. 自分以外のタイプを知る 5. モチベーションが上がる理由 6. 強みと弱みは表裏一体 7. 苦手な人とコミュニケーションを取るアクションプラン作成 8. 周りの空気は自分が作る 9. 本当の意味は多様性理解
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

HSJ052	マネジメント/リーダーシップ
	メンバーシップとチームワーク ーチーム力向上のために大切なことー
1日間	
<p>チームのメンバーとして求められる、情報共有・責任性・実行力などの基本的資質を学習します。さらにチーム力向上のために必要な要素を、体験演習で学習します。</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・組織の一員であるメンバーとしての行動基準を実践できる。 ・チーム力向上のための、重要な要素を説明できる。
対象者	新入社員、若手社員の方、チーム力を向上したいと考えている方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. メンバーシップの基本 <ol style="list-style-type: none"> (1) メンバーシップとは (2) フォロワーシップ (3) 仕事に取り組む姿勢 2. 情報共有 3. コミュニケーションの基本 <ol style="list-style-type: none"> (1) コミュニケーションの3V (2) 効果的なコミュニケーションのために (3) 報連相の基本 4. 仕事の基本（PDCAサイクル） 5. チームワーク <ol style="list-style-type: none"> (1) チームとは (2) 欲求とモチベーション (3) チームワークとは (4) チームビルディング 6. まとめ（振り返りとフィードバック）
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
インバケーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

HSJ187	マネジメント / リーダシップ
	共に勝つ人生戦略 ウィナーシップ研修 ービジネスパーソンとして「本気づくり」に挑戦するー
1日間	
	誰もが陥りがちなコンフォートゾーン(心地のよい自己領域)を自ら破り、関わる人達とさらさらと高度な人間関係を構築するために「本気力」で自己変革をめざすために学習します。
到達目標	・「本気による人との関わりあい」を認識することにより、しっかりとした「パートナーシップ」を身につけることができる。 ・自分の可能性に蓋をしているのは自分であることに気づき、今後の自分の職場人生における挑戦力をつけることができる。
対象者	「本気」で自己変革に挑戦したい方。
前提知識	特に必要としません。
内容	1. 自己理解と現状認識 2. 反省の原則 3. リーダシップの定義 4. 成果集団への実践項目 5. 3つの責任 6. 本気人間の生き方 7. 感謝の法則 8. リーダシップを超えるウィナーシップへ 9. ストロール 10. 他律と自律 11. 成果を創る8大機能 12. 意志の9段階 13. 職場の現状分析
備考	・このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

HSJ182	戦略・マーケティング
	(PDU) ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向 ーインバケーション実現のためにー PDU
1日間	
	ポジションングやリソースベストビュー等の事業・企業戦略論をしっかり和譲落ちして自らの事業に適用できるようになるまで理解します。またIT分野の企業が、旧来の実業分野に対して有力な競合として参入して行くケース等、ITビジネスとして戦略上踏まえておくべき最新動向を紹介します。IT分野におけるインバケーションやサービスビジネス創造のための実践的な知識の基盤となります。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：6.5ポイント)の取得が可能です。
到達目標	・事業戦略の理論について理解し、自らの事業について適用することができる。 ・ITビジネスの戦略として押さえるべき最新動向について理解し、自らの事業への適用について考えることができる。
対象者	・技師・主任クラス以上の方(目安)。 ・事業戦略や企業戦略、あるいはインバケーションやビジネス創造について主体的に取り組む意思のある方。
前提知識	ロジカルシンキングやフレームワーク思考等、ビジネス系コンセンチュアルスキルを一通り踏まえていることが望ましい。
内容	1. 事業戦略、企業戦略とは (1) 事業における戦略とは (2) 戦略論の系譜 (3) 自事業にとっての意味合い 2. 戦略の最新動向 (1) ITビジネス戦略の最新動向 (2) その他の注目すべき動向 (3) 自事業にとっての意味合い 3. ケーススタディ (1) グループ討議 (2) 全体討議 4. まとめ
備考	・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 このコースでは、事前課題にお取り組みいただけます。当社サイトよりファイルをダウンロードいただき、課題にお取り組みください。指定の回答用紙をご入力後、2部印刷のうえ、研修当日にご持参ください。 https://www.hitachi-ac.co.jp/course/pre-problem/ ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK®ガイド</i> 、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。

HSE107	戦略・マーケティング
	<eラーニング>(PDU) 知っておくべきビジネスモデルの基本
10時間	
	実際の成功事例(1次産業：農業、2次産業：メッキ工場、3次産業：レストラン、通信販売)から、各事業の顧客価値の提供、価値を高めたバリューチェーンの箇所、工夫された仕組み、事業成功要因の知識を学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：8ポイント)の取得が可能です。
到達目標	顧客の仕事、仕事上の課題を事業的視点で見えるための知識を得ることができ。
対象者	・顧客のITシステム提案に携わる方。 ・自社の業務改善に関わる方。
前提知識	特に必要としません。
内容	1. ビジネスモデル企画による成功例/失敗例 2. アウトソーシング型 3. ダイレクト型 4. コーディネート型 5. 顧客サービスタ 6. 垂直/水平統合型 7. 事業拡張モデル 8. 修了試験
備考	・サービス有効期限は56日間です。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK®ガイド</i> 、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。

HSJ180	セールス
	顧客協創を促す ディスカッションペーパーの作成・活用
1日間	
	顧客の状況や課題を整理した討議資料を事前に作成しておけば、それを用いて顧客の発言を促し、情報を引き出すことができます。そして、その情報を元に、提案内容に磨きをかけていくことができます。提案プロセスにおいて「ディスカッション・ペーパー」は、本提案前に仮説(提案シナリオ案)を顧客に提示して、それを検証するためのツールとなります。このコースは「ディスカッション・ペーパー」の考え方や作成方法を通して、顧客との打合せに向けてアジェンダを設定し、ファシリテーション・シナリオを用意できるようにします。
到達目標	・ディスカッション・ペーパーとは何か、その必要性とともに説明できる。 ・顧客とのミーティングにおいてディスカッション・ペーパーを活用できる。
対象者	営業職の方、営業職と共に顧客にヒアリング・提案活動されるフロントの方。
前提知識	特に必要としません。
内容	1. 問題解決のステップ (1)「業務・システムの視点」ではなく「事業の視点」を持つ (2)顧客の現状を整理し、整理された事実から意味合いを抽出し、本質的な課題が何かをまとめる 2. 仮説の構築と検証 (1)仮説の構築・検証のサイクルがソリューションビジネスにおける付加価値の源泉 (2)顧客とのミーティングにおいて仮説を構築・検証する 3. 顧客とのミーティング (1)会議の着地点を想定して戦略的にアジェンダを設定する (2)アジェンダに基づいて会議のプロセスをデザインし、ファシリテーション・シナリオを用意する (3)検証したい仮説をファシリテーション・シナリオに則って「ディスカッション・ペーパー」に反映させる 4. 総合演習 (1)他社事例をベースにした「ディスカッション・ペーパー」の作成・活用
備考	・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

HSJ181	戦略・マーケティング
	(PDU) ソリューション提案のための経営と情報戦略ー経営・事業・情報戦略のあるべき関係性ー PDU
1日間	
	戦略論にはさまざまなフレームワークがありますが、それぞれの使いどころを学ばなければ、頭でっかちの使えない知識です。そこでこのコースでは、ソリューション提案をする際の考える流れに沿って各フレームワークを学習します。具体的には、ポーターのポジション戦略(5F分析・PESTLE分析)で外部の競争環境を、バーニーのリソースベストビュー(VC分析・VRIO分析)で内部の競争優位性の分析を紹介します。また、自社が取りうる競争戦略をポーターの3つの基本戦略、コラーの競争地位別戦略から学びます。そして、具体的な企業内での行動目標を決めるために、BSCの考え方、戦略マップの作り方を学びます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：6.5ポイント)の取得が可能です。
到達目標	・経営・事業戦略のフレームワークを理解、使い分けられる。 ・顧客業務を利益・顧客価値・業務プロセスの観点で捉えたうえで、ソリューション提案をする考え方が理解できる。
対象者	ソリューション提案する必要があり、まずは顧客の事業を理解する基本的な経営・事業戦略の考え方やフレームワークを知りたい方。
前提知識	ロジカルシンキング基礎ー論理の可視化と論理チェックのポイントーコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. 経営における戦略 (1) 重要成功要因を決める流れ ・外部環境分析(5F分析、PESTLE分析) ・内部環境分析(VC分析、VRIO分析) ・環境分析を踏まえたクロスSWOT 2. 事業戦略と情報戦略の連携 (1) BSCによる財務目標と業務施策の結び付け (2) 戦略マップによる可視化 3. さまざまな戦略フレームワーク ・アンソフの成長マトリクス、バーニーの3つの競争の型、PPM、ライフサイクル仮説、コラーの競争地位別戦略、戦略キャンパス、3つの価格戦略、BMCなど
備考	・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK®ガイド</i> 、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。

CTJ305	セールス
	体系的に学ぶ提案活動の進め方 ープロポーザルマネジメント
2日間	
	提案活動に携わるプレイヤーとして備えておくべき戦略的提案スキルを、2日間で身につけます。顧客との相互理解を深め、お客様の組織の中や、自社の他部門に人材を求めて提案をまとめ上げる基本ステップを体系的に学習します。経営者たちのモチモヤといた悩みを掘り、提案にまとめ上げるプロセスを疑似体験します。それにより、顧客の立場から自身の提案の改善ポイントを明らかにします。
到達目標	引き合いを可視化する見込みある案件に注力する方法を理解できる。 ・顧客組織内に競合よりも優位なポジションの確立方法を理解できる。
対象者	ITエンジニア職、営業職の方。 ・提案活動において、顧客の悩みをつかみ、社内を巻き込み解決策を協創できないか、お悩みの方。 ・提案活動の一つのプロジェクトとして捉え、体系的・戦略的にマネジメントされた提案活動が必要だと感じている方。
前提知識	1年以上の業務経験があるか、または同等の知識があること。
内容	1. オポチュニティの評価 (1) 案件情報の収集 (2) ビジネスの適合性の評価 2. オポチュニティプラン (1) 提案体制の確立 (2) 顧客/競合/自社分析 3. 戦略策定 (1) 案件獲得戦略 (2) 案件獲得計画 4. エグゼクティブサマリ (1) エグゼクティブサマリ草案作成 (2) バリューストポジション策定 (3) コンテンツプラン 5. 振り返りとまとめ
備考	・このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

CTJ306	セールス
	はかどる・伝わる!提案書作成 ープロポーザルマネジメント
1日間	
	RFP受領から提案書提出までの短期間で、受注を勝ち取る提案書を効率よく作成するための進め方を1日で学びます。チームで担当しても一貫性を保ちながら、顧客に響くキーマッセージを組み立て、自社の優位性を示す提案書作成の計画の立て方を紹介し、要求仕様に対する回答だけでなく潜在ニーズにも訴求する提案書づくりをめざします。
到達目標	・無駄な作業を減らし、提案書内容の質を高めるための提案書作成計画のポイントが説明できる。 ・短い時間で訴求力のある提案書を作成するポイントが説明できる。 ・提案書の章立てやキーマッセージの組み立て方を理解する。 ・提案書作成に時間がかかって困っている方。 ・提案書の論点が定まらず困っている方。 ・提案書をチームワークで作成している方。
対象者	1年以上の業務経験があるか、または同等の知識があること。
前提知識	1. 提案書作成戦略の策定 2. コンテンツプラン (1) コンテンツプランとは (2) プロポーザルアウトライン (3) 解決策の検討 (4) 価格検討 3. 提案活動の疑似体験 4. 振り返りとまとめ
備考	・このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

HSE705	アカウンティング / ファイナンス
	<eラーニング>[ナビ機能付き] (PDU) 財務諸表の基礎知識 PDU
4時間	
	財務諸表の目的(役割)と用語を学習します。財務三表ともいわれる貸借対照表・損益計算書・キャッシュフロー計算書の仕組みや見方の基礎を学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：4ポイント)の取得が可能です。
到達目標	・財務諸表の基礎を理解し分析のための前提知識が説明できる。 ・経済の時事、動向に興味を持ち、業務に活かせる。
対象者	財務諸表の構成、内容を知りたい方、財務の入門知識を簡単に確認したい方。
前提知識	特に必要としません。
内容	1. 財務諸表の概念 2. 貸借対照表 3. 損益計算書 4. キャッシュフロー計算書 5. 修了試験
備考	・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK®ガイド</i> 、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。

休講 休講 今期の定期開催はありません

HSE709	アカウンティング / ファイナンス
	<eラーニング>[ナビ機能付き] WHYで学ぶアカウンティング (基礎知識編)
8時間	
	「なぜ(Why)」の問いかけを通して、アカウンティングの必要性を理解しながら、財務諸表を読み解くための基礎知識を学習します。
到達目標	・財務諸表に必要な基礎知識を理解できる。 ・財務諸表の諸数値の意味を理解できる。
対象者	財務の視点をお持ちになりたい方。
前提知識	特に必要としません。
内容	1. なぜアカウンティングか 2. なぜ財務三表か B/S、P/L、CF 3. B/S - 資産、負債、純資産の意味と構造 4. P/L - 売上、費用、利益の意味と構造 5. CF - キャッシュフローの意味と構造 6. キャッシュフローー経営 7. 管理会計 - 固定費、変動費、損益分岐点 8. 修了試験
備考	・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・計算用具(電卓)をご用意ください。

休講 休講 今期の定期開催はありません

HSE710	アカウンティング / ファイナンス
	<eラーニング>[ナビ機能付き] 業務に活かす簿記入門
8時間	
	簿記の基礎概念を学習します。また、取引、仕訳から決算処理までの一連の流れと仕組みを学習します。
到達目標	・企業活動と財務活動の関係をひもたせて業務に取り組むことができる。 ・財務諸表が作成されるプロセスを説明できる。 ・簿記の学習を始めたいとお考えの方。 ・財務、経理の概要を知りたい方。
対象者	特に必要としません。
前提知識	特に必要としません。
内容	1. 企業会計と簿記 2. 会社の設立 3. 取引 4. 記帳 5. 決算 6. 修了試験
備考	・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・計算用具(電卓)をご用意ください。

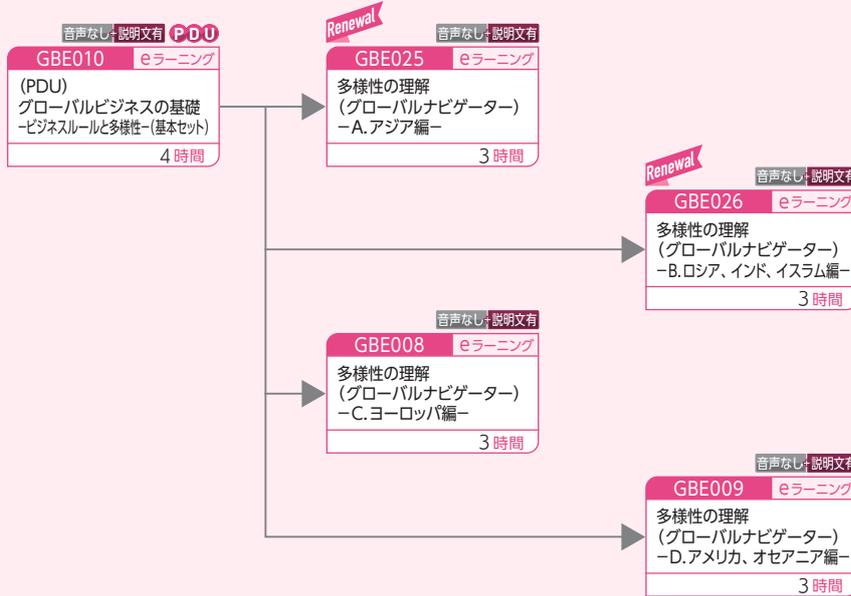
休講 休講 今期の定期開催はありません

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
インバケーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

グローバル

グローバルでビジネスを進めるうえで必要となるスキル（グローバルマインドセット、各国の動機付け要因、反発要因など）が修得できます。

● 多様性について理解を深めたい方



● グローバルなコミュニケーション力をつけたい方

GBD001 グループ演習
情理と論理のグローバルコミュニケーション-日本文化に根ざし、人間力で考える戦略思考-
1 日間

● 中国ビジネスを学びたい方

GBE023 (PDU) 中国ビジネスの鉄則
10 時間

※1: SBI 大学院大学が提供する単科コースを一部カスタマイズしてご提供します。

● インドビジネスを学びたい方

GBE024 (PDU) インドビジネスの鉄則
10 時間

※1: SBI 大学院大学が提供する単科コースを一部カスタマイズしてご提供します。

音声有+説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし+説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU : PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

休講 休講
今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

日立製品

JP1

uCosminexus
Application Server

HiRDB

OpenTP1

VOS3/VOS1/
VOSK

XDM/PDMI

Hitachi Advanced
Data Binder

日立ストレージ

Pentaho

デジタルトランス
フォーメーション

IT 利活用

イノベーション

IoT/AI/Lumada

ビッグデータ

データ分析

サイバー
セキュリティ

RPA

クラウド/
サーバ仮想化

IT サービス
マネジメント

システム基盤

IT 基本

オープンソース
ソフトウェア(OSS)

Linux

Microsoft

ネットワーク

ハードウェア

セキュリティ

データベース

IT 戦略・IS 企画

システム開発

要件定義/設計

モデリング

プログラミング

情報処理技術者
試験対策

IT リテラシ

プロジェクト
マネジメント

コンプライアンス

ビジネス/
ヒューマン

グローバル

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス / ヒューマン
グローバル

グローバル	
	
GBE010 グローバル	
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div><div><div></div><div>標準コース</div></div></div></div></div> <div>4週間</div>	
<eラーニング> (PDU) グローバルビジネスの基礎ービジネスルールと多様性ー(基本セット) PDU	
 <div>グローバル化モデルの7つの思考パターンを理解し、身につけるとともに、多様な人たちの心の構図を読み解く土台となる「文化の世界地図」、各国別の動機付け要因、反発要因に関する辞書を身につけます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：4ポイント)の取得が可能です。</div>	
到達目標	<div><ul style="list-style-type: none">1990年代に起こった世界のグローバル市場化の意味合いを理解し、そこで生きていくためのルールが分かる。民族のアイデンティティや文化のDNAを把握できるようになる。グローバル人材度のチェックを行い、今後の修得必要分野を知る。</div>
対象者	グローバルビジネスに関わる方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	<div><ol style="list-style-type: none">グローバル時代のモデルチェンジー新しい方程式へのコベリニクスの転換を1ーグローバルマインドの設定世界市場で競争力を持つ7つの思考パターンを身につける文化の世界地図70億の多様な人たちの心の構図を読み解くグローバルナビゲーター国別理解による事例の分析ー心の中の世界地図に具体性を持たせるー(1)米国(2)中国(3)日本グローバル人材度アセスメント30問のアセスメントでグローバル人材度をセルフチェック(解説付き)</div>
備 考	<div><ul style="list-style-type: none">学習終了日は3月31日になります。説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。PMI®、PMP®、<i>PMBOK®ガイド</i>、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。</div>

グローバル	
	
GBE008 グローバル	
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div><div><div></div><div>標準コース</div></div></div></div></div> <div>3週間</div>	
<eラーニング>多様性の理解(グローバルナビゲーター) C.ヨーロッパ編	
 <div>ドイツ、スイス、フランス、イタリア、オーストラリア、ポーランド、オランダ、スペイン、イギリスの文化/思想/価値観/習慣等について学習します。このコースは「(PDU) グローバルビジネスの基礎ービジネスルールと多様性ー(基本セット)」eラーニングコース(コースコード：GBE010)のオプションです。</div>	
到達目標	<div>ドイツ、スイス、フランス、イタリア、オーストラリア、ポーランド、オランダ、スペイン、イギリスの史的文化層、動機付け要因、反発、要因をふまえて行動できる。</div>
対象者	グローバルビジネスに現在または将来関わる方。
前提知識	「(PDU) グローバルビジネスの基礎ービジネスルールと多様性ー(基本セット)」eラーニングコースを修了していること。
内 容	<div>ドイツ、スイス、フランス、イタリア、オーストラリア、ポーランド、オランダ、スペイン、イギリスそれぞれについての、</div> <ol style="list-style-type: none">史的文化層カルチュラル・モチベータカルチュラル・デモティベータ
備 考	<div><ul style="list-style-type: none">学習終了日は3月31日になります。説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</div>

グローバル	
	
GBE025 グローバル	
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div><div><div></div><div>標準コース</div></div></div></div></div> <div>3週間</div>	
<eラーニング>多様性の理解(グローバルナビゲーター) A. アジア編	<i>Renewal</i>
 <div>日本、中国、台湾、香港、韓国、フィリピン、ベトナム、シンガポール、タイ、ミャンマーの文化/思想/価値観/習慣等について学習します。このコースは「(PDU) グローバルビジネスの基礎ービジネスルールと多様性ー(基本セット)」eラーニングコース(コースコード：GBE010)のオプションです。</div>	
到達目標	<div>日本、中国、台湾、香港、韓国、フィリピン、ベトナム、シンガポール、タイ、ミャンマーの文化/思想/価値観/習慣等について学習できる。</div>
対象者	グローバルビジネスを現在または将来担当される方。
前提知識	グローバルマインドセット、文化の世界地図、グローバルナビゲーターを学習済のこと。事前に「(PDU) グローバルビジネスの基礎」eラーニングコースを受講することをお薦めします。
内 容	<div>日本、中国、台湾、香港、韓国、フィリピン、ベトナム、シンガポール、タイ、ミャンマーそれぞれについての、</div> <ol style="list-style-type: none">史的文化層カルチュラル・モチベータカルチュラル・デモティベータ
備 考	<div><ul style="list-style-type: none">学習終了日は3月31日になります。説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</div>

グローバル	
	
GBE009 グローバル	
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div><div><div></div><div>標準コース</div></div></div></div></div> <div>3週間</div>	
<eラーニング>多様性の理解(グローバルナビゲーター) D.アメリカ、オセアニア編	
 <div>カナダ、米国、アルゼンチン、ブラジル、メキシコ、オーストラリア、ニュージーランドの文化/思想/価値観/習慣等について学習します。このコースは「(PDU) グローバルビジネスの基礎ービジネスルールと多様性ー(基本セット)」eラーニングコース(コースコード：GBE010)のオプションです。</div>	
到達目標	<div>カナダ、米国、アルゼンチン、ブラジル、メキシコ、オーストラリア、ニュージーランドの史的文化層、動機付け要因、反発要因をふまえて行動できる。</div>
対象者	グローバルビジネスに現在または将来関わる方。
前提知識	「<eラーニング>(PDU) グローバルビジネスの基礎ービジネスルールと多様性ー(基本セット)」を修了していること。
内 容	<div>カナダ、米国、アルゼンチン、ブラジル、メキシコ、オーストラリア、ニュージーランドそれぞれについての、</div> <ol style="list-style-type: none">史的文化層カルチュラル・モチベータカルチュラル・デモティベータ
備 考	<div><ul style="list-style-type: none">学習終了日は3月31日になります。説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</div>

グローバル	
	
GBE026 グローバル	
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div><div><div></div><div>標準コース</div></div></div></div></div> <div>3週間</div>	
<eラーニング>多様性の理解(グローバルナビゲーター) B. ロシア、インド、イスラム編	<i>Renewal</i>
 <div>ロシア、インド、インドネシア、マレーシア、ブルネイ、カザフスタン、パキスタン、サウジアラビア、UAEの文化/思想/価値観/習慣等について学習します。このコースは「(PDU) グローバルビジネスの基礎ービジネスルールと多様性ー(基本セット)」eラーニングコース(コースコード：GBE010)のオプションです。</div>	
到達目標	<div>ロシア、インド、インドネシア、マレーシア、ブルネイ、カザフスタン、パキスタン、サウジアラビア、UAEの文化/思想/価値観/習慣等について学習できる。</div>
対象者	グローバルビジネスを現在または将来担当される方。
前提知識	グローバルマインドセット、文化の世界地図、グローバルナビゲーターを学習済のこと。事前に「(PDU) グローバルビジネスの基礎」eラーニングコースを受講することをお薦めします。
内 容	<div>ロシア、インド、インドネシア、マレーシア、ブルネイ、カザフスタン、パキスタン、サウジアラビア、UAEそれぞれについての、</div> <ol style="list-style-type: none">史的文化層カルチュラル・モチベータカルチュラル・デモティベータ
備 考	<div><ul style="list-style-type: none">学習終了日は3月31日になります。説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</div>

グローバル	
	
GBD001 グローバル	
<div><div><div><div><div></div><div>グループ演習</div></div></div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div><div><div></div><div>標準コース</div></div></div></div></div> <div>1日間</div>	
情理と論理のグローバルコミュニケーションー日本文化に根ざし、人間力で考える戦略思考ー	
 <div>一般的な「勝つ」ためのディベートではなく、情理と論理を総動員しながら相手の意見を尊重し、学びながら自分の意見もしっかりと主張する体験の場を提供します。講師の深い経験と実践に裏づけされたファシリテーションにより、グローバルビジネスパーソンとして無理なくレベルアップできます。キーワードは、空(くう)(ハラ)で考えることであり、日本文化に根ざした、お互いを啓発しあうディベートを通して新たなビジネス領域(道)を切り拓きます。</div>	
到達目標	<div>英語環境の中で、情理と論理を総動員した議論を通して相互に学びあい真理を探究することが自然なこととしてとらえられ、実践できる。</div> <ul style="list-style-type: none">グローバルコミュニケーションの中で、日本人としての強みを発揮できるようになる。
対象者	中堅のITエンジニア職、営業職で、新事業、新サービス創出、グローバル事業に携わる方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	<div>1. はじめに</div> <div>(1)日本のビジネスパーソンに求められるもの</div> <div>(2)グローバルコミュニケーション能力とは</div> <div>2. 論理の基本を体感する</div> <div>(1)「Why Because」の解説</div> <div>(2)「Why Because」ゲーム</div> <div>3. 情理と論理が融合するディベート</div> <div>(1)情理と論理が融合するディベート体験</div> <div>(2)納得をめざす六角ディベート体験</div> <div>4. まとめ</div>
備 考	<div><ul style="list-style-type: none">このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。このコースは日本語、英語(TOEIC500点程度(目安))両方で実施されます。</div>

グローバル	
	
GBE023 グローバル	
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>標準コース</div></div></div></div></div> <div>10週間</div>	
<eラーニング> (PDU) 中国ビジネスの鉄則 PDU	
 <div>中国人はビジネスに際し、他人に対しては敵対的、友人に対しては寛容であり、信頼できる相手であるかどうかを慎重に見極めようとしします。中国ビジネス成功の鍵は、中国社会でうまくネットワークを築くことにあります。このコースでは中国ビジネスを理解するために、まず中国社会・経済の特色について学習します。そして中国企業の企業形態や株式市場を詳しく見ていきながら、中国でのビジネスについて学習します。さらに、国有企業、民間企業、外資系企業それぞれについて特徴を詳しく見ていきながら、グローバルな環境で活動を行うための組織の政治的風土・文化について学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:7ポイント)の取得が可能です。</div>	
到達目標	<div>中国企業の実態を理解するための基礎知識を身につけ、中国企業とビジネスに関わる場合に必要知識を修得できる。</div>
対象者	中国とのビジネスに現在および将来関わる方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	<div>1. 企業を取り巻く社会環境</div> <div>2. 産業の特徴</div> <div>3. 企業形態と株式市場の成長</div> <div>4. 国有企業</div> <div>5. 民間企業</div> <div>6. 外資系企業</div> <div>7. 中国企業のグローバル経営</div>

グローバル	
	
GBE024 グローバル	
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>標準コース</div></div></div></div></div> <div>10週間</div>	
<eラーニング> (PDU) インドビジネスの鉄則 PDU	
 <div>インドは近年、その人口による巨大な市場と経済発展から、世界的な存在感を高めています。また一方で古くから日本との交流があり、近年でも各分野において経済提携が進んでいます。しかし、ビジネスを交流させるに至るまでの理解に至っていない場合も多く見ることができます。このコースではインドにビジネス進出をするために必要な考え方(歴史・文化・宗教等)について学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:6ポイント)の取得が可能です。</div>	
到達目標	<div><ul style="list-style-type: none">インドにおいてビジネスを展開する場合に必要な、文化的背景や歴史、現在のインド事情について説明できる。インドへ進出してビジネスを成功させるにおいて必要なポイントについて理解を深める。インド人との交渉の方法、インド人の考え方、などについて日本人が誤解しがちな注意点に言及し、インドビジネスを成功に導く戦略的思考について学ぶ。</div>
対象者	インドとのビジネスに現在および将来関わる方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	<div>1. インドの紹介、歴史</div> <div>2. インドの各地域の文化とビジネスの関係</div> <div>3. インドの宗教とビジネスの関係</div> <div>4. インドの優秀な人材を作る、教育制度</div> <div>5. 日印関係</div> <div>6. インドの国際関係</div> <div>7. 実際の手順とケーススタディ</div>

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス / ヒューマン
グローバル

	マシン実習
---------------	--------------

マシンを使用した研修

	グループ演習
---------------	---------------

グループ演習を中心とした研修

	レクチャ
---------------	-------------

座学による研修

	演習環境
---------------	-------------

職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習

	eラーニング
---------------	---------------

インターネット接続による自己学習

	eラーニング
---------------	---------------

インターネット接続による自己学習

	自習テキスト
---------------	---------------

自習書による自己学習

休 講	休 講
------------	------------

今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

265

東京地区

東京(大森)

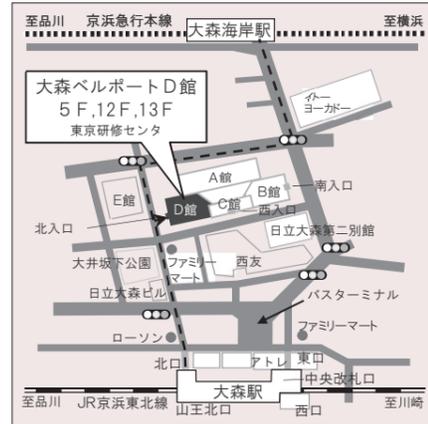
大森ベルポートD館5階・12階・13階

(株)日立アカデミー
東京研修センター品川区南大井6丁目26番3号(〒140-0013)
電話 (03) 5471-8962
FAX (03) 5471-2564

- JR京浜東北線 大森駅北口(改札を出て右)より徒歩約3分
- 京浜急行線 大森海岸駅より徒歩約5分

※当ビル西入口、または北入口、南入口よりアトリウムに入り、D館入口のエレベータにてご来場ください。
※エレベータは、7:30~9:30、12:00~13:00の時間帯は特別運転となりますので、ご入館の際にはご注意くださいようお願いいたします。

- 12階/13階へお越しの方 ▶ D館正面入口の左側エレベータをご利用ください。
 - 5階へお越しの方 ▶ D館正面入口の右側エレベータをご利用ください。
- ※「日立講習会受講ご案内(受講券)」に記載の研修室をご確認の上、直接研修室へお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



大阪地区

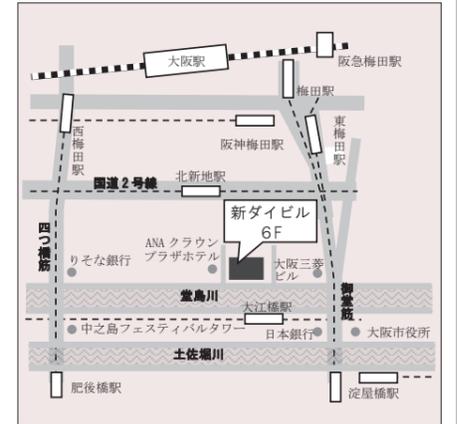
大阪

新ダイビル6階

(株)日立アカデミー
大阪研修センター大阪市北区堂島浜1丁目2番1号(〒530-0004)
電話 (06) 4797-7360
FAX (06) 4797-7361

- 京阪中之島線 大江橋駅より徒歩約2分
- 地下鉄御堂筋線/京阪本線 淀屋橋駅より徒歩約5分
- JR東西線 北新地駅より徒歩約5分
- 地下鉄四つ橋線 肥後橋駅より徒歩約7分

※受付は研修室で行いますので、直接研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



東京地区

提携コースの研修会場

会場地図は、当社Webサイト(<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/intro/bureau/index.html>)よりご確認ください。

開催地区	住所・会場名
六本木(FXLI)	〒106-0032 東京都港区六本木3-1-1 六本木ティーキューブ14階 (株)富士ゼロックス総合教育研究所
白金台(BrainPad)	〒108-0071 東京都港区白金台3-2-10 白金台ビル3階 (株)ブレインパッド
浜松町(GSX)	〒105-0022 東京都港区海岸1-15-1 スズエベイディアム4階 グローバルセキュリティエキスパート(株)東京本社
麹町(ITプレナーズ)	〒102-0083 東京都千代田区麹町2-3-3 FDC麹町ビル5階 (株)ITプレナーズジャパン・アジアパシフィック
麻布台(SHIFT)	〒106-0041 東京都港区麻布台2-4-5 メソニック39MTビル11階 (株)SHIFT

名古屋地区

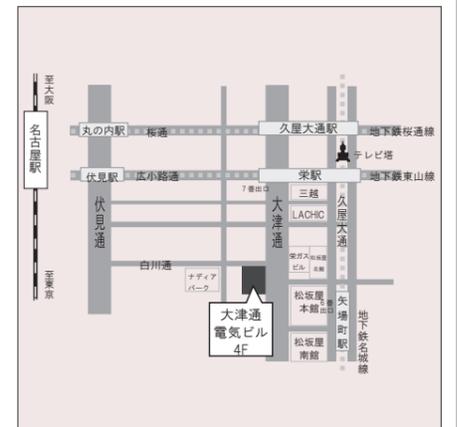
名古屋

大津通電気ビル4階

(株)日立アカデミー
名古屋研修センター名古屋市中区栄3丁目17番12号(〒460-8435)
電話 (052) 269-8940
FAX (052) 261-8276

- 地下鉄名城線 矢場町駅6番出口から西へ徒歩2分
- 地下鉄東山線 栄駅 サカエチカ7番出口から南へ徒歩5分

※4階にてコース別会場案内をご確認の上、直接研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



広島地区

広島

広島袋町ビルディング11階

(株)日立アカデミー
広島研修センター広島市中区袋町5番25号(〒730-0036)
電話 (082) 546-6172
FAX (082) 546-6173

- 広島電鉄(市内電車)宇品線 袋町(電停)より徒歩約1分
- 広島バスセンターより徒歩約8分

※受付は研修室で行いますので、直接研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



福岡地区

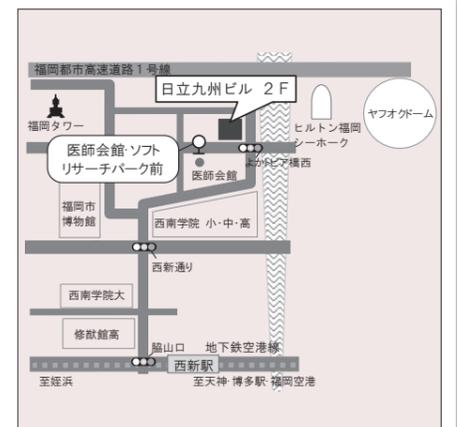
福岡

日立九州ビル2階

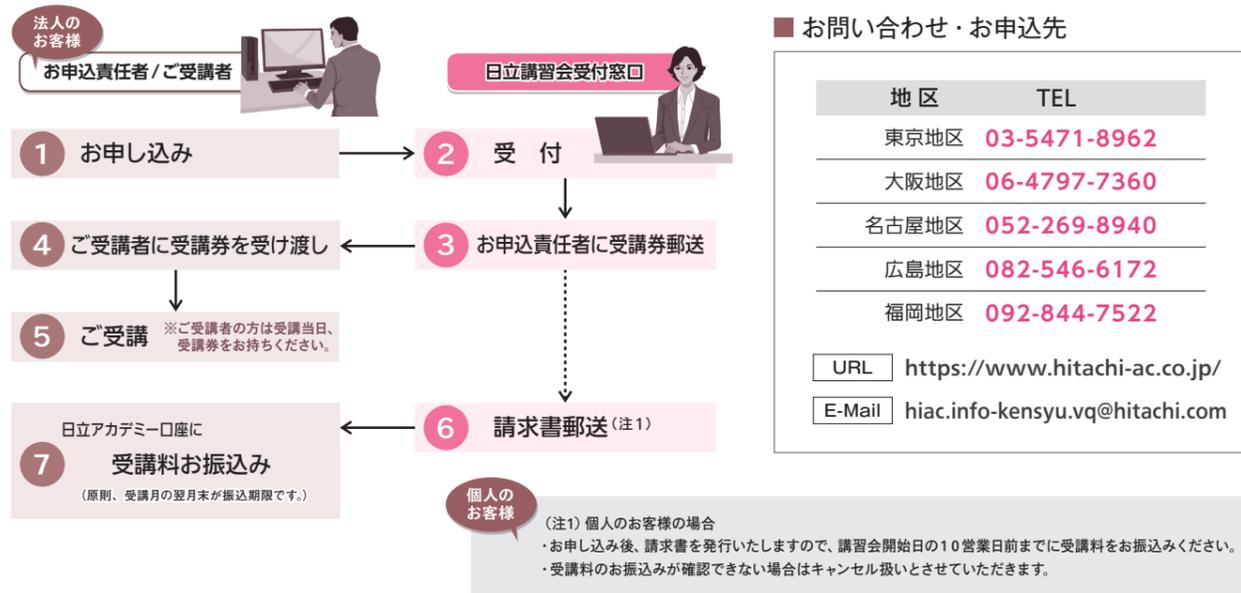
(株)日立アカデミー
福岡研修センター福岡市早良区百道浜2丁目1番1号(〒814-8577)
電話 (092) 844-7522
FAX (092) 844-7580

- 天神高速バスターミナル前(1A)のりばより、[302][W1][W2]などのバスに乗り、医師会館・ソフトリサーチパーク前にて下車。<所要時間:約20分>
- 博多バスターミナル1F(5)(6)のりばより、[306][312][直行]などのバスに乗り、医師会館・ソフトリサーチパーク前にて下車。<所要時間:約30分>(地下鉄の場合は、西新駅より約1.5kmです。バスまたは徒歩にてお越しください。)

※1階受付で「日立講習会受講ご案内(受講券)」を提示し、入館証をお受け取りのうえ、該当研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



日立講習会 集合研修のお申し込みからご受講までの流れ



お申し込み

●お申込責任者の方は、(株)日立アカデミーのホームページ(URL >>> <https://www.hitachi-ac.co.jp/>)からお申し込みいただくか、または「日立講習会お申込書(集合研修用)」をダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、ご受講希望地区の上記受付窓口までメール、または日立営業経由にてお申し込みください。ホームページをご利用できない場合は、ご受講希望地区の上記受付窓口までお問い合わせください。
なお、お申し込みの前には必ずコース内容および以下についてご確認ください。

■日立製品研修

- ・「日立製品研修受講規約」
- ・「株式会社日立製作所個人情報保護に関して(保護方針と要旨)」
- ・「株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して」

■IT/ビジネス研修

- ・「IT/ビジネス研修受講規約」
- ・「株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して」

上記についてお申込責任者および受講される本人がこれらについてご了承または同意のうえお申し込みください。

- お申し込みは、原則として講習会開始日の10営業日前までをお願いいたします。
- お申し込みの受付は、先着順にしておりますので、定員になり次第締め切らせていただきます。
- ご希望の講習会が最少開催人数に達しない場合には、やむを得ず中止にさせていただきます。あらかじめご了承ください。

受講料お支払い

- 法人のお客さまの場合は、原則として受講月の月末締めで、請求書をお申込責任者の方にお送りいたします。請求書に記載のお振込み口座、期限(原則、受講月の翌月末)までにお振込みください。
- 個人のお客さまの場合は、お申し込み後、請求書を発行いたします。講習会開始日の10営業日前までに請求書に記載の口座にお振込みください。受講料のお振込みが確認できない場合はキャンセル扱いとさせていただきます。
- お振込手数料は、お客様のご負担でお願いいたします。

振込先銀行：三菱 UFJ 銀行 大森駅前支店
普通預金口座 口座番号 1105485
口座名称 (株)日立アカデミー

※日立製品研修は(株)日立製作所が提供する研修サービスです。
(株)日立アカデミーは(株)日立製作所からの委託を受けて日立製品研修の実施・運営を行い、また、日立製品研修のお申込み受付請求書発行および受講料の受領については(株)日立製作所の代理人として対応します。

ご受講にあたって

- お申し込み受付後「日立講習会受講ご案内」(以下「受講券」といいます。)、お申込責任者の方へお送りします。

- 「受講券」には、お申込地区の地図や会場(研修室)、開催時間等を記載しておりますので、内容をご確認のうえ、ご受講当日に必ずお持ちください。
- 「受講券」が講習会開始日の1週間前までに到着しない場合は、お申し込みの受付窓口まで、お問い合わせください。
- 「受講券」発送後に諸事情により講習会の開催を中止させていただく場合がありますので、あらかじめご承知おください。
- 講習会で使用するテキスト教材等は、当日会場にてお渡ししております。事前のお引き渡しは行っておりません。
- 駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。
- ご受講中の方との連絡は「ご伝言」とさせていただきます。お電話でのお取り次ぎはできませんので、あらかじめご了承ください。また、ご受講中に携帯電話等の使用は、他のお客様へのご迷惑となりますので、ご遠慮いただいております。
- 研修会場内での撮影または録音は、禁止させていただきます。
- あらかじめ体調をご確認のうえ、講習会にご参加いただくようお願いいたします。インフルエンザなどの感染が懸念される場合は参加をお控えくださいますようお願いいたします。

変更・キャンセル

- ご都合により、受講者・受講日を変更、もしくはキャンセルされる場合は「日立講習会変更/キャンセル連絡票」をホームページからダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、講習会開始日の10営業日前までに、お申し込みの受付窓口までメールにてご連絡ください。

<キャンセル規定>

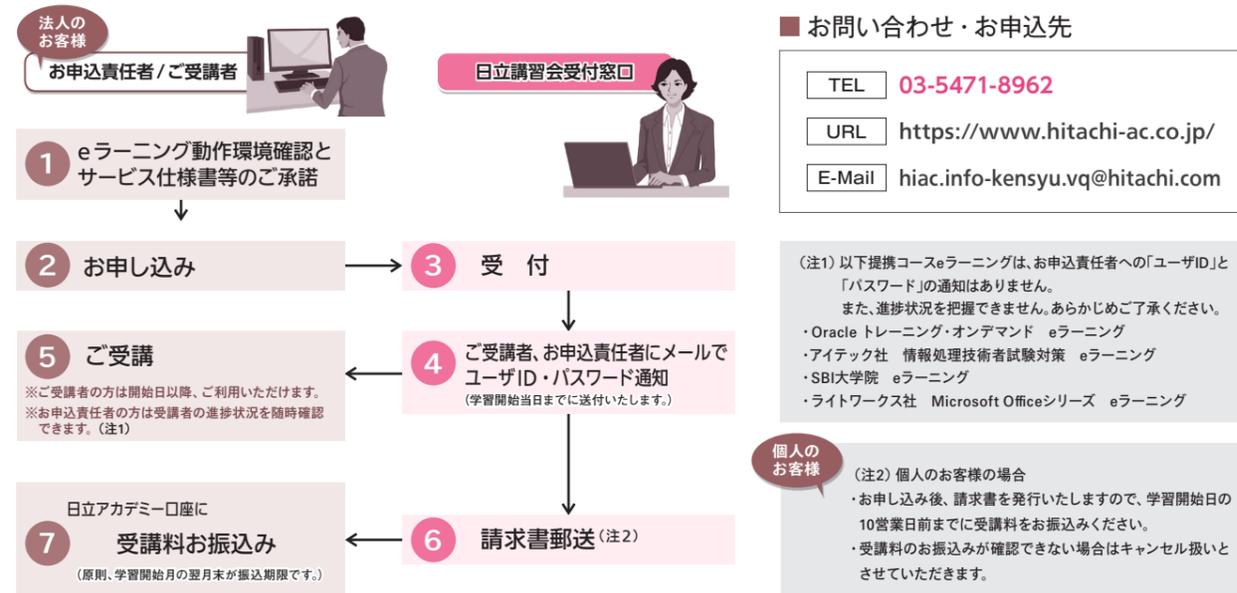
学習形態	受講者、受講日変更およびキャンセル締切日
集合研修	講習会開始日の10営業日前
eラーニング	学習開始日の10営業日前

- 変更・キャンセル締切日を過ぎての変更・キャンセルにつきましては、受講料を全額請求させていただきます。すでに受講料をお支払いいただいている場合は、受講料は返金いたしません。また、下記コースは個別に変更・キャンセル締切日を設定しております。詳細はホームページのコース詳細ページの備考に明記しておりますのでご確認ください。
・事前課題/事前学習ありコース

講習会開催時間

- コースカリキュラムの備考欄に開催時間をご案内しています。正式には、ご受講前に送付いたします「日立講習会受講ご案内」(受講券)をご確認ください。
- 講習会の進捗により終了時間が予定時刻を超える場合があります。あらかじめご了承ください。
- 開催時間が変更になる場合には「受講券」にてお知らせいたします。

日立講習会 eラーニングのお申し込みからご受講までの流れ



お申し込み

●お申込責任者の方は、(株)日立アカデミーのホームページ(URL >>> <https://www.hitachi-ac.co.jp/>)からお申し込みいただくか、または「日立講習会お申込書(eラーニング用)」をダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、上記のお申込先までメール、または日立営業経由にてお申し込みください。
なお、お申し込みの前には必ずコース内容、動作環境、eラーニングサービス仕様書(上記ホームページに掲載)、および以下についてご確認ください。

■日立製品研修

- ・「日立製品研修受講規約」
- ・「株式会社日立製作所個人情報保護に関して(保護方針と要旨)」
- ・「株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して」

■IT/ビジネス研修

- ・「IT/ビジネス研修受講規約」
- ・「株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して」

上記についてお申込責任者および受講される本人がこれらについてご了承または同意のうえお申し込みください。

- 動作環境はコースによって異なりますので、上記ホームページから各コースの動作環境をご確認ください。
- お申し込みは、原則として学習開始日の10営業日前までをお願いいたします(個人申し込みの場合は、15営業日前まで)。一部のコースにおきましては、人数制限がありますので定員になり次第締め切らせていただきます。
- ご受講にあたって、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となりますので、ご了承ください。

受講料お支払い

- 法人のお客さまの場合は、原則として学習開始月の月末締めで、請求書をお申込責任者の方にお送りいたします。請求書に記載のお振込み口座、期限(原則、学習開始月の翌月末)までにお振込みください。
- 個人のお客さまの場合は、お申し込み後、請求書を発行いたします。学習開始日の10営業日前までに請求書に記載の口座にお振込みください。受講料のお振込みが確認できない場合はキャンセル扱いとさせていただきます。
- お振込手数料は、お客様のご負担でお願いいたします。
- ご入金のご確認ができなかった場合、やむを得ずご利用を停止させていただきます。あらかじめご了承ください。
- eラーニングの中止・変更等(株)日立製作所および(株)日立アカデミーの責に帰すべき場合は、お振込みいただいた受講料を返金いたします。

振込先銀行：三菱 UFJ 銀行 大森駅前支店
普通預金口座 口座番号 1105485
口座名称 (株)日立アカデミー

※日立製品研修は(株)日立製作所が提供する研修サービスです。
(株)日立アカデミーは(株)日立製作所からの委託を受けて日立製品研修の実施・運営を行い、また、日立製品研修のお申込み受付請求書発行および受講料の受領については(株)日立製作所の代理人として対応します。

ご受講にあたって

- お申し込み受付後、学習開始日の当日までに、ご受講者とお申込責任者の方へ「ユーザID」と「パスワード」をメールにてご通知いたします。
- 「ユーザID」と「パスワード」の通知が届かない場合は、早急に上記のお申込先までお問い合わせください。
- お申込責任者の方は、受講者の進捗状況を随時確認できます。なお、以下提携コースeラーニングにつきましては、お申込責任者への「ユーザID」と「パスワード」の通知はありません。また、進捗状況を把握できません。あらかじめご了承ください。
・Oracle トレーニング・オンデマンド eラーニング
・アイテック社 情報処理技術者試験対策 eラーニング
・SBI大学院 eラーニング
・ライトワークス社 Microsoft Officeシリーズ eラーニング

- eラーニングのご利用に際して通信に関わる費用は、お客様のご負担でお願いいたします。
- 演習用データ、テキストサンプル等のWeb教材、プラグインソフトのダウンロードは、お客様の責任で実施するものであり、その結果生じる障害や損害はお客様のご負担でお願いいたします。

変更・キャンセル

- ご都合により、受講者・受講日を変更、もしくは、キャンセルされる場合は「日立講習会変更/キャンセル連絡票」をホームページからダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、学習開始日の10営業日前までに、お申し込みの受付窓口までメールにてご連絡ください。

<キャンセル規定>

学習形態	受講者、受講日変更およびキャンセル締切日
集合研修	講習会開始日の10営業日前
eラーニング	学習開始日の10営業日前

- 変更・キャンセル締切日を過ぎての変更・キャンセルにつきましては、受講料を全額請求させていただきます。すでに受講料をお支払いいただいている場合は、受講料は返金いたしません。また、下記コースは個別に変更・キャンセル締切日を設定しております。詳細はホームページのコース詳細ページの備考に明記しておりますのでご確認ください。
・アイテック社情報処理技術者試験対策eラーニングコース

基本動作環境

- eラーニングをご利用の場合には、パソコン、Web環境が必要となります。詳細につきましては、(株)日立アカデミーのホームページに各コースの動作環境を掲載しておりますので、お申し込みの前には必ずご確認ください。

受講規約

日立講習会のうち、日立製品研修（株式会社日立製作所（以下、「日立」といいます。）が発行する研修サービスガイド（以下、「日立製品研修ガイド」といいます。）の日立製品研修に指定されているコース群）は、日立が提供する研修サービスです。株式会社日立アカデミー（以下、「日立AC」といいます。）は日立からの委託を受けて日立製品研修の実施・運営を行い、また、日立製品研修の申込み受付、請求書発行および受講料の受領については日立の代理人として対応します。日立製品研修のご受講に際しては、「株式会社日立製作所個人情報保護に関して（保護方針と要旨）」、「株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して」、および本規約の「**1 日立製品研修受講規約**」をご了承のうえ、お申し込みください。

日立講習会のうち、IT／ビジネス研修（日立ACが発行する研修サービスガイド（以下、「IT／ビジネス研修ガイド」といいます。）のIT／ビジネス研修に指定されているコース群）は、日立ACが提供する研修サービスです。IT／ビジネス研修のご受講に際しては、「株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して」、および本規約のうち「**2 IT／ビジネス研修受講規約**」をご了承のうえ、お申し込みください。

1 日立製品研修受講規約

1-1 日立製品研修

日立製品研修は、日立が指定する研修施設・設備を利用して開催する集合研修、およびeラーニング等の総称であり、日立製品研修ガイドに記載されたもの、またはその他日立が指定するものに限られます。ただし、日立は、これらを予告なしに追加、変更または廃止することがあります。

1-2 お申し込み・開催延期／中止

日立製品研修の受講お申し込みについては日立製品研修ガイド「お申込方法」に定めるとおりとしますので、ご参照ください。日立製品研修は日立製品研修ガイド「開催スケジュール」に記載されている日程で開催されますが、日立がこの日程で都合のつかない場合には「日立講習会受講ご案内」（受講券）に記載する別の日程で開催するものとします。日立はお申し込み済のお客様に対して少なくとも5営業日前の予告をもって日立製品研修の開催を延期または中止をする権利を留保します。

1-3 受講料・消費税

日立製品研修ガイドに記載されている受講料は、少なくとも開始日の10営業日前までに書面（電子メールを含みます。）による通知で変更される場合があります。日立製品研修の受講料は開始日における日立所定の受講料が適用されます。お客様のお申し込みを日立ACがお受けした後に、受講料が変更され新受講料が発効される場合は、お客様が当該お申し込みを、少なくとも開始日の5営業日前に書面により取り消さない限り、新受講料が適用されます。受講料には日立製品研修で使用する教材の代金および機械使用料を含みますが、ご受講者の交通費および宿泊費は含みません。日立製品研修の受講料に課せられる消費税等の租税公課は、お客様のご負担とします。なお、税率等が変更になった場合、集合研修は講習会終了日、eラーニングは学習開始日時点の税率を適用した金額となります。

1-4 受講料のお支払いおよび返金

受講料につきましては法人のお客様は日立製品研修ご受講後のお支払い（後払い）、個人のお客様はご受講前のお支払い（前払い）になります。日立製品研修の受講料は、お客様が日立ACからの請求書を受領後、お振込指定期日までにお支払いいただくこととします。前払いのお客様でお振込指定期日までにご入金の確認ができなかった場合は、ご受講できないことがあります。お振込手数料は、お客様のご負担とします。日立製品研修が、日立の責に帰すべき事由で中止された場合で、すでに前払いにて受講料をお支払いいただいている場合には、お振込みいただいた受講料を返金いたします。

1-5 キャンセル料

キャンセル料発生日前日までにご受講お申し込みのキャンセルお申し出があった場合は、キャンセル料は発生いたしません。また、すでに前払いにて受講料をお支払いいただいている場合は、お支払いいただいている受講料からお振込手数料を差し引いた金額を返金いたします。キャンセル料発生日以降にキャンセルのお申し出があった場合はキャンセル料が発生いたします。前払いの場合はお支払いいただいた受講料は返金いたしません。また、後払いの場合は受講料全額を請求いたします。

キャンセル料発生日はお申し込みになられたコースによって異なりますので、詳しくは「5. お申込方法」の「変更・キャンセル」の項をご覧ください。

1-6 責任の制限

日立は、日立製品研修ガイドに記載された範囲（講座の内容等）で日立製品研修に関するテキスト教材、eラーニングコンテンツ等（以下、「日立製品研修教材等」といいます。）の更新と提供を行います。ただし、日立は、これらのサービスの有用性、目的適合性、正確性その他一切の結果を保証するものではありません。また、日立製品研修教材等もしくは日立製品研修における質疑応答の内容を合理的範囲で正確性を保つよう努力するものとしますが、すべての誤りが訂正されることを保証するものではありません。また、日立はサービスを提供するにあたり、インターネット、データセンター、クラウドサービス等を利用しています。日立は、商慣習において合理的な努力を払って本サービスを提供しており、日立および日立ACの責に帰すことができない事由によるサービス提供の停止については、損害賠償その他いかなる責任も負わないものとします。

1-7 著作権・その他知的財産権

日立が日立製品研修で提供または使用を許諾する文書・印刷物・ソフトウェア・Webサイト・コンテンツ等（以下「日立製品研修提供資料等」といいます。）の著作権またはその他知的財産権は、すべて日立または日立AC、または日立がテキスト教材、eラーニングコンテンツ、日立製品研修ガイドに記載する第三者に帰属しており、お客様は日立の事前の書面による許諾がない限り、いかなる形態においても日立製品研修提供資料等の全部、または一部について転載および複製並びに改変を行ってはならず、また日立製品研修提供資料等を第三者へ開示または提供（貸与や使用許諾を含みます）もしくは譲渡してはならないものとします。

1-8 損害賠償

日立製品研修に関してお客様が被った損害に対する日立の損害賠償責任は、債務不履行、法律上の瑕疵担保責任、不当利得、不法行為、その他請求原因・訴訟形態のいかんにかかわらず、お客様に当該日立製品研修の受講料としてお支払いいただいた金額を限度とします。日立は、いかなる場合にも逸失利益、無体物に生じた損害、第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害、特別損害等について、一切責任を負わないものとします。なお、日立は、当該損害賠償責任に代えて、日立が合理的と判断した日立製品研修の再提供を行うことができるものとします。

1-9 暴力団等の排除

日立は、お客様またはその関係者が次の各号のいずれか一つに該当したときは、お客様へ何ら催告することなく、直ちに本契約を解除することができるものとします。

- ①日立および講師等の指示に従わないとき、または他の受講者に迷惑になるような行為、言動を行ったとき。
- ②公序良俗に違反、または犯罪に結びつくおそれのある言動を行ったとき。
- ③日立または日立の利害関係者へ誹謗中傷をしたと認められる事実があるとき。
- ④暴力団員、準構成員、暴力団関係企業、特殊知能暴力団その他これに準じる者、またはこれらの者と密接なかわりを持つ者であることが判明したとき。
- ⑤自ら、または第三者を利用して、暴力的な要求行為、法的責任を超える不当な要求行為、詐欺・脅迫行為、業務妨害行為その他これに準じる行為を行ったとき。
- ⑥その他、お客様が日立製品研修を利用することについて不適切と日立が判断した場合。

1-10 受講規約の変更

日立は、本規約その他の日立製品研修に関するお客様と日立との契約を必要に応じて変更できるものとし、お客様への通知をもって変更の効力が適用されることとします。また、日立は、本規約に別に定める場合を除き、日立製品研修ガイドを予告なしに変更できるものとします。

1-11 その他

- ・当事者の一方に、本規約その他の日立製品研修に関するお客様と日立との契約上の不履行がある場合には、書面による通知により日立製品研修のお申し込みを取り消すことができるものとします。
- ・日立は、日立製品研修の受講により、お客様が特定の知識や技術等を修得されることを保証するものではありません。また、日立製品研修がお客様保有の特定の目的に対し、適合・有益・最適であることを保証するものではありません。これらはお客様の責任で決定いただきたく願っています。
- ・本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。また、本製品とは、研修で取り扱った知識・技術、スキル、テキスト教材および相当資料、eラーニングコンテンツとします。なお、ご不明な場合は日立担当営業にお問い合わせください。
- ・日立製品研修ガイドに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

2 IT／ビジネス研修受講規約

2-1 IT／ビジネス研修

IT／ビジネス研修は、日立ACが指定する研修施設・設備を利用して開催する集合研修、およびeラーニング等の総称であり、IT／ビジネス研修ガイドに記載されたもの、またはその他日立ACが指定するものに限られます。ただし、日立ACは、これらを予告なしに追加、変更または廃止することがあります。

2-2 お申し込み・開催延期／中止

IT／ビジネス研修の受講お申し込みについてはIT／ビジネス研修ガイド「お申込方法」に定めるとおりとしますので、ご参照ください。IT／ビジネス研修はIT／ビジネス研修ガイド「開催スケジュール」に記載されている日程で開催されますが、日立ACがこの日程で都合のつかない場合には「日立講習会受講ご案内」（受講券）に記載する別の日程で開催するものとします。日立ACはお申し込み済のお客様に対して少なくとも5営業日前の予告をもってIT／ビジネス研修の開催を延期または中止をする権利を留保します。

2-3 受講料・消費税

IT／ビジネス研修ガイドに記載されている受講料は、少なくとも開始日の10営業日前までに書面（電子メールを含みます。）による通知で変更される場合があります。IT／ビジネス研修の受講料は開始日における日立AC所定の受講料が適用されます。お客様のお申し込みを日立ACがお受けした後に、受講料が変更され新受講料が発効される場合は、お客様が当該お申し込みを、少なくとも開始日の5営業日前に書面により取り消さない限り、新受講料が適用されます。受講料にはIT／ビジネス研修で使用する教材の代金および機械使用料を含みますが、ご受講者の交通費および宿泊費は含みません。IT／ビジネス研修の受講料に課せられる消費税等の租税公課は、お客様のご負担とします。なお、税率等が変更になった場合、集合研修は講習会終了日、eラーニングは学習開始日時点の税率を適用した金額となります。

2-4 受講料のお支払いおよび返金

受講料につきましては法人のお客様はIT／ビジネス研修ご受講後のお支払い（後払い）、個人のお客様はご受講前のお支払い（前払い）になります。IT／ビジネス研修の受講料は、お客様が日立ACからの請求書を受領後、お振込指定期日までにお支払いいただくこととします。前払いのお客様でお振込指定期日までにご入金の確認ができなかった場合は、ご受講できないことがあります。お振込手数料は、お客様のご負担とします。IT／ビジネス研修が、日立ACの責に帰すべき事由で中止された場合で、すでに前払いにて受講料をお支払いいただいている場合には、お振込みいただいた受講料を返金いたします。

2-5 キャンセル料

キャンセル料発生日前日までにご受講お申し込みのキャンセルお申し出があった場合は、キャンセル料は発生いたしません。また、すでに前払いにて受講料をお支払いいただいている場合は、お支払いいただいている受講料からお振込手数料を差し引いた金額を返金いたします。キャンセル料発生日以降にキャンセルのお申し出があった場合はキャンセル料が発生いたします。前払いの場合はお支払いいただいた受講料は返金いたしません。また、後払いの場合は受講料全額を請求いたします。キャンセル料発生日はお申し込みになられたコースによって異なりますので、詳しくは「5. お申込方法」の「変更・キャンセル」の項をご覧ください。

2-6 責任の制限

日立ACは、IT／ビジネス研修ガイドに記載された範囲（講座の内容等）でIT／ビジネス研修に関するテキスト教材、eラーニングコンテンツ等（以下、「IT／ビジネス研修教材等」といいます。）の更新と提供を行います。ただし、日立ACは、これらのサービスの有用性、目的適合性、正確性その他一切の結果を保証するものではありません。また、IT／ビジネス研修教材等もしくはIT／ビジネス研修における質疑応答の内容を合理的範囲で正確性を保つよう努力するものですが、すべての誤りが訂正されることを保証するものではありません。また、日立ACはサービスを提供するにあたり、インターネット、データセンター、クラウドサービス等を利用しています。日立ACは、商慣習において合理的な努力を払って本サービスを提供しており、日立ACの責に帰すことができない事由によるサービス提供の停止については、損害賠償その他いかなる責任も負わないものとします。

2-7 著作権・その他知的財産権

日立ACがIT／ビジネス研修で提供または使用を許諾する文書・印刷物・ソフトウェア・Webサイト・コンテンツ等（以下「IT／ビジネス研修提供資料等」といいます。）の著作権またはその他知的財産権は、すべて日立AC、または日立ACがテキスト教材、eラーニングコンテンツ、IT／ビジネス研修ガイドに記載する第三者に帰属しており、お客様は日立ACの事前の書面による許諾がない限り、いかなる形態においてもIT／ビジネス研修提供資料等の全部、または一部について転載および複製並び改変を行ってはならず、またIT／ビジネス研修提供資料等を第三者へ開示または提供（貸与や使用許諾を含みます）もしくは譲渡してはならないものとします。

2-8 損害賠償

IT／ビジネス研修に関してお客様が被った損害に対する日立ACの損害賠償責任は、債務不履行、法律上の瑕疵担保責任、不当利得、不法行為、その他請求原因・訴訟形態のいかんにかかわらず、お客様に当該IT／ビジネス研修の受講料としてお支払いいただいた金額を限度とします。日立ACは、いかなる場合にも逸失利益、無体物に生じた損害、第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害、特別損害等については、一切責任を負わないものとします。なお、日立ACは、当該損害賠償責任に代えて、日立ACが合理的と判断したIT／ビジネス研修の再提供を行うことができるものとします。

2-9 暴力団等の排除

日立ACは、お客様またはその関係者が次の各号のいずれか一つに該当したときは、お客様へ何ら催告することなく、直ちに本契約を解除することができるものとします。

- ①日立ACおよび講師等の指示に従わないとき、または他の受講者に迷惑になるような行為、言動を行ったとき。
- ②公序良俗に違反、または犯罪に結びつくおそれのある言動を行ったとき。
- ③日立ACまたは日立ACの利害関係者へ誹謗中傷をしたと認められる事実があるとき。
- ④暴力団員、準構成員、暴力団関係企業、特殊知能暴力団その他これに準じる者、またはこれらの者と密接なかわりを持つ者であることが判明したとき。
- ⑤自ら、または第三者を利用して、暴力的な要求行為、法的責任を超える不当な要求行為、詐欺・脅迫行為、業務妨害行為その他これに準じる行為を行ったとき。
- ⑥その他、お客様がIT／ビジネス研修を利用することについて不適切と日立ACが判断した場合。

2-10 受講規約の変更

日立ACは、本規約その他のIT／ビジネス研修に関するお客様と日立ACとの契約を必要に応じて変更できるものとし、お客様への通知をもって変更の効力が適用されることとします。本規約に別に定める場合を除き、IT／ビジネス研修ガイドは予告なしに変更できるものとします。

2-11 その他

- ・当事者の一方に、本規約の不履行がある場合には、書面による通知によりIT／ビジネス研修のお申し込みを取り消すことができるものとします。
- ・日立ACは、IT／ビジネス研修の受講により、お客様が特定の知識や技術等を修得されることを保証するものではありません。また、IT／ビジネス研修がお客様保有の特定の目的に対し、適合・有益・最適であることを保証するものではありません。これらはお客様の責任で決定いただきたく願っています。
- ・本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。また、本製品とは、研修で取り扱った知識・技術、スキル、テキスト教材および相当資料、eラーニングコンテンツとします。なお、ご不明な場合は日立AC担当営業にお問い合わせください。
- ・IT／ビジネス研修ガイドに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

株式会社日立製作所 個人情報保護に関して (保護方針と要旨)

Privacy Notice Highlights

制定日 2005年4月1日
改定日 2010年4月1日
株式会社 日立製作所 代表執行役 執行役社長
東原 敏昭

1. 個人情報保護に関する当社の考え方

株式会社日立製作所（以下「当社」といいます。）は、トータルソリューションを提供できるグローバルサプライヤーとして、当社の技術情報や、お客さまからお預かりする情報ははじめ様々な情報を取扱っております。このことから、当社ではこれら情報価値を尊重するために、情報管理体制の確立とその徹底に努めて参りました。このような経緯を踏まえ、当社における個人情報保護について、規則の制定および管理体制の確立を図ると共に、個人情報保護方針を定め、役員および従業員に周知させるとともに、一般の方が、容易に入手できる措置を講じるものとします。そして、この方針に従い個人情報の適切な保護に努めます。

2. 個人情報保護方針

(1) 個人情報管理規則の策定および個人情報保護マネジメントシステムの継続的改善

当社は、役員および従業員に個人情報保護の重要性を認識させ、個人情報を適切に利用し、保護するための個人情報管理規則を策定し、個人情報保護マネジメントシステムを着実に実施します。更に、維持し、継続的に改善します。

(2) 個人情報の収集・利用・提供および目的外利用の禁止

当社は、事業活動において、個人情報をお預かりしていることを考慮し、それぞれの業務実態に応じた個人情報保護のための管理体制を確立すると共に、個人情報の収集、利用、提供において所定の規則に従い適切に取扱います。また、目的外利用は行わない、およびそのための措置を講じます。

(3) 安全対策の実施並びに是正

当社は、個人情報の正確性および安全性を確保するため、情報セキュリティに関する諸規則に則り、個人情報へのアクセス管理、個人情報の持ち出し手段の制限、外部からの不正アクセスの防止等の対策を実施し、個人情報の漏洩、滅失またはき損の防止に努めます。また、安全対策上の問題が確認された場合など、その原因を特定し、是正措置を講じます。

(4) 法令・規範の遵守

当社は、個人情報の取扱いに関する法令、国が定める指針その他の規範を遵守します。また、当社の個人情報管理規則を、これらの法令および指針その他の規範に適合させます。

(5) 個人情報に関する本人の権利尊重

当社は、個人情報に関して本人から情報の開示、訂正もしくは削除、または利用もしくは提供の拒否を求められたとき、および苦情、相談の申し出を受けたときは、個人情報に関する本人の権利を尊重し、誠意をもって対応します。

3. プライバシーマークについて

当社は、一般財団法人日本情報経済社会推進協会より、個人情報の適切な取扱いを行う事業者が付与されるプライバシーマークの付与認定を受けています。

4. 適用範囲

当社が事業で取扱う全ての個人情報に関する取扱いを定めるものです。

5. 個人情報保護の取組み

当社は、「個人情報保護に関する当社の考え方」および「個人情報保護方針」に基づき、個人情報を取り扱っている部門ごとに管理責任者を設置し、個人情報について細心の注意と最大限の努力をもって、保護、管理を行っております。

この取扱い要旨において「個人情報」とは、次の各号に該当する情報のうち、ご本人さまを識別することができる情報をいうものとします。

- 「お問い合わせ入力フォーム」その他の方法で入力され、ご本人さまから当社に提供された情報
- 前号の他、当社がご本人さまから提供を受けた情報

6. 個人情報の取扱い方針(取得・利用目的、第三者提供)

- 当社は、電機機械器具・情報通信機械器具・電子部品製造業および情報サービス業を主とした事業活動に関して、個人情報を各号の目的の達成に必要な範囲でのみ取得し、利用するものとします。また、ご本人さまに個人情報を提供いただく場合には事前にその使用目的を明示し、ご本人さまに同意をいただくものとします。
- 当社は、特定の条件のものを除き、あらかじめご本人さまの事前の同意を得ないで、ご本人さまの個人情報を第三者に提供しません。
- 当社は、当社のグループ会社と共同して事業活動を行う場合に必要となる、お名前並びに職場およびご自宅の住所、電話番号、FAX番号、電子メールアドレス等のご本人さまの個人情報につき、当該グループ会社に提供することがあります。

7. 個人情報の開示等の請求、または苦情のお申し出

当社が保有しているご本人さまの個人情報について、開示、訂正、追加、削除、利用停止、第三者提供の停止、若しくは利用目的の通知（以下「開示等」といいます。）を請求される場合または苦情をお申し出になる場合は、所定の手続きに則り請求をお願い致します。

8. その他重要事項

- ご本人さまからの個人情報の提供、事前同意の取得等、個人情報保護に関してご本人さまへのお願いがございます。
- 「個人情報保護に関して」の取扱いに関する連絡事項がございます。
- ウェブサイトにおけるクッキーおよび Web ビーコンの利用についての注意事項がございます。
- ご本人さまが当社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を録音させていただいております。
- 当社が提供している個々の個人情報取扱いサイトに関するご連絡がございます。

9. 認定個人情報保護団体

当社を管掌する認定個人情報保護団体[※]は、下記となります。

認定個人情報保護団体名
一般財団法人日本情報経済社会推進協会
個人情報保護苦情相談室

所在地
〒106-0032 東京都港区六本木 1-9-9 六本木ファーストビル 12F
電話番号
03-5860-7565, 0120-700-779

※個人情報保護法で規定されている、個人情報に関する苦情処理や情報提供を行う第三者機関。
当社の商品・サービスに関する問い合わせ先ではございません。

10. 連絡先

個人情報の開示等の請求および苦情のお申し出を除く、本取扱要旨に関するご質問・お問い合わせは、下記の方法にてご連絡ください。

郵送によるご連絡
〒101-8608 東京都千代田区外神田一丁目 18 番 13 号
株式会社日立製作所 情報セキュリティリスク統括本部
情報リスクマネジメント部

株式会社日立製作所 個人情報保護に関して (保護方針と要旨)
詳細は当社ホームページ
<http://www.hitachi.co.jp/utility/privacy/index.html>
をご覧ください。

株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して

制定年月日 2004年6月23日
最終改定年月日 2019年4月1日
株式会社 日立アカデミー
取締役社長 迫田 雷蔵



10860958(07)

当社は、一般財団法人日本情報経済社会推進協会より、個人情報の適切な取扱いを行う事業者が付与されるプライバシーマークの付与認定を受けています。

個人情報保護の理念

株式会社日立アカデミー（以下、「当社」といいます。）は人財育成のためのトータルソリューションの提供を通じて社会に貢献してまいります。そうした中で、当社は氏名、生年月日のような個人を特定できる情報（以下、「個人情報」と総称します。）が従業員のみならずお客さまにとりまして重要な情報であり、適切に扱われるべき情報であると認識しております。又、これら個人情報を利用し、保護することが当社の社会的責任であり、当社の事業の基本であると考えております。当社では個人情報を適切に取扱うべく役員、従業員に「個人情報保護方針」の周知徹底を図り、その実行、維持、改善に努めます。

株式会社 日立アカデミー 個人情報保護方針

1. 個人情報の取得・利用・提供

当社は、事業活動において、お客さまの情報をお預かりしていることを考慮し、各事業に応じた個人情報保護のための管理体制を確立します。又、個人情報の取得、利用、提供において、特定された利用目的の達成に必要な範囲を超えた個人情報の取扱いを行わないための適切な措置を講じます。

2. 法令・規範の遵守

当社は、個人情報の取扱いにおいて、当該個人情報の保護に適用される法令及び国が定める指針その他の規範を遵守します。又、これらの法令及び指針その他の規範に適合した、当社の個人情報管理規則を作成し、遵守いたします。

3. 安全対策の実施

当社は、個人情報の正確性及び安全性を確保するため、当社の情報セキュリティに関する諸規則に則り、個人情報へのアクセス管理、個人情報の持ち出し手段の制限、外部からの不正アクセスの防止等の対策を実施し、個人情報の漏えい、滅失又はき損の防止及び是正に努めます。

4. 個人情報に関する本人の権利尊重

当社は、個人情報に関するご本人さまから求められる開示、内容の訂正、追加又は削除、又は苦情及び相談を求められた時は、個人情報に関するご本人さまの権利を尊重し、誠意を持って対応いたします。

5. 個人情報保護マネジメントシステムの確立及び継続的改善

当社は、役員及び従業員に個人情報保護の重要性を認識させ、個人情報を適切に利用し、保護するための個人情報保護マネジメントシステムを確立し、これを着実に実施します。更に、これを維持し、継続的に改善いたします。

個人情報の利用目的

当社は、次の利用目的の範囲内で利用するため、個人情報を収集させていただく場合がございます。

個人情報	利用目的
(1) お客さまに関する個人情報	<ul style="list-style-type: none">お客さまへの連絡のため研修サービス業務の運用・実施のため（受講案内・請求書発行、名簿・名札作成等の事務処理、ロイヤリティ支払いの確証、ご案内冊子送付）各種研修サービスご案内のためのDMや電子メール等の発送のため（商品/サービス/展示会等の情報や宣伝物等のご案内。委託先会社が独自に企画・開催するものも含む）教材販売業務の運用のため（教材発送、請求書発行）チケット販売業務の運用のため（チケット発送、請求書発行）より良い商品・サービス開発、サービス品質維持・改善のための調査・分析のためお客さまとの交渉、契約履行のため 上記の目的に必要な範囲で、お客さまの自社窓口部署または各種施策の取纏め部署に提供することがあります。
(2) お取引先、提携先に関する個人情報	<ul style="list-style-type: none">お取引先、提携先への連絡のためお取引先、提携先との各種研修サービスの運用・実施のためお取引先、提携先との交渉、契約履行のためお取引先、提携先との事業協力のため
(3) お取引先から委託を受けた個人情報	<ul style="list-style-type: none">お取引先への連絡のためお取引先から受託した各種研修サービスの運用・実施のためお取引先との契約履行のため
(4) イベント、展示会等で取得した個人情報	<ul style="list-style-type: none">連絡、イベントの関連情報のご提供商品またはサービスのご案内お取引先から委託を受けた調査、分析、宣伝、広告業務の遂行等 上記の目的に必要な範囲で、当社の関係会社、販売店、お取引先などに提供することがあります。
(5) 当社へ入社を希望される皆様に関する個人情報	<ul style="list-style-type: none">連絡、情報のご提供および採用選考採用選考に関わる業務委託
(6) 当社に派遣入場している皆様に関する個人情報	<ul style="list-style-type: none">構内秩序の維持、当社の財産又は営業秘密の管理上、本人特定するため法令に定められた義務を履行するため
(7) 上記以外の個人情報	<ul style="list-style-type: none">防犯のための監視カメラによる撮影と録画

Web サイトでの情報の取扱い

当社が運営する Web サイト（以下、「本 Web サイト」という。）を利用される方に関する情報を以下の通り取扱います。

A. 本 Web サイトへアクセスしたことを契機として機械的に取得される情報

当社は、閲覧された本 Web サイトのセキュリティ確保・ユーザビリティ向上のため、アクセスログおよび Cookie により、閲覧された方の情報を取得します。

- ・取得した個人情報は、当社規定に基づき厳重な管理を行います。
- ・取得する個人情報の取扱いを外部に委託する場合があります。
- ・取得した個人情報は、利用目的に応じて保存期間を設定し、保存期間終了後は速やかに削除、廃棄します。

B. クッキーおよび Web ビーコンの利用について

本 Web サイトの一部では、ご本人さまがより便利にご利用いただくために、クッキー (Cookie)*1 や Web ビーコン (クリア GIF)*2 を利用しております。ご本人さまは、ウェブブラウザの設定を変更することにより、クッキーの受け取りを拒否し、または、クッキーを受け取った場合に警告を表示させることができます。詳しくは、ご使用のブラウザの説明をご覧ください。また、ご本人さまは、クッキーの受け取りを拒否することによって、Web ビーコンを拒否することができます。しかし、クッキーの受け取りを拒否された場合には、本 Web サイトにて提供するサービスの全部または一部がご利用できなくなる場合もございますので、ご了承ください。

C. 本 Web サイトからリンクされている当社外の Web サイト

本 Web サイトからリンクされている当社外の Web サイトにおけるご本人さまの個人情報の安全性確保については、当社では責任を負いかねますので、ご承知おきください。

当社では、より良い個人情報保護を実現するために、また、法令、政省令、及びその他の規範の制改定に伴い、本ページに掲載いたしております個人情報保護方針を改定することがございます。定期的に当社のホームページにてご確認いただきますようお願いいたします。

本ページの内容は、掲載日以降に適用されるものといたします。

用語説明

- *1 **クッキー**：ウェブサイトを管理するウェブサーバとお客さまのウェブブラウザとの間で相互にやりとりされる情報のことをいいます。クッキーは、お客さまのコンピュータのディスクにファイルとして格納されることがあります。クッキーをご利用になりますと、ウェブサーバは特定のコンピュータがウェブサイト中のどのページを訪れたかを記録することが可能となります。但し、お客さまがお客さまご自身の個人情報をウェブサイト上で入力されない限り、当社はお客さまを特定、識別することはできません。
- *2 **Web ビーコン**：クッキーと一緒に機能し、ご本人さまが特定のページに何回アクセスされたかを知ることができる技術のことをいいます。但し、ご本人さまが、ご自身の個人情報をクッキーの受け取り時に入力されない限り、当社はご本人さまを特定、識別することはできません。

個人情報の目的外利用の禁止

取得した個人情報は、お客さまの承諾がない限り、および以下のいずれかに該当する場合を除き、利用目的の範囲を超えて利用したり、第三者へ開示または提供しません。

- ・法令に基づく場合
- ・人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、ご本人さまの同意を得ることが困難であるとき
- ・公衆衛生の向上又は児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、ご本人さまの同意を得ることが困難であるとき
- ・国の機関若しくは地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、ご本人さまの同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき

個人情報の取扱いの委託

利用目的を達成するために、個人情報の取扱いを外部に委託する場合があります。その場合も、十分な個人情報保護水準を有する会社を選定するとともに、個人情報保護の覚書等を締結し、必要な管理・監督を行います。

開示・利用停止等手続きのご案内

個人情報に関して開示等の求め（利用目的の通知、開示、内容の訂正、追加または削除、利用の停止、消去および第三者への提供の停止）は、ご本人さまによる場合のほか、代理人による場合も受けさせていただきます。

A. 開示等の求めのお申し出先

下記窓口宛に所定の申請書および必要書類を添付の上、郵送にてお送りいただきますようお願い申し上げます。

- (1) お申し出先窓口 〒110-0015 東京都台東区東上野二丁目16番1号 上野イーストタワー 18階
株式会社日立アカデミー コンプライアンス推進センタ

- (2) 当社所定の申請書

- ・個人情報の開示等の請求書*

※：当社ホームページ (<https://www.hitachi-ac.co.jp/utility/privacy/index6.html>) をご覧ください。

- (3) ご本人さま確認のため、以下の書類を (2) 申請書とともに (1) に郵送ください。

- ・運転免許証、パスポート等の写真でご本人さま確認ができるものの写し（開示等の求めをするご本人さまの名前および住所が記載されているもの）
- ・住民票の写し（開示等の求めをする日前 30 日以内に作成されたもの）

- (4) 代理人の方が手続きをされる場合は、(2) 申請書、(3) ご本人さま確認書類に加え、以下の書類も郵送してください。

- ・代理人を証明する書類、代理人の運転免許証、パスポート等の写真で代理人確認ができるものの写し（開示等の求めをする代理人の名前および住所が記載されているもの）
- ・代理人の住民票の写し（開示等の求めをする日前 30 日以内に作成されたもの）
- ・代理人が弁護士の場合は、登録番号のわかる書類
- ・代理を示す旨の委任状

B. 開示等の求めに対するその他の注意事項

- ・個人情報保護法上対応を要しない場合、所定の書類に不備があった場合等には、開示等の求めに対応できないこともあります。
- ・開示等の求めにともない取得した個人情報は、開示等の求めに必要な範囲でのみ取り扱うものとします。開示等の求めに際しご提出いただきました書面は返却致しかねます。
- ・申請書の記載住所（日本国内）の請求者（代理人宛の場合は代理人）ご本人さま宛に書面によってご回答させていただきます。
- ・お問い合わせの内容によっては回答にお時間をいただく場合もございます。
- ・個人情報の消去の求めの場合において、当該個人情報を消去させていただいたときでも、個人情報の消去の求めの申請書、ご本人さま確認の書面、回答書の写しは保管させていただきます。
- ・個人情報の利用停止もしくは消去、または第三者への提供停止の求めの結果、当該個人情報に対するサービス等のご利用いただけなくなることをあらかじめご承知おきください。

個人情報に関するお問い合わせ

A. 個人情報の取扱いに関する苦情のお申し出に関して

個人情報の取扱いに関する苦情のお申し出に関しては「個人情報の取扱いに関する苦情申出書*」に必要事項をご記入いただき、郵送にてお問い合わせください。

- (郵送先) 〒110-0015 東京都台東区東上野二丁目16番1号 上野イーストタワー 18階
株式会社日立アカデミー コンプライアンス推進センタ

B. 個人情報に関するお問い合わせ（個人情報保護管理者）

当社の個人情報の取扱い全般に関するお問い合わせは、お問い合わせ入力フォーム*からご連絡ください。

※：当社ホームページ (<https://www.hitachi-ac.co.jp/utility/privacy/index7.html>) をご覧ください。

雇用関係助成金のご案内

人材開発支援助成金

人材開発支援助成金は、事業主等が雇用する労働者に対して、職務に関連した専門的な知識及び技能の習得を目的とした職業訓練等を計画に沿って実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等を助成する制度です。

●人材開発支援助成金

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html
(厚生労働省ホームページ)

※上記は2019年6月現在の内容です。

最新情報は、日立アカデミーのホームページをご覧ください。<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/support/crjo/index.html>

他社所有商標に対する表示

- ・ Adobe, Adobeロゴ, Adobe Flash Player, Adobe Reader, Flash, Flex, MXML, ActionScriptは、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社)の米国および他の国における商標または登録商標です。
- ・ アマゾン ウェブ サービス, Amazon Web Services, Amazon EC2 および Amazon Web Services ロゴは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。
- ・ Androidは、Google Inc. の商標または登録商標です。
- ・ Automation AnywhereはAutomation Anywhere, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ BABOK®およびBusiness Analysis Body of Knowledge®, CCBA®, CBAP®は、International Institute of Business Analysisの登録商標です。
- ・ Ethernet/イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- ・ Ethernetは、米国Xerox Corp.の商品名称です。
- ・ Hadoopは、Apache Software Foundationの米国およびその他の国における商標です。
- ・ IBM, IBMロゴ, ibm.com, AIX, DataStageは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corporationの商標です。
- ・ ITIL®, PRINCE2®, AXELOS Limitedの登録商標です。The Swirl logoはAXELOS社の商標です。
- ・ iPhone, iPad, iOS, iBooks, Safariは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- ・ Linuxは、Linus Torvalds氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Microsoft, Azure, Visual Basic, Visual C++, Visual Studio, Windows, Windows Server, Windows PowerShell, SQL Server, Active Directory, Hyper-V, Excel, PowerPoint, Access, SharePoint, Internet Explorer, Silverlightは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。

- ・ NVIDIAは、米国NVIDIA Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・ PentahoはHitachi Data Systemsの登録商標です。
- ・ OCUP, オーカップ, UML技術者資格試験は、(株)UML教育研究所の商標、または登録商標です。
- ・ OMG, UML, Unified Modeling Language, UMLロゴ, UML Certificationロゴ, MDA, Model Driven Architectureは、Object Management Group Inc.の商標または登録商標です。
- ・ Oracle, Oracle Database 11g, Oracle Database 12c, Java, JavaScript, Solarisは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ PMI®, PMP®, PMBOK®ガイド, OPM3®, CAPM®, PgMP®, PMI-ACP®, PMI-SP®, PMI-RMP®, PM Network®, PMI Today®, PMCDF®, R.E.P. ロゴはプロジェクトマネジメント協会 (Project Management Institute Inc.) の登録商標です。
- ・ Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, JBossは、米国およびその他の国におけるRed Hat, Inc.の登録商標です。
- ・ SAPは、SAP AGのドイツおよびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ TOEIC®は、Educational Testing Service (ETS) の登録商標です。
- ・ UNIXは、The Open Groupの米国ならびに他の国における登録商標です。
- ・ VMware, VMware vSphere, ESXi, VMware vCenter, VMware View は、VMware, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。

HITACHI
Inspire the Next

